

3260
100.0

이 책자는 1978年度 調査研究室事業計劃중 北韓異質化実態研究의 一環으로서 越南 歸順者를 対象으로 設問調査한 結果의 内容을 分析한 것임.

北韓調査研究

北韓異質化実態調査

— 時期別 · 地域別 · 階層別 變動特徵 —

1978. 10.

調査 · 分析 : 調査研究室

刊行責任 : 政治軍事研究官 尹 璟泰

國土統一院 調査研究室

北韓異質化實態調查

1. 調查實施經過

가. 計劃段階

(1) 調查主眼點

- 北韓에 관한 多角的 實証資料 開發 및 蓄積
- 北韓社會의 變化過程의 動態的 把握

(2) 調查對象者 選定

- 越南時期, 地域(平壤, 開城 우선 고려), 職業고려
- 歸順者 80名(서울거주 270名中 連絡可能者)
- 以北5道出身 15名(各道別로 選定)

(3) 調查表 作成

- 分野別 調查項目 選定
- 院外 專門家招請, 設問書 檢討
- 修正補完(3次): 456個項目

나. 實施段階

(1) 調査方法

- 15 個組 編成 (1 組 5 ~ 6 名씩)
- 1 個組씩 狀況室에 召集
- 北韓生活 經驗談 討論, 調査表 記載

(2) 応答者의 分布

(95 名中 分析價値가 적은 5 名分除外)

(時期別)

(單位 : 名)

53년이전	'54-60	'61-65	'66-70	'71-78	計
19	27	14	21	9	90

(地域別)

(單位 : 名)

大都市	中小都市	工場企業所	協同農場	鉞山村	漁村	其他	計
34	14	5	30	3	2	2	90

(平壤 : 14, 開城 : 9)

(職業別)

(單位 : 名)

党政要員	事務員	軍人	教員, 記者 文芸人	農漁民	技術者	学生	無職	計
11	7	23	11	17	8	11	2	90

2. 調查結果의 整理分析

가. 分析主眼點

- 北韓 密閉社會의 變動過程 深層分析
 - 趨勢分析： 5 個時期 区分 比較
 - 地域特性分析： 都市，農村 比較(平壤，開城 別途 比較)
 - 被治者의 立場分析： 特殊層，一般住民 比較

※ { 都市：大都市，中小都市，工場企業所

農村：協同農場，鉉山村，漁村，其他

※ { 特殊層：黨·政要員，事務員，軍人，教員·記者·文芸人

一般住民：農漁民，技術者，學生，無職

- 主要事項間의 聯關關係分析

나. 分析方法

- 項目別 回答內容의 統計處理(集計，百分比 換算)
- 統計處理의 結果를 圓型，막대，切線等을 利用 圖表化
- 非統計事項은 時期別로 主要內容 및 特徵 拔萃
- 主要事項別로 分類하여 圖表와 主要特徵을 中心으로 相互 關係分析解說

다. 調查·分析期間

- 調查： 78. 5.24 ~ 6.13
- 分析： 78. 6.20 ~ 7.31

※ 註記

- (1) 全體應答者의 數는 90 명이나 1人이 2個이상의 項目에 應答하였을 경우에는 延人員數를 計算하였음.
- (2) 順位를 묻는 問項에서는 點數를 부여하여 加重值로 計算하였음.
- (3) 圖表中 ()안의 數字는 人員數 또는 點數(加重值)를 表示하는것 임.
- (4) 圖表上 간혹 無應答者의 比率이 많은 경우는 應答者가 自己의 生活領域 이외의 問題에 대해서는 잘 모르고 있기때문임.
- (5) 無應答의 比率이 必要없을 경우에는 省略 또는 表示하지 않았음.

目 次

1. 政治分野.....	1
가. 權力指導層에 대한 態度	3
(1) 金日成 偶像化에 대한 態度	5
ㄱ) 金日成의 偶像化에 대한 態度	6
(2) 金日成 死後體制에 대한 見解	8
ㄱ) 金日成退陣後 豫想되는 最高權力形態	9
ㄴ) 金日成死後 豫想되는 有力한 後繼者	12
(3) 政治指導者像, 엘리트充員基準.....	15
ㄱ) 党幹部 昇進要件	16
ㄴ) 政務員의 資格要件	19
나. 體制에 대한 態度	23
(1) 體制肯定要因	25
ㄱ) 党政策 支持理由	27
ㄴ) 党政策에 대한 異議提起方法.....	30
ㄷ) 選舉에 대한 認識	33
ㄹ) 두려워하는 制裁의 形態	36
ㅁ) 党(國家)政策에 대한 期待 및 關心.....	39
ㅂ) 党幹部에 대한 認識.....	42
(2) 體制否定要因	45
ㄱ) 政治的 不滿의 理由.....	46
ㄴ) 組織生活에 대한 嫌惡感.....	49

(다) 統制機關에 대한 嫌惡感	52
(3) 政治的 커뮤니케이션	55
(가) 人民裁判에 대한 異議提起方法	56
(나) 住民要求事項의 上達經路	59
(다) 行政作用에 대한 異議提起方法	62
(4) 法意識 및 遵法精神	65
(가) 法에 대한 認識	66
(나) 憲法에 대한 認識	69
(다) 公民權條項에 대한 認識	72
(라) 遵法態度	75
(마) 憲法遵守程度	78
(바) 法務生活教育方法	81
다. 民族意識, 統一觀, 對南觀, 對外觀	85
(1) 民族意識	87
(가) 愛着感情	89
(나) 國際競技에 臨한 韓國選手에 대한 態度	92
(다) 民族的 同質性的 決定要素	95
(라) 民族主義와 共產主義에 대한 認識	98
(2) 統一觀	101
(가) 統一의 必要 理由	103
(나) 統一方法에 對한 意見	106
(다) 北韓統一方案에 대한 認識	109
(라) 韓國統一方案에 대한 認識	112

(바) 統一에 대한 展望	115
(3) 对南觀	118
(가) 韓國의 強点認識	119
(4) 对外觀	122
(가) 外交政策에 대한 理解	123
(나) 外國에 대한 親密度	126
(다) 中·蘇紛争에 대한 認識	129
라. 法秩序 運營實態	133
(1) 法의 機能과 運用	135
(가) 法의 機能認識	136
(나) 法運用에 있어서의 男女差別与否	139
(2) 民事關係	142
(가) 民事紛争解決方法	143
(나) 去來紛争解決方法	146
(다) 瑕疵擔保責任有無	149
(3) 刑事關係	152
(가) 刑事關係法 認知經路	153
(나) 犯罪處理의 根拠	156
(4) 行政作用	159
(가) 行政法認知經路	160
(나) 公權力行使方法	163
(5) 裁判關係	166
(가) 人民裁判 該當犯罪	167

㉔) 人民裁判節次	170
㉕) 裁判參觀時所感	173
※ 參考資料	183
1) 幹部肅清事例	185
2) 黨・政間의 葛藤事例	193
3) 黨・行政, 生産管理間의 葛藤事例	197
4) 企業所內 支配人, 技師長, 黨責任秘書間의 關係	201
5) 黨・政間의 人事交流	204
6) 黨員・非黨員比率	207
2. 經濟分野	219
가. 住民生活	221
(1) 食生活	223
— 主食 —	
㉔) 雜穀取食順位	224
㉕) 混粉食比率 및 種類	225
√㉖) 食糧暗去來	226
— 副食 —	
㉔) 主要副食類	229
㉕) 肉類供給	230
㉖) 生鮮供給	231
— 其他食生活 —	
㉔) 食水源	232
㉕) 間食類	233

㉔ 特別飲食	234
(2) 住居生活	235
— 家屋 —	
㉕ 家屋形態	236
㉖ 家屋構造	237
㉗ 아파트	239
㉘ 聯立住宅	241
— 燃料 —	
㉙ 家庭燃料	242
(3) 衣生活	245
㉚ 年間衣服配給	246
㉛ 日常衣服	247
㉜ 外出服	249
㉝ 겨울防寒服	250
㉞ 衣服에 對한 關心度(女性)	252
㉟ 衣服에 對한 關心度(青少年)	255
(4) 便宜 및 文化生活	258
㊱ 손목時計所持	259
㊲ 재봉틀普及	260
㊳ 電氣밥솥普及	263
㊴ 寫真機所持	265
㊵ 電話機普及	266
㊶ 冷藏庫普及	268

(5) 保健衛生	269
㉔ 藥品供給	270
㉕ 里診療所 利用者	273
㉖ 綜合病院 利用者	275
㉗ 病의 種類	276
(6) 所得・消費生活	278
— 所得 —	
㉔ 給与水準	279
㉕ 副收入	280
㉖ 配給水準	284
— 消費 및 購買活動 —	
㉔ 所得中 支出優先順位	285
㉕ 商品買入水準	287
✓㉖ 自由購買活動可能性	288
㉗ 購買品目	289
㉘ 定札制 実施与否	290
㉙ 物価表	292
㉚ 旅行手段 및 交通料金	299
✓㉛ 農民市場	301
✓㉜ 暗去來	303
○ (7) 貯蓄生活	305
— 通貨 —	
㉔ 貨幣에 대한 認識	306

(㉔) 有価証券 通用	308
- 貯蓄 -	
(㉕) 貯蓄의 種類	309
(㉖) 高額貯蓄에 대한 特惠	311
(㉗) 貯蓄의 引出自由与否	312
(㉘) 貯蓄目的	314
- 貸与 -	
(㉙) 銀行 또는 職場에서의 現金貸付	315
(㉚) 個人間 金錢去來	316
○ 나. 財 産	317
(1) 私有財産	319
(㉛) 主要私有財産 (重要順位)	320
(㉜) 主要私有財産 (獲得源)	321
(㉝) 私有財産任意處分 可能性	322
(㉞) 私有財産에 對한 輿論	323
(2) 國公有財産	324
(㉟) 國公有財産에 대한 關心度	325
다. 生産活動	327
(1) 生産計劃 및 遂行	329
(㊱) 生産計劃樹立	330
(㊲) 工場運營에 대한 從業員參與	332
(㊳) 計劃目標未達時 措置	333
(㊴) 技術者養成	334

(1) 生産裝備의 供給	335
(2) 獨立採算制	336
(가) 工場自體豫算에 依한 事業	337
(나) 副産物職場運營	338
(3) 人力管理	339
(가) 職業選擇	340
(나) 公開採用	341
(다) 職場不適合時 措置	342
(라) 轉職에 對한 本人意思 反映	345
(마) 報酬決定	347
(바) 物的誘因制度	348
(사) 不誠實勞動者에 對한 經濟的 制裁	350
3. 社會文化分野	351
가. 家庭生活	353
(1) 家長의 位置	355
(가) 家庭의 意思決定 要因	356
(나) 老後의 居處	358
(2) 結婚과 離婚	361
(가) 男子의 結婚年齡	363
(나) 女子의 結婚年齡	365
(다) 男性의 配偶者 選擇基準	367
(라) 女性의 配偶者 選擇基準	369
(마) 配偶者 選擇方法	371

㉞ 結婚式 參席人員.....	374
㉟ 離婚可能性	375
㊱ 離婚事由	377
(3) 葬祭禮	378
㉞ 祭祀有無	379
㉟ 祭祀에 대한 党的 制限	381
나. 社會生活	385
(1) 階層	387
㉞ 敵對階層에서 基本階層으로의 移動	388
㉟ 階層移動基準	390
(2) 職業	393
㉞ 希望職業	394
㉟ 希望職業의 選擇理由	397
㊱ 職業 不滿時 轉業可能性	400
(3) 餘暇	402
㉞ 休暇消日方法	403
㉟ 映畫觀覽方法	404
㊱ 韓國古典文學 作品讀書	408
㊲ 文學作品의 主人公에 대한 感銘	409
㊳ 感銘을 준 主人公의 性格	410
다. 社會化過程	413
(1) 學校前 教育	415
㉞ 乳兒의 託兒所委託程度	416

ㄱ) 乳兒의 託兒所委託決定	418
ㄴ) 託兒所 教育內容	421
ㄷ) 幼稚園 教育內容	423
(2) 青少年生活	425
ㄱ) 少年團의 活動內容	427
ㄴ) 社勞靑의 活動內容	428
ㄷ) 靑少年들의 異性交際	429
ㄹ) 靑少年의 對話內容	432
ㅁ) 靑少年의 意思決定 要因	435
ㄴ) 靑少年層의 共産黨에의 忠誠度	437
ㄷ) 一般大學入學節次	439
(3) 宗教彈壓	440
ㄱ) 宗教彈壓時期 및 反應	441
ㄴ) 宗教人出身의 処遇	444
ㄷ) 地下宗教行爲 目擊事例	446
ㄹ) 過去宗教團體財產 利用實態	448
라. 社會問題	451
(1) 一般犯罪	453
ㄱ) 綜合商店職員들의 橫領	454
ㄴ) 有夫女와의 姦通	457
ㄷ) 竊盜	460
ㄹ) 性犯罪 原因	462
ㅁ) 政治學習不參者 制裁措置	464

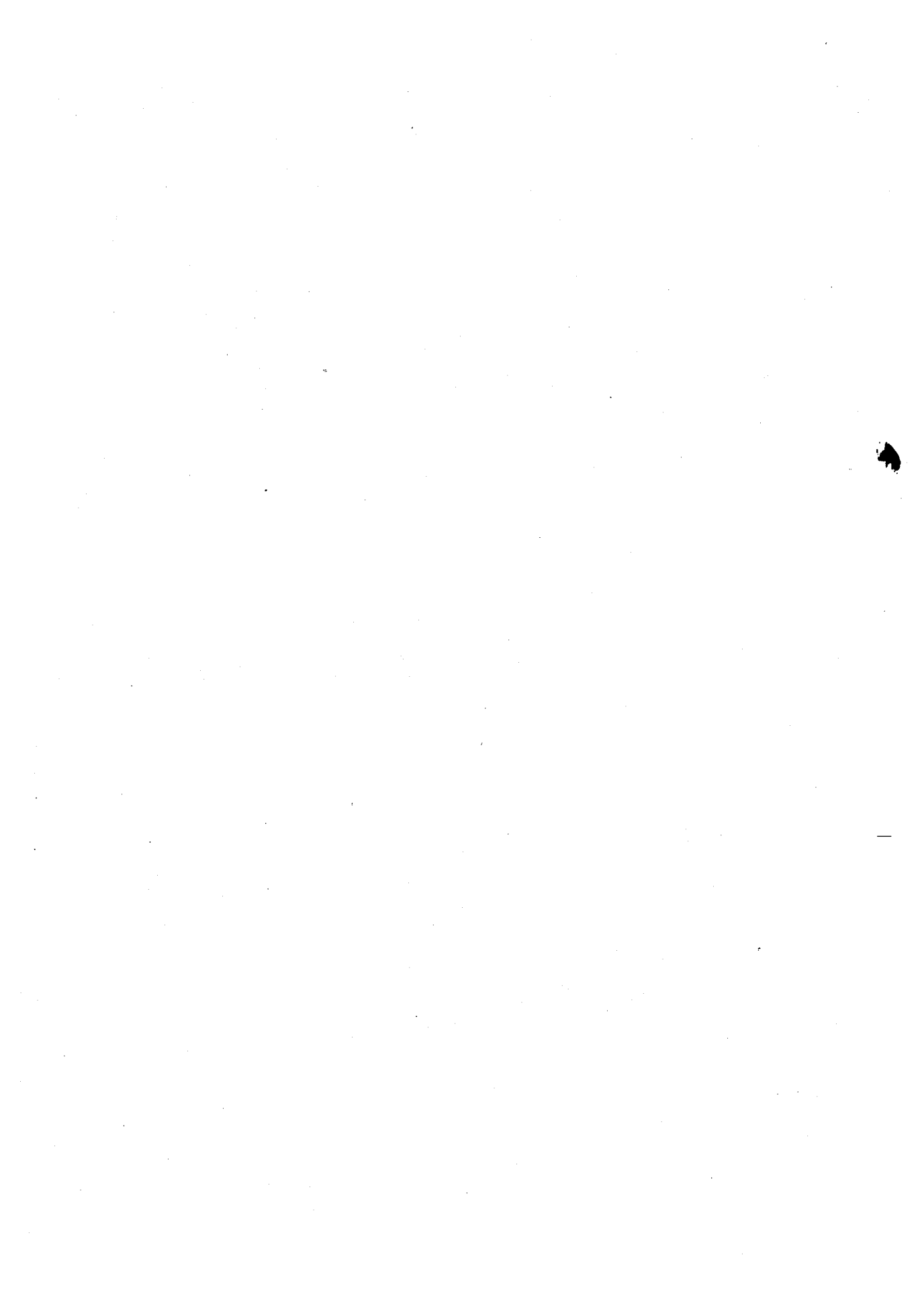
(배) 未婚母의 私生兒發生率	466
(2) 靑少年의 不滿과 犯罪	468
(가) 靑少年의 脫線原因	469
(나) 靑少年犯罪의 增減	472
마. 女性問題	475
(1) 女性의 家庭生活	477
(가) 幼兒를 託兒所에 맡긴 후 女性生活	478
(나) 託兒所委託에 대한 父母의 反應	480
(다) 女性 및 家庭生活에 대한 託兒所 幼稚園의 影響 ...	483
(태) 女性 및 家庭生活에 대한 밥공장의 影響	484
(배) 女性 및 家庭生活에 대한 女性의 團體活動의 影響	486
(배) 女性 및 家庭生活에 대한 女性의 政治學習의 影響	487
(2) 女性의 政治生活	488
(가) 女性의 政治活動 參與理由	489
(나) 女性政治人의 主任務	492
(다) 女盟의 主要事業	493
(3) 女性의 價值觀	495
(가) 女性의 所望順位	496
(나) 女性들의 자랑要素	498
(다) 女性의 共產主義 政治學習觀	501
4. 軍事分野	503

가. 兵力管理實態	505
(1) 徵召集 實態	507
ㄱ) 充員方法	508
ㄴ) 服務期間差異理由 (規定 과 實際)	511
ㄷ) 徵召集制度	514
ㄹ) 服務年限變動	517
ㅁ) 徵召集除外對象	519
(2) 政治思想教育	520
ㄱ) 思想教育內容	521
ㄴ) 思想教育的 特徵	523
ㄷ) 思想教育에 대한 所感	524
ㄹ) 思想教育에 대한 不滿理由	527
ㅁ) 課外活動	530
(3) 給食實態	532
— 主 副 食 —	
ㄱ) 主食減量	533
ㄴ) 混合給食理由	535
ㄷ) 副食順位	537
ㄹ) 副食調達方法	540
ㅁ) 當農生活	542
— 其 他 —	
ㄱ) 代用食의 優先順位	543
ㄴ) 特食	546

나. 體制에 대한 態度	652
(1) 法意識・遵法精神	652
(2) 共產體制受容度	660
(3) 黨政策期待度	664
다. 民族意識, 統一觀	670
(1) 民族・歸屬觀念	670
(2) 統一觀	675
(3) 外交問題	682
라. 住民生活	685
(1) 食生活	685
(2) 住生活	689
(3) 衣生活	692
(4) 文化生活	699
(5) 所得・消費生活	707
(6) 貯蓄生活	709
마. 財 産	716
(1) 私有財産	716
(2) 國公有財産	720
바. 生産活動	722
(1) 生産計劃 및 遂行	722
(2) 獨立採算制	733
(3) 人力管理	737
사. 家庭生活	743

아. 社会生活	746
자. 青少年과 女性問題	750

1. 政 治 分 野



(가) 軍商運營	548
(4) 政治軍官과 軍事軍官	550
(가) 政治軍官의 任用方法	551
(나) 政治軍官과 軍事軍官의 影響力	553
(다) 政治軍官과 軍事軍官에의 親密感	555
(라) 政治軍官과 軍事軍官과의 不和	558
(리) 行動監視者	561
(마) 政治軍官과 軍事軍官의 差異	563
나. 軍內不滿實態	565
(가) 日曜日營內生活	568
(나) 休暇制度	570
(다) 外出制度	573
(라) 外泊制度	574
(리) 兵營生活의 不滿順位	575
(마) 不滿程度	577
(바) 成分上 差別待遇有無	580
(빠) 成分上 差別待遇實態	583
다. 除隊後 職場配置	585
(가) 除隊後 職業	588
(나) 除隊後 職場配置의 優待順位	591
라. 住民動員實態	595
(1) 勞農赤衛隊	597
(가) 教育時間	598

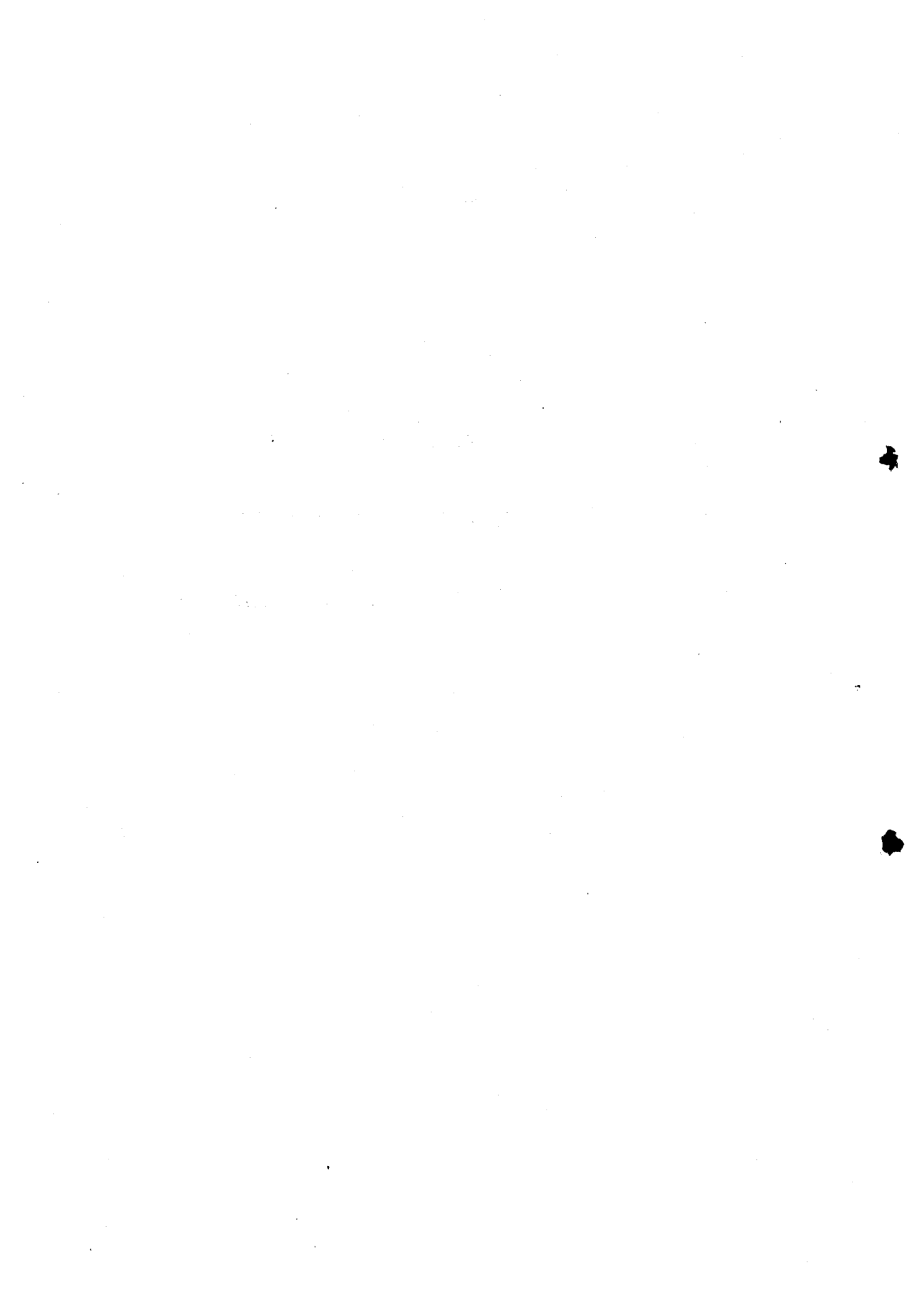
(ㄱ) 教育内容	601
(ㄴ) 訓練程度	603
(ㄷ) 支給武器	606
(ㄹ) 服裝	609
(ㅁ) 戰鬥力量	611
(ㅂ) 訓練의 不滿事項	614
(ㅅ) 學生勞農赤衛隊	617
(ㅇ) 勞農赤衛隊 除外對象	618
(2) 青年近衛隊	619
(가) 教育時間	620
(나) 教育内容	622
(다) 訓練内容	624
(ㄷ) 支給武器	626
(ㄹ) 對象	628
(ㅁ) 女學生軍事訓練 程度	629
(ㅂ) 女學生 軍事訓練 内容	632
(마) 戰爭意識	633
(가) 北傀의 軍事力增強理由	636
(나) 北傀의 戰爭準備	639
5. 平壤·開城 比較	643
가. 權力指導層에 대한 態度	645
(1) 權力指導層에 대한 意見	645
(2) 政治엘리트 充員基準	649

가. 權力 指導層에 對한 態度

(1) 金日成 偶像化에 對한 態度

(2) 金日成 死後體制에 對한 見解

(3) 政治指導者像 엘리뜨 充員 基準



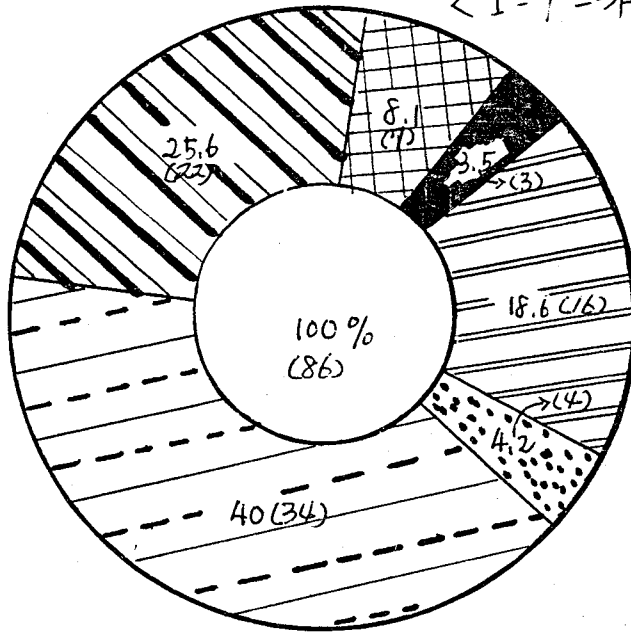
가. 權力指導層에 對한 態度

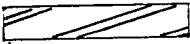
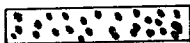




(1) 金日成 偶像化에 對한 態度

- 金日成 偶像化에 對한 態度
 - 都市人, 支配層은 革命經歷自體에 대해 否定的인 傾向
 - 農村, 被支配階層은 過度한 偶像化宣傳을 疑心

金日成 偶像化에 대한 態度

< I-1-가 >



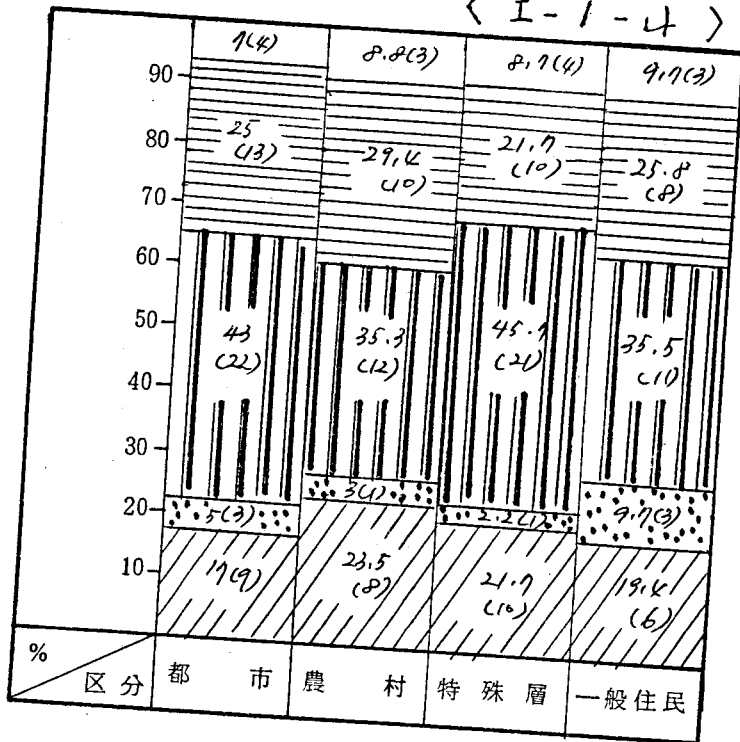
-  偉大한 指導者
-  革命의 天才
-  行跡이 믿어지지 않는다.
-  誇張直伝 속살을懷疑
-  其他
-  無回答

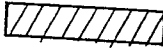
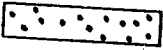


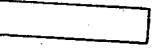
註) 金日成의 過去行跡에 對하여는 過半數

以上이 疑心

○ 其他는 假若 金日成으로 생각한다 等

< I-1-4 >



-  偉大の指導者
-  革命の天才
-  行跡が明白の英雄
-  誇張された信念の疑心
-  其他

註) 農村の都市に全日行跡を肯定的に評価

② 互に交わり全日行跡を疑心から懐疑的に評価

(2) 金日成 死後體制에 對한 見解

○ 有力視되는 後繼者의 成分

- 親族 (金正一, 金英柱 40%以上) → 軍幹部, 黨元老
(各 20%) → 黨少壯幹部의 順

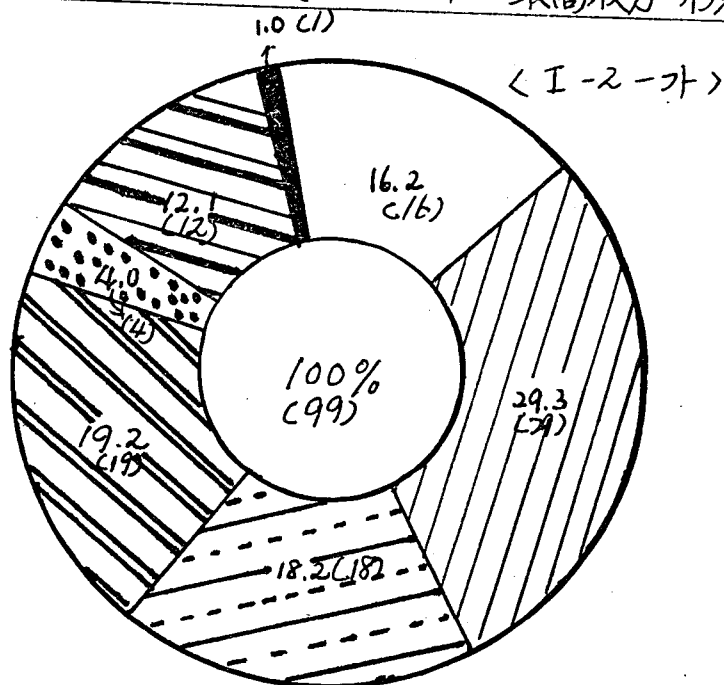
○ 豫想되는 權力形態





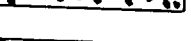


- 集團指導體制 (29.3%)
- 70年代는 金正一 1人 承繼可能性이 優勢
(63.6%)

○ 金正一 承繼可能性에 對한 展望

- 都市, 被支配層 ; 金正一 承繼可能性보다는 黨 序列에
따른 承繼可能性이 약간 높은 比重
- 農村, 支配層 ; 反對로, 黨序列에 따른 承繼可能性
이 약간 낮은 比重

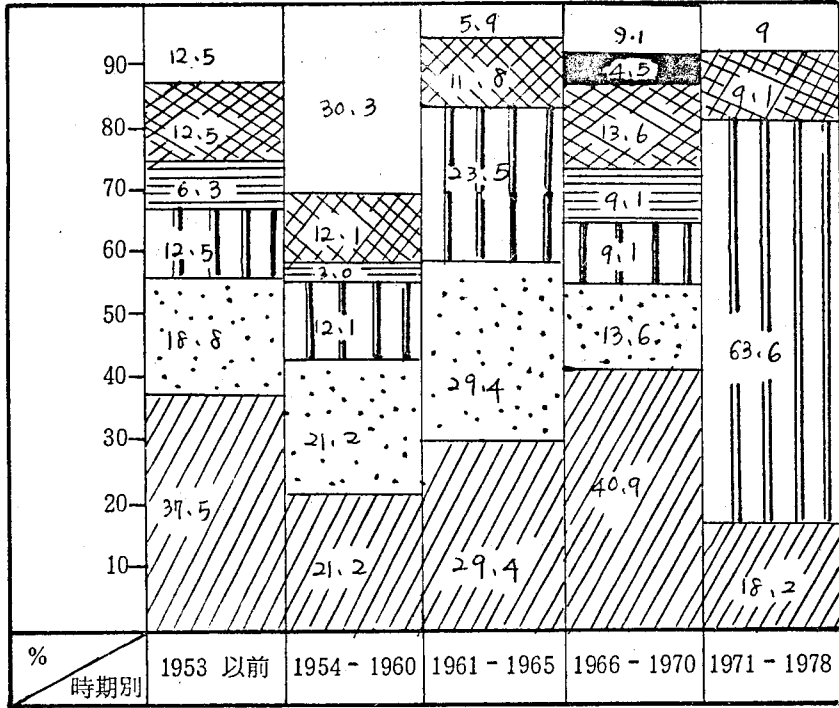
金日成 退陣後 予想される 最高权力 形態




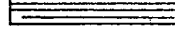





-  集团 指導体制
-  党序列上斗 人物承継
-  金正一承継
-  軍部人物承継
-  金英柱承継
-  其他
-  無応答

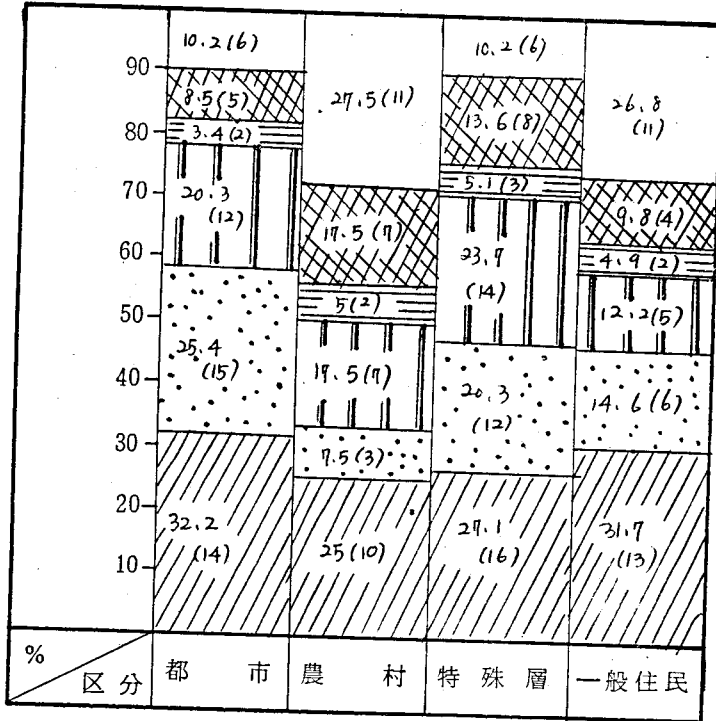
註) 集团 指導体制才 29.3% 至 優勢、
金正一 19.2% 至 弱勢


< I-2-4 >




-  採用指導體制
-  院序列上の人物承継
-  金正一承継
-  単部人物承継
-  金英柱承継
-  無應答
-  其他

< I - 2 - 4 >




 集团指导体制

 虎序列上的人物承继

 金正一承继

 单部人物承继

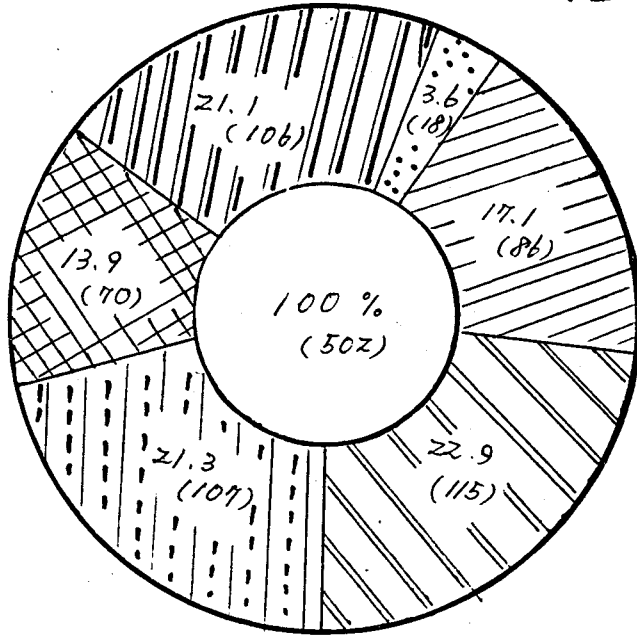
 全英雄承继







 其他

為都市外農村地域向，階層向 差异別差

全日茂死後子想列之有力世後継者

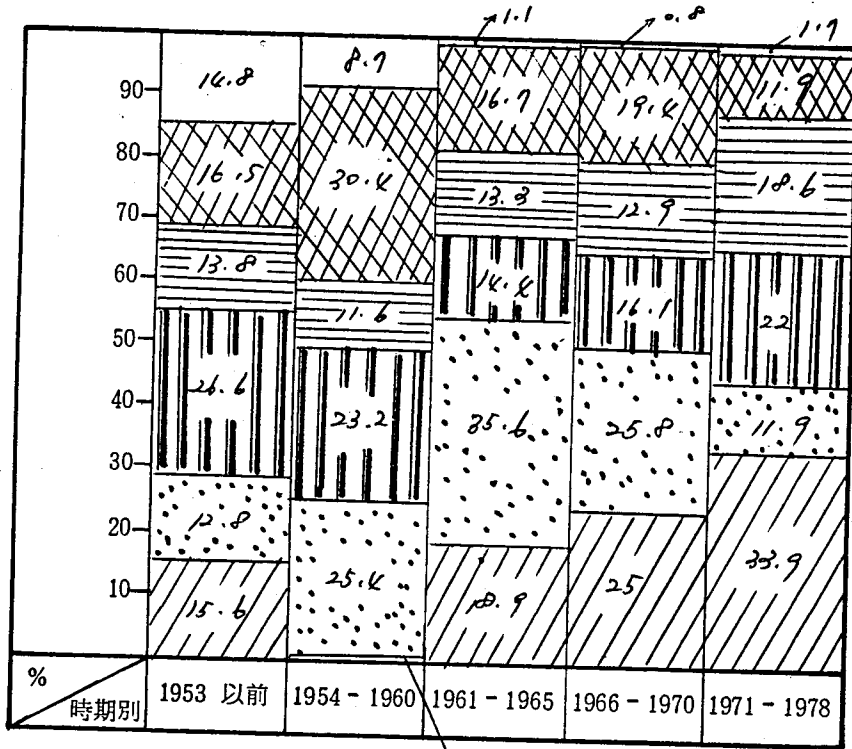
< I-3-7 >




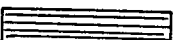
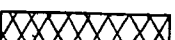



-  金正一
-  金英柱
-  卓將星
-  虎少壯幹部
-  虎老壯幹部
-  高級官僱、

註) () 之加重値

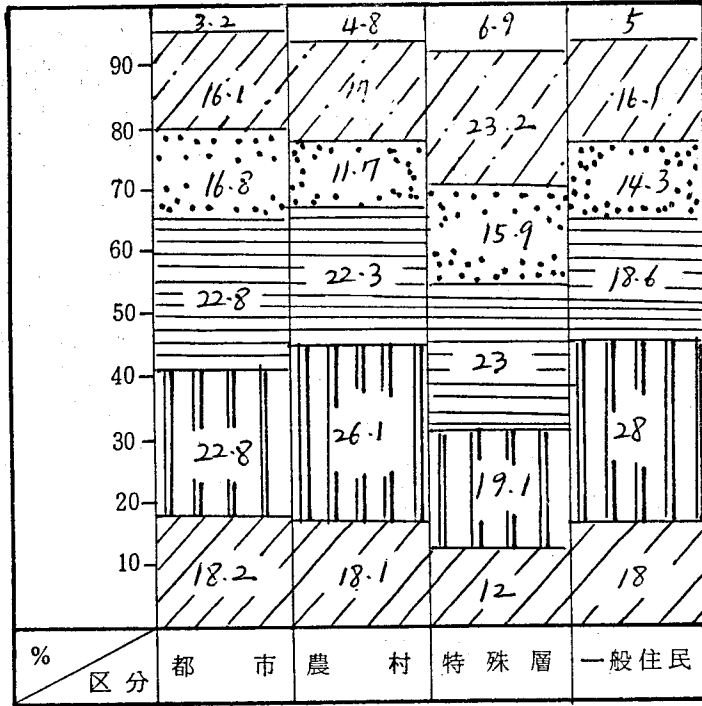
< I - 3 - 4 >


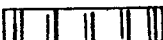
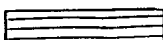
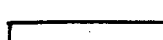


-  金正一
-  金英柱
-  单将星
-  院少壮干部
-  院老壮干部
-  高级官僚

註) 53年以前 金正一後継応答之率

<工-3-4>



-  全正一
-  全英狂
-  單符蛋
-  虎少壯幹部
-  虎老壯幹部
-  高級官僚

(3) 政治 指導者像, 엘리트 充員基準

○ 党幹部의 昇進要件

— 党性 優先 原則

→ 党性 (成分, 熱誠) (61.6%), 專門知識 및 教育
水準 (34.8%) 의 順

— 專門性 比重이 上向趨勢

○ 政權機關員의 資格要件

— 党性 優先 原則

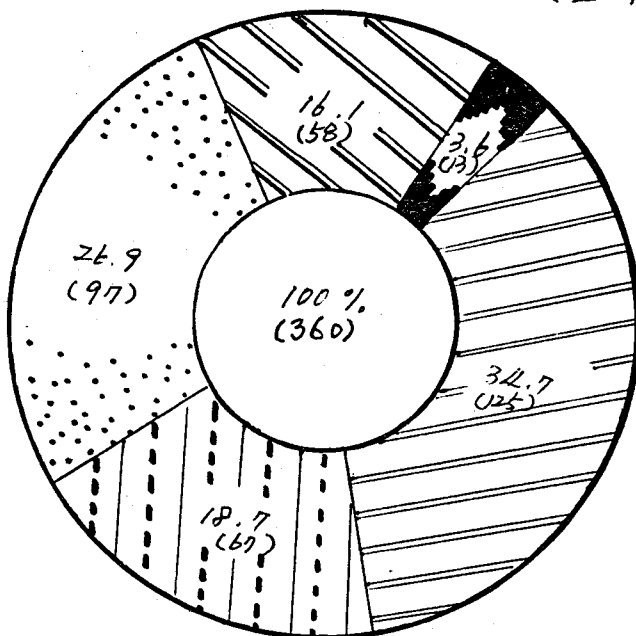
→ 党性 (58.1%), 專門性 (42%)

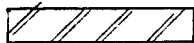
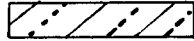
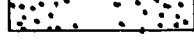


— 專門性 比重이 上向趨勢

(專門知識·技術要員確保)

党幹部 昇進 要件

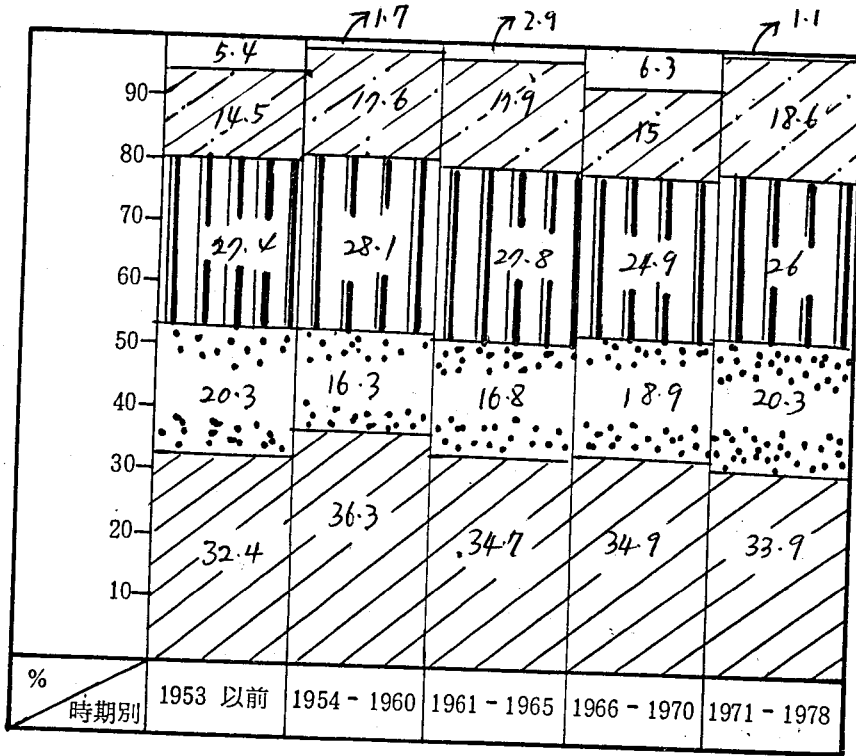
< I-4-7 >



-  成分
-  専門知識、技術
-  熱誠度
-  教育水準
-  其他

註) () 是 加算値

< I-4-4 >



成分

专门知识、技术

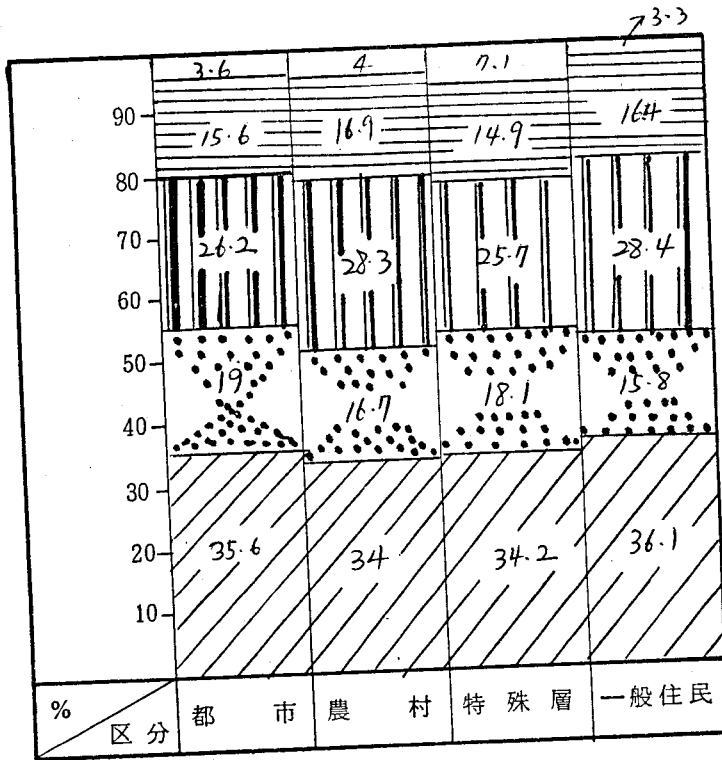
熟练度

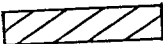

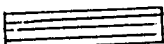
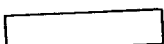
教育水準

其他

註) 专门知识及技术在70年代
에 들어 크게 사용되려傾向

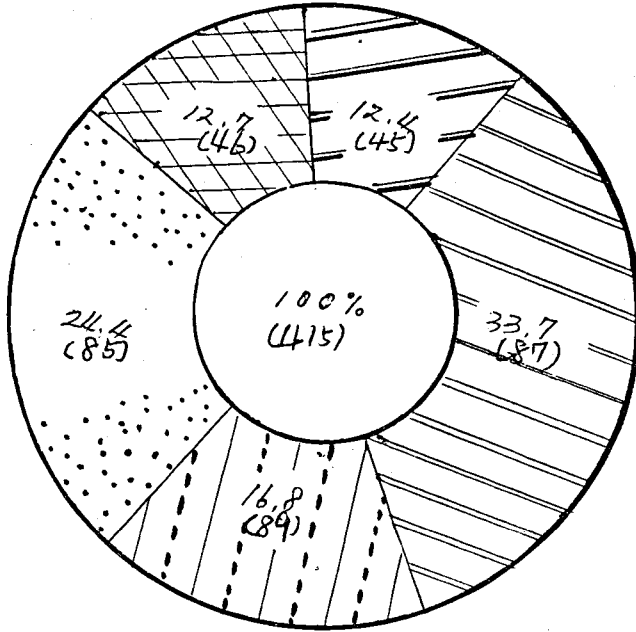
< I-4-2 >

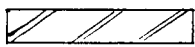
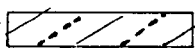
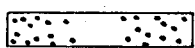
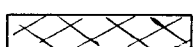



-  其他
-  專門知識、技術
-  熱誠度
-  教育水準
-  其他

政務員斗資格要件

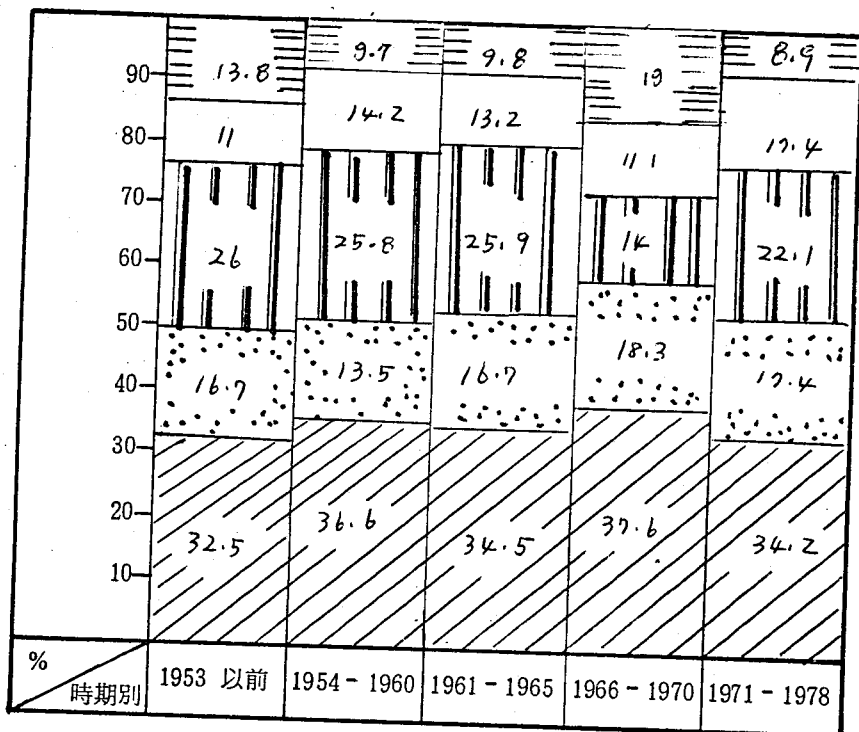
<エ-5-オ>

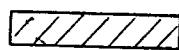

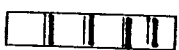
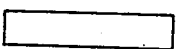
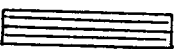


-  成分
-  専門知識、技術
-  熱誠
-  教育水準
-  軍隊背景

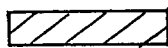
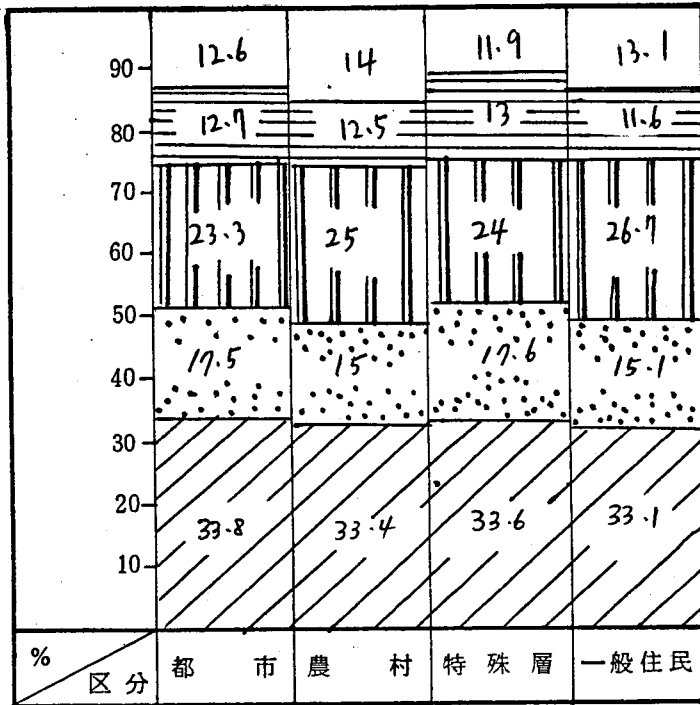
註) () 是加重値

< I - 5 - 4 >



-  成分
-  专门知识 技术
-  热诚
-  教育水准
-  军队背景

<工-5-4>



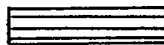
成分



專門知識・技術



熱誠

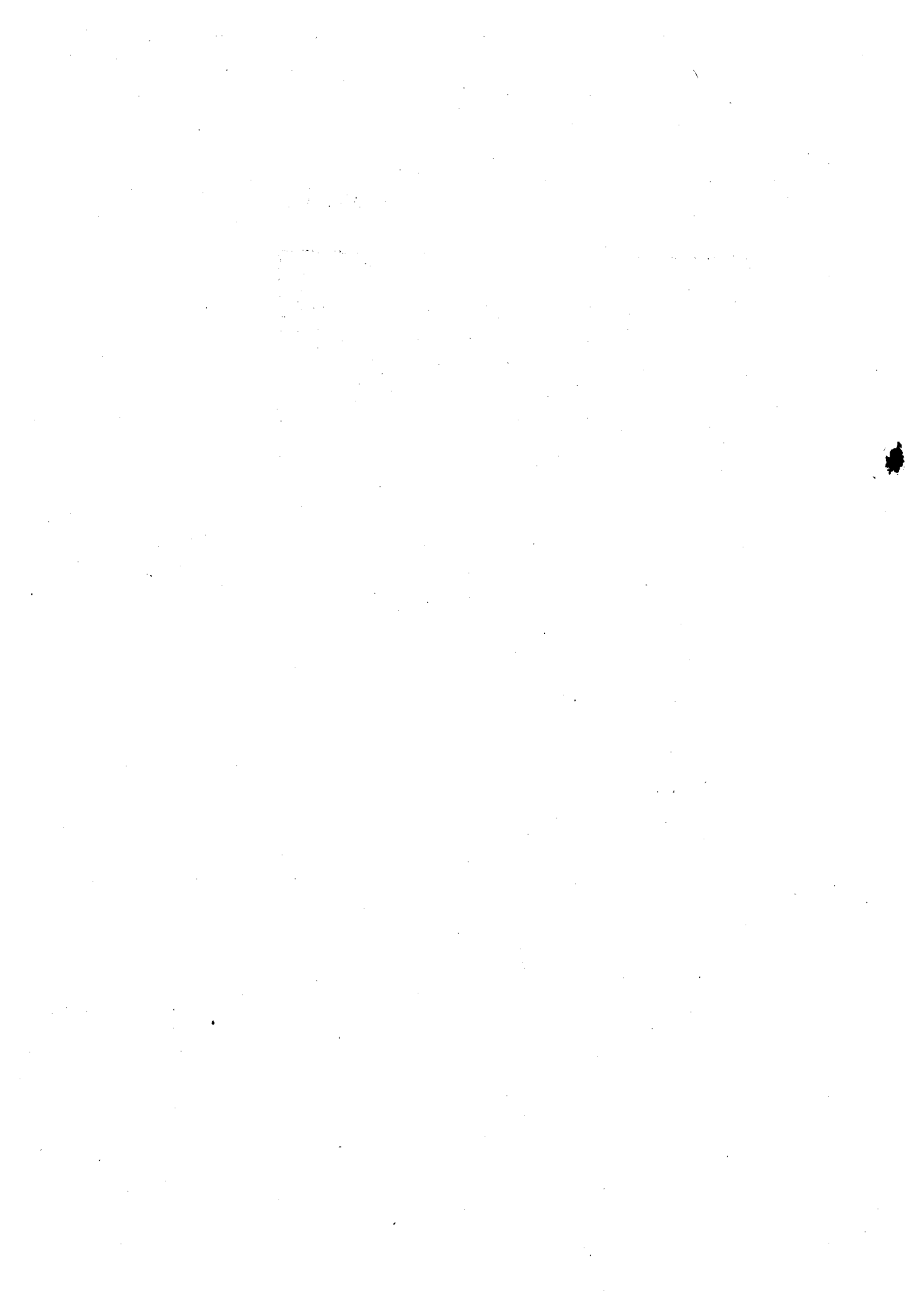


教育水準



軍隊背景

註) 地域別、職業別
階層間と區別の
成分を重視する
傾向



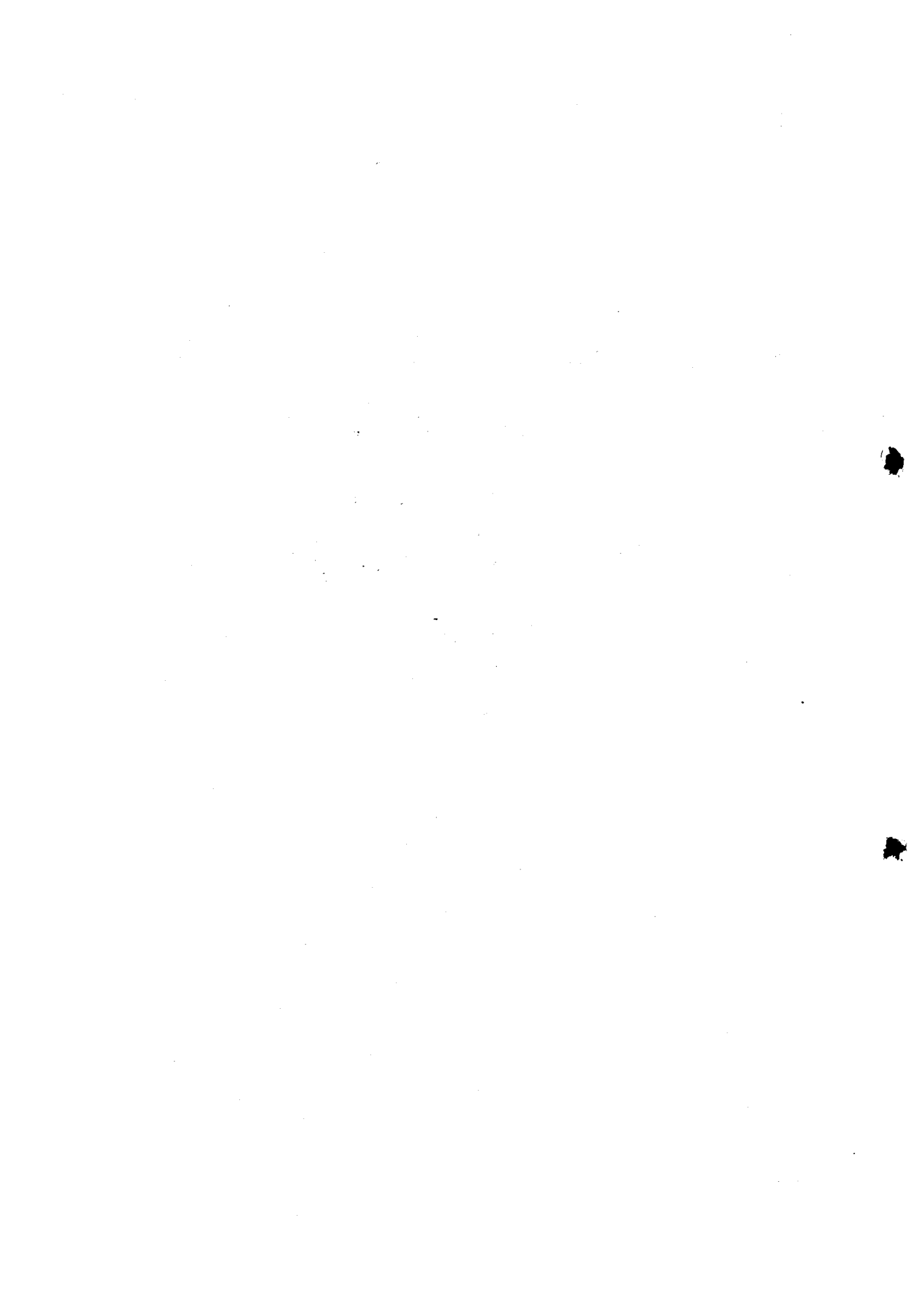
나. 体制에 对한 態度

(1) 体制 肯定要因

(2) 体制 否定要因

(3) 政治的 커뮤니케이션

(4) 法意識 및 遵法精神



나. 體制에 對한 態度

(1) 體制 肯定要因

- 參政權 (選舉) 에 對한 認識
 - 消極的 認識이 圧倒的
 - 黨의 權威에 承服하여 投票 (41.5 %)
 - 選舉 不參時 監視, 報復이 두려워 (39.4 %)
 - (比較的 都市地域, 支配層에서 強함.)

- 黨政策에 對한 支持 理由
 - 計算的 參與
 - 精神的 補償期待 (出世 34.4 % 增加傾向, 都市地域, 支配層에서 比較的 強함)
 - 物質的 補償期待 (配給을 受받기 위해 18.8 %, 減少趨勢, 農村地域, 被支配層에서 比較的 強함)
 - 疏外的 參與 (60年代後半 以後 增加趨勢)
 - 強壯的 統制手段에 順応 (33.3 %)
 - 規範的 (normative) 參與
 - 共產主義에 對한 信念 (都市地域 支配層에서 比較的 強함)

- 黨政策의 受容形態
 - 積極的 受容 (60年代 後半以後 增加趨勢)
 - 積極的 批判 (10.2 %)
 - 積極的 理解 (10.2 %)
 - (都市地域, 支配層이 比較的 強함)

— 消極的 受容

盲從, 沈黙 (73.2 %)

(都市地域이 農村地域보다 더 盲從態度)

○ 政治的 制裁의 形態

— 心理的制裁 (自我批判, 社會로부터의 疏外, 社會的機會剝奪, 家族彈壓等) → 增加趨勢

○ 黨政策, 政權에 對한 期待 및 關心

— 消費生活, 社會福祉에 對한 期待

(70年代以後 48 %)

— 40 ~ 50年代의 政治的獨立에 對한 關心은 70年代以後
經濟成長, 軍事力 強化로 轉換

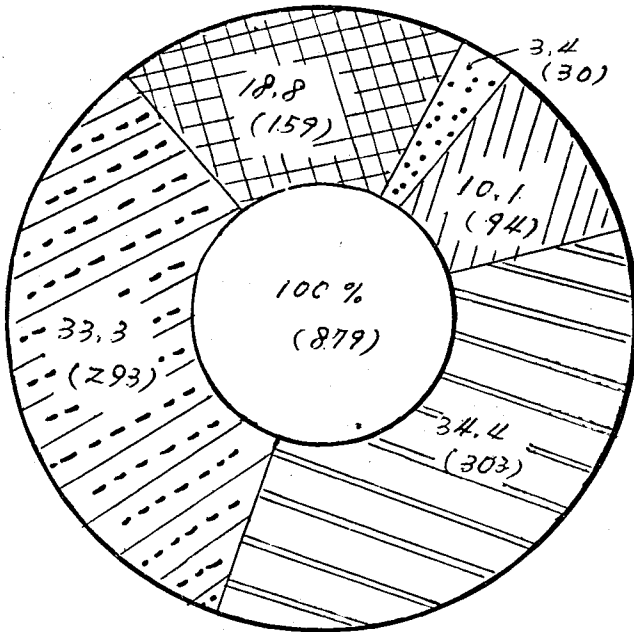
— 統一에 對한 期待는 높은 水準 維持 (31.5 %)



○ 政治엘리트 (黨幹部)에 對한 認識

— 特權支配階級으로 보는 否定的 見解 圧倒的 (71.6 %)

党政策支持理由

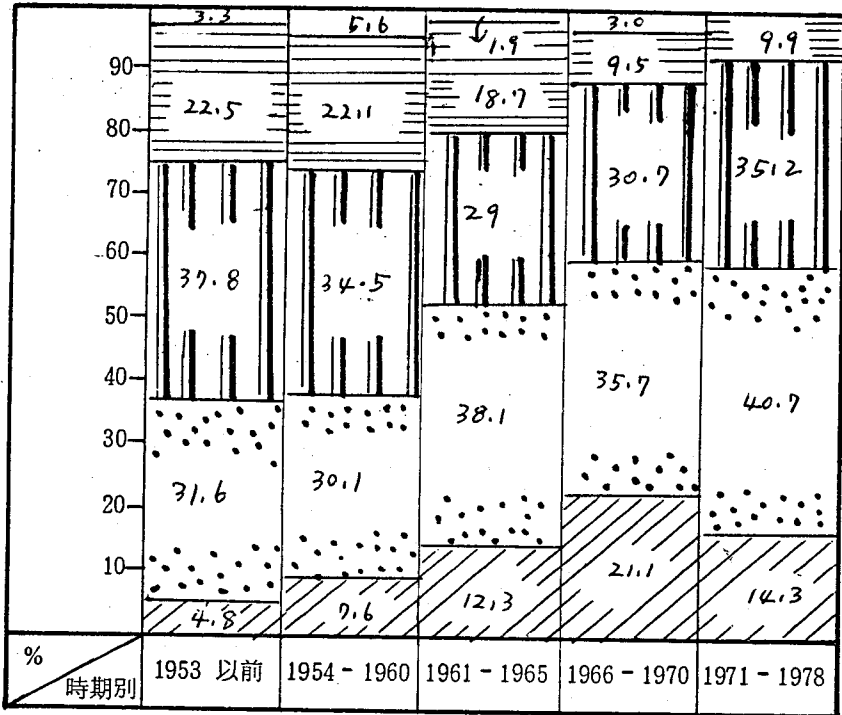
< 工 - 6 - 7 >

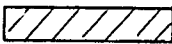
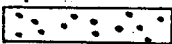

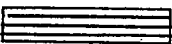



-  共産主義 勝利 確信
-  出世
-  批判이 두려워
-  配給 량이 받기 위해
-  其他

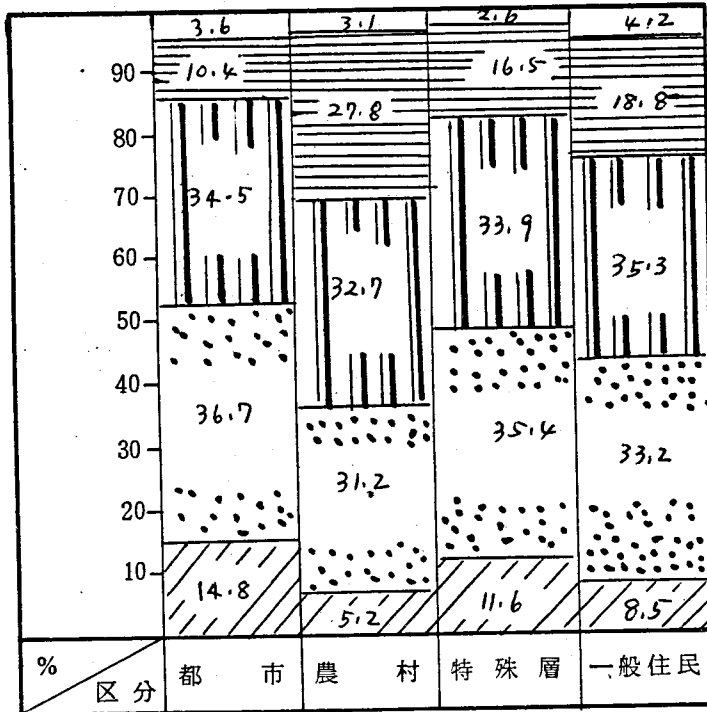
註) () 之 加重值

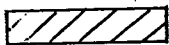


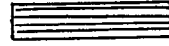
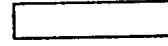
< I - 6 - 4 >



-  英産主義 勝利 確信
-  出世
-  批判 두려워
-  供給 많이 받기 위해
-  기타

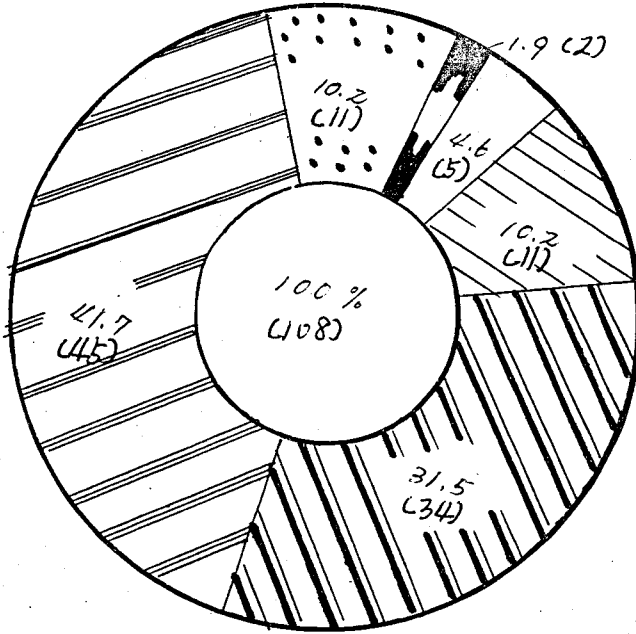
< I - 6 - 4 >

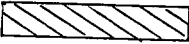




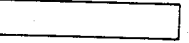


-  共產主義 勝利 確信
-  出世
-  批判 두려워
-  配給을 호이 받기 위해
-  其他

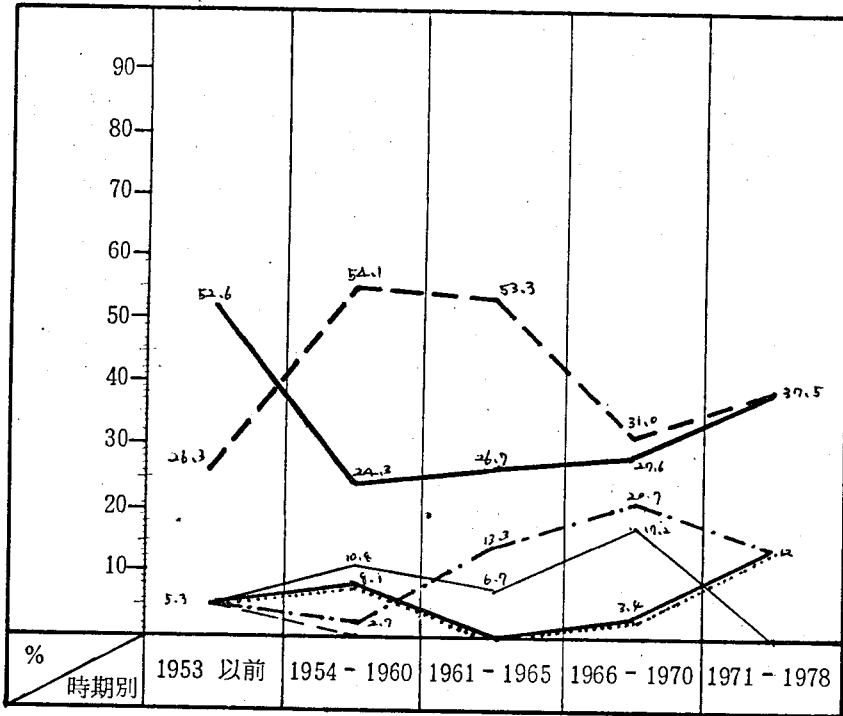
党政策에 對한 異教提起方法

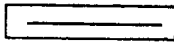
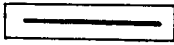
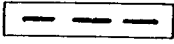
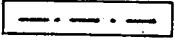
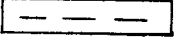
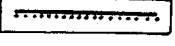
< I-7-7 >



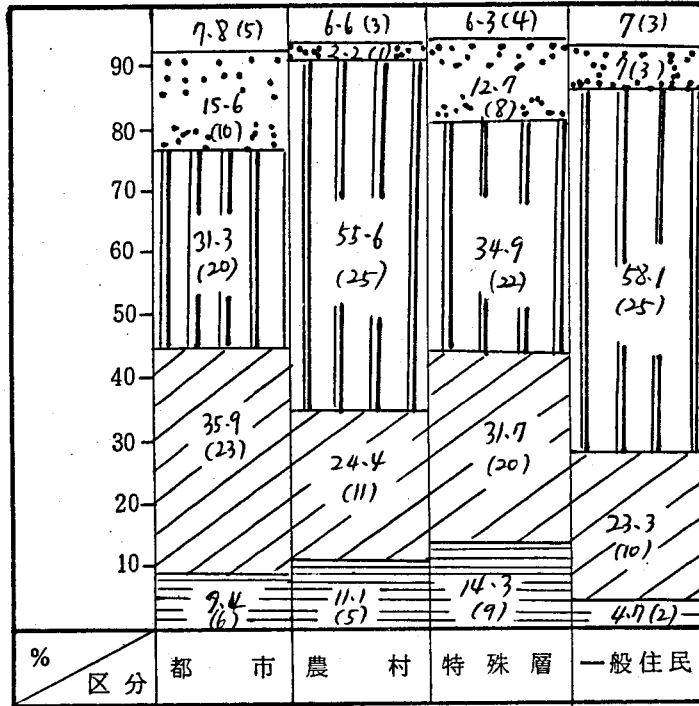
-  文句上에서 提示
-  沈黙
-  盲從
-  積極的理解
-  其他
-  無回答

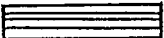


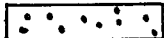
< I - 7 - 4 >



-  交刺席上州外 提示
-  沈黙
-  盲従
-  積極的理解
-  其他
-  無応答

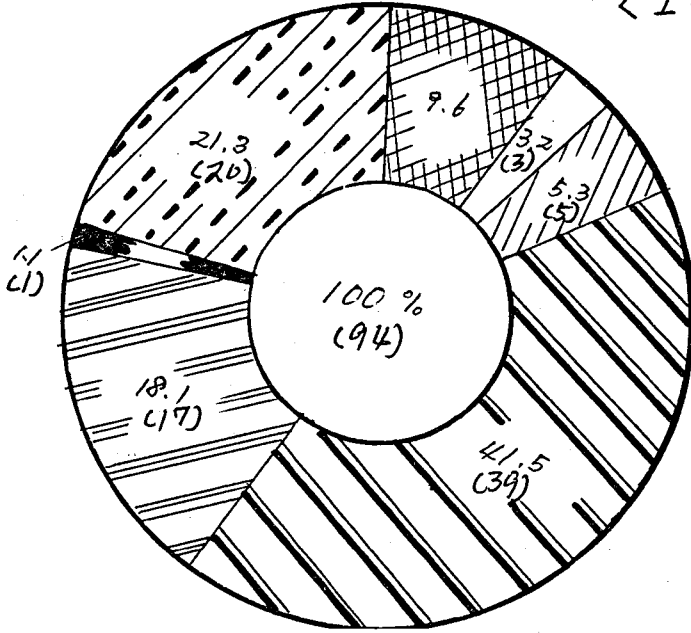
< I-7-24 >





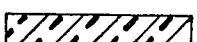




-  教科書上のみ提示
-  沈黙
-  盲従
-  積極的理解
-  其他

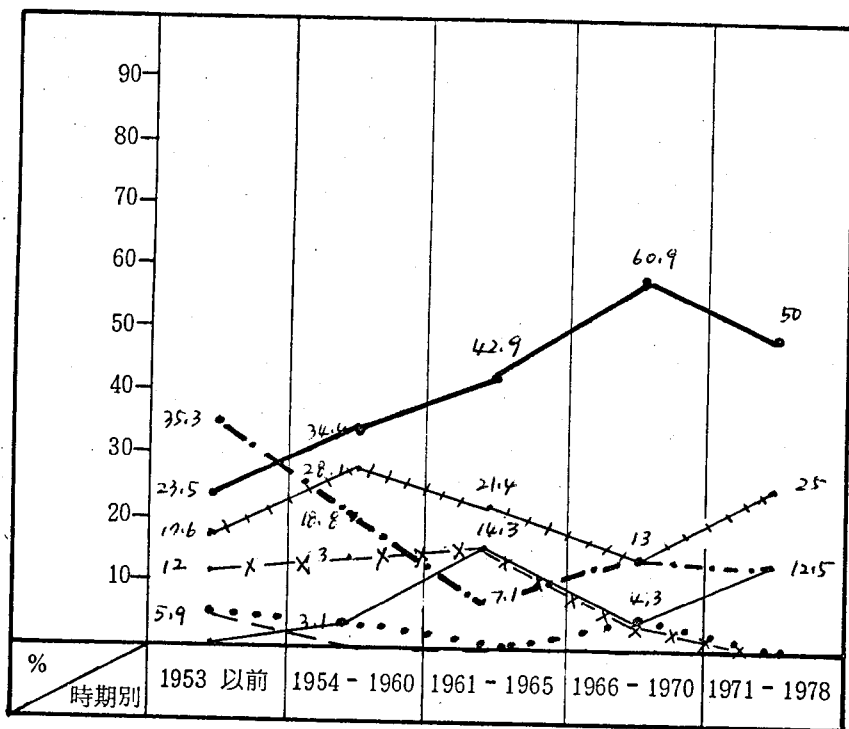
選挙の対立認識

< I-8-ア >



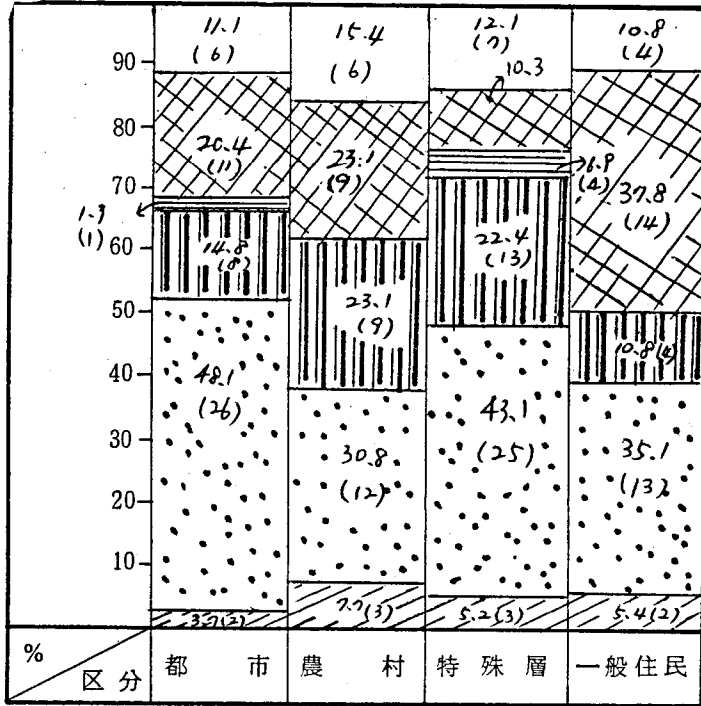
-  参政権行使
-  党指名無条件行使
-  不参踔報復等除外
-  候補者資格
-  監視等除外
-  其他
-  无応答

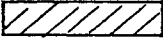


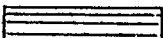
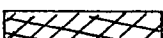
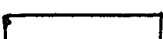
註)其他は 反对投票に
 反対だの意見等



- 考政權行使
- 黨指名, 無條件行使
- · - · - 不考慮報復手段
- - - - 候補者資格
- + + + + 監視外手段
- x - x - 其他
- · · · 無回答

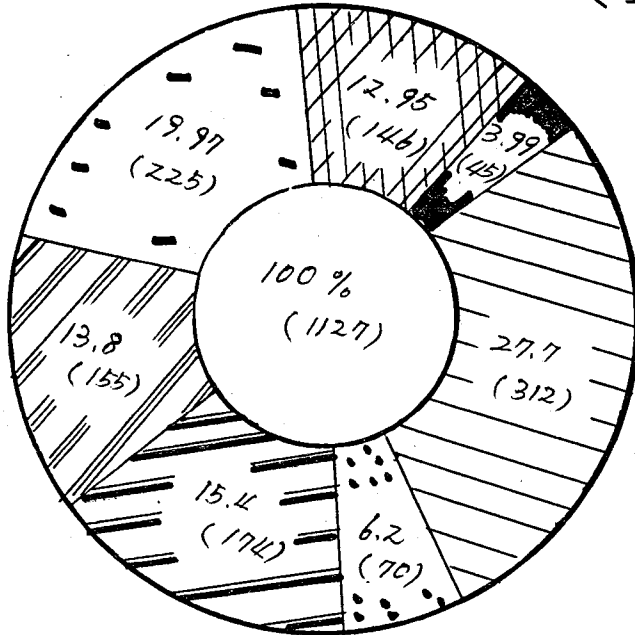
< I - 8 - 4 >

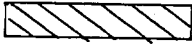



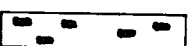

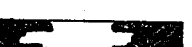


-  參政權行使
-  黨指名無條件行使
-  不參時報復等外
-  候補者資格
-  監視等外
-  其他

우리위하는 制裁의 形態

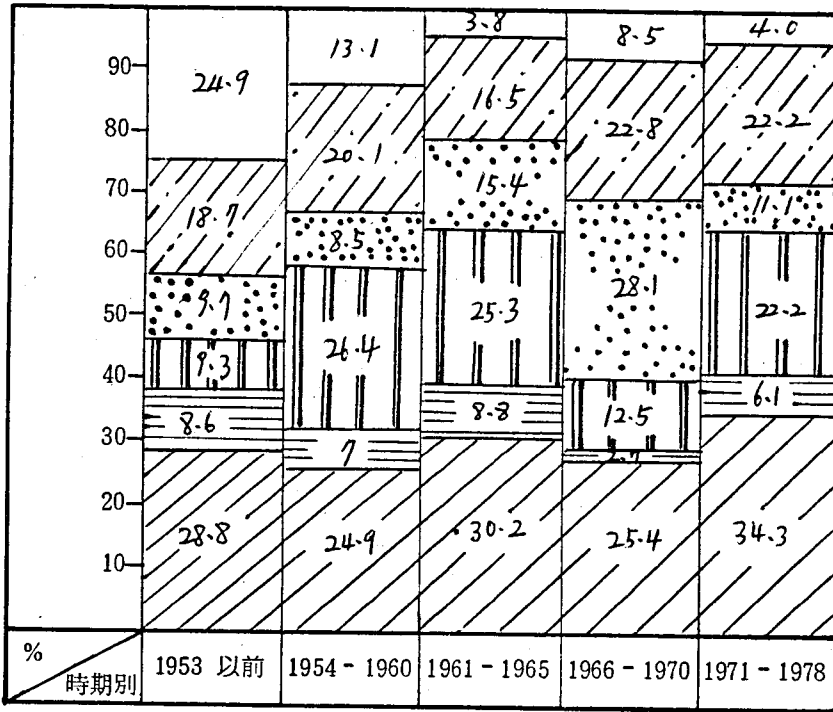
< I-9-7 >

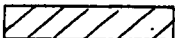
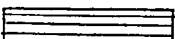

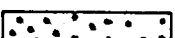
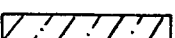
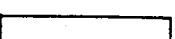


-  自我批判 言 処罰
-  配給減少
-  疎外
-  出世機會 遮斷
-  家族被辱
-  肉体的苦痛 卽 物理的暴力
-  其他

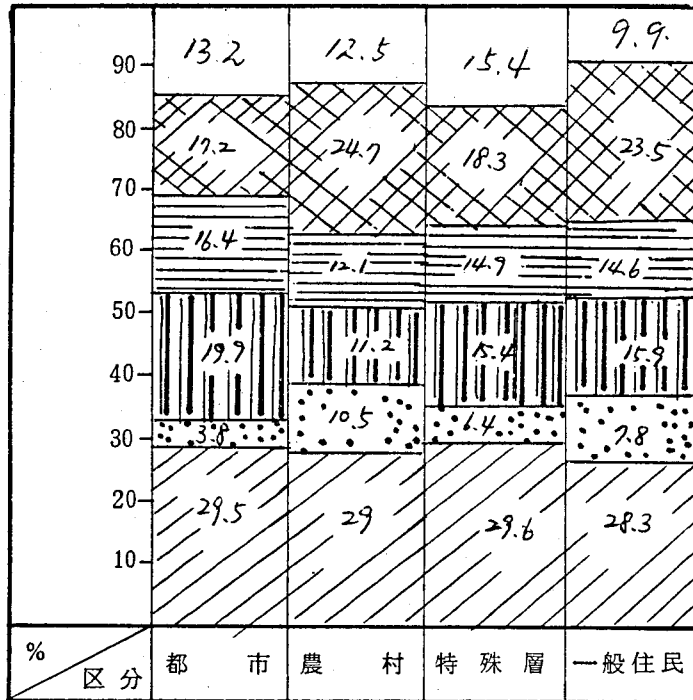
註, () 是 加重值




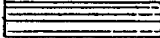


< I - 9 - 4 >



-  自我批判及 処罰
-  配給減少
-  疎外
-  出世機会遮断
-  家族被害
-  肉体的苦痛乃至 死亡

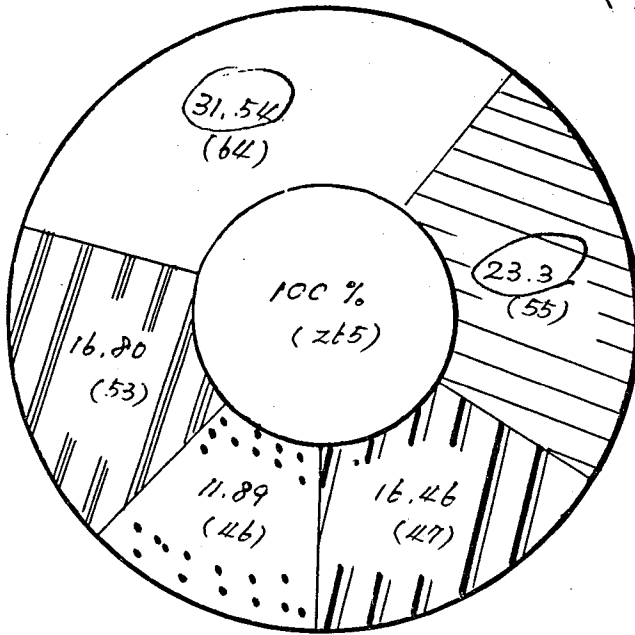
< I - 9 - 4 >



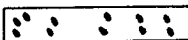

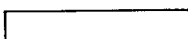


-  自我批判与処罰
-  配給減少
-  疎外
-  出世機会遮断
-  家族被害
-  肉体的苦痛以及暴力

党(國家)政策の対世期待の関心

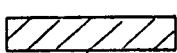
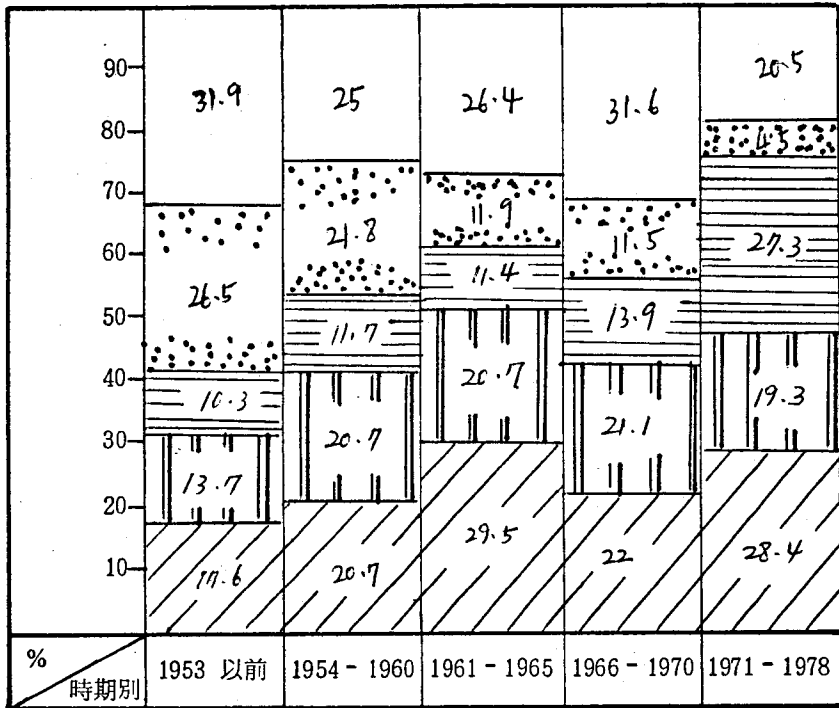
< I-10-7 >



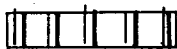
-  消費生活水準の向上
-  社会福祉の増進
-  経済成長、軍事力強化
-  政治的独立
-  南北統一

註()は加重値

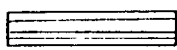
< I-10-4 >



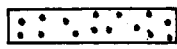
消費生活水準向上



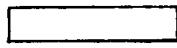
社會福祉增進



經濟成長, 軍事力強化

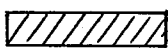
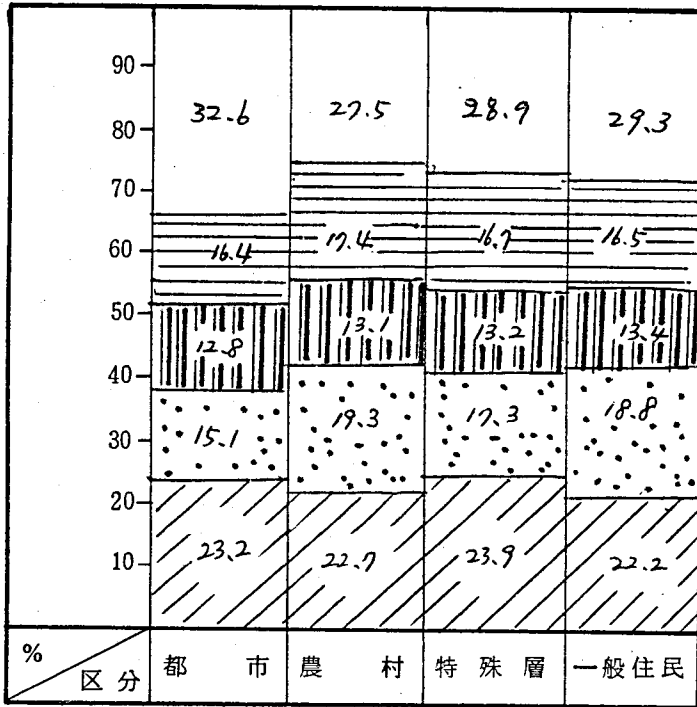


政治的獨立

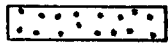


南北統一

< I-10-4 >



消費生活水準向上



社会福祉増進



経済成長、軍事力強化

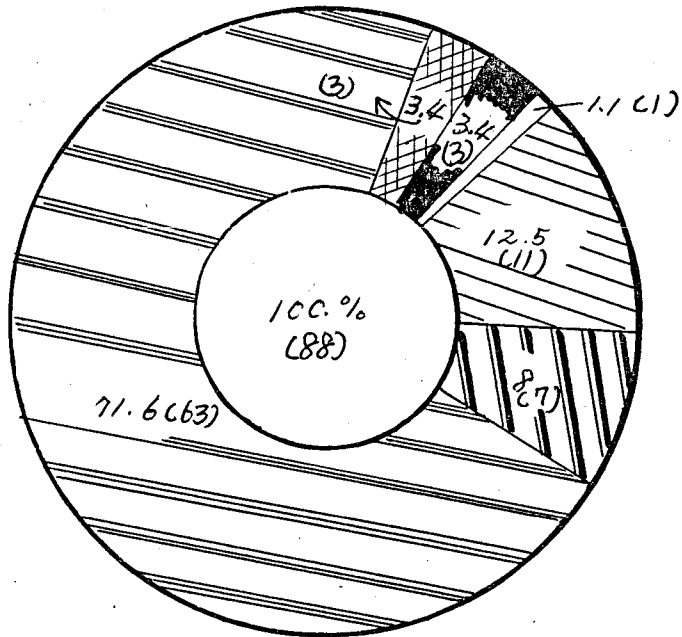


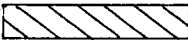


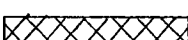
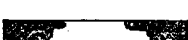
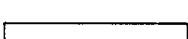
政治的独立



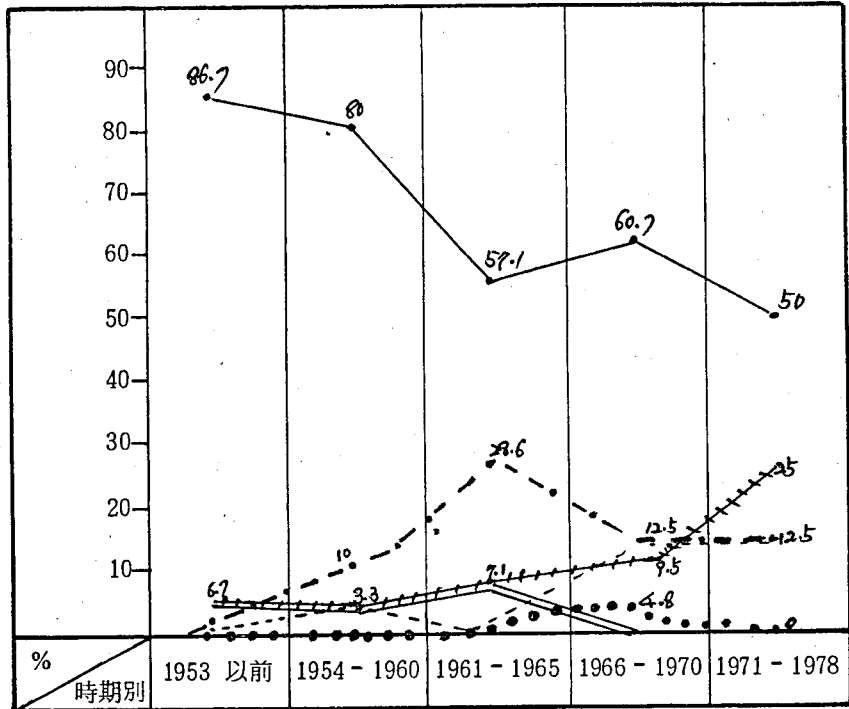
南北統一

註) 都市と農村地域の社会福祉傾向



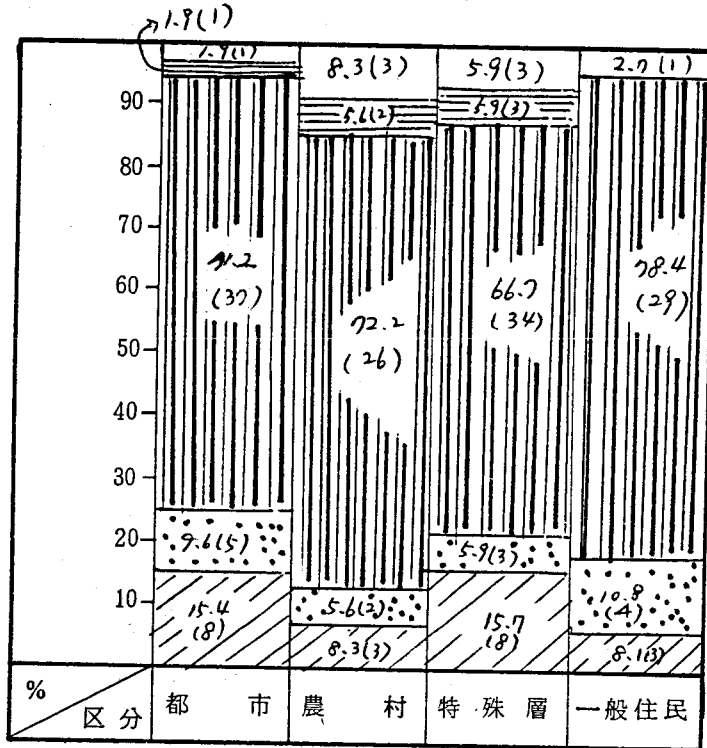
-  社会与模範的前衛
-  人民与领导者
-  特权支配階級
-  人民与奉仕者
-  其他
-  无应答




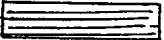
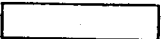
< I - 11 - 4 >



- · - · - 社会与模範的前衛
- / - / - 人民的指導者
- 特权的支配階級
- - - - - 人民的奉仕者
- = = = = = 其他
- · · · · 無應答

< I-11-4 >



-  社会斗 模範的 前衛
-  人民斗 指導者
-  特权支配階級
-  人民斗 奉仕者
-  其他

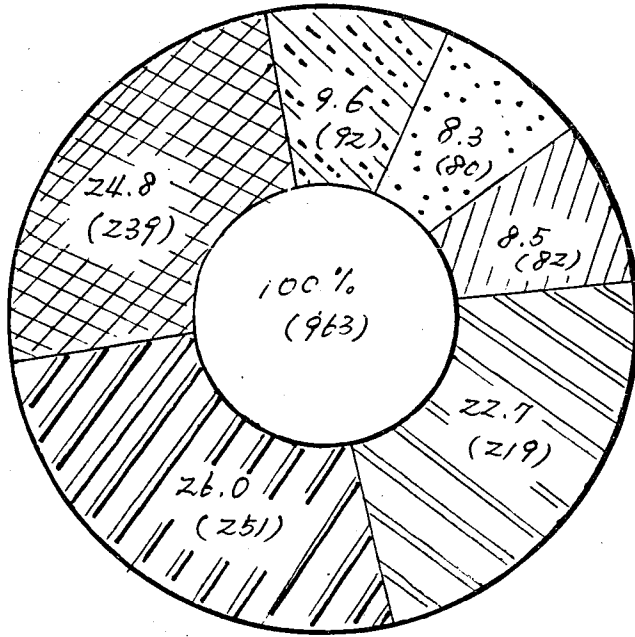
註) 特殊層斗 一般住民斗 党幹部是
 已经是 特权支配階級斗 这些 性同


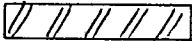

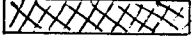
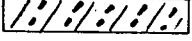
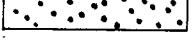
(2) 體制 否定要因

- 政治的 不滿의 理由
 - 組織生活 ↔ 彈壓政策, 勞力動員 → 宣傳과 實際의 乖離
順 (體制에 對한 不滿보다 個人生活의 侵害, 不自由에 對한 不滿이 強함)
 - 特히 組織生活에 對한 不滿 增加趨勢 (70年代 48.1%)
 - 時期的으로는 彈壓政策, 勞力動員에 對한 不滿이 減少 傾向이나 一般住民의 경우는 不滿 계속
 - 60年代, 指導層內 權力鬭爭에 對한 不滿이 높음 (當時 政治的 不滿을 反映)
 - 比較的 都市地域, 支配層에서 權力鬭爭에 對한 不滿이 높음
- 組織生活에 對한 不滿理由
 - 批判에 對한 嫌惡 (個人生活의 侵害 嫌惡, 集團主義 文化에 對한 基本的 抵抗 殘存)
- 政治的 統制에 對한 憎惡對象
 - 黨, 秘密警察 (國家政治保衛部), 治安機關 (社會安全部) 의 順

政治的不滿理由

< I - 12 - 7 >

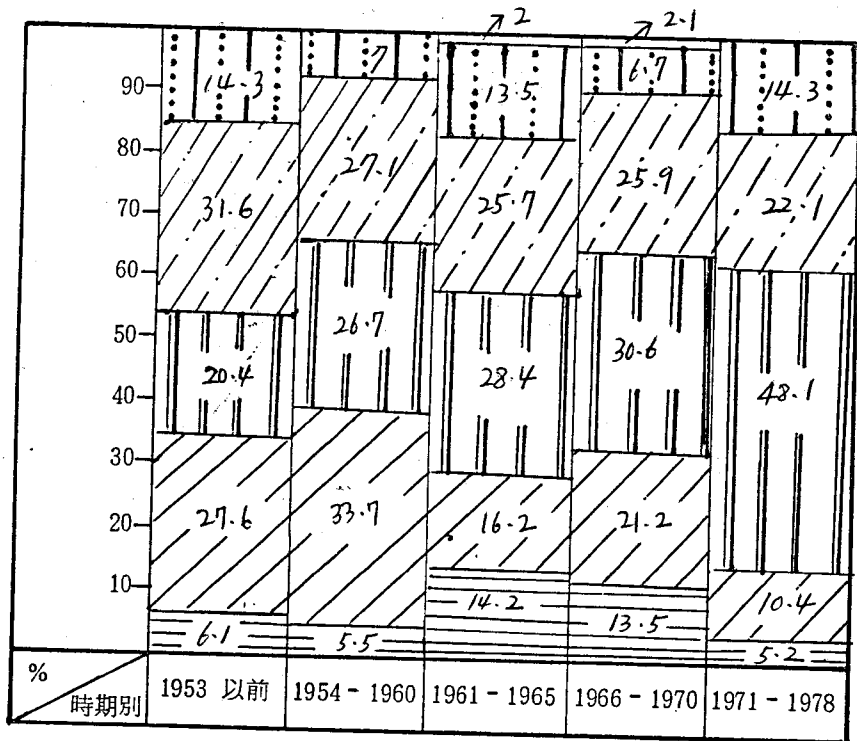


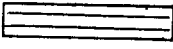
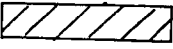
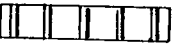
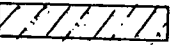


-  權力爭鬥 政治的不安
-  解壓與勞力動員
-  組織生活
-  這反映實際的矛盾
-  特權階層的不滿
-  其他

註()之加總值

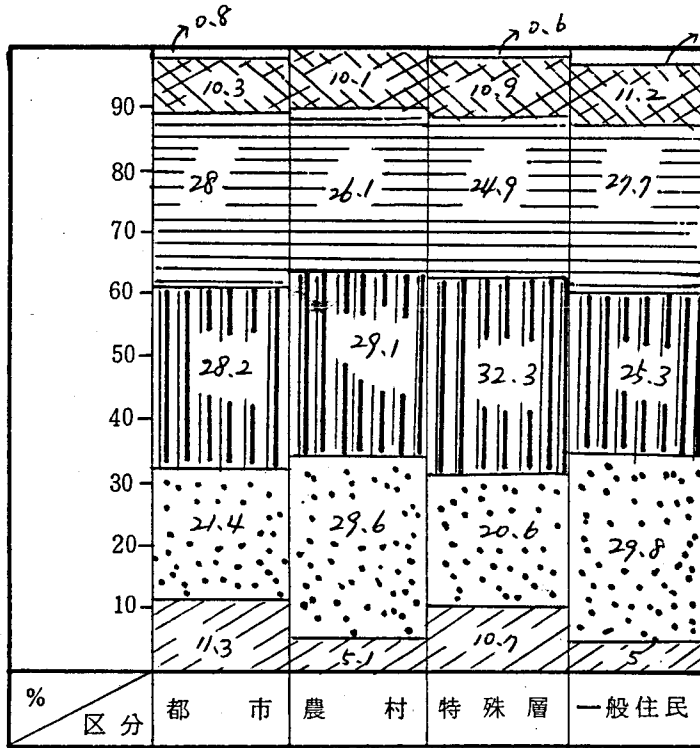
政治的

(I-12-4)



-  權力鬥爭與政治的不安
-  彈壓與勞力動員
-  組織生活
-  宣傳與實際的矛盾
-  特殊階層對社會不滿
-  其他

< I-12-4 >



權力鬭爭 및 政治的 不安

彈压 및 勞力動員

組織生活

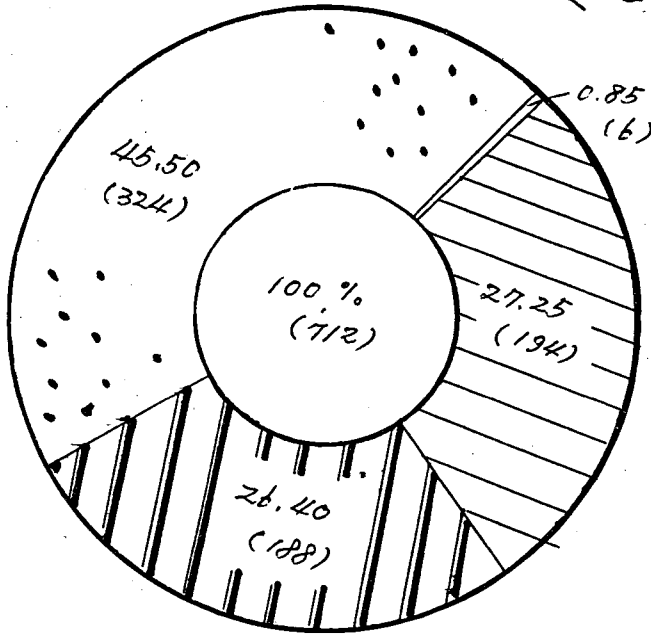
宣傳과 實際의 矛盾



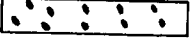
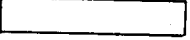
特殊階層에 對한 不滿

其他 (註) 農村이 都市보다 勞力動員에 對한 不滿이 큰 便이며 支配層과 被支配層이 深刻한 便임

組織生活に対する嫌悪感

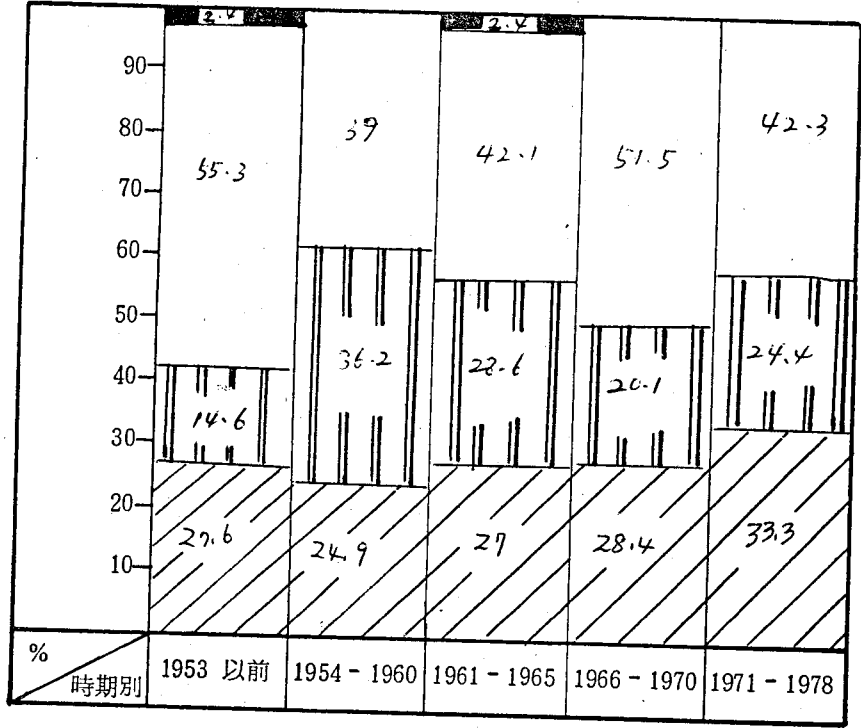
< I-13-7 >



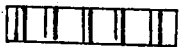
-  人民班
-  5年担当制
-  自我批判、相互批判
-  其他

註) () 之 加重値

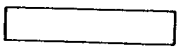
< I-13-4 >



人民班



生产担当制

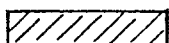
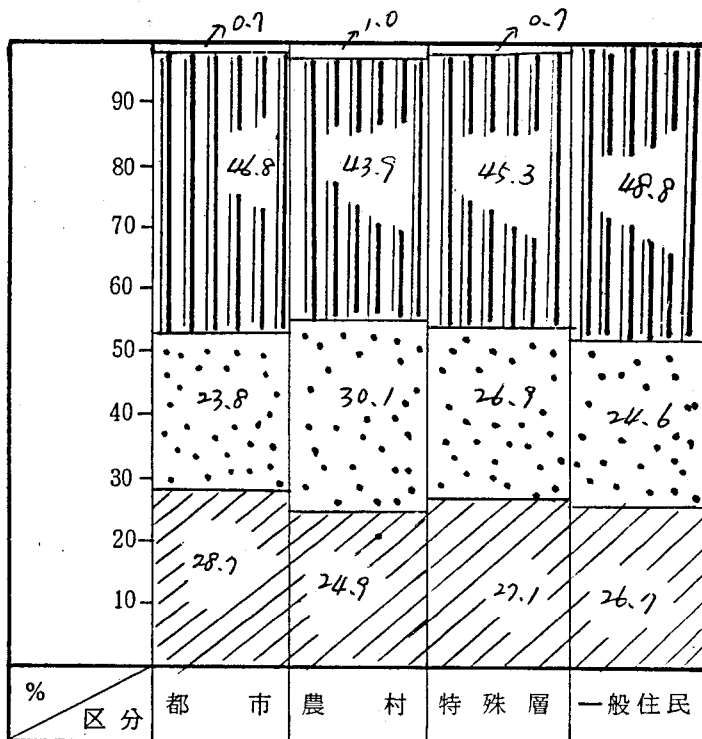


自我批判, 相互批判



其他

< I-13-4 >



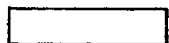
人民班



5戸担当制



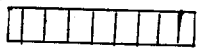
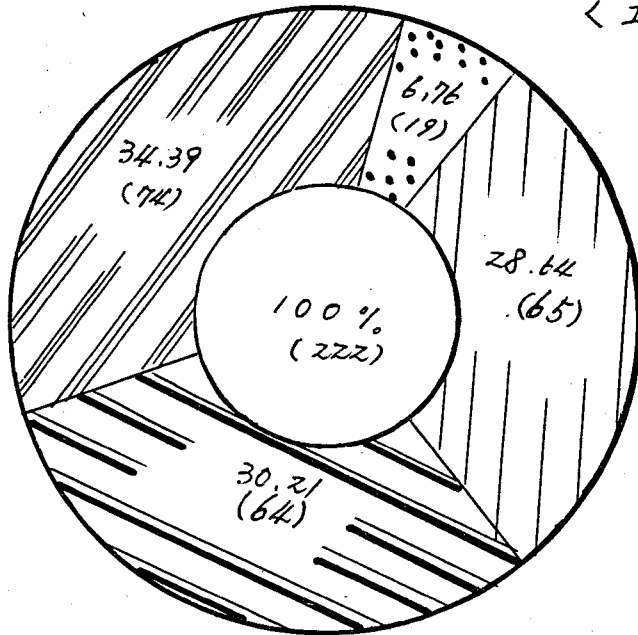
自我批判、相互批判



其他

統制機關に對する嫌惡感

< I-14-A >



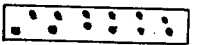
労働庁



国防政治保安部



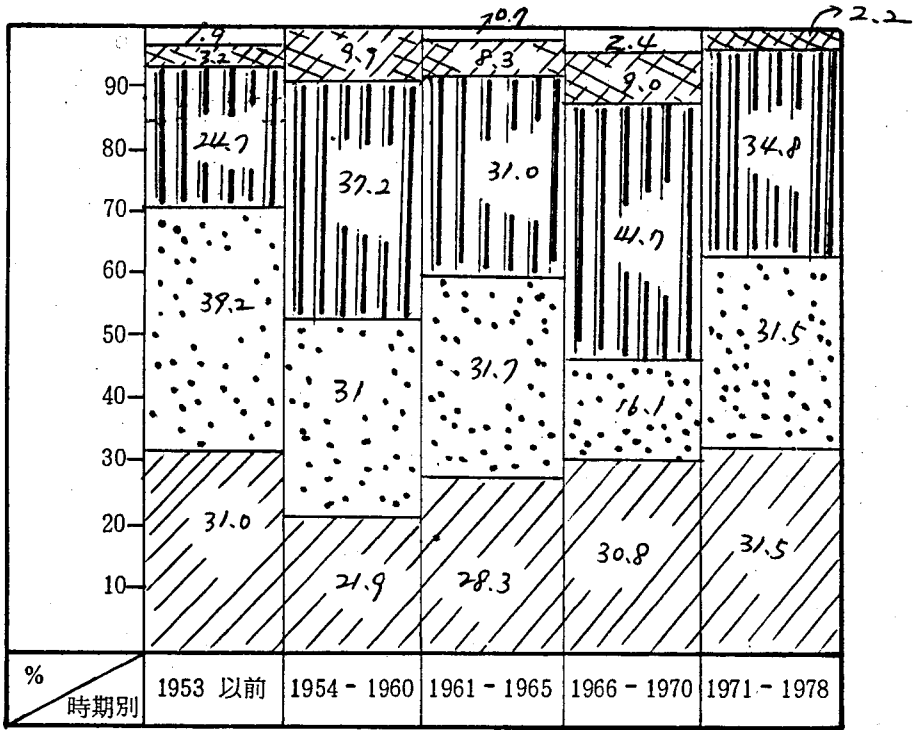
社会安全部



警察庁

註) () 之 数字为

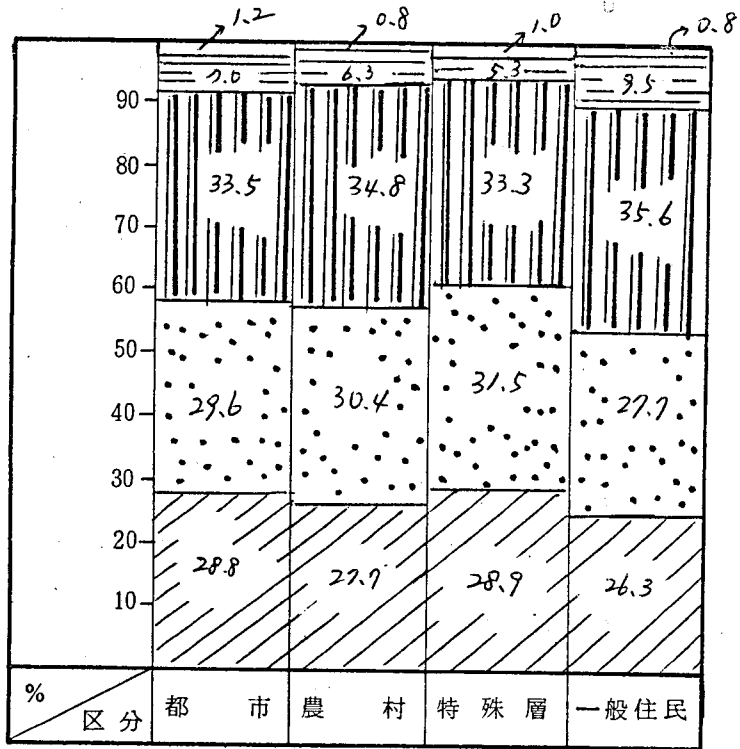
< I - 14 - 4 >

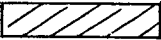
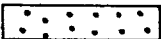

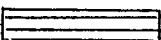
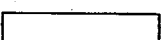


- 劳动党
- 国家政治保卫部
- 社会安全部
- 检察院
- 其他

註) 北韓에서의 檢察의 統制機能之別로 問題가 되고 있는 점

< I-14-2 >



-  労働党
-  國家政治保衛部
-  社会安全部
-  檢察所
-  其他

(3) 政治的 커뮤니케이션

① 政治的 要求의 上達 通路

— 크게 制限

人民裁判에 對한 異議 提起方法 없다. (51%)

行政作用에 對한 異議 提起方法 없다. (22%)

— 公式的이고 制度化된 行政的 通路보다 非公式的이고

政治的인 通路가 重要視됨

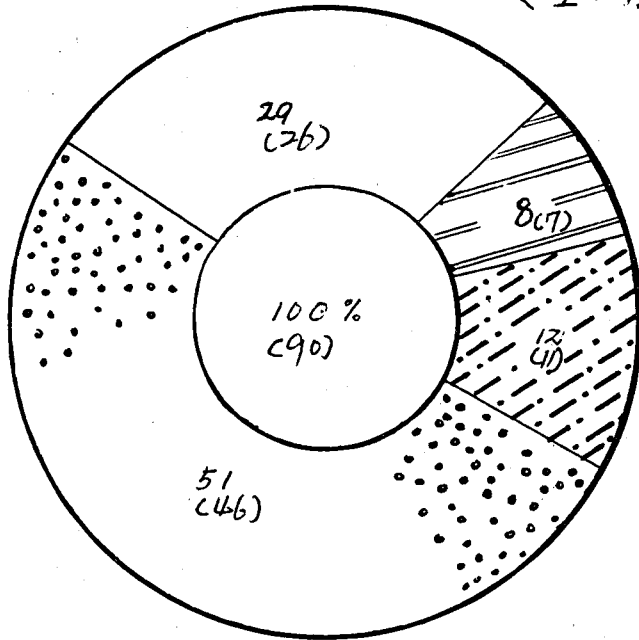
黨幹部나 指導者에 陳情 (47% , 上向趨勢)



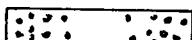
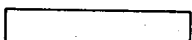
黨機關에 訴願 (15 ~ 25%)

裁判所에 提訴 (10% 以下 , 上向趨勢)

人民裁判에 대한異說 提提 方法

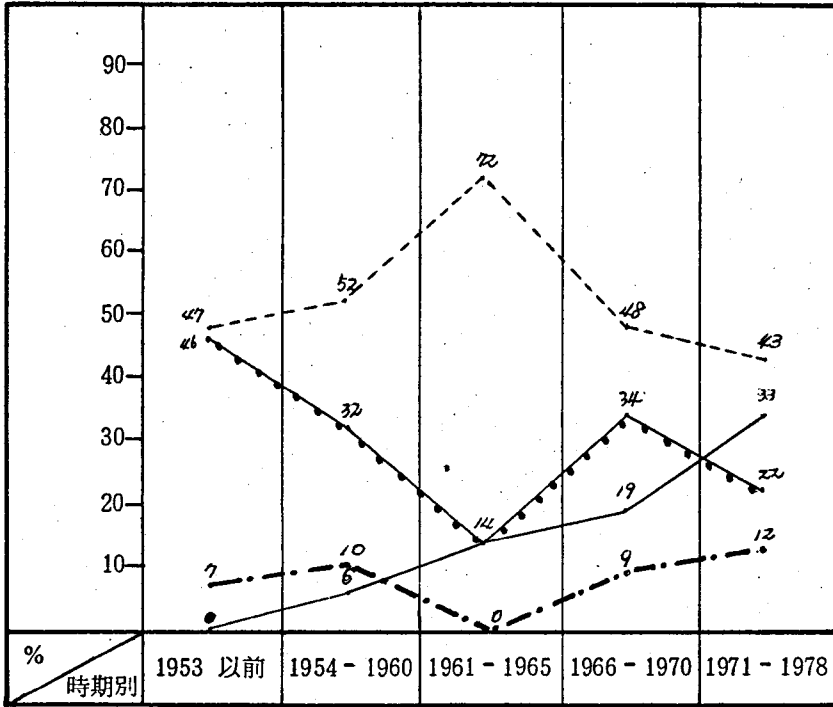
< 工-15-7 >



-  裁判所
-  上級法院
-  전혀 없다
-  其他(無回答)

註) 거의 없다. 간혹 上級法院이나 裁判所に 한다.

< I - 15 - 4 >



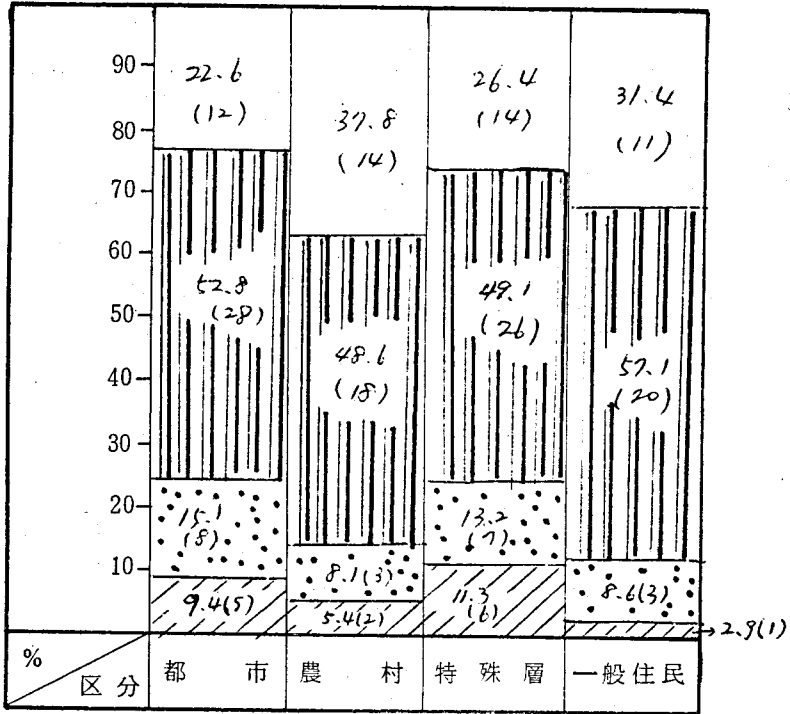
- · - · - 裁判所
- = = = 上級庁
- - - 全庁職員
- · · · · 其他 (無応答)

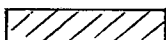
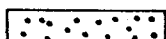


註) ① 60年代初盤のA 及び B

② 60年代後半のA 上級庁の4

裁判所も他も概して増加

<工-15-4>

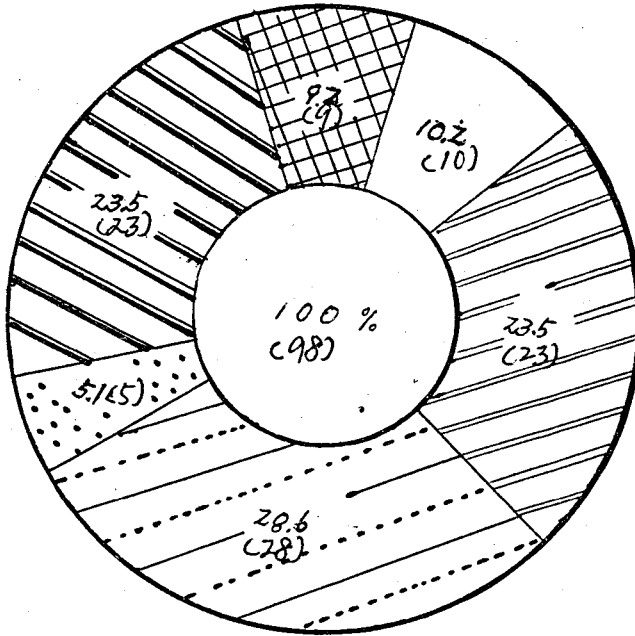


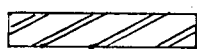
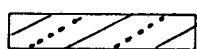
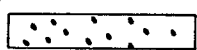


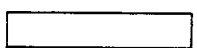
-  裁判所
-  上級党
-  同志会
-  其他 (無応答)

註) 農村は都市、一般住民は特殊層に裁判を提起

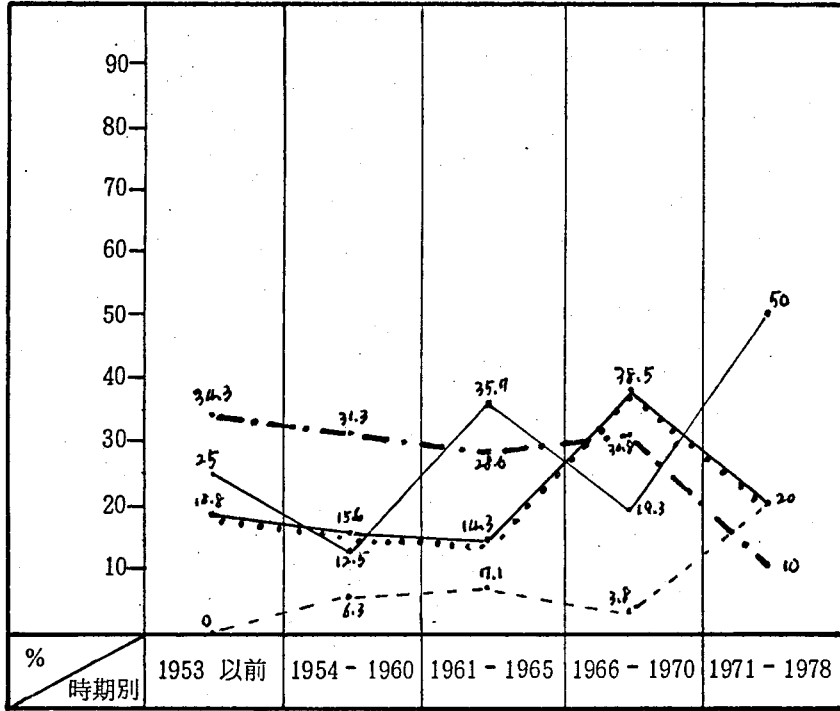
住民要求事項の上達経路

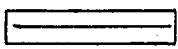
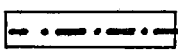
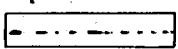
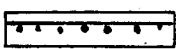
< 工-16-ナ >



-  党幹部 役員等に 陳情
-  公用会談 通函
-  輿論 通函
-  指導者の視察, 指導通函
-  其他
-  無応答

<I-16-4>

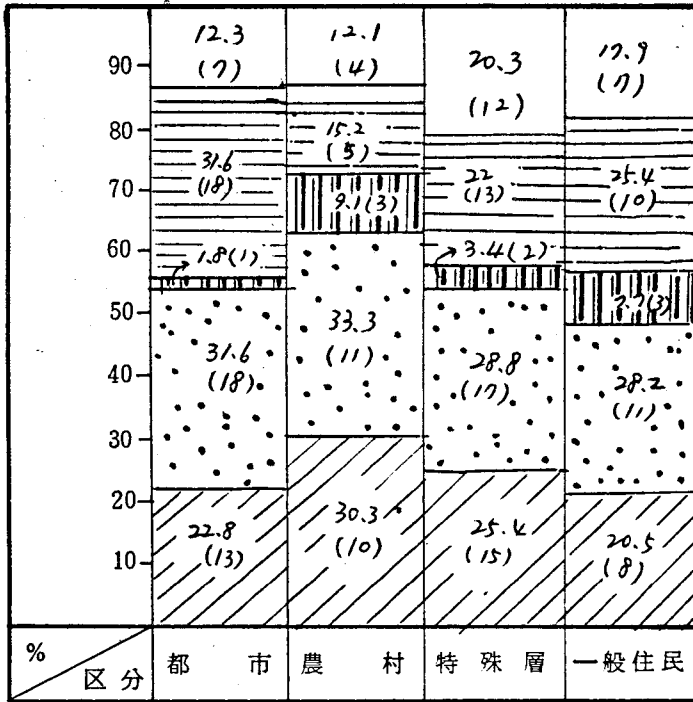


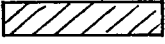
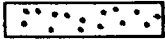

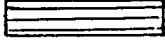
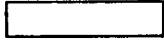
-  党幹部 機関員에게 陳情
-  公用會議 通致
-  輿論 通致
-  指導者의 視察, 指導通致

※ 其他는 記載하지 않았음.

註) 党幹部 機関員에게 陳情이 時期별로 起伏을 이루고 있다. 集中指導, 任民 再登錄 時期에 低調.

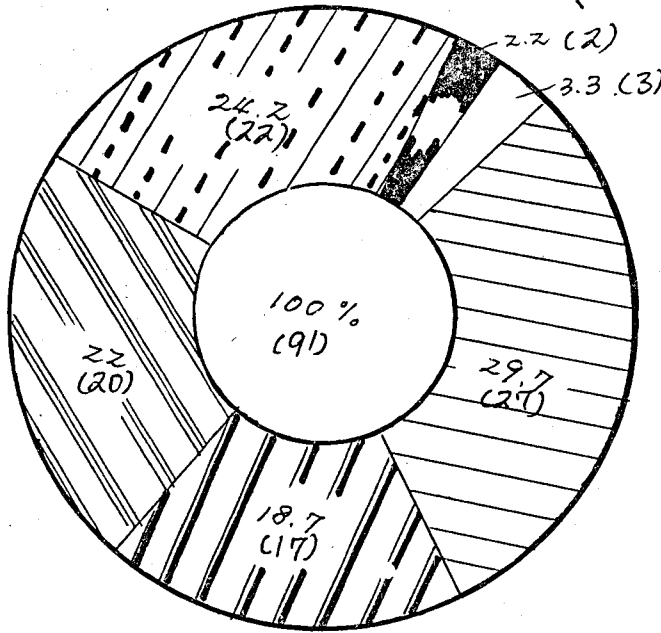
<工-16-4>

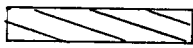

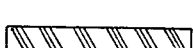
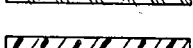
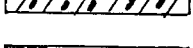



-  党幹部 同志 機関員에게 陳情
-  公用会談 通函
-  輿論 通函
-  指導層의 視察 또는 指導 通函
-  其他

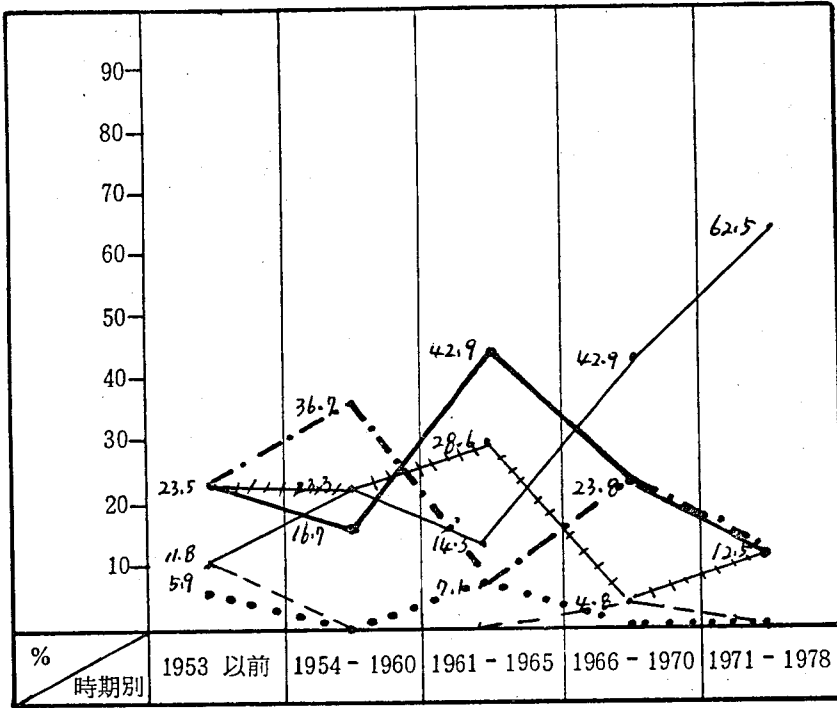
行政作用別 対応異議 提起方法

< I-17-7 >



-  伸訴提起
-  党川哀乞
-  手続改良
-  呈言
-  其他
-  無応答

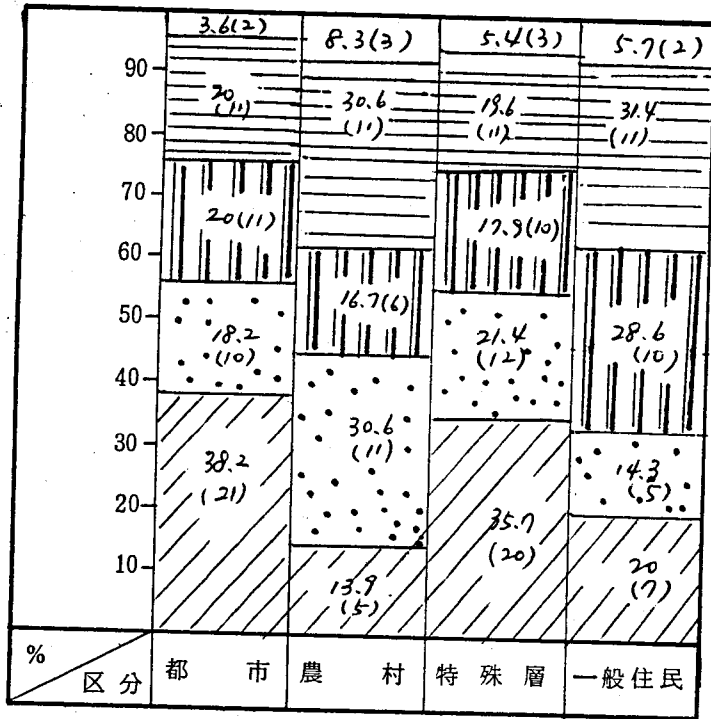
< I-17-4 >

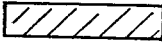


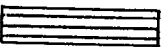
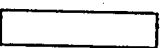


- 伸訴提起
- 哀乞
- +/+/+/+ 方途斂言
- - - - 呈言
- - - - 其他
- 無応答

註, 伸訴提起才 增加趨勢

< I-17-4 >



-  伸訴提起 註 都市に伸訴提起.
-  虎外衰乞 農村に虎外衰乞傾向
-  方遠敬音
-  모른다
-  其他

(4) 法意識 및 遵法精神

① 憲法, 法令에 對한 認識

— 消極的, 否定的 認識이 支配的

实效性을 期待할 수 없는 展示效果用이라는 認識

(30 ~ 50 %)

無關心의 態度 (40 ~ 60 %)

抑壓을 위한 手段, 特權階層을 爲한 法이라는 認識

(20 ~ 30 %)

— 憲法이 權益擁護手段이라고 믿는사람은 거의 없음

② 遵法態度

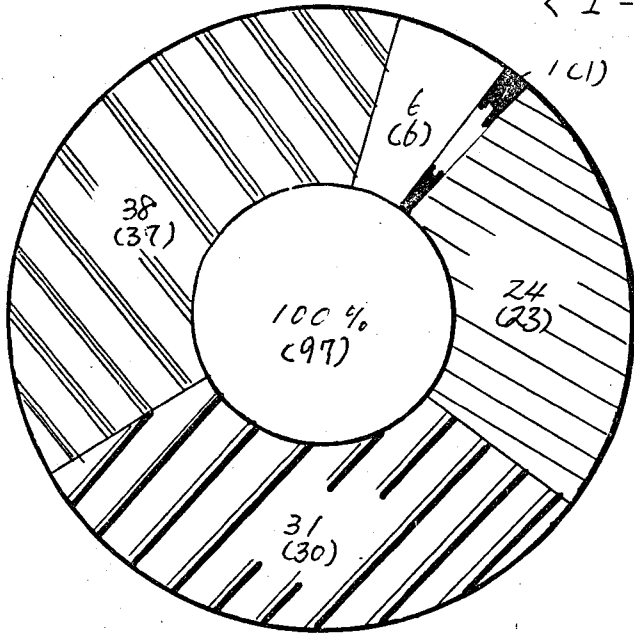
— 無關心, 無知, 無視의 態度 圧倒的






— 黨의 團束과 監視에 對한 恐怖心 때문에 消極的인 遵守

傾向

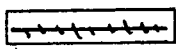
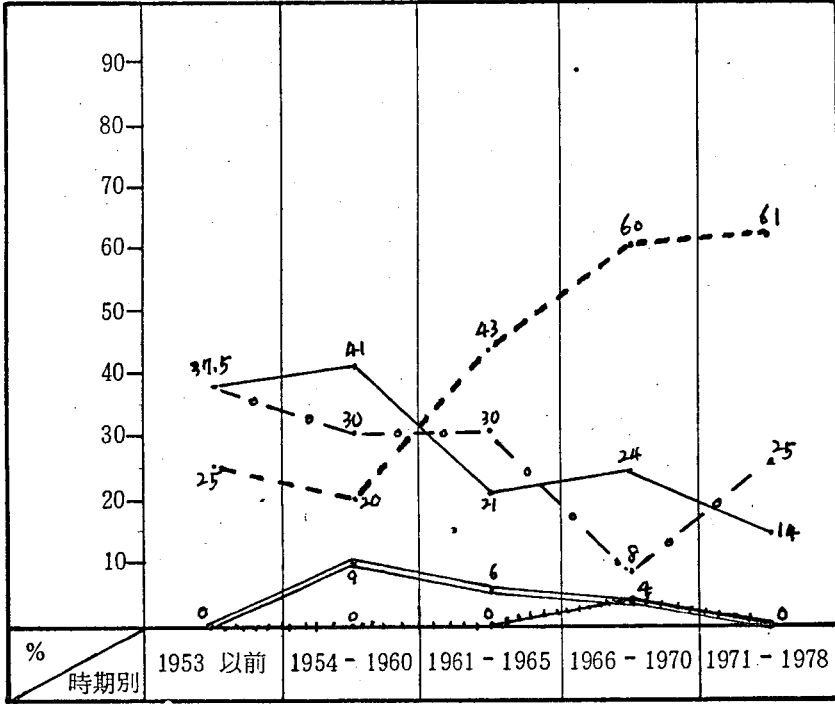
法例對港認識

< I - 18 - 才 >

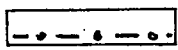


-  權益維護手段
-  人民當支配地位手段
-  實效之展示用
-  無關心
-  其他

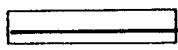
< I-18-4 >



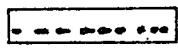
權益擁護手段



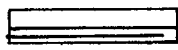
人民を支配する手段



実効的な展示用



無関心



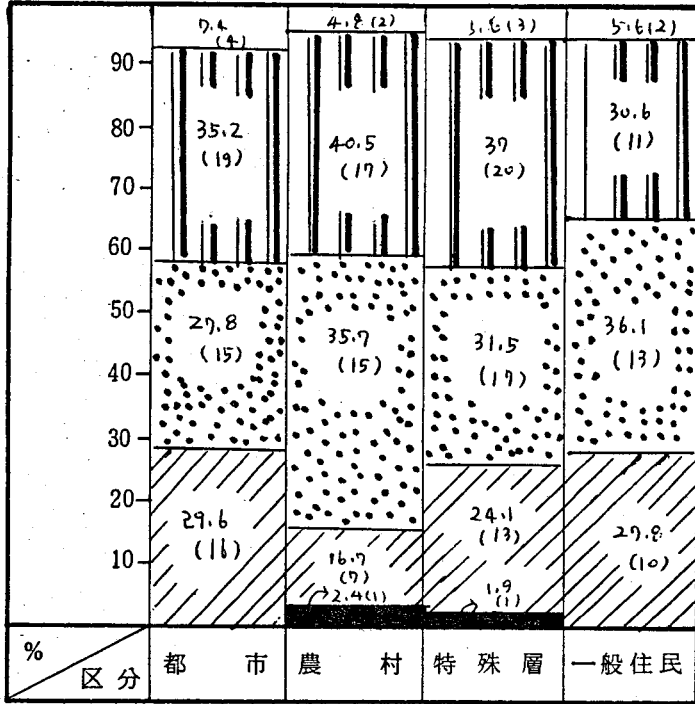
其他

註) 戦争終了後 法に對する

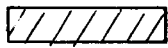
無関心態度が繼續
上昇趨勢

◎ 法の權益擁護手段이라고
하는 住民 거의 없음.

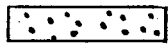
< I-18-4 >



权益擁護手段



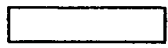
民意支配手段



实效之展示用



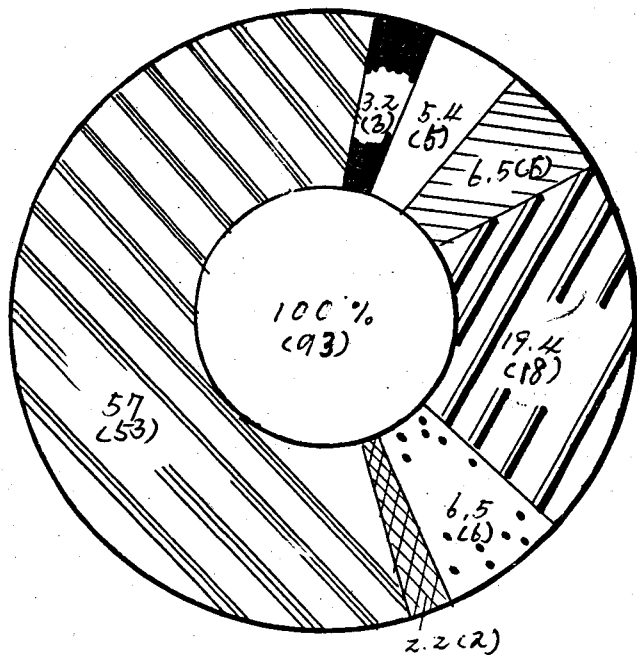
無関心 (注) 農村地域より都市地域に







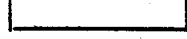


其他 注) 農村地域より都市地域に

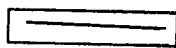
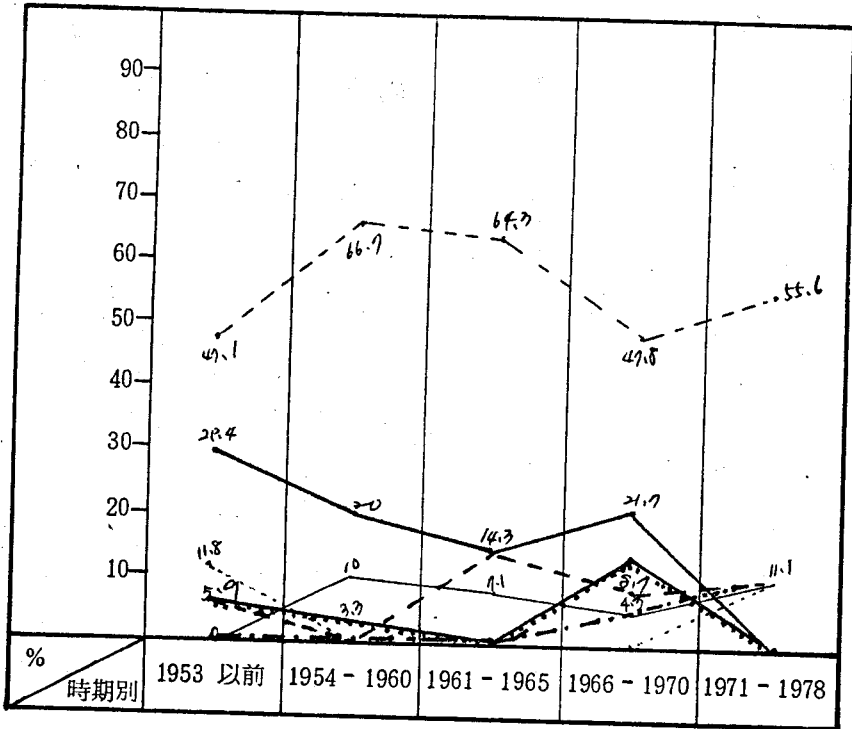
憲法に対する認識

< 工-19-7 >

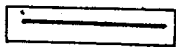


-  労働者、農民の憲法
-  労働者以外の者の憲法
-  理想の憲法
-  統一の憲法を實現する基本法
-  無関心
-  其他
-  無応答

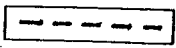
< I-19-4 >



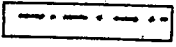
劳动者农民是外边法



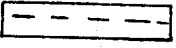
劳动者党员是外边法



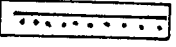
理想的办法



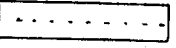
统一计划是现实的基本法



无关心



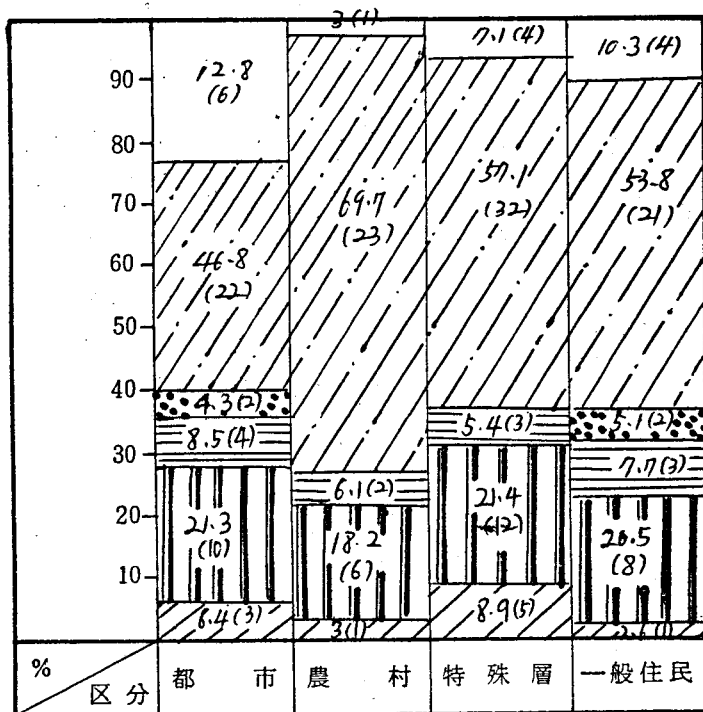
无疙瘩

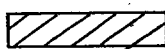
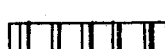
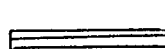
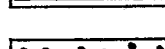
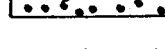
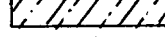


其他

注) 此期别是无关心的人数以上

< 1-19-4 >

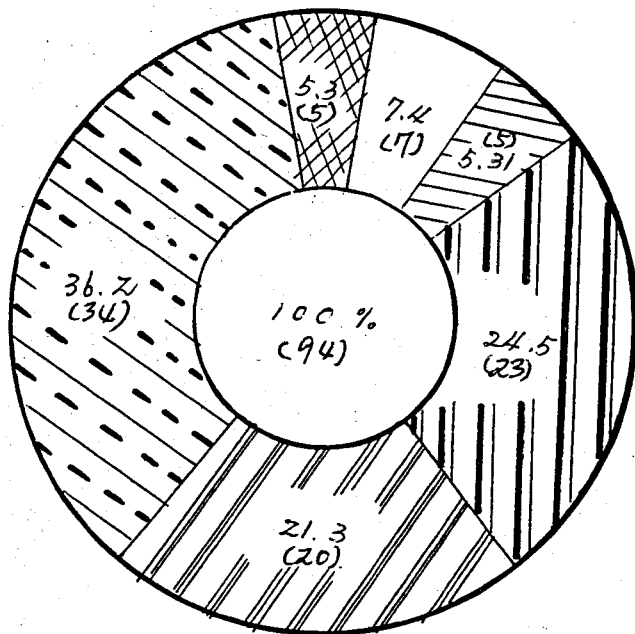


-  農民勞動者無外心
-  勞動者對社會無外心
-  理想的心
-  統一心採取實現其基本法
-  無用心
-  其他 (無回答包含)

註) 農村之 70% 未加外心
特殊層之 57% 未加外心

公民權 將項州 文地 認識

< I-20-才 >



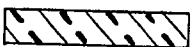
平等或民主的權利



義務或責任



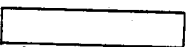
有名無實



有名無實 無關心



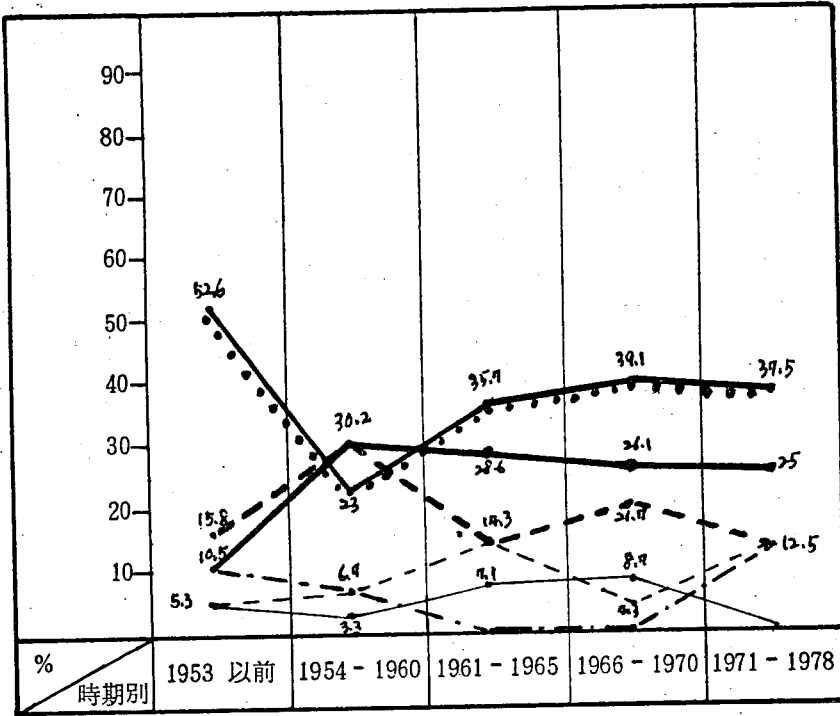
其他



無反應

註) 有名無實、無關心
查該項材料 57.5% 呈
強勢。

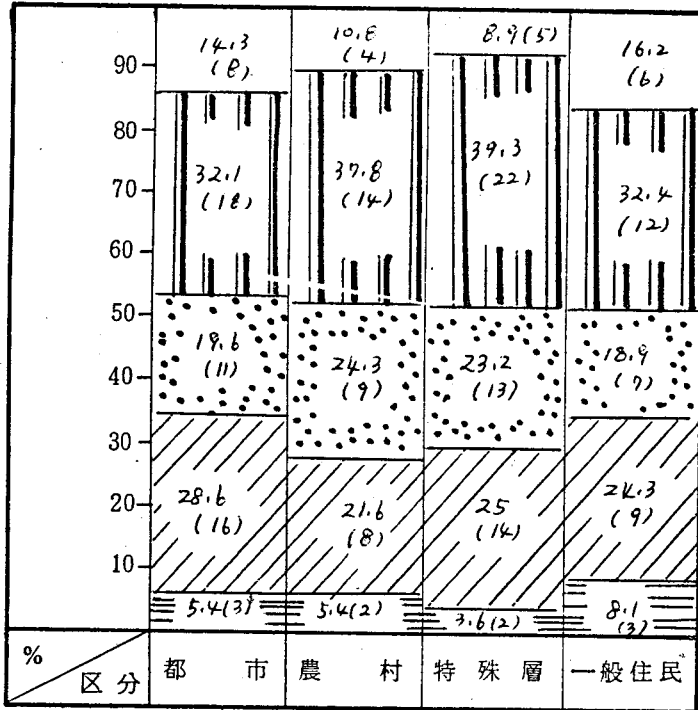
<I-20-4>

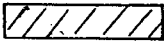



- 平等と民主的権利
- 義務と責任
- 言葉
- 其他
- 有名無実無関心

註) 平等と民主的
権利と責任の層は
70年代には殆く無

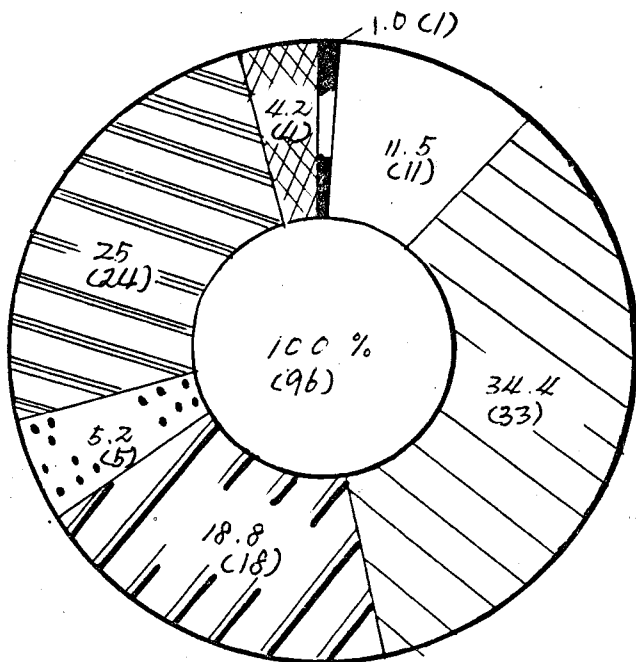
< I - 20 - 4 >

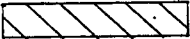








-  平等地民生的权利
-  義務外責任
-  乞丐
-  有名無實、無良心
-  其他

遵法態度

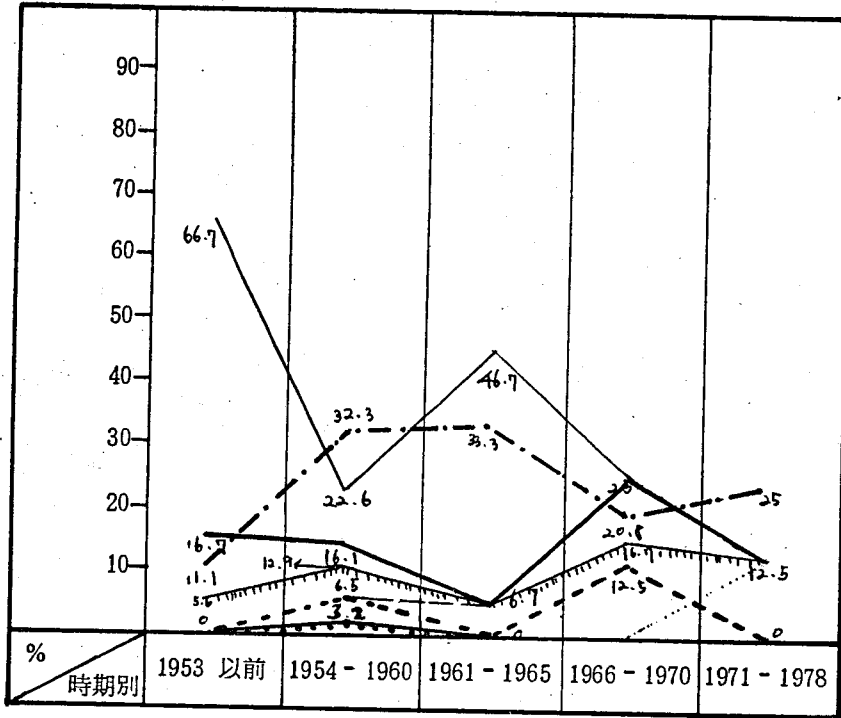
< I-21 - ㄱ >

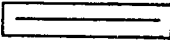
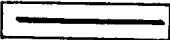
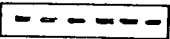
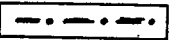


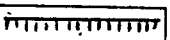


-  弱者만 強制로
-  幹部들은 法을 無視
-  人民들이 公和하지
-  党的 困求에 對해
-  其他
-  모르겠음
-  무응답

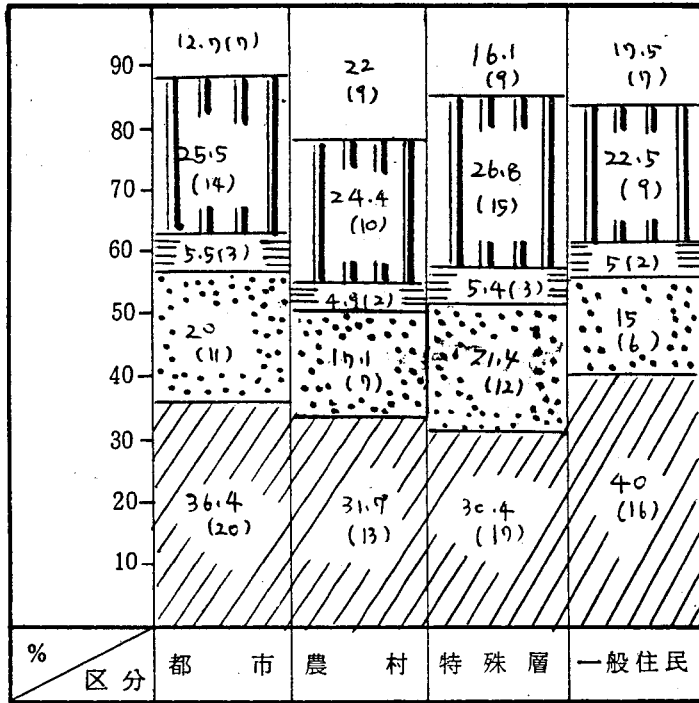
註) 弱者에 對한 遵法은 強要,
支那層의 強者는 治外法權의
存在

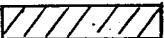
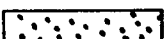
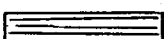

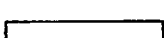
< I-21-4 >



-  弱者に強制的으로
-  幹部는之 法是無視
-  人民은이 公平을
-  黨의 團米에의對
-  其他
-  모르겠음
-  無恥否

< I-21-4 >

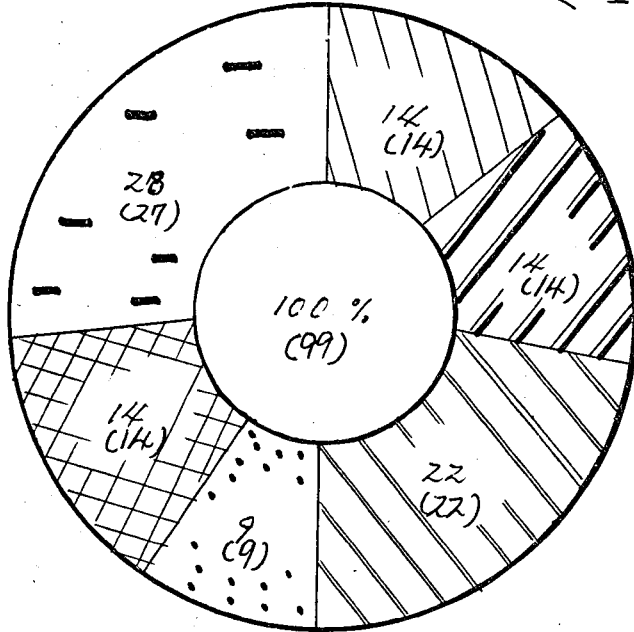




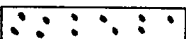



-  党的团束에 대해
-  幹部들의 政治見解
-  人民들의 政治見解
-  党的团束에 대해
-  其他 (無回答, 不明を含む)

註) 主に労働者、農民間の政治見解、党的团束に對し、党幹部の政治見解に對する回答

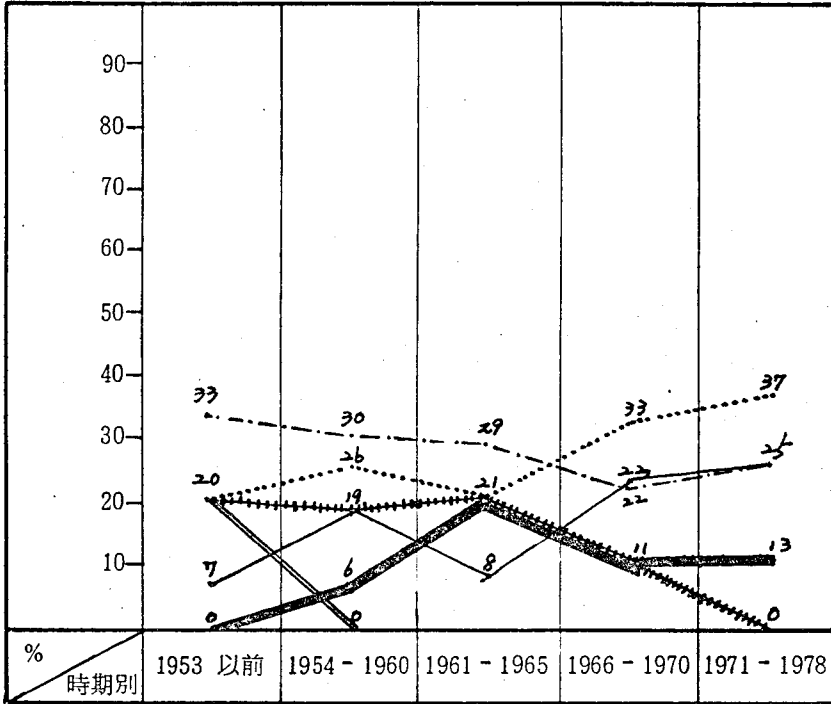
憲法遵守程度

< I-22-1 >



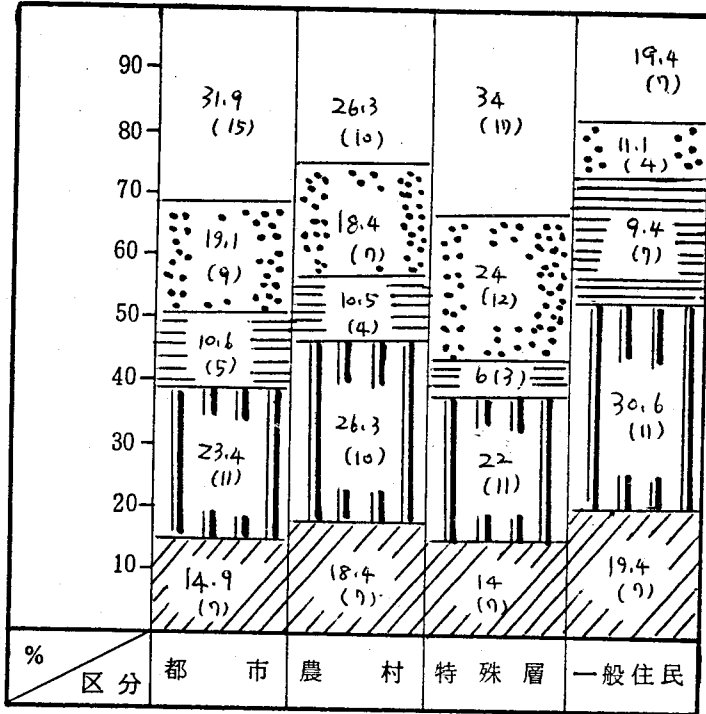
- | | | |
|---|---------|----------------------|
|  | 憲法提示と勸告 | 憲法遵守の肯定的見解 |
|  | 憲法無視 | 多数は占め、肯定的見解は及ぶ |
|  | 法遵守努力 | - 肯定的見解 (憲法無視、憲法無関心) |
|  | 憲法無言 | - 肯定的見解 (憲法提示、法遵守努力) |
|  | 無関心 | |
|  | 其他 | |



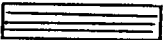

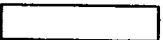
<I- 22- 4>



- 憲法提示公權力行使
- 憲法無視
- 法遵守努力
- 憲法을 모름 註) 70年代는 37%가
- 無関心 憲法에 對해 無関心
- 其他

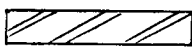
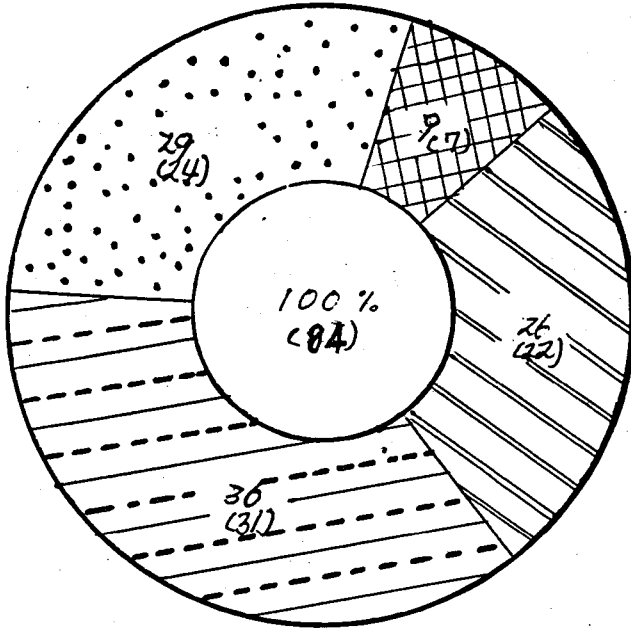
< I-22-4 >



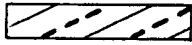
-  法律濫用、公权力行使
-  法律無視
-  法律遵守努力
-  法律怠慢
-  無関心

張務生活教育方法

< I-23-木 >



全日或教示呈作此



党學習時間內請君此



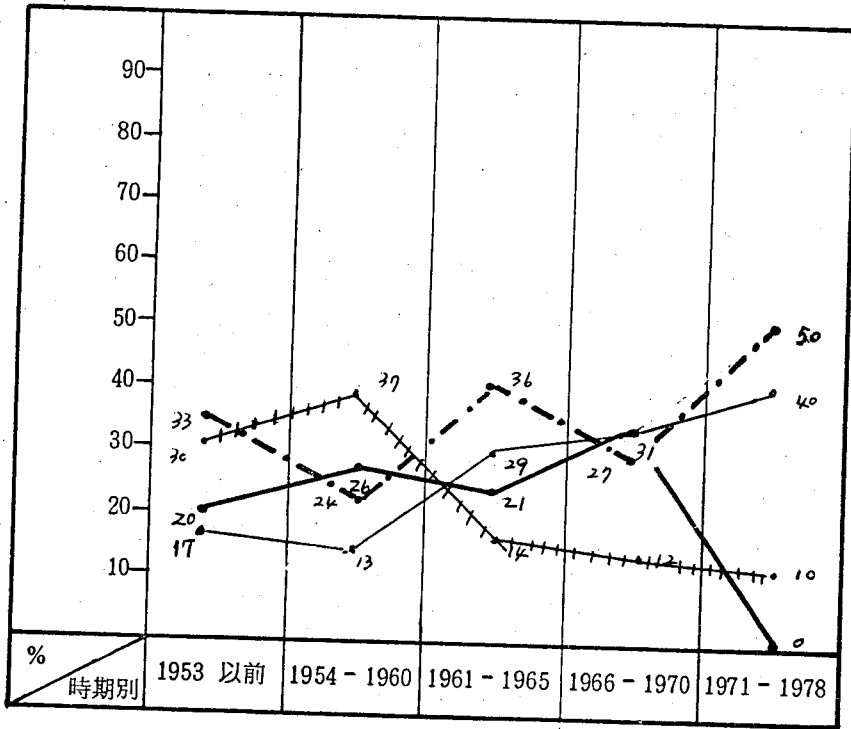
全日無視



其他

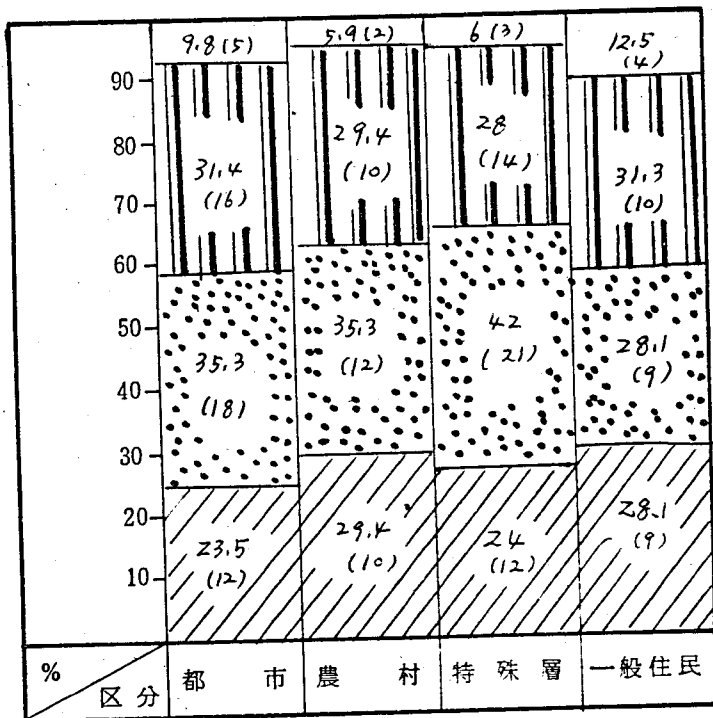
請其他之宣傳目的上教育等

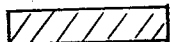
< I - 23 - 4 >





- 全日校 教示 互社 反号
- - - - - 洗 學 習 時 間 中 講 習 時 間
- 全 社 無 視 者
- +++++ 其 他

< 1-23-4 >



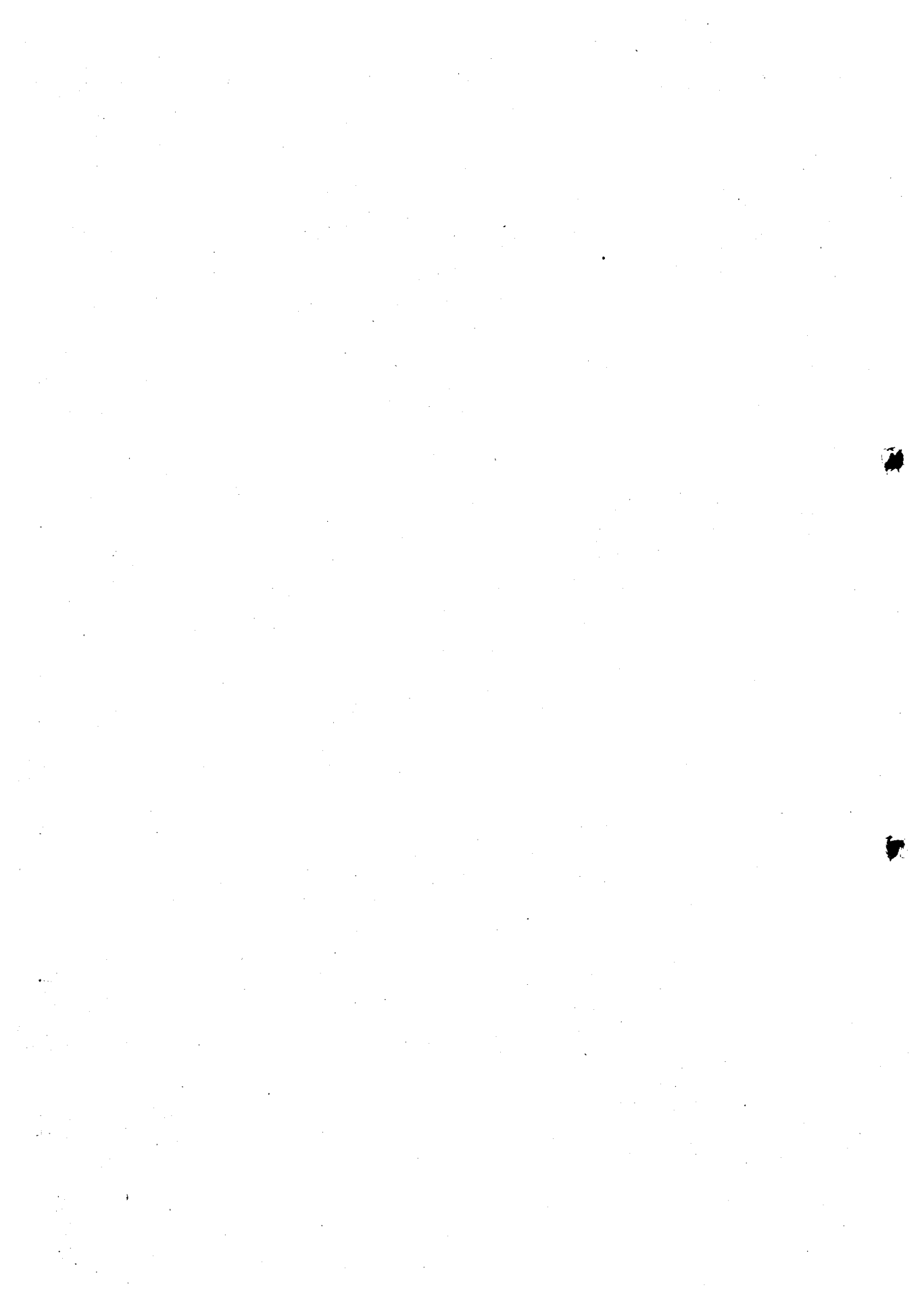
 全日或 教員研修班

 党 学习時間の 講習班等

 全社 無視等

 其他 (註)

。波州崗州 學習教育を此の計、
人民の 呼ぶべき 教育



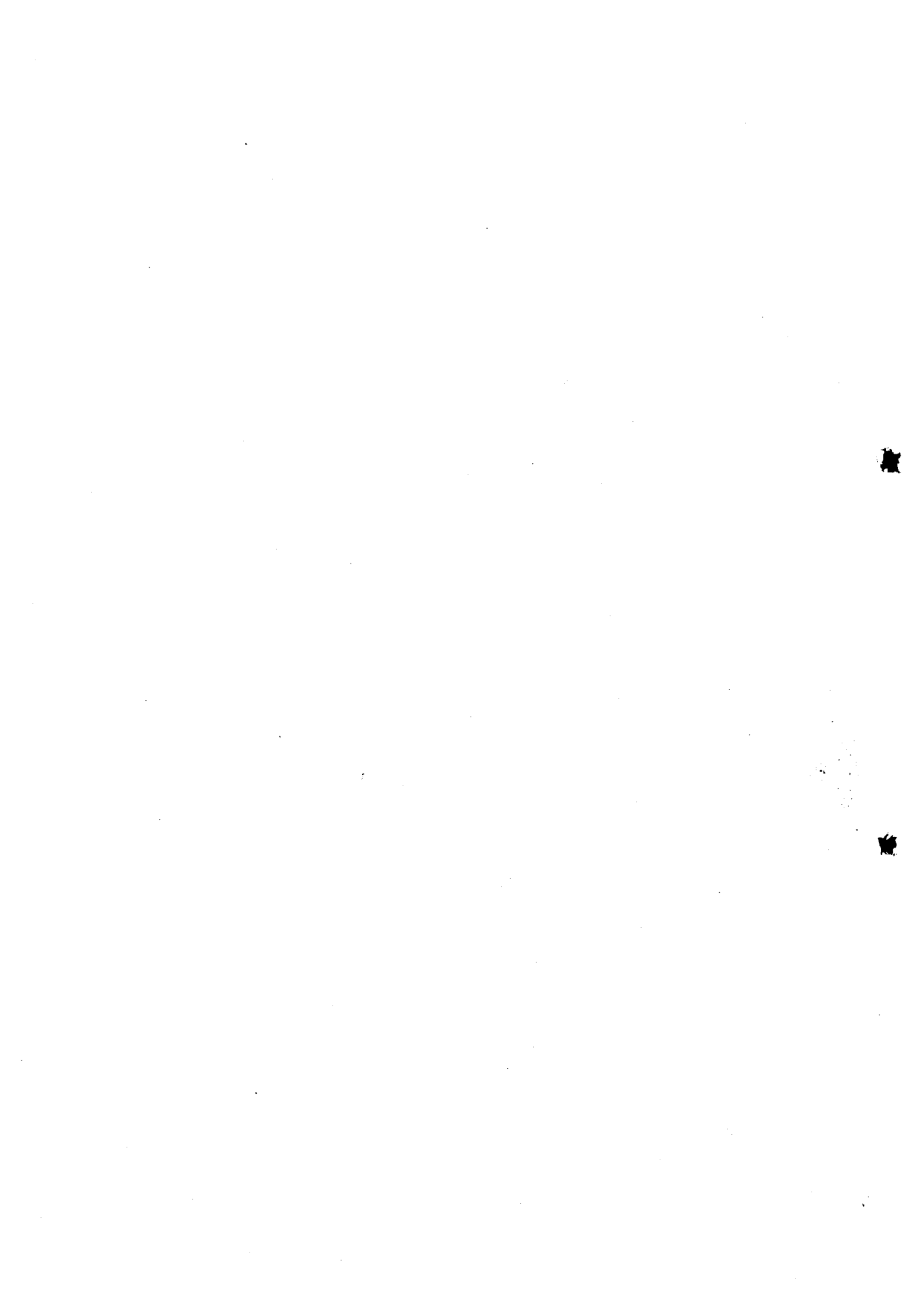
다. 民族意識, 統一觀, 對南觀, 對外觀

(1) 民 族 意 識

(2) 統 一 觀

(3) 對 南 觀

(4) 對 外 觀



다. 民族意識, 統一觀, 對南觀, 對外觀

(1) 民族意識

○ 愛着感情

- 民族 → 人民共和國 → 金日成順
- 民族에 對한 愛着 (40~50年代의 40%에서 70年代는 14.3%로 下向趨勢, 被支配層에서 相對的으로 높음)
人民共和國에 對한 愛着 (上向趨勢, 都市 支配層에서 높음)

○ 對韓國 感情

- 國際競技에서 韓國選手에 聲援을 보낸다.
民族的 紐帶感의 持續 44%로 높은 水準이나 下向趨勢
- 國際競技에서 차라리 中共, 日本을 應援한다.
敵對感 11.2%로 下向趨勢
- 嫉妬, 警戒心은 70年代 37.5%로 上向趨勢
(都市地域, 支配層에서 높다)
- 無關心이 上向趨勢

○ 民族的 同質性의 根柢 認識

- 文化的同質性(言語, 歷史, 傳統)이 77.4%로 최고, 上向趨勢
- 生活感情, 意識의 共通性은 下向趨勢
- 社會·經濟的 基盤, 政治制度의 共通性은 下向趨勢

○ 民族的 和合의 可能性 認識

一 樂觀的 態度 (下向趨勢)

資本家, 地主도 같은 民族이다. (40 ~ 50 年代의 70 %
에서 60 年代 後半 24 %로 下落, 70 年代 以後
上向趨勢)

共產, 民族間의 妥協이 可能하다. (70 年代 16.7 %)

一 否定的 態度 (上向趨勢)

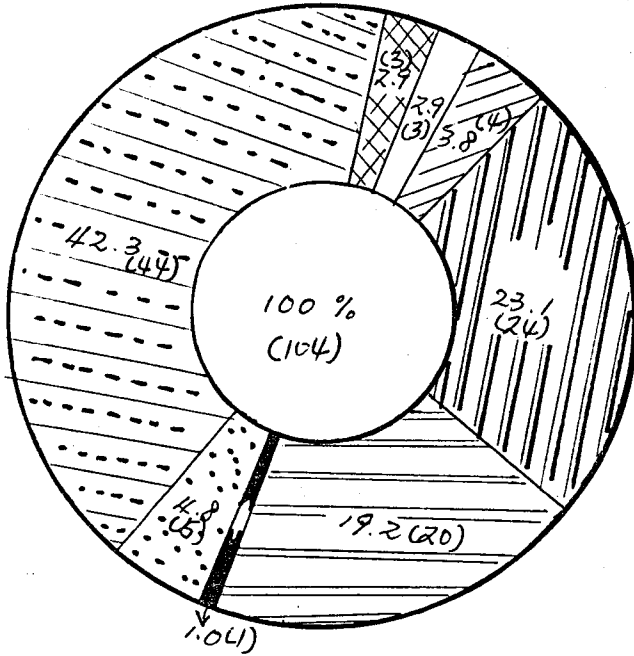
民族보다 階級이 優先 (50 年代 14 % → 60 年代 21 %)

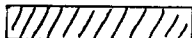

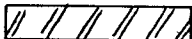

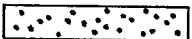
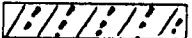


民族主義는 브르조아사상이다.

(50 年代後半 3 % → 60 年代後半 21.6 %)

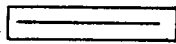
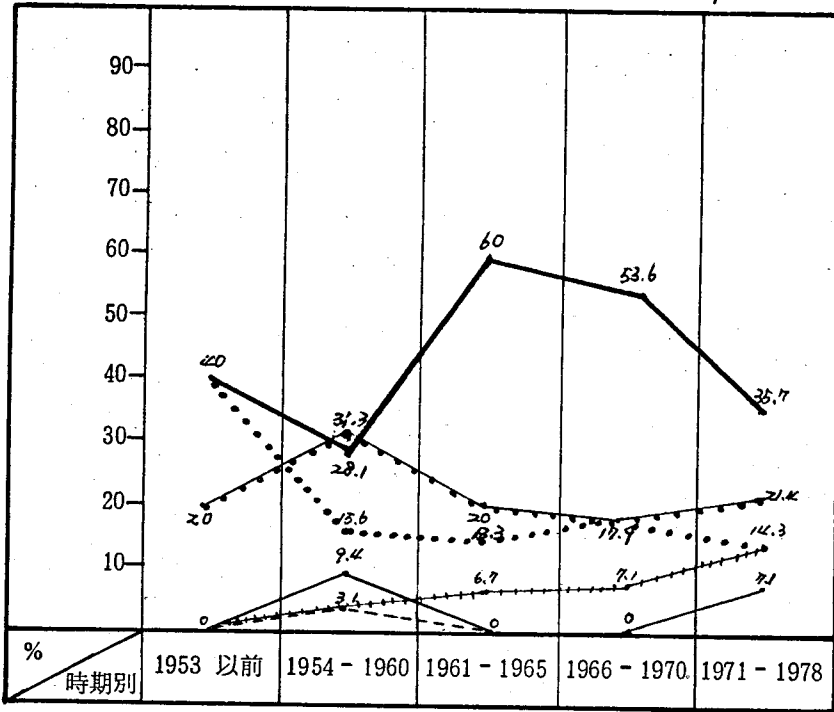
爱着感情

< I-24-7 >

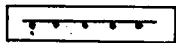


-  中华人民共和国
-  社会主义祖国
-  民族
-  劳动者
-  今日
-  祖国统一
-  其他
-  无应答

< I - 24 - 4 >



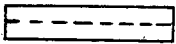
人民共和國



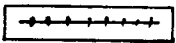
社會主義的祖國



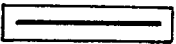
民族



프롤레타리아



全日戰



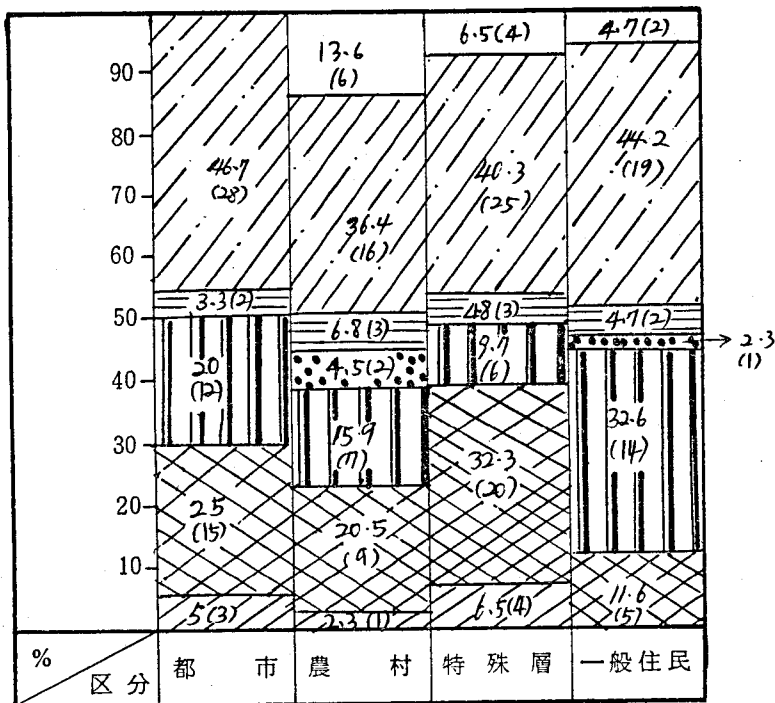
祖國統一

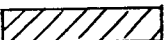

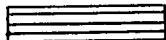
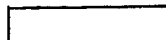
註) 60年代全般에 對해 祖國統一

念의 高潮이 起來고 70年代

에 下向 勢.

< I - 24 - 4 >

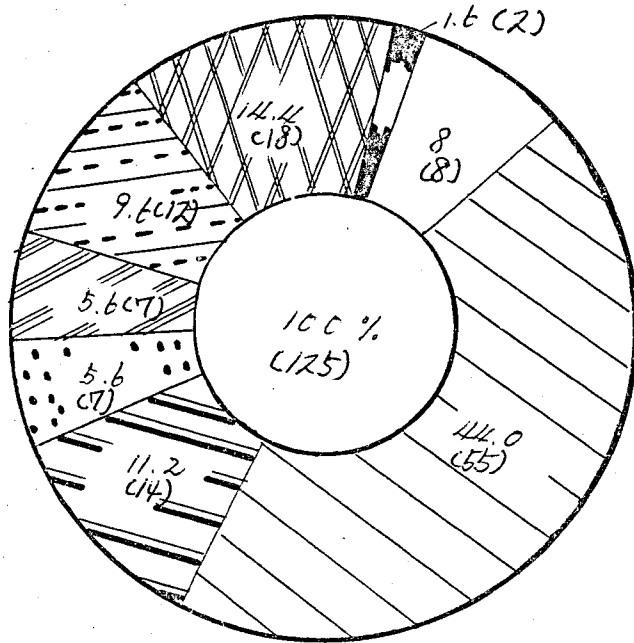


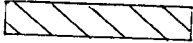

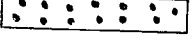
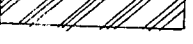
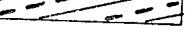
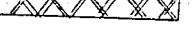

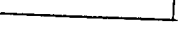
-  人民共和國
-  社会主义祖国
-  民族
-  프로레타리아
-  金日成
-  祖国統一
-  其他

此) 金日成에 대한 애着은
 人民共和國에 대한 애着은
 烈也 强勢

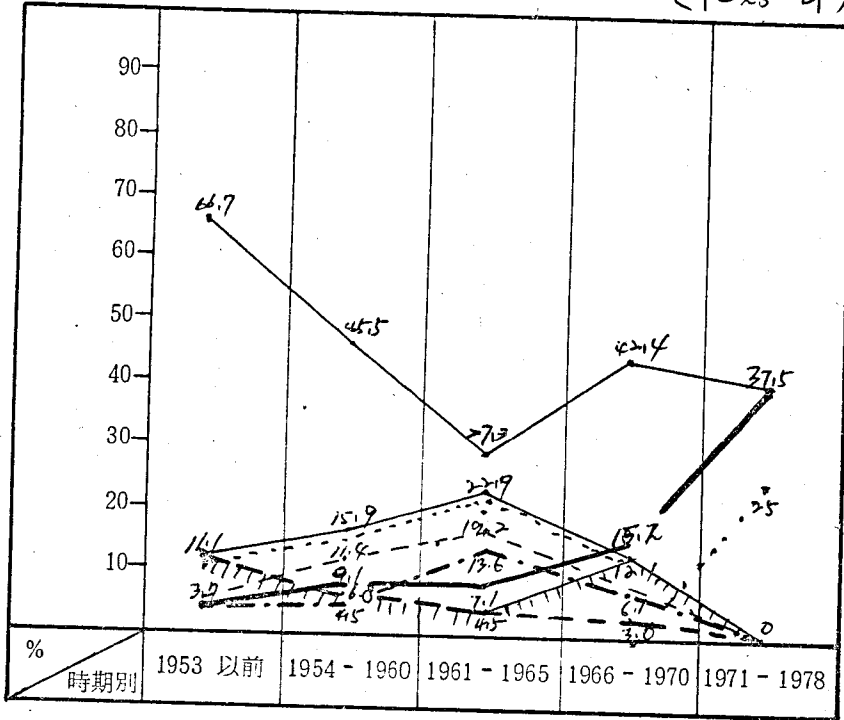
國際競技會 臨時 韓國選手會 對其 態度

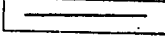
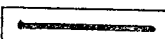

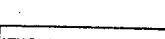

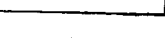
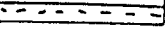
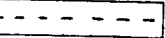
< I-25-A >



-  民族的声援
 -  嫉妬、競争心
 -  日本応援(対日戦)
 -  中共応援(対中戦)
 -  無関心
 -  其他
 -  只言
 -  無応答
- 註。民族的声援 44%は
同族意識の深層の
意識の表層及び
其他は 國際競技同聲
事實の表層

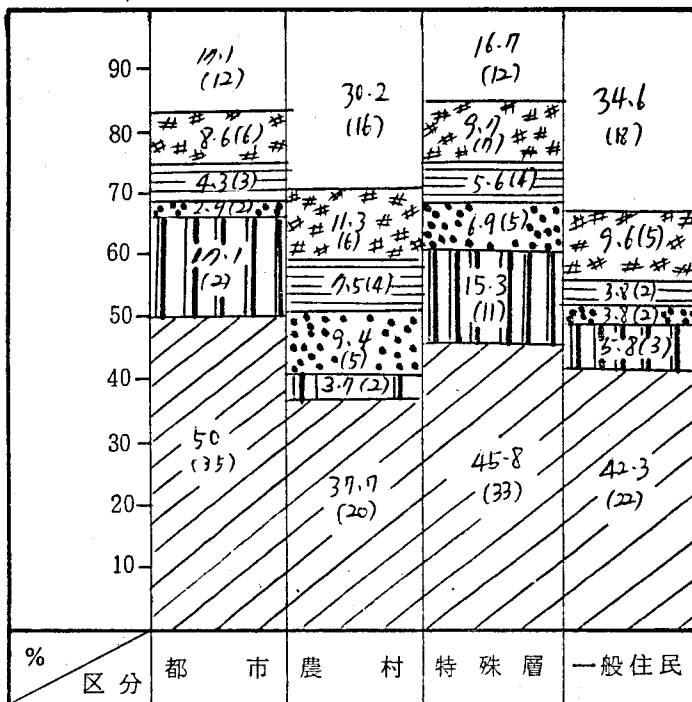
<1-25-4>




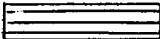
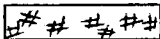



-  民族的 声援
-  嫉妬・競争心
-  日本応援・(対日戦)
-  中共応援 (対中戦)
-  無関心
-  其他
-  足音
-  無応答

註) 民族意識が1953年以前
 材料が弱体化したこと
 による潜在性以後の
 厂然性

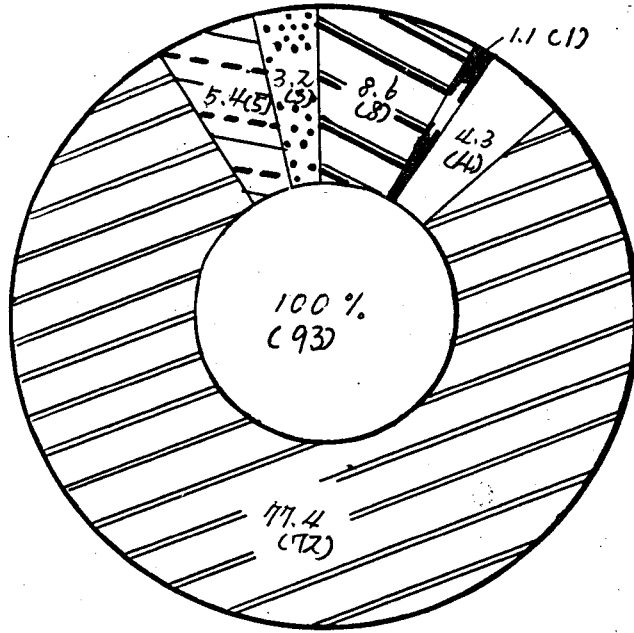
< I - 25 - 4 >






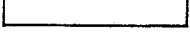


-  民族的 支援
-  嫉妬、競争心
-  日本 支援 (对日战)
-  中共 支援 (对中共战)
-  無関心
-  其他 (空白, 無回答 包含)

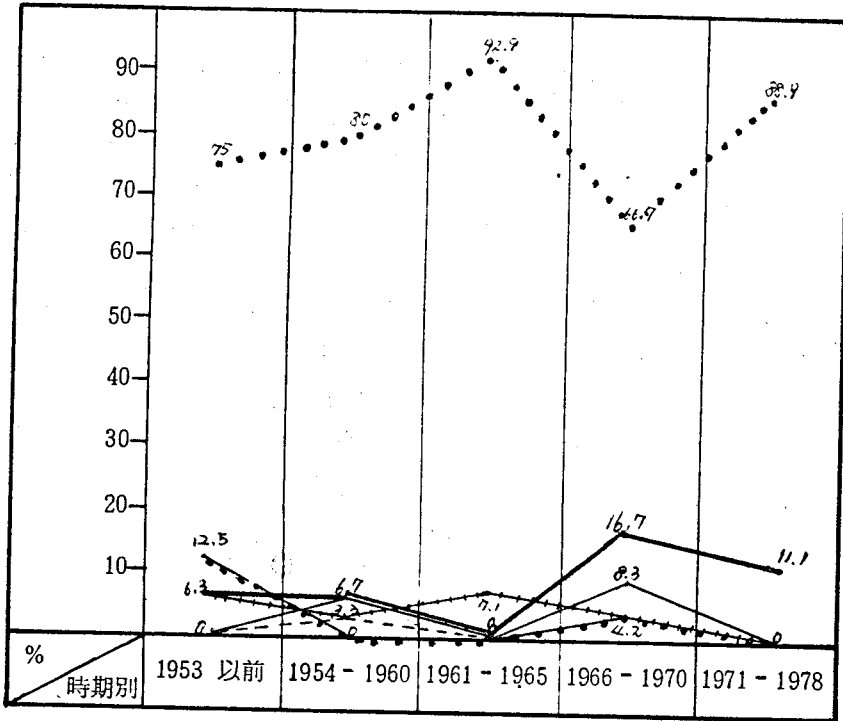
民族的 同質性의 決定要素

< 工-26-7 >



-  歷史, 傳統, 文化, 血緣
-  社會經濟的基礎의 共通性
-  政治制度 的 共通性
-  生活習慣 等의 共通性
-  其他
-  無回答

< 工 - 26 - 4 >

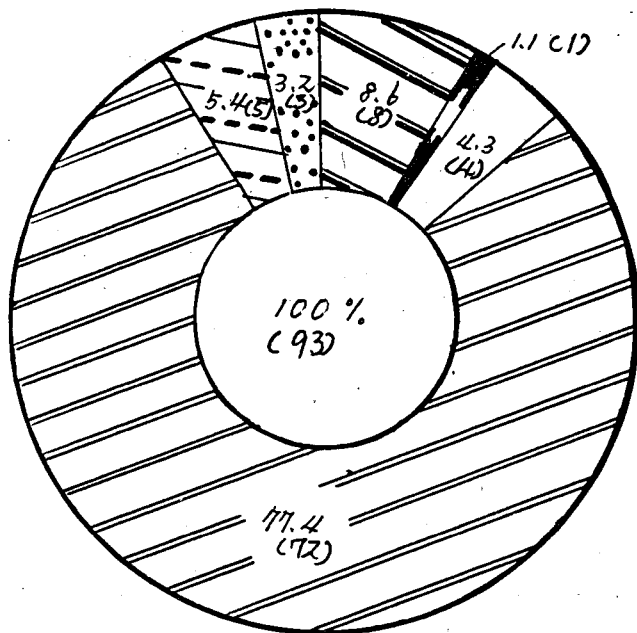




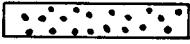


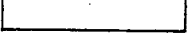
- 李은言語丁史統文化血緣
- 社會經濟的基礎의 共通性
- 李은政治制度(國家) 이데올로기
- 李은 忠愍感情 忠義의식
- 其他
- 無回答

註) 民族에 對한 概念에 見解가 各 別로 異

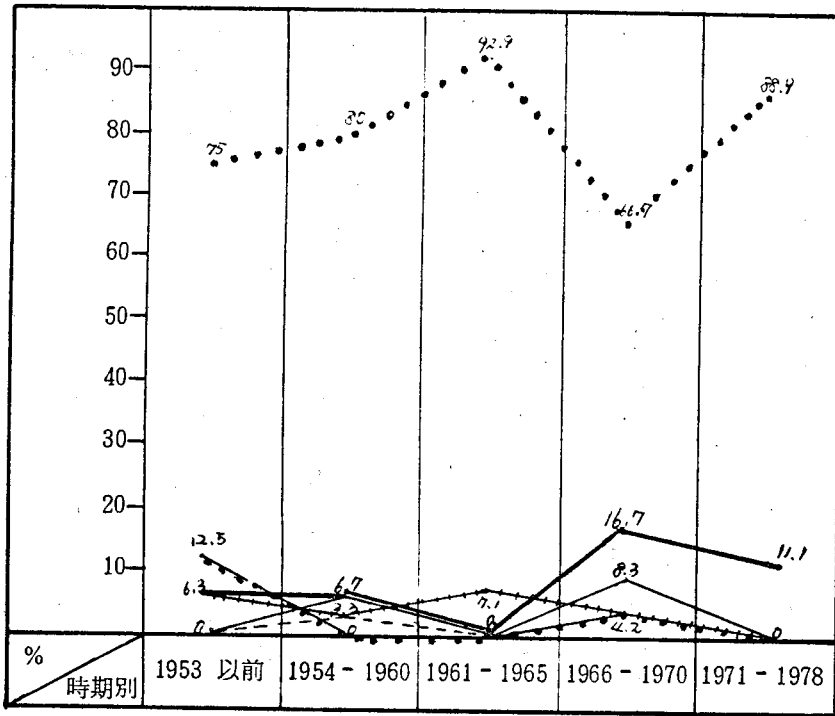
民族的同質性的決定要素

< E-26-7 >



-  歷史、地理、傳統、文化、血緣
-  社會經濟的基礎의 共通性
-  政治制度 이의 存否
-  生活感情 存否의 事
-  其他
-  無 答

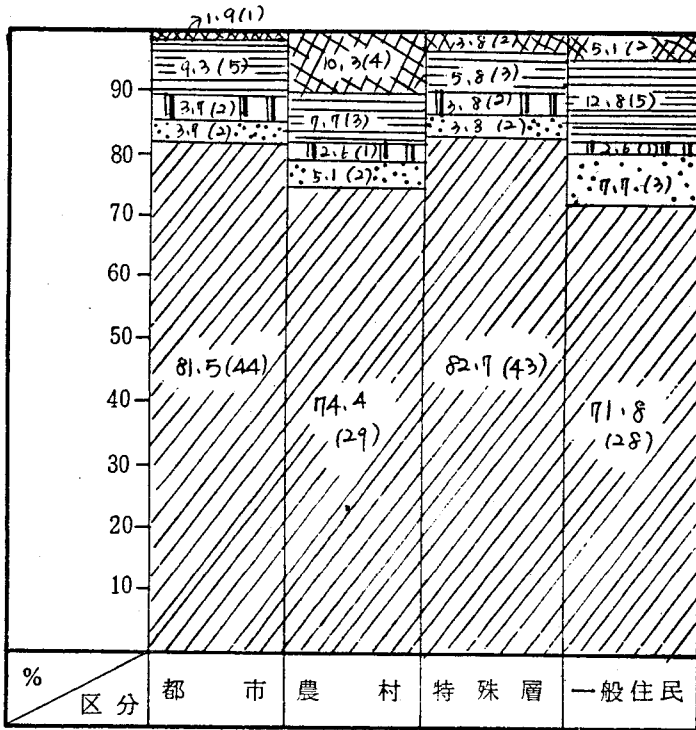
< 工-26-4 >


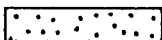
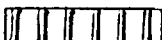
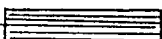



- 其他
- 其他
- 其他
- 其他
- 其他
- 其他

註) 民族別 對於 概念에 見解가 各 別로 異

< I - 26 - 4 >

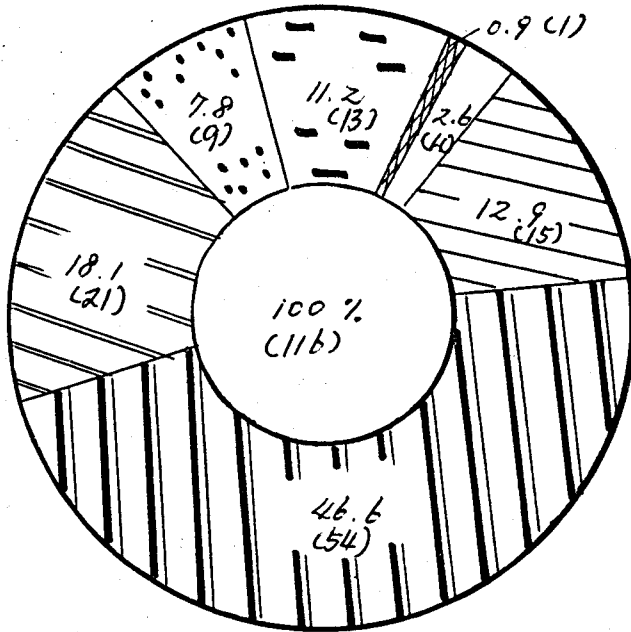





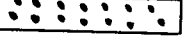
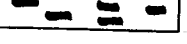
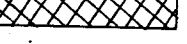
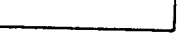
-  方言, 歷史, 傳統, 文化, 血緣
-  社会, 經濟的基礎의 共通性
-  政治制度 (國家), 이데올로기
-  生活感情, 同類意識
-  其他

註) 一般住民의 民族概念이 正確한 것은 雜多의 教養水準, 에서는 混同함

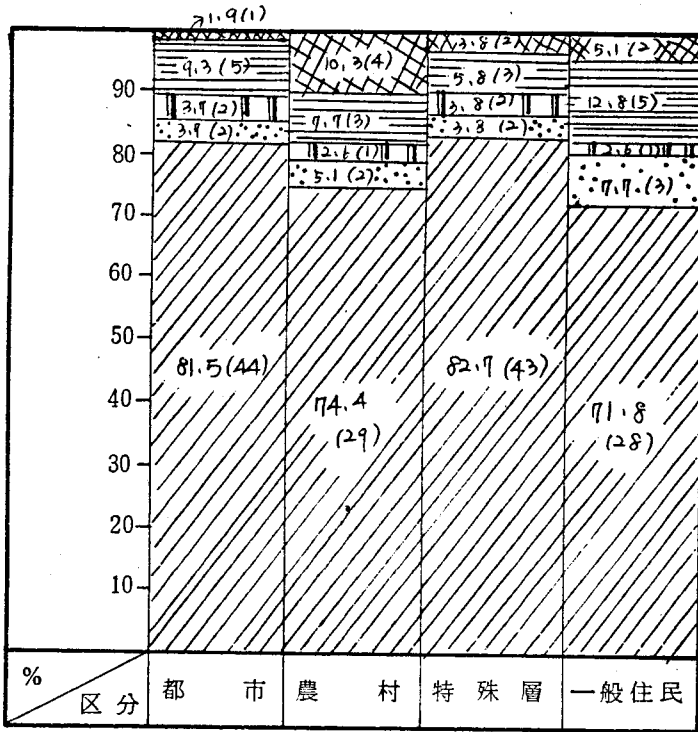
民族主義と 共產主義の 対応 認識




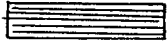

< I-27-7 >



-  共產主義と 民族主義者 妥協可能
-  地主、資本家と 労働者 農民と 地主 民族
-  民族と 階級 並列
-  民族主義之 且るや 階級の 思想
-  共產主義之 全世界的、民族主義之 制限的 同時一時的
-  其他
-  無応答

< I - 26 - 4 >

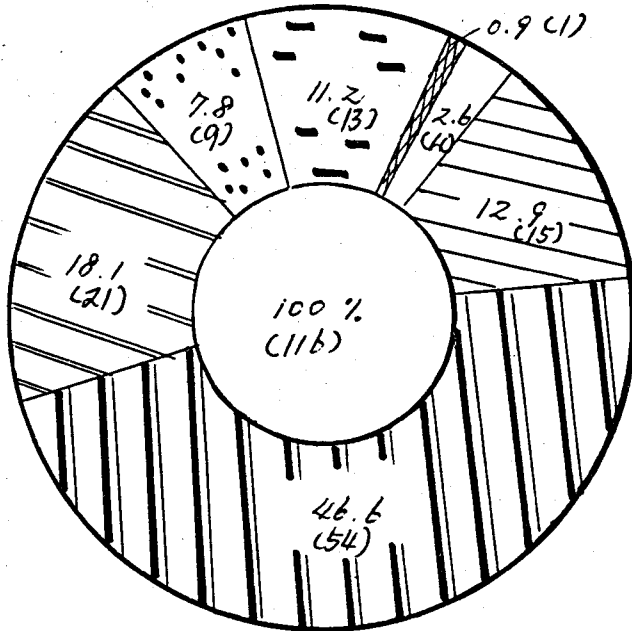


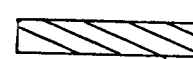

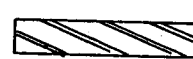
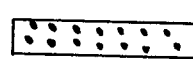
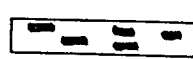

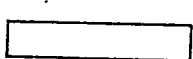
-  方言, 历史, 传统, 文化, 血緣
-  社会, 经济的基礎의 共通性
-  政治制度 (国家), 이데올로기
-  生活感情, 同類意識
-  其他

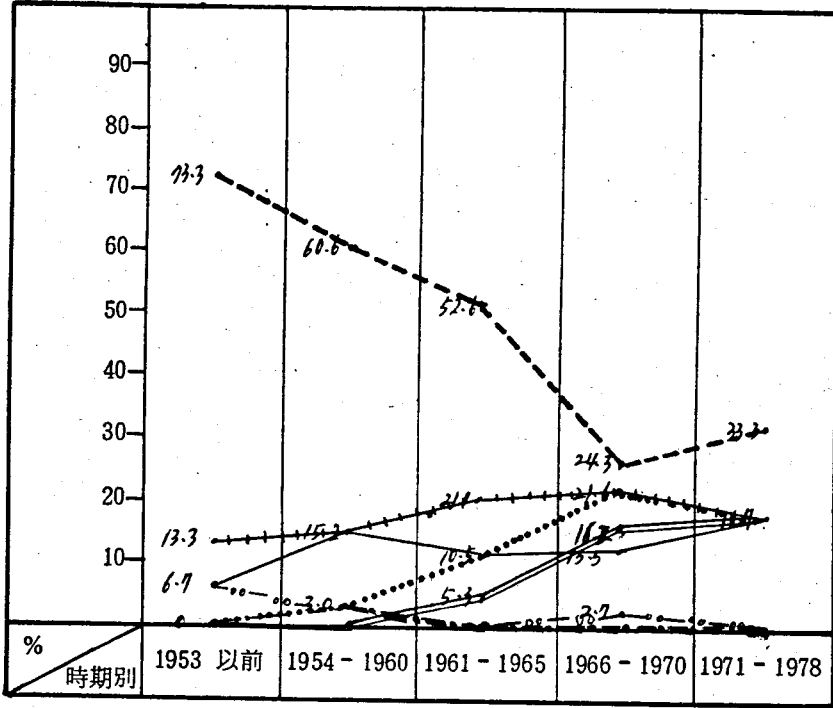
註) 一般住民의 民族概念의 正確한 것의 難多故 敎養事, 에서 是 混同임

民族主義と 共產主義の 對比 認識

< I-27-7 >



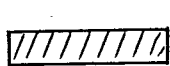
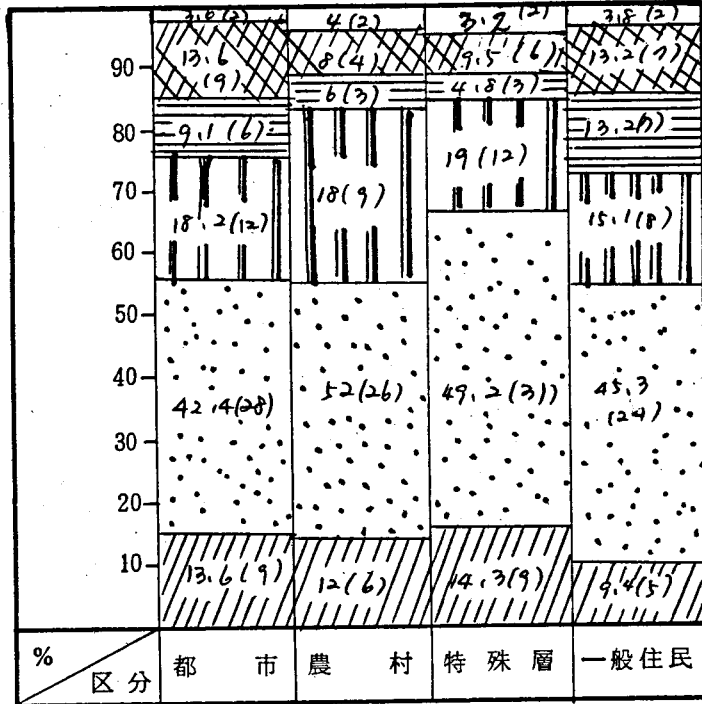
-  共產主義と 民族主義者 妥協可能
-  地主、資本家と 労働者 農民と 地主 民族
-  民族と 階級 並存
-  民族主義と 且つ 階級の 思想
-  共產主義と 全世界的、民族主義と 制限的 同時 一時 的
-  其他
-  無 応 答



- 民族主义若以 民族主义者之 妥協可能
- 地主、資本家与 劳动者農民以 老之民硬
- ++++ 民族主义 階級の 生体中
- 民族主义之 生体中 階級の 思想
- ==== 民族主义之 全世界的 民族主义之 制限的、一時的
- - - - 其他
- o-o-o- 其他

註) 階級斗争の 出で 否定形 態度未尚存
(地主、資本家同、民族主义 70年代の
上向勢)

< I - 27 - 4 >



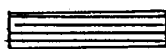
共產主義者或民族主義者 妥協可能



地主、資本家、勞農階級、民族



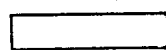
民族且階級意識



民族主義之 且階級意識



共產主義之世界的, 民族主義之 割限的



其他

註) 地域的, 階層別 特色別無

(2) 統 一 觀

○ 統一의 必要 理由

- 民族的 團結, 繁榮 → 自主獨立國家 建設 → 家族 再結合
→ 戰爭不安解消 願
- 戰爭不安解消의 必要性 (60 年代以後 4%에서 , 70 年代 33%로 最高).

○ 統一의 方法

- 平和統一에 對한 懷疑 (70 年代 42.9%로 最高, 上向趨勢)
- 戰爭에 依한 統一容認 (70 年代 21.4% , 上向趨勢)
- 戰爭에 依한 統一不願 (70 年代 14.3%)

○ 統一政策

- 北韓의 統一政策 內容에 對한 關心
美軍撤収 → 交流協力 → 離散家族問題 願
(南北交流, 協力에 對한 關心, 60 年代以後 上向趨勢)
北韓의 統一政策을 美軍撤収로 보는 認識이 70 年代에 43.8%로 높은 比重 維持

— 韓國의 統一政策 內容에 對한 關心

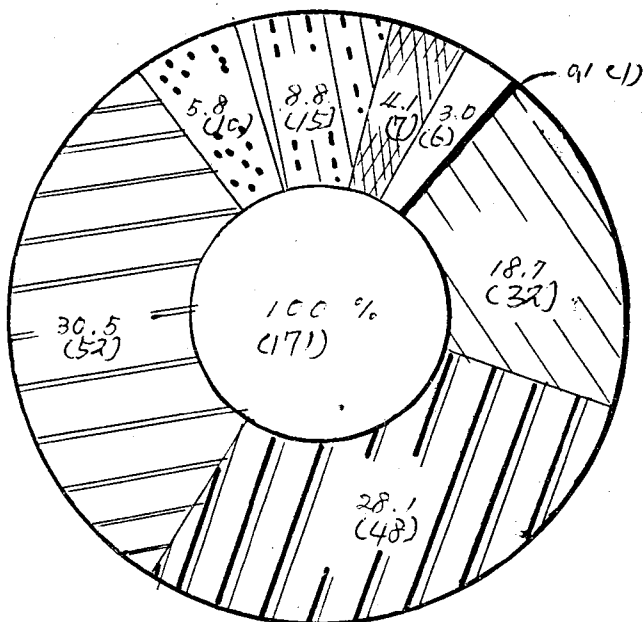
不問, 無知 (36.4 %) (農村地域, 被支配層에서 높음)





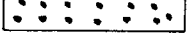

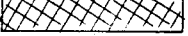
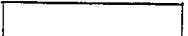
北侵政策으로 認知 (70年代에 27.3%線을 維持)

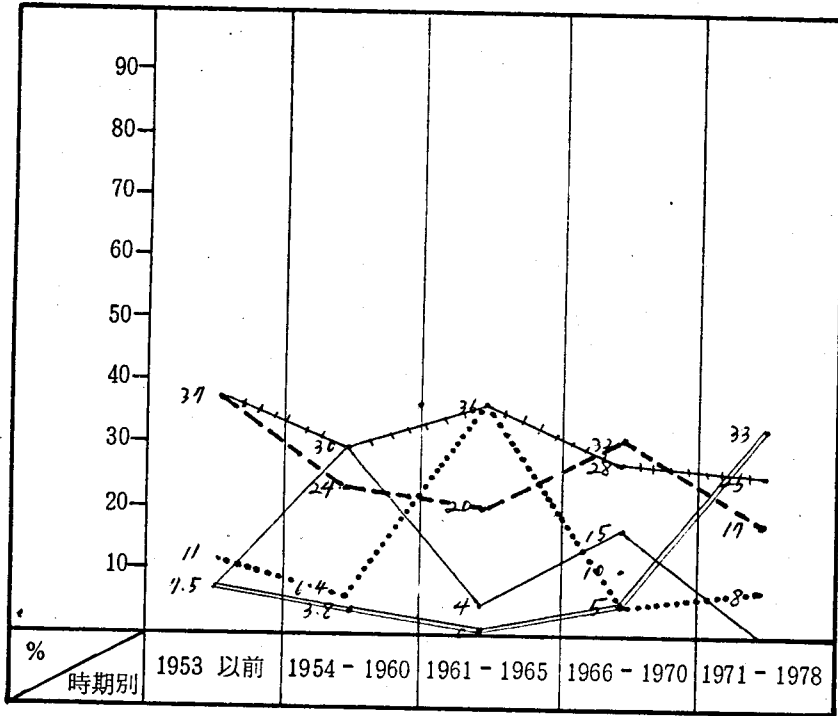
美國의 操縱術策으로 認知 (70年代에 18.2%, 下向趨勢)

統一之必要理由

< I-28-才 >



-  不必要
-  民族再結合
-  自主獨立開發建設
-  民族的團結發展
-  反蔣史斗正統性維持
-  戰爭不安解消
-  其他
-  無回答

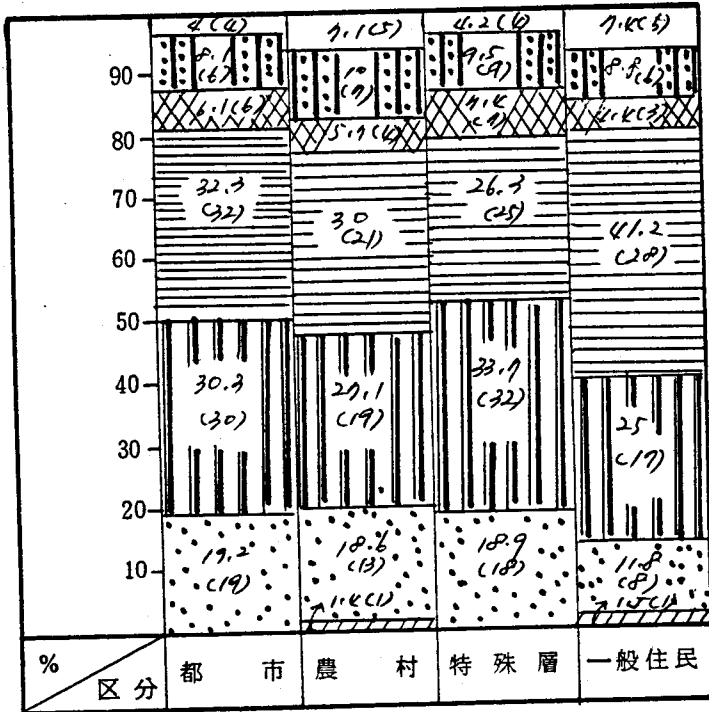





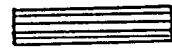


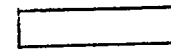
- 民族再結合
- 自主獨立國家建設
- 民族的團結、發展
- 民族史的正統性維持
- 戰爭不安解消

注) 60年代末以後戰爭不安解消急上昇
(5%から33%に)

非理由

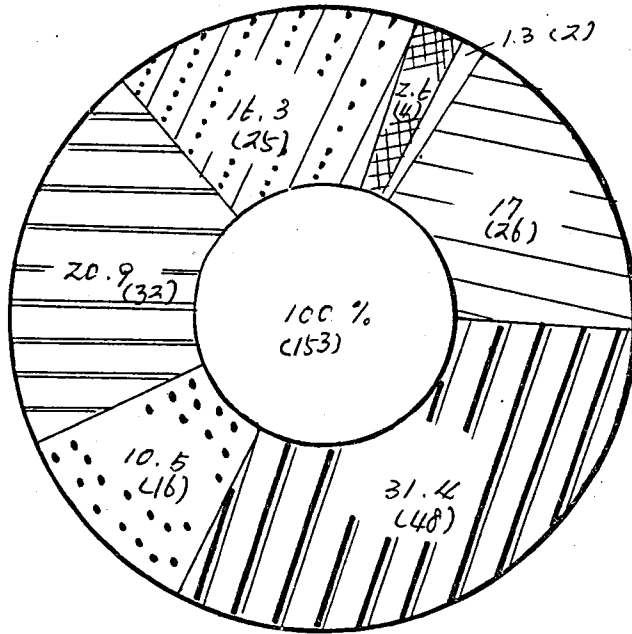
< I - 28 - 4 >

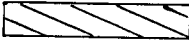

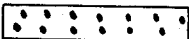

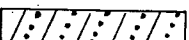




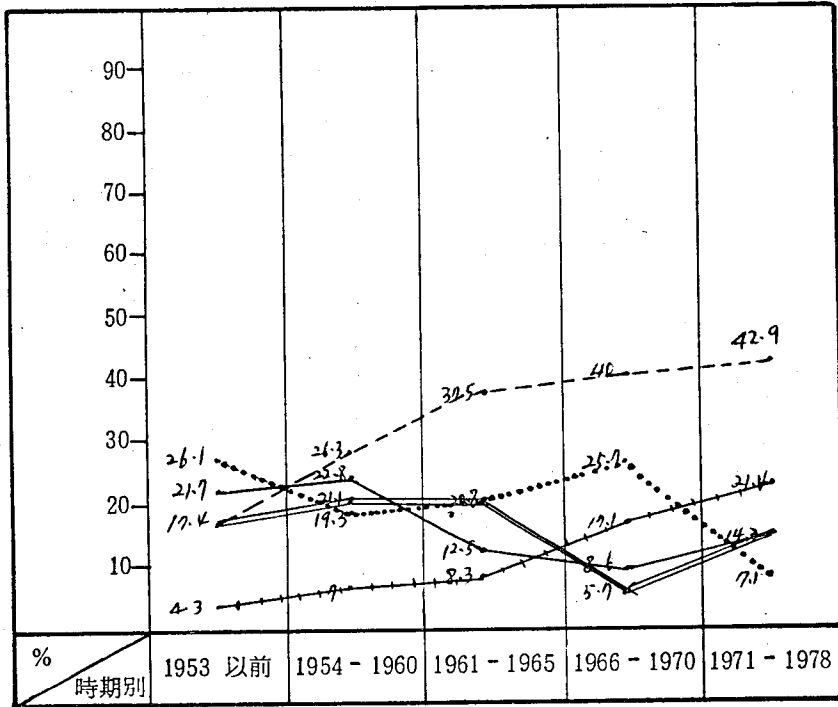
-  不必要
-  家族再結合
-  自主獨立國家建設
-  民族的團結，智識
-  民族史的正統性維持
-  戰爭不安解消
-  其他

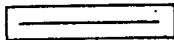
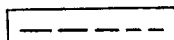
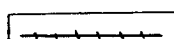

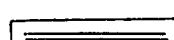
統一方法에 對한 意見

< I - 29 - 才 >



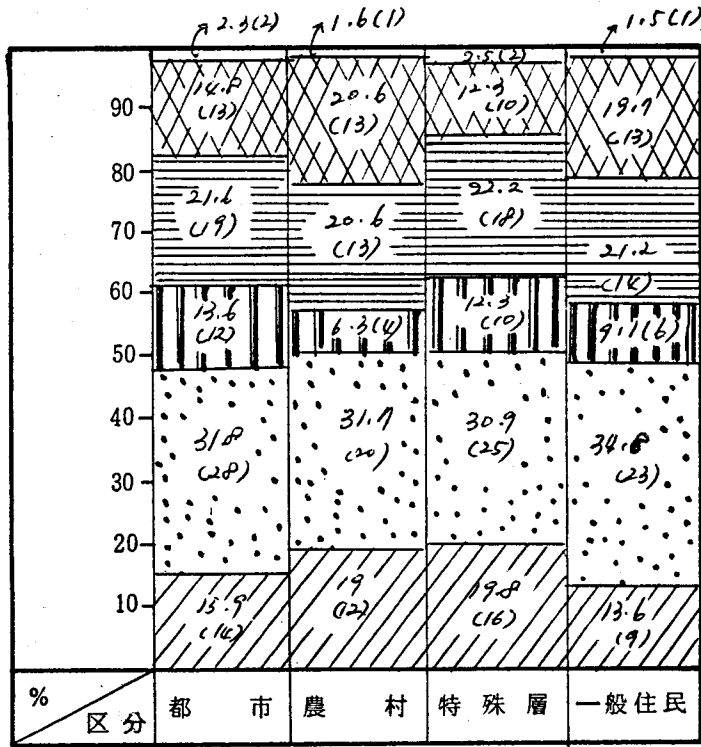
-  戰爭은 避해야 한다
-  平和的으로 어렵다
-  어떤 방법이라도 좋다
-  緩慢的으로 이루어져야 한다
-  南北韓의 各界各層이 모여서 討論
-  其他
-  無反應




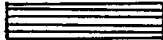




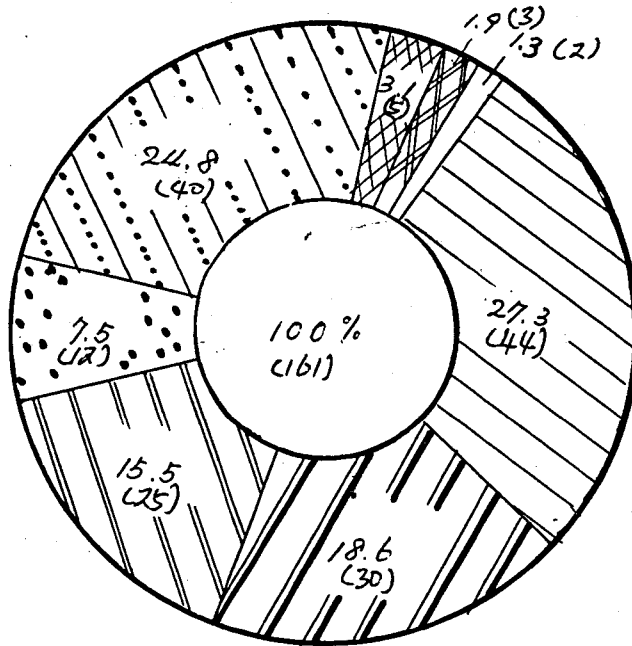
-  戦争による外溢が少なく
-  平和的によつて 어렵다
-  어떤方法이라도 좋다
-  段階的으로 이루어져야 한다
-  南北韓의 各界各層이 모여서 討論









註) (平和的으로 어렵다)가 支配的이지만
方法論上의 混迷狀態인

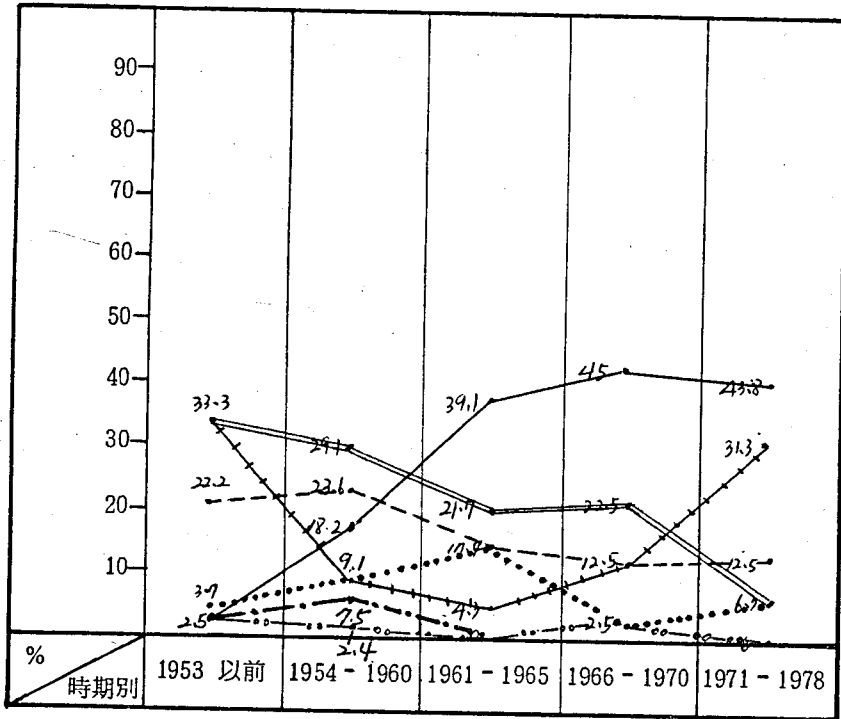
< I-29-4 >

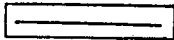

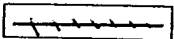

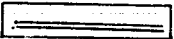

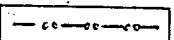


-  戦争による避難者が多い
-  平和的による避難者が多い
-  어떤方法이라도 좋다
-  段階的으로 이루어져야 한다
-  南北韓의 各異各層이 보여 討論
-  其他

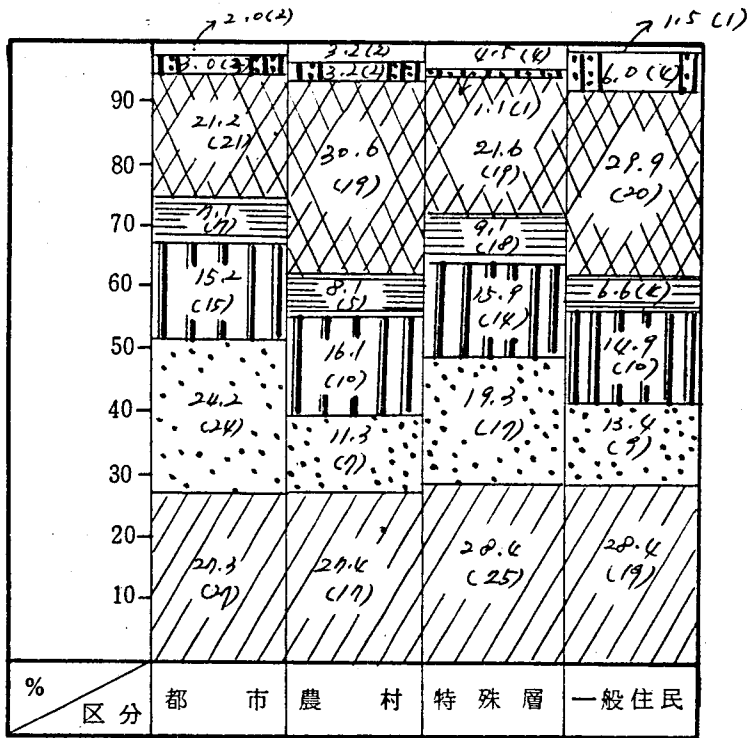


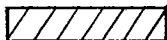
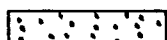

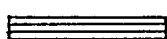
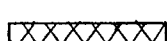
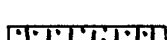

-  美軍撤收
-  南北對話 協商
-  南北交流 協力
-  雜散民族 結合
-  實現僅剩之 望板攻勢
-  無用心
-  其他
-  無回答



-  美軍撤收
-  南北對話 協商
-  南北交流 協力
-  難散家族 結合
-  實現性 政治 宣傳 攻勢
-  無 関 心
-  其 他

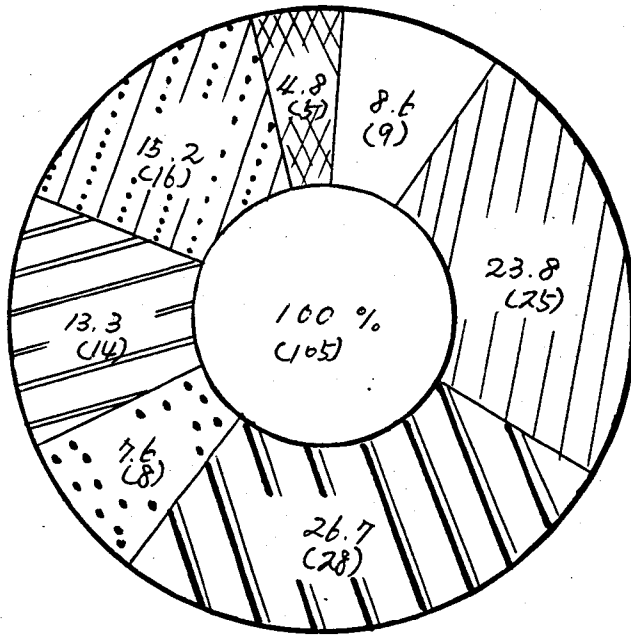
< I - 30 - 4 >




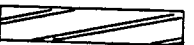


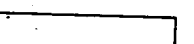


-  美華撒教
-  南北群 對話, 協商
-  南北間 交流 協力
-  雜散 民族 結合
-  實現 地區 之 區域 政策
-  無 關心
-  其他

韓國統一方案에 대한 認識

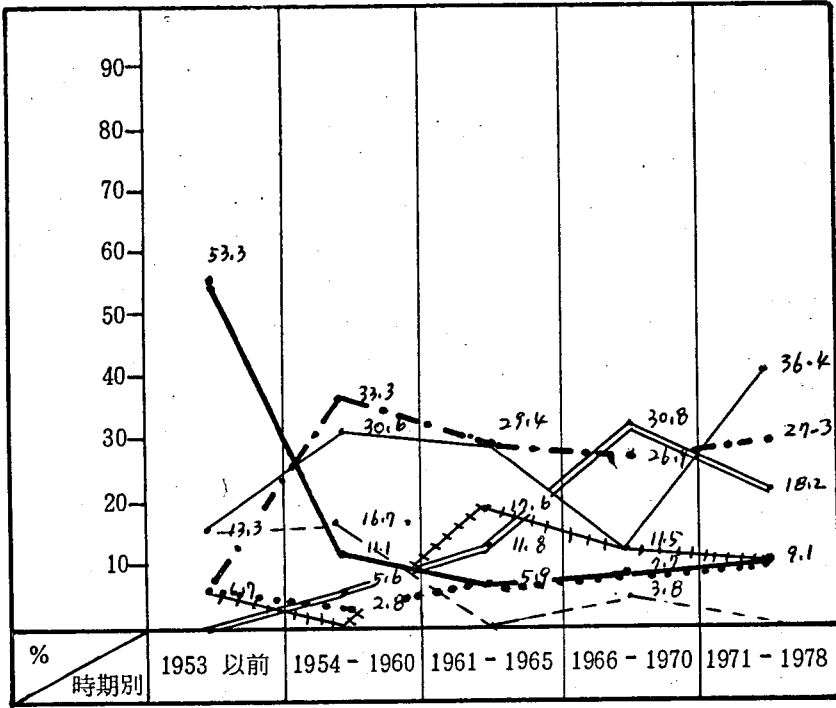
< 2-31-7 >



-  들어보지 않다
-  北後者主다
-  道依政勢다
-  美帝의 附屬이다
-  平和的
-  其他
-  燕庇答

註) 北後者主方向의 一致的 傾向

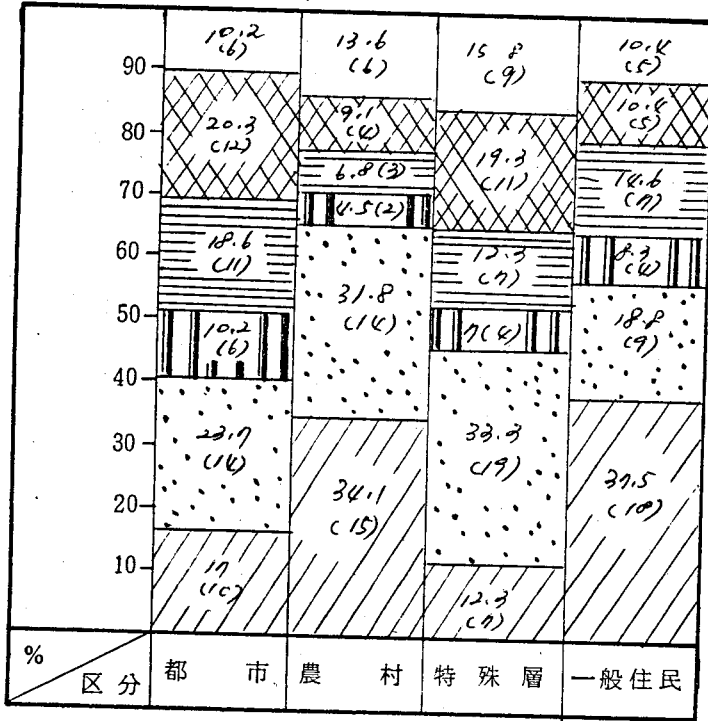
< I - 31 - 4 >


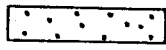



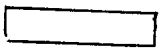


- 들어본적 없다
- - - - 北後者主다
- + + + + 宣傳攻勢다
- ==== 美帝斗術策이다
- 平和的이다
- 其他
- 無反應

註① 平和的인說 認識은 減少組, 北後者主인 認識은 急是線을 繪得
 ② 60年代後半以後 急是線 可 減少 11.5%의 分 36.4%로 急增

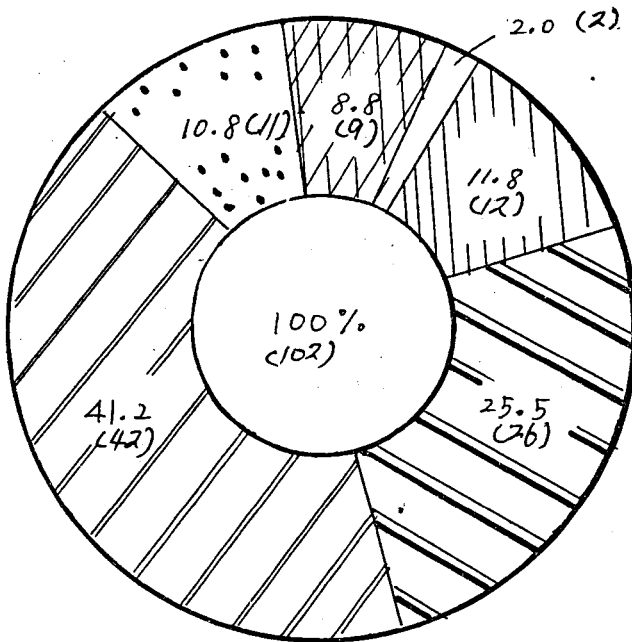
< I - 31 - 4 >




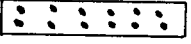

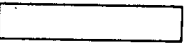


-  生活環境 向上
-  光復 治癒 向上
-  空想 政策 向上
-  美 術 文 化 向上
-  平和 向上
-  其他 (無 回答 包含)

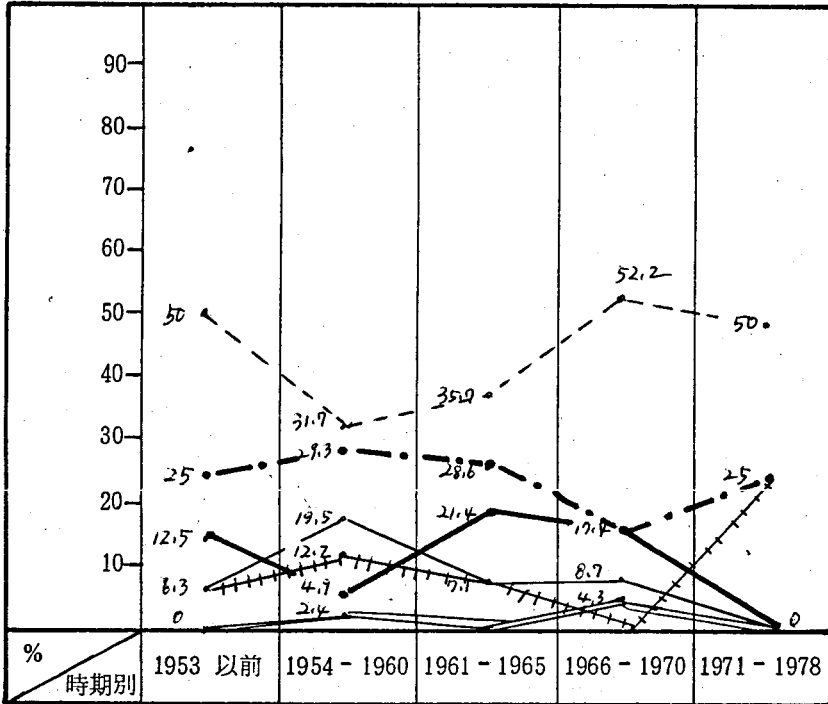
統一에 대한 展望

< I - 32 - 本 >



-  不可能
-  此이 甚수矣 어려운것이다
-  언제나 實現 될것 對稱洲中 甚다
-  外장에 따라서는 尙早이라서 期待甚다
-  其他 (答者의 意見)
-  無 答

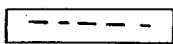
註) 其他는 強大國 介入으로 判斷 困難 等



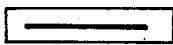
不可能



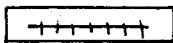
难以实现



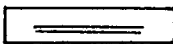
实现可能 对策해야 한다



方法에 따라서는 가능이라도 기대할 수 있다



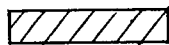
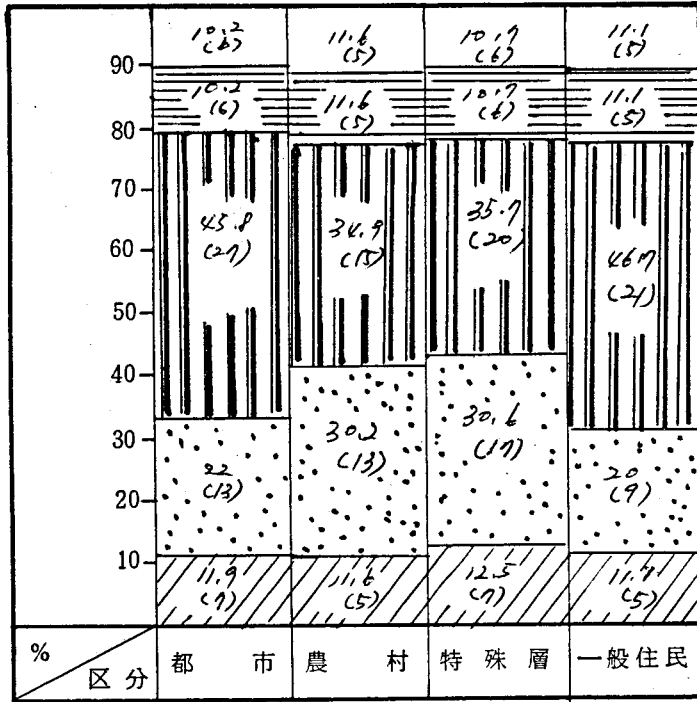
其他



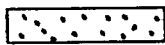
无应答

註) 难以实现 对策에 展望도
있지만 实现에 對한
展望은 有限하다.

< I-32-4 >



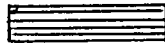
不可能



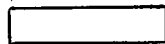
날이 갈수록 어려운 것이다



인건비는 莫覓할 것.



方法에 따라서는 尙早이라도 可해할 수 있다.



其他 (無回答 包含)

(3) 对南觀

○ 韓国體制的 認識

— 強 点

經濟成長 → 民主政治 → 反共意識 → 美国支援
→ 軍事力 順

經濟成長, 軍事力の 強点認識 增加趨勢

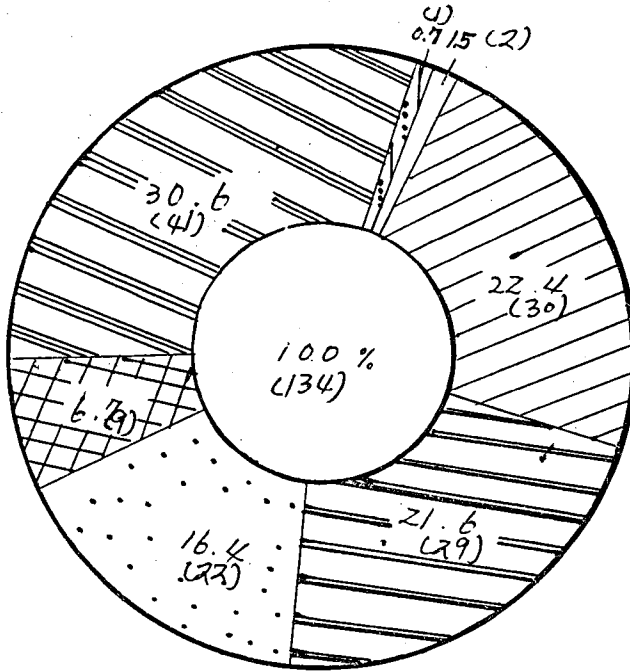
(被支配層, 農村地域에서 높음)



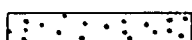
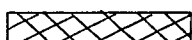

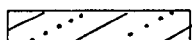
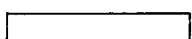
美国支援의 強点認識 下向趨勢

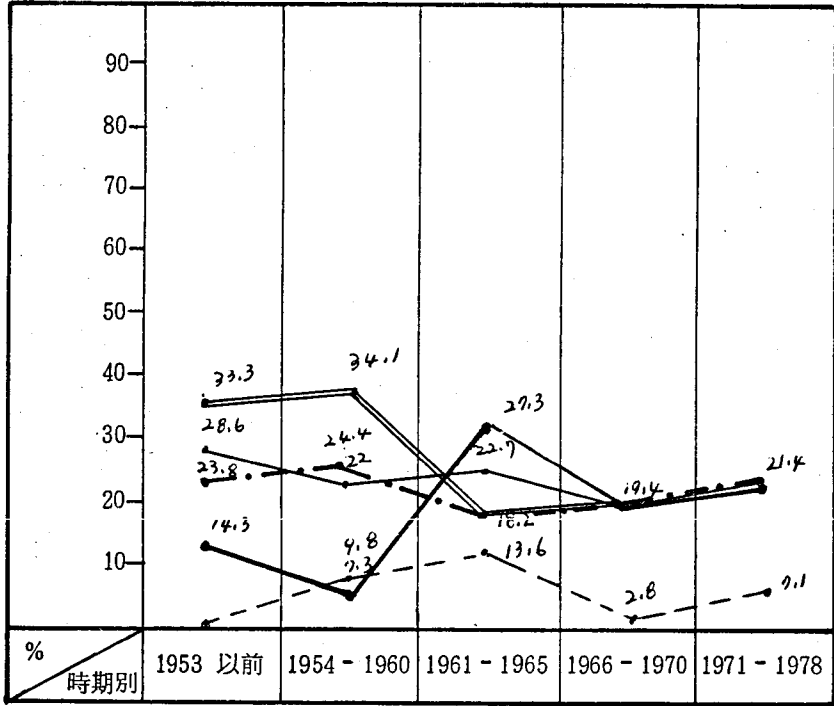
(都市地域, 支配層에서 相對的으로 높음)

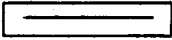
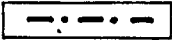
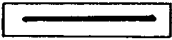
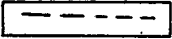
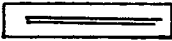
韓國의 強美認識

< I-33 - ㄱ >

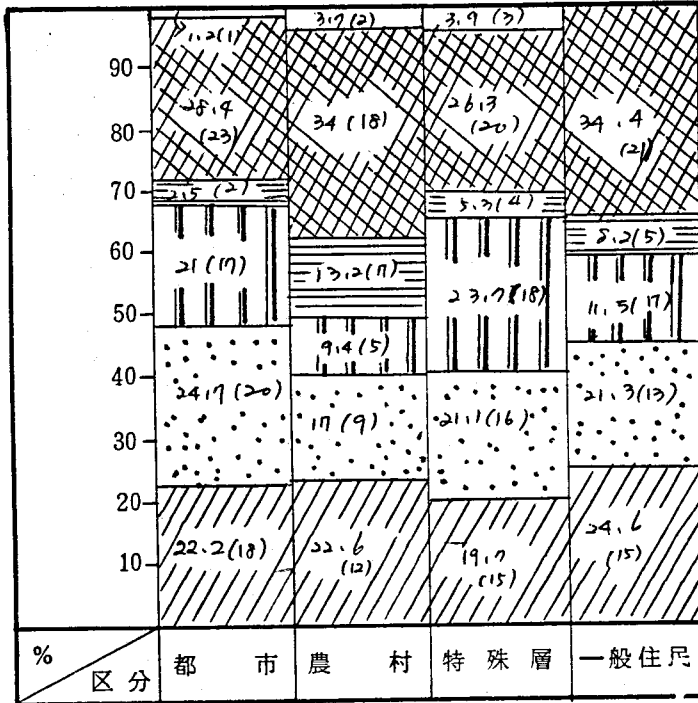


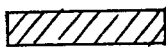
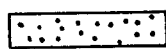


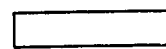
-  民主政治
-  反共意識
-  美國支援
-  軍事力
-  經濟成長
-  其他
-  無回答



-  民主政治
-  反共意識
-  美國支援
-  軍事力
-  經濟成長

< I-33-24 >



-  民主政治
-  反共意識
-  美國支援
-  軍事力
-  經濟成長
-  其他

(4) 对外觀

○ 外交路線에 對한 態度

- 理念的, 理想主義的 立場支持 (26% . 下向趨勢)
(農村地域, 被支配層에서 相對的으로 強함)
- 實利的, 現實主義的 立場支持 (37%, 70年代가 76%,
上向趨勢) (都市地域, 支配層에서 強함)
- 中·蘇에 對한 지나친 依存 憂慮 (20%)

○ 外國에 對한 好感

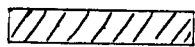
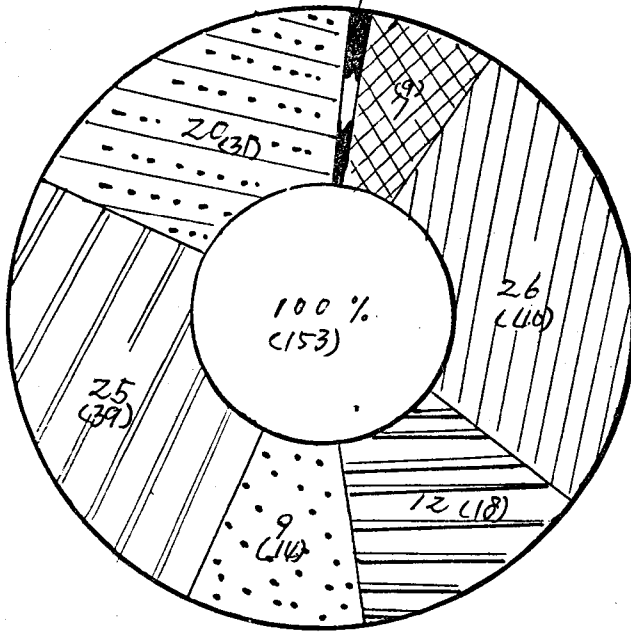
- 中共 → 蘇聯 → 英國 → 印度順
- 中共에 對한 親密感 上向, 蘇聯에 對한 親密感 下向
趨勢

○ 中·蘇紛爭에 對한 態度

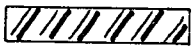
- 等距離的 態度 (32%)
- 無關心 (22.7%, 70年代는 0%)
- 統一에 不利하다고 보는 見解 (13.4%, 70年代는
33.3%로 上向趨勢)

外交政策에 對한 理解

(2) < I-34-1 >



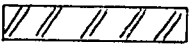
意識上의 對立 (思想, ideology 上의 對立)



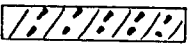
思想 ideology 上의 交流 協力 可能



韓國과 北은 小國의 相對 平等



좋은 國家의 關係 맺는 것이 좋다

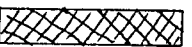


北은 中國에 依存的



其他

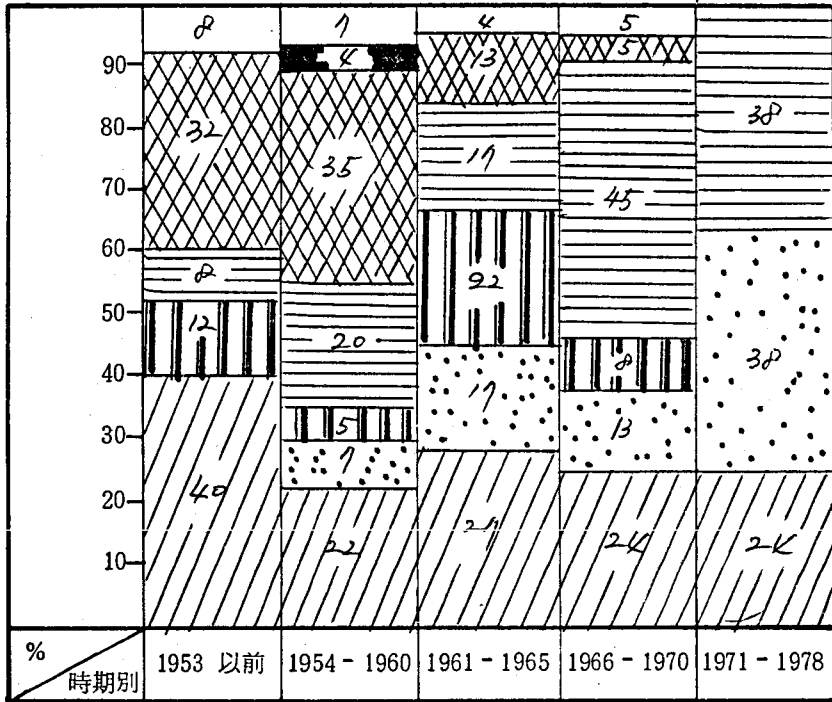
註) 現實的인 態度가 理想的인 것


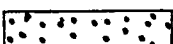

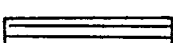


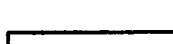


無 回答

北의 優勢

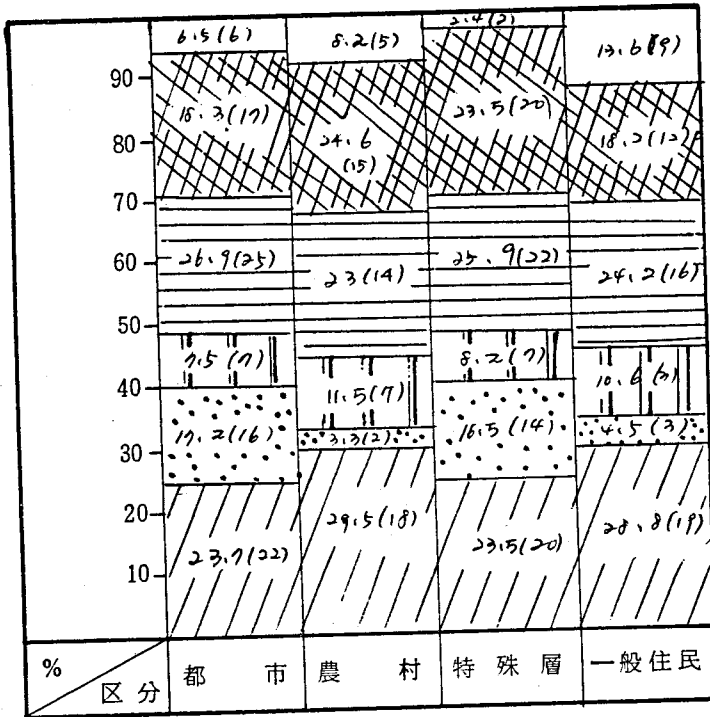
< I - 34 - 4 >



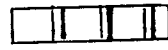
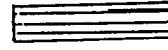
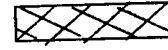



-  思想이더올리기가 파르연 行수될수있디
-  思想이더올리기가 팔라도 交流協力可能
-  韓國과 가까운 나라의 相對 強弱
-  強國과 弱國의 關係 變之것이 좋디
-  日本에게 中·蘇에 依存
-  其他
-  無回答

註) 50年代初까지 外交上 理想의 立場에 대해 70年代에 現實의 立場

< T-34-2 >

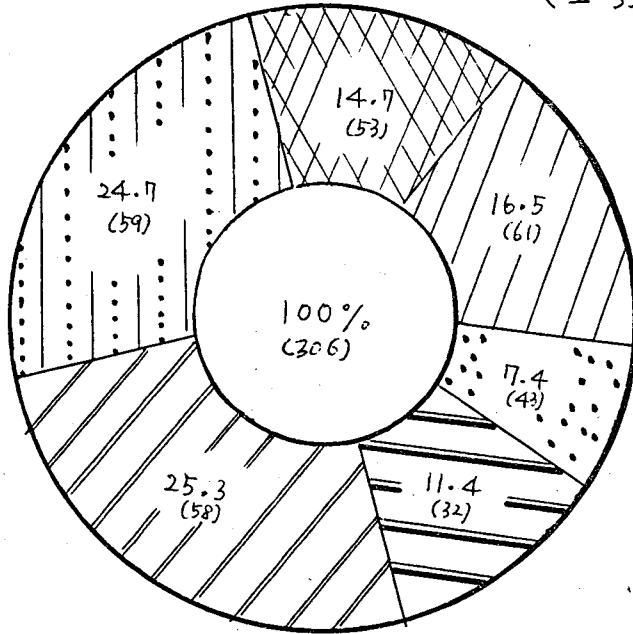



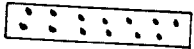


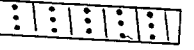
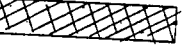
-  親子가 互수없다 (思想이 이데올로기가 다르다)
-  思想이 이데올로기가 다르다 交流, 協力, 可能
-  韓國의 가가치와 中國의 相對가치
-  政治關係의 關係 및 其의 善惡
-  中國에 對한 中-韓에 依存
-  其他 (無回答包含)

註. 都市, 文藝層 및 農村, 被支配層의 社會理想 追求傾向.

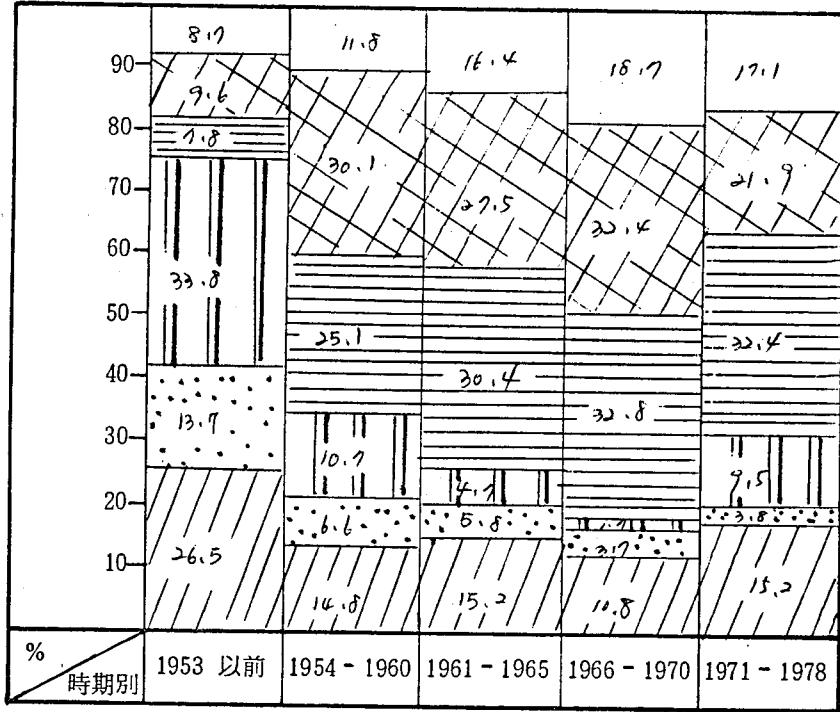
外國에 對한 親密度

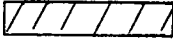
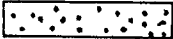

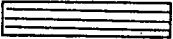

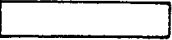
< 工-35-才 >



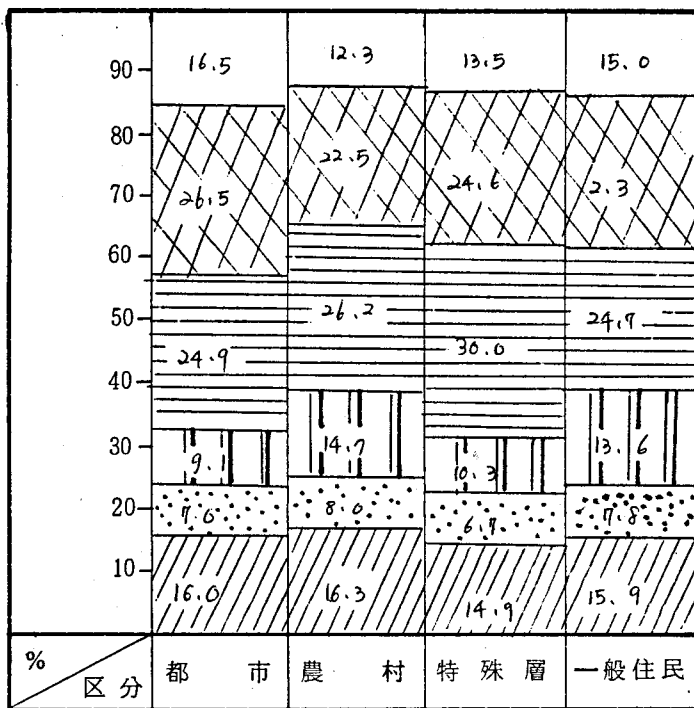
-  英國 (註). 中、蘇、外對親密度不過半數
-  日本
-  美國
-  中共
-  蘇聯
-  印度

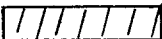
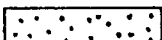
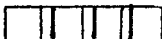
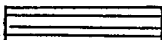
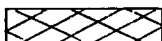
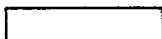
< I - 35 - 4 >



-  英國註 ① 6.25動亂前까지 西方國家(美國·英國)에 對한 認識이 나빠서 苦은것이 特徵이
-  日本
-  美國 ② 6.25動亂以後 美國의 對한 敵愾心이 強力(60年代)하다 此때에 對한 意 見이 美國의 好意的인 態度
-  中 央
-  蘇 聯
-  印 度

< I-35-4 >

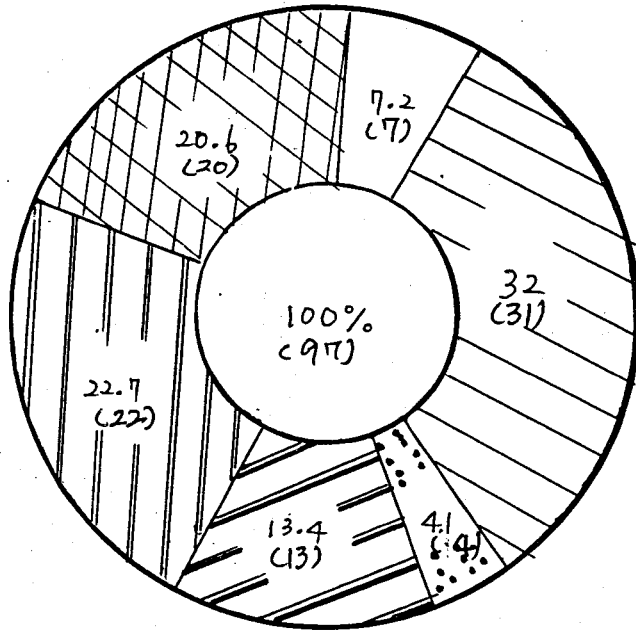


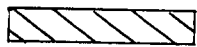
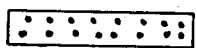

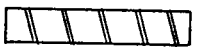

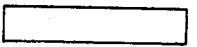
-  英國
-  日本
-  美國
-  中 央
-  蘇 聯
-  印 度

註) 支配層の層此人物是
蘇聯與中央の意識
社及び、被支配層の
中、蘇是同一視此傾向也

中蘇紛爭에 대한 認識

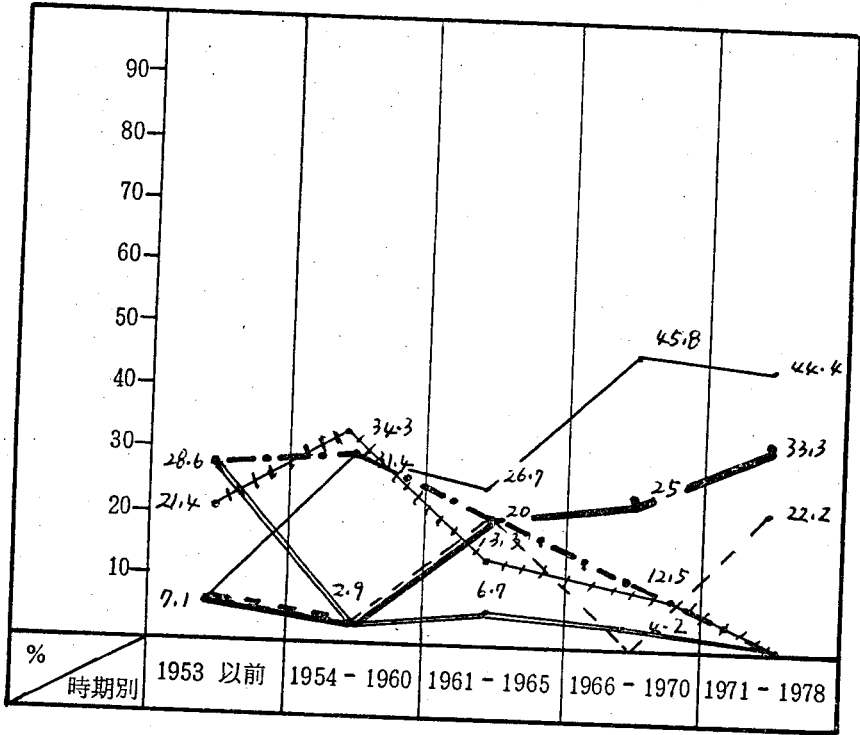
(I-36-才)

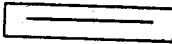
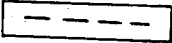
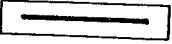
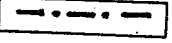
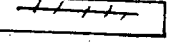
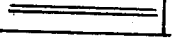


-  兄弟國
-  北蘇에 有利
-  統一에 不利
-  無 關心
-  其他
-  無 回答

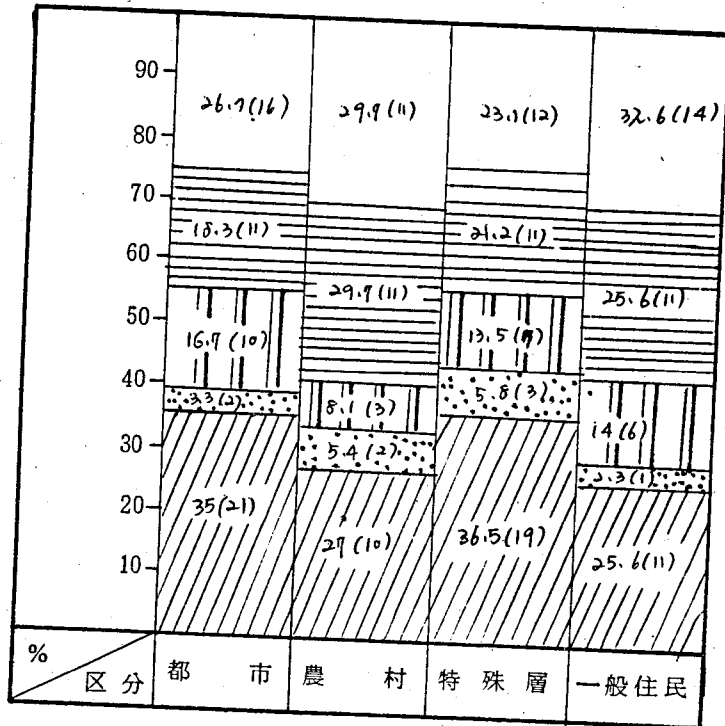
註) 其他는 中蘇紛爭惡化가 豫期가 없는 結果를 가 져는 우려 等

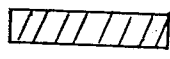

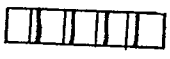
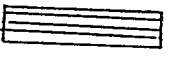
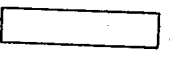
< I-36-4 >

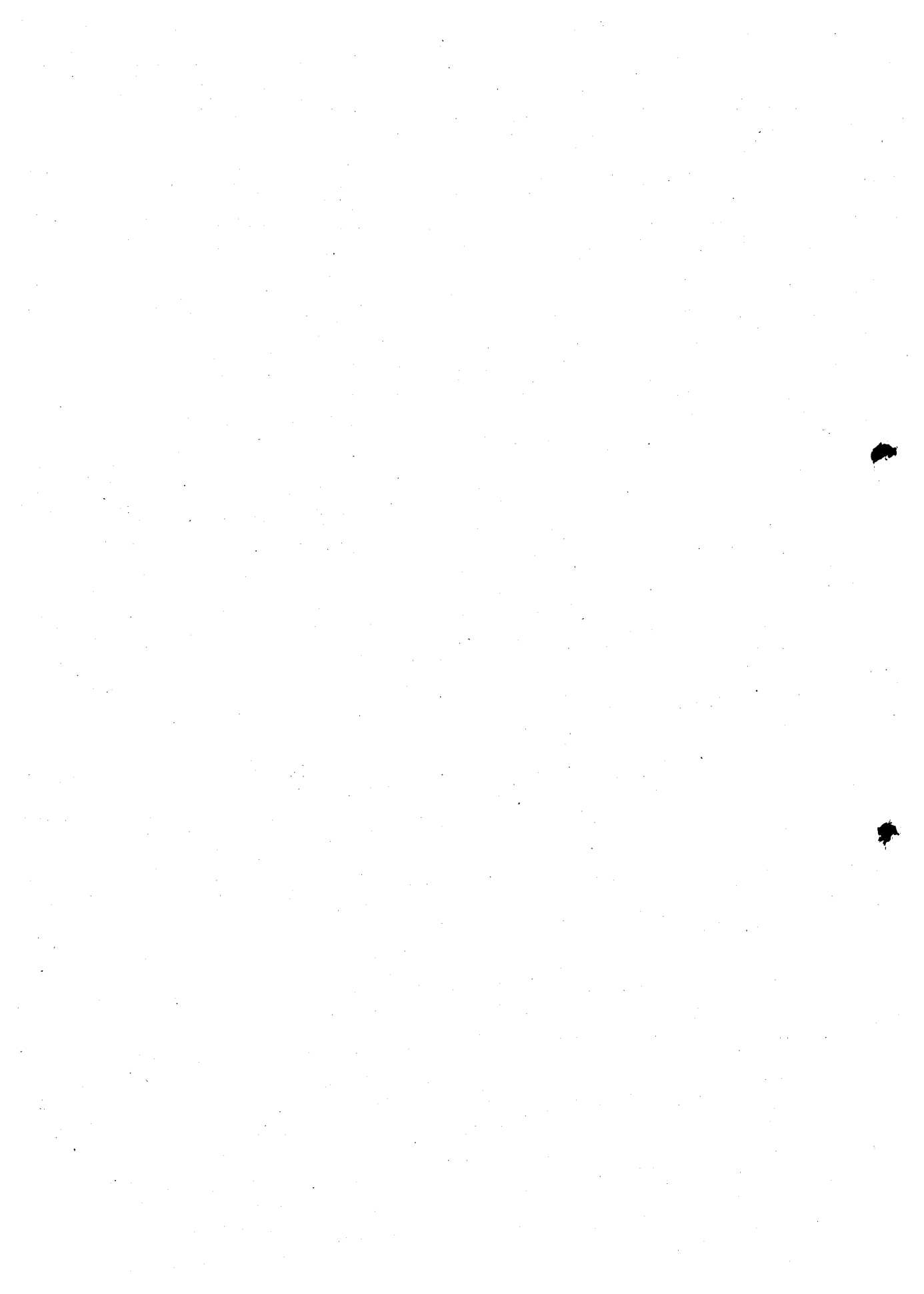


-  兄弟國
-  北韓則有利
-  統一則不利
-  無關心
-  其他
-  無回答

< I-36-4 >



-  兄弟國
-  北韓有利
-  統一不利
-  無関心
-  其他 (無回答包含)



라. 法秩序 運當實態

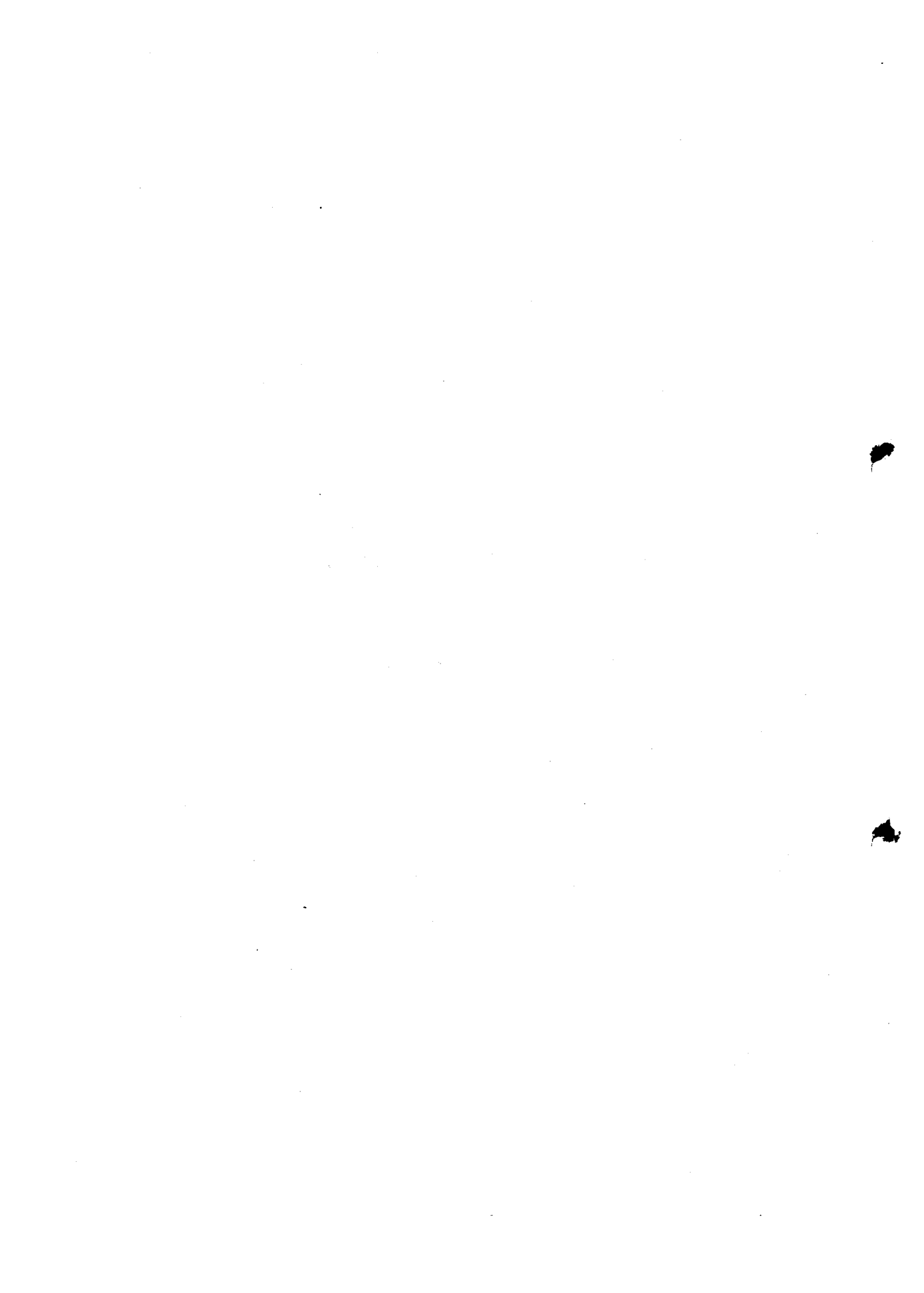
(1) 法의 機能과 運用

(2) 民 事 關 係

(3) 刑 事 關 係

(4) 行 政 作 用

(5) 裁 判 關 係



다. 法秩序 運營實態

(1) 法の 機能과 運用

○ 法の 機能

— 法을 党政策實現을 위한 道具로 利用

(人民彈压道具 34%, 展示勸果用 50% 차지)

— 70年代 以後에는 人民에 對한 宣傳的 綱領으로
活用

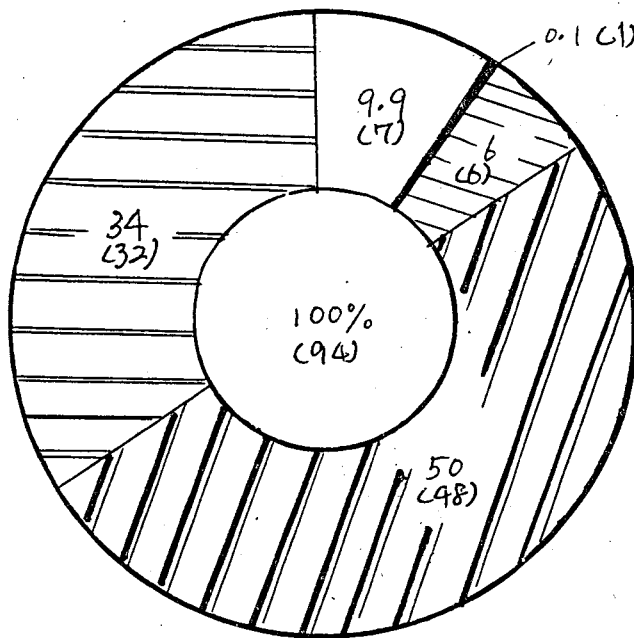
○ 法の 運用


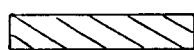

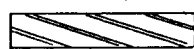
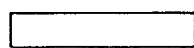
— 法運用에 있어서 党的 干涉 甚大

— 事案에 따라 法을 二元的으로 運用

法の機能認識

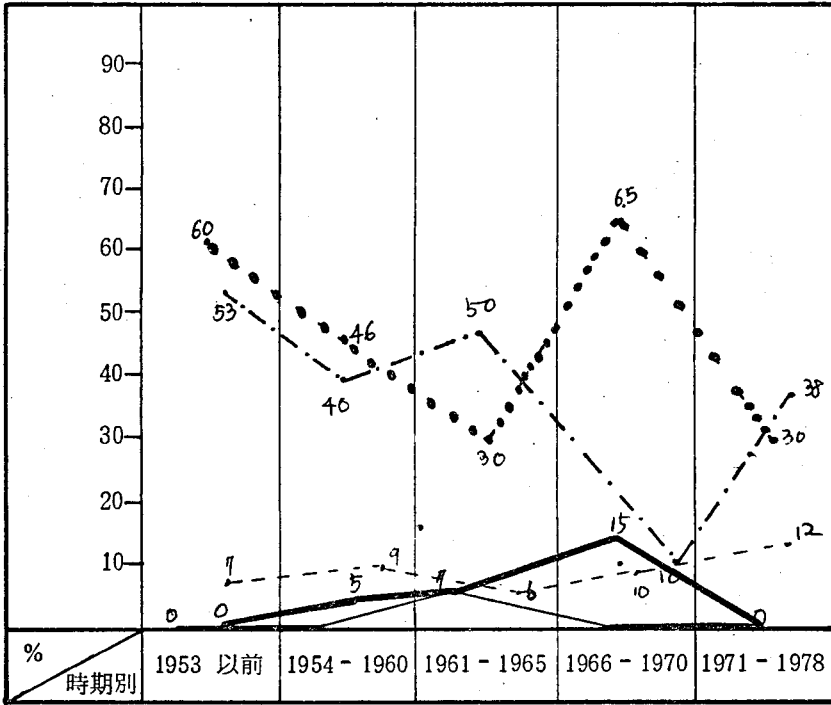
<工-37-オ>



-  法遵守 努力
-  実務上 果たせる 場合 あり
-  全く 効果 あり
-  人民 抑圧 道具
-  其他

註) 展示 効果 あり、人民 抑圧 道具 用い たり 已 此
見解 74% 互 支 配 好

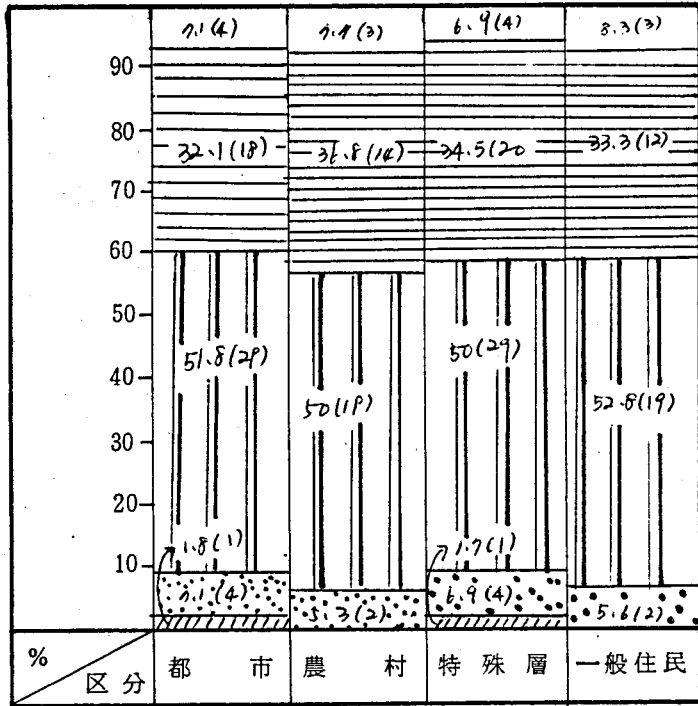
< I - 37 - 4 >


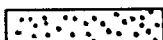

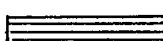
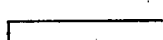


- 緩進的努力
- 實際上買不到境遇改善
- 展示效果用
- 人民抑壓道具
- 其他

註) 60年代後半期人民抑壓道具之傾向則減退因買出 60年代後半期急上昇趨勢

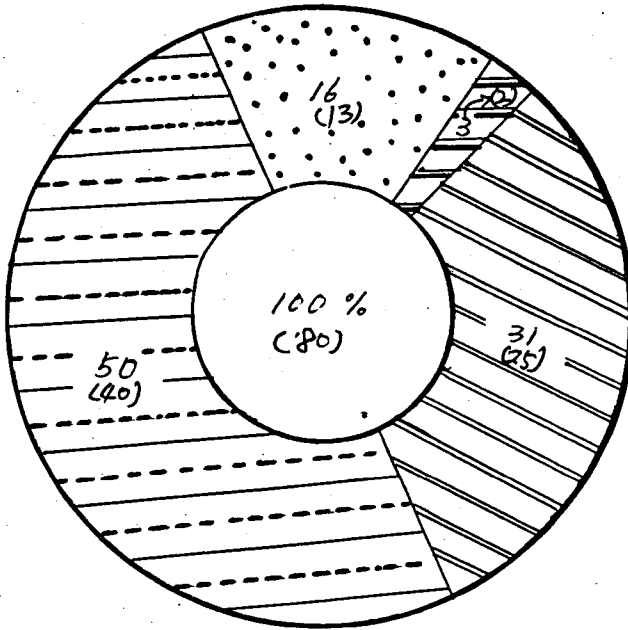
< I-39-다 >


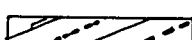
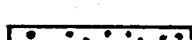
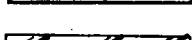


-  法 遵守 努力
-  先 무 상 美 比 况 美 意
-  展 示 效 果 用
-  人 民 抑 压 道 具
-  其 他

法適用에 있어서의 男女差別 與否

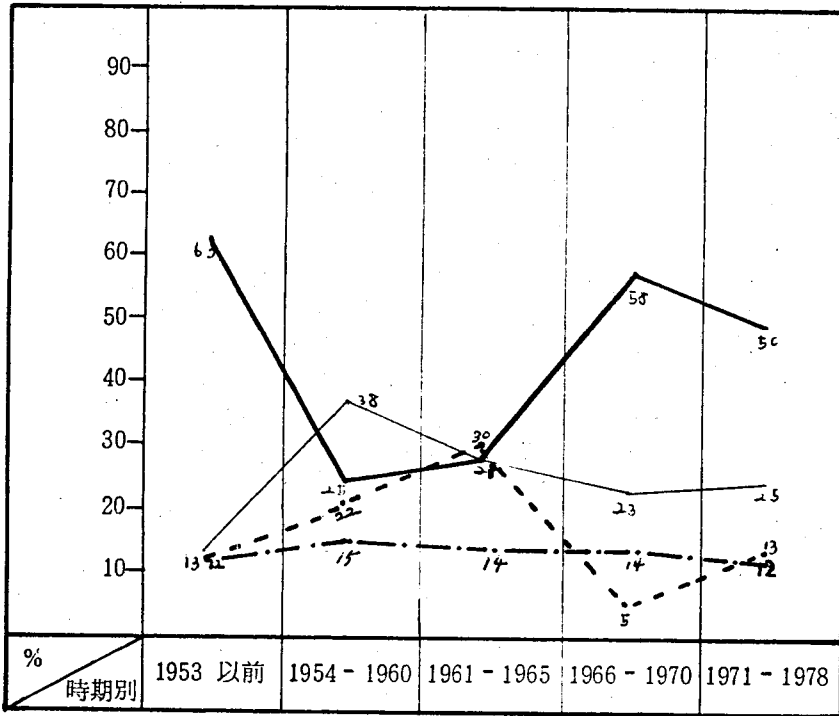
< 工-38-才 >



-  全計 反否
-  實際上 反否
-  實際上 差別이 否
-  其他 (無反應 包含)

註) 法形式上 女性에 差別待遇는 否
 然지 反否지만 實際上 差別이 否

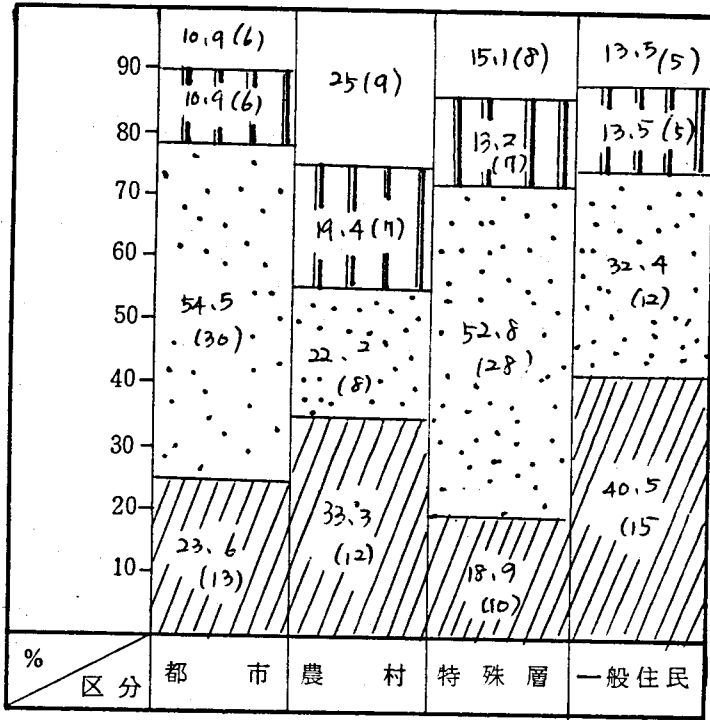
< I - 38 - 4 >



- ===== 全科 收容
- ===== 實際上 收容
- 實際上 差別收容
- .-.-.- 其他

註) 實際上 男女差別收容
自認比不明向 (法外機能喪失を意味)

< I - 38 - 4 >



合计



实际上



实际上差别层



其他 (無回答包含)

(2) 民事關係

○ 紛爭의 性格

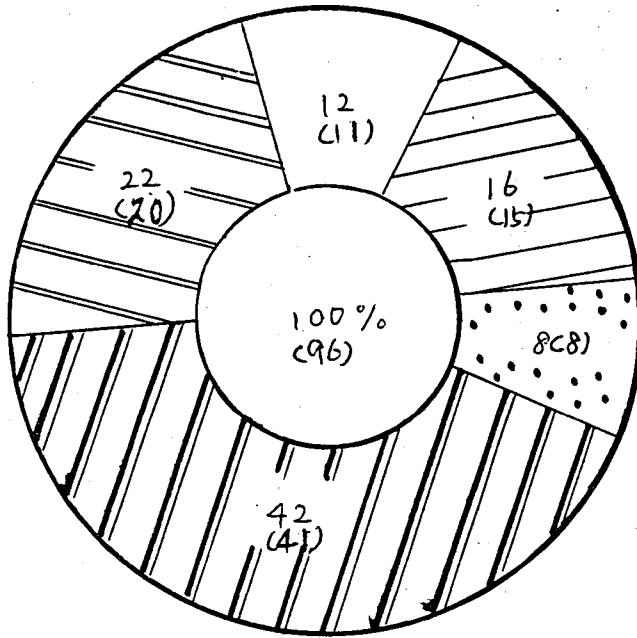
- 個人間의 民事紛爭 稀少
- 紛爭發生 可能性 있는 社会的 風土 薄弱
(民事訴訟制度 없다 8%, 모른다 22%로 制度 自体를 모르는 傾向)

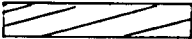
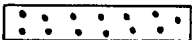



○ 處理上의 特性

- 法에 依해 解決하려는 意識 薄弱
- 黨에 依한 問題解決傾向 濃厚
(黨에서 解決 42%로 裁判所 解決 16% 凌駕)
- 當事者間의 和解를 통한 紛爭解決態度 維持

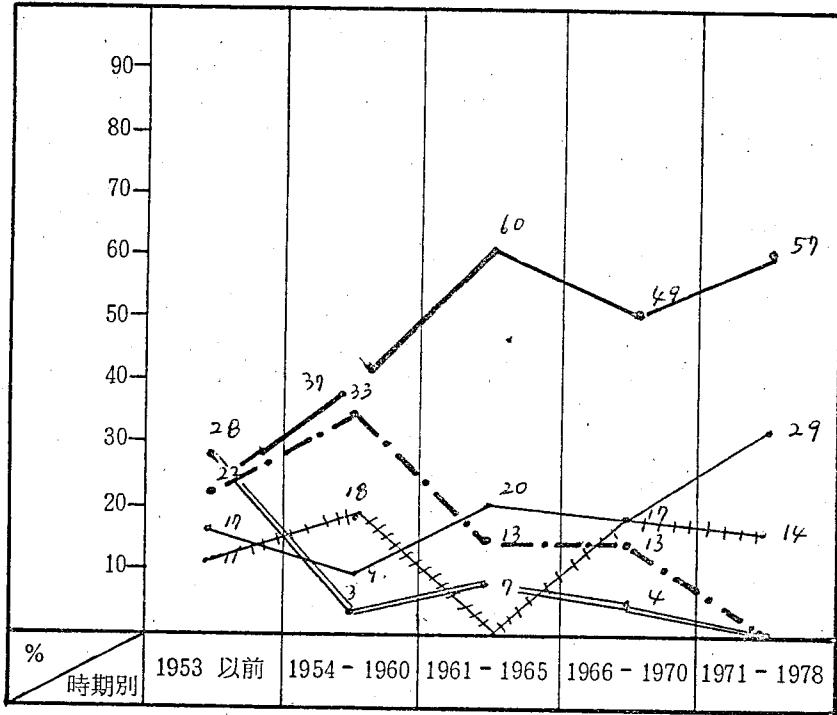
民事紛争 解決 方法

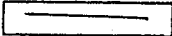
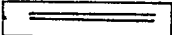


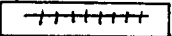
< I-39-1 >



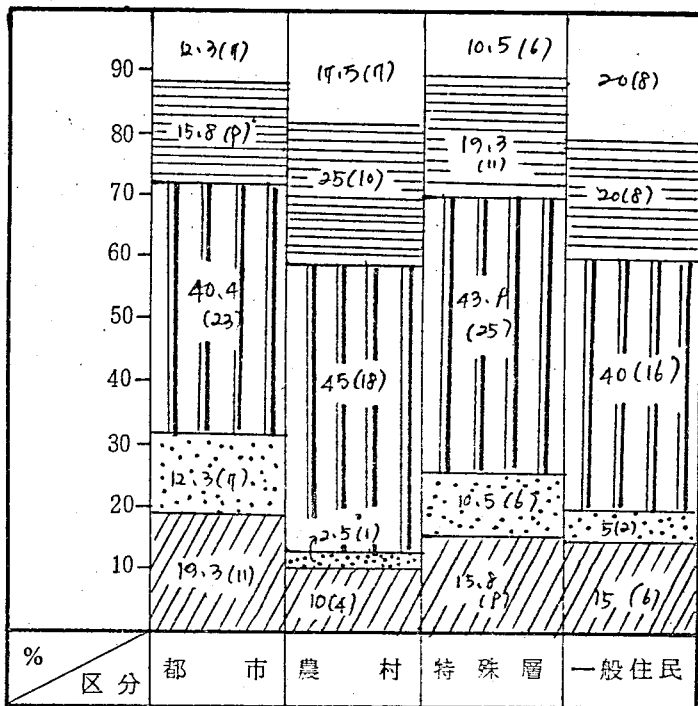
-  裁判所の 訴訟提起
-  民事訴訟制度 以外
-  党での 解決
-  早急な
-  無 応 答


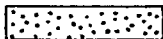
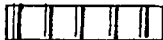
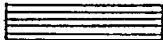

< I-39-4 >



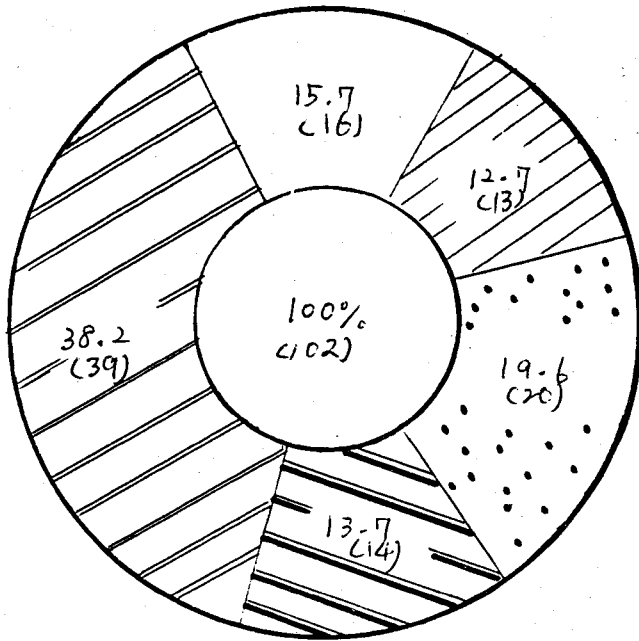
-  裁判所に 訴訟提起
-  民事訴訟制度 以外
-  당에서 解決
-  조정
-  無 応 答

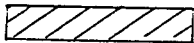


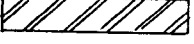
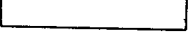
< I-39-4 >



-  裁判所内訴訟提起
-  民事訴訟制度以外
-  党内解決
-  不明
-  無応答

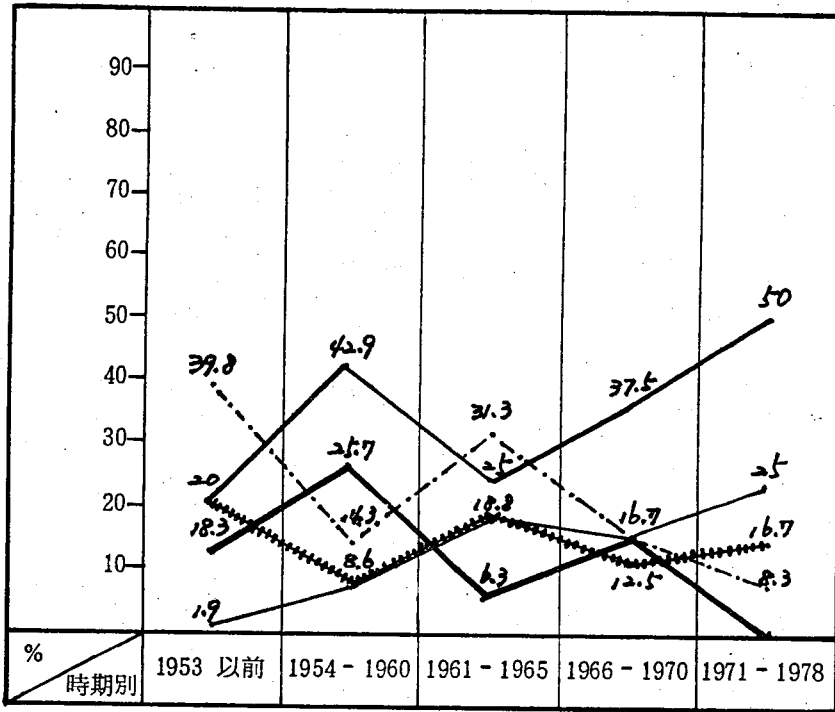
去年 紛争 解決 方法 < I-40-7 >

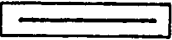
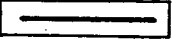
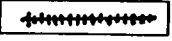
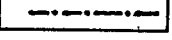
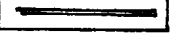


-  裁判所調停
-  人民委員提議
-  当事者和解
-  紛争放棄
-  其他(無回答包含)

註) 去年関係は 稀少である 紛争の余地は 限られ、紛争発生時においては 人民委員提議 傾向が 多数也。

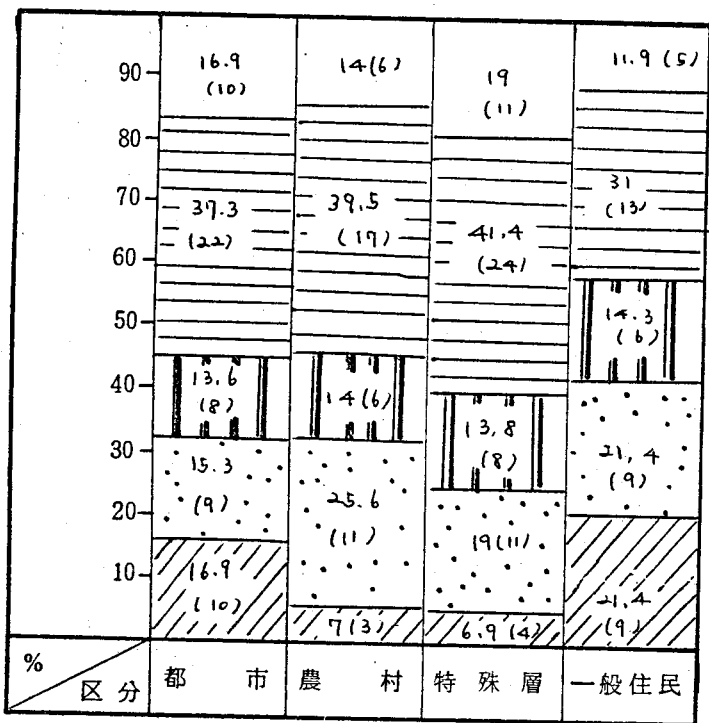
<I-40-4>




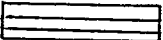



-  裁判所に 訴訟
-  人民委에 提訴
-  當事者 和解
-  紛争 収束
-  其他 (無回答包含)

註) 60年代以後 民事的 紛争이 급격히 減少됨.

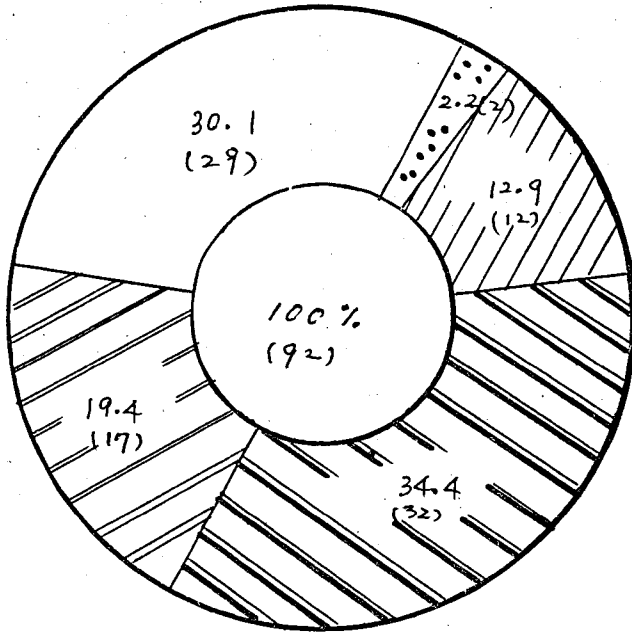
< I - 40 - 4 >

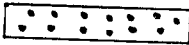



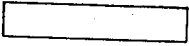


-  裁判所の判決
-  人民委員会調停
-  当事者和解
-  紛争の収束
-  其他 (無応答包含)

瑕疵擔保責任有無

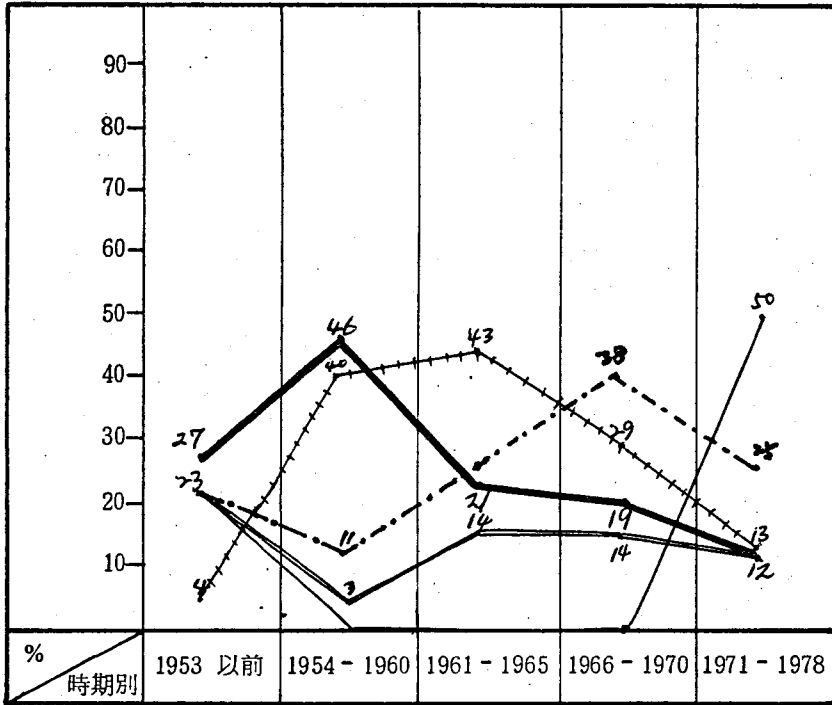
(I-41-가)

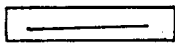
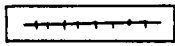
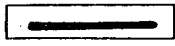
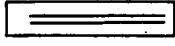



-  後에 返品되
-  店에서 修理
-  어쩔수 없다
-  其他
-  無回答

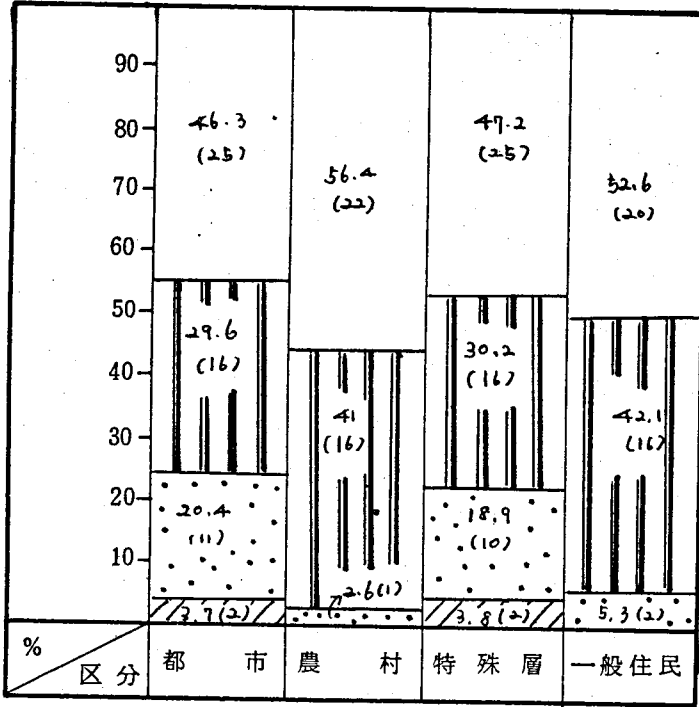
註) 國營商店에서 購入된
 商品의 瑕疵가 發生할
 時 賠償 方法의
 解決 方法에 答

< I - 41 - 4 >



-  法에 依한다
-  어쩔수 없다
-  無 應 答
-  黨에서 處理
-  其 他

< I - 41 - 4 >



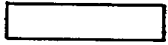
续에 依한다



党에서 處理



이월수 受中



其他 (購入後에서 外子中...)

(3) 刑事關係

● 刑事關係法の 公知

- 모른다가 47%, 都市, 支配層은 新聞·放送 通해 認知
(農村, 被支配層은 學習 통해)

○ 処罰根據

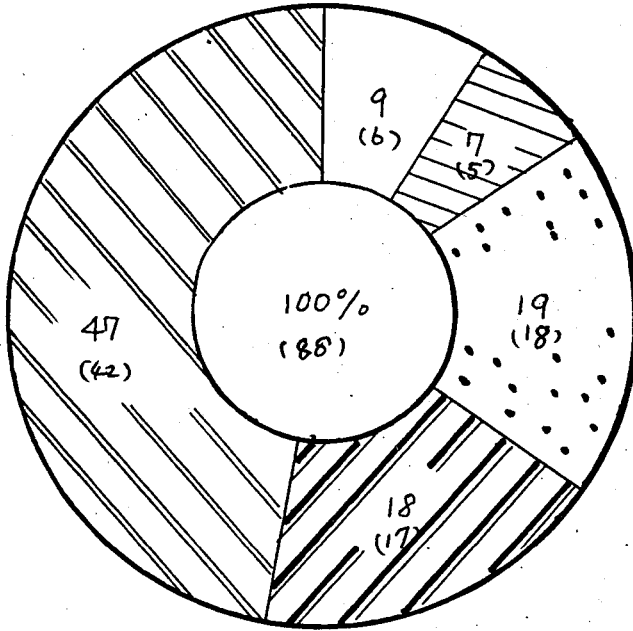
- 法보다 党的 指示가 強하다고 認識
- 罪刑法定主義的 刑罰運用에는 懷疑的 見解 多數






○ 処罰上의 特性

- 一般犯, 特殊犯에 따라 二元的으로 處理
(體制否定的 犯罪의 處理에 대해서는 人民들에게
公知시키지 않음)
- 量刑에 있어서 党的 影響 甚大
(党幹部의 處理 44%가 法에 의한 處理 45%와
맞먹는다)

刑事關係法 認知 경로

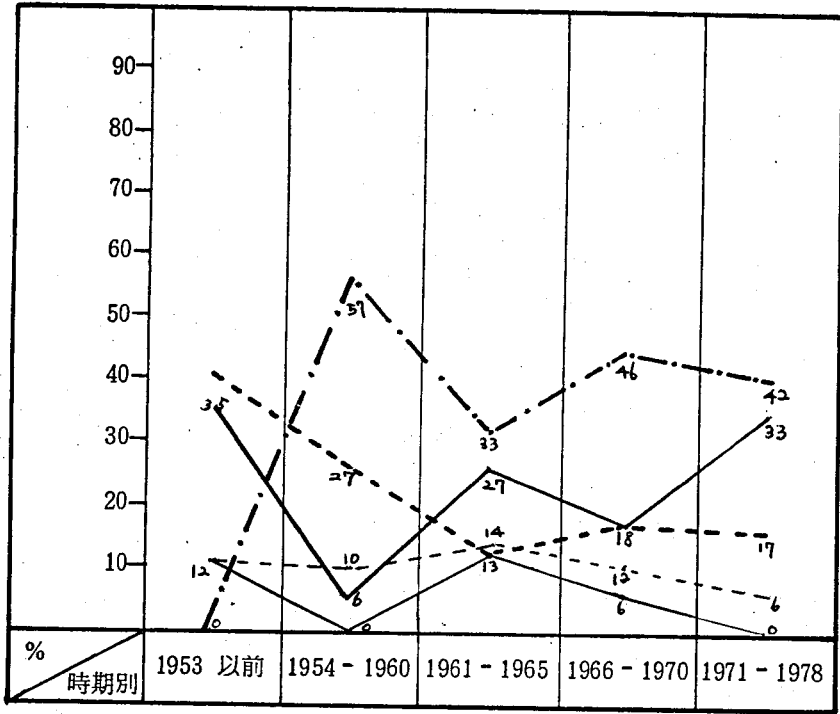
< I-42-7 >



-  新聞, 放送
-  소문
-  黨學校教育
-  모름
-  其他

註). 刑事關係法의 存在를 모르는 回答의 높은 比率로 보아 體制부정적 犯罪의 處理에 對해서는 人民들에게 公知시키지 않는 것으로 注意됨.

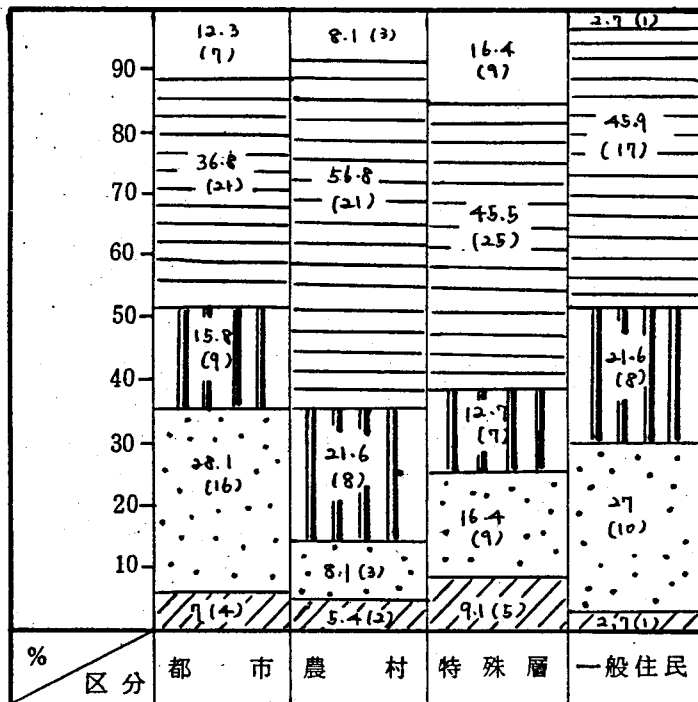
< I - 42 - 4 >



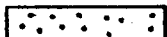
- 新闻, 放送
- 新闻
- 党, 学校教育
- 无线电
- 其他

註) 无线电 42% 为 广播站 比率

< I-42-4 >



 新聞、放送

 所聞

 党、学校教育

 正旦斗

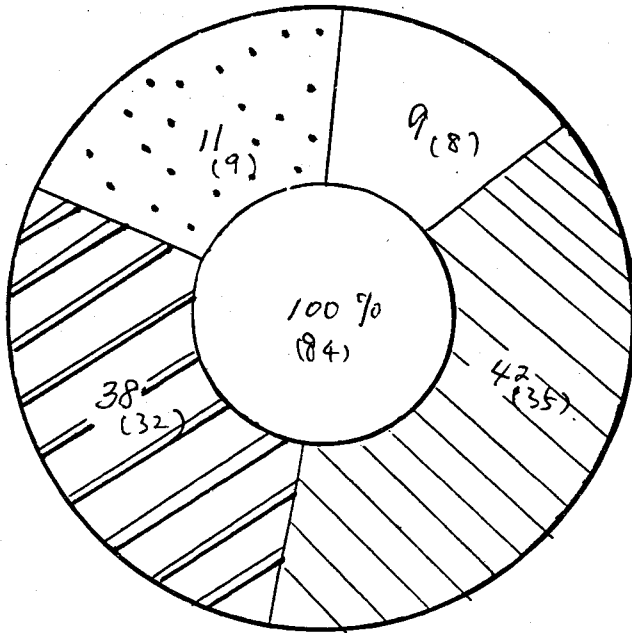
 其他

注) ① 大都市支配層は新聞、放送を
通訓し刑事法存在斗争莫定
さ機会に逃る。

② 郊外の区公布の正旦
学習時間は通訓に依る。

犯罪處理의 根拠

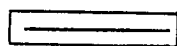
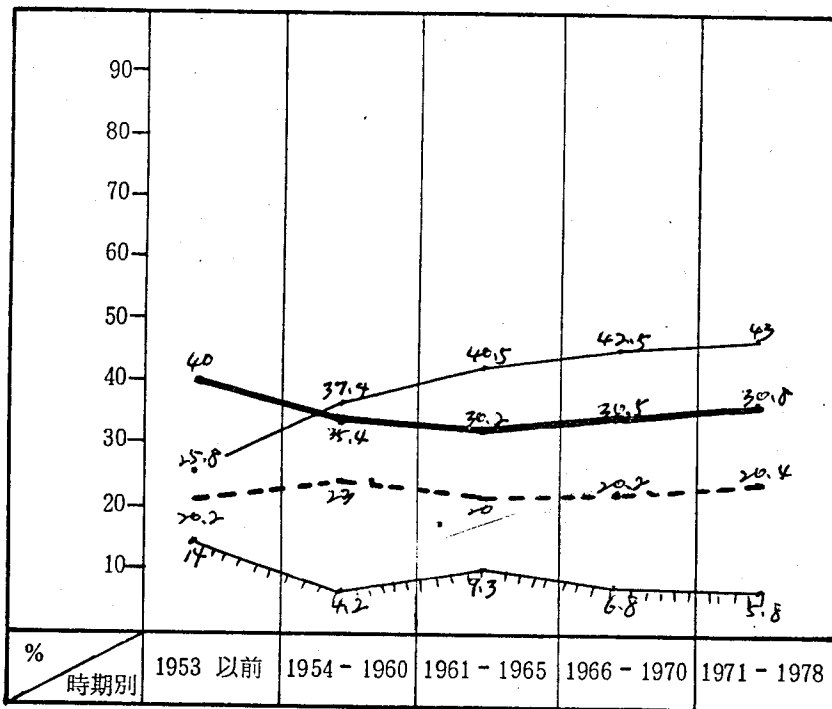
<I-43-가>



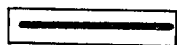
- 法에 의함
- 黨幹部의 指示
- 裁判現場 大衆의 意見
- 其他

註) 其他는 事件마다 달리
取扱한다는 것 等임

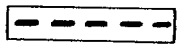
< I-43-4 >



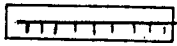
法



党幹部의 指示



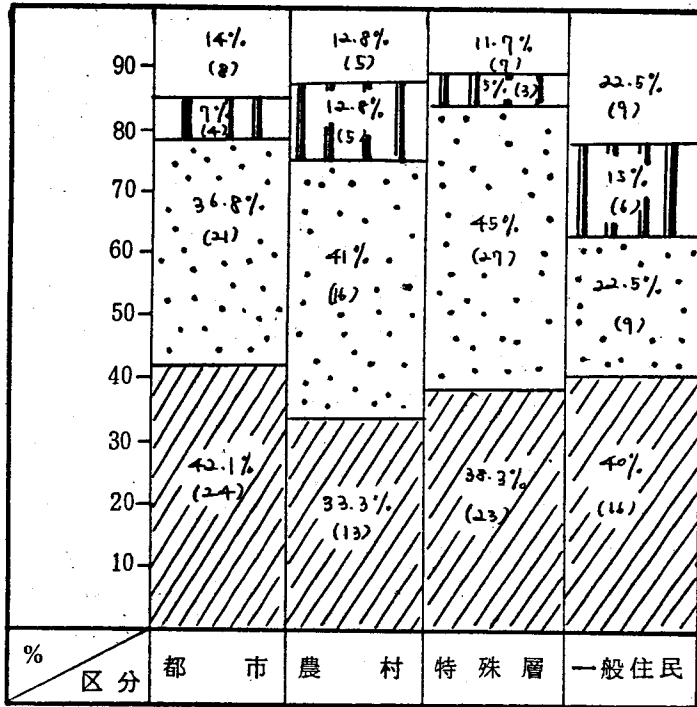
裁判現場 大衆의 意見







其他

註) 其他는 事件마다 달리
取扱된다는 것 등임

< I-43-4 >



-  後에 의함
-  院幹部의 指示
-  裁判現場大衆의 意見
-  其他

(4) 行政作用

○ 行政運用의 實態

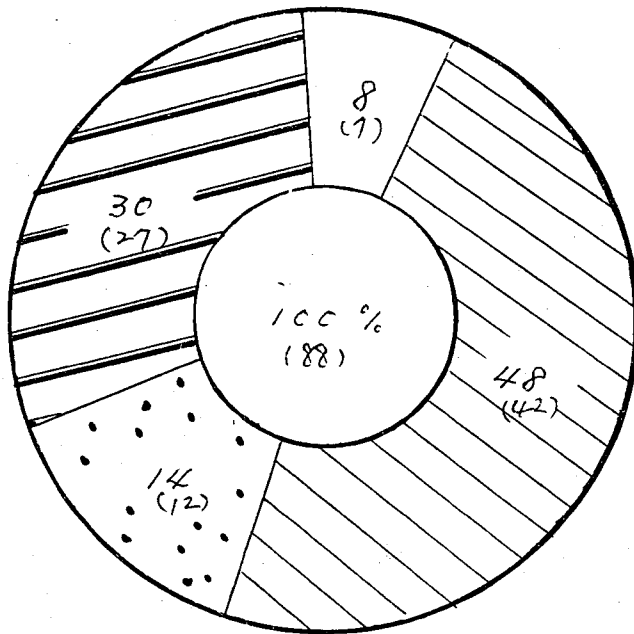
- 統一된 法令에 依한 行政運用不在
- 都市地域, 支配層이 農村地域, 被支配層보다 行政運用
實態 熟知

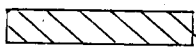
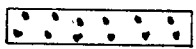
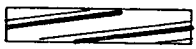
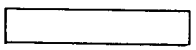
○ 行政作用의 合法性 与否에 对한 認識

- 行政当局의 法遵守努力에 肯定的 見解도 少数存在
- 党的 指示와 合法性을 同一視하는 見解가 多数

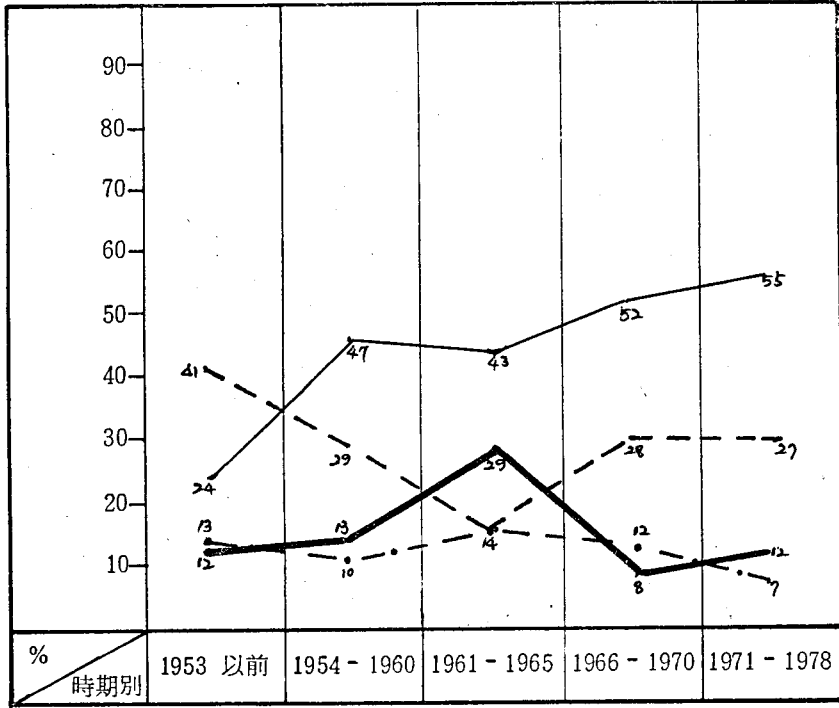
行政法 認知 経路

< I-44 木 >



-  新聞、放送
-  虎棧園
-  無関心
-  其他

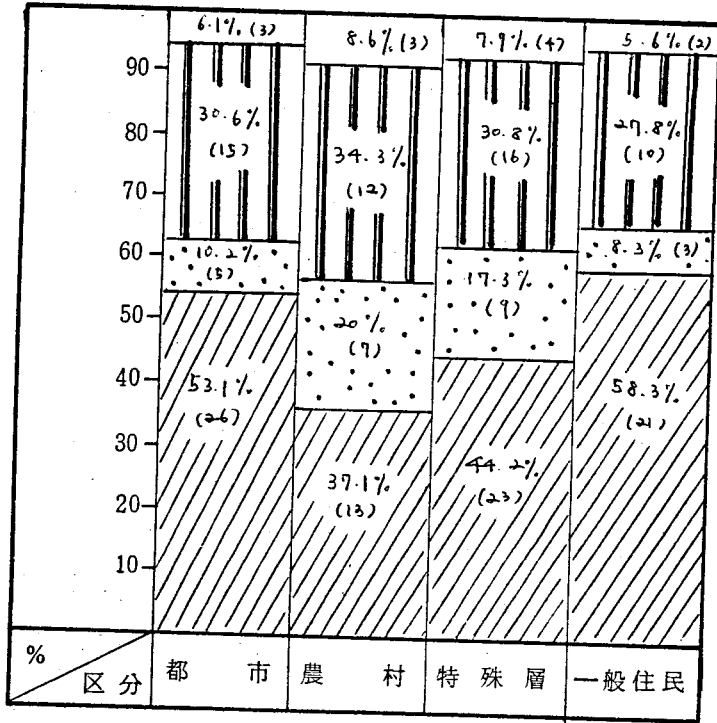
<I-44-4>







- 新闻放送
- 党機関
- - - 無関心
- · - · - 其他

註) 1960年より新闻放送を
通社で公知する比率が
増加勢

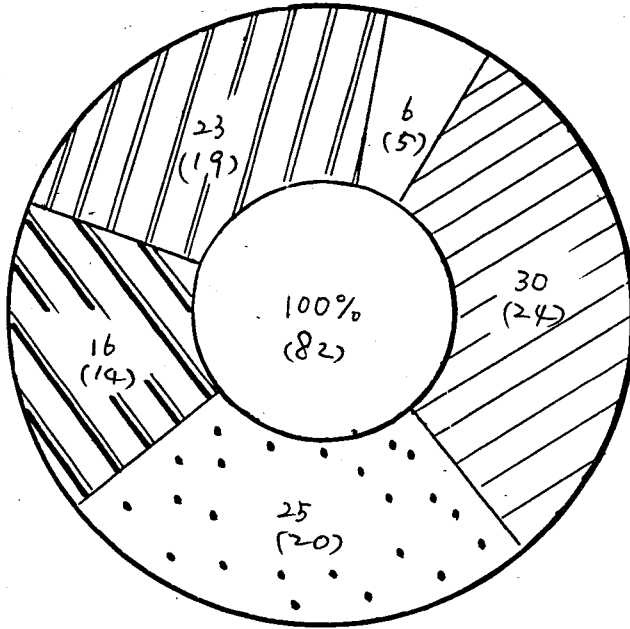
< I-44-2 >

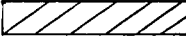






-  新聞, 放送
-  党機関
-  遊楽心
-  其他

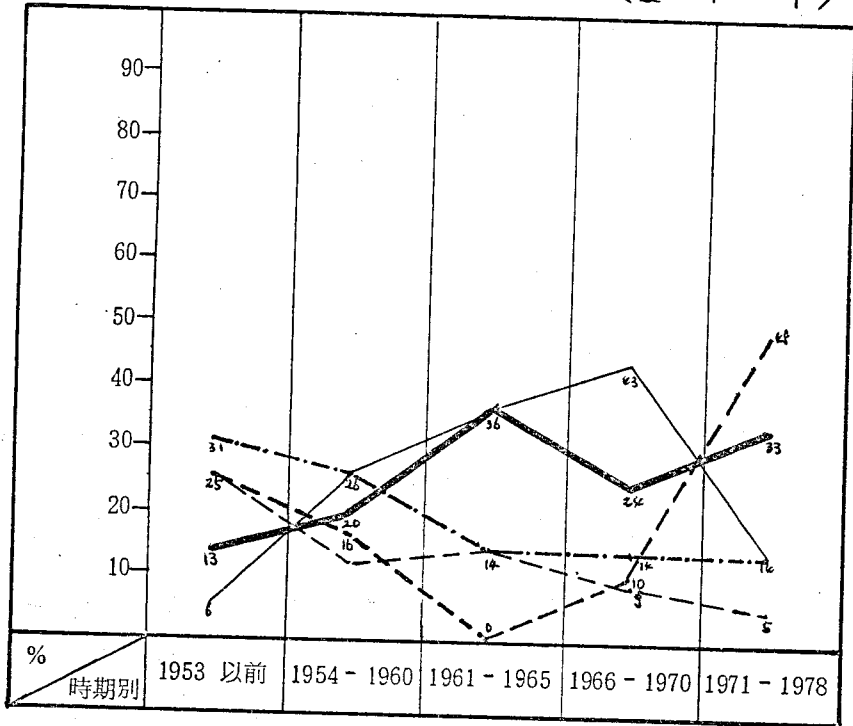
公权力行使 方法

< I-45-가 >



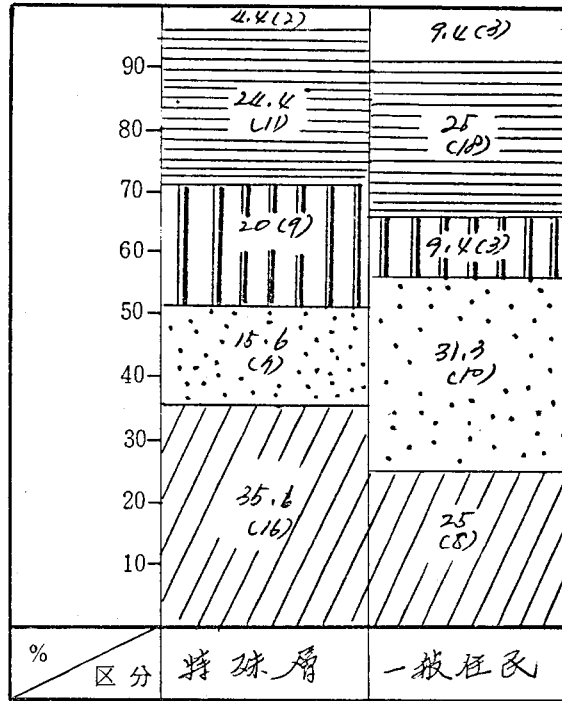
-  法令에 根據
-  효율에 의거 努力
-  法令無視
-  모름다
-  其他

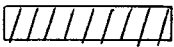
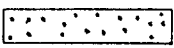

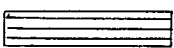
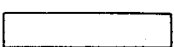
< I - 45 - 4 >



- 法令에 根拠
- 法令에 依拠 努力
- 法令無視
- 모른다 註) 法令無視 傾向
- 其他 43%로 急增

< I-45-4 >



-  法令에 根據
-  法令에 의거 努力
-  法令 悉視
-  모름다
-  其他

(5) 裁判關係

○ 裁判節次上の 特性

- 裁判進行過程에 人民의 形式的 参与機會 賦与

(人民裁判制度의 尚存)

- 非法曹人에 의한 裁判部構成 및 運用

○ 裁判에서의 党的 干与

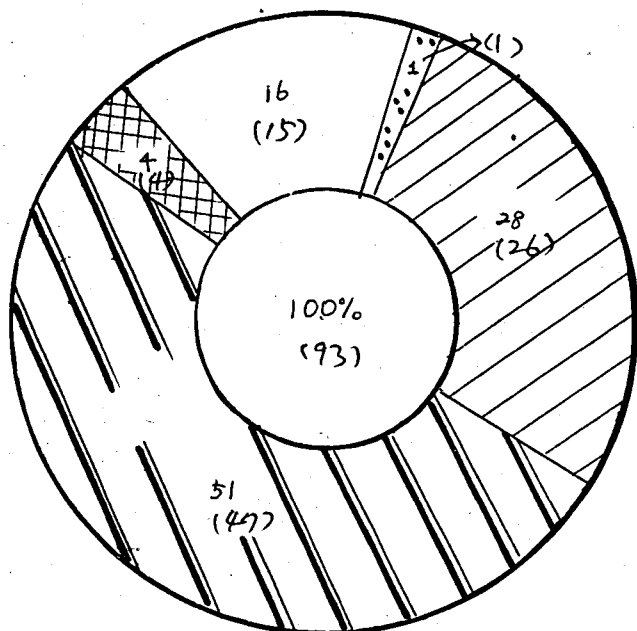
- 裁判進行 및 結果에 對한 党的 関与가 甚大

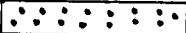



(人民裁判의 경우 党的 決定 51%로 強勢)

- 裁判部 構成員과 党係는 相互交流可能

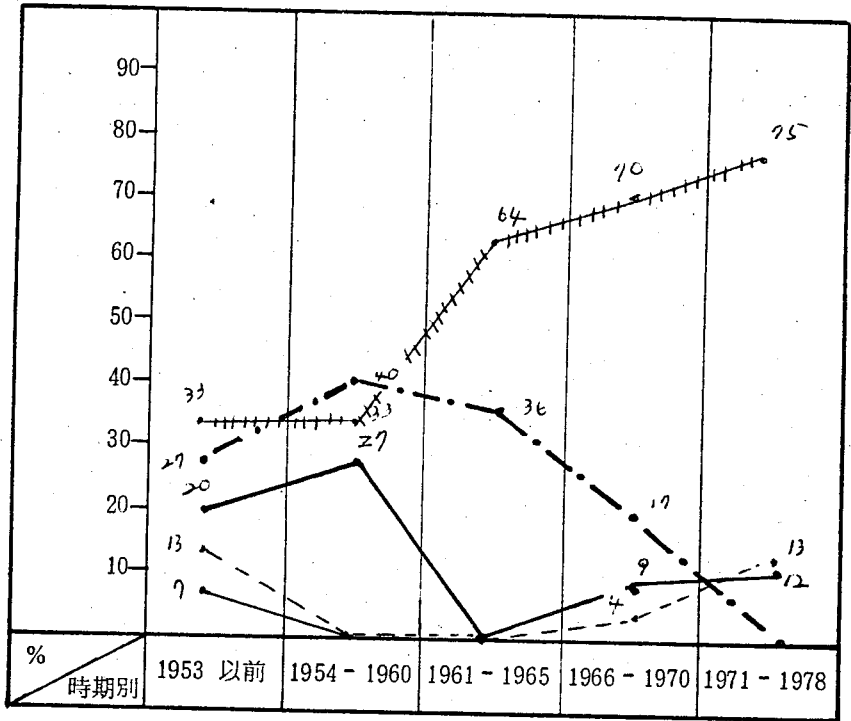
人民裁判 該当 犯罪

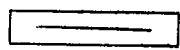
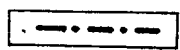
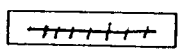
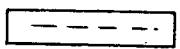
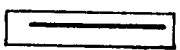
< I-46-本 >



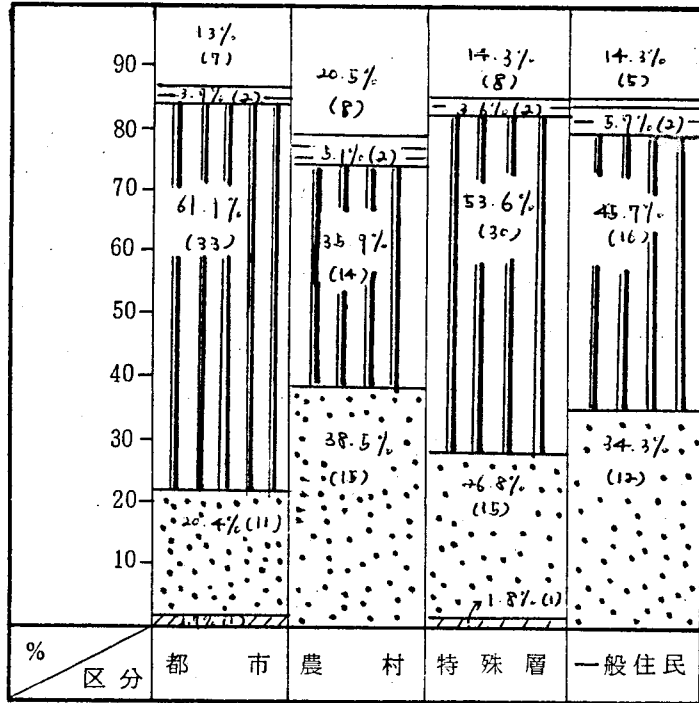
-  早世裁判
-  思想政治犯
-  脱逃及変装
-  70年代以後最时高
-  其他(早世等)


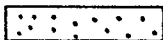

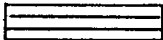
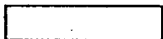
< I-46-4 >



-  正念 裁判
-  思想 政治犯
-  虎州什 定환本
-  20年代以後 獄囚者
-  其他 (우음함)

< I - 46 - 4 >



-  其他
-  思想政治犯
-  脱北者 定北者
-  70年代以後 自討召
-  其他

時期	節次	職業	地域	備考
	4) 마지막으로 裁判長(黨委員長)이 罰言渡함.			
56	裁判長, 陪審員, 檢事, 判事 参加下에 罪狀報告, 判事論拋, 群衆討論, 処刑	農 業	咸南 端川郡	
58	自首를 勸誘, 自首者들을 輕·重으로 가린 다음 反動으로 認定된 者는 部落에서 打殺	軍 人	江原 昌道郡	
62	脚本에 依해 現場에서 몽둥이로 打殺	水産業	水産 技術学校	
64	全機關을 休息시켜 한 場所에 모 아 形式的인 裁判을 함 1) 罪名을 詳細히 알림 2) 群衆속에서 脚本에 依해 口号로 興奮시킴 3) 脚本대로 処刑	軍 人	技術学校 卒	
66	1) 裁判部 構成(該当地域 裁判所에 서) 2) 群衆들을 集합시킴 3) 犯人들을 끌어내 檢事가 論告	文芸人	大 学 院	

時期	節次	職業	地域	備考
	4) 群衆과 討論합 5) 裁判部가 議論해서 미리 定해진 刑罰 宣告 6) 即決 処刑			
66	内務所 → 檢察所 → 裁判所 → 參審員 2名 陪席, 判事, 檢事, 証人等 形 式은 다 갖춤	事務員	大卒	
66	豫審員의 送致 陪審員의 聴取 辯護士의 辯論 休會 裁判長의 判決	檢閱士	高等水産 技術學校	
74	犯罪者를 通해 刺戟받을 수 있는 對象들을 集合시켜 놓고 法的 節次 (党的 脚本)에 따라 判決을 言擬 함.	党政 委員	大卒	

(註) 記述式 設問에 對한 応答을 整理한 것임.

裁判參觀時 所感

< I - 56 >

区分 時期	參觀한 裁判	所 感	応答者 職 業	応 答 者 居住地域
47	○ 1946年 회천에 서 홍상항의 偽造 紙幣事件에 對한 裁判	○ 裁判所가 있더라도 모든 것은 共産党에서 関与하 고 있음.	事務員	平北熙川郡
49	○ 越南한 사람에게 公民証 빌려준 親 舊의 裁判	○ 故意的이 아닌 罪를 反動으로 붙여 무거운 罪를 의음.	農 業	咸北明川郡
50	○ 反動罪로 告訴된 裁判(平壤)	○ 比較的 公平하다고 생각 했음. ('46.10)	教 員	平 壤
52	○ 용익피선 사건에 參審員으로 陪席 했음. ○ 思想犯 裁判	○ 輕犯罪에 該當되었으나 重刑이 確定되었음. 그러 나. 參審員으로서는 裁判 長의 確定判決에 同意할 수 밖에 없었음. ○ 恐怖心	軍 人 学 生	平 壤 平北朔州郡

区 時期 分	参觀한 裁判	所 感	応答者 職 業	応答者 居住地域
54	○軍事裁判	○後万部 大隊長의 裁判이었는데 罪의 代 價로 一線에서 2個 月間 戰鬥 參加 (不可抗力이었다고 느낌)	軍 人	慈江慈城郡
55	○人民裁判 (共産黨員 虐殺한 反動分子 特別法에 依해 公開処刑) ○軍裁判 (越南失敗軍人을 逮 捕하여 統殺刑)	○殘忍性을 느낌. ○殘忍하다고 느낌.	学 生 軍 人	濟南新川郡 平 壤
56	○軍法會議	○脱出하다가 逮捕되어 7年刑받는 裁判으로 脱出을 防止하기 為 한 參觀이었음.	軍 人	咸北清津市

区分 時期	参観한 裁判	所 感	応答者 職 業	応答者 居住地域
58	○ 6.25 事變時 人民 裁判	○ 그 자리에서 死刑執行 과 懲役, 強制勞動等 을 결정하므로 恐怖 의 對象이었음.	学 生	荊南松禾郡
59	○ 軍幕裁判 (4 軍團傘下에서) ○ 姦通	○ 判事, 檢事, 辯護人이 形式上으로 있고 犯 罪者의 罪名은 脚本 에 의한 罰則에 適 用된다는 점. ○ 檢事의 論調가 부르 조아의 思想이 잠재 했기때문에 이러한 일이 發生했다는 点 을 強調하여 党性과 結付시키는 듯한 感 이 있었음.	軍 人 兵 業	江原昌道郡 咸南端川郡
60	○ 1959 年部隊士兵 2 名이 越南하러 다 잡혀 公開裁判으 로 死刑당함.	○ 正當하게 処理된 裁判이라 할수없었음.	軍 人	黃北黃州郡

区分 時期	參觀한 裁判	所 感	応答者 職 業	応答者 居住地域
	○ 人民裁判 또는 群衆裁判	○ 法的節次를 無視한 絶对權力の 一方的 宣告方式이며 独裁的이며 非人道的인 処罰 手段에 不過	事務員	黃北沙里院
61	○ 人民裁判	○ 無法天地라는 느낌	黨政要員	咸北 清津市
62	○ 病院長 群衆 審判 (現場에서 銃殺) ○ 軍事裁判	○ 恐怖에 떨어 식은땀 흘림 ○ 많은 軍人들 모아 놓고 잘못을 公布하고 다른 사람들에 대한 教育, 경고를 주는 形態의 裁判 ○ 脚本에 의해 罪를 犯하면 이런식으로 죽인다고 하며 現場에서 銃殺	技 師 軍 人 水 産	咸南五老郡 平北香山郡 黃南康翎郡
63	○ 人民裁判	○ 殘忍하다고 느낌	農 業	黃南延白郡

区分 時期	參觀한 裁判	所 感	応答者 職 業	応答者 居住地域
64	○ 人民裁判	○ 人民裁判은 形式的으로 만 法曹人 参席 群衆속에서 口号形式으 로 脚本에 의해 实施 ○ 市裁判所 裁判은 形式 的인지는 몰라도 判 檢事, 辯護士 있었음.	学 生	咸北清津市
66	○ 元山地方 裁判所에서 公開로 实施되는 窃 盜事件, 家庭裁判 ○ 野外에서 群衆審判形 式으로 開催되는 강 원도 人民委員會 委 員長 문태화 公開裁 判에 参席한 경험이 있었음. ○ 糧政管理所職員(14 명)의 食糧窃取事件 裁判		機 関 士 事 務 員	江原元山市 江原元山市

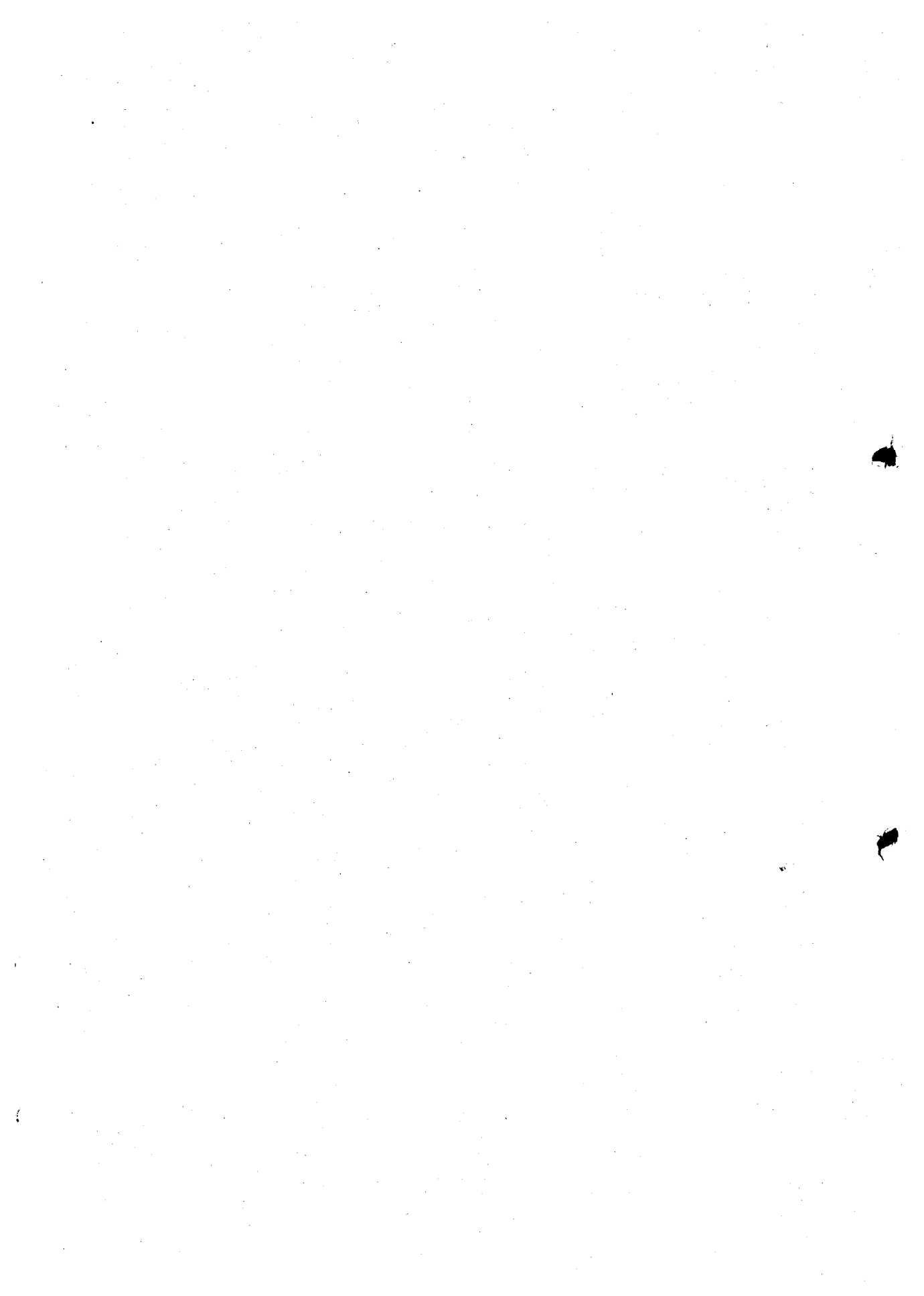
	<p>○人民裁判 ○平壤市 중구역 裁判所에서의 離 婚裁判</p> <p>○職場 人民裁判</p>	<p>○恐怖 ○作家 生活하다가 肅清당한 김철夫婦 의 離婚裁判이 었는 바 : 肅清된 者와 는 離婚이 成立된 다는 判決을 듣고 조심해야 되겠다 느낌</p> <p>○形式에 지나지 않 는다고 느낌</p>	<p>技術者 文芸人</p> <p>事務員</p>	<p>平北州 新義州</p> <p>兩江 惠山市</p>
67	<p>○1958年 6月 人民裁判 治安隊 員을 하였고 偽 裝하여 社會安全 員으로 行動하다 가 逮捕拘禁되어 絞首刑</p> <p>○同志裁判, 群衆公 開裁判</p>	<p>○그당시 共産党的 악랄성・無慈悲性을 느낌</p> <p>○黨에서 形式上 群 衆意思에 依해 處 理하는 錯하고 學 前 脚本에 依해 討論을 準備시키고 計劃대로 處理함.</p>	<p>學 生</p> <p>技術管理</p>	<p>平北 定州郡</p> <p>黃北 松林市</p>

68	<p>○ 間諜嫌疑 사연관 地方裁判所</p> <p>○ 1958年 江原道 公設運動場에서 열린 前 江原道 人民委員會 委員長 문태화에 對한 群衆裁判</p> <p>○ 1959年 平北 龜城郡에서 蓄妾 生活者에 對한 人民裁判 (人民學校 教室에서)</p> <p>○ 1959年 元山農大에서 農經學部 長 김모에 對한 群衆裁判 (元山農大 講堂에서)</p> <p>○ 元山農大 講堂에서 副學長 이내주에 對한 群衆 裁判</p> <p>○ 現地에서 裁判後 統殺刑</p> <p>○ 軍裁判 (軍人集會에서 統殺)</p>	<p>○ 完全獨裁</p> <p>○ 恐 佈</p>	<p>軍 人</p> <p>教 員</p> <p>教 員</p> <p>農 業</p> <p>技 師</p>	<p>平北 宣川郡</p> <p>平北 新義州</p> <p>平北 新義州</p> <p>開 城</p> <p>咸北 汾津市</p>
----	---	----------------------------	--	--

69	○ 集結 裁判	○ 끔찍해서 反動人, 政治犯으로 몰리지 않는것이 人間의 渴望하는 希望이라고 생각함	農場員	江原 鉄原郡
	○ 신종기氏 裁判 (銃殺刑)	○ 人民들 總動員, 恐怖用氣	農 業	江原 平康郡
70	○ 公金橫領	○ 法대로 하는 것이 아니라 党的 指令대로 하므로 裁判은 形式에 不過	教 員	咸南 新興郡
71	○ 人民裁判 ('63) 軍事裁判 ('70)	○ 人民의 敬은 가차 없이 죽여야 한다느니 首領을 모독한 者는 죽여야 한다고 했으나 事實은 너무했다는 느낌.	学 生	江原 淮陽郡
74	○ 一般犯 裁判에 2回 參加	○ 党에서 指示한 脚本에 따라 判決 決定됨	党政要員	開城
75	○ 殺人, 國家物資 竊取 裁判	○ 國家物資나 殺人을 하면 容恕받지 못	軍 人	江原 平康郡

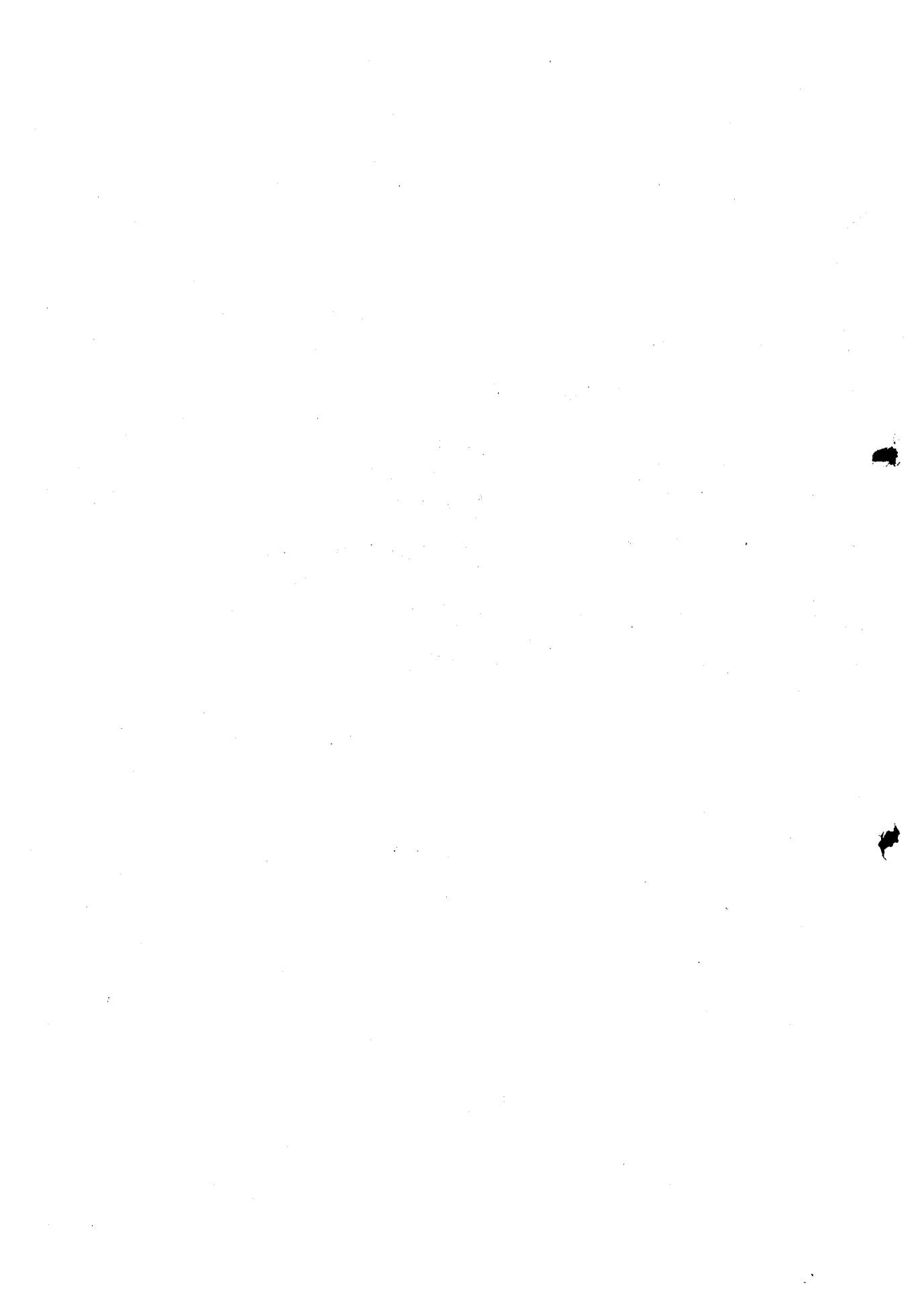
		한다는 것을 느낌		
77	○ 經濟犯에 對한 示範 裁判	○ 示範的으로 住民들 에게 檢을 주는 方式으로써 犯人의 意思는 反映 不 고 辯護士도 없이 形式的인 脚本에 의해 處理	学 生	咸 南 新 興 郡
78	○ 큰 道路 옆 殺人 者 公開 裁判		漁 夫	元 山

(註) 記述式 設問에 對한 応答을 整理한 것임.



※ 参 考 資 料

- (1) 幹部肅清事例
- (2) 党・政間の 葛藤事例
- (3) 党・行政・生産管理間の 葛藤事例
- (4) 企業所内 支配人・技師長・責任秘書間の 関係
- (5) 党・政間の 人事交流
- (6) 党员・非党员 比率



1) 幹部肅清事例

時 期 區 分	肅 清 內 容	肅 清 理 由	應 答 者 職 業	應 答 者 居 住 地 域
49-53	○ 우채경, 허섭, 최주섭, 拘束되어 아오지 炭 盆으로 보내 強制勞動 시킴	○ 金日成의 政治路線을 그릇되다고 批判하였으므로	農 業	咸北 明川郡
	○ 조종하 (경성사범 연수과 출신) 日帝때부터 繼續 勤務한 古參級 人物로 校長任命 받았으나 肅清됨	○ 人民委員會 學務課 등을 勞動黨에서 掌握하고 있을 때 抗命하였다는 理由로 ○ 學校에서 靑友黨員을 包摂토록 命받았으나 不応하였다는 理由로	教 師	江原 元山市
	○ 강원형 (靑友黨員) 校內教員 全體會議 席上에서 批判會를 가지고 自我批判 強要 教員으로서 埋葬· 肅清됨.			

<ul style="list-style-type: none"> ○ 同僚 學生이 50年初 退學 당함. 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 자기 父母가 過去 親日派였다는 理由로 	教 員	咸南 惠山郡 (當時)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地主와 富農出 身者 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己 父母가 日帝時에 官職에 있었기 때문. ○ 民主黨員·天道教 信者 靑友黨員이었기 때문. 		平北 寧辺郡
<ul style="list-style-type: none"> ○ 사리원 女高 教師가 學校에서 批判받음 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成分이 나쁘고 反動學 生들을 擁護하고 그들 의 支持를 받았다고 하여 	教 師	黃北 沙里院市
<ul style="list-style-type: none"> ○ 農民委員長 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共產黨內의 恥部를 外 部에 누설. 	教 員	平壤
<ul style="list-style-type: none"> ○ 6.25 當時 反 政府 組織을 結成하다 秘密 이 누설되어 100餘名이 우 에 갇혔다가 集團 銃殺됨. 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北傀政權에 反抗하는 團體를 組織하였다는 名目으로 	軍 人	咸北 慶興郡

<p>○ 6.25 当時 關 문점 警備員으 로 있던者가 休戰後 後方으 로 召喚, 行方 不明</p>	<p>○ 戰爭途中 自己成分을 偽裝하여 關문점 中 隊員이 되었다고 해 서</p>	<p>軍 人</p>	<p>開城</p>
<p>○ 五寸兄의 세 食 口가 모두 銃 殺刑당함</p>	<p>○ 國軍의 平壤入城 當 時 治安隊員으로 國 軍에 協力하였다고 해서</p>	<p>軍 人</p>	<p>平壤</p>
<p>○ 6.25 當時 유엔軍이 進擊 할때 越南한 家族의 큰 아 들이 傀儡軍이 다시 占領하자 逮捕·銃殺</p>	<p>○ 家族이 越南했다는 理由</p>	<p>軍 人</p>	<p>咸北 清津市</p>
<p>○ 中隊長이 階級 박탈당 한 後 連行되어 行 方不明</p>	<p>○ 中隊長 (유승선) 이 成分을 偽裝했다는 理由</p>	<p>軍 人</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ○ 김강 (문화선진성부상) 肅清 이상호 (국립출판사주필) 肅清 유성찬 (국립출판사부주필) 肅清 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1956.8 전선화 事件에 關聯 肅清·南勞系 關係로 1958年 肅清·蘇聯派에 아부하여 1958年 肅清 	<p>記 者</p>	<p>平壤</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 1957年 개성 警備聯隊 1中隊 政治部 中隊長은 中隊員이었던 安全軍官의 미움받아 轉出됨 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中隊員이 隣近 農民 옥수수를 꺾어 먹었기 때문 	<p>軍 人</p>	<p>平北 寧辺郡</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 越南 越한 治安隊員 家族에게 食糧提供한 者는 軍 社会 安全員이 逮捕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 治安隊員을 協助하였다고 	<p>農 事</p>	<p>黃北 鳳山郡</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治部 聯隊長이 官僚主義者 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上部(黨)의 指示를 歪曲·宣傳하였으므로 	<p>農 業</p>	<p>咸南 端川郡</p>

	機會主義者로 烙印적합			
	○ 婦還捕虜 김동호 (大阿門 映面館 美術員) 가 爾淸당함	○ 中共軍 參戰 記念行 事場에 걸었던 毛沢東 의 肖像面가 떨어져다 는 理由 및 婦還捕虜 解淸의 一環으로	党政要員	平壤
	○ 身分을 속이고 入隊한 軍人은 發覺되면 不名 譽 除隊시키고 鉞山으로 보냄		軍 人	黃北 黃州郡
61-65	○ 越北한 南勞党 系列		大學教員	平壤
	○ 前 咸鏡北道 人民委員長	○ 派閥造成	党政要員	咸北 淸津市
	○ 農業部長, 幹部 指導員이 爾淸 되어 他企業所	○ 官僚主義, 卓上主義로 指導事業을 제대로 하지 않고 富裕한	党政要員	咸南 端川郡

	로 左遷됨	生活을 하였으므로		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 畜産技師 한경호 ○ 従業員 集会열고 糾彈한後 内務署로 連行 獄死함 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金日成의 武装 現地 監察時 遲刻, 또한 짓 소 3 마리 죽임 	技術者	平壤
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 안광모 外 6人 ○ 살던 故郷에서 移住 짓은 3 세대 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 反共団体 組織 活動함 ○ 内閣決定 48号 (62.7.31)에 依從 	農 業 学 生	黃南 延白郡 咸北 清津市
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文芸總 委員長 한설야 作家同盟 幹部: 이복명, 이병철, 이근영, 윤세명, 이정주 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 傀儡 党 文芸政策 反對者 또는 反党宗派 分子로 	文芸人	平壤
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南勞党 系列 임화, 이상조, 실정식, 황하일 			

<p>○ 日帝때 地主 이수환 咸興 刑務所 拘禁 3日만에 死亡</p>	<p>○ 協同農場에 시달리다 金日成 政策을 비난 했다는 理由로</p>	<p>軍 人</p>	<p>咸南 咸興市</p>
<p>○ 안순조, 平康 矯導所에 服役 中</p>	<p>○ 協同組合組織 当時 瓦解工作을 하였다는 理由로</p>	<p>農 業</p>	<p>開城</p>
<p>○ 前 海州大 學長 박철복 懲役 15年</p>	<p>○ 67.5에 박금철 系 列로 烙印 찍혔기 때문</p>	<p>黨政要員</p>	<p>黃南 海州市</p>
<p>○ 1967年 新興 郡 社會安全 部長 (안호)의 妻의 家庭成分 이 地主였다는 것이 集中指導 에서 發覺되자 慶興鉉山으로 追放됨.</p>	<p>○ 아내가 地主出身이었 으므로</p>	<p>教 員</p>	<p>咸南 新興郡</p>

1- 現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 労働党 連絡部 53 連絡所長 이철철 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 招待所 食母와의 不 貞關係로 	党政要員	開城
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開城市 政治 보위부 指導員 (김중경)이 開城市 建設事 業所 労働者로 解雇 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身成分이 나쁘다고 	.	開城
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1976.8.18 以 後 백승남 懲 役 10 年刑 宣告받음 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 아버지와 더불어 平素에 政治的 不滿 要素가 많았다고 調 査를 거점으로 꾸밈 	学 生	咸南 新興郡

2) 党・政間の 葛藤事例

時期	事 例	応答者 職業	応答者 地域
1947	○ 党委員長과 内務署長의 党學習會 놓고 個人的인 主導權 쟁탈	軍 人	平 壤
1954	○ 가끔있다. 1년 食糧目標達成 未達時 責任 回避	農 業 (協同)	黃北 燕羅郡
1956	○ 없음 (가끔 道市郡黨委員會에서 意見 差異 있으나 黨이 解決)	記 者	平 壤
	○ 政治部 中隊長과 軍事部 中隊長 이 政治學習과 徹夜 防禦工事를 놓고 서로 時間을 내겠다고 다 름. 政治學習쪽으로 帰結	協同組合員	平北 寧辺郡
1958	○ 原則問題에는 該當 없음: 施行의 与 件 및 適用問題 異見, 最終 調整은 中央黨	軍 人	平北 寧辺郡
1959	○ 없음	農 業	咸 南
	○ 勞力動員問題, 탄광지대에서 黨員	軍 人	江原 昌道郡

時期	事 例	応答者 職業	応答者 地域
	을 勞力動員에 差出하면 党委 員長에 알리지 않고 差出했다 고 소동		
1960	○ 없음	党政要員	平壤
1961	○ 平壤市 復旧作業時, 党的 官僚主 義에 對해서 行政的인 不滿	教 員	平壤
1962	○ 党委員長의 級은 낮으나, 党委 員長, 委員會가 決定, 指示하는 점에 行政側不滿	軍 人	平北 香山
	軍隊에서 作業中 政治部 中隊長 의 差出로 인하여 所屬 中隊 長과 政治部 中隊長사이의 葛 藤 生김	軍 人	平北 定州
1963	○ 없음	技術者	咸南
1964	○ 모름	学 生	咸北 清津
1965	○ 行政委가 飭거한 模範職員을 党 委서 反對한 경우	党 軍 人	平南 江東郡

時 期	事 例	応答者職業	応答者地域
1966	○ 休戰時는 많았음. 지금은 無	事 務 員	兩江機械工場
	○ 行政責任者가 党副責任 檢査로 査察 없음	機 関 士	江 原 元 山
	○ 党的 科学, 技術, 実務 指導에 서 査察	技 術 者	平 北 新 義 州
	○ 党委員長은 威權으로 強要하 나 実務陣은 現實에 밝아 摩擦, 党委員長 召喚 .	軍 人	咸 興
	○ 党的 지나친 간섭으로 行政 機能이 마비	社会安全 省 大 尉	江 原 鉄 原 郡
1967	○ 党秘書가 支配人보다 더 좋은 車를 優先權으로 使用	技術管理	冀 北 松 林 市 製 鉄 所
1968	○ 作業班에서, 細胞委員長은 無給 作業班長은 有給制로 意見差	協 同	開 城
1969	○ 行政은 人民經濟 計劃대로 実行, 党은 金日成 指示 無条件 執行 強要	党政要員	平 壤

時 期	事 例	応答者職業	応答者地域
1974	○ 農繁期에 党委는 學習 試問, 人民委는 勤勞 強調 摩擦	勞 動 黨 連 絡 部 對 南 事 業 部	開 城
	○ 軍隊도 마찬가지로 摩擦	軍 人	江 原 平 康
	○ 党委 全體에 對한 不滿은 없고 黨 일군 個人의 官僚主義, 勞道에 對한 不滿	政 治 保 衛 部 指 導 員	開 城
1977	○ 72年 新興 榮譽軍人 工場 支配人이 解任되었는데, 理由는 生産計劃 達成이 絶頂에 오른 순간, 郡黨에서 政治的 行爲를 組織하여 生産을 中斷하게 만들자 이에 反抗 하였고 때문	學 生	咸 南 新 興 郡
1978	○ 없 음	漁 夫	元 山

3) 党・行政・生産管理間の 葛藤事例

時 期	摩 擦 事 例	応答者職業	応答者地域
1949	○ 摩擦없음	農 業	咸北明川
1950	○ 党과 行政組織間 対立 ○ 党員과 生産管理 執行의 対立 ○ 党員과 管理의 個人 利害相衝	教 師	黄北沙里院
	○ 現物税 부과에 对해 党과 行 政組織間의 葛藤 .	教 師	平 壤
1952	○ 不可能 (단 건설적 경우에 있 음)	軍 人	平 壤
1956	○ 없음	軍 人	咸北清津市
	○ 原則적으로 없음 (단 技術指導面에서 發生, 党 委員會에서 処理)	記 者	平 壤
1957	○ 없음	農 業 (協 益)	開 城
1958	○ 党的 目標生産에 与件 및 質	軍 人	平北寧辺

	的 生産低下時 責任廻避		
	○ 技術者 教育召集時, 党宣伝部와 生産管理 責任者間에	農 業 (陽農)	黃 北
1959	○ 党總會에서 生産低下 및 管理者 熱誠없으면 批判 및 相互 感情的 對立 결과적으로 党的 승리	軍 人	江原昌道郡
	○ 元山 農大副學長이 党이 지시 한 多收獲 反對하다 숙청	教 員	平 北
1961	○ 計劃遂行에 比해 党會議가 많은데 對해 行政幹部의 不滿	教 員	平 壤
1962	○ 없 음	水 産	黃海康翎郡
	○ 党幹部의 行政, 生産關係의 一方的 命令時	技 師	咸南五老郡
	○ 党委員長이 工事現場에 나와 設計에도 없는것 指示	軍 人	江原鉄原

1964	○ 技術, 生産과 政治的인 것과의 摩 擦	学 生	咸北 清津
1965	○ 技術的인 面을 党에서 강제적으 로 強行하는 경우	軍 人	平南江東郡
1966	○ 없음 (技術的인 問題는 技術協 議會에서 解決)	事 務 員	阿江 忠山
	○ 党 - 思想教育 } 間의 摩 擦 行政-社会 勞力動員 }	事 務 員	江原元山
	○ 党的 過大目標量 策定, 強要가 生産管理者와 摩 擦	技 術 者	平北新義州
	○ 水産大学 實習場에서 大学 党 委員會는 利權追求 (獨立採算制), 敎務部에서는 實習, 学生 資質向 上의 摩 擦	事 務 員	江原元山
	○ 興南肥料工場 支配人과 党責任 秘書의 葛藤 (支配人의 左遷)	文 人	平 壤
1967	○ 党的 一方的 目標量策定 強要	技術管理	黄北松林市

	에서 다음		
1969	○ 간혹 있음 (党的 信任두터운者승리)	技術管理	新 義 州
	○ 党秘書는 學習, 會議강조, 生産管理者는 이에 反對	党政要員	平 壤
	○ 沙里院 綜合機械工場 党委員長과 支配人間에, 質이 좋지 않은 機械生産으로 党組織 指導의 無能을 들어 党委員長 職位 解除	協 設	江原鉄原
1974	○ 党-思想 教養延長 主張 行政-作業時間延長 主張	労働党 連絡部 对南事業部	開 城
1977	○ 党幹部가 行政에 参与, 党勢도를 부텨	学 生	咸南新興郡

4) 企業所內 支配人, 技師長, 責任秘書間의 關係

区分 時期	支配人, 技師長, 責任秘書의 關係	応答者 職業	応答者 居住地域
'49-'53	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下關係는 없었음 ○ 支配人은 党에서 보낸 熱誠分子이므로 支配人에게 절대복종함 ○ 協調가 되지 않을때 党이 優位에 서려는 경향이 있다. ○ 行政的으로는 党責任秘書→支配人→技師長의 命令에 따라 工場이 稼動되나 實地는 支配人 管轄下에 있음. 	個人会社 事務員 農 業 教 師 軍 人	平 壤 威北明川 黃北沙里院 平 壤
'54-'60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 모두 上級党的 指導를 받음 ○ 支配人의 工場 最高管理者이나 責任秘書가 支配人보다 優位의 權限을 가짐 ○ 대부분 同一人이나 同黨人이 아닐 경우, 党性이 강한 者가 優位 ○ 支配人은 勞動党 核心黨員이고, 技師長은 技術者中에서 黨員이 많음 그러므로 支配人이 技師長보다 優位 ○ 党委員長이 실질적인 總責任者 ○ 形式上 支配人과 責任秘書는 同格이나, 實地는 責任秘書의 比重이 높음 	記 者 軍 人 農 業 黨政要員 黨政要員	平 壤 威北 清津 威北 開城 開 城 平 壤

'61-'65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 責任秘書가 絶對的 權限 ○ 原則은 三位一體 ○ 支配人은 社長, 技師長은 工場長, 責任秘書는 作業班長 ○ 支配人과 責任秘書는 同等 ○ 支配人이 技師長보다 優位이나 黨委員長에 絶對服從 ○ 支配人이 優位 ○ 支配人-行政的 總責任者 ○ 技師長-技術的 總責任者 ○ 責任秘書-支配人, 技師長의 補佐, 監視 ○ 支配人-工場責任者 ○ 技師長-技術責任者 ○ 責任秘書(黨委員長)-政治的 總責任者 	教員 平壤 黨員要員 咸北 清津 事務員 黃海道 土城郡 技術者 平壤 技術者 咸南 五老 水產 黃南 康翎 學生 咸北 清津 軍人 咸南 江東	
'66-'70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黨委員長의 決定下에 支配人, 技師長이 執行 ○ 黨責任秘書, 支配人, 技師長의 順序 ○ 支配人-經營責任者 ○ 技師長-技術責任者 ○ 責任秘書-組織事業으로 支配人을 補佐 ○ 1960年以後 支配人, 技師長은 工場黨 	軍人 咸南 咸興 文芸人 平壤 事務員 兩江 惠山 事務員 江原 元山 技術者 咸北 松林 教員 平北	

	<p>副委員長을 兼職, 党責任秘書의 指示에 따름</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支配人, 技師長이 한팀으로, 責任秘書를 警戒. ○ 責任秘書의 指揮下에 支配人, 技師長이 行動 ○ 支配人-行政, 技術, 人爭關係 責任 技師長-工場技術, 生産分野 責任 責任秘書-政治事業 및 工場內 모든것을 指導 管掌 ○ 党委員會의 決定에 따라 支配人과 技師長은 執行, 責任秘書는 監督 	<p>軍 人 協 農 農 業 技 師</p>	<p>平北 宣川 江原 鉄原 江原 平江 平北新義州</p>
<p>71- 現在</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支配人-行政職 責任者 技師長-生産技術 責任者 責任秘書-党的 思想 教養指導 責任 ○ 支配人-行政 責任者 技師長-技術責任者 感情對立 党秘書-政治責任者 ○ 党秘書, 支配人, 技師長의 順位 ○ 支配人, 技師長은 거의 同格으로, 党秘書와 內面的 對立 	<p>党政要員 党政要員 軍 人 学 生</p>	<p>開 城 開 城 江原 平昌 咸南 新興</p>

5) 党・政間の 人事交流

区分 時期	移 動 内 容	応答者職業	応答者 居住地域
'49-'53	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政地域에서 有能하고 열심인 者를 党에서 발탁 ○ 党性이 強한者, 成分, 出身, 勞働 党의 비위를 잘 맞추는 者를 行政職에 選定 ○ 党職에서 行政職으로 轉入되는 경우가 있음. 行政職(内部機關) 과 社会团体(總盟, 青盟, 聯盟等)의 老年層의 自願에 의해 人事交流가 成立 ○ 党職에서 行政職으로 人事移動 時에는 昇格이 常例 	<ul style="list-style-type: none"> 縣 長 教 師 軍 人 学 生 	<ul style="list-style-type: none"> 咸北朔川 元 山 平 壤 平北朔州
'54-'60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道党学校, 中央党学校 履修한後, 行政職에서 党職으로 人事移動 ○ 一定期間이 되던 特殊分子를 除外하고, 党職에서 行政職으로 移動 ○ 党宗派의 比重에 따라 要職人事 移動. 地方下級機關에도 同 比重에 따라 移動 	<ul style="list-style-type: none"> 軍 人 記 者 軍 人 	<ul style="list-style-type: none"> 開 城 平 壤 平北寧辺

<p>'61-'65</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上級幹部級은 党職, 行政職의 人事移動 있으나 보통職員은 거의 없음 ○ 離党時 党에서 行政職으로 移動 行政職에서 党으로 移動時는 먼저 党에 入党 ○ 市党委員長 → 市人民委員長 人民委員會 委員長 → 党委員長 党委員長이 行政職으로 移動時 昇進이 많음 	<p>党政要員</p> <p>事務員</p> <p>學生</p>	<p>咸北清津</p> <p>黃海土城</p> <p>咸北清津</p>
<p>'66-'70</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 비슷한 職級일 경우, 党職, 行政職으로 移動은 左遷 行政職에서 党職의 移動은 榮轉으로 생각 그러나 党職에서 行政職의 높은 자리로 榮轉 可能 ○ 行政職에서 党職의 移動은 昇進 ○ 党事業 執行에서 缺陷이 있을 때, 行政職으로 移動 ○ 行政職의 成分중은 黨員은 党職으로 移動하고, 党職에서 行 	<p>技術者</p> <p>軍人</p> <p>技師</p> <p>党政要員</p>	<p>平北新義州</p> <p>平北宜川</p> <p>平北新義州</p> <p>平壤</p>

	政職 幹部로 昇進해서 移動		
'71-現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成分 能力에 따라 行政職에서 黨職으로 移動. 黨職에서 過誤, 無能力者를 行政職으로 移動 ○ 黨職에서 行政職의 移動은 不誠實, 無能力者일 경우 行政職에서 黨職의 移動은 能力, 成分이 좋은 경우 	<p>黨政要員</p> <p>学 生</p>	<p>開 城</p> <p>咸南新興</p>

6) 党员 非党员 比率

年 度	地 域	党员对 非党员 比率(%)	人 口	应答者 职 業
1947	平北 熙川郡 山林署	50 : 50		事務員
1949	咸北 明川郡 東面 호남동	45.5 : 54.5	200 户 1,100 명	農 業
1950	黄海 截寧郡 북을면 북을 農業高等学校	80 : 20	25 명	教 員
	平壤師範大学	10 : 90	39 명	教 員
	平 壤	20 : 80		教 員
	平南 大同郡 대보炭 鉞	10 : 90		教 員
	黄北 沙里院 女高	40 : 60	14 명	教 師
	元山 銘石洞	30 (労働党) : 10 (青 友党) : 10 (朝民党) : 50 (非党员)		教 師

	元山 적전리	0.1 (労働党) : 90 (青友党) : 0.9 (非党员)		教師
	平北 寧辺郡 職場	20 : 30		
	惠山 高級中学校	80 : 20		
	惠山 高級中学 教職員 細胞党	0.5 : 99.5		教員
1951	平壤 平原 고무工場	10 : 90	약 270 명	事務員
	平壤 기림리	0.5 : 99.5	약 2,000 명	
1952	平南 江西郡 동진면 어은리	12 : 88	260 명	軍人
	平北 朔州郡	10 : 90		學生
1953	平北 鉄山 모나즈 鈺山	30 : 70		農業
	咸北 慶興郡 (益村)	20 : 80	100세대	軍人

	咸北 慶興郡 (協同組合)	25 : 75		軍人
1954	黃北 燕灘郡	30 : 70		農業
	괴뢰 空軍 通信中隊	60 : 40		軍人
1955	咸南 咸州郡	10 : 90		軍人
	黃南 信川郡 봉황리	15 : 85		學生
	開城, 內務省 板門店 中隊 初級黨	30 : 70	120 명	軍人
1956	黃北 遂安郡	40 : 60		軍人
	平壤 某職場	30 : 70		軍人
	平壤 軍隊	30 : 70		軍人
	文化省 前省機關紙 現場部	100 : 0		記者
	咸北 清津 鉄道局	10 : 90		軍人

	咸北 清津郡大隊	20 : 80		軍人
1957	開城 田濟洞 農場	5.7 : 94.3	53	黨政要員
	開城 板門郡 田濟里	0.1 : 99.9		農場員
1958	平北 寧辺郡 魯各炭 竊	50 : 50		軍人
	黃北 鳳山郡	15 : 85 (農村) 20 : 80 (農場) 30 : 70 (都市)		農業
1959	金策市 蓬胡洞 農業 協同組合	15 : 85	41	農業
	第1集團軍 第5軍団 6師団 6砲聯隊3大 隊 8中隊	18 : 82	33	農業
	江原 昌道郡	20 : 80 (農村) 25 : 75 (工場企業 所)		軍人

	江原 昌道郡 軍部隊	40 명 (正) 15 명 (候補) 나머지 (民靑員)	大隊 單位	
1960	平壤 檢察機關	100 : 0		黨政要員
	咸南 赴戎郡 人民委員會	99 :: 1		黨政要員
	黃北 沙里院 職場	20 : 80		事務員
	咸南 新興郡 部隊	12 : 88	聯隊 2,000 명	軍 人
	黃北 黃州郡 協同組合	20 : 80		軍 人
	1 個 大隊	10 : 90	大隊 400 명	
1961	咸南 端川郡 人民委員會	33 : 67	90 명	黨政要員
	咸北 清津市 (職場境遇)	95 : 5		
	咸北 清津市 (里境遇)	40 : 60		

	平北 寧辺郡 연산면	20 : 80		農漁民
	平壤 共産大学	10 : 90		大学教員
	松都 政治大学	95 : 5		"
	国家計測委員会	100 : 0		"
1962	平壤駅 포목장	9 : 91	1,210 명	技術者
	黄海 康翎郡 부포수 산사업소	17 : 83	850 명	水産
	黄海 海州 水産技術 学校	9 : 91	550 명	水産
	平北 香山郡 軍隊 初級党	25 : 75	中隊单位	軍人
	咸南 長津發電所 指 揮部	75-80 : 20-25	60 명	技師
	平北 定州郡 91 聯隊 1 大隊 2 中隊	32 : 68	96 명	軍人

	黄海 土城郡 청단 党水産 事業所	39 : 61	115 명	水 産
1963	咸南 元山市 삼호 水 産事業所	20 : 80		技 術 者
1964	咸北 清津市 靑工業高 等学校 15 師団 靑反動砲小隊	10 : 90 50 : 50		学 生
1965	平南 江東郡 孝淸子	10 : 90		軍 人
1966	两江道 恩山市 林業機 械工場	30 : 70	1,800 명	事 務 員
	江原, 鉄原郡 社会安全 部	86 : 14	150 명	党政要員
	江原 鉄原郡 회산協同 農場	27 : 73	345 명	'
	興南 肥料工場 (興南区 域)	20 : 80		文 人

	作家同盟中央委員会	100 : 0		文人
	文芸総出版社	95 : 5		"
	平北 新義州 水産部門	25 : 75 (全従業) 40 : 60 (海上従事員隊)		技術者
	咸南 咸興市 龍城区域	6 : 94	23,000名	軍人
	咸南 咸興市 龍城 德豊里	5 : 95	1,700名	軍人
	江原 元山市 元山駅	20 : 80		事務員
	江原 元山市 元山水 産大学 実習場	25 : 75		機関士
1967	黄北 松林市 黄海製 鉄所	24 : 76	18,500名	技術管理
	黄北 松林市 鑄物職 場	19 : 81	248	"

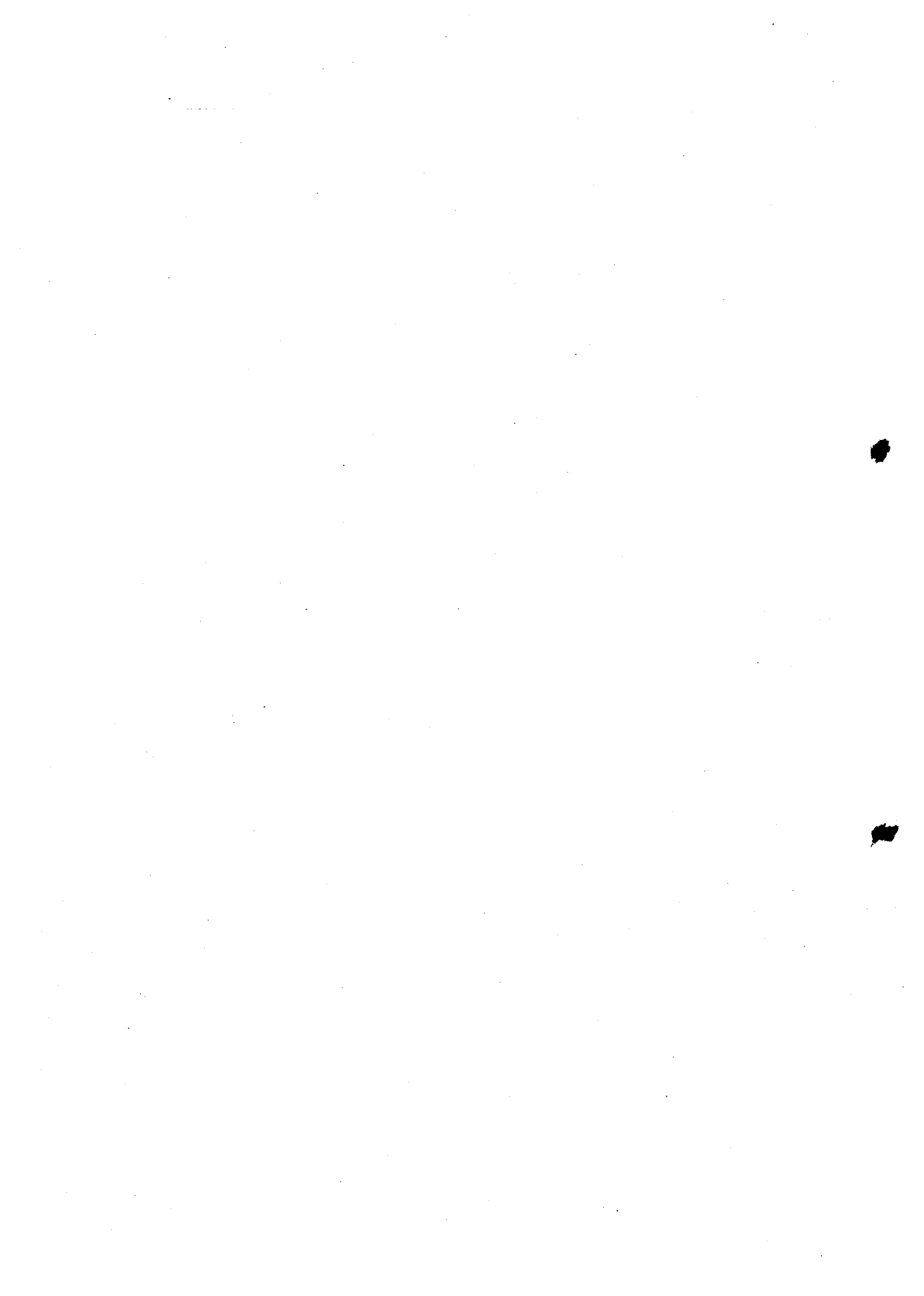
	平北 定州郡 安興面	40 : 60	1,500세대	学 生
	江原 鉄原郡 용학리	45 : 55	500세대	"
	46 師團 54 聯隊 1 大隊 1 中隊	30 : 70	90명	"
1968	平北 宣川郡 協同 農場	10 : 90	15,000명	軍 人
	平北 新義州 共産大 学	90 : 10		教 員
	咸北 清津郡 中隊	18.4:75.6	98명	技 師
1969	江原 平江郡 이수적 리	8 : 92	1,930명	農 業
	黄南 海州 農業大学	40 : 60	1,200명	党政要員
	平北 新義州市	20 : 80	10만명	技 師
	平北 新義州, 通信处	85 : 15	67명	技 師

	江原 鉄原郡 (協同農場)	25 : 75		農場員
	平壤市 人民委員會 (非黨員 주로 女子)	80 : 20	1,000 명	党政要員
1970	咸南 新興郡	30 : 70		教 員
	咸南 新興郡 党委員會	100 : 0		教 員
1971	江西郡 약수農場 13 作業班	30 : 70		学 生
1974	平壤 警衛隊 신복성 鐵道 中隊	25 : 75		党政要員
	開城市 開豊郡 海平 里 6 班	33 : 67	90 명	"
	労働党 連絡部	100 : 0		"
	開城市	7 : 93	13 만명	

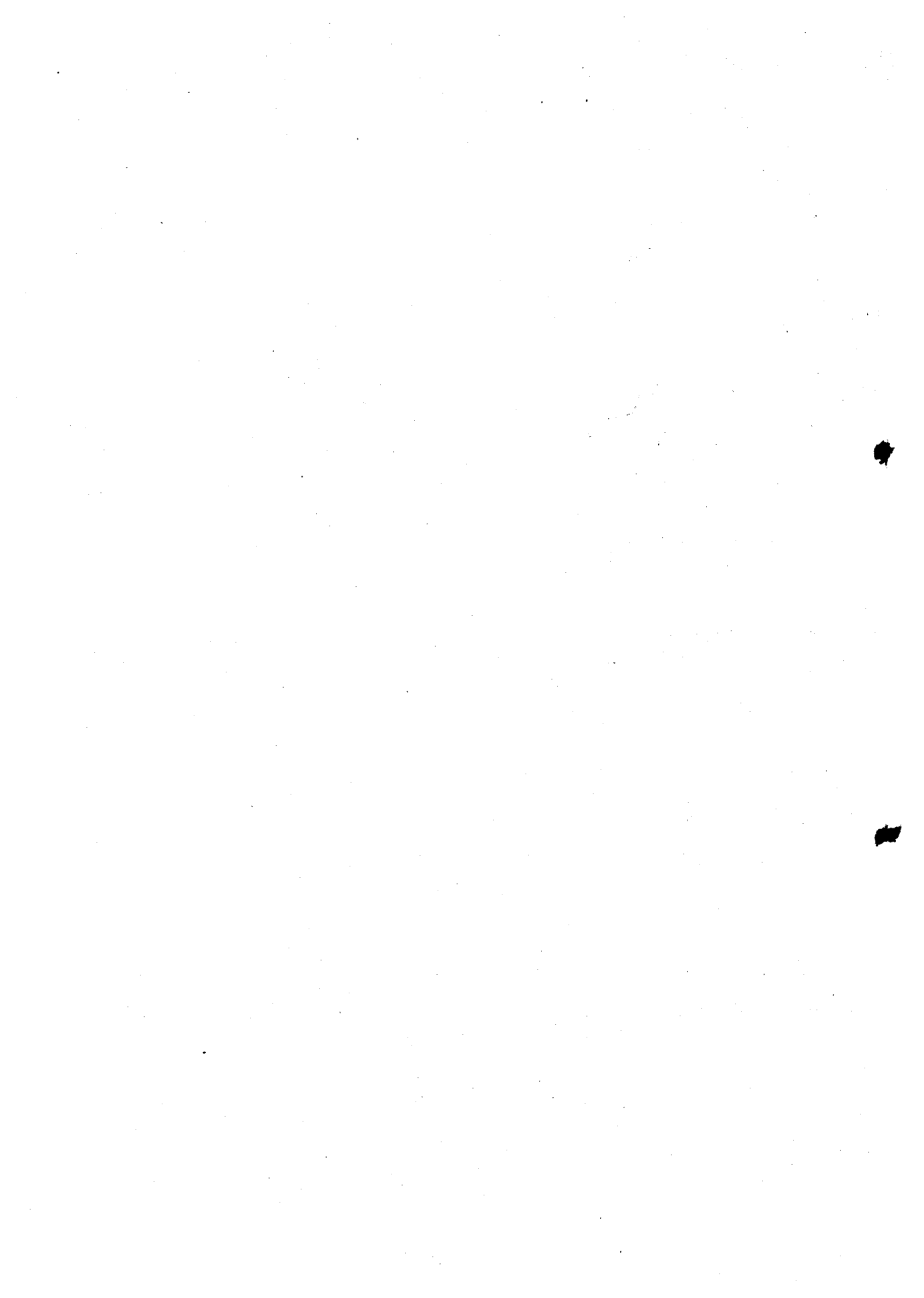
1975	江原 平江郡	15 : 85		軍 人
	江原 平康郡 軍隊 機關	100 : 0		"
	江原 平康郡 中隊 大隊	30 : 70		"
	咸北 明川郡 터치리 分駐所	100 : 0	12 명	党政要員
	咸興 水利大学	50 : 50	3,000 명	"
1977	咸南 新興郡 영예 군인공장	50 : 50	200 명	学 生
	速成戰 青年 突擊隊 咸南大隊	12.5 : 87.5	400 명	学 生
	北傀軍 第2軍団9師 団直屬 輕步兵 大隊	75 : 25	400 명	"
	江原 鉄原郡	30 : 70		"

	江原 鉄原郡 所屬軍 部隊	20 : 80		学 生
1978	咸南, 경포 人民武力 部所屬 戰車修理事業 所	60 : 40	1,000 명	漁 夫
	산포 造船所	55 : 45	500 명	漁 夫

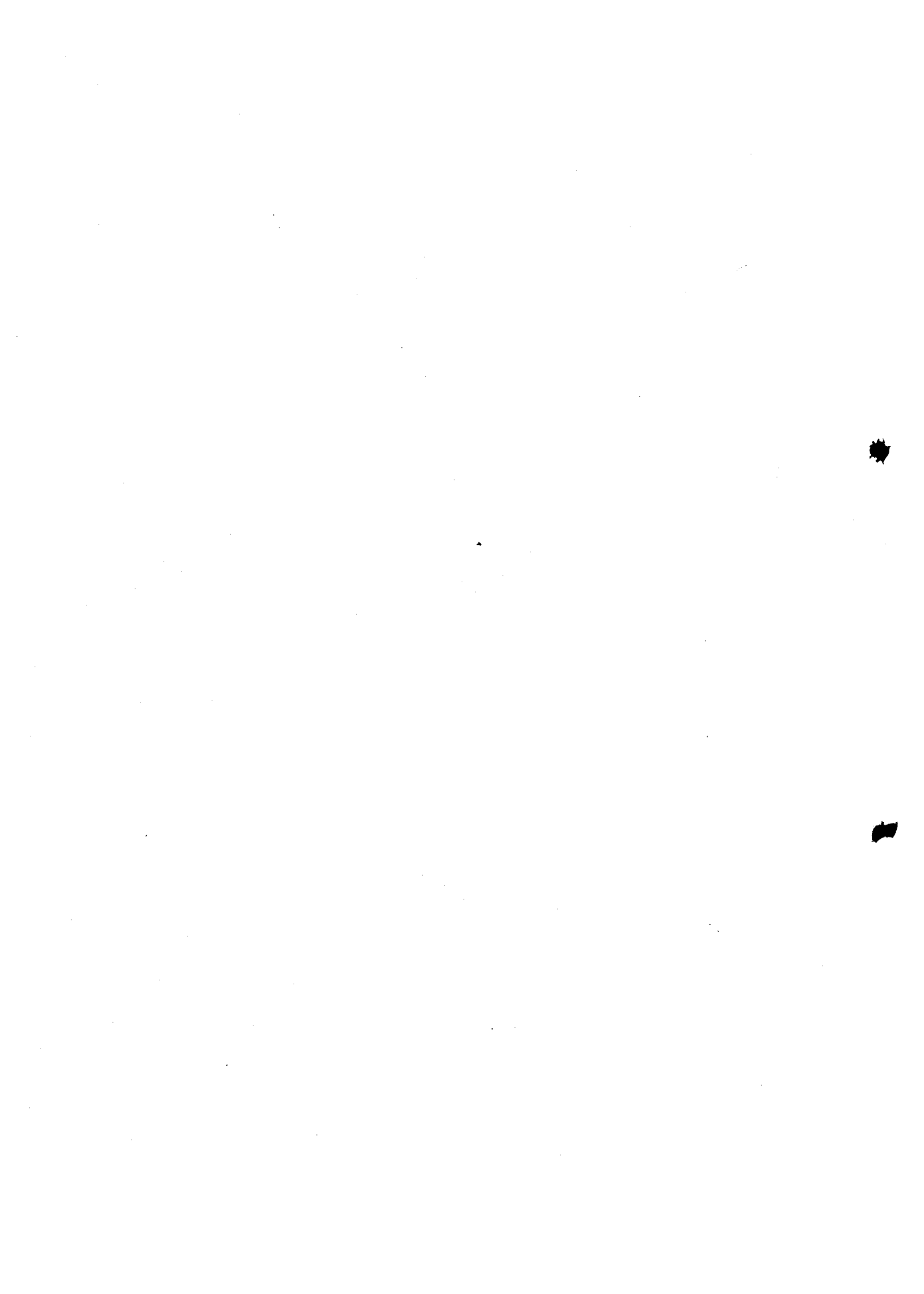
2. 經 濟 分 野



2. 經 濟 分 野



2. 經 濟 分 野



가. 住 民 生 活

(1) 食 生 活

(2) 住 生 活

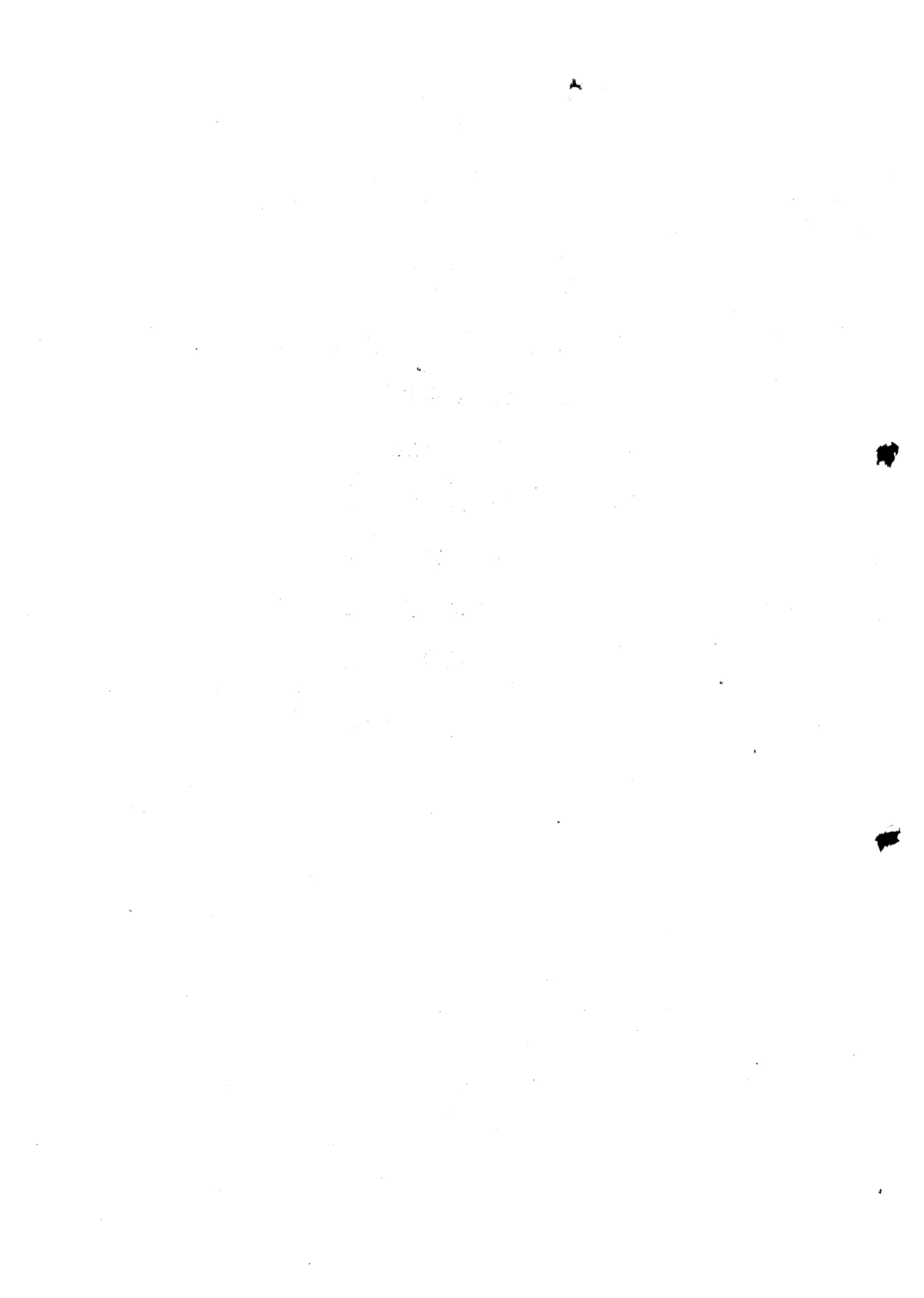
(3) 衣 生 活

(4) 便宜 및 文化生活

(5) 保 健 衛 生

(6) 所得 · 消費生活

(7) 貯 蓄 生 活



가. 住民生活

(1) 食生活

1) 主食

- 主食의 混食比率은 特殊階層은 全量이 白米인데 反해 農漁民, 勞働者等 一般大衆의 雜穀配給比率이 높게 나타남
- 雜穀配給比率中 옥수수 및 옥수수加工米(옥쌀)가 全期間을 通해 首位를 차지하고 있고, 해방후 60년까지 上位를 차지하던 수수, 콩이 60年代 이후 急速히 減少된 반면 밀가루, 감자, 고구마등이 增加되었음.
- 食糧의 任意購買는 大部分이 不可能(72%)한 것으로 応答하고 있으나, 極少數(28%)는 쌀1kg당 20원정도의 高價로 暗去來되고 있으며 去來盛行地域은 都市 및 工場地域, 去來階層은 特殊階層이 높게(33%)나타나고 있음.

2) 副食

- 副食의 主類는 김치, 야채, 두부, 콩나물 등이며, 생선류는 月2回程度, 肉類는 特殊日에 限해 取食되고 大部分 一般商店에서 任意購入하고 있음.
- 肉類供給은 돼지, 닭고기가 全期間을 通해 가장 높게 나타나고 있으며, 쇠고기 供給은 60年代以後 下向傾向을 보이고 있으나 개, 토끼, 오리고기등이 점차 증대되고있음.

3) 食水

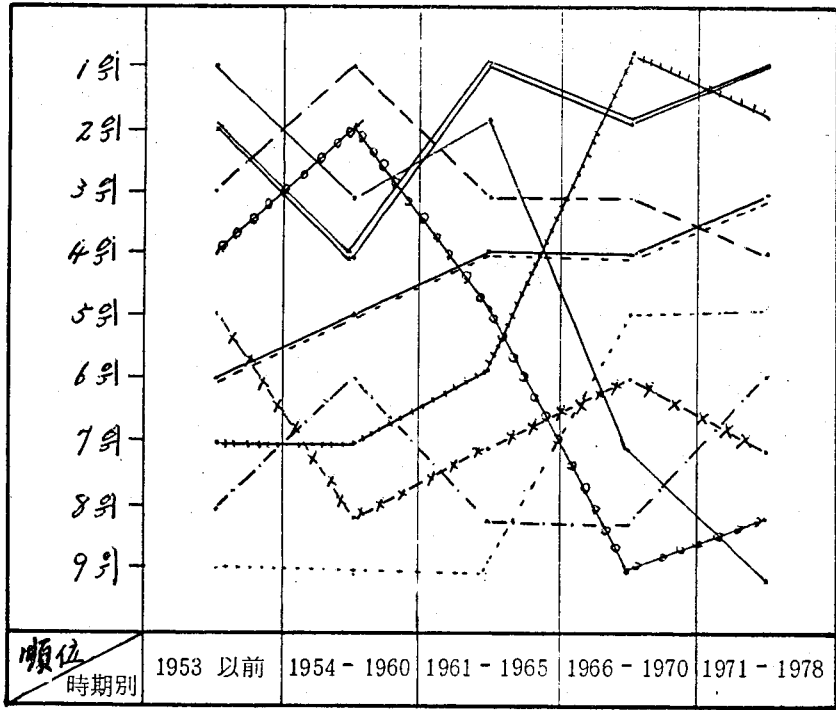
- 農漁村 食水源은 70년까지 우물이 대부분이었으나 70年以後 水道, 펌프순으로 改良되었음.

4) 傳統食

- 地方特有의 固有飲食은 現在에도 存在하고 있음.
- 解放後 옥수수물 原料로 하는 特食 및 새로운 地方飲食이 나타나고 있고 大部分 高價로 食堂에서 取食할수 있음

雜穀取食 順位

< Ⅱ - 1 - 가 >



- 콩
- 수수
- 옥수수
- 보리
- 밀
- 감자
- 고구마
- 밀가루
- 옥쌀

註。옥수수 및 옥쌀 取食率이 全期間을 通해서 가장 順位가 높음
 ○ 60年以後 수수, 콩 등이 減少되나 反面 밀가루, 감자, 고구마 등이 增加되나 趨勢임

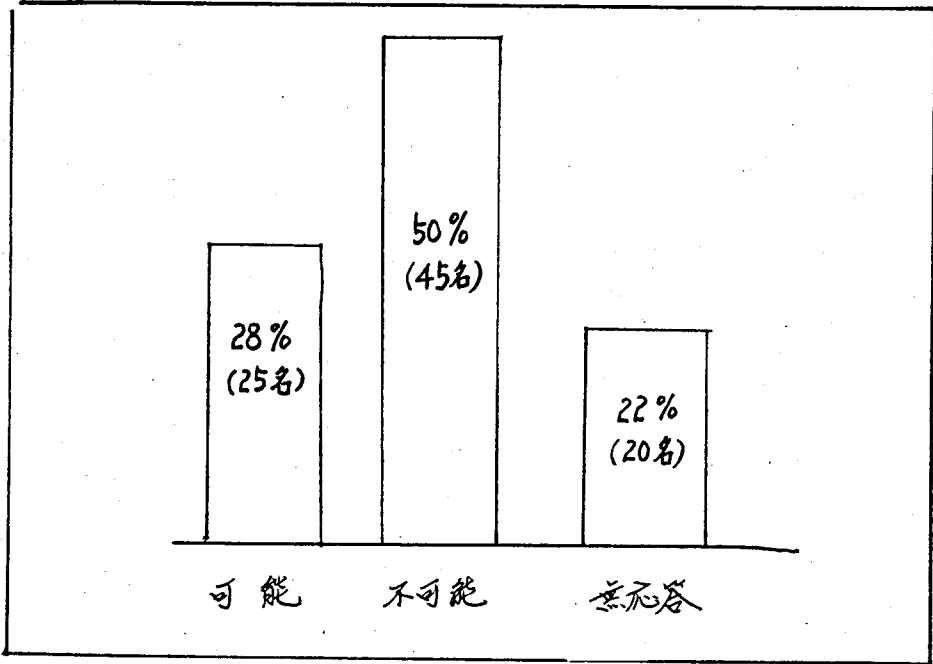
混粉食比率 및 種類

< II - 1 - 4 >

時 期	雜 穀 의 種 類	比率 (白米 : 雜 穀)	備 考
49-53	보리, 옥수수, 조 감자, 콩, 수수, 팥	○ 20:80 -50:50	* 農漁民 : 混粉食比率 높음. 敎員, 文芸人, 記者 : 混粉食比率 낮음.
54-60	보리, 옥수수, 조, 콩 밀가루, 팥, 감자, 피	○ 20:80 -60:40	* 党政要員, 事務員 : 混粉食比率 낮음. * 記者本人, 家族 : 全量白米
61-65	옥수수, 조, 콩 밀가루, 팥, 감자	○ 30:70 -60:40	* 党政要員, 事務員, 敎員 文芸人, 記者 : 混粉食比率 낮음.
66-70	옥수수, 감자, 고구마 보리 밀가루, 콩, 조, 귀밀	○ 40:60 -70:30	* 党政要員, 技術者, 敎員, 文芸人, 記者 : 混粉食比率 낮음.
71 -	옥수수, 보리 조, 밀가루, 감자 고구마, 수수, 옥수수 가루,	○ 30:70 -70:30	* 조 : 北傀軍에만 供給

食糧暗去來

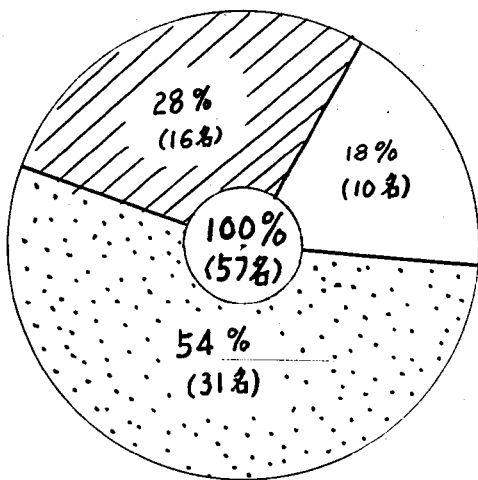
< II - 2 >



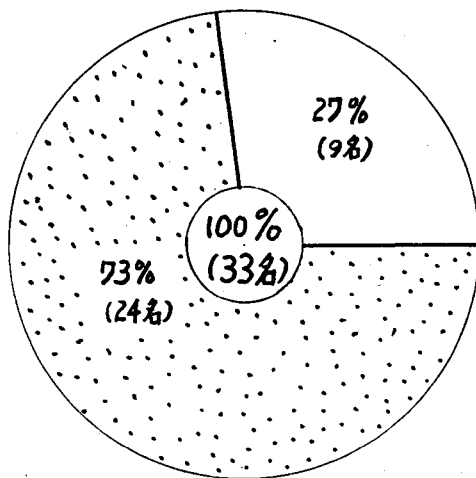
註) 食糧の任意購買は不可能部分の一部の暗去來形態に可能也

食糧暗去未

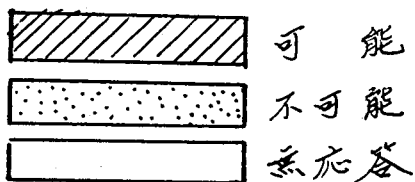
< I-3-가 >



(都市)



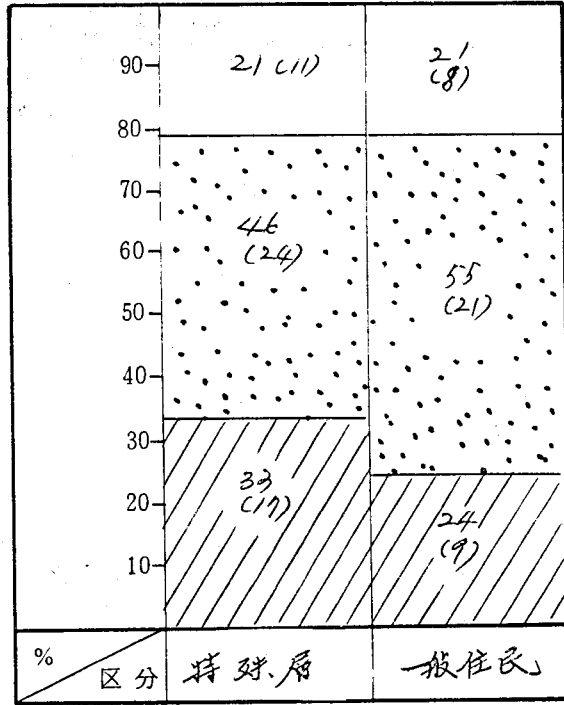
(農村)

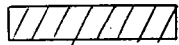

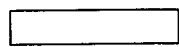


註, 食糧暗去未는 農村보다 都市에서 주로 이루어지고 있음.

食糧暗去表

<II-3-4>



-  可能
-  不可能
-  無応答

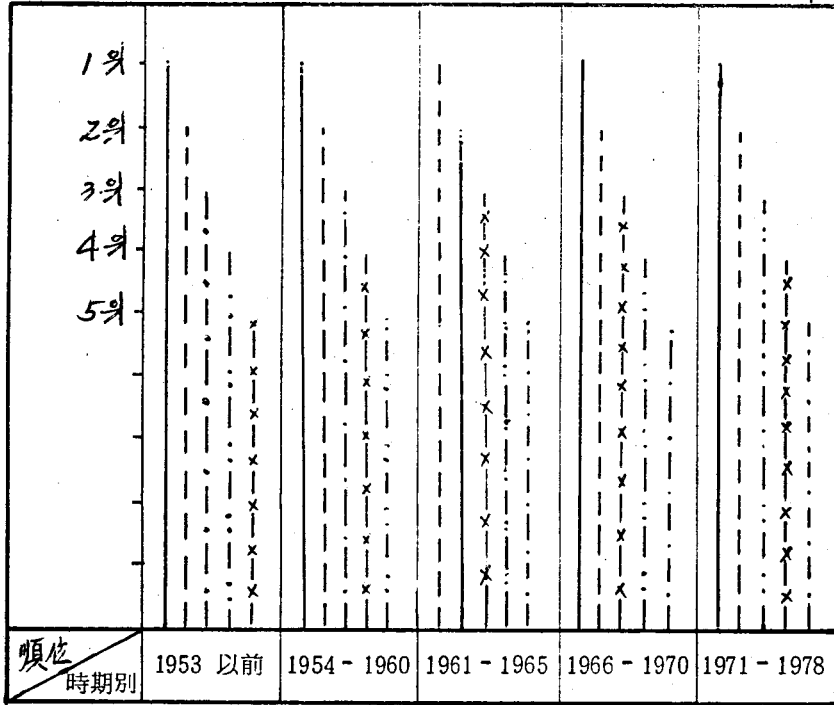
主 要 副 食 類

< II - 4 - 가 >

時 期	主 要 副 食	備 考
49-53	○ 김치, 생선, 파, 채소류, 마늘, 두부, 콩나물 ○ 된장, 고추장, 간장 ○ 동태, 멸치, 고등어 ○ 찌게 (된장, 동태)	
54-60	○ 김치, 야채류, 콩나물, 두부, 시래기, 호박, 감자 ○ 된장, 고추장, 간장, 콩장 ○ 육류, 명태, 고등어 ○ 찌게, 명란젓, 도무묵	
61-65	○ 김치, 야채, 두부, 가공식품, 나물 ○ 된장, 고추장 ○ 명태 ○ 채소국, 감자국, 호박국	* 党政要員의 경우 : 多數가 생선, 가공식품을 부식으로하고있음
66-70	○ 김치, 콩나물, 두부, 채소, 나물 ○ 된장, 간장 ○ 동태, 콩치 ○ 나물국, 된장국, 무우국, 짓갈, 된장찌게,	* 名節에 고기, 생선 * 月 2 - 3 回 동태
71-	○ 김치, 무우, 배추, 산나물, 야채 ○ 된장, 간장 ○ 돼지고기, 동태, 가재미, 물고기, 이면수 ○ 된장찌게, 감자찌게, 무우찌게, 시래기국	* 金日成, 金正一 生日에 돼지 고기, 명태를 먹을 수 있음

肉類供給

〈Ⅱ-4-4〉

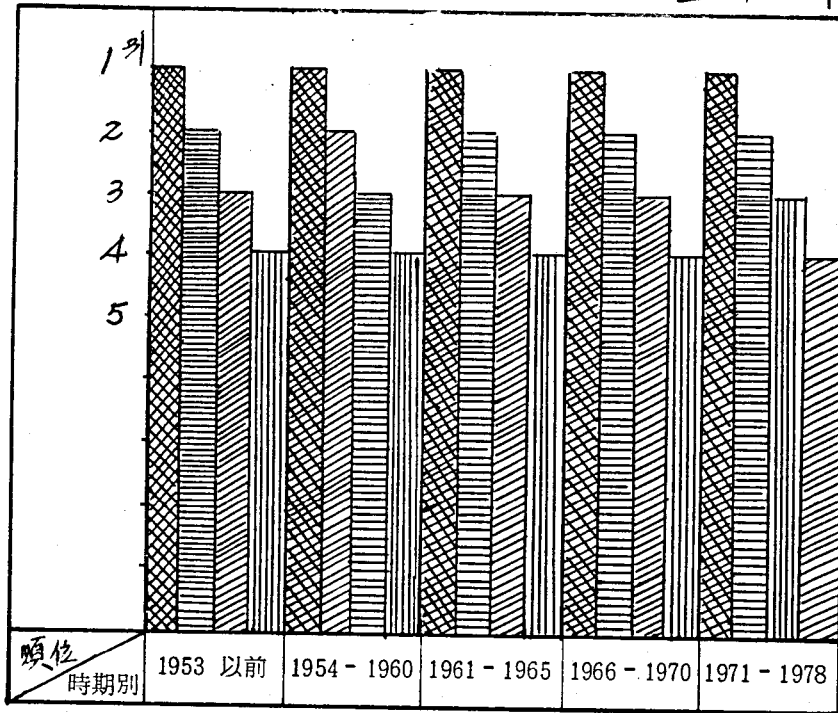





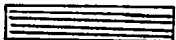
- [Solid line] 돼지
- [Dashed line] 닭
- [Dash-dot line] 소
- [Dotted line] 개
- [Line with 'x' marks] 로키

註, 肉類의 主宗은 돼지, 닭고기로
全期間을 通해 가장 많이 供給
되며 쇠고기는 60年 以後 격감된
反面 개고기, 로키고기가 增加
되고 있음.

生鮮供給

<II-4-4>

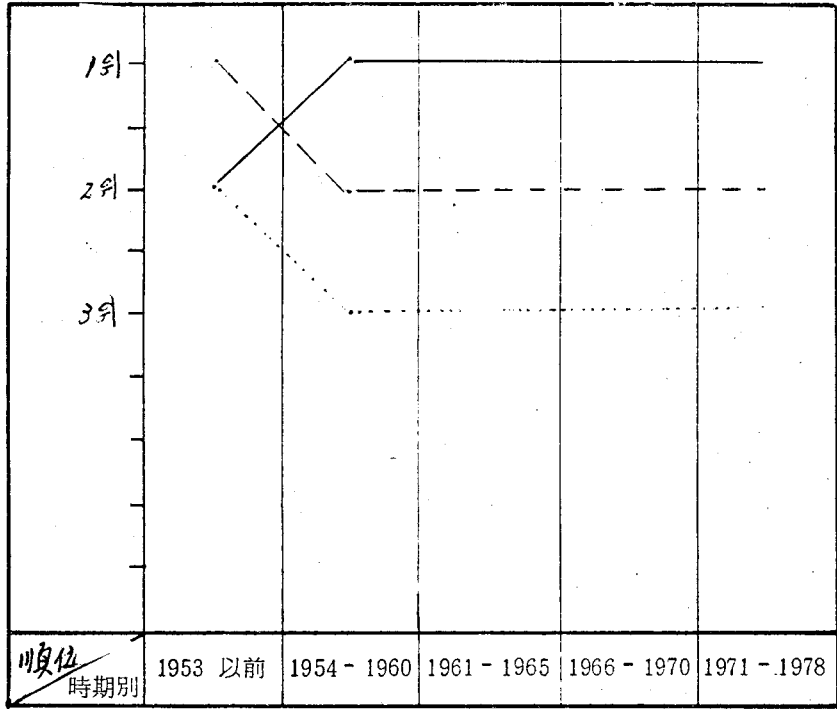


-  명쾌
-  고등어
-  가자미
-  기차

註, 명쾌는 時期에 關係없이 供給이 가장 많고 그다음으로 고등어 및 가자미를 供給하고 있는 實情임

食水源(都市)

<五-5>



- 1位
- - - 2位
- 3位

註) 食水源は、休戦後水道を交換。

間食類

<II-6>

時 期	間 食 量	間 食 名	備 考
49-53	○ 月 2 回	○ 사과, 참외 ○ 편수, 조랭이떡	* 種類 많지 않음
54-60	○ 月 2 - 3 回 ○ 月 1 回 ○ 3-4 日에 1 回	○ 과자, 과일, 비스킷 ○ 냉면, 술 ○ 옥수수	* 과일, 과자 稀少 * 軍人 : 옥수수 3-4 日에 1 번 과일, 과자는 1 年에 몇 회
61-65	○ 月 2 - 3 回	○ 과자, 과일 ○ 냉면	* 党政要員의 경우 다소 間食量이 많은 것으로 나타남
66-70	○ 月 1 - 3 回 ○ 年 2 - 5 回	○ 술 ○ 과자, 과실,	* 工場企業所 과일 : 月 1 - 2 回 酒類 : 年 2 - 4 回 * 一般的으로 名節때 과자, 과일, 肉類
71-	○ 月 2 - 4 回	○ 과일, 과자	* 託兒所, 幼稚園, 사탕 5 알 勞動者, 靑少年, 金日成 金正一 生日에만 사과, 사탕, 돼지고기 500g * 一般的으로 名節때 間食

特別飲食

< II - 7 >

時 期	平 安 道	黃 海 道	其 他 地 域	備 考
40-53	○ 뇨티, 냉면, 지짐 ○ 순대, 빈대떡, 콩비지밥, 김치밥 기장떡	○ 조랭이떡, 편수 ○ 약과, 설탕	○ 녹두지짐, 수수부 침, 냉면, 녹두묵 뇨티 ○ 도토리묵, 감자음 식, 모밀국수, 모 밀냉면	
54-60	○ 평양냉면, 옥수수 국수, 가락국수 녹두부침 ○ 감자, 귀밀국수	○ 개성보쌈김치	○ 함흥냉면, 냉면, 매 밀묵, 울챙이묵, 수수부침, 국수 ○ 식혜, 빈대떡, 개 장국, 보쌈김치, 조랑떡국, 녹두지 짐, 찰떡, 팔죽, 옥수수국수, 도토 리묵	
61-65			○ 함흥냉면 냉면 ○ 개장, 콩비지, 강 냉이묵, 옥수수국수	* 평안, 황해도지 역 무응답
66-70	○ 평양냉면 ○ 감자가두냉면		○ 함흥냉면 ○ 들죽으로 만든술, 갯김치, 보신탕, 콩국수, 식혜	
71-	○ 냉면	○ 보쌈김치	○ 함흥냉면 ○ 국밥, 강냉이빵 ○ 강냉이국수, 입쌀 떡	

(2) 住居生活

1) 住居形態

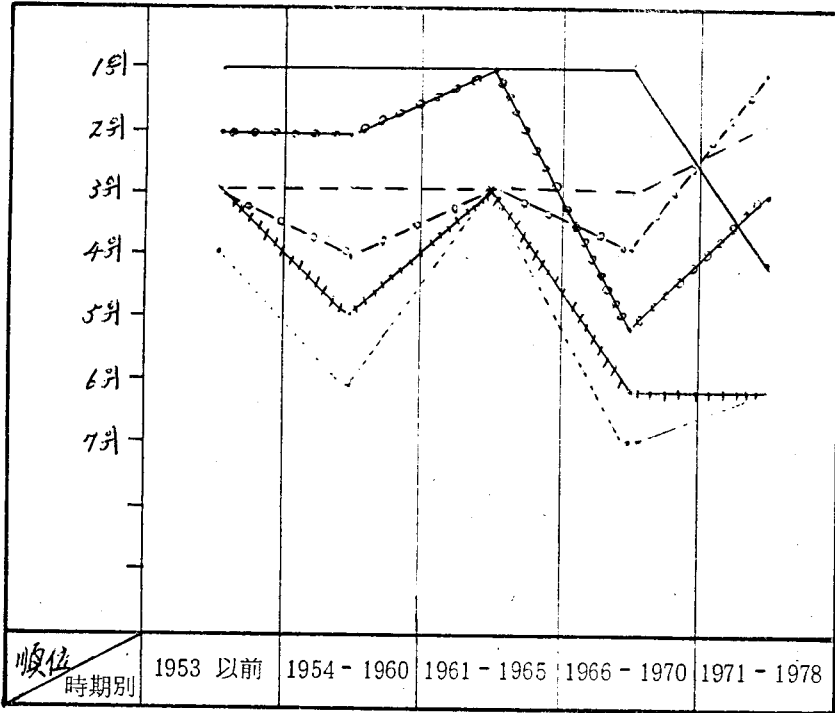
- 家屋形態는 초가집과 기와집이 대부분으로 나타나고 있으나 66年以後 아파트, 文化住宅이 急增되고 있음.
- 住宅構造는 一般住民의 경우 방 2, 부엌 1의 7-10坪이며 共同便所인데 反해, 黨 行政機關 中堅幹部 및 軍官級은 방 2, 부엌 1, 마루, 倉庫兼 便所가 있는 12-15坪 임.
- 모든 住宅은 各級 人民委員會에서 配定되며 住宅規模 및 配定優先順位는 職責에 따라 決定되고 있음.

2) 家庭燃料

- 家庭燃料의 主宗은 石炭, 나무이며 70年代 以後 石油 및 電氣가 都市에서 一部 燃料로 利用되고 있음.
- 燃料의 供給은 大部分 集團供給(配給)에 의하여 一部 任意 購買(16%)도 可能함.

家屋形態

<五-子-七>



- 촌가집
- 기와집
- 문화주택
- 아파트
- 聯立住宅
- 슬라브집

註) 66年以後 村家집, 聯立住宅이 減少되고 아파트 農村文化住宅이 增加하고 있음

家屋構造

< II - 8 - 나 >

時 期	農 村	都 市	備 考
49-53	○房 2-4 個 세로 3-5 m (가로 3-7 m) - 1室에 2-3人居住 ○마루, 부엌, 倉庫, 우물등 附屬施設	○房 3 個程度가 一般的 (세로 2-4 m 가로 3-8 m) - 1室에 1-3人居住 ○마루, 부엌, 便所, 倉 庫, 광등 附屬施設	* 越兩人家屋 房 5, 마루 2 부엌 2, 便所 펌프, 마당 가로 9 m 세로 8 m
54-60	○房 2-3 個 (가로, 세 로 3-4 m) - 1室에 2-3人居住 ○마루, 부엌, 便所, 倉庫, 우물등	○房 2-3 個 - 1室에 2-3人居住 ○마루, 부엌등	* 房 1, 부엌 1 의 聯立住宅 도 보임
61-65	○房 1-2 個 - 1室에 2-5人居住 ○부엌, 便所, 마루, 倉庫, 수도등	○房 2-3 個 - 1室에 1-2人居住	
66-70	○房 2-3 個 - 1室에 3-4人居住 ○부엌, 마루, 倉庫, 便所등	○房 1, 부엌, 共同便所 수도가 聯立住宅 및 아파트에서 一般화된 것으로 나타남,	

時 期	農 村	都 市	備 考
		<ul style="list-style-type: none"> - 1棟에 보통 4세대 居住 - 房의 크기는 가로, 세로 각각 3-4 m - 家族數에 따라 房數 및 크기에 差異가 없음. ○其他 광, 倉庫, 베 란다등 	
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○房 2-3 個 - 1室에 3-4 人居住 ○부엌, 倉庫, 共同우 물 및 便所 	<ul style="list-style-type: none"> ○房 1, 부엌 1의 聯立 住宅 및 아파트가 主類 ○其他 : 房 2, 마루, 부 엌, 倉庫, 便所 - 1室에 2-3 人居住 	<ul style="list-style-type: none"> * 勞働者區 : ○房 2 : 가로, 세로 2-2.5 m - 1室에 2-3 人 居住 ○부엌, 倉庫, 共同便所

아 파 트

< II - 8 - 다 >

	名 称	所 在	棟数	棟 当 世 帯 数	入 住 者 成 分	世 帯 当 家 屋 構 造	坪 数
49-53							
54-60	청진철도 독신자 APT	청진시	4		独身으로 청진역근무자	房 1 (8 名 収 容), 마루 1	4
	軍官 APT	平壤中区域	2	40	軍官으로 平壤勤務	房 2, 마루 1, 부엌, 便所 1	9
	쌍포 APT	성진시쌍포동	7	30	勞 動 者	房 1, 부엌 1, 便所 別 共 同	7
	역전 APT	성진역앞	5	30	事 務 員	"	
61-70	文 化 人 APT	평 양 시대극장앞	1	250	黨 政 權 機 關 中 堅 幹 部	房 2, 부엌 1, 便所 1	12
	청진역전 APT	청진역앞	4	10	事 務 員	房 2, 부엌 1, 便所 1	10
	용성APT	용성구역	11	55	勞 動 者 事 務 員	房 2, 부엌 1, 共同便所	10
		양강도위연	1	8	"	房 2, 부엌 1, 마루 1, 共同便所	15
	명석APT	명 석 동	7	120	黨 政 權 機 關 事 務 員 勞 動 者	房 2, 부엌 1, 便所	12
		해 방 동	15	120	黨 行 政 일 꾼 事 務 員 一 部 勞 動 者	房 2, 부엌 1, 便所 兼 倉 庫	15
		해 안 동	6	48	教 員, 僑 胞 黨 行 政 일 꾼	房 2, 부엌, 便所 1, 倉 庫 1	15
	신 의 주 만포APT	신 의 주 시 만 포 동	8	100	北 送 僑 胞 中 堅 幹 部	房 2, 부엌 1, 마루 1, 共同便所	10
	평양대타령 A P T	평 양 시 대 타 령	30	50	中 堅 幹 部	房 2, 부엌 1, 마루	

時期	名稱	所在	棟數	棟當世帶數	入住者成分	世帶當家屋構造	坪數
	평강 APT	평강군평강읍	4	30	公務員勞動者	房 2, 부엌 1, 마루	
	기림 APT		10		"	"	
		함흥시성주구역	30	40	基本階層	房 2, 부엌 1, 변소 1	15
71 -		함남신흥군신흥읍	30	30	黨行政機關幹部	房 1, 부엌 1	10
		함흥시		50	"	房 2, 부엌 1, 共同便所	4
		平壤市		100	"	"	18
		개성지역동	1	100	高級幹部	房 3, 마루 1, 부엌 1, 便所 1	13
	개성노동자 APT	개성시	5	400	勞動者	房 1, 부엌 1, 共同便所	6
	역전 APT					房 2, 부엌 1, 변소 1	13-15
	고참탄광 APT	명천군고참리			勞動者	房 2-3, 부엌 1, 변소 1	20



- 黨・行政機關 中堅幹部級 및 軍官 :
房 2, 부엌 1, 마루 1, 便所兼倉庫 1 : 12坪 - 15坪
- 一般勞動者, 事務員 : 房 1-2, 부엌 1, 共同便所 : 7-10坪
- 아파트는 職場別配定表에 의해 結婚 2-3年後에 入住함.

聯立住宅

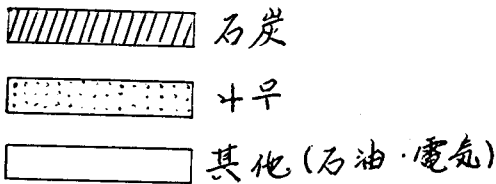
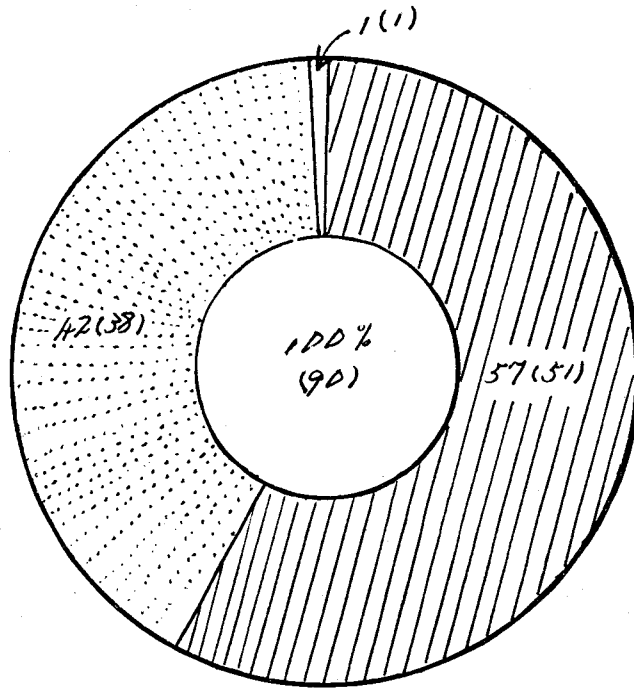
< II - 8 - 라 >

時期	名稱	所在	棟數	棟當世帶數	入住者成分	世帶當家屋構造	坪數
49-53	幹部舍宅	炭 鉸 村	10	2	高級 幹 部	房 3, 마루 1, 부엌 1 便所 1	5
	一般事務員舍宅	"	5	2	中間 幹 部	房 2, 마루 1, 부엌 1 便所 1	
	鉸夫舍宅	"	100	5	鉸 夫	房 2, 부엌 1, 共同 便所	
54-69	김책연와 工場舍宅	성 진 시	10	8	該 職 場 勤 務 既 婚 者	房 1, 부엌 1	4
	청진수산 事業所舍宅	학 성 시	4	4	"	"	3
	牛馬車 事業所舍宅	어 향 동	8	2	군 의 黨 政 權 機 關 幹 部	房 2, 마루 1, 부엌 1	5
		부 전 동	5	5	事 務 員	房 1, 부엌 1	
		양 동					
61-70	文化住宅	강원도철원 군 용학리	530	2	農 民	房 2, 부엌 1, 共同便所	17
		대 룡 리	70	2	一般 勞 働 者 農 民	房 1, 마루 1, 부엌 1, 共同便所	12
		위 연 동	1	4	勞 働 者 事 務 員	房 1, 부엌 1	
71 -	文化住宅	함남신흥군 신흥읍		4	勞 働 者, 農 民	房 1, 부엌 1, 共同便所	10
		유대포리	40	7	"	房 2, 부엌 1, 共同便所	13

- 聯立住宅은 주로 中小都市 및 農村에 建設
- 一般 勞 働 者 및 農 民이 주로 入 住
- 家屋構造는 房 1-2, 부엌 1, 共同便所, 7-10坪

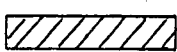
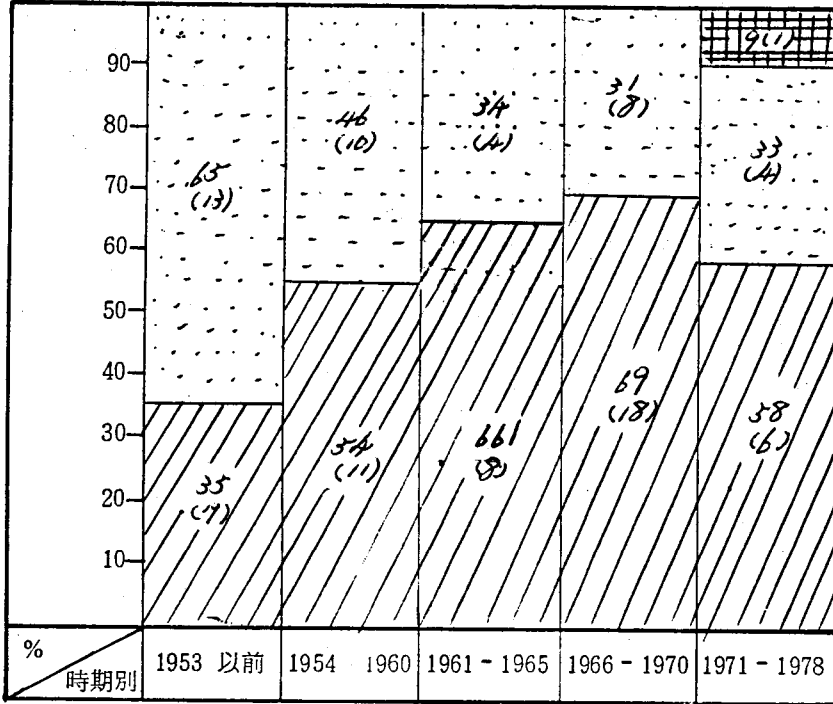
家庭燃料

< 五 - 9 - 七 >

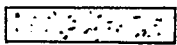


註. 나무 및 石炭을 主燃料로 하고, 石油使用은 極히 낮은 水準에 있는 것으로 나타남.

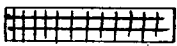
< Ⅱ - 9 - 2 >



石炭



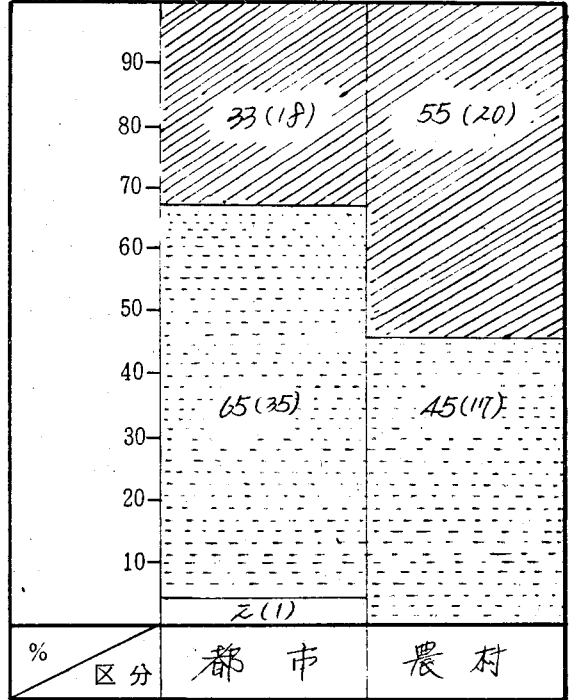
石油



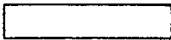


其他(石油·電氣)

註. 全期間を通じ 石炭を
 主として使ってきたが 70年代
 に入ると 石油・電氣が一部
 使用される。

< II-9-4 >



-  石炭
-  나무
-  其他 (石油 및 電氣)

註, 都市의 경우에도 電氣 및 石油을 使用하는 경우는 極히 적음.

(3) 衣 生 活

1) 被 服

- 一般住民의 基本被服인 日常服 및 作業服은 冬夏季 各 1着씩 無償配給되고, 紳士服은 着當 150-200 원에 購買 하고 있으나 特殊層은 賃으로 受領, 着當 12원程度로 洋服店에서 맞추어 입고 있음.
- 男子 日常服은 大部分이 勞動服 및 國民服이며, 女性은 大部分이 韓服이나 一部 원피스, 투피스를 着用하고 있음.
- 日常服의 着用 期間은 通常 6個月 程度로 보고 있음.

2) 衣服選擇에 對한 關心

- 選擇의 余地는 있으나 大部分 유니폼을 着用하고 있음.
- 女性들은 一部 衣服選擇에 對해 약간의 關心을 보이나 大部分은 神經을 쓰지 않는 것으로 나타남.

年間衣服配給

< II - 10 - 가 >

時期	夏服	冬服	質	代價	備考
49-53					○모두 無應答
54-60	○ 1벌 ○ 10호, 특호: 2벌	○ 1벌 ○ 10호, 특호: 2벌	○ 하 ○ 9호: 중 ○ 10호, 특호: 상	○ 無償	* 質: 광목, 대마지 * 軍人은 無償
61-65	○ 1벌	○ 1벌	○ 하 ○ 특호: 상	○ 無償	○ 勞働者: 上下 1벌씩 無償 事務員: " 有償(하) ○ 4호: 上下 1벌씩 無償(하) 3호: " " (중) 2호: " " (상) 1호: " " (상) 특호: " " (상) * 年間 1人 당 綿織物 6㎡ 限度
66-70	○ 1벌	○ 1벌 ○ 6호의 경우 2년에 1벌	○ 중 ○ 10호, 특호: 상	○ 有償, 無償이 同一한 比率	* 中央機關 1, 2, 3호 年間 2벌씩 * 錢을 配給받아 洋服店에서 맞춤. 12원정도 個人支払 * 3년에 외투 1벌
71-	○ 6호: 1벌	○ 6호 1벌	○ 6호: 중		○ 6호 이외의 경우, 記載없음

* 配給이 아니고 商店에서 購入, 保衛部, 安全部 軍人만 供給制	* 既成服은 勞働者基準 (신사복, 노타이복) 150-200원정도				
		夏服	冬服	質	代價
	學生	1	1	하	30-50
	農民	1	1	하	30-50
	事務員	1	1	중	50-80
黨幹部	1	1	중상	80-100	
65호供給處	1	1	상	100-120	

日 常 衣 服

< II - 10 - 4 >

時 期	青 少 年	女 性	一 般 住 民	老 人 層	備 考
49-53	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勞 動 服 ○ 洋 服 ○ 作 業 服 ○ 校 服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓 服 ○ 흰저고리, 잡은 흑색 치마(광목 인조) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓 服 ○ 洋 服 ○ 勞 動 服 ○ 현軍服 ○ 作 業 服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓 服 	
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洋 服 ○ 校 服 ○ 레 닌 服 ○ 團 体 服 ○ 韓 服 ○ 毛 沢 東 服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 흰저고리 검은치마 ○ 韓 服 ○ 몸매 ○ 원피스 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓 服 ○ 洋 服 ○ 作 業 服 ○ 國 民 服 ○ 대마직冬服 ○ 毛 沢 東 服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓 服 ○ 洋 服 ○ 國 民 服 ○ 대마직 동복 ○ 作 業 服 	
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作 業 服 ○ 校 服 ○ 검정바지 누비上衣 ○ 레 닌 服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓 服 ○ 化学纖維 "포플린"전직 ○ 作 業 服 ○ 검정 치마, 누비 옷 ○ 흰저고리 검정치마 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作 業 服 ○ 갈바 ○ 洋 服 ○ 레 닌 服 ○ 韓 服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓 服 ○ 作 業 服 ○ 綿 織 類, 化学纖維 	<p>* 工 場 企 業 所 從 事 員 事 務 員 들 은 一 般 的 으 로 作 業 服 着 用</p>

66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校服 ○ 労働服 ○ 勞農赤衛隊服 ○ 団体服 ○ 少年団服 ○ 스포츠 混紡糸 ○ 作業服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 치마, 저고리 ○ 労働服 ○ 韓服 ○ 스포츠 混紡糸 ○ 洋裝 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民服 ○ 셔츠 ○ 作業服 ○ 韓服 ○ 洋服 ○ 労働服 ○ 치마, 저고리 ○ 레닌복 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓服 ○ 洋服 ○ 作業服 	<p>* 職場人은 원피스, 투피스를 입는 경우가 다수 있음.</p>
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校服 ○ 国民服 ○ 作業服 ○ 洋服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 치마, 저고리 ○ 既成服 ○ 몸매 ○ 스웨타 ○ 원피스 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 労働服 ○ 洋服 ○ 国民服 ○ 作業服 ○ 既成服 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓服 ○ 洋服 ○ 国民服 	

外出服

< II - 10 - 다 >

時 期	着用期間	스 타 일	옷 감	備 考
49-53	○ 1年 - 2年 6個月	○ 紳士服 ○ 勞動服	○ 毛織, 混紡, 무명	* 敎員, 文芸 人, 記者 등 이 多數의 外出服을 所有
54-60	○ 1年 - 2年	○ 黨員服 ○ 韓服 ○ 國民服 ○ 새生活服 ○ 毛沢東服 ○ 作業服	○ 毛織, 混紡 ○ 대마지 ○ 무명 ○ 군담요기지	
61-65	○ 1年 - 3年	○ 人民服 ○ 國民服 ○ 紳士服 ○ 레닌服型 ○ 韓服	○ 混紡 ○ 광목 ○ 스포직 (인견 사)	
66-70	○ 2年 - 3年	○ 國民服 ○ 洋服, 스커트 ○ 公務員型 (스 텐칼라)	○ 毛織, 混紡 ○ 스포직	
71-	○ 1年 - 2年	○ 國民服 ○ 洋服 ○ 毛沢東服	○ 毛織, 混紡 ○ 메트론	

겨울 防寒服

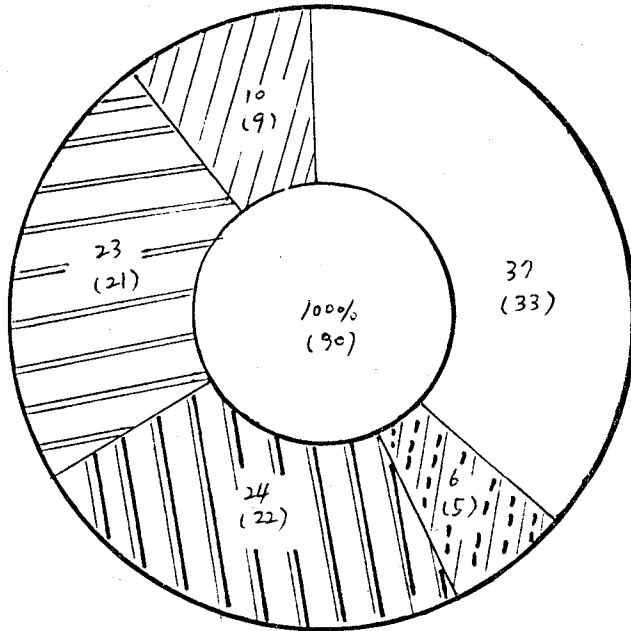
< II - 10 - 라 >




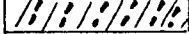

時期	防寒服	保温程度	장갑	모자	備考
49-53	○오바, 두루마기 ○韓服 ○勞動服 ○紳士服 ○솜옷	○普通 ○上	○毛織, 綿織, 털 ○목장갑 ○솜장갑	○털모자 ○레닌모 ○학생모	* 日本軍이 남기고간 防寒모도 少數着用
54-60	○솜누비옷 ○軍服 ○洋服	○良好 ○中	○면장갑 (30원) ○솜누비장갑 ○실장갑 ○털장갑 ○빙어리장갑	○털모자 ○솜모자 ○가죽모자 ○레닌모 (70원)	
61-65	○솜누비옷 ○人民服 ○洋服, 의투	○良好	○솜장갑 (3원) ○면장갑 (15원) ○실장갑 (빙어리) ○가죽장갑	○솜모자 (5원) ○레닌모 (2원) ○가죽모자 ○털모자	* 党政要員들 은주로 人民服에 레닌모를着用 * 教員, 文芸人, 記者들 은주로 洋服 의투를着用

66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民服 ○ 의투 ○ 洋服 ○ 솜누비옷 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 가죽장갑 (10-20 원) ○ 면장갑 (1원) ○ 솜장갑 (1원 20 전) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 가죽모자 (20-30 원) ○ 털모자 (20원) ○ 化学纖維모자 	
가-	<ul style="list-style-type: none"> ○ 솜冬服 ○ 洋服 ○ 의투 (毛織나이론 솜) ○ 国民服 ○ 가죽잠바 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好 ○ 普通 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 면장갑 (3원) ○ 나이론장갑 (3원) ○ 가죽장갑 (10원 이상) ○ 양털장갑 (2원 이상) ○ 비닐론, 混紡織, 실장갑 (2원) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 가죽모자 (20원) ○ 양털모자 (15-20 원) ○ 모직모자 (5원 이상) ○ 토끼가죽모자 (20-30 원) ○ 세루직모자 (5원) 	<ul style="list-style-type: none"> * 党政要員은 가죽잠바를着用하는 경우도 多数 있음.

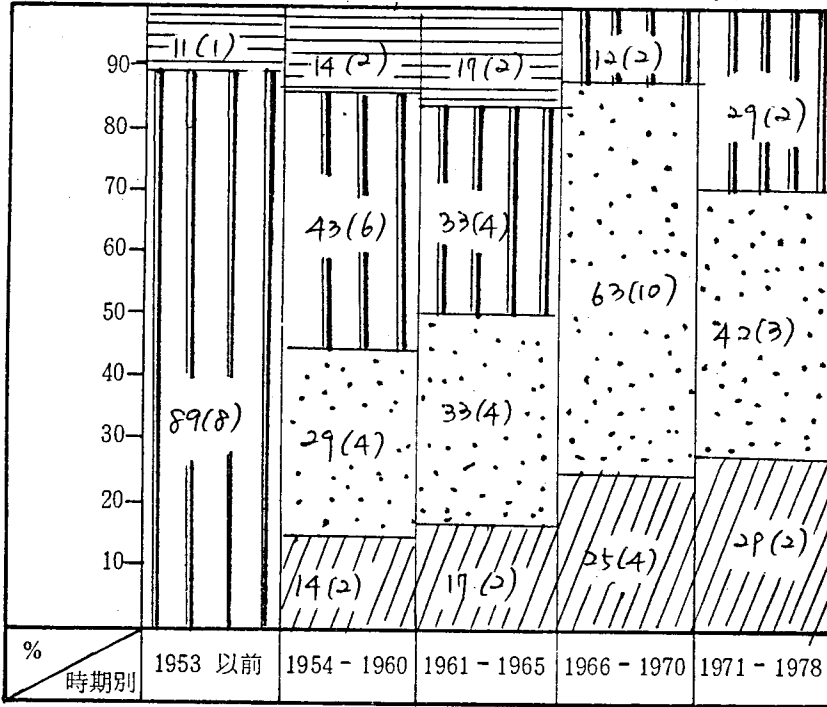
衣服에 對한 關心度 (女性)

< Ⅱ-11 -가 >



-  대단히 신경씀
-  약간 신경씀
-  별로 신경 안씀
-  전혀 안씀
-  무응답

< II-11-4 >



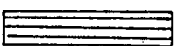
大端의 神經을 쓴다



약한 神經을 쓴다



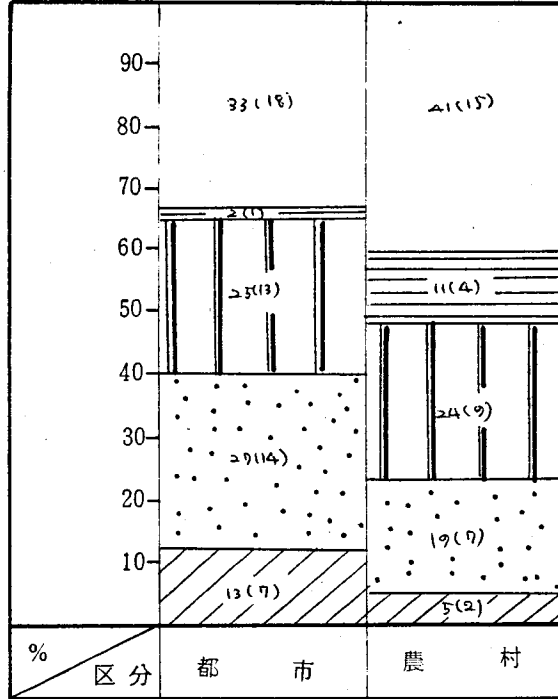
별다른 神經을 안쓴다





全의 神經을 안쓴다

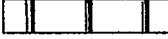
註) 衣服에 대한 女性들의 關心度를 보면
 1953年以前 "神經을 안쓴다" 之 比率이
 大端의 率인 1954年以後의 大端의
 神經을 쓴다 之 率이 增加의 傾向인.

<II-11-4>



 대단히 신경을 쓴다.

 약간 신경을 쓴다.

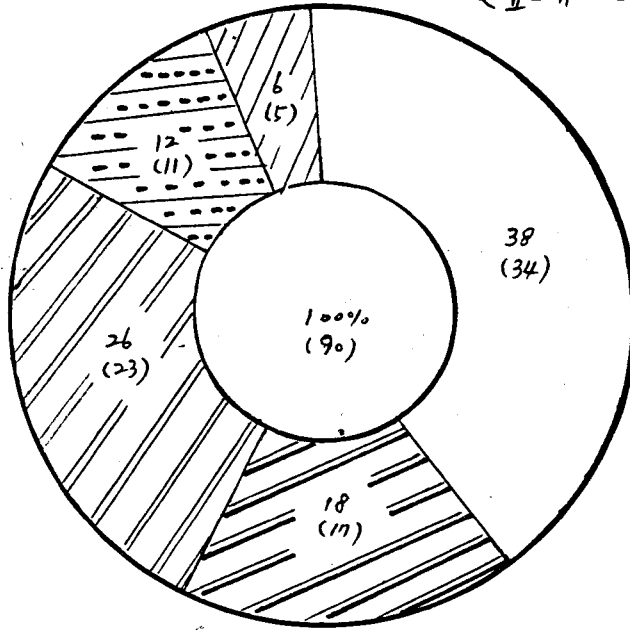
 별로 신경을 안쓴다.

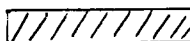
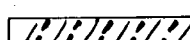
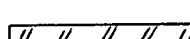
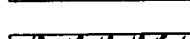
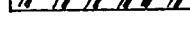
 전혀 신경을 안쓴다.

 무응답

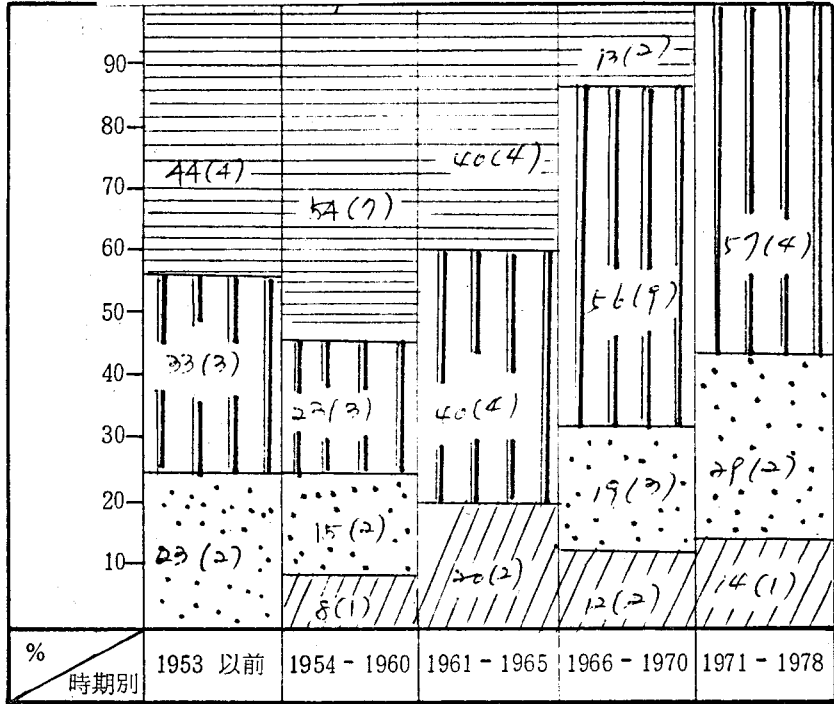
衣服에 대한 关心度 (青少年)

< II-11-라 >



-  매단히 신경씀
-  약간 신경씀
-  별로 신경 안씀
-  전혀 신경 안씀
-  무응답

<II-11-마>



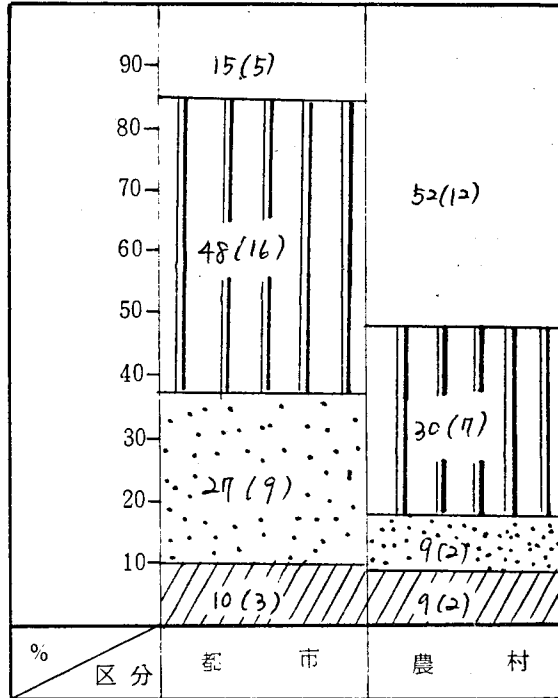
대단히 신경을 쓴다.




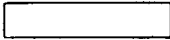
약간 신경을 쓴다.

별로 신경을 안쓴다.

전혀 신경을 안쓴다.

< II - 11 - 바 >



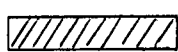
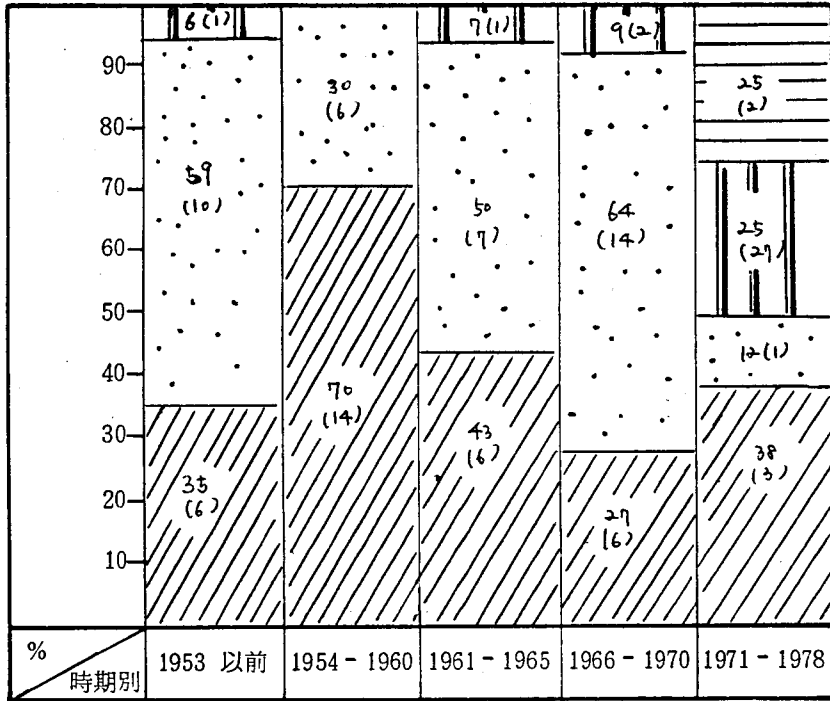
-  대도시 성장층
-  야산 성장층
-  별초 성장층
-  전초 성장층

(4) 便宜 및 文化生活

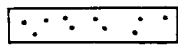
- 손목時計는 大部分 所持하고 있지 않으나 (35%) 1970年以後에는 普及率이 늘어나고 있음.
- 재봉틀 普及은 70年以後 점차 增大되고 있으나, 農村은 部落當 1台, 都市는 10世帶當 1台가 가장 큰 比率로 나타나고 있음.
- 電氣밥솥은 66年부터 普及되기 시작하여 70年以後 多少 增加되었으나 10世帶以上에 1台 程度임.
- 카메라는 幹部級에 限해 드물게 所持하고 있으며 一般人中 所持者는 없는 것으로 나타나고 있음.
- 電話機 普及은 平壤地域은 3級企業所 管理長級以上 主要人員 宿所에 架設되었으며, 農村地域은 郡機關長級以上 집에 架設되었음.
- 冷蔵庫는 70年代以後 特殊層에 限해서 드물게 普及되고 있음.

손목時計所持

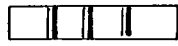
< II - 12 >



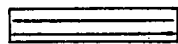
大部分 不所持



都市住民도 드물게 所持



都市住民은 대부분 所持하나 農村住民은 드물게 所持

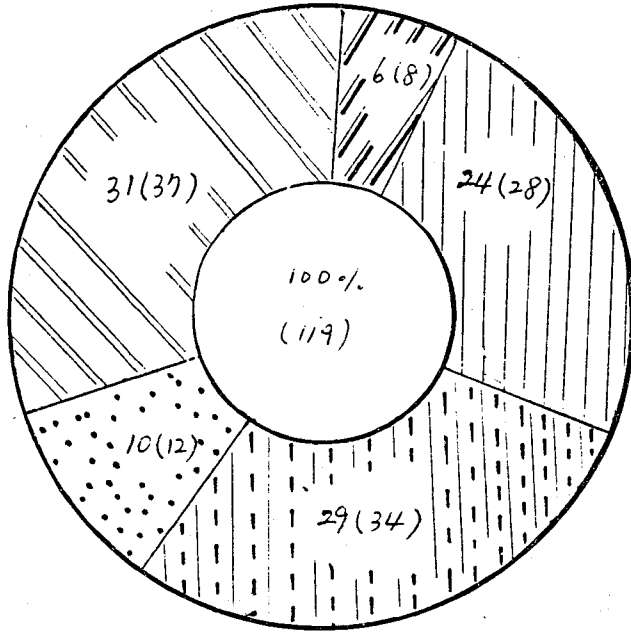


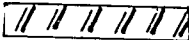
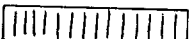
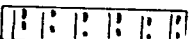
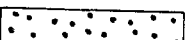
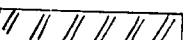
都市 農村 住民 大部分 所持

註, 손목時計는 70年代에 들어와
地域 및 職位에 따라 어느程度
普及 될 것으로 보임.

재봉틀 普及

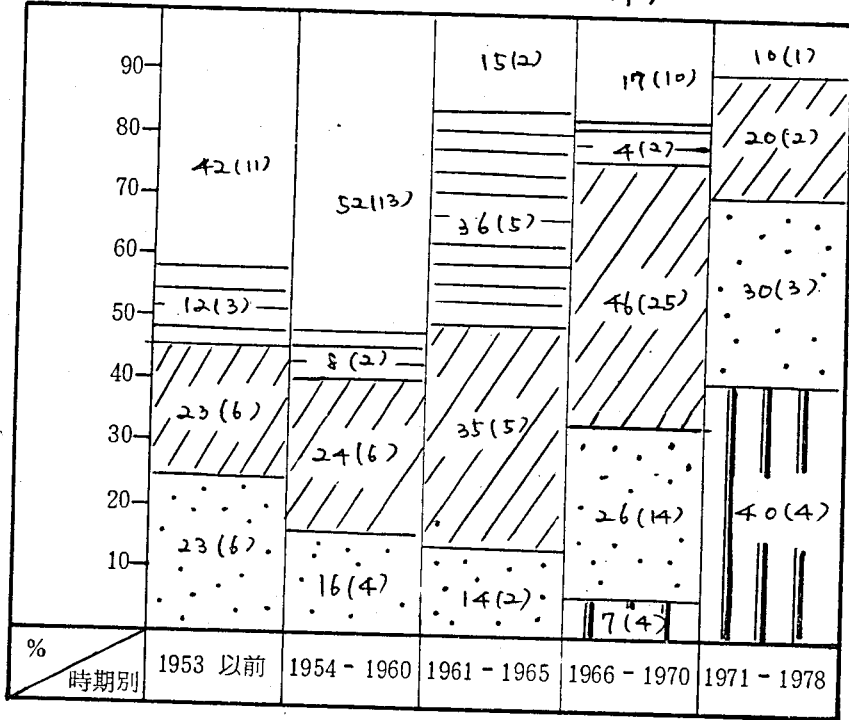
< Ⅱ-13 >



-  3~3 世帯에 1台 保有
-  10 世帯에 1台 保有
-  한 마을에 1台 保有
-  없다
-  無 衣 答

註, 한 마을에 1台程度 保有하고 있다는 수가 가장 많은 것으로 보아 재봉틀 普及은 極히 低調한 現象임

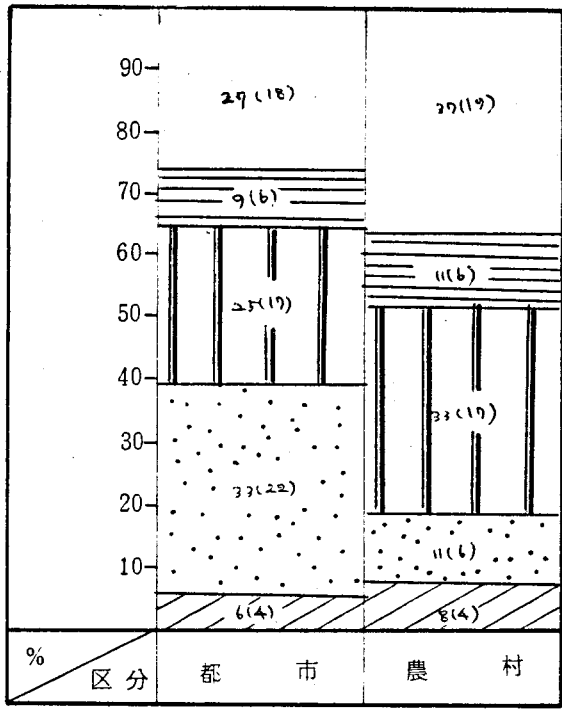
<표-14-가>


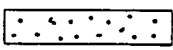
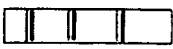
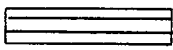
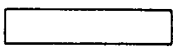


- 한아문에 1대 보유
- 10세대에 1대 보유
- 2-3세대에 1대 보유
- 없다

註 066年以後 供給量이 증대되었으며
70年以後 급증하는 추세임.

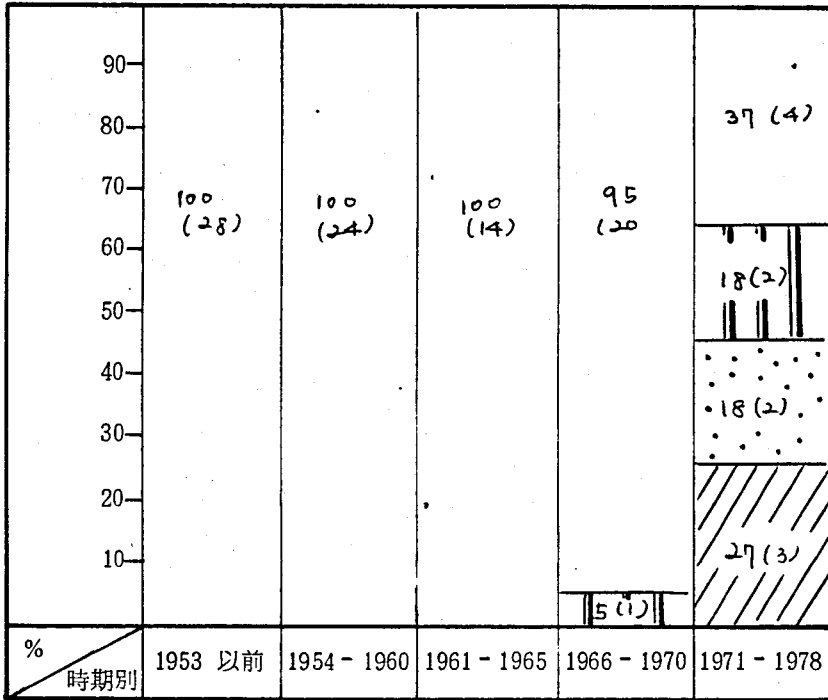
<Ⅱ-14-2>




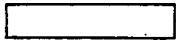


-  2~3세대에 1대 보유
-  10세대에 1대 보유
-  한마을에 1대 보유
-  없다
-  무응답

電氣 普及 率

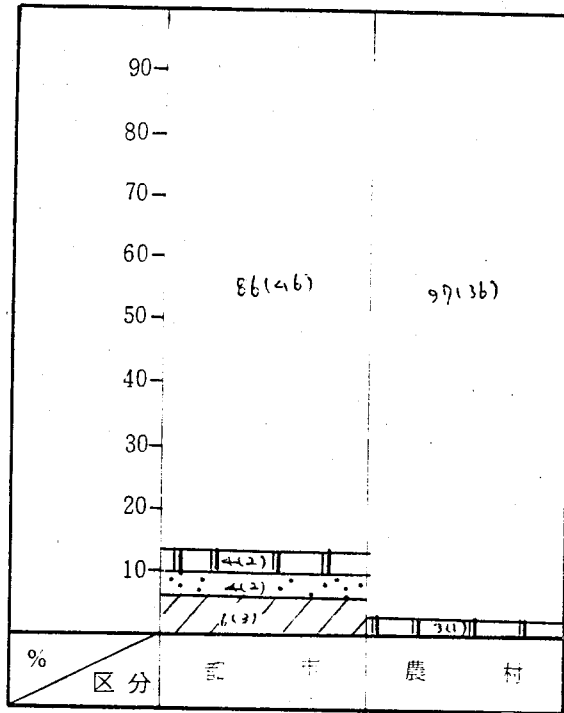
< Ⅱ-15-가 >


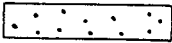




-  2~3세대에 1대 보급
-  10세대에 1대 보급
-  한마을에 1대 보급
-  없음

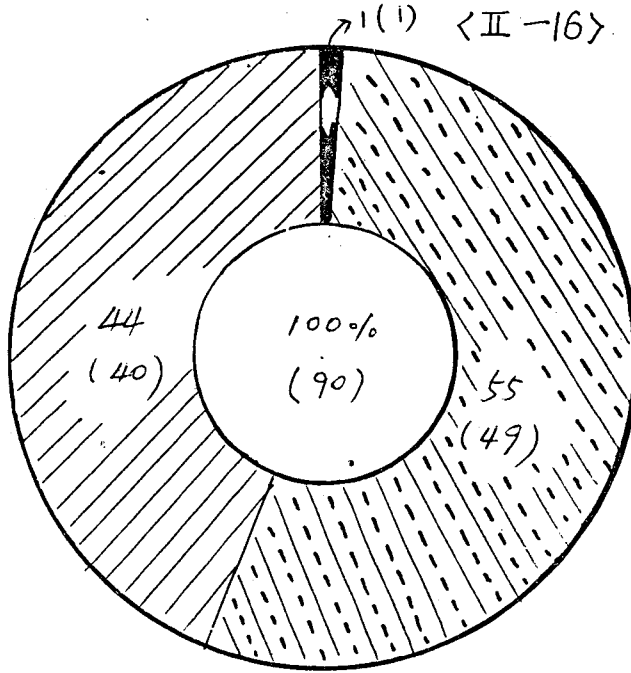
註, '66年以後 供給되기 始作,
'70年以後 急増하는 趨勢이나
아직도 普及率은 極히 低調함


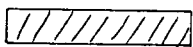
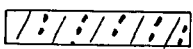
< II - 15 - 24 >



-  2~3 세대에 1대 보유
-  10세대에 1대 보유
-  한 마을에 1대 보유
-  없다 및 무응답

寫真棧所持

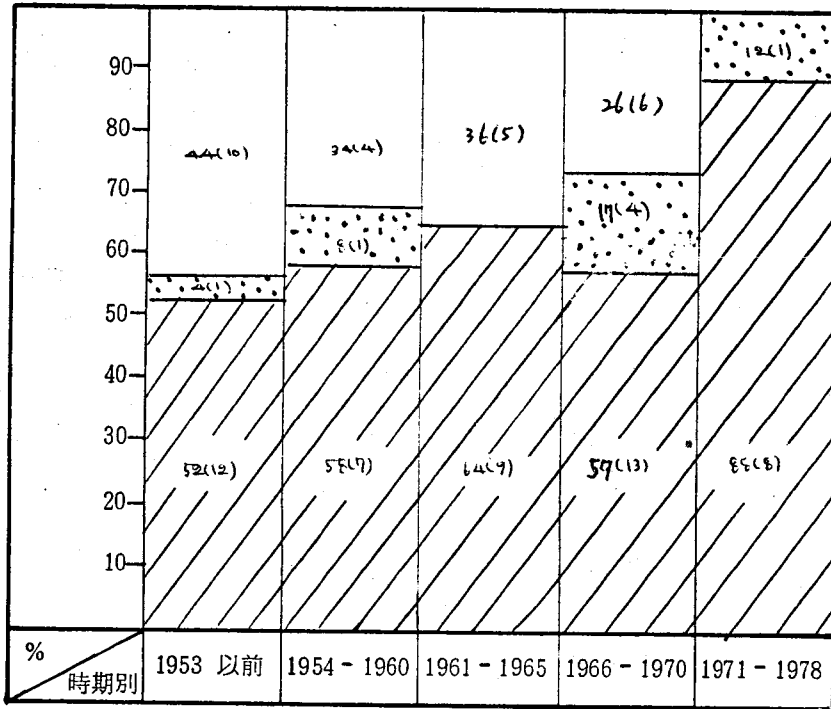


-  都市住民を多数所持
-  三層川(幹部級)所持
-  不所持

註) 大部分は所持は 三層川 持層川
限川 三層川 所持組 以外

電話機普及(都市)

< II-17-가 >

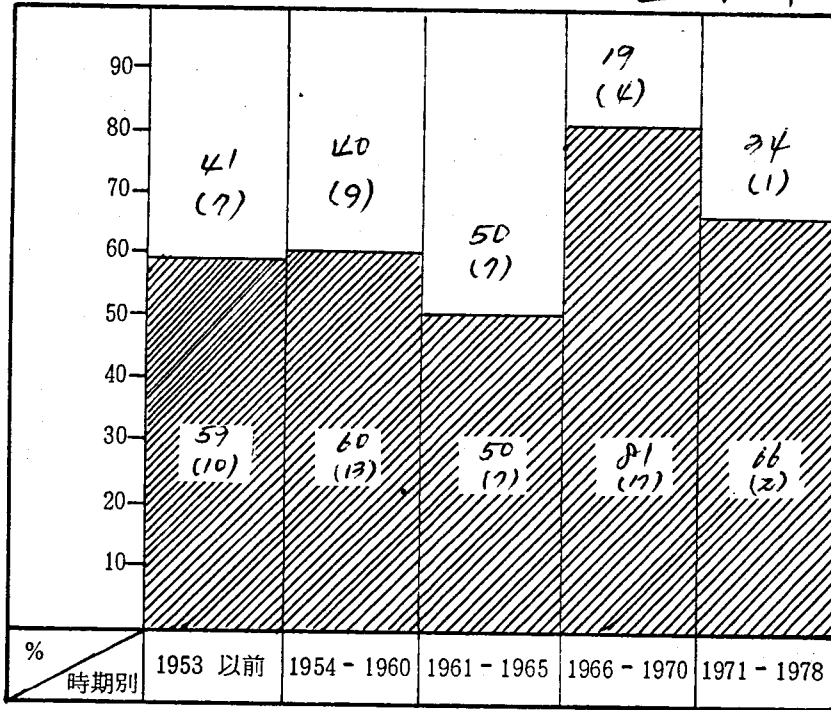


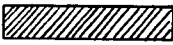
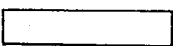
- 副部長級 以上
- 3급 기업소 관리장급
- 무응답

註: 일반적으로 부상급 以上에는
普及 되어 있으며 점차 중간
관리자급에도 보급되는 傾向

電話機普及(農村)

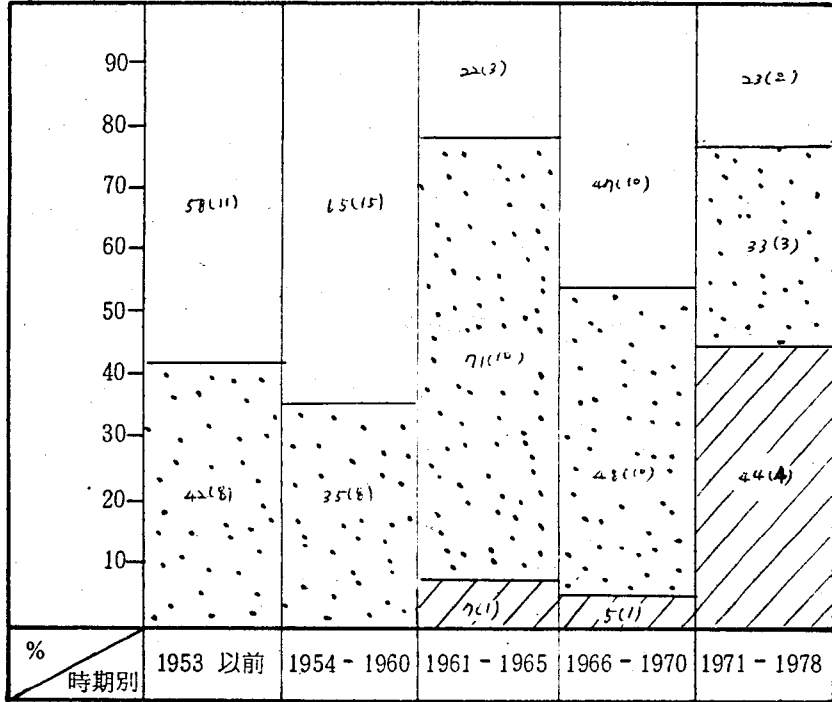
< II-17-4 >

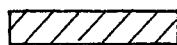
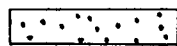
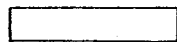


 郡村長以上設置
 一般住民設置

냉장고普及

< II-18 >



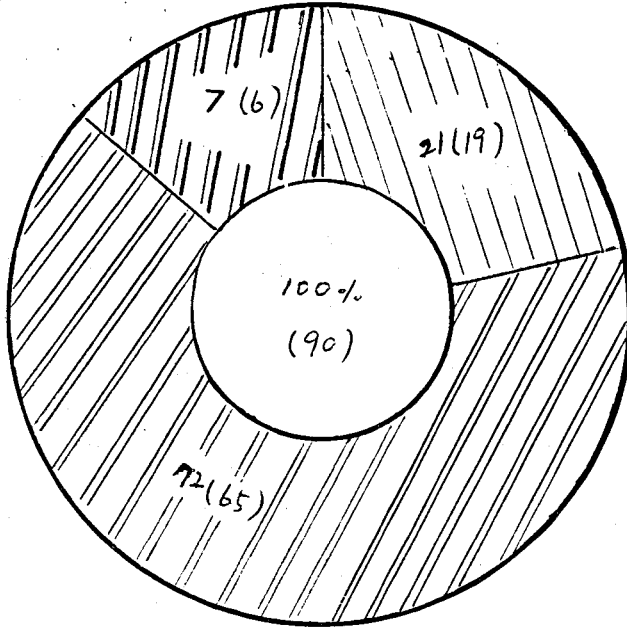
-  特殊層에 한해 일부 保有
-  있다
-  무응답




(5) 保 健 衛 生

- 全般的으로 藥品供給이 不足한 実情이고, 主로 基礎의약품 정도가 供給되고 있음.
- 病院利用에 있어서 里診療所의 境遇는 輕患者 利用率(66%) 이 높고 綜合病院의 경우는 重患者의 利用率 (56%) 이 높음.
- 그러나 營養失調, 속얇이, 疔瘡 등의 病이 있는 것으로 보면 保健衛生水準이 落後되어 있음을 알 수 있음.

藥品供給

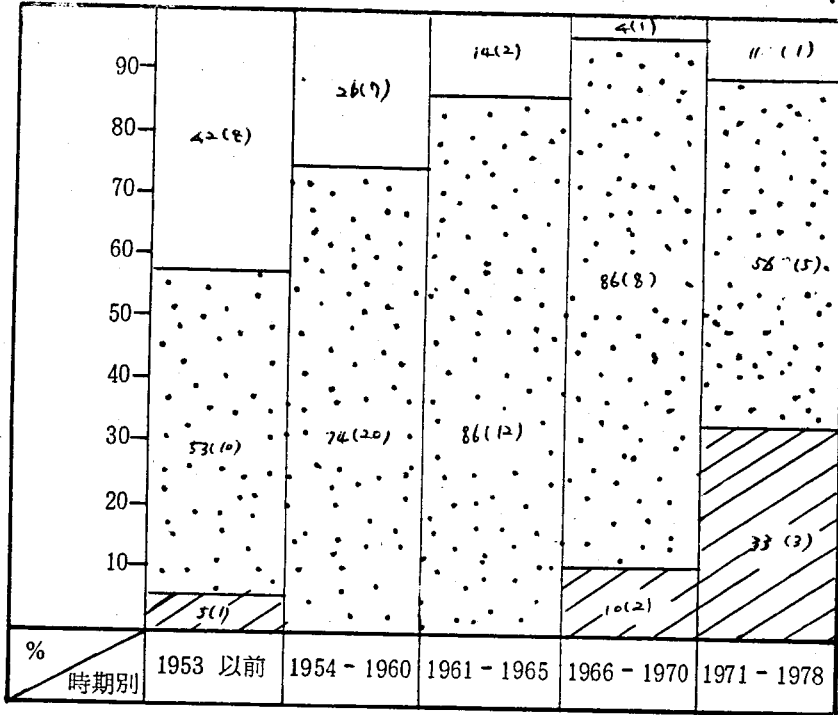
< Ⅱ-19-가 >

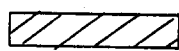
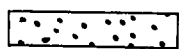
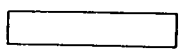


-  충분
-  부족
-  무응답

※ 藥品은 마취용, 목도경거, 소화제등임

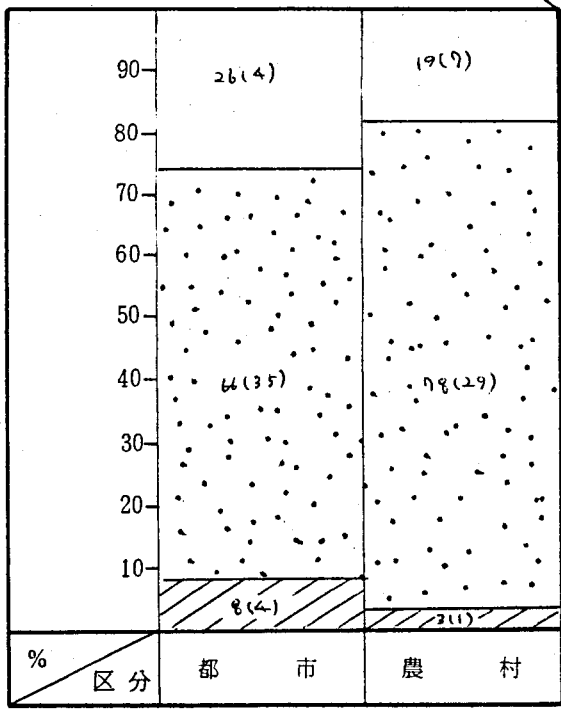
< Ⅱ-19-2 >


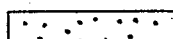
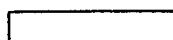


-  充分하다.
-  不足하다
-  不知道

註, 医薬品供給이 絶對적으로 不足한 現狀이나 '70年代에 들어와 供給이 多少 늘어난 것으로 나타남.

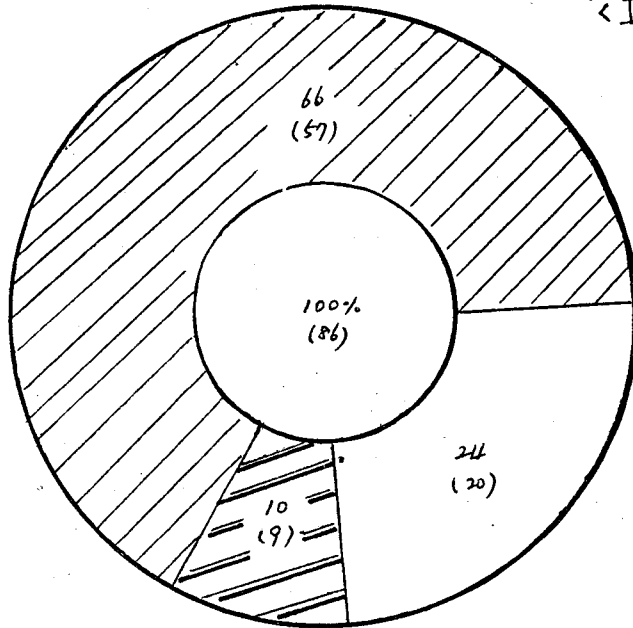
< Ⅱ-19-4 >



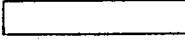


-  充分
-  不足
-  無

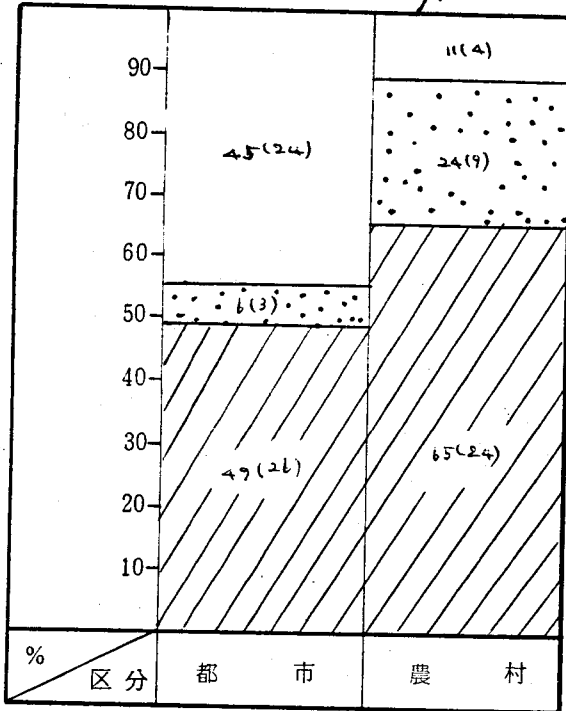
里診療所(里病院)利用者

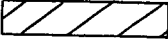

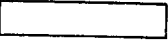
< II - 20 - >



-  軽患者
-  重患者
-  無回答

<Ⅱ-20-4>

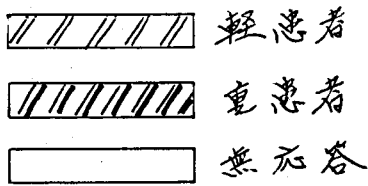
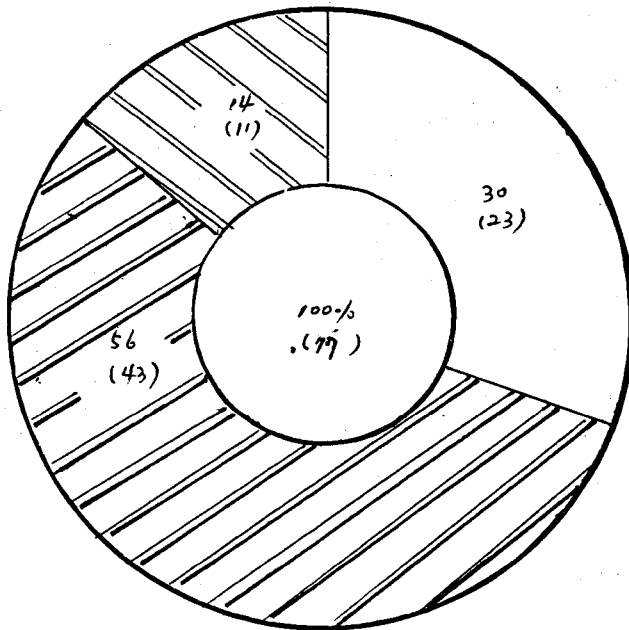


-  輕患者
-  重患者
-  無応答

註, 農村地域은 綜合病院 不足으로
 重患者도 里診療所를 利用하고
 있는것으로 나타남.

綜合病院利用者

<Ⅱ-21>



病的 種類

< II - 22 - 가 >

時 期	病		
1949-53	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胃腸病 ○ 장티푸스 ○ 紅疫 ○ 속앓이 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 痢疾 ○ 結核 ○ 性病 ○ 營養失調 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 神經痛 ○ 感氣 ○ 皮膚病
1954-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結核 ○ 神經衰弱 ○ 장티푸스 ○ 盲腸炎 ○ 肺디스토마 ○ 肝디스토마 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大腸炎 ○ 神經性疾患 ○ 胃腸病 ○ 肺炎 ○ 脚氣病 ○ 營養失調 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肝疾患 ○ 戰爭히스테리 ○ 능막염 ○ 感氣 ○ 마라리아 ○ 夜盲症
1961-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結核 ○ 胃腸病 ○ 營養失調 ○ 紅疫 ○ 貧血症 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高血壓 ○ 過勞 ○ 마라리아 ○ 關節염 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肝疾患 ○ 職業病 ○ 神經痛
1966-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結核 ○ 디스토마 ○ 胃腸病 ○ 心臟病 ○ 腎臟病 ○ 食中毒 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感氣 ○ 肝疾患 ○ 營養失調 ○ 펠라그라 ○ 關節염 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 痢疾 ○ 低血壓 ○ 紅疫 ○ 不眠症 ○ 神經性疾患 ○ 마라리아
1971- 現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胃腸病 ○ 皮膚病 ○ 心臟病 ○ 出血熱 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大腸炎 ○ 胃炎 ○ 結核 ○ 盲腸炎 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 關節염 ○ 感氣 ○ 腦膜炎

地 域	病		
都 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 眼疾 ○ 紅疫後遺症 ○ 高血圧 ○ 디스토마 ○ 營養失調 ○ 性病 ○ 大腸炎 ○ 戰爭히스테리 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 神經痛 ○ 結核 ○ 肝腸疾患 ○ 神經衰弱 ○ 마라리아 ○ 瘧疾 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 부스럼 ○ 感氣 ○ 紅疫 ○ 속알이 ○ 胃腸病
農 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 營養失調 ○ 結核 ○ 마라리아 ○ 關節염 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 장티푸스 ○ 感氣 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胃腸病 ○ 盲腸 ○ 大腸炎

平 壤	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胃腸病 ○ 神經性疾患 ○ 關節염 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結核 ○ 肺디스토마 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 皮膚病 ○ 肝디스토마
開 城	<ul style="list-style-type: none"> ○ 關節염 ○ 胃腸病 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胃炎 ○ 結核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心臟神經症 ○ 肝疾患

(6) 所得·消費生活

1) 給与 및 所得

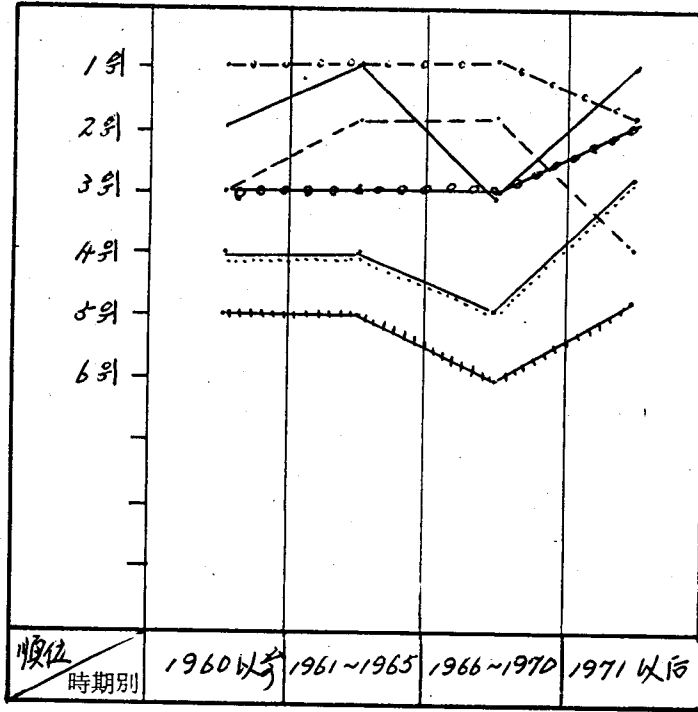
- 給与 및 配給水準은 一般적으로 軍人, 党政要員이 一般住民들보다 높게 策定되어 있고, 都市가 山漁村보다 높음
- 給与外 副收入은 70年以前에는 30%程度 있었으나 70年以後부터는 전혀 없는 것으로 나타나고, 一般人보다 特殊層이 많음.
- 所得의 大部分(90%)이 衣食住에 支出되며, 70年以後 生活水準이 보통이상(78%)이라고 応答하고 있음.

2) 購買活動

- 自由로운 購買活動은 大部分이 不可能(72%)한것으로 나타나며, 그 理由는 現金不足, 現品不足 割當制등에 起因한 것으로 나타남.
- 現金 自由購買가 가능한 品目은 生必需品, 家財道具, 副食類 文化用品등이며 食糧, 燃料 및 高價品の 購買는 不可能한 것으로 나타남.
- 모든 商品은 定札價로 販賣(62%)되고 있으나, 一部는 定札價 以上(7%), 定札價以下(6%)로 販賣될 수도 있음.
- 山民市場은 解放後 現在까지 繼續 存続하고 있으나, 去來品目의 不足, 統制등으로 利用度가 점차 減少하고 있음.
- 暗去來의 主宗品이 食糧이고 그 다음으로 貴重品, 特殊衣服類이며, 去來者의 大部分이 特殊層 및 在日僑胞임.

給與水準

< Ⅱ - 23 >

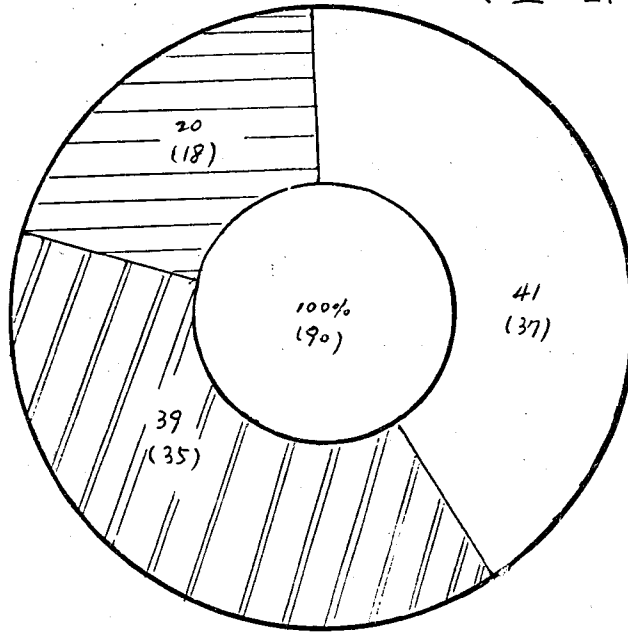


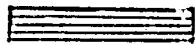
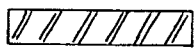
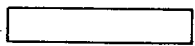
- 党員
- 政权機關員
- 軍人
- 工場企業労働者
- 協同農場員
- 教育部門員

註) 軍人、党政要員の
給與水準は並
教育部門、農場員
と水準は劣る。

副收入

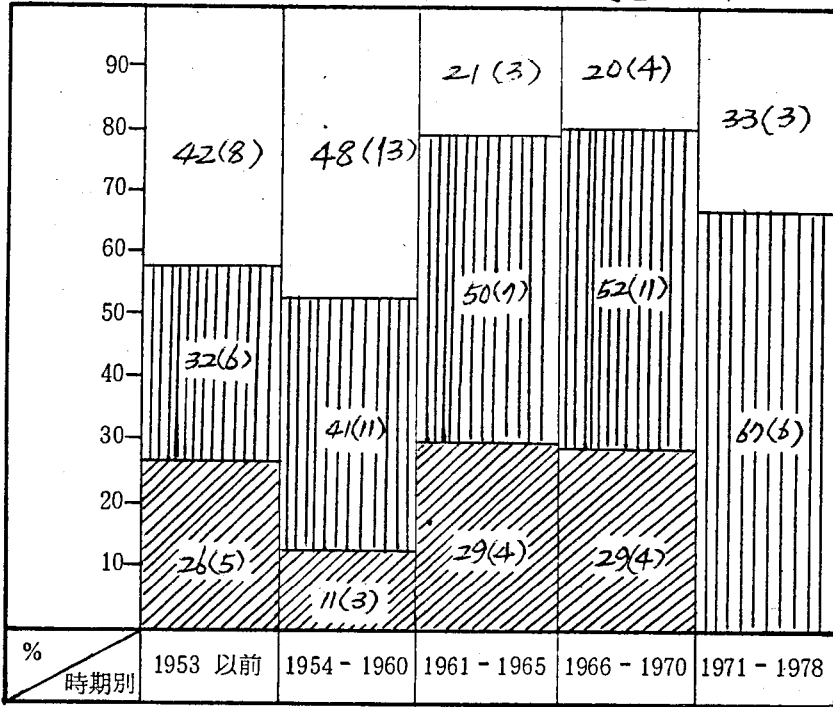
< Ⅱ-24-1 >



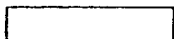


-  있다
-  없다
-  무응답

* 副收入에는 橫領, 賂物, 經理不正 竊取 등이 包含

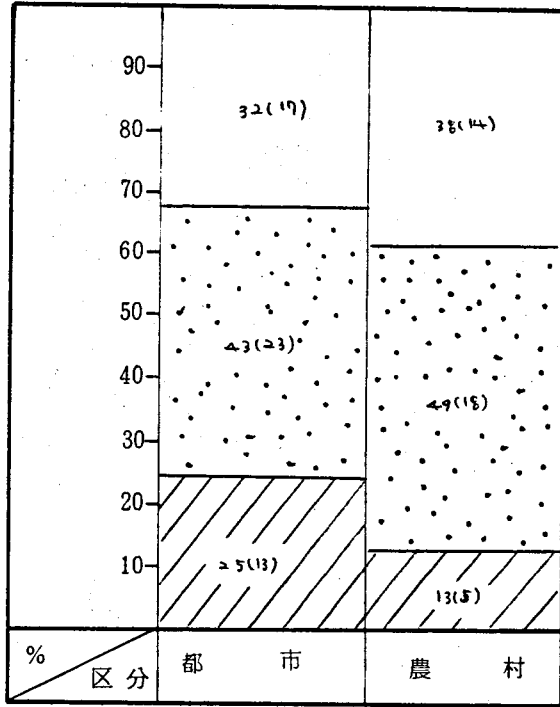
< II-24-가-1 >

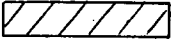
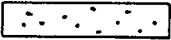
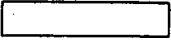


 있다
 없다
 無回答

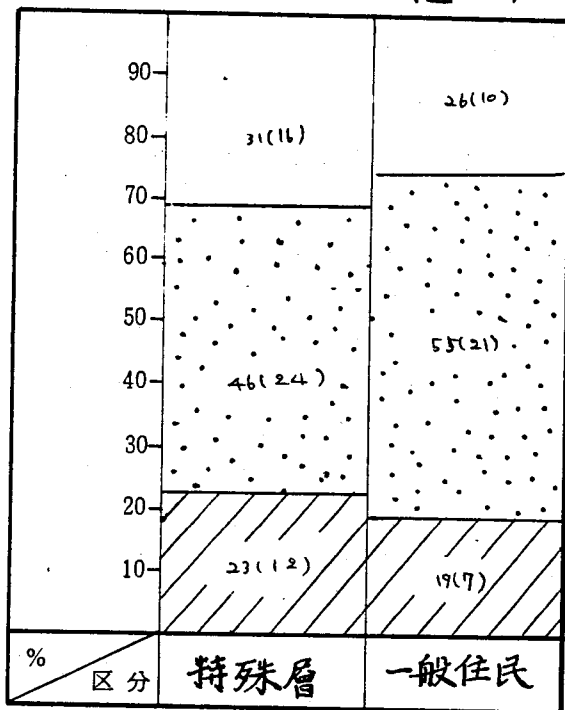
註. 71年以後는 副收入이 전혀 缺는 것으로
 나타남은 應答者 構成上의 問題로 示될


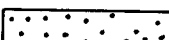

< 1-24-2 >



-  있다
-  없다
-  무응답

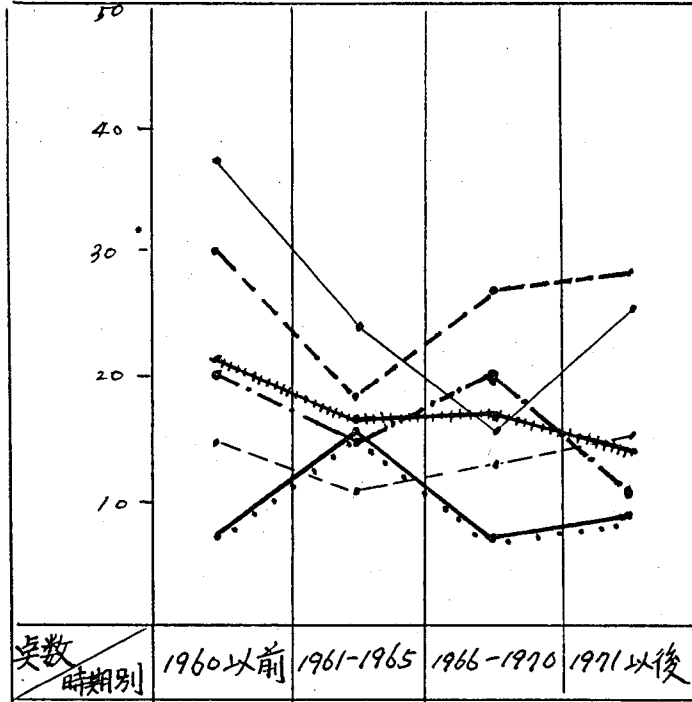
< 1 - 24 - 2 + >



-  否答
-  否
-  肯定答

配給水準

< II - 25 >



- 党원
- ++++ 정연기관원
- 軍人
- .-.- 공장기업소 労働者
- 협동농장원
- 教育원

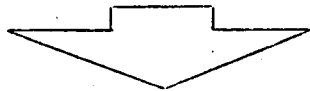
註) 配給水準은 軍人, 党政要員이 높음

所得中 支出優先順位

< II - 26 >

時期	'49-53	'54-60	'61-65	'66-70	'71-
党政要員			1 衣類食糧費 2 副食費 3 被服燃料費	1 食生活費 2 衣類費 3 扶助費, 党費	1 衣類, 副食 教育費 2 生必需品, 副 食費
事務員	1 世副食費 2 公課金 3 交通費		1 衣類費 2 副食費	1 衣類, 生必 品費 2 燃料費, 配 給費 3 副食費	
軍人	1 食費 2 衣服費, 生 必需品費 3 教育費	1 食糧配給費 2 衣類, 副食費	1 衣類, 配給費 2 食糧費	1 雜費, 副食費 2 主食費, 衣 類費 3 文化費	
(協同農場) 漁民	1 食費, 教育費 2 副食費 3 被服費, 教 養費 4 交通費	1 食費, 教育費 2 副食費, 食費 3 教養費, 被 服費 4 交通費(衣食 住 90%: 其他 10%)	1 食生活費 2 衣類, 副食費 (衣食住 90% : 其他 10%)	1 衣類, 食料費 2 신발 등 生 必需品費 3 厚生費, 教 育費	1 衣類, 学用 品, 食生活費 2 副食費 3 生必需品費
(工場企業者) 技術者		1 世配給費 2 衣類, 燃料費 3 副食費 4 雜費	1 衣類 2 家具費 3 食費	1 衣類, 食料費 2 生必需品費 (煤炭代等)	

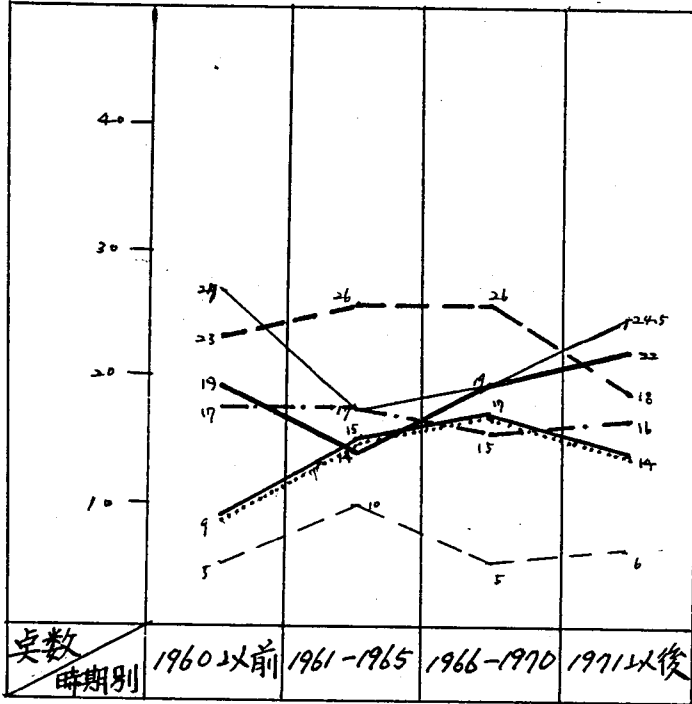
教配 員者 · 文 芸 人	1.食費,副食費 2.被服,保健 教育費	1.無煙炭,食 品食糧費 2.新聞雜誌費 3.黨費,社會 團體費		1.衣服,副食 主食費 2.사치품,外 食費,生必品 費	
学 生	1.主食費 2.雜費		1.副食費 2.日用品費		1.衣類,學用品費 2.副食費,生 必品費
鉸 山 村 · 漁 村			1.學用品費 2.衣服費 3.副食費 1.衣類費 2.配給費		



所得의 大部分이 基本的 衣食住生活에 支出됨.

商品買入水準

< 11-27 >

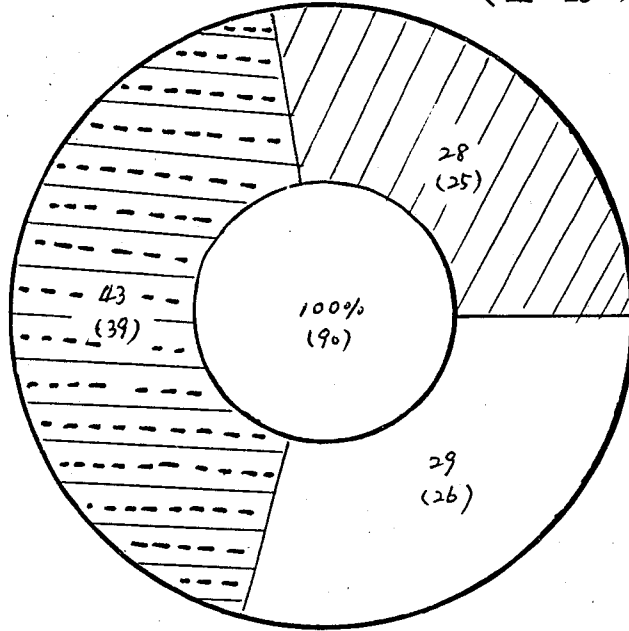





- 장원관
- 장권기관원관
- 군인
- .-.-.- 공장기업소노동자
- 협동농장원
- 교육원관

註, 商品買入水準은
軍. 党政要員이 높음.

自由購買活動可能性

< II-28-가 >



-  可能
-  不可能
-  無回答

註) 物品購買之 割當表에 따라 程度는
統制外인 以上의 現金 및 現金不足
으로 大部分 不可能 및 無回答 反應
이 出다

購買品目

< II - 28 - 나 >

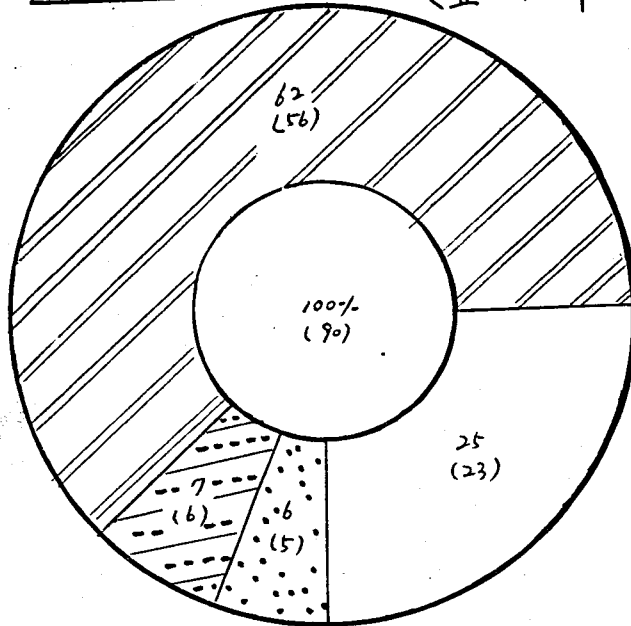
時期	現金購買可能品目	現金購買不可能品目	備 考
49-53	主, 副食類, 生必品 家財道具, 衣類	食糧, 燃料	食糧과 燃料購買에 統制를 加하기 시작
54-60	副食類, 衣類, 옷감 家財道具, 學用品, 書籍	食糧, 燃料	食糧 (配給制) 燃料 (職場別割當 購買制)
61-65	"	食糧, 燃料, 時計, 高級衣類	上 同
66-70	時計, 自転車, 收音機 라디오外 上同	食糧, 燃料	現金購買可能品目은 職場別 配定表를 所持한 者에 限하 여 販賣
71以後	사탕, 설탕, 알미늄 제품, 비누, 화장품, 식료품外 上同	食糧, 燃料, 텔레비전 녹음기	現金購買可能品目은 收買証所持者에 한 하여 販賣



- 食糧은 配給制이므로 購買不可
- 돈이 있어도 商店에 生必品, 副食類의 供給이 절대적으로
부족하기 때문에 購買不可

正礼制实施与否

<Ⅱ-29-가>



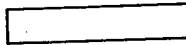
정찰제



정찰가이상



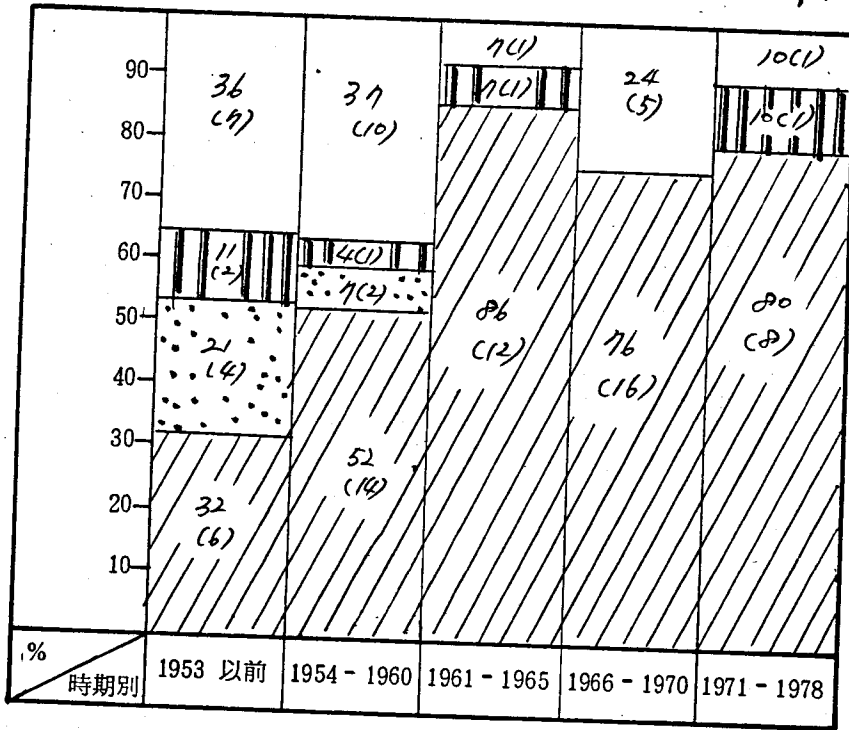
정찰가이하

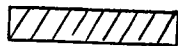
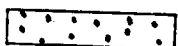

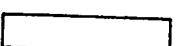


무응답

註, 商品販賣은 正礼制가 普遍的이나 正礼價 以上 또는 그 以下로 購買될수도 있음을 나타냄.

< II-29-4 >



-  정札制
-  정札價 以上으로 購買목적 있음
-  정札價 以下로 割引 購買목적 있음
-  기타

物 価 表

< II - 30 >

物 品	時 期	配給価 (원)	商店価 (원)	暗去来価 (원)	備 考
쌀 1 kg	49-53		10		
	54-60		400	28-200	
	61-65	0.08-0.75	0.56-0.6		
	66-70	0.08	0.15-1	3	
	71-	0.08-0.2	2.8	5-6	
옥수수 1 kg	54-60			18	
	61-65	0.05-0.30	0.30	70	
	66-70		1.25-2		
	71-	0.04-0.15		4	
된장 1 kg	54-60		0.17		
	61-65	0.10-0.20	0.30-1.2		
	66-70		0.08-0.35		
	71-	0.2	0.15-1.5	5	
배추 1 kg	61-65	0.05	0.20		
	66-70		0.1-1.5		
	71-	0.05	0.15-0.5	3	
달걀 10개	54-60		0.20		
	61-65		0.30		
	66-70		0.1-1.5		
	71-	0.18-1.7	0.1-2	0.3-1.5	

돼지고기 1kg	54-60		7	
	61-65	7	2.40	
	66-70		2.5-8	
	71-	3.5-8	4.5-5	10
물고기 1kg	61-65	0.15	0.40-2.2	
	66-70		0.6-4	
	71-	0.14-1.2	0.18-3	0.25-6
용성맥주 1병	54-60		0.70	
	61-65	0.50	0.4-0.6	
	66-70		0.35-1	
	71-	0.55-3.5	0.7-3.5	3
개성인삼주 1병	54-60		5	
	61-65		2-3.80	
	66-70		1.5-12	
	71-	2.5	2.5-10	10
사주 1병	61-65		2-8.5	
	66-70		1.5-12	
	71-		25-8.4	17
파일주 1병	61-65		1.80	
	66-70		1-3.6	
	71-		3.4	
화주(중국술) 1병	66-70		0.7-9	
가공주 (발효주) 1병	61-65		1.2-1.5	
	66-70	1.5	0.8-3	
	71-		0.35-3.4	8

담배 갈매기 1갑	54-60		0.35	
	61-65	0.25	0.20	
	66-70		0.25-0.75	
	71-	0.35-2	0.35-1.3	3
광명 1갑	54-60		0.35	
	61-65		1	
	66-70	0.3-0.35		
	71-	0.35	0.35-1.5	4
전설 1갑	54-60		0.50	
	61-65	0.30	0.4-0.6	
	66-70		0.15-0.5	
	71-	0.35-0.5	0.25-1.5	4
평양 1갑	54-60		0.60	
	61-65		1	
	66-70		0.7-1.2	
	71-	0.35	0.75	
모란봉 1갑	54-60		1	
	61-65		1-1.20	
	66-70		0.7-1.5	
	71-	0.35	1.2	
기 타 담 배				
(백두산)	66-70		0.35	
(궁 전)	71-		2	
(금 강)	71-	1.0	0.7-1.0	
(용광로)	71-	0.35	0.35	
(탄)	71-	0.50	6.50	30

배 1 kg	61-65	0.50	0.40	
	66-70		0.8	
	71-	0.5-1	0.6-1.5	5
감 1 kg	61-65	0.50	0.3-0.5	
	71-		2.413	
기 타 레닌북 1 책	54-60		40	
	61-65		70	
	66-70	2	40-100	
	71-	40-150	20-200	250
	노동북 1 책	54-60		40
양부 (중급) 1 책	61-65	20	5.27-40	
	66-70	20-30	12-42	
	71-		10-60	40
	49-53		300	
	54-60		150	
와이 셔츠 1 책	61-65	150	100-300	
	66-70		35-350	
	71-	50	40-100	120
	54-60		0.15	
	61-65		5-15	
양말 (동용) 1 켤레	66-70		7-35	
	71-	5	12-30	
	54-60		0.7-1.5	
	61-65		36	
	66-70	0.3	0.6-7	
	71-	1.2	2-6	

* 풋감 71-
(3-5원)

면내 의상하	54-60		8	
	61-65	15	4-70	
	66-70		15-30	35
	71-	15	100	
구 두	49-53		35	
가죽구두	54-60		20-60	
1 켄데	61-65	25-60	7-40	
	66-70		5-30	40
	71-	20-30		
비니투구두	66-70		4.5-20	
1 켄데	71-	5	4-10	15
치마저고리	54-60		80	
1 벌	61-65	30	40-250	
	66-70		20-80	
	71-	0.7-1.6	15-200	230
양장 1 벌	54-60		150-200	
	66-70		70-150	17
	71-		70-150	
토션 ,	61-65		2.50	
크림 100g	66-70		1-2.5	
	71-		2.5-4	5
비누 1개	54-60		1	
	61-65	1.20	0.50	
	66-70		0.2-3	
	71-		1.2-2.2	3

時計 (소련 제)	54-60		350		* 70年代
1 개	61-65	450	200-300		SEIKO
	66-70		60-400	250	時計 1,200 원
	71-		250-500	600-700	
금반지 1 돈 (3.75g)	66-70		8-120		
라 디 오 (北德製)	54-60		350		
	61-65		50-170		
1 대	66-70		130-450		
	71-	250'	50-450	60-70	
목 제책 상 1개	54-60		35		
	61-65		25-70		
	66-70		5-30		
자전거 1 대	49-53		300		
	54-60		120		
	61-65		130		
	66-70		150-300		
	71-		140-180	170	
재봉틀 1 대	54-60		350		
	61-65	500	250		
	66-70		300-350		
	71-	250	120-450	400	

목욕비 (중급)	49-53		70
	54-60		0.15
	61-65	0.50	0.25-0.30
	66-70		0.1-0.5
	71-		0.1-0.8
이발비 (중급)	49-53		30
	54-60		0.50 0.20
	61-65	0.50	0.20-0.40
	66-70		0.35-1
	71-	0.50	0.35-1.5
숙박비 (중급 여관)	54-60		3
	61-65	1.20-1.50	0.50
	66-70		0.4-0.5
	71-		0.4-0.7
곰탕 1그릇	54-60		0.20
	66-70		0.5-1.5
	71-		0.5-1.5

- 1959年 通貨改革 (100 : 1)
 ○ 4회에 걸친 物品價格引下断行

旅行手段 및 交通料金

< II - 34 >

時期	区分	区 間	距 離	料 金	利用時發路事項	
49-53	철도 전철	원산 - 봉천 (동해북부선) 평양 - 원산 (평원선)	원산 - 상음	40 원	各種証明調査	
54-60	철도	청진 - 길주	36 km	1 원	檢査所持者에 한함 座席 不足 路面이 좁아 속도느리고불안	
		부전읍 - 태산시		30 전		
	버스	부전읍 - 평양				
		개성 - 관문군	4 km	15 전		
		사동 - 중구역 (평양)	12 km	30 전		
성진역 - 삼포동	4 km	15				
61-70	철도	함흥 - 평양		후불증	음료수가없다	
		원산 - 갈마	8 km	25 전	票구하기가 어렵다	
		평강 - 평양	250 km	1원20전	(여행증소지자에 한함) 통행증과 위생 증지참) 차내혼잡 식사 애로	
		태주 - 평양		1원50전		
		개성 - 평양	200 km			
	전철 버스	평양 - 선외주	423.3 km			
		본평양 - 서평양	13 km	15 전	출퇴근시 혼잡	
		고원 - 양덕	120 km			
		평양 - 함흥				
		갈마 - 송도원	12 km	15 전	만원	
	시내 (평양)	5 km	10 전			

71이후	철도	합 용 - 명 천		3원	各種證明書持參 (兵器證明書通行 證明書) 乘車人員이 많다 車票購買에 陸 路 運行回數가 적다	
		합 용 - 명 양	800 km	5원		
		수 덕 - 동 립		3.30원		
		개 성 - 명 양	200 km	3.60원		
		신 북 청 - 합 용	120 km	4원		
		전 철	도심지내			10건
		버 스	도심지내			10건
			합 용 - 신 용	40 km		2원
			철 원 - 미 천	20 km		4원
			개 성 - 도 원	24 km		80건
택 시	도심지내	대절	시간당 50 건			



○ 旅行時 各種證明書를 持參케 하고 輸送施設 및 車輛의 不足으로 因하여 큰 陸路를 겪음.

農民市場

< II - 32 >

時期	開設形態	去來品目	一般의 呼応度	價格
49-53	5일장 形態 로 殘存하나 점차 미미해 감	工產品 : 農機具類 農產品 : 農產物 生必需品 : 세탁비누 성냥, 고무신, 인조견	신통치 않음	
54-60	月 2 回	(農村) 農產物, 가축, 日 用品 (都市) 商業省에서 運營	農民들의 유일 한 流通市場으 로 盛況 工產品 : 광목, 고무신, 의류 農產品 : 쌀, 잡 곡, 부식류 生必需品 : 칫솔, 치약, 비누	
61-70	市級以上地域 : 常設 郡級以下地域 : 定期	工產品 : 싸리소쿠 리, 삼레기, 수공제품, 가내 부업도구 農產品 : 채소, 호 박, 감자, 개, 닭, 계란, 돼지 새끼 生必需品 : 비누, 양 말, 칼, 고무장 화, 도마	農村地域은 微 微하나마, 生産 意慾을 불러주 기 때문에 다 소 呼応, 都市 地域은 有名無 實함.	○ 一般品目은 商 店價, 配給價 와 비슷함 ○ 食糧, 水産物 등 販賣禁止 品目은 暗去末 로 去來되는바 價格은 상당히 비싸다.

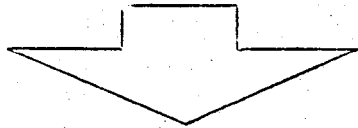
時期	施設形態	去來品目	一般의 呼應度	價格
71년 이후	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1966年 이후 정식 으로 10일 에 1회 開設 ○ 鄕單位 1個 所 	工産品 : 옷, 신발 천, 농기구 農産品 : 강아지, 닭, 계란, 채소 옥수수, 어류 生必品 : 수공제 분 토기, 뚝자리	呼應은 良好하 며 必要性은 甚감하나 市場 까지의 거리가 멀고 別 去來 品目이 없음	<ul style="list-style-type: none"> ○ 쌀, 密輸品, 北 送僑胞의 시계 ○ 稅타의 暗去來 成행 ○ 罪實에 따라서 摘獲時 物件押 収, 罰金, 징역 등의 조치가 있음 ○ 暗去來層은 사 치층에 대해서 는 黨員, 軍 官家族 ○ 食糧은 勞働者 農民, 事務員

暗 去 来

< II - 33 >

時期	主要去來品目	去來方式	去來階層	去來價格	摘發時処罰
49-53	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食糧 (쌀 잡곡) ○ 衣類 ○ 家畜 ○ 과자 ○ 副食類 ○ 美製藥品 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡易市場 ○ 物物交換 (知人間 에) ○ 密輸品 去來 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中流生活層 ○ 小市民, 農民, 勞動者 (食糧, 副食類) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店價의 50 % 비싸다 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訓戒放免 ○ 罪質에 따라 差異
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食糧 ○ 生必需品 ○ 中共·蘇聯製商品 ○ 휘발유, 석유 ○ 귀금속 ○ 衣類 ○ 시계, 라디오 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物物交換 ○ 現金支払 去來 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 密輸品은 高位幹部層 ○ 서민층 (食糧) ○ 生必需品 및 시계라디오는 中流層 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 부르는게 값. ○ 輕해져 있지 않음. ○ 配給價의 倍 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現品 押収 ○ 내무서 연행처罰 ○ 自我批判 및 互相批判
61-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食糧 ○ 衣類 ○ 在日僑胞들의 사치품 ○ 시계, 자전거 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 쌀과 交換 ○ 現金去來 ○ 都市의 衣類와 農村의 食糧 交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中流層 ○ 在日僑胞(사치품) ○ 勞動者, 農民 (食糧) ○ 高所得層 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食糧은 收買價의 10 倍 ○ 時價의 2 倍 ○ 日製시계 250 원 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 批判對象 ○ 罰金 ○ 안전부 감찰과에서 調査하여 罪過에 따라 3 年以下 징역

時期	主要去來品目	去來方式	去來階層	去來價格	摘發時處罰
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食糧 ○ 닭, 개, 염소 ○ 시제 ○ 衣服 (바지, 가죽잠바, 메드론, 와이셔츠) ○ 마늘, 고추 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在日僑胞所持物品을 現金 或은 쌀로 交換 ○ 農民市場 ○ 收買商店 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中流層 ○ 老人, 婦人層 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時價의 3-4 배 ○ 日製시계 600원 ○ 副食類는 2-3 배 ○ 쌀한되 10원 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 批判對象 ○ 罰金 ○ 안전부 監 찰과에서 조사하여 罪過에 따라 3年 以下 징역



○ 쌀의 暗去來價는 거의 無限定으로 畵값과 같음
 ○ 高位幹部 및 高級黨員들은 주로 사치품
 ○ 一般勞動者, 農民은 食糧, 副食

(7) 貯蓄生活

1) 貨幣 및 有價証券

- 貨幣에 대한 認識은 交換의 媒介體로 보는 見解가 絶대적 (69%)이며, 財産의 尺度로 보는 것은 극소수 (13%)에 불과하나, 66年 以後 財産의 價值尺度로서의 認識이 다소 높게 나타나고 있음.
- 有價証券은 工場 企業所間에 行표, 支票 등이 通用되고 있으나 대부분이 受払을 원하지 않는 경향임.

2) 貯蓄

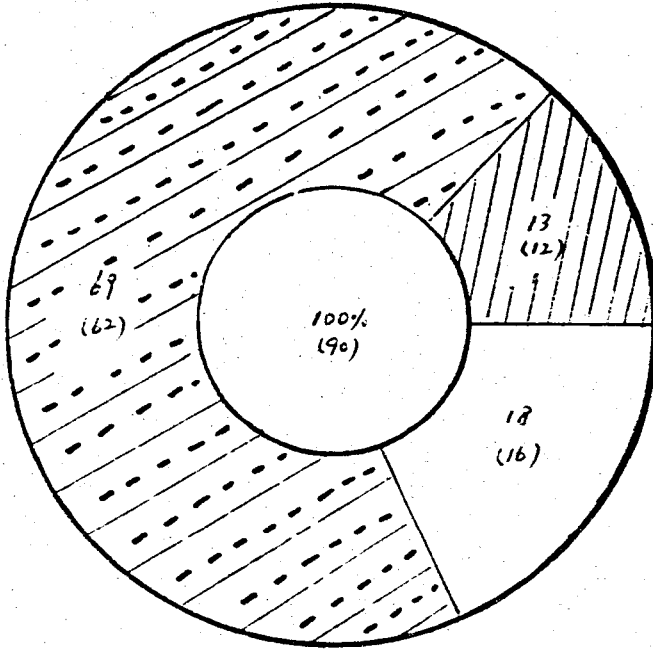
- 貯蓄類에는 預金額가 가장 많고 (24%) 積金과 保險도 少数存在하고 있으며, 70年代 以後 積金과 保險이 多少 增大되고 있음.
- 高額貯蓄者에 대한 特惠가 微微하나, 71年以後부터 特惠措置가 講究되어 있는 것으로 나타남.
- 貯蓄引出은 可能한것 (58%)으로 보이며, 71年以後는 不可能하다는 者가 전혀 없는 것으로 보아引出에 대한 統制는 없는 것으로 보임.
- 貯蓄金 引出後 使用處는 家具購入 (41%)이 가장 많고 그 다음으로 子女結婚費用 (21%)으로 나타나고 있음.

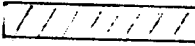
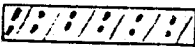

3) 貸付 및 私假

- 個人에 대한 銀行 또는 職場에서의 現金 貸付는 대부분 없는 것으로 보이나, 平壤 및 都市地域에서, 一般人보다는 特殊層에서 약간 있는 것으로 나타남.
- 個人間 私假는 小額에 한해 있는 것으로 보임.

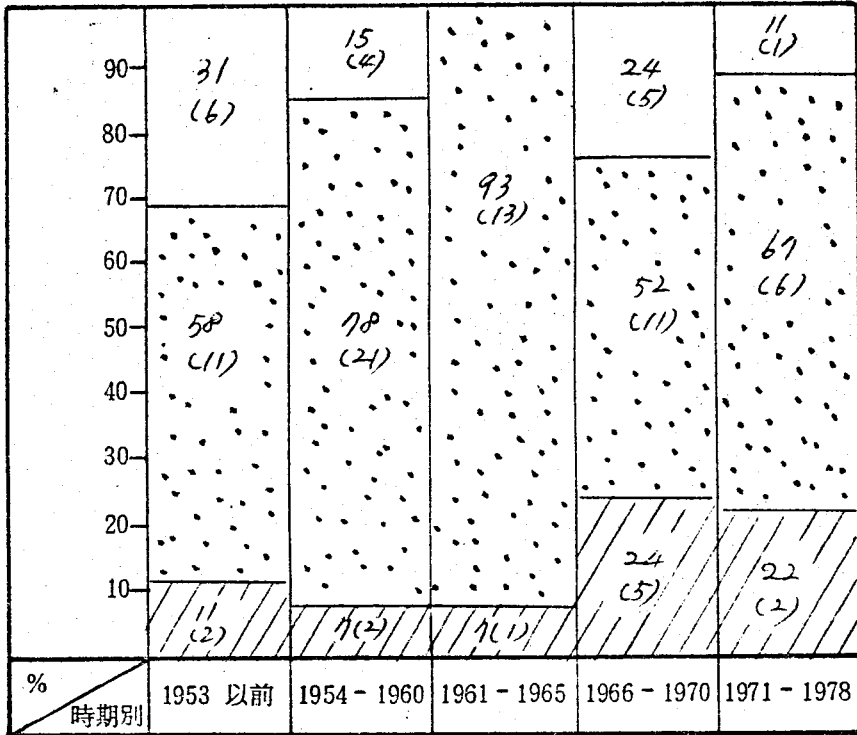
貨幣에 대한 認識




< II-34-가 >



-  財産의 尺度
-  賣買의 交換手段
-  与 応答

<II-34-4>

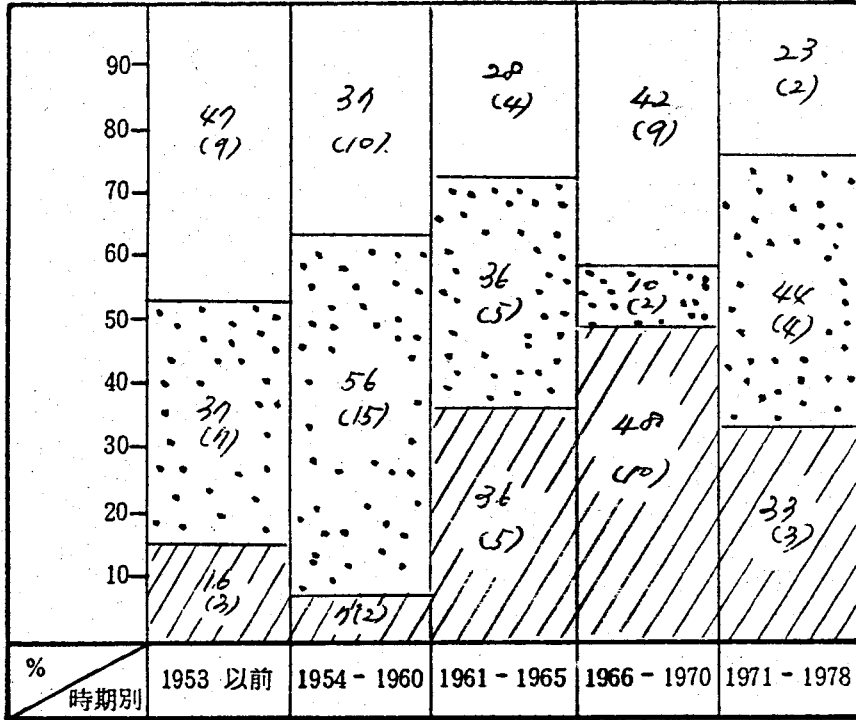


-  財產의尺度
-  賣買及交換手段
-  無回答

註, 貨幣에 對한 財産的 價値는
 66年以後 多少 늘게 나타나고 있음

有價証券通用

< Ⅱ - 35 >

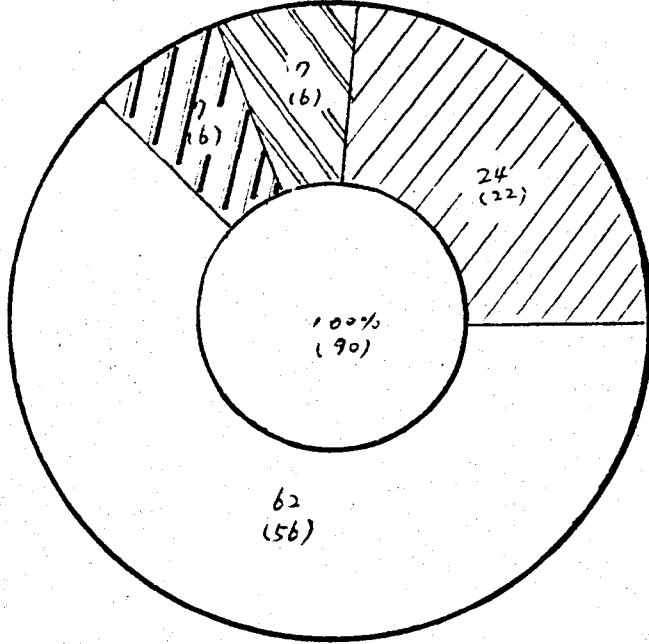





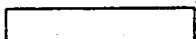
- 있다.
- 있다.
- 유응답

註) 貨幣以外의 有價証券이 全期向에 通用
 存在하고는 있으나 一般民衆의 関心이
 거의 없으므로 未用
 有價証券之 企業所의 企業所向行票
 依票 등으로 通用

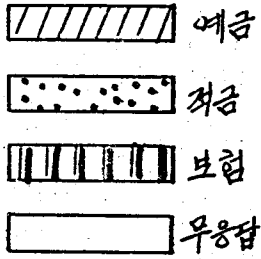
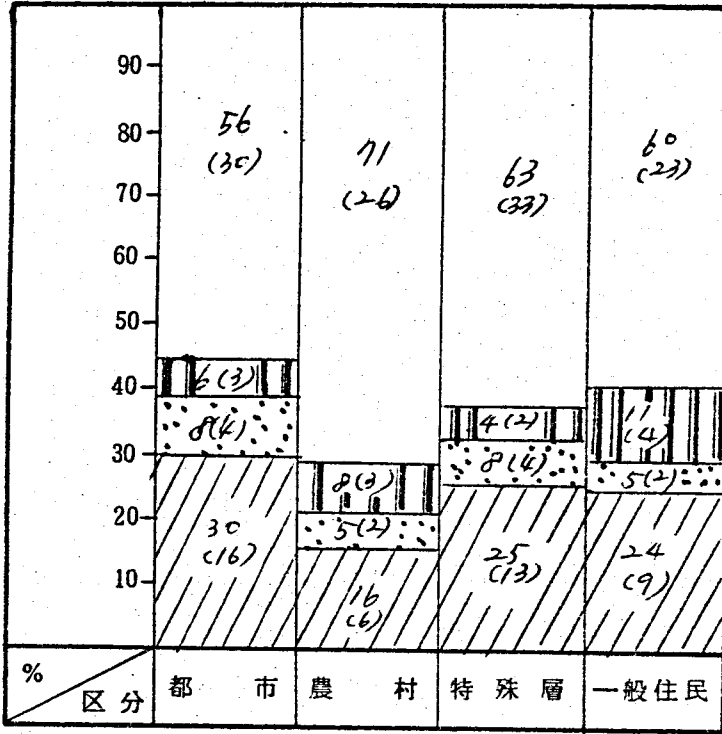
貯蓄の種類

<Ⅱ-36-ア>



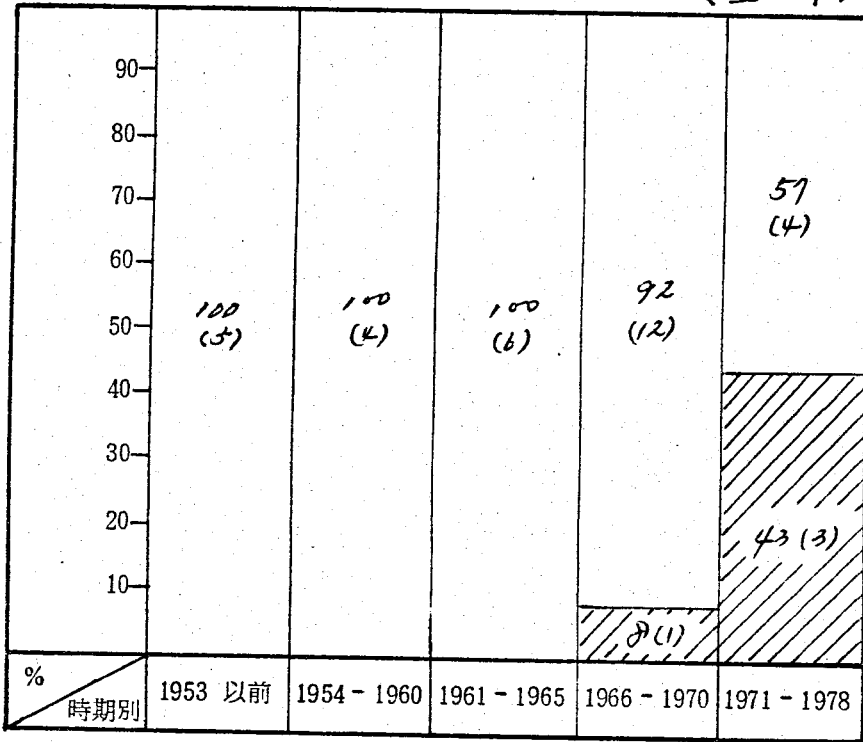
-  預金
-  積立
-  保険
-  無回答

<Ⅱ-36-4>



高額貯蓄에 對한 特惠

〈Ⅱ-37〉

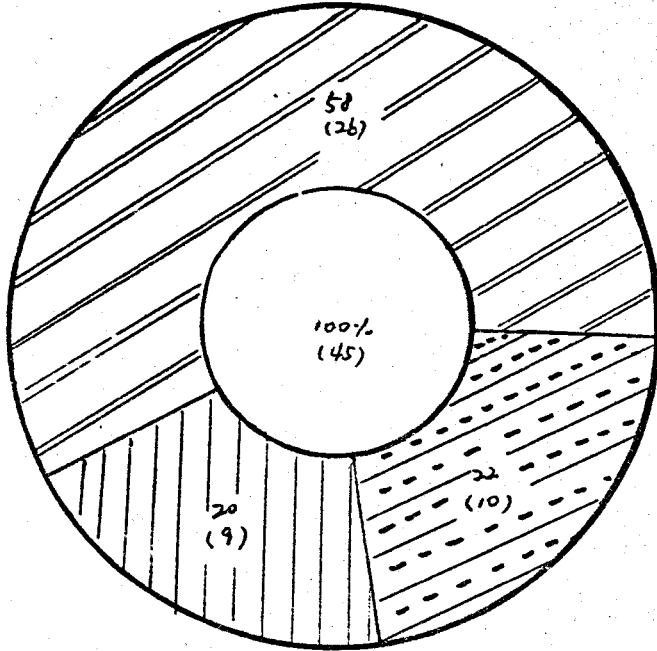


이다
 없다.

註) 貯蓄有經驗者中 65年 以前은 高額貯蓄 特惠가 對한 割合가 對한 高았으나 66年以後 漸次 增大되고 있는 趨勢임.

貯蓄의 自由與否

< II-38 >



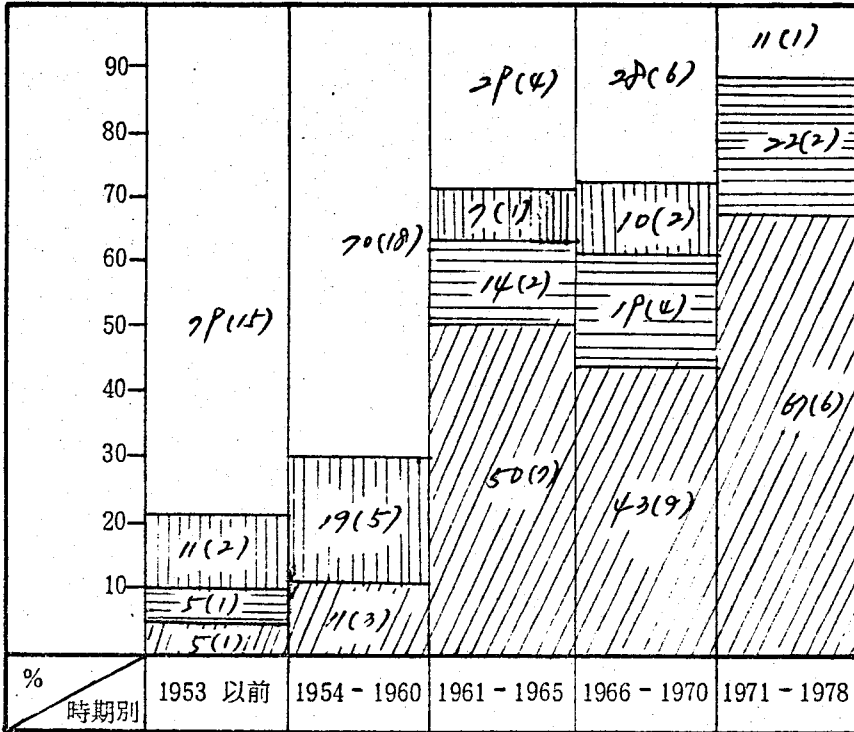
 可能

 一部可能

 不可能

註) 貯蓄에 對한 自由는
 可能한 것으로 보이나 一部
 制限要素가 存在하는 것으로 보인다

< II-38-木 >

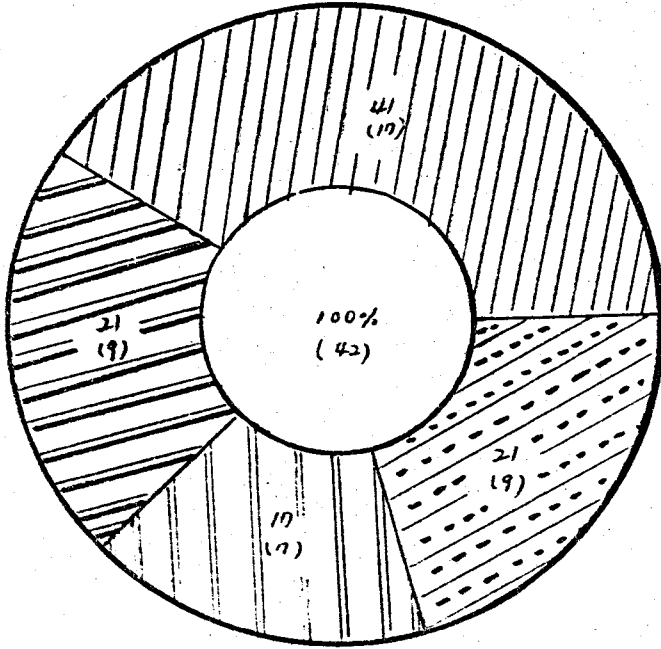





- 可能
- 一部可能
- 不可能
- 無應答

註) 貯蓄の引出自由は一般的に認められ、部分的に制約を加はるゝことにより、近年以後は“不可能”の多きことが注目される。

貯蓄目的

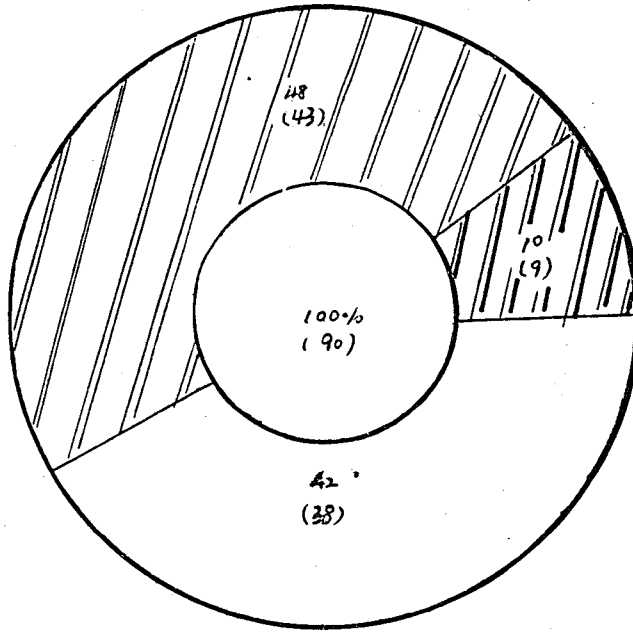
<II-39>






-  物品購入
-  子女結婚費用
-  子女教育費
-  其他

銀行 또는 職場에서의 現金貸付

< Ⅱ-40 >

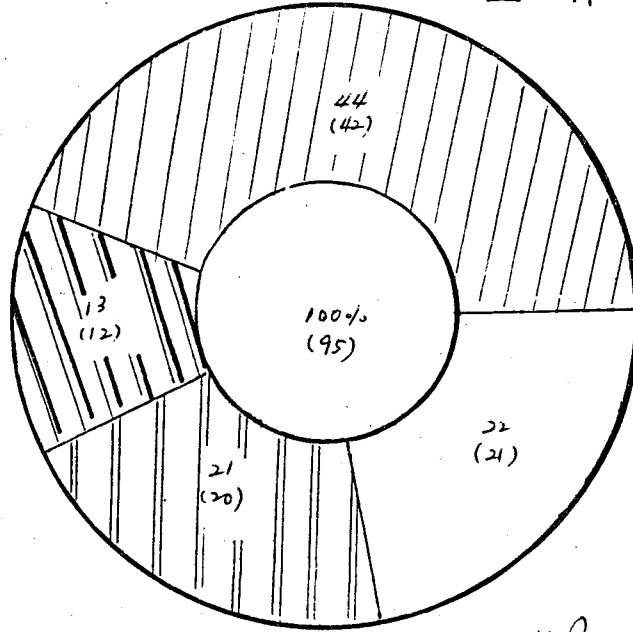


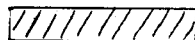


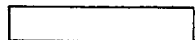
-  貸付
-  貸付
-  無回答

註) 個人에 對한 現金貸付의 樣樣한 境遇 可能性 及 反應 生김

個人間金錢去來

< Ⅱ-41 >



-  있다
-  必要性없다
-  不可能
-  無回答

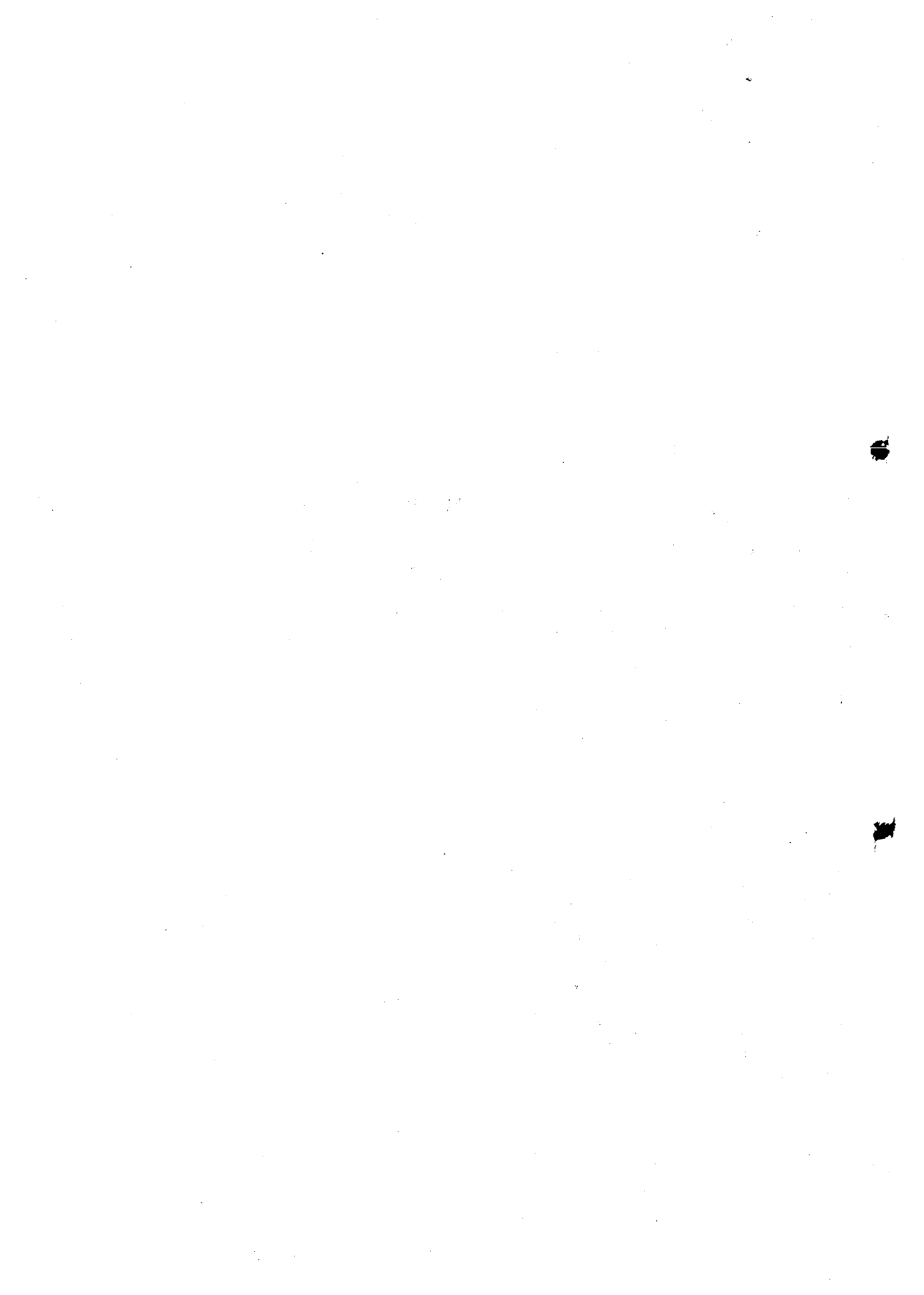
나. 시가 변?

註. 個人間金錢貸與는 있는 것으로
보이나 裁判 또는 無經驗者가
많은 것으로 보임.

나. 財 産

(1) 私 有 財 産

(2) 国 公 有 財 産



나. 財 産

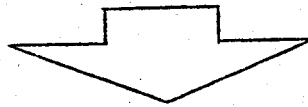
(1) 私有財産

- 私有財産의 範圍가 53년까지는 家屋, 土地, 家蓄등까지 一部 認定되었으나 54年以後 家庭用品, 個人所持品으로 限定되었음.
- 私有財産의 獲得源은 商店에서의 購買, 配給, 暗去來, 相續등이 大部分이며, 一部 贈與 또는 뇌물도 있음.
- 私有財産의 任意處分이 금지되어 있으나, 國家收買所를 통해 可能하며 一部 暗去來로 處分되고 있음.
- 私有權 擴大를 大部分(53%)이 바라고 있으나 相當數(21%)는 現制度가 當然한 것으로 認定하고 있음.

主要私有財産 (重要順位)

< II-42-가 >

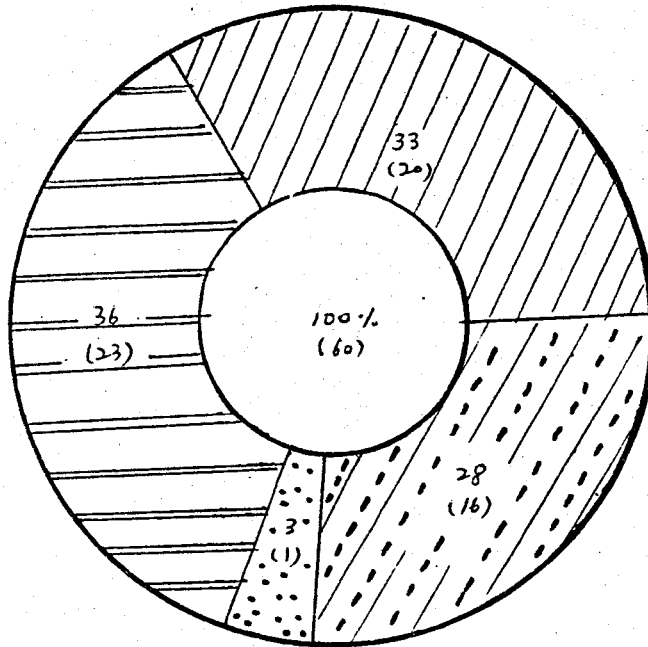
49-53	田畝, 家屋, 家畜, 衣類, 書籍, 취사도구
54-60	衣類, 취사도구, 친구류, 옷장, 書籍, 貴金屬,
61-65	라디오, 時計, 재봉틀, 衣類, 옷장, 취사도구,
66-70	라디오, 時計, 재봉틀, 衣類, 자전거,
71 以後	라디오, 時計, 재봉틀, 전기밥솥, 화장대, 옷장, 자전거







- 53年以後 田畝, 家屋의 私有權 抹消
- 私有財産의 主家: 라디오, 時計, 재봉틀, 家電製品, 家具等
- 自轉車의 私有認定이 特異함.

主要私有財產(獲得源)

< II-42-4 >



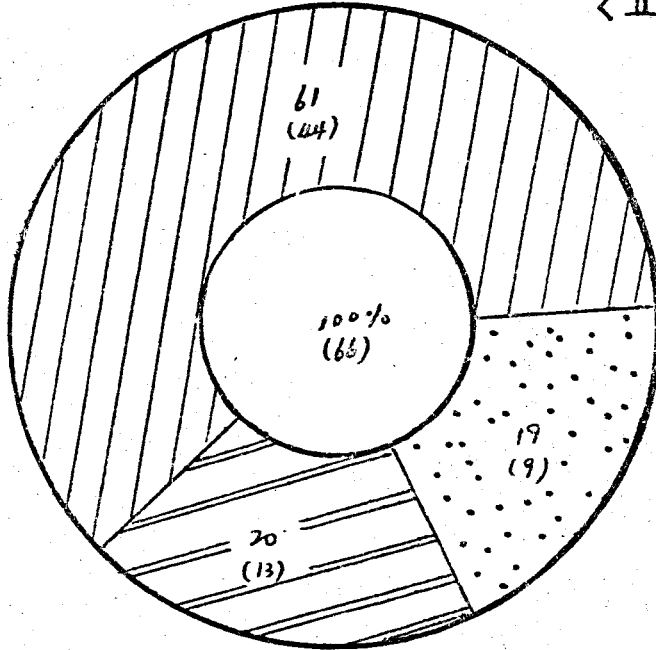
-  繼承
-  購買
-  贈與: 賄物
-  其他: 相統, 交換等




註。主要私有財產獲得源之購買, 繼承, 贈與, 相統, 賄物, 以及 其他 特徵。

※ 無產者 (全產者約 33%) 之主要私有財產之來源, 吳世春 君 著。

私有財產任意處分可能性

< II-42-다 >

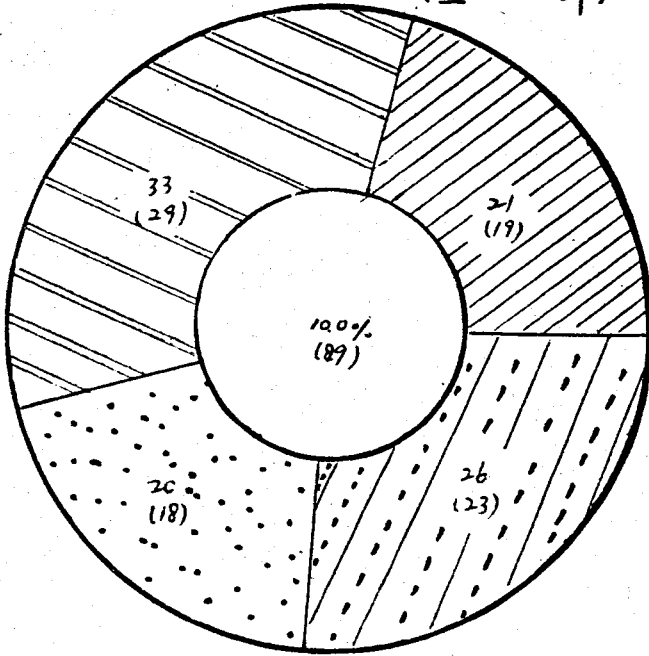


-  可能
-  不可能
-  暗去來

註) 私有財產任意處分之法의 等次 (國家收買殘剩之通告)에 따라 可能也 又 且 一部 暗去來 亦 別 器 示 示 發

私有財産에 대한 輿論

< II - 42 - 斗 >



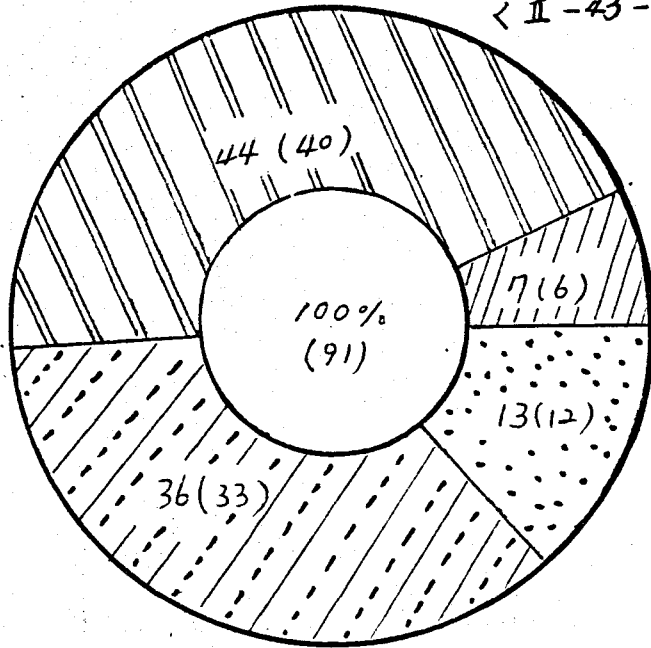
- 所有制度当然 証, 私有权을 一部나 認定해 쿠기를
- 私有財産一部承認. 바라는 層과 私有权 不認定을
- 私有財産全部承認 当然한 것으로 認識하는 層은
- 無 應 答 各各 53% 對 21% 로 私有权 制限에 對한 動搖와 不滿 露程

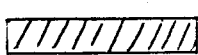
(2) 國公有財産

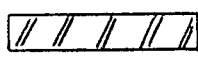
- 北韓住民의 國公有財産에 대한 關心度는 '疎忽하다' (44%)
'關心이 없다' (36%)는 者가 大部分을 차지하여, 自己財産으로
認定하는 層은 극소수 (7%)에 불과한 것으로 나타남.
- 國公有 財産에 대한 疎忽 및 無關心이 一般住民보다
特殊階層에서 強하게 나타나고 있음.

國公有財產對其關心度

< II-43-才 >



 自己財產同一視

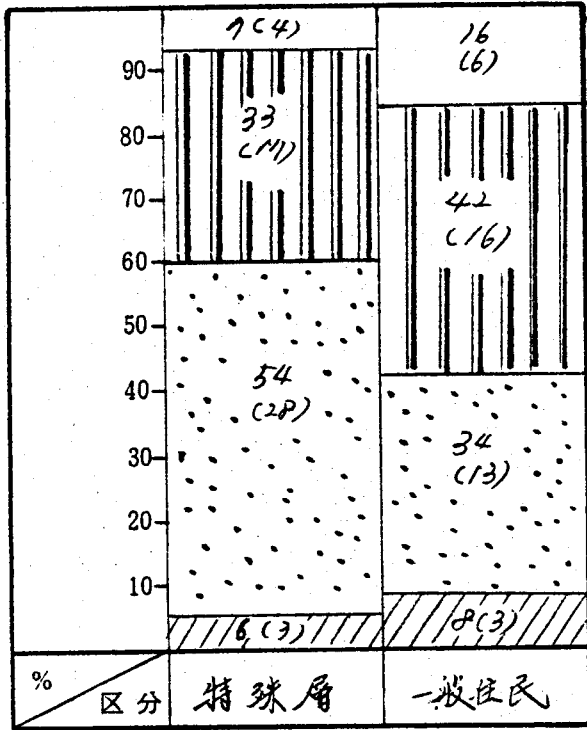
 疏忽對其不

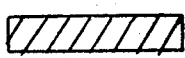
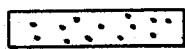

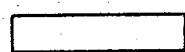
 無關心

 無回答

茲國公有財產對其關心者極少數
 (7%)者除外其疏忽無關心
 又無回答者占12%

< II-43-2 >



-  自己财产同一视
-  疏忽为对财产
-  所有财产概念
-  无知

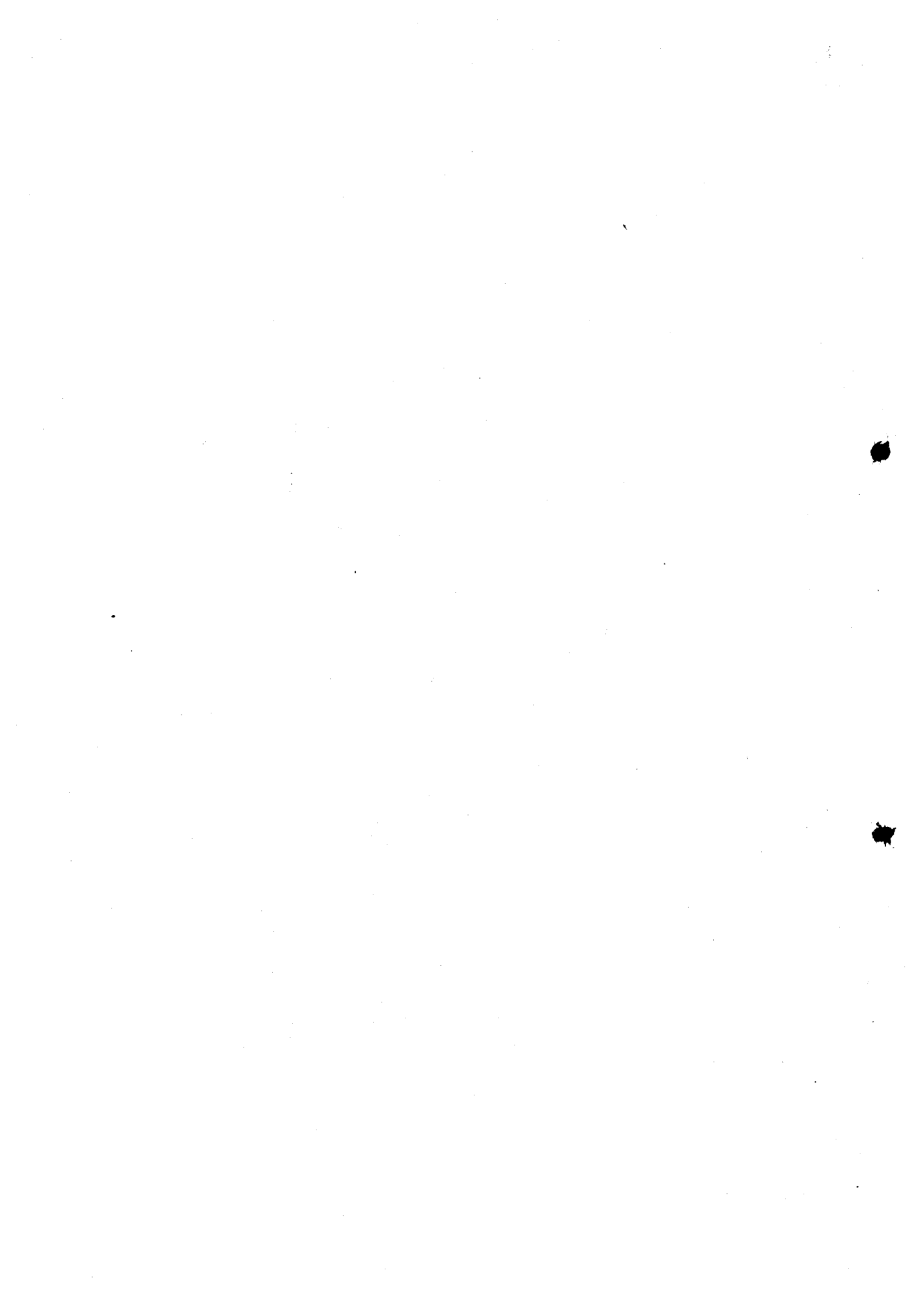
다. 生 産 活 動

(1) 生産計劃 및 遂行

(2) 獨立採算制

(3) 人 力 管 理

(4) 便 宜 施 設



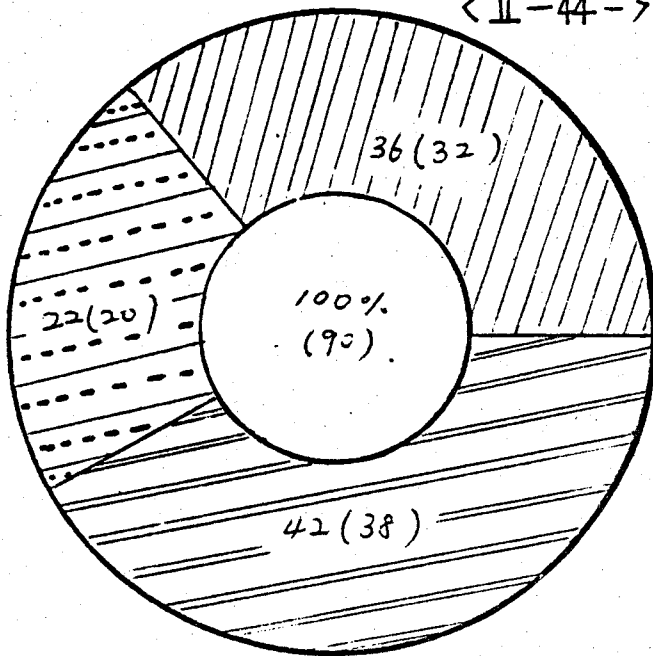
다. 生産活動

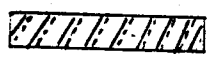
(1) 生産計劃 및 遂行


- 모든 生産計劃 및 目標量은 上級機關에서 下達(36%)되고 있으나 各企業所의 意見이 一部 反映(22%)되고 있는 것으로 나타남
- 工場運營 및 決算分配에 대한 從業員의 直接 参与는 없다(20%), 無回答(61%)인 것으로 보아 거의 없는 것으로 나타남.
- 計劃目標 未達時 大部分(48%)이 課外勞動으로 充當하는 것으로 나타나고 一部 他分野 勞動者의 支援으로 解決하는 경우도 있음.
- 技術者 養成은 大部分 自体教育에 依하여 一部 他機關 移隣教育이 併行되고 있음.
- 生産裝備 獲得은 大部分(26%) 必要時 上級機關에 要請하나 上級機關에서 定期的으로 供給하는 境遇도 相當한 比率(17%)로 나타남.

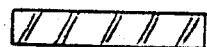
生產計劃樹立

<II-44-7>

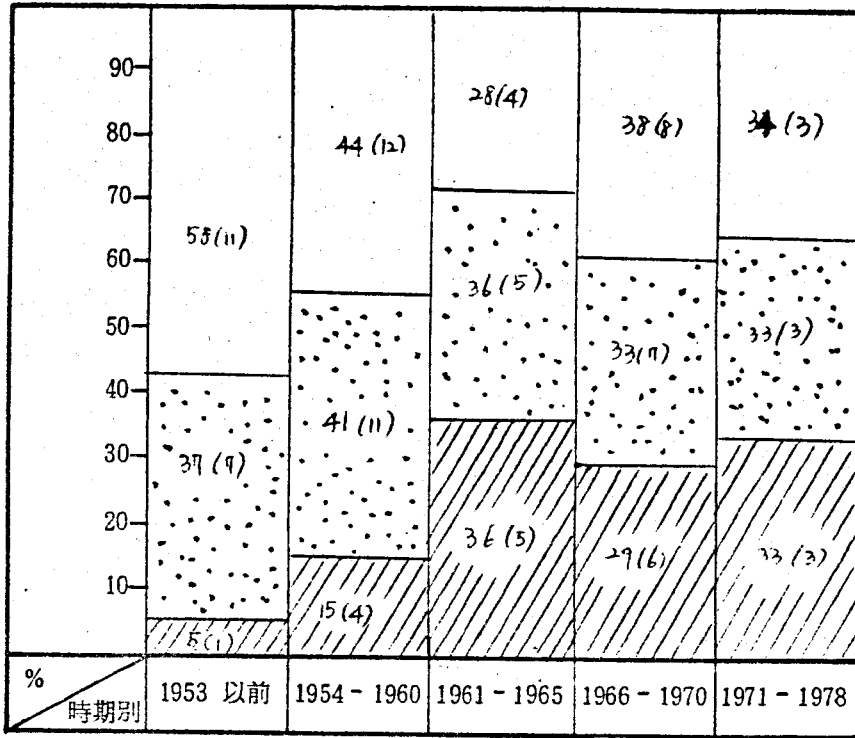


 該當企業所意見反映

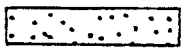
 上級機關指示

 無回答

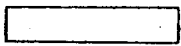
< II-42-4 >



该企业在某所意见反映



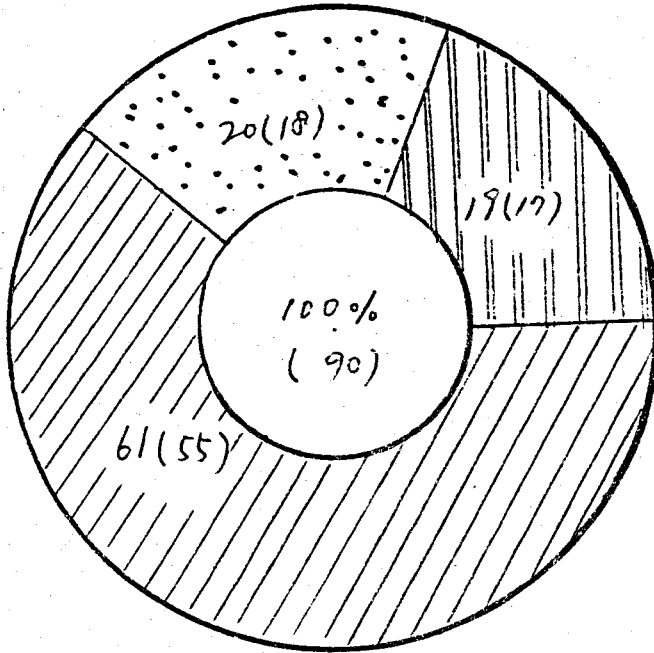
上级机关指示

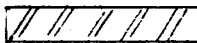
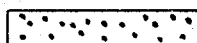
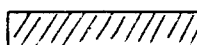


无内容

工場運営에 對한 従業員의 參與

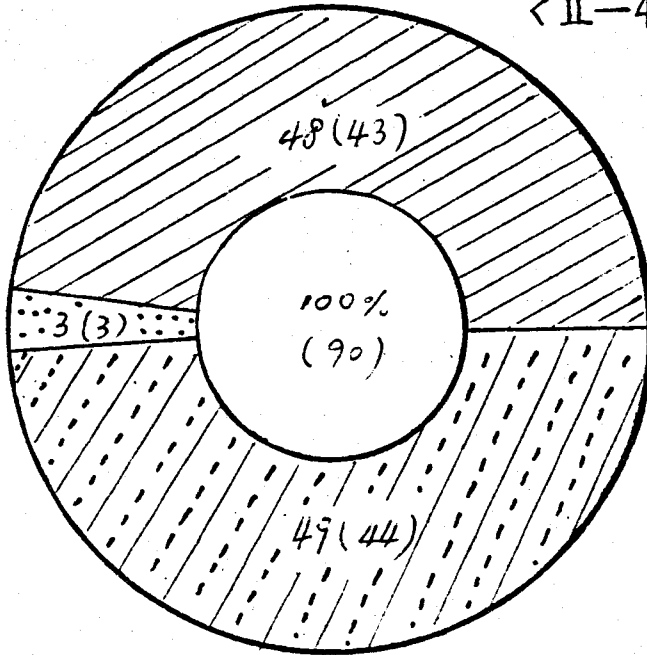
<II-45>

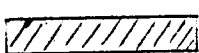

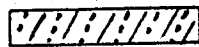


-  있 다
-  없 다
-  무응답

計劃目標未達成 指量

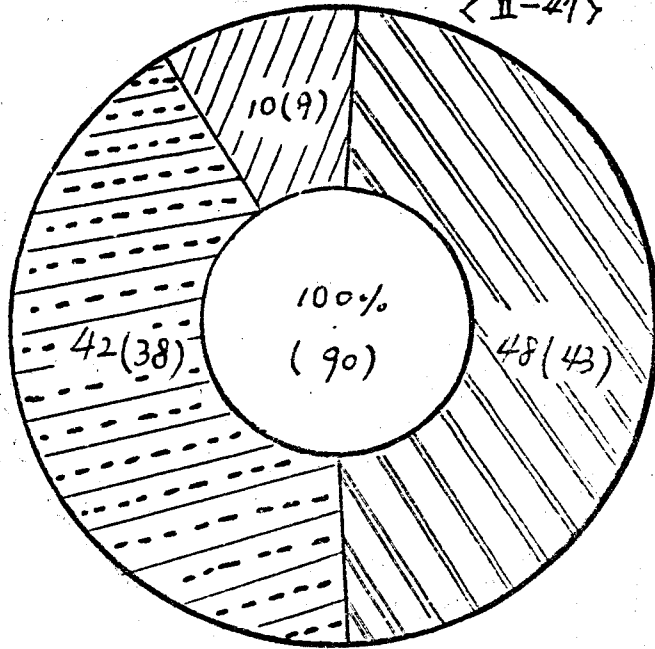
< II-46 >






-  課外労働
-  他分野労働者支援
-  無回答

技術者養成

< II-47 >

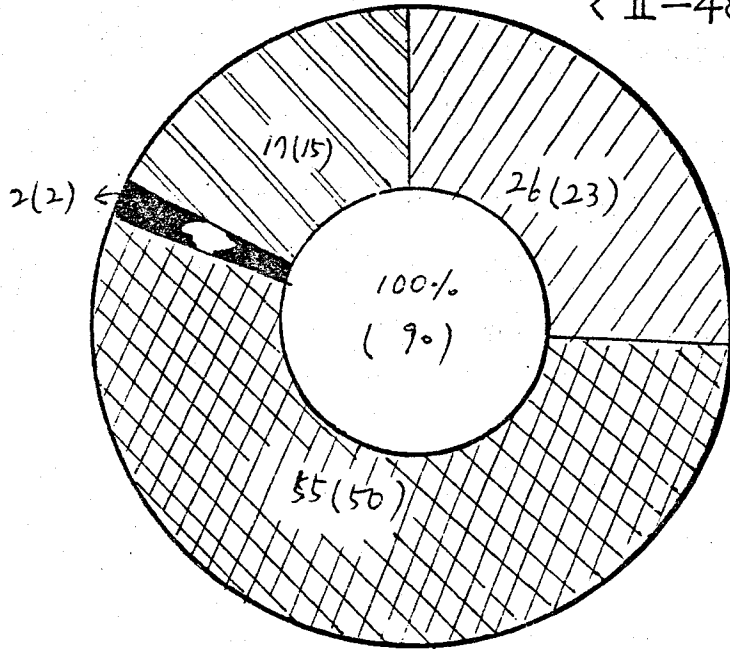



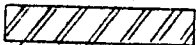


-  技術教育
-  自修教育
-  移轉教育

技・技術向上を目的として教育機関や
 活用し、大部分は自修教育に
 依ることは、
 〇無回答者の大部分は技術教育
 を必要としないものと見られる

生產裝備之供給

< II-48 >



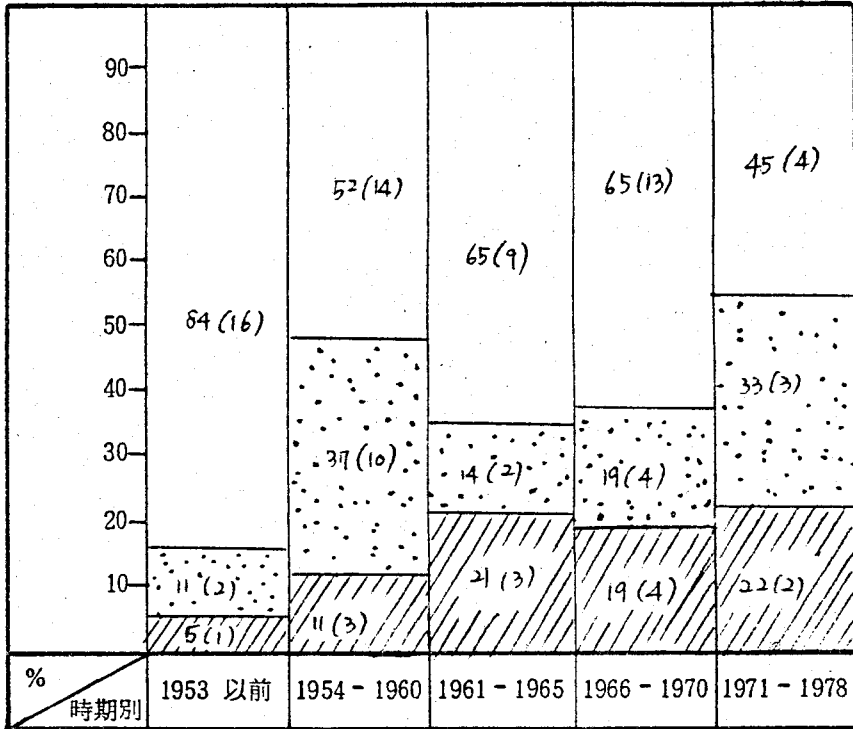
-  必要時上級機關에 要請
-  上級機關에서 定期的인 供給
-  其他
-  無余裕


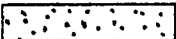
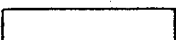
(2) 獨立採算制

- 工場自体 採算編成에 依한 事業은 一部 있는것으로 나타나나 大部分 없는 것으로 보임.
- 工場企業所內 副産物 職場 (工場自体 計劃에 依한 運營) 企業所 規模에 따라 있는 것으로 나타남.
- 副産物 職場은 繼續 增加하고 있음

工場自体予算に 依る 事業

< II - 49 >



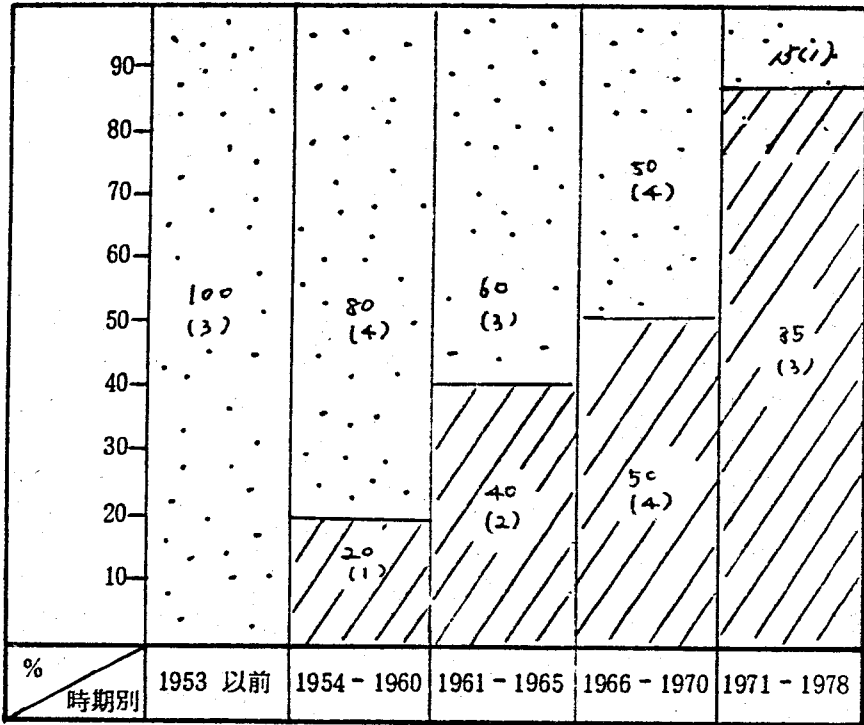
-  外注
-  兼務
-  専任

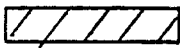
注。工場自体予算に 依る 事業は
小規模な 専任 及び 60年以後
増加見 外注 増加

※ 自体予算に 依る 事業は 企業所
附設 副産物 職場に 限る

副産物職場運営

< II-50 >



 있다

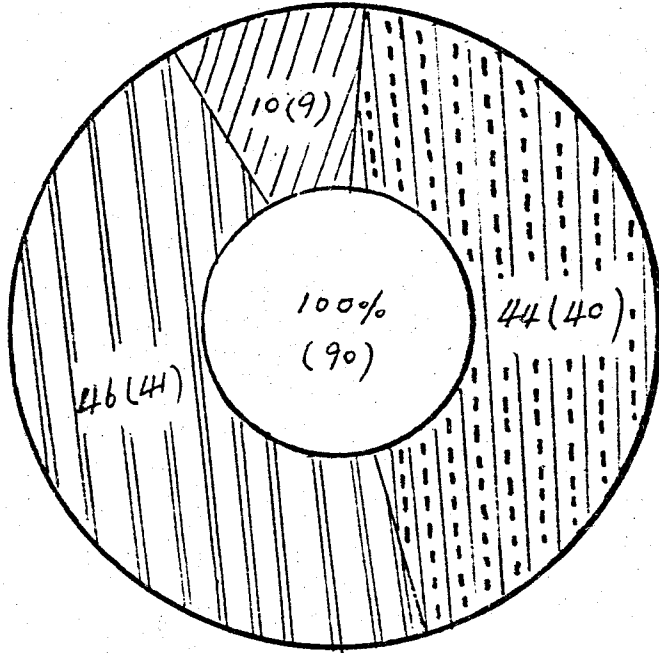
 없다

(3) 人力管理

- 職場配置(職業選択)는 大部分(46%)이 上部指示에 의하고 있으나 一部(10%) 本人의 意思가 반영되는 것으로 보임.
- 職場에 대한 公開競争募集이 一部存在하며 60年以後 增大되고 있는 경향임.
- 職業 및 職場이 個人適性에 不適合할 時, 職場變更이 原則적으로 不可能하나 一部 本人의 意思가 反映되고 있는 것으로 보이며 70年代以後 점차 增大되고 있음.
- 勞動報酬 決定要因의 優先順位는 職責, 勞動力, 勤務期間, 党性 順임.
- 物的 報償制度는 一部 存在하는 것으로 보임.
- 不誠實 勞動者에 대한 措置는 減俸, 配給減縮등 物質的 措置가 大部分이나 기타 批判등 精神的制裁도 併行되고 있음.

職業選拔

< II-51-才 >



////// 本人希望

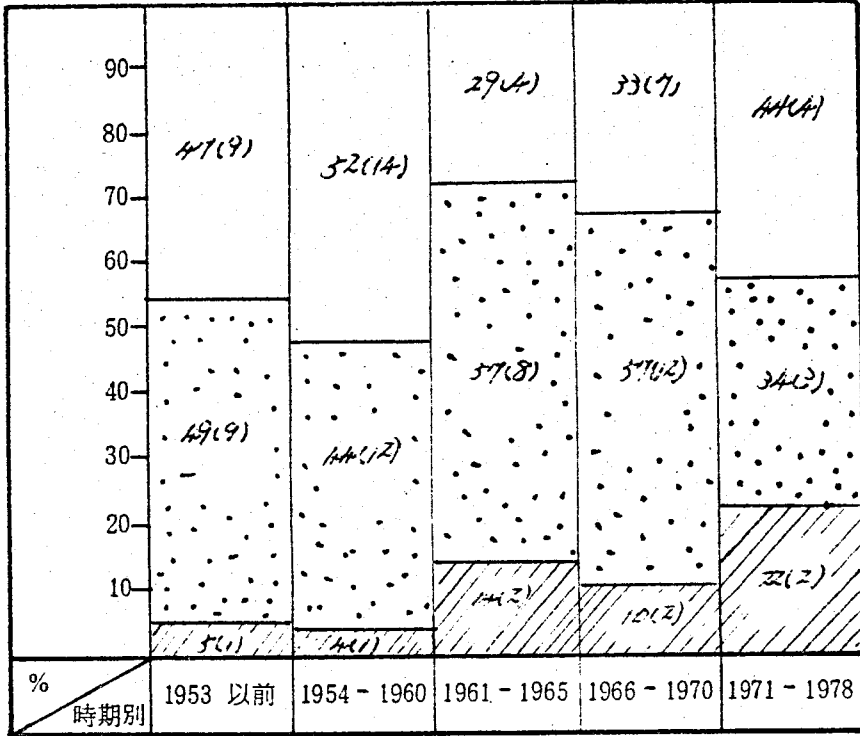
//// 上部指示


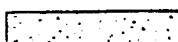
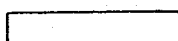
//// 無応答

註) 職業選抜に對して一部特殊人員
(10%)の個人意思反映が及ぶ
大部分は上部指示に無関心な
中である

公用採用

< Ⅱ-51-4 >

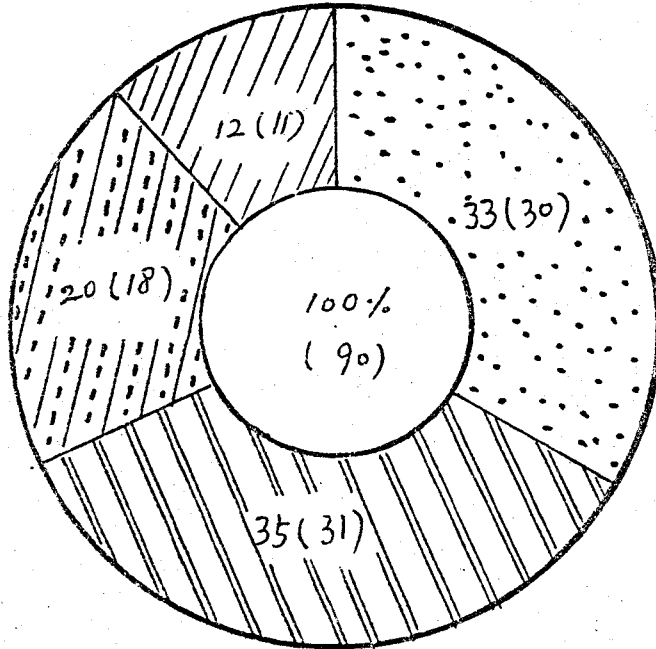





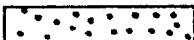
-  있다
-  있다
-  있지않다

註: 職場公用採用은 全期間을 通해 施行되고 있으나 極히 一部分이며 60年以後 약간 增加되는 추세임

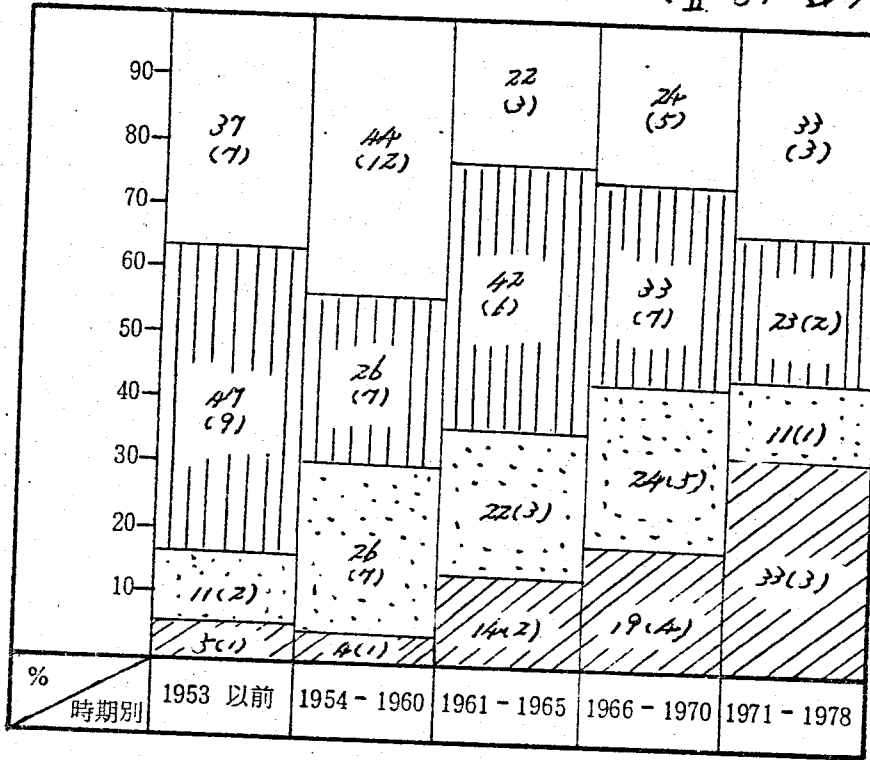
職場 不適合時 措置

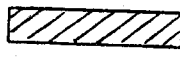
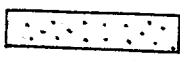
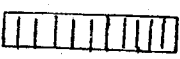
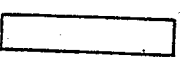
< II - 51 - 4 >



-  본연의수반영원상부자서
-  전직인상부자서
-  직장변경불가
-  무응답

< Ⅱ-51-24 >



-  本人意思 反映到 上部指示
-  全体的に 上部指示
-  配置到 職場變更不可
-  其他

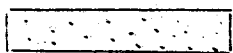
(註) 時期別로 보면 本人意思 反映 比率이 높아지고 上部的 一方的 指示 比率이 낮아지는 趨勢를 보인

< Ⅱ - 51 - 24 >

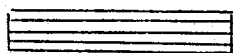
90		14(1)				9(1)		
80	36(4)		35(8)	33(5)		23(2)		
70							30(6)	
60	10(1)					33(3)	55(6)	
50	58(4)	22(5)					
40	18(2)			33(5)			8(1)	
30	////							
20		14(1)	39(9)	27(6)	33(3)	18(2)	34(4)	
10	36(4)							
		14(1)				18(2)		
			4(1)	7(1)	11(1)		8(1)	
%	직업	광업소위	사무원	군인	농어민	기술자	과학문화인	주성



本人意思 反映된 上部指示



全沙의 上部指示



配置된 職場變更不可



無心态

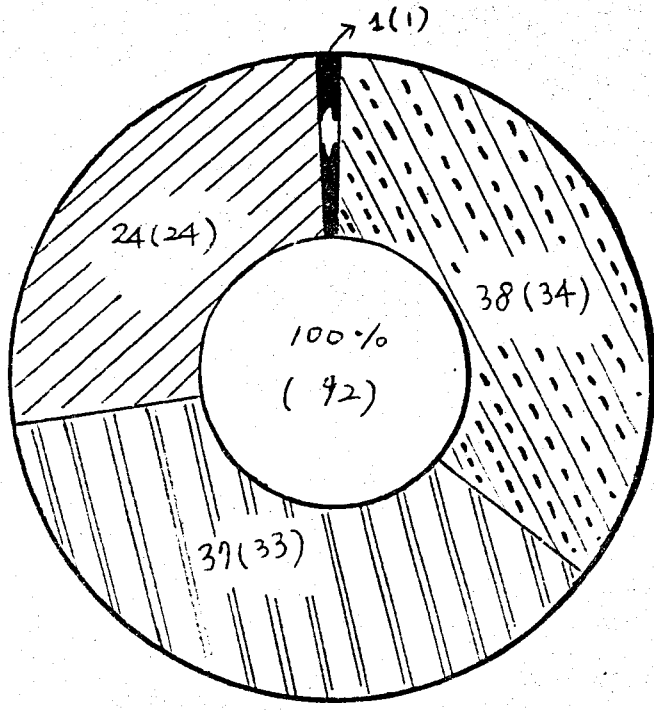
註: 本人意思를 反映하는 順位는 黨政要員·教員·文芸人·事務員으로 나타남.


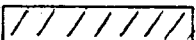
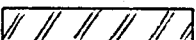
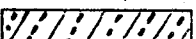
上部指示에 의한 순위는 軍人

學生 技術者·農漁民으로 나타남

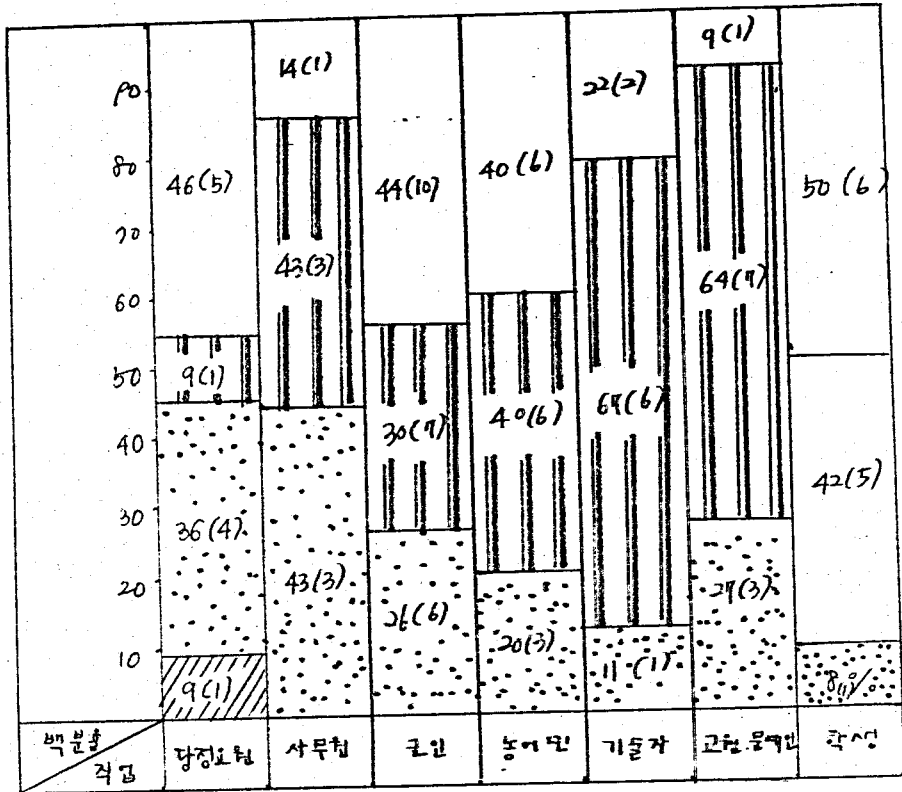
轉職에 對한 本人意思反映

< II-51-바 >



-  본인 의사대로
-  본인 의사 일부만영
-  본인 의사 무시
-  무응답

< II-51-사 >



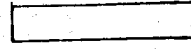
本人意思대로



本人意思一部反映



本人意思無視

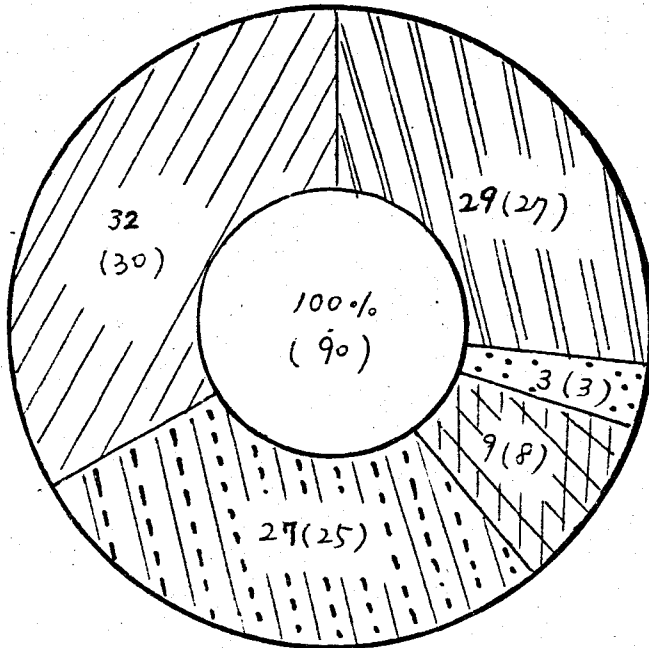


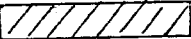
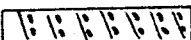

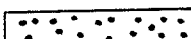
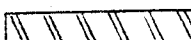
無回答

註) 本人意思의 一部反映이 높은 職位之 党政要員, 事務員이 技術者, 農漁民은 相當 낮은 것으로 나타났다.

報酬決定

< II-52 >

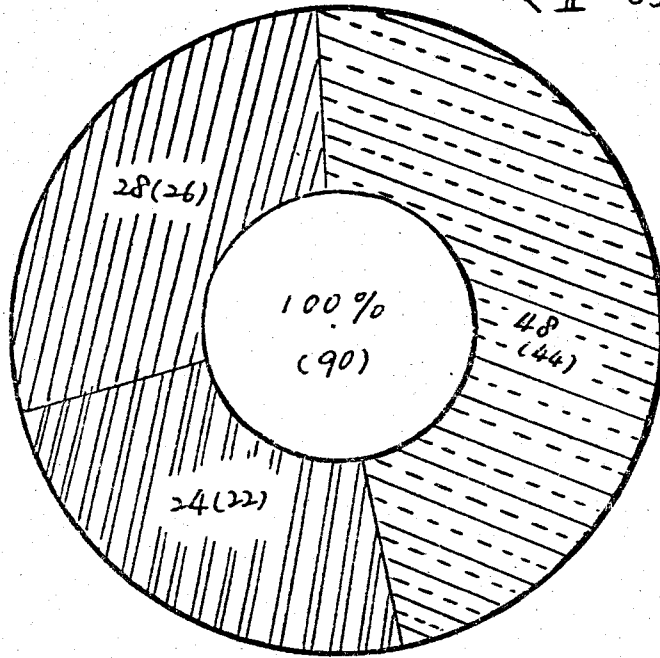




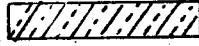
-  직책에 따른.
-  노동력에 따른
-  勤務期間에 의한
-  虎性에 의한
-  無應答

註, 報酬決定要因은 職責과 労働力에
 의존 左右되며 虎性에 의한 影響力은
 極히 적은것으로 보임.

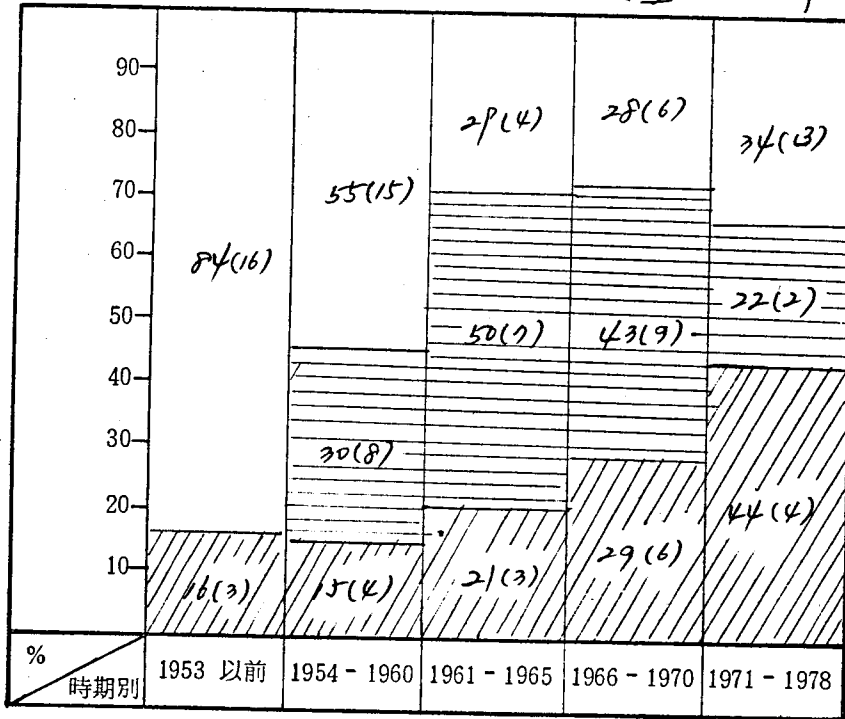
物的誘因制度


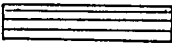
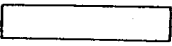
< II - 53 - 가 >



-  銀斗
-  銀斗
-  無回答

< II-53-4 >



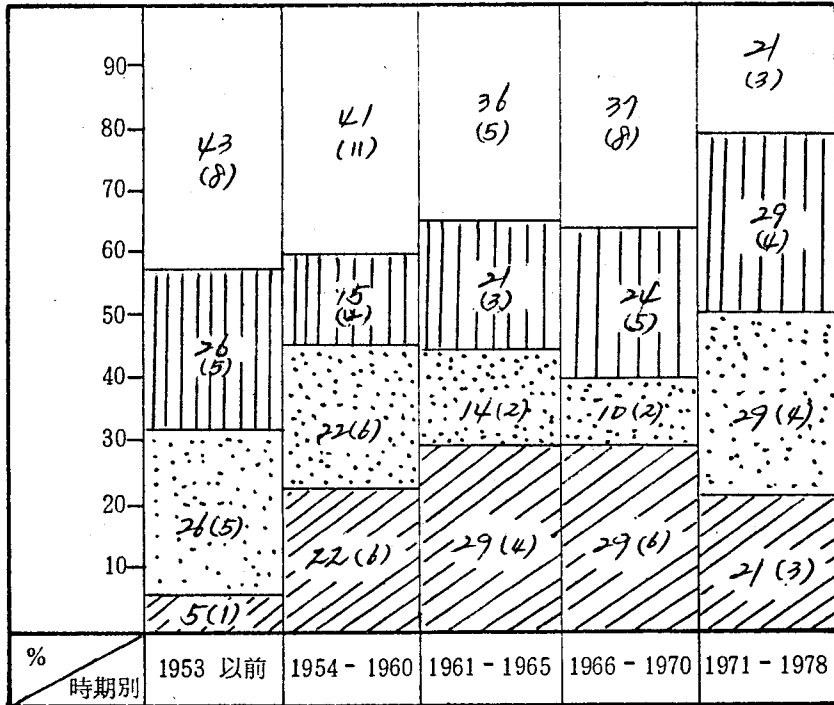
-  있다
-  없다
-  無應答

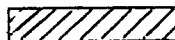
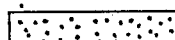

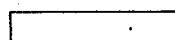
註) 物的 誘因制度는 休戰後부터 存在하기 始作

'60年代 以後 漸増하는 趨勢임.

不誠實勞動者에 對한 經濟的制裁

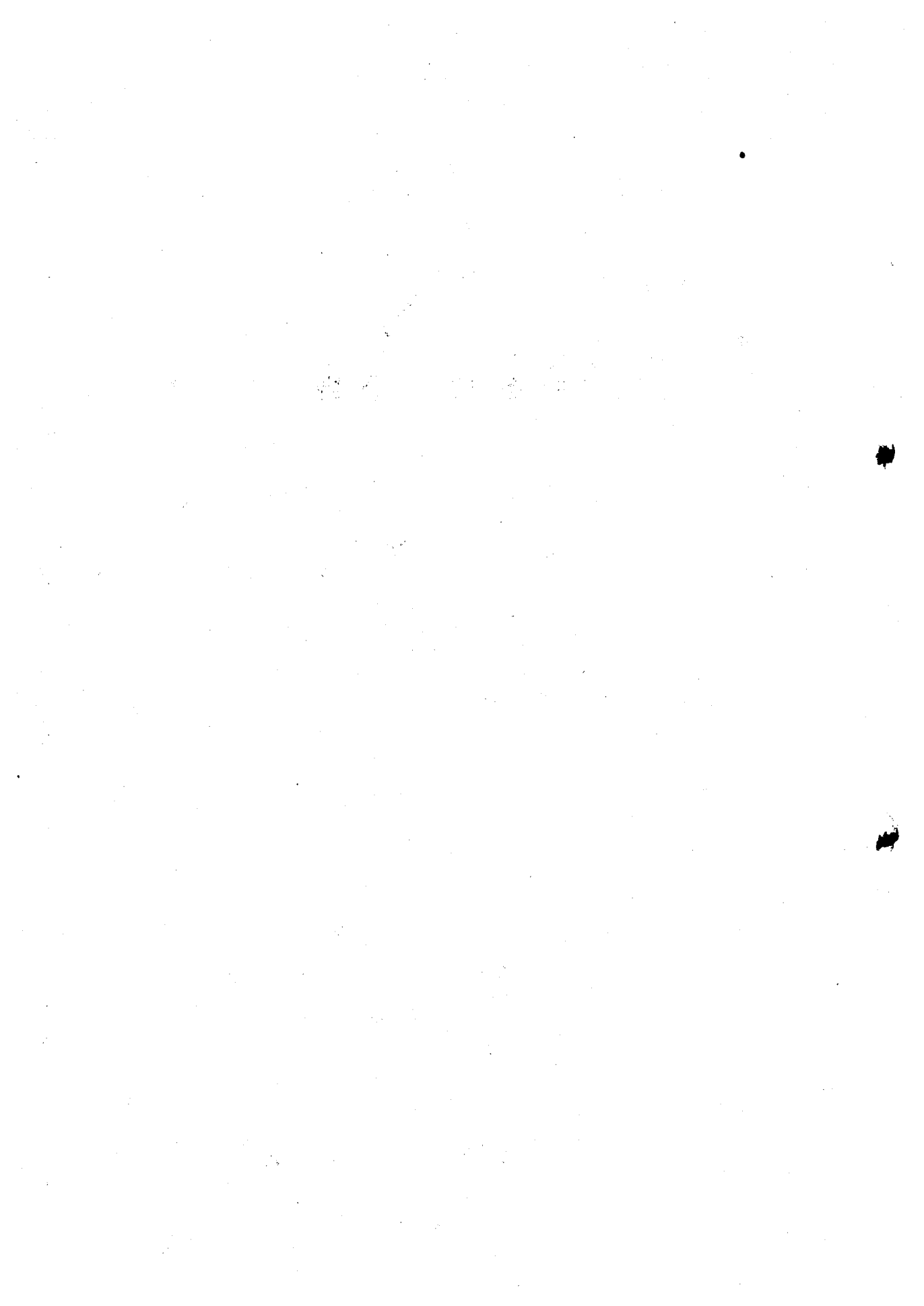
< II-54 >



-  減 俸
-  配給減量
-  其 他
-  無 應 答

註, 全期間을 通對 不誠實 勞動者에 對한 經濟的 制裁措置는 減俸(減分, 配給減量)이 가장 많음.

3. 社会文化分野

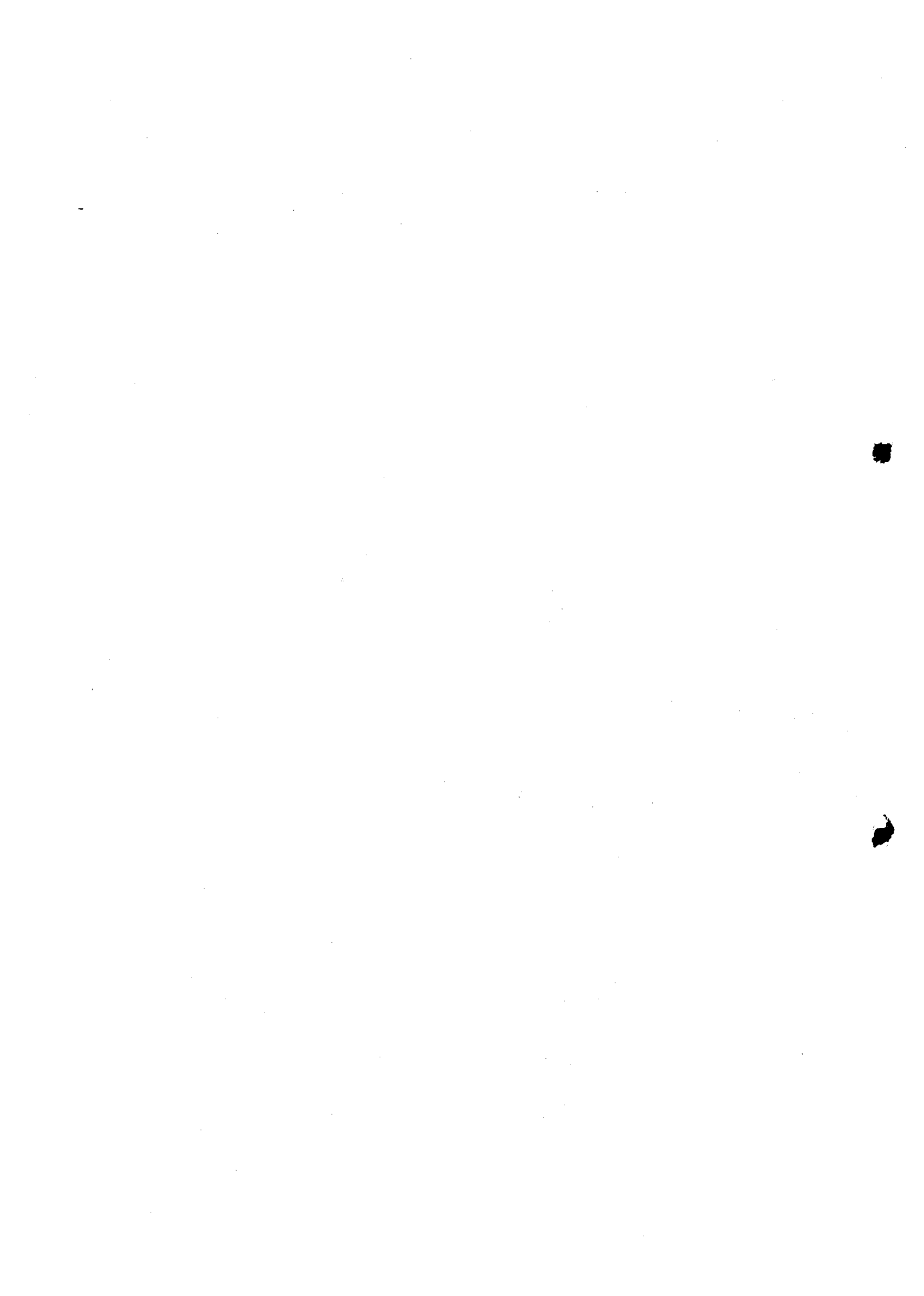


가. 家 庭 生 活

(1) 家長의 位置

(2) 結婚과 離婚

(3) 葬, 祭禮



가 . 家庭生活

(1) 家長의 位置

1) 家庭의 意思決定 要因

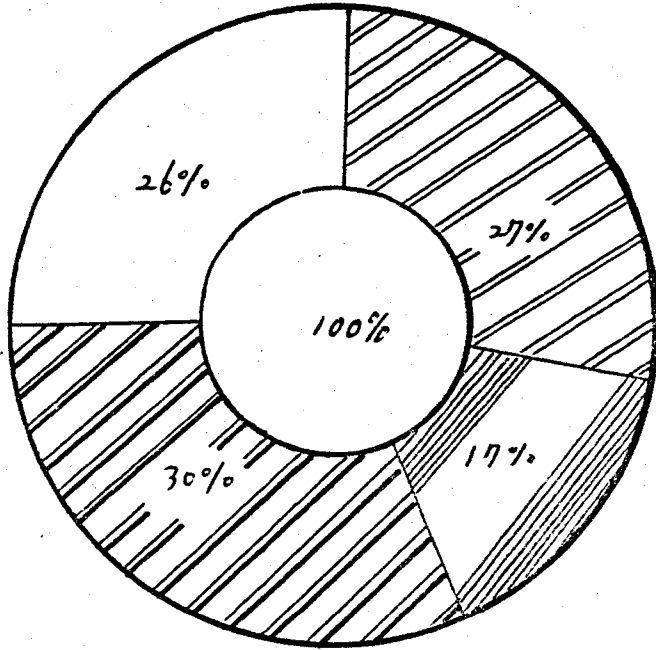
- 家庭의 意思決定 過程에서 重要하게 作用하는 要素는 社会的 地位, 年齡, 政治的 成分등이 複合的으로 作用
- 經濟力의 影響力이 가장 적은 것 (17 %) 이 特色임.


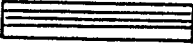

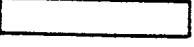
2) 老後의 居處

- 老後에는 아들 家庭이나 딸의 집에서 살고 있음

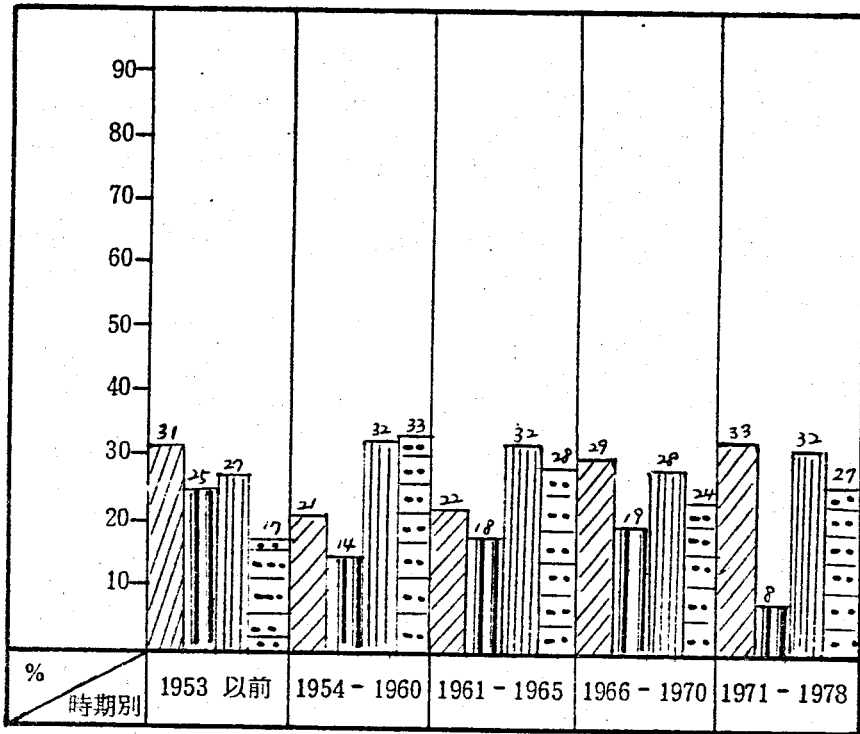
教育意思決定要因

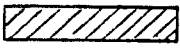

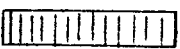
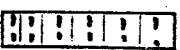
< Ⅲ-1-才 >



- | | | |
|---|-------|-----------------|
|  | 年齢 | 家庭内意思決定過程から |
|  | 経済力 | 社会的地位、年齢、成分、経済力 |
|  | 社会的地位 | 等の要素が複合的に作用 |
|  | 成分 | し、経済力の影響が大きい |

< Ⅲ - 1 - 4 >

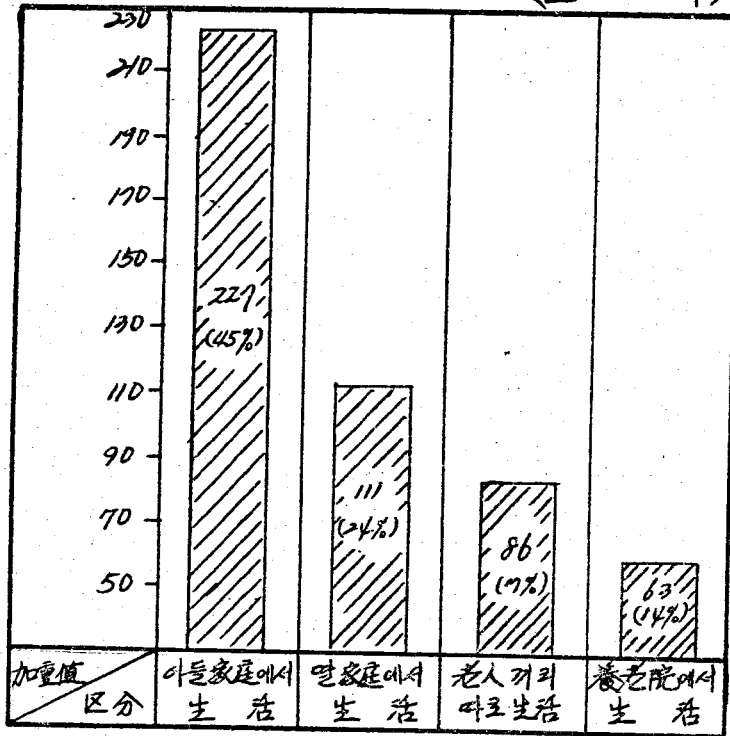


-  命令
-  经济力
-  社会的地位
-  成分

註) 社会主义的改革에 따라 象征의
 意味에서 经济的要因의 影响力
 이 显著히 減少된 趋势인

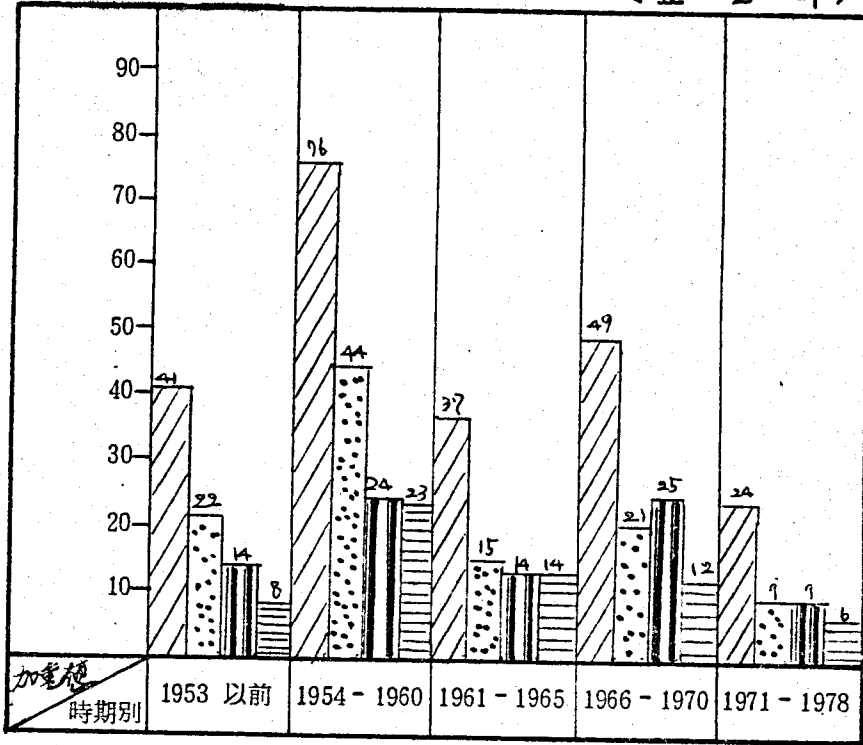
老後의 居處




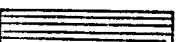
<Ⅱ-2-7>



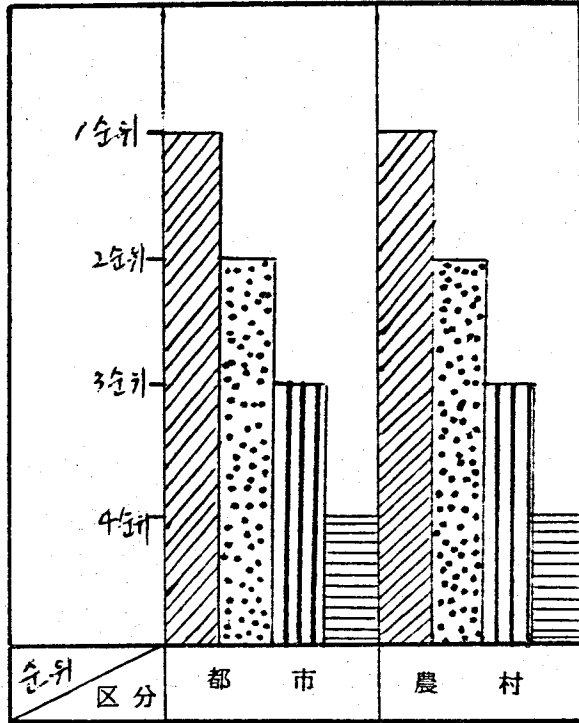
註) () 안은 加重値에 대한 百分率임

< Ⅲ - 2 - 4 >



-  아들의 家庭에서 함께 살아.
-  딸의 " " "
-  老人끼리 따로 살아.
-  養老院에 간다.

< Ⅱ-2-4 >



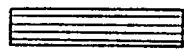
아들 家庭에서 함께 산다



딸의 家庭에서 함께 산다



老人끼리 따로 산다



養老院에 산다

(2) 結婚과 離婚

1) 結婚 年齡

- 結婚年齡은 男女 共히 全般的으로 높아지고 있는데 男子의 境遇, 53年以前의 結婚年齡은 28才 以後가 少数(10.6%)에 불과했던 것이 70年代에 들어서는 대다수(89%)를 占하고 있음.

2) 配偶者 選擇基準 및 方法

- 男女 共히 出身 成分을 가장 重視하고 있으며 사랑이 라던가 外貌는 별로 重要視 않고 있음.
- 選擇方法은 大部分 仲媒·戀愛 併行式結婚이나 60年代부터 仲媒結婚의 比重이 높아지고 있으며 특히 都市에서는 戀愛結婚의 事例도 그대로 存続되고 있음.

3) 結婚式 規模

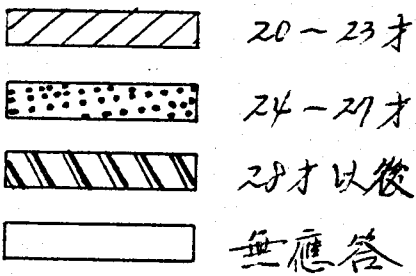
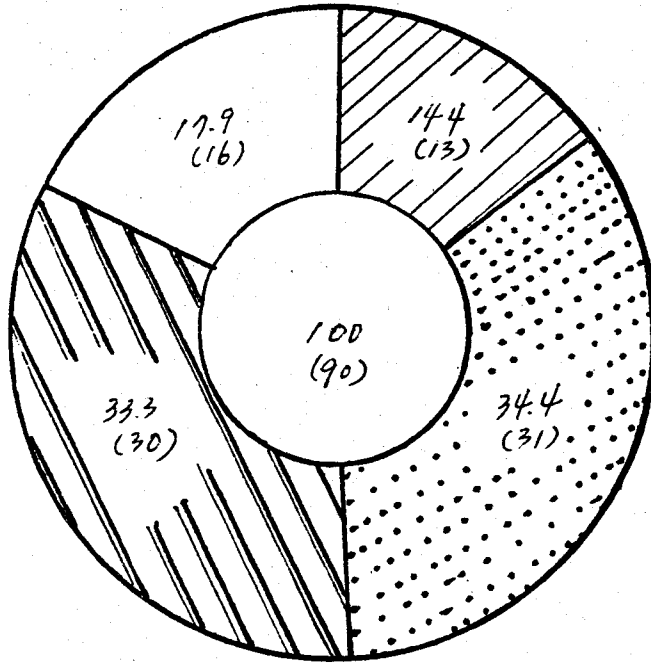
- 結婚式 參席人員으로보아 53年以前에는 50-100名 規模가 가장 높고(62.9%) 10-15名의 小規模 結婚式은 없었음.
- 54年 부터는 參席人員의 制限으로 30-40名, 10-15名 程度의 親知들만 參席하는 傾向임.

4) 離 婚

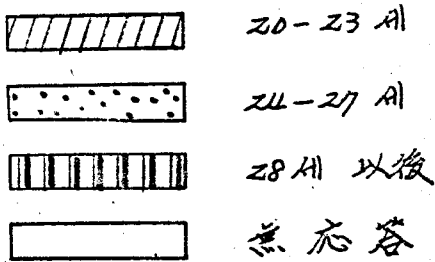
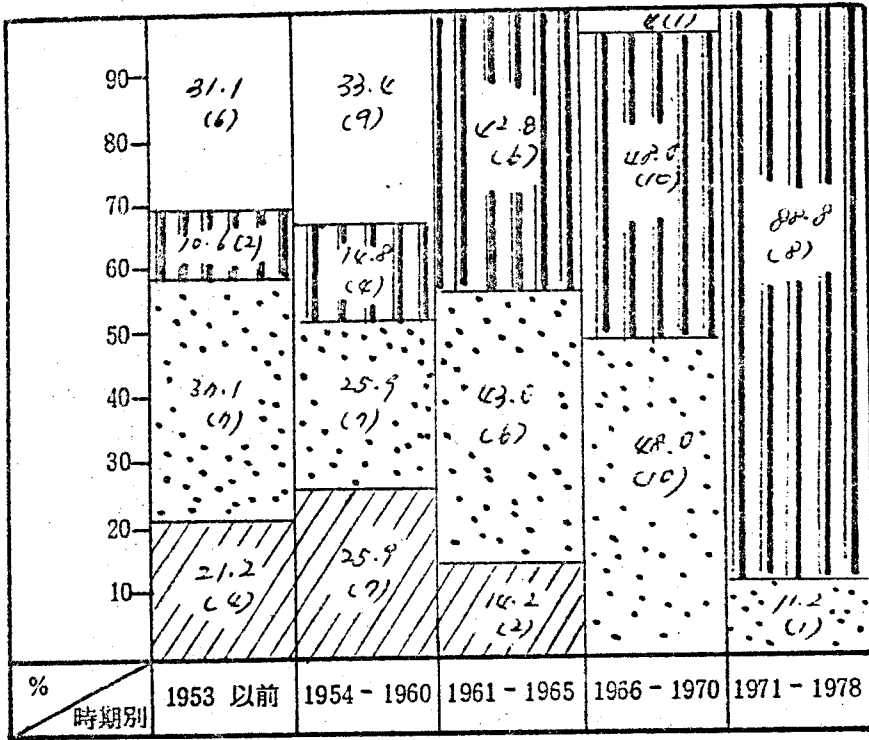
- 離婚은 “못하도록 規制” (56.7 %) 되고 있으며 만약 離婚할 경우 正式裁判을 거쳐야 하기 때문에 相當히 어려운 것으로 보임.
- 離婚事由로서는 黨의 制裁 (41.0 %), 不貞關係 (20 %) 가 大部分임.

男子의 結婚年齡

<Ⅲ-3-가>

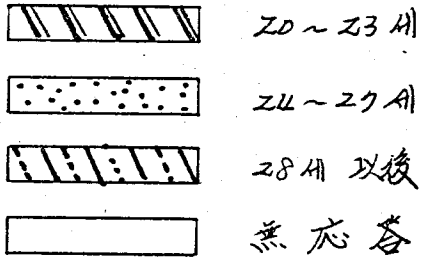
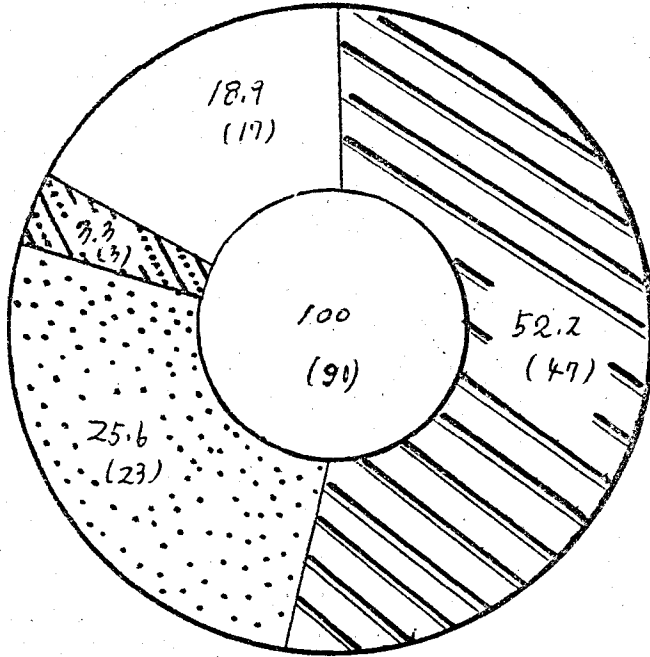


< II-3-4 >

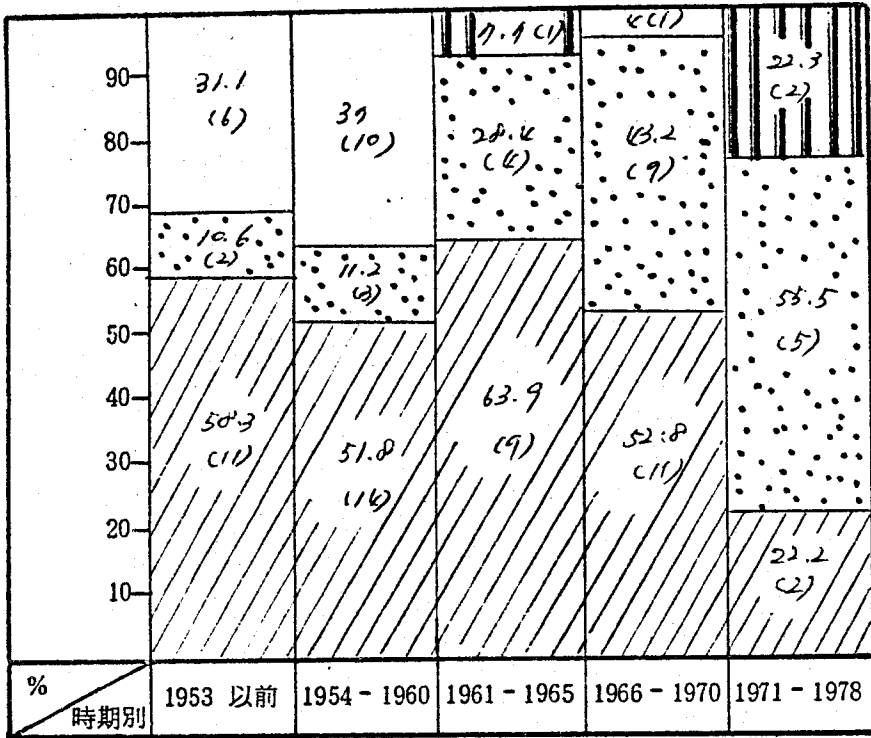



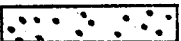

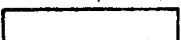
女子の結婚年齢

< Ⅲ-4-7 >



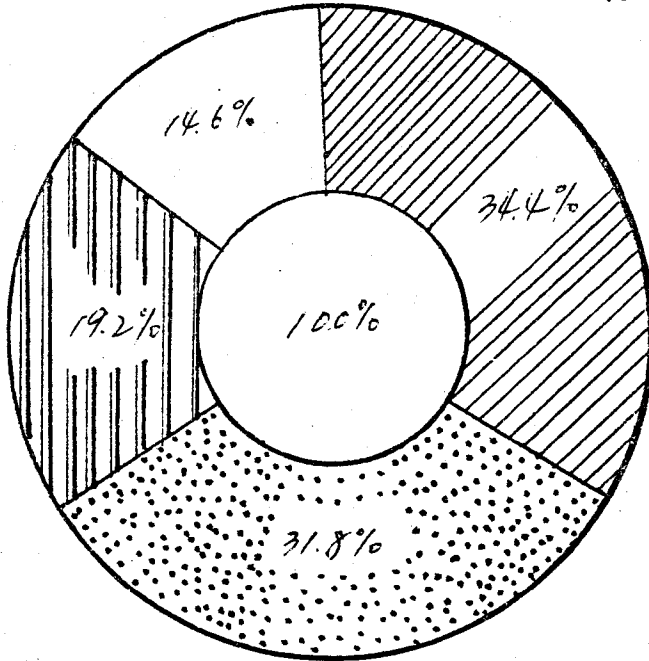
< III - 4 - 4 >







-  20 ~ 23月
-  24 ~ 27月
-  28月以後
-  無応答

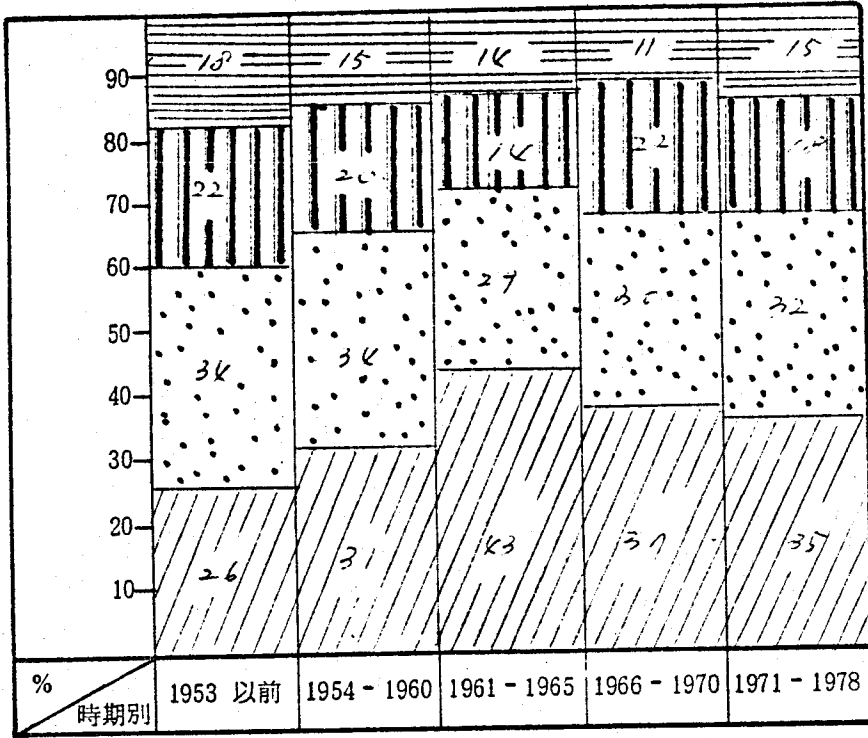
男性配偶选择基準

〈Ⅳ-5-1〉



-  性分與容貌
-  學力與職業
-  年齡與外貌
-  健康、其他

< Ⅲ-5-4 >



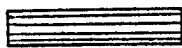
性分與黨性



學力與職業



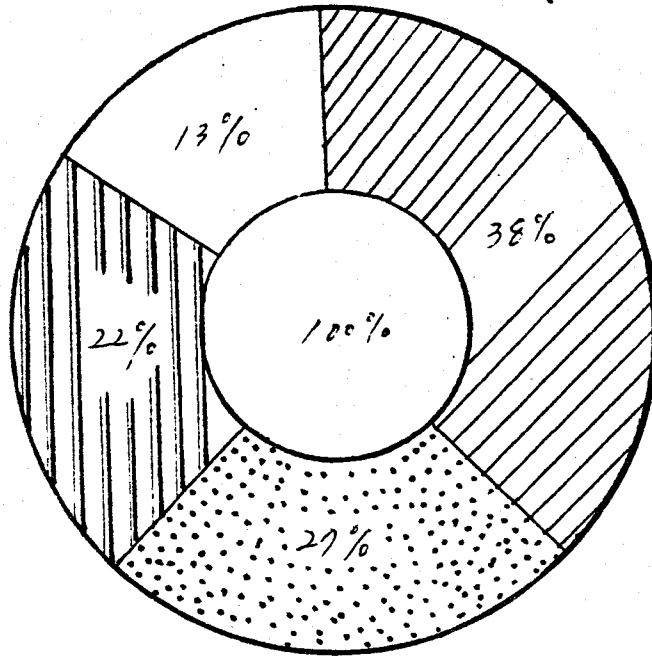
年齡與外貌

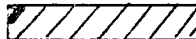


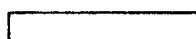


健康·其他

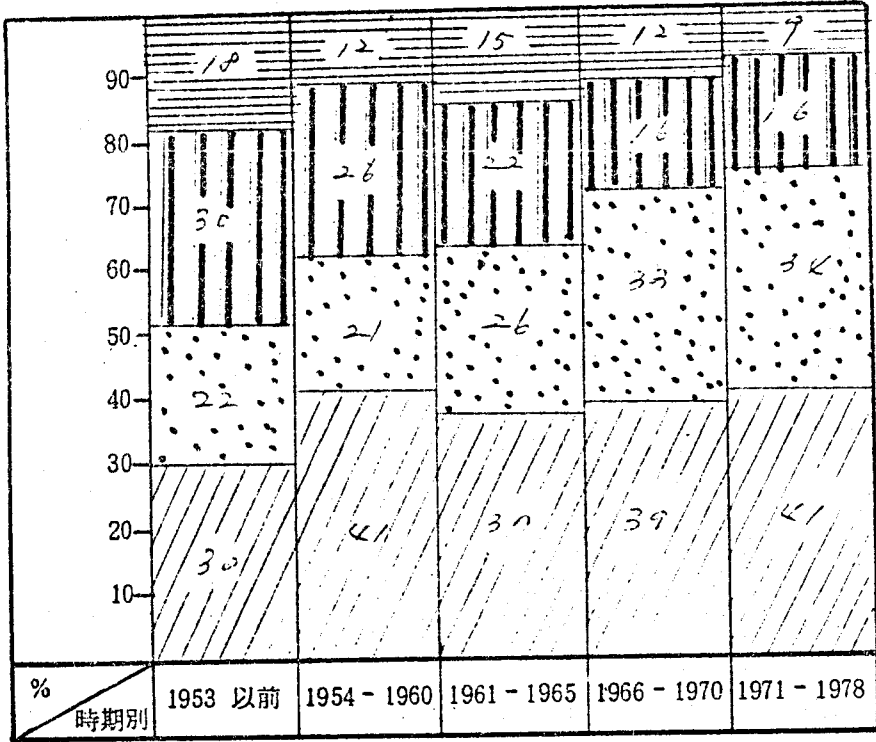
女性配偶看選拔基準

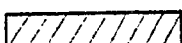


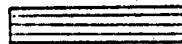
< 四 - 6 - 才 >



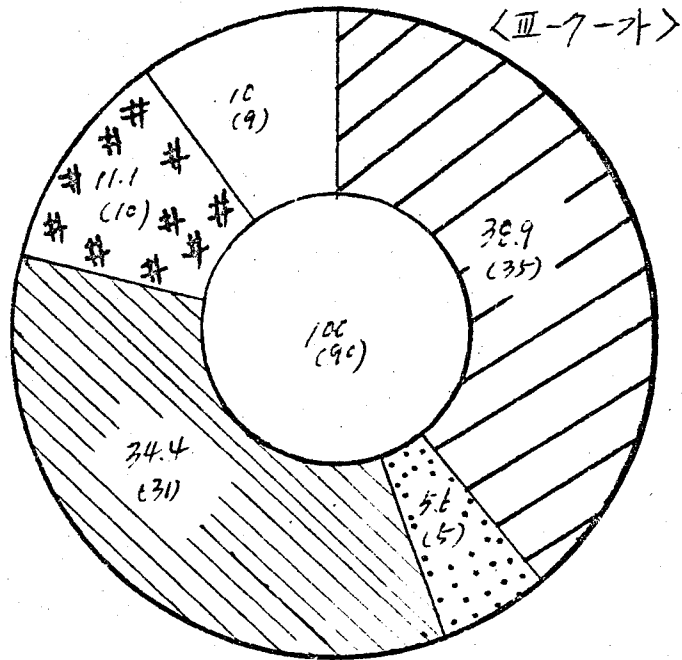
-  性分與虎性
-  職業
-  年齡與外貌
-  學歷、其他




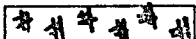
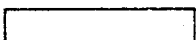
< Ⅲ-6.4 >



-  性分头 虎性
-  藏羊
-  斗器此 外貌
-  健康其他

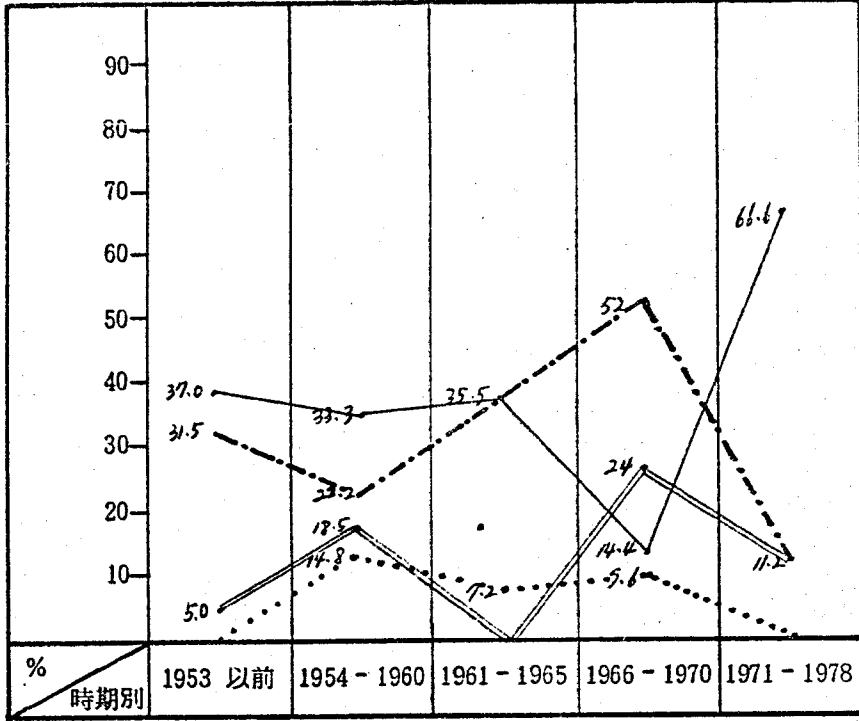
配偶者選択方法

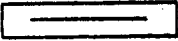


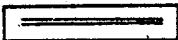


-  仲媒
-  惣愛
-  仲媒・惣愛併行
-  虎から斡旋
-  無回答

註. 惣愛に依り結婚せし虎から斡旋の如き結婚の至る比重を初祖とす

<Ⅲ-7-4>

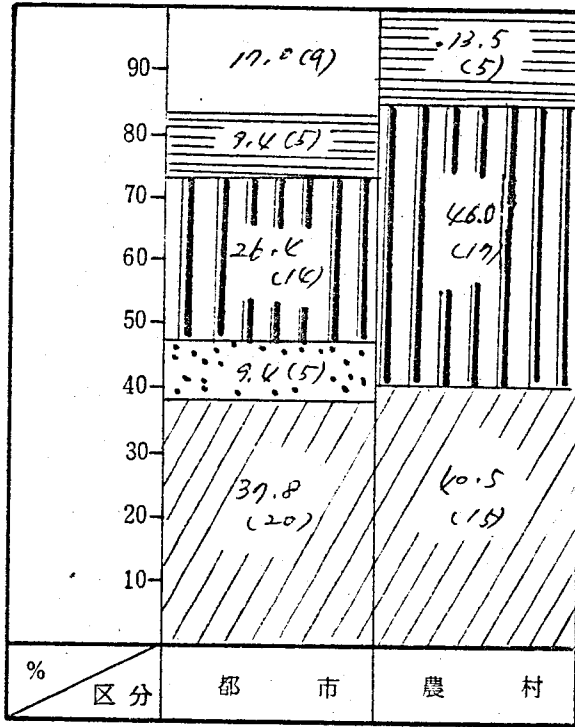


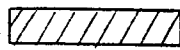


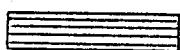
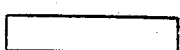
-  仲媒
-  恋愛
-  仲媒. 恋愛 併行
-  党에서 斡旋

註: 時期別로 보면 仲媒結婚의 比重이 높아져 反面 恋愛結婚은 거의 없어져 있음.

○無回答 %의 折線은 除外

< Ⅲ-7-4 >

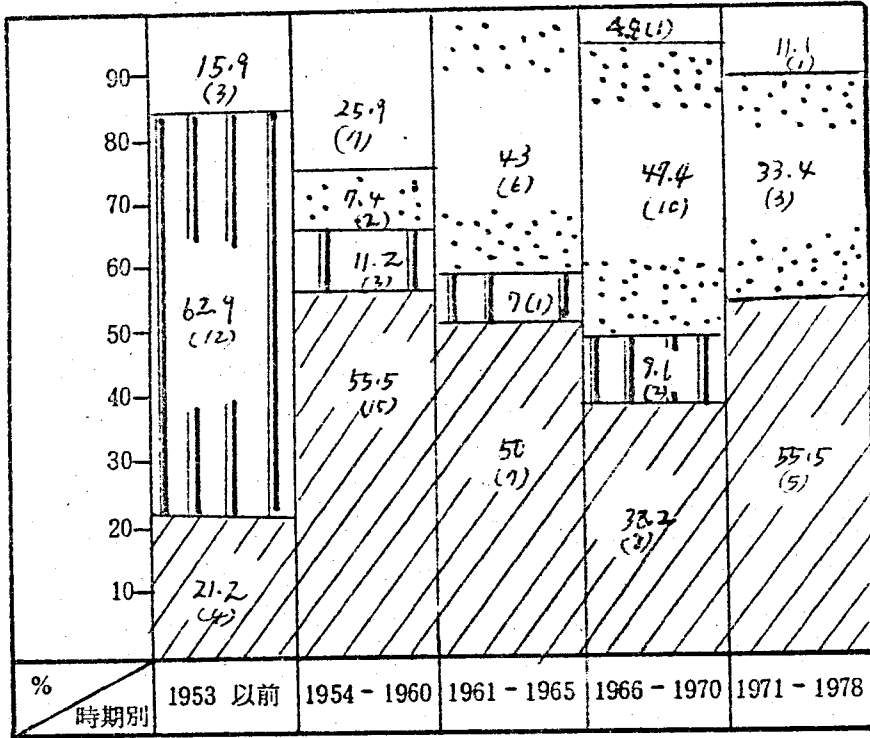






-  仲媒
-  恋愛
-  仲媒、恋愛併行
-  虎の背 斡旋
-  無応答

註. 地域別特徴之 都市、農村に於ては
 都市に 農村に於て 虎の背 斡旋の
 割合が 多い

結婚式参席人員

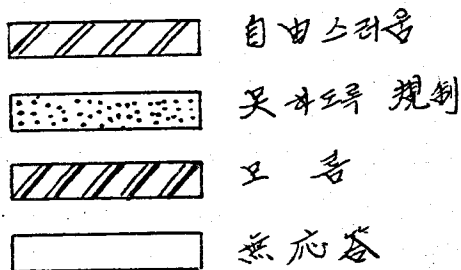
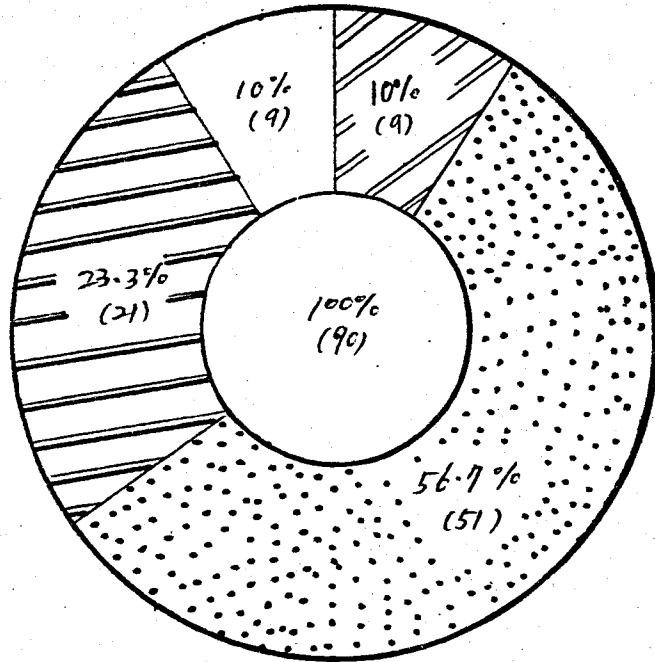
< Ⅲ - 8 >



-  親戚、親知、同僚、洞屋4等 30~40名程度
-  親戚、親知、同僚、洞屋1等 50~100名程度
-  親戚、親知、同僚、洞屋4等 10~15名程度
-  無應答

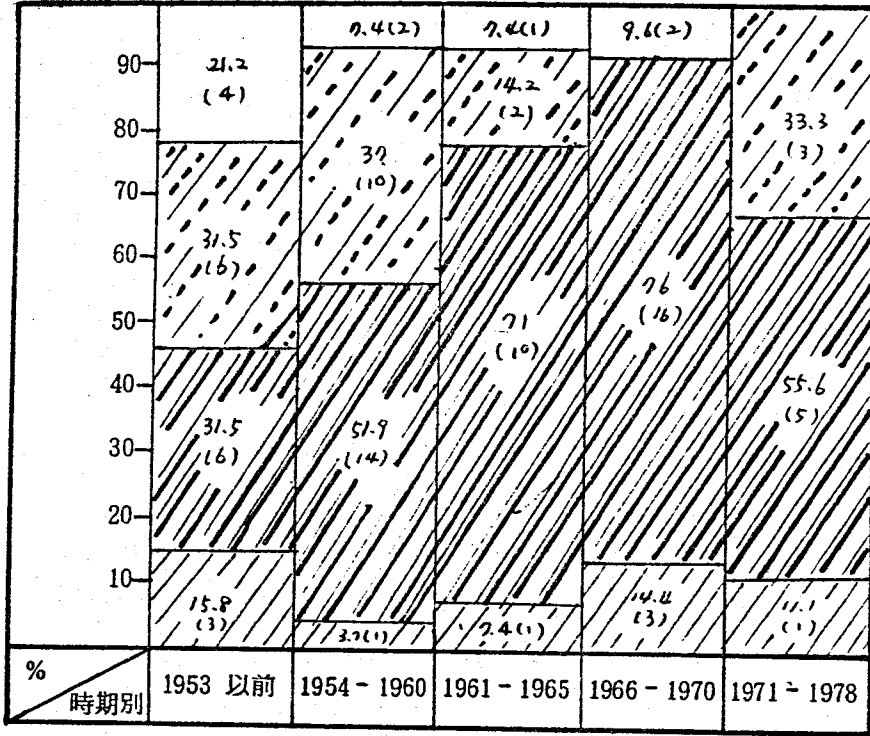
離婚可能性

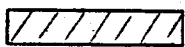
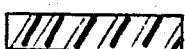
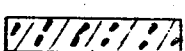

< Ⅱ-9-7 >



註) 1950年代末から夫婦中一方が地方行政機関に於て公及登錄事項を訂正することを以て離婚が可能であると
60年代以後に正式裁判等次に依りて離婚が可能と見られる

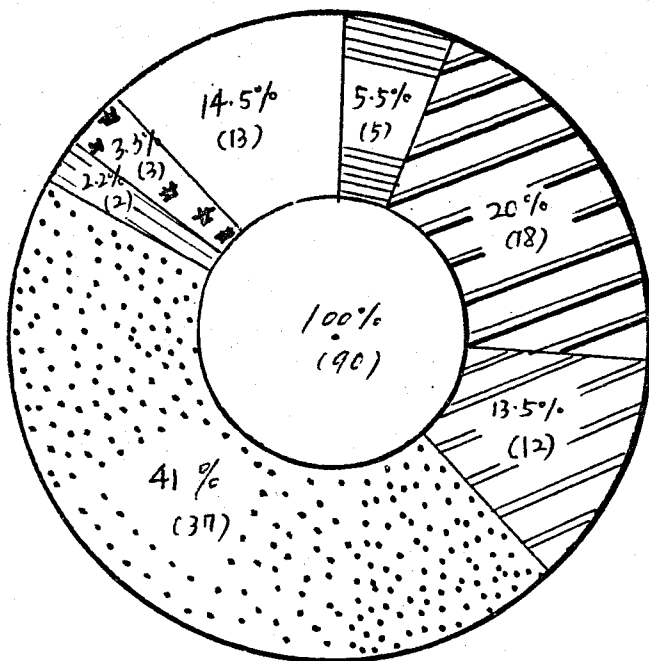
< III - 9 - 4 >

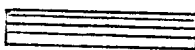


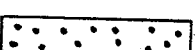


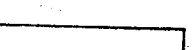


-  自由上科活
-  具科上科規制
-  且音
-  無応答

離婚事由

< Ⅱ-10 >



-  疾 病
-  不貞行為
-  性格差異
-  法院的制裁
-  相對雙方父母不平
-  其 他
-  無 所 答

(3) 葬, 祭禮

1) 祭 祀

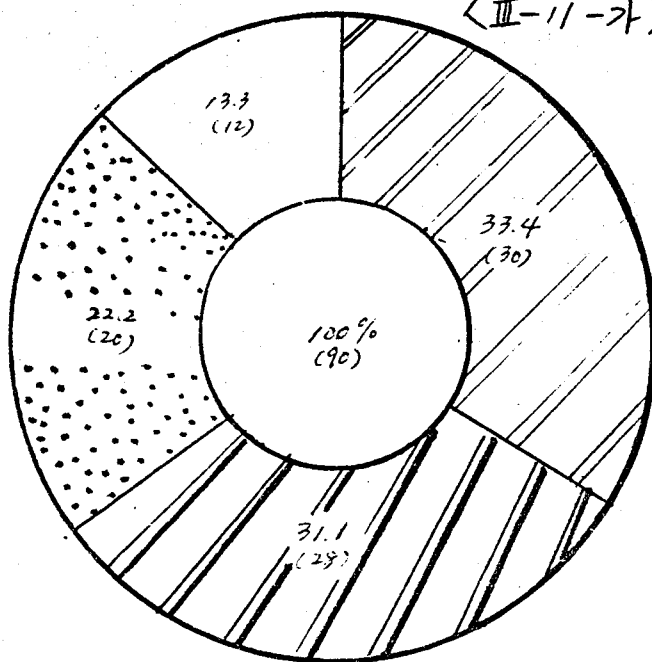
- 祭祀는 “大部分 지낸다”와 “一部만 지낸다”가 合計 64.5% 차지 하나
- 時代別로 보면 祭祀지내는 風習이 점차 사라져가고 있음.

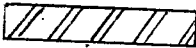


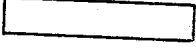
2) 葬·祭禮에 대한 統制

- 葬, 祭禮에 있어서 黨員을 除外한 一般人은 黨으로부터 嚴格한 禁止措置를 받지는 않으나
- 配給制度로 因한 食糧事情, 勞動과 學習活動에의 參與, 唯物論의 教養等에 따라 物質的 및 精神的 制限을 받아 簡素化되었음을 보여줌.

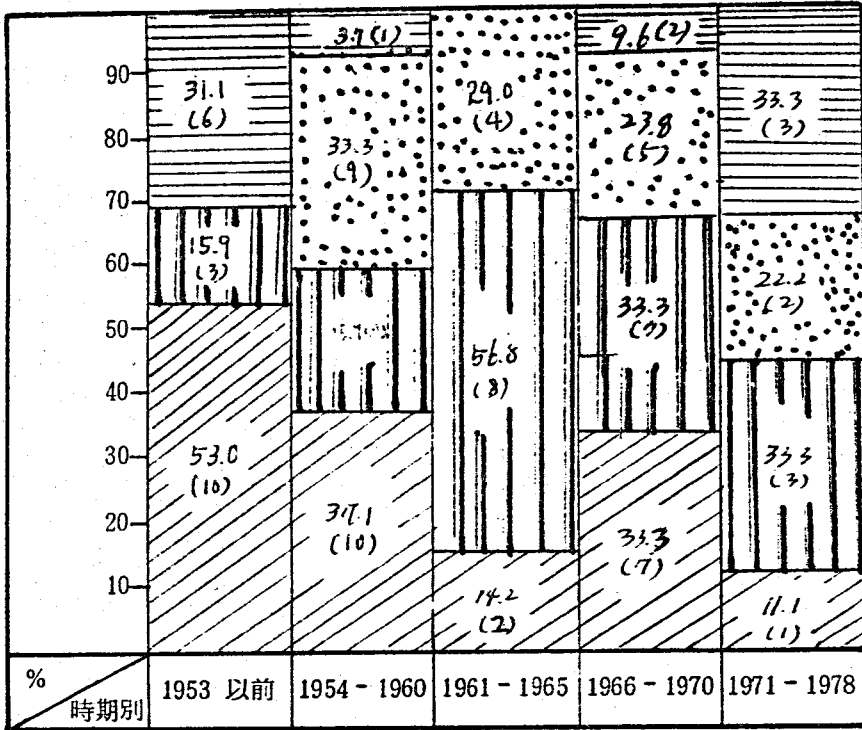
祭祀有無

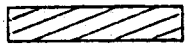


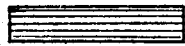
<Ⅱ-11-가>



-  大部分 行한다.
-  一部分만 行한다
-  거의 안 行한다
-  無 回答

<Ⅱ-11-4>



-  大部分 지낸다.
-  一部만 지낸다
-  거의 안지낸다
-  無應答

祭祀에 대한 党的 制限

<Ⅲ-12-가>

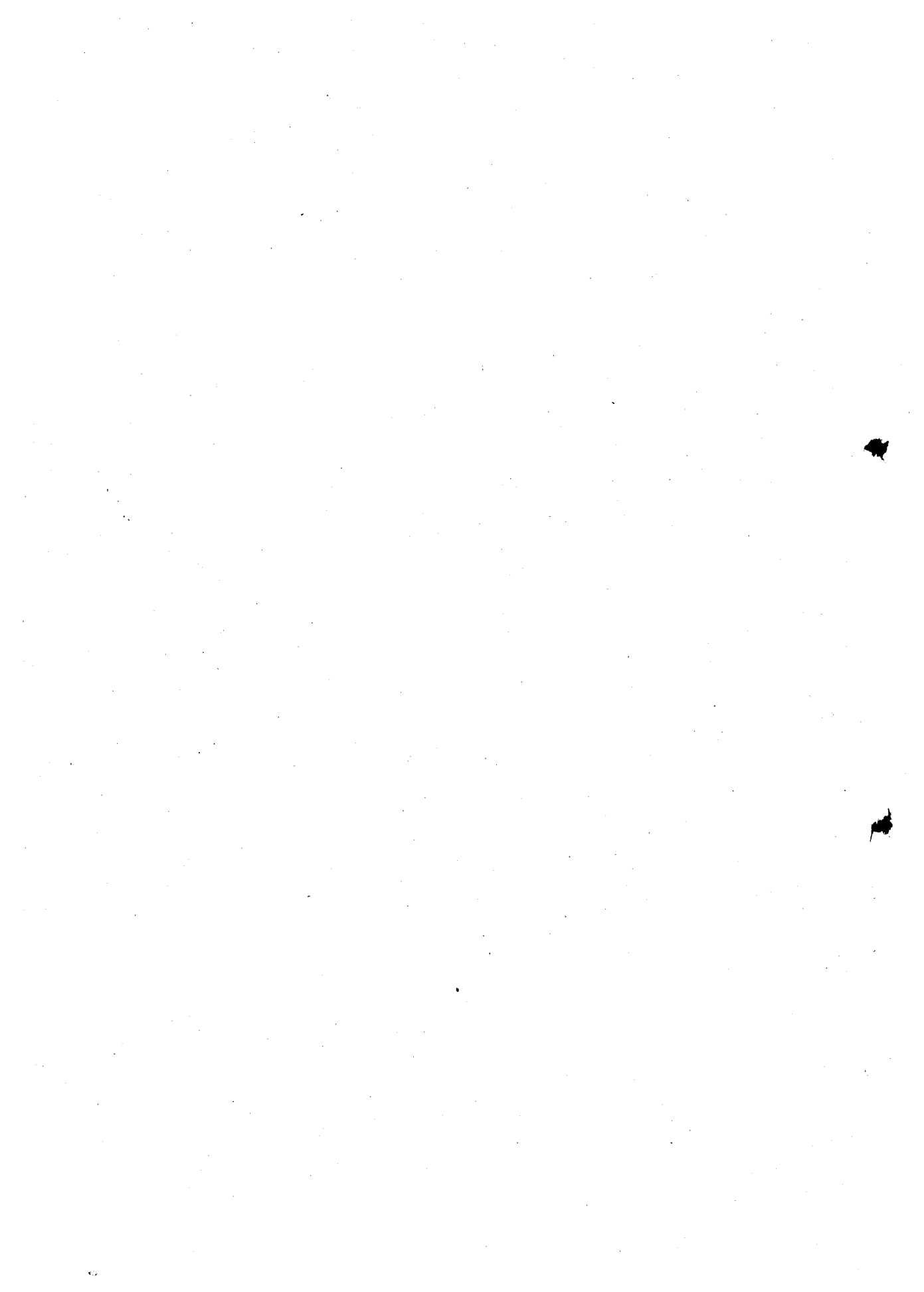
時 期	祭祀에 대한 党的 制限
53 年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1949 年까지 個人水準에 따라 誠意껏 ○ 1951 年以後 簡素化하라는 指示 ○ 6.25 후 干涉 ○ 죽은 사람이 음식을 못먹는다고 教養시켜 黨員은 祭祀를 안지내고 一般은 簡素하게 지냄 ○ 1953 年以後 制限
1954-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 強力한 制限이 없어도, 經濟的 時間的 形편이 許諾치 않아 簡素化가 自發的으로 이루어짐 ○ 祭祀制度 撤廢를 原則으로 ○ 祝文制度 一消 ○ 1954 年以後 糧穀收買事業으로 祭祀制度 거의 廢止 ○ 食糧配給制度로 飲食接待를 禁止 ○ 冠婚喪祭 簡素化 指示
1961-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食장단은 食糧不足으로 制限, 祝文은 거의 없음. ○ 党的 統制는 甚하지 않지만 經濟的 心理的 側面의 制限 ○ 飲食物 規制, 外部人 集合規制 ○ 明文化된 制限條項은 알 수 없음.
1966-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食糧 3 kg 程度 簡素化 ○ 強力制限 없음.

時 期	祭 祀 에 대 한 党 의 制限
1966 - 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食, 祝文制限, 集合規制 ○ 초저녁에 저녁食事兼, 祝文은 없음 ○ 非公開的인 祭祀
1971 - 現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡素化 要求 ○ 制限없음 ○ 첫祭祀만 許可 (秋夕, 寒食은 規制) ○ 첫祭祀에 쌀 10kg, 술 5ℓ 가량, 祝文 - 金日成 偶像化 内容 ○ 哭은 制限, 時間 12時頃, 3年喪까지

〈Ⅲ-12-4〉

地 域	祭 祀 에 대 한 党 의 制限
都 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別制限 없음, 時間, 飲食, 祝文 모두 統制 ○ 黨員은 祭祀規制, 非黨員, 學生은 簡素한 祭祀 ○ 초저녁에 追慕모임 (祝文없음), 3年喪까지 ○ 飲食은 自由, 哭은 除限, 時間 - 밤 12時頃 ○ 쌀 10kg, 술 5ℓ, 祝文 - 金日成偶像化 内容 ○ 省墓는 30%未滿, 非公開的, 生日祭, 死亡祭, 茶禮 山所에 年 1回 伐草, 自重한다. 53年以後 規制 ○ 6.25後 干涉, 1951年以後 制限 ○ 飲食接待 規制, 祝文廢止, 冠婚喪祭 簡素化 指示

地 域	祭 祀 에 대 한 党 의 制 限
農 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 年 喪 가 지 ○ 飲 食 物 規 制 ○ 祝 文 은 없 음 ○ 外 部 人 集 合 規 制 ○ 集 合 不 可 能 ○ 一 年 喪 基 準 ○ 食 糧 - 3 kg 程 度 簡 素 化 ○ 勞 動 時 間 을 避 해 밤 에 簡 素 하 게 하 도 록, 制 限 은 없 음 ○ 1954 以 後 糧 穀 收 買 專 業 으 로 거의 閉 鎖 ○ 祭 祀 撤 廢 가 原 則

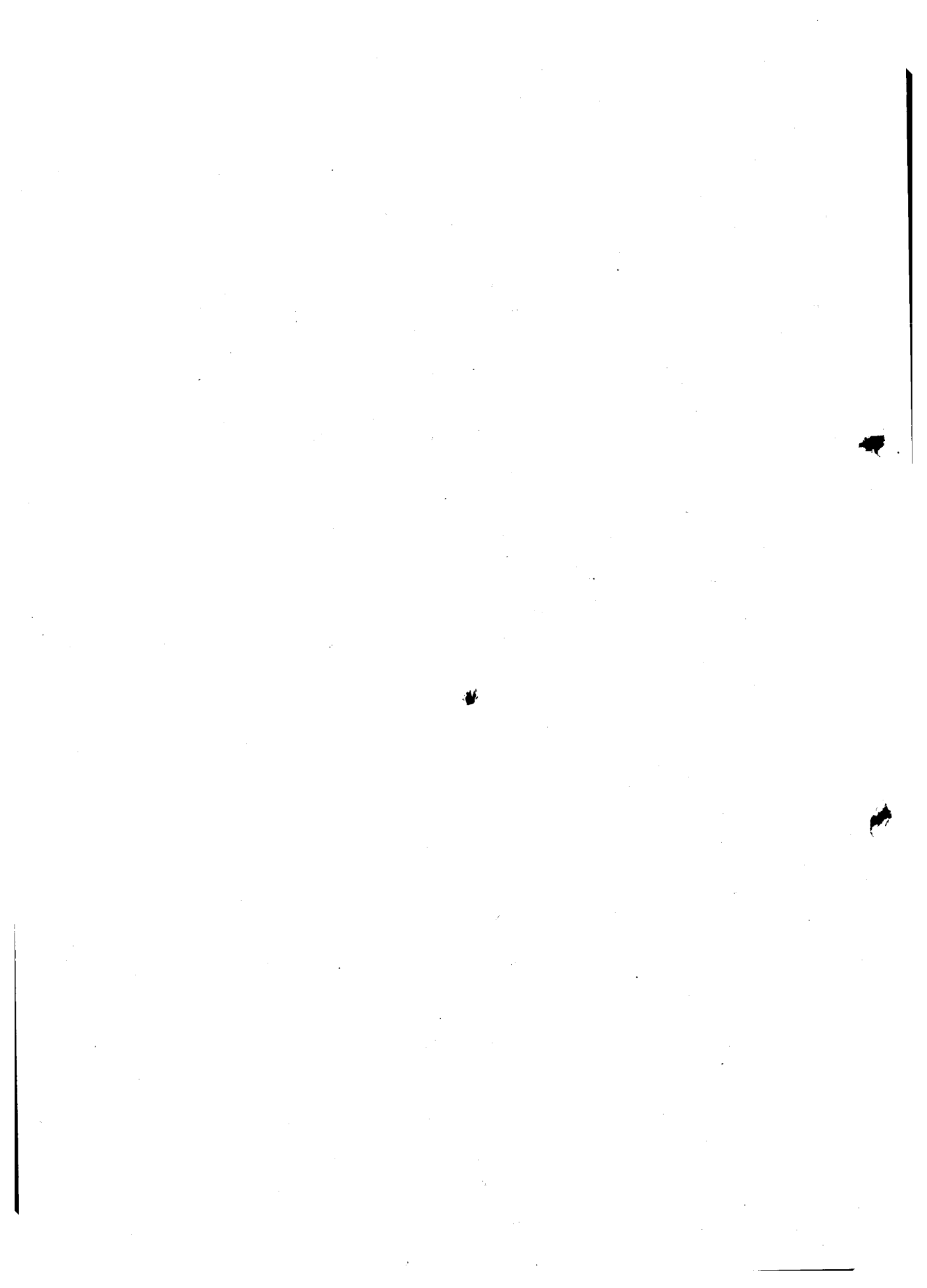


4. 社 会 生 活

(1) 階 層

(2) 職 業

(3) 餘 暇



나 . 社會生活

(1) 階 層

1) 階層移動의 伸縮性

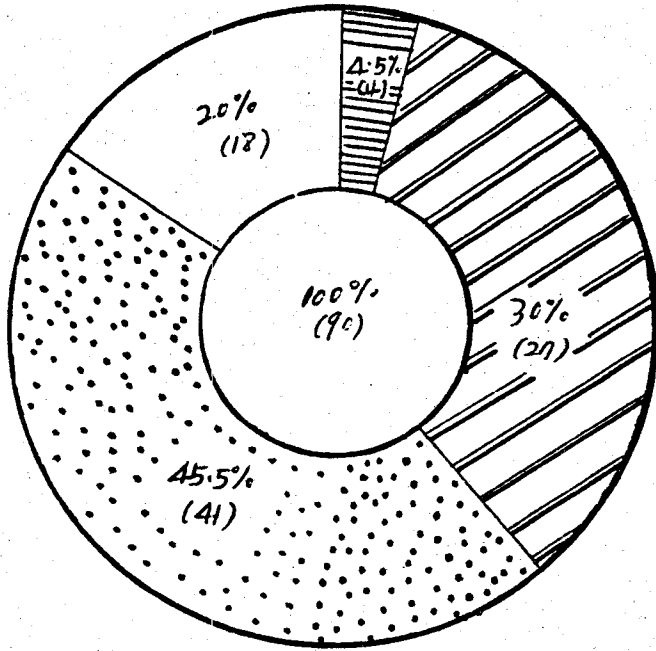
- 1958년부터 1960年代初까지 實施된 成分調査에서 住民들의 階層을 出身成分別로 分類
- 成分調査에서 나타난 出身成分은 變更시킬 수가 없기 때문에 階層移動의 伸縮性은 거의 없음.
- 敵對階層에서 基本階層으로 移動하는 境遇는 거의 없는 것 (75.5%)으로 나타나고 있음.
- 특히 階層分類事業이 끝나는 時期인 1966年代 以後에 는 敵對階層의 上向移動은 不可能한 것으로 나타남.

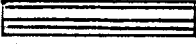



2) 階層移動의 基準

- 階層移動의 基準은 能力為主가 아니라 出身成分과 党性에 의해서 左右되고 있음.
- 階層移動에 있어서 北傀體制에 대한 過誤, 非熱誠 등으로 下降移動의 事例가 많음.
- 階層移動의 基準에 있어서 戰後 復旧期間인 1954-60年 사이에는 情實이 제일 큰 比重으로 나타나고 있으나 成分調査事業이 完了되는 1970年代에는 情實이 거의 없어지고 그대신 成分과 党性이 우선적으로 強調됨

敵對階層から基本階層への移動

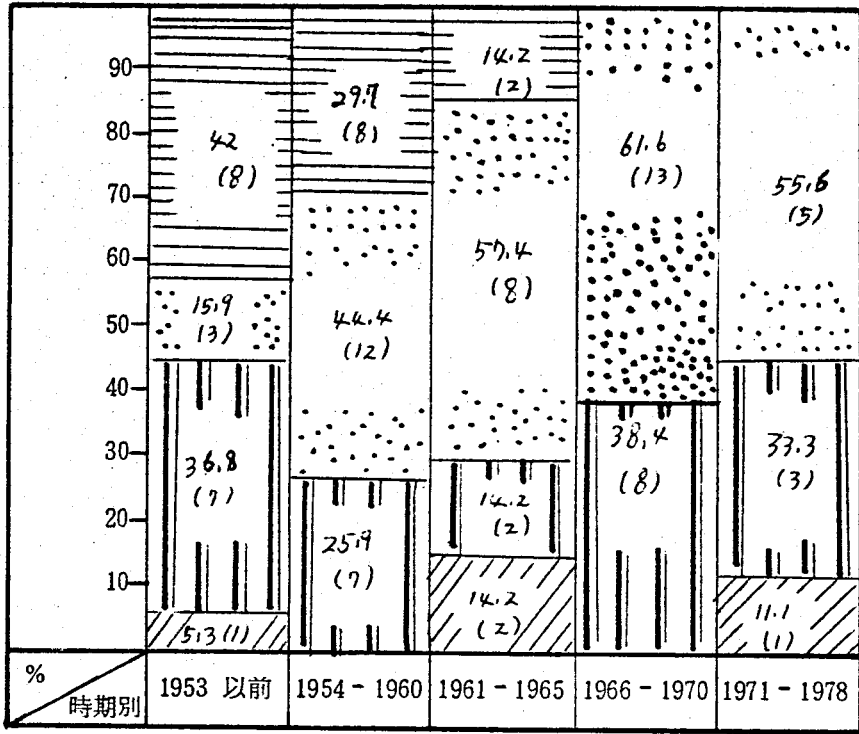
< Ⅳ-13-7 >



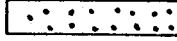
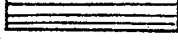


-  下 (階)
-  上層階級
-  点
-  基本階級

1958年卒の1960年代初の本
北群全職の調査成分
調査の住民成分別
階級分類と階級向上
の移動の制限状況

< II - 13 - 4 >

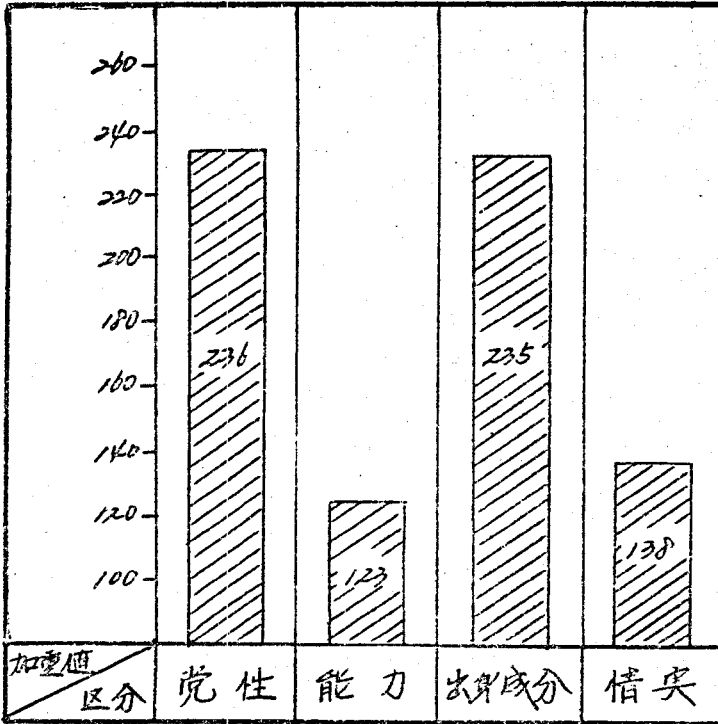


-  많다
-  조금있다
-  없다
-  無應答

註. 一般의 경우 敵對階層의 上向移動之 極限 到達已인 것이 特히 1966年 以後에 之 거의 不可能한 것으로 나타내 있음

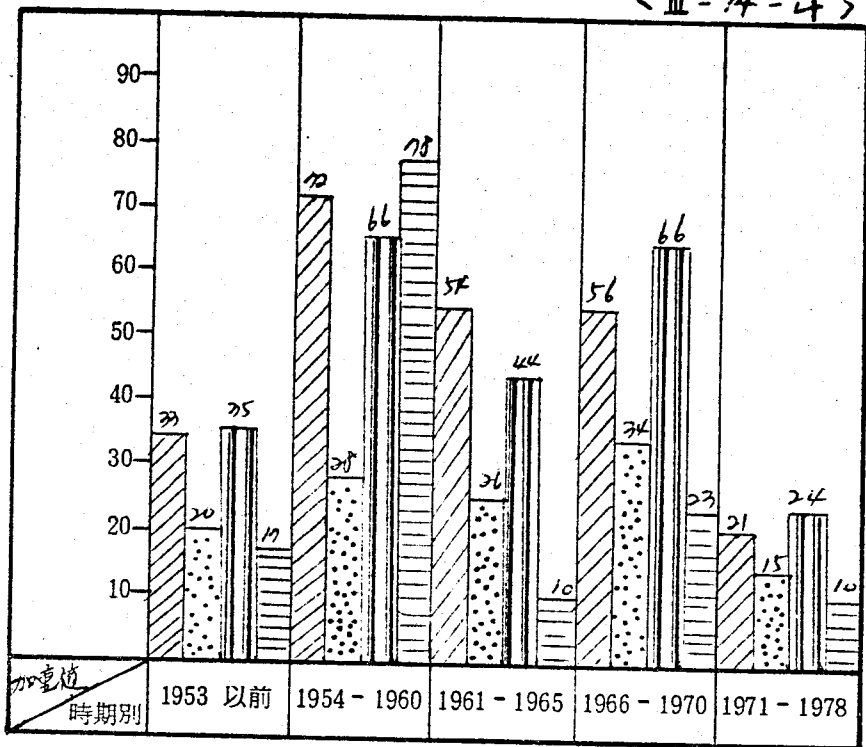
階層移動基準



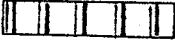
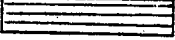
<Ⅲ-14-가>



註) 階層移動은 出身成分, 党性에 의해 이루어지고 있으며 能力은 重視되지 않고 있음.

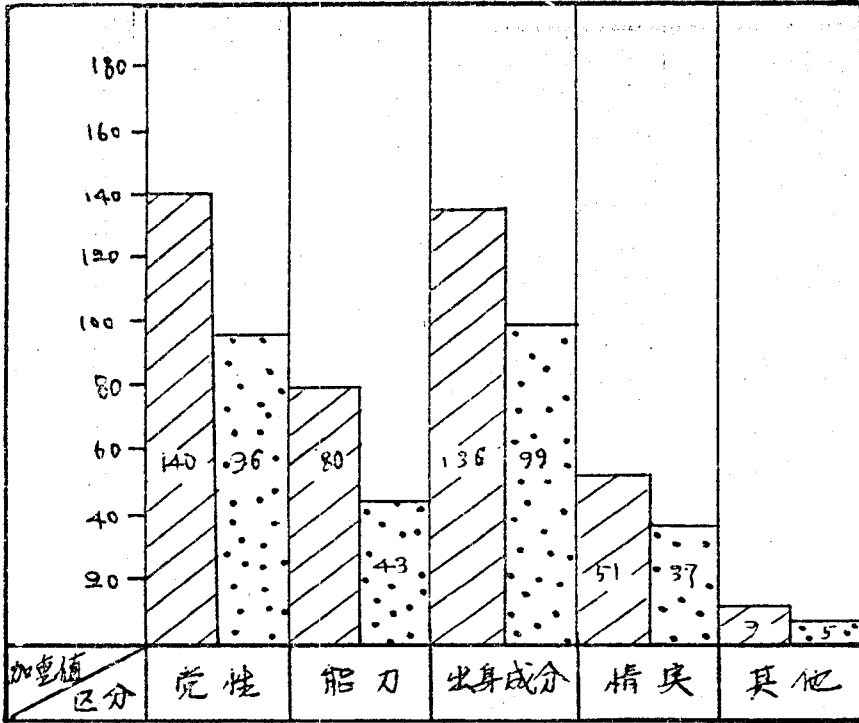
< Ⅲ-14-4 >



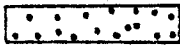
-  虎性
-  能力
-  出身成分
-  精實

註. 時期別に基いて, 1960年以前は精實と虎性に
 多い階層移動が支配的であり, 1960年
 以後は虎性の出身成分が強調になり
 持た, 1966年以前は出身成分が最も重視され
 たり, 1966年以後は市民再登校等を通じて
 出身成分調査が完了したため, 以上結果を
 思料する.

< III - 14 - 4 >



特殊层



一般居民

(2) 職 業

1) 職業選好

- 希望職業은 全般的으로 高級黨員, 政權機關員 등 權力志向的 職種과 技術者·教育者 등 技術專門職이 支配的으로 나타나고 있으며
- 時期別로 보면 1960年以後 부터는 政權機關員, 技術者를 希望하는 者가 增加하는 反面 高級黨員을 希望하는 者는 減少하는 추세임.
- 이는 成分에 따른 階層移動의 경직성 때문에 各자의 成分에 따라 希望職種을 사전에 調整하는데서 나온 結果로 유추됨.

2) 職業選擇의 動機

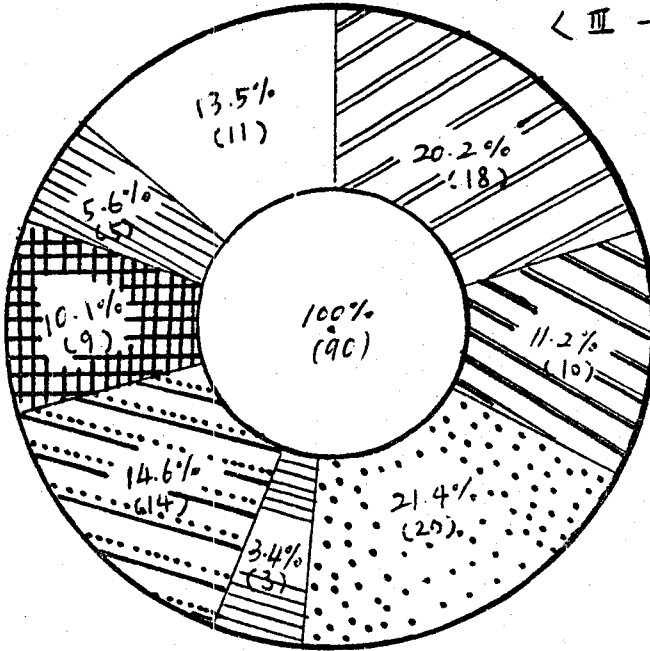
- 全般的으로 職業選擇의 余地가 없기 때문에 피동적인 立場임 (46.2%)
- 成分이 좋은 者의 職業選擇 動機는 出世와 名譽가 가장 많음.


3) 職業移動

- 職業移動은 不可能한 것 (68.8%)으로 나타나고 있으며
- 職業移動이 可能하다는 者는 極少數 (10%)에 局限됨.

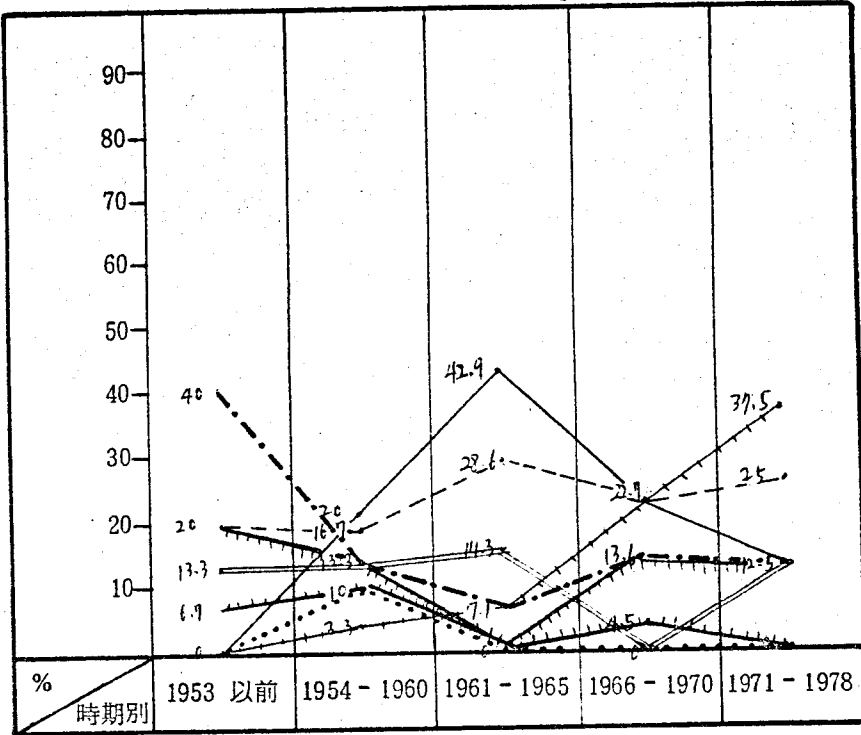
希望職業

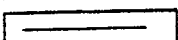
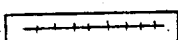
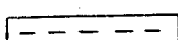

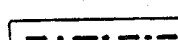
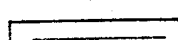
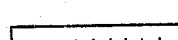
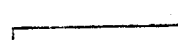
<Ⅱ-15-ナ>



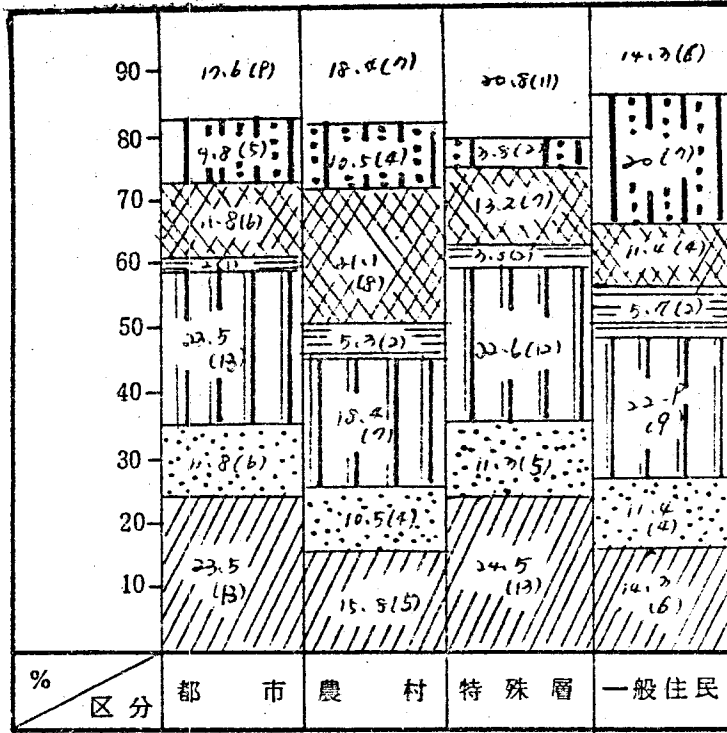
-  高級黨員
-  政权機關員
-  技術者
-  科學者
-  教育者
-  農水、商業
-  其他
-  無應答



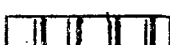
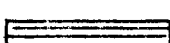
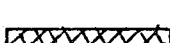
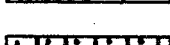

< III - 15 - 4 >



-  高級党員
-  政权機關員
-  技術者
-  科學者
-  教育者
-  農水、商業
-  其他
-  無應答

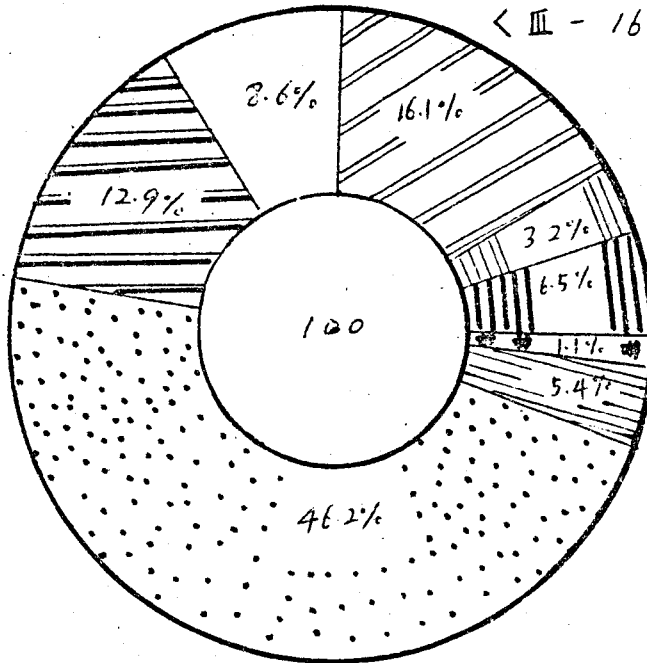
< III-15-d. >

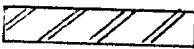
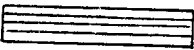
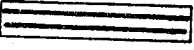


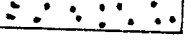

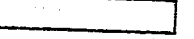


-  高級党員
-  政权機関員
-  技術者
-  科学者
-  教育者
-  農業、水産業、商業
-  其他(無回答包含)

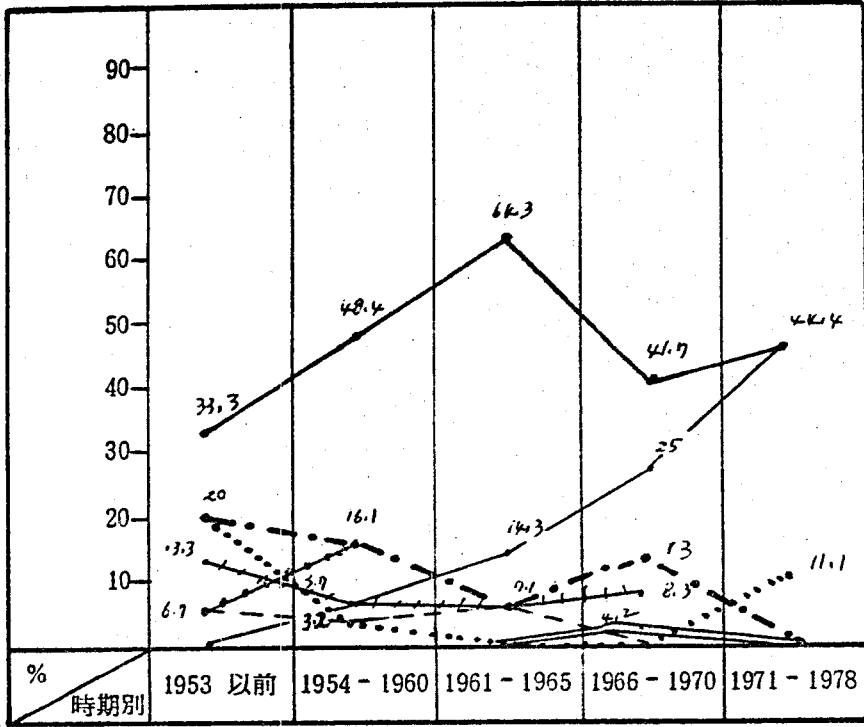
希望職業的選取理由

< Ⅲ - 16 - 7 >



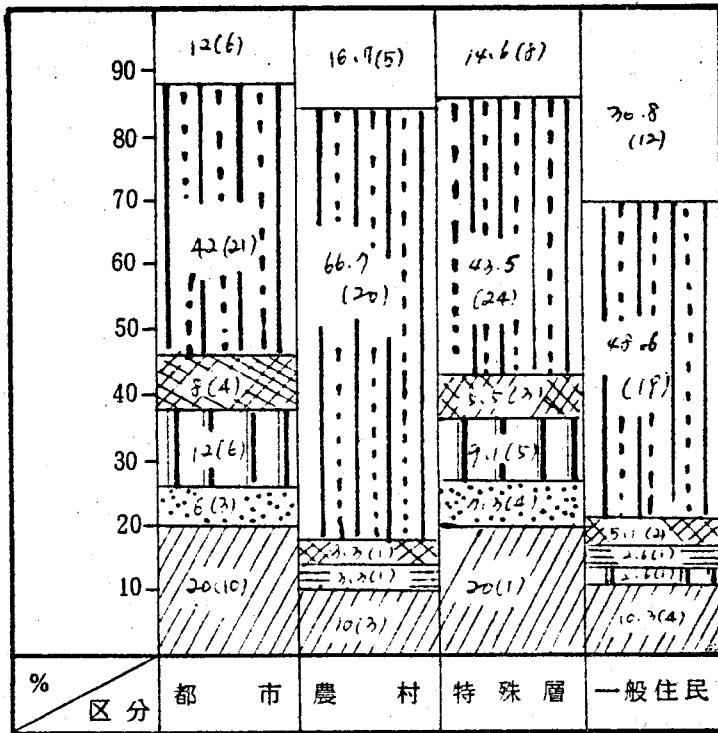
-  名譽、出世
-  稠天坐生活
-  能力用務
-  子女養育
-  社會的奉仕
-  選取餘地無
-  其他
-  無回答


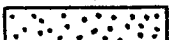

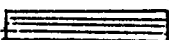



< III-13-4 >



- 名誉、出世
- 調次進 生活
- +++++ 能力開発
- ===== 子女養育
- 社会的奉仕
- 選択餘地 無
- - - - - 其他
- 無応答

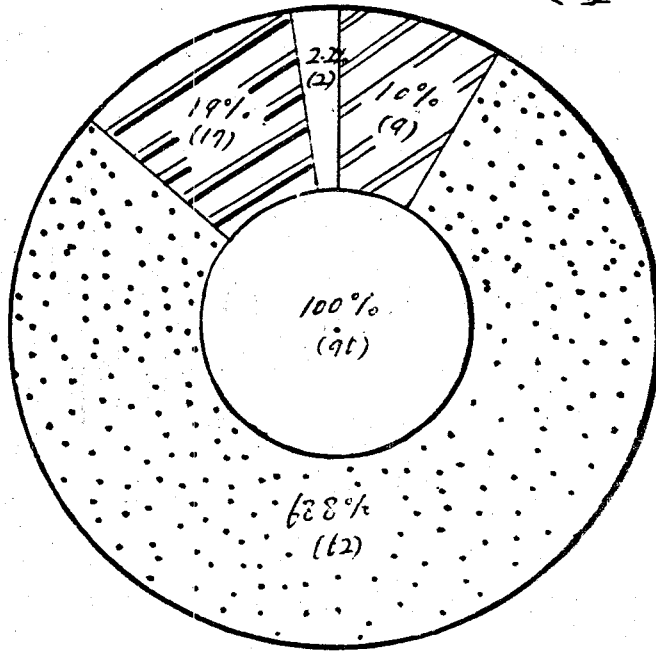
< III - 16 - 4 >


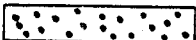




-  名譽. 出世
-  潤沢な生活
-  能力開發
-  子女教育
-  社会的に奉仕
-  中選択斗餘地無
-  其他 (無應答包含)

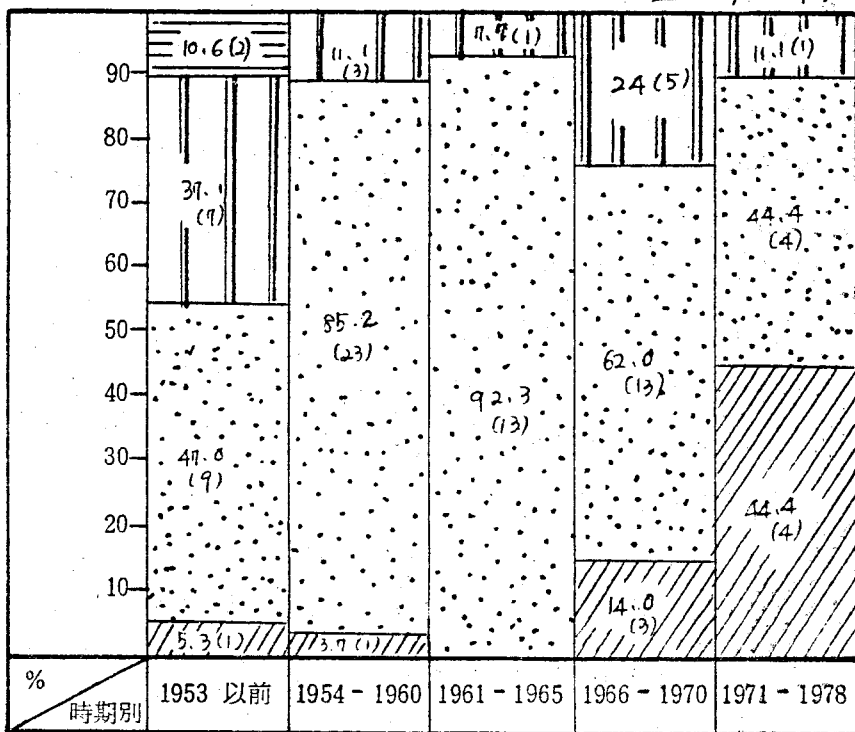
職業不滿時 轉業可能性



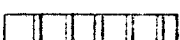
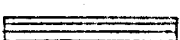
< Ⅱ-17-才 >



-  可 能
-  不 可 能
-  互 彳
-  無 応 答

< Ⅲ-17-4 >



-  可 能
-  不 可 能
-  且 否
-  無 應 答

(3) 餘 暇

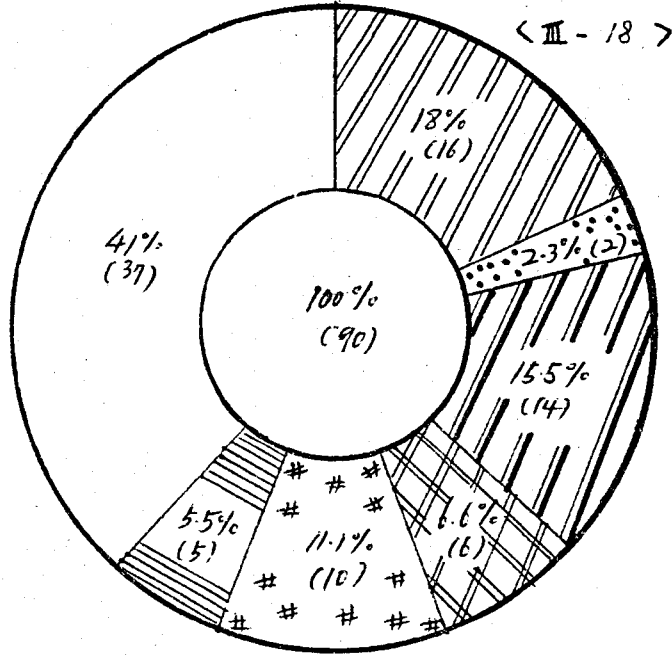
1) 休暇消日方式

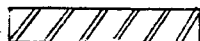
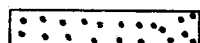


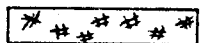
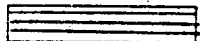
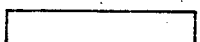
- 消日時間을 별로 알지못하고 있으나 설사 있어라도 집에서 休息하거나 家事에 從事
- 學習과 勞力에 勤員

2) 読書性向

- 1970年以後 韓國古典文學作品을 읽은 者는 하나도 없는 것으로 나타남.
- 革命文學作品의 主人公에 대한 感銘度는 漸次로 增加 (1970年以後 88.9%) 되고 있으며 主人公이 지나고 있는 “大衆을 위한 犧牲精神”에 感銘을 받은 것 (29%) 으로 나타남.

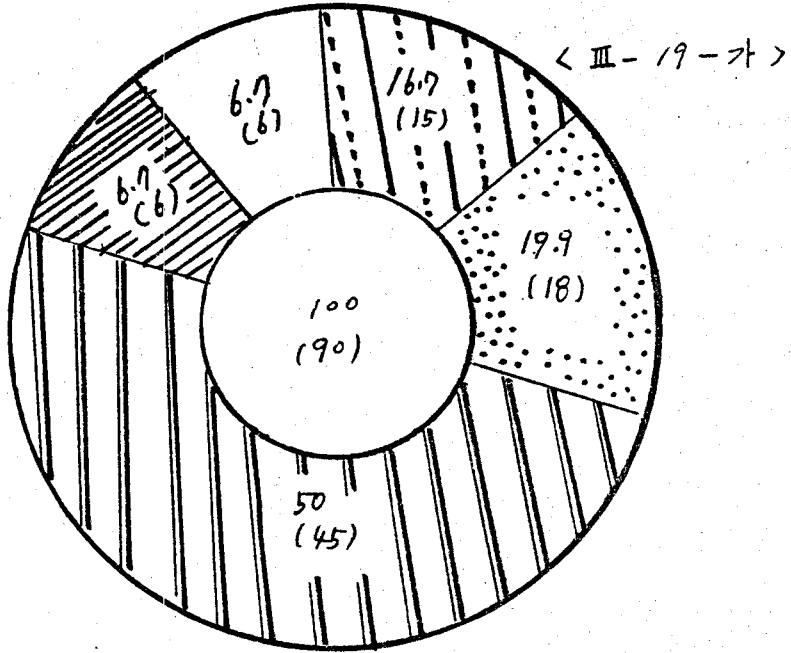
休暇消日方法



-  主要 休息
-  旅行
-  家事
-  學習・勞力動員
-  其他
-  모르겠다.
-  無応答

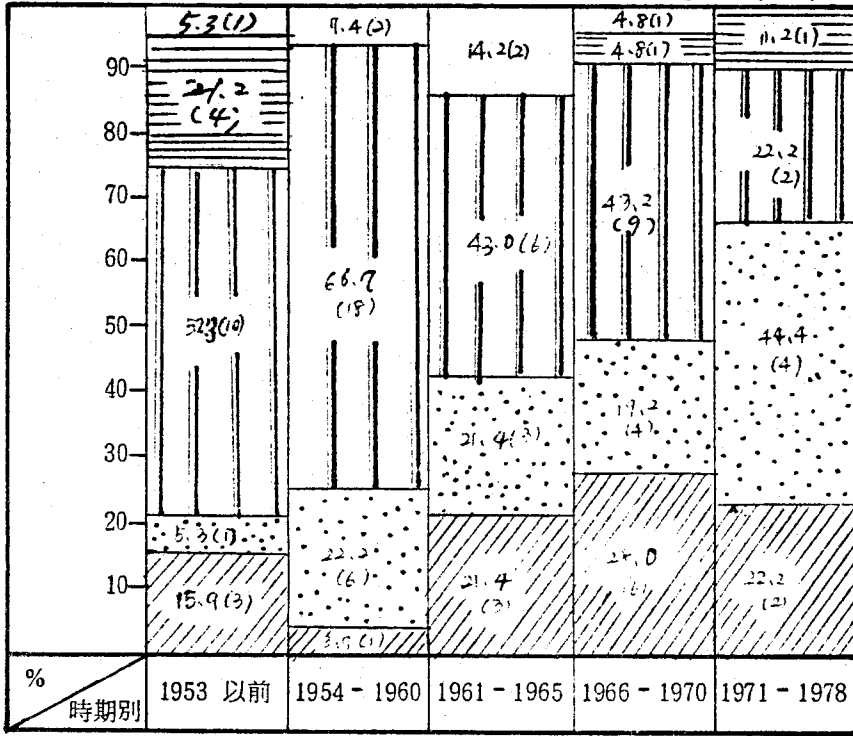
註). 無応答이 많은 것은 休暇自体가 없기 때문인 것으로 보임.

映画 観覧 方法



- 餘裕時間에 언제든지
- 時間餘裕가 있어 못보다
- 動員에 의해 觀覽
- 물안잔 価値가 있어 안보다
- 無回答

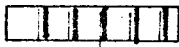
< III-19-4 >



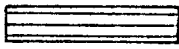
餘裕時間에 선제든지



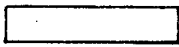
時間餘裕가 없어 못본다.



動員에 의해 觀覽

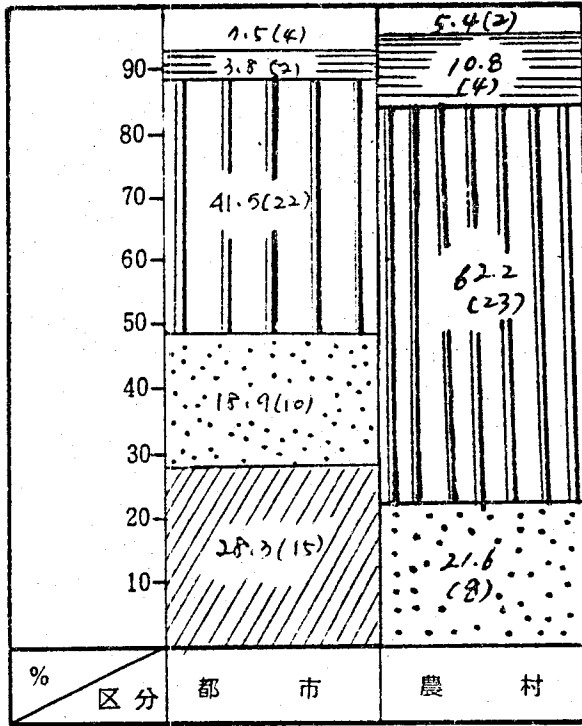





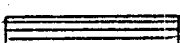
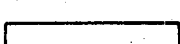
불안한 價値가 없어 안본다.



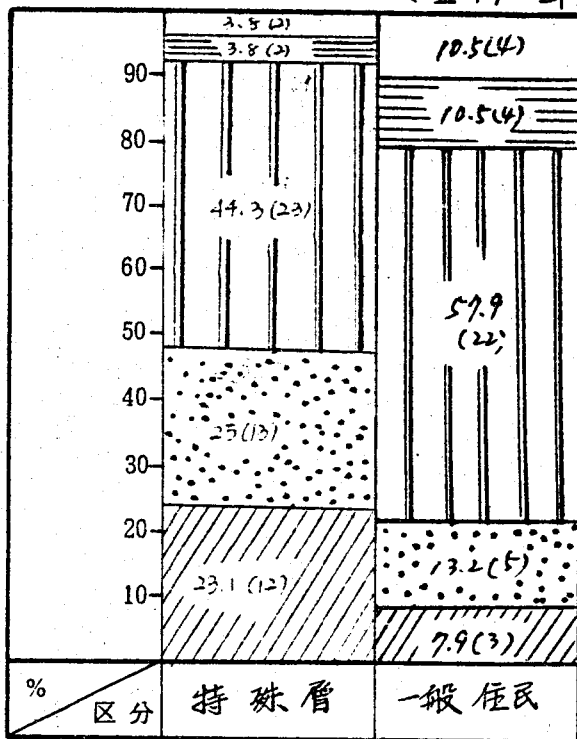
無忒答




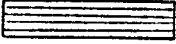

< III-19-4 >



-  餘裕時間에 限制는지
-  時間餘裕가 없어 못본다
-  動員에 의해 觀覽
-  불만할 價値가 없어 안본다.
-  無應答

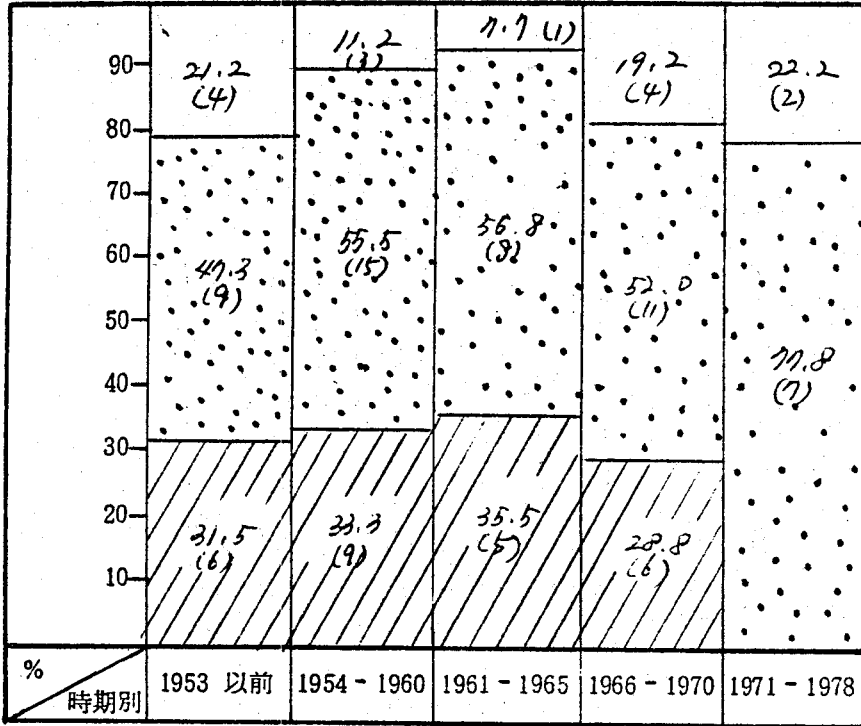
< Ⅲ-19-2 >






-  餘裕時間에 언제든지
-  時間餘裕가 없어 못본다.
-  勤員에 의해 觀覽
-  불만한 価値가 없어 안본다.
-  無応答

韓國古典文學作品 読書

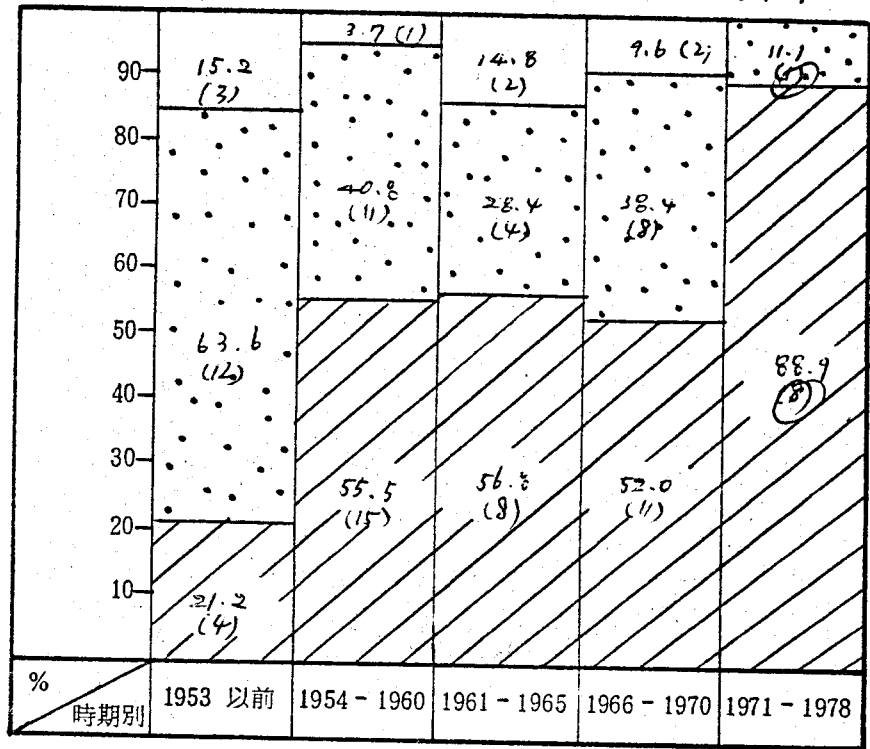
< III - 20 >



-  韓國古典文學作品을 읽은적이 있다.
-  없다.
-  無應答

共產主義文學作品的 主人公에 대한 感銘

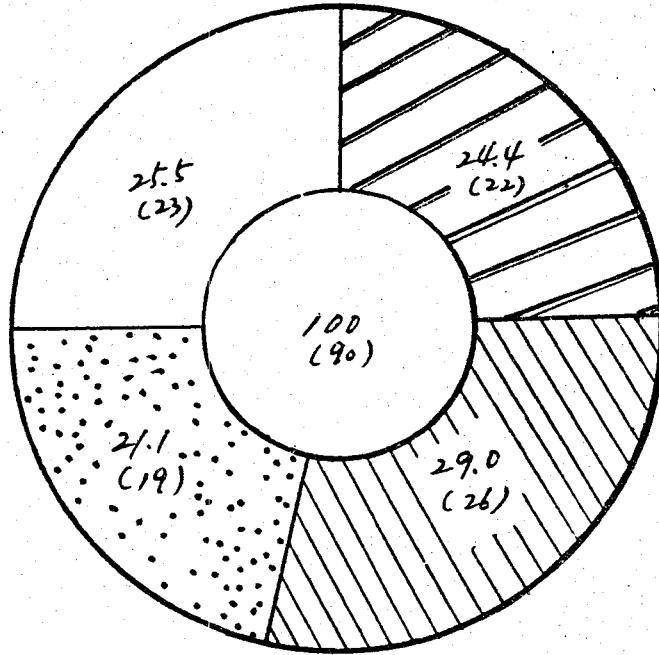
<Ⅲ-21 >


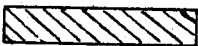




- 感銘有
- 感銘無
- 無應答

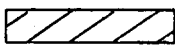
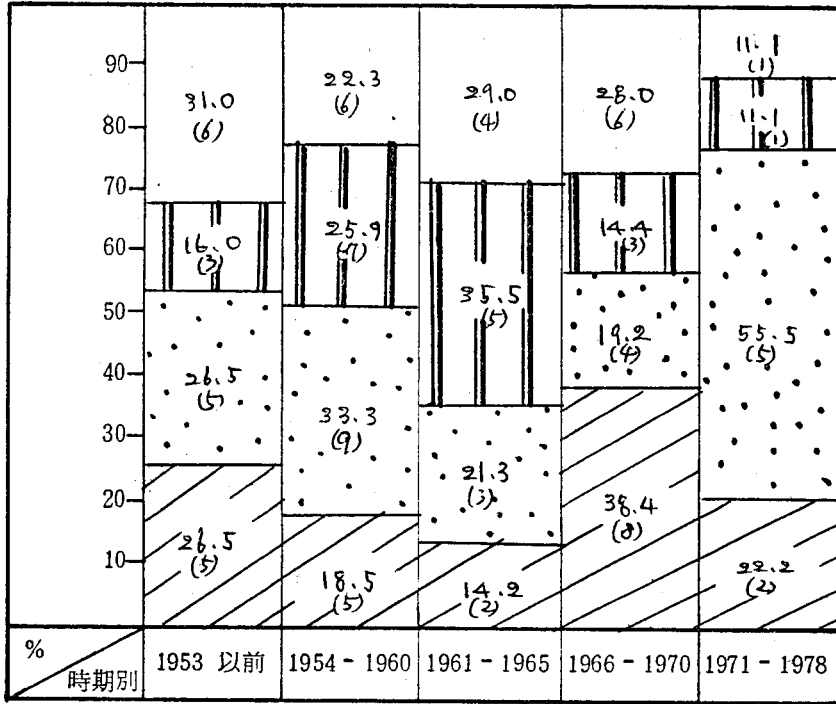
感銘을 주 主人公의 性格

< Ⅲ - 22 - 가 >



-  党性, 革命性이 強者者
-  大衆을 위하여 犧牲精神이 強者者.
-  戰爭英雄
-  無應答

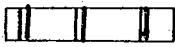
< III-22-4 >



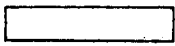
党性、革命性的英雄



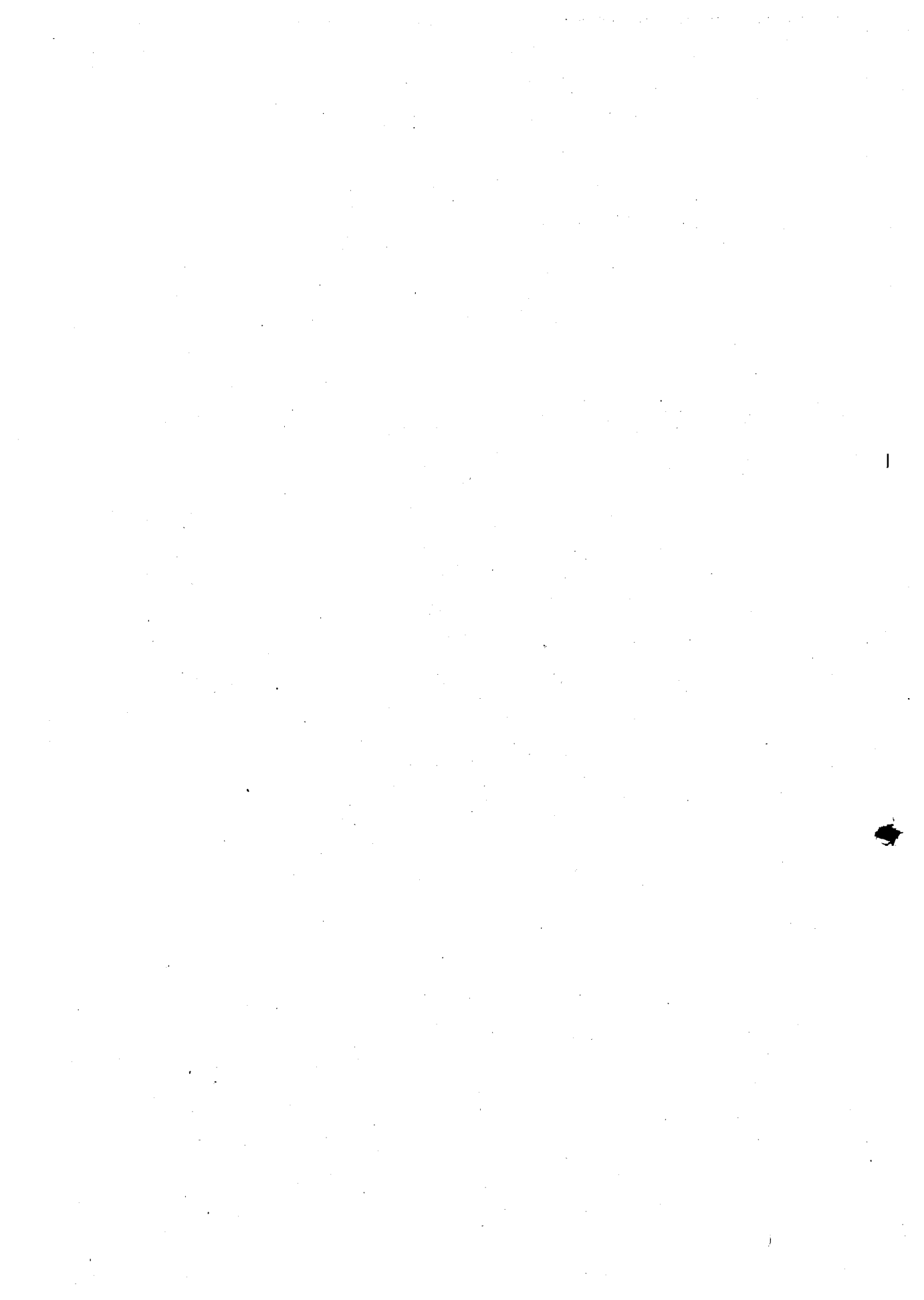
大无畏的、牺牲精神的英雄



战争英雄



无名英雄

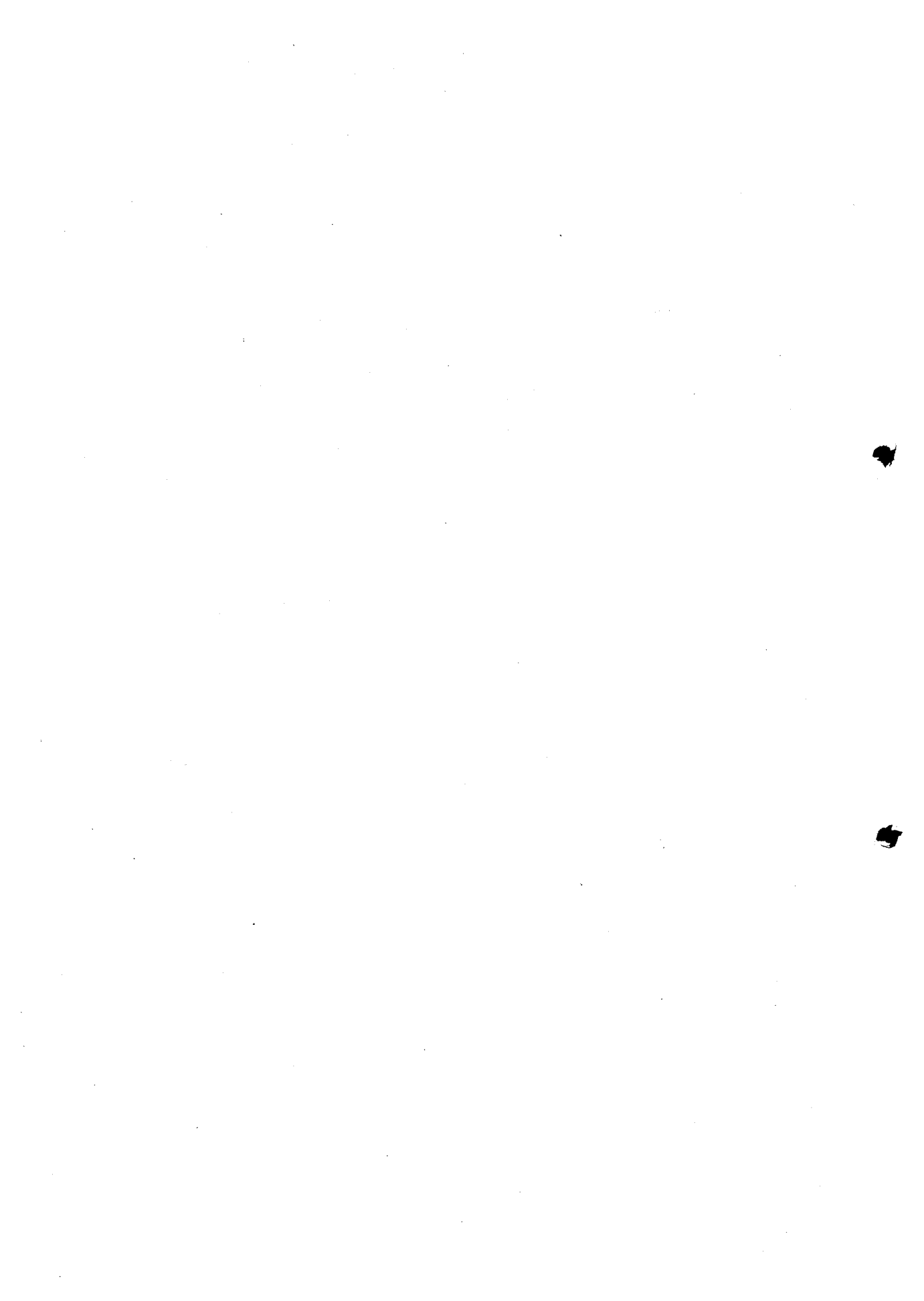


다. 社 会 化 過 程

(1) 学 校 前 教 育

(2) 青 少 年 生 活

(3) 宗 教 弹 压



다. 社會化過程

(1) 學校前 教育

1) 幼兒의 託兒所 委託程度와 委託意思

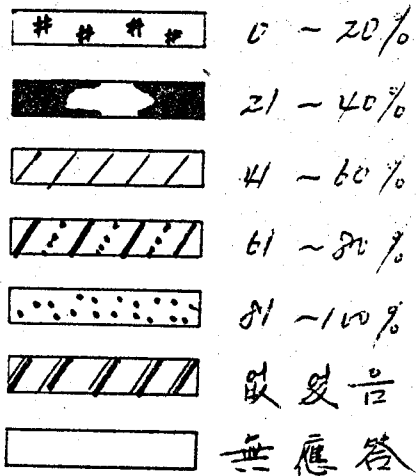
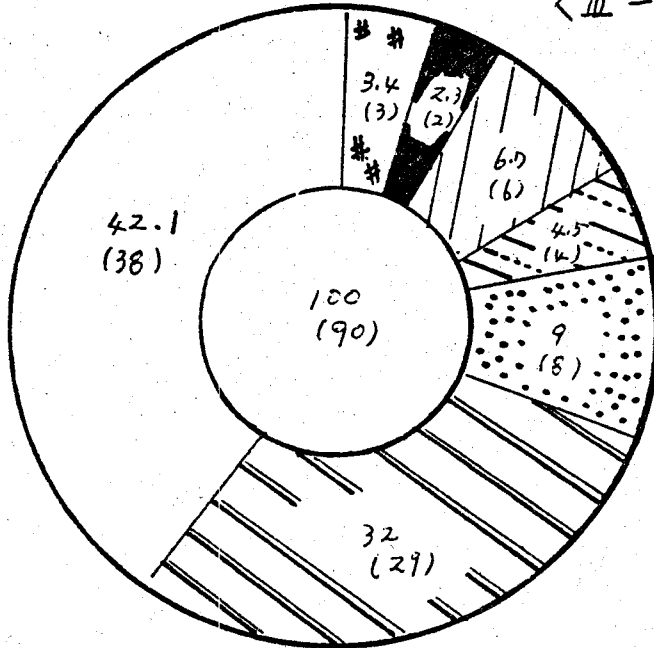
- 1953年 以前에는 없었던 것으로 나타남
- 時期別로 보아 託兒所 委託程度는 점차 增大되고 있으며
- 強制 委託보다 父母의 自由意思에 의한 委託이 支配的인 形態로 나타나고 있음.

2) 託兒所, 幼稚園 教育內容

- 金日成 偶像化, 忠誠心 鼓吹, 唯一思想을 비롯한 共產主義理念 注入이 主內容을 이루며, 此外 集團意識의 培養 및 노래, 춤등을 가르치고 있음.
- 1960년부터는 金日成 偶像化, 忠誠心 鼓吹가 특히 強調되었고 1970년에 와서는 金日成 偶像化, 共產主義理念을 注入시키기 위한 노래, 춤, 戰爭놀이의 비중度가 增加되고 있음.

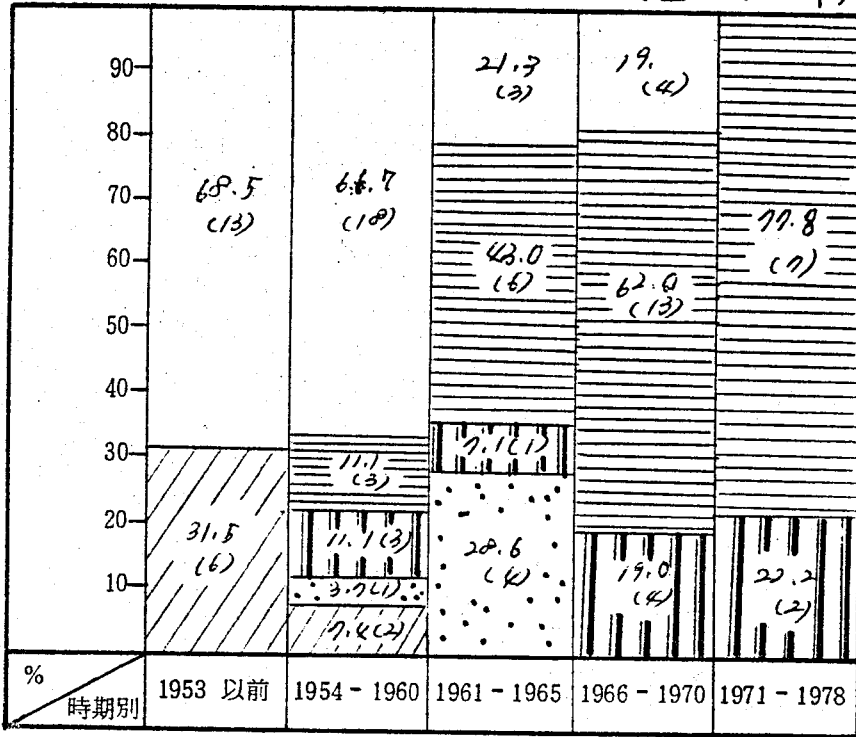
幼兒科 託児所 委託程度


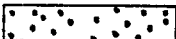

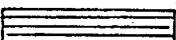

<Ⅲ-23-가>



※註, 無應答의 比率이 높은 것은 託児所制度가 定着化 되기 以前 時期에 該當 되는 應答者數가 많기 때문임.

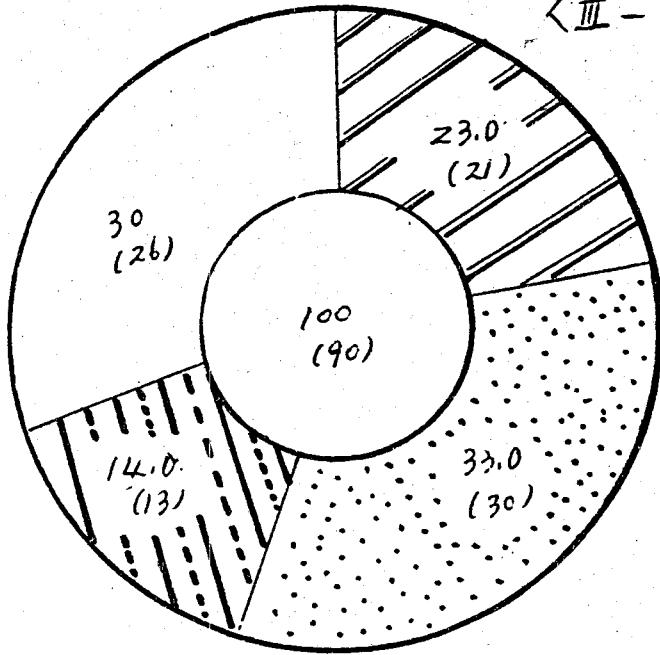
< III - 23 - 4 >



-  其他
-  0 ~ 40%
-  41 ~ 80%
-  81 ~ 100%
-  無回答

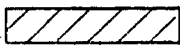
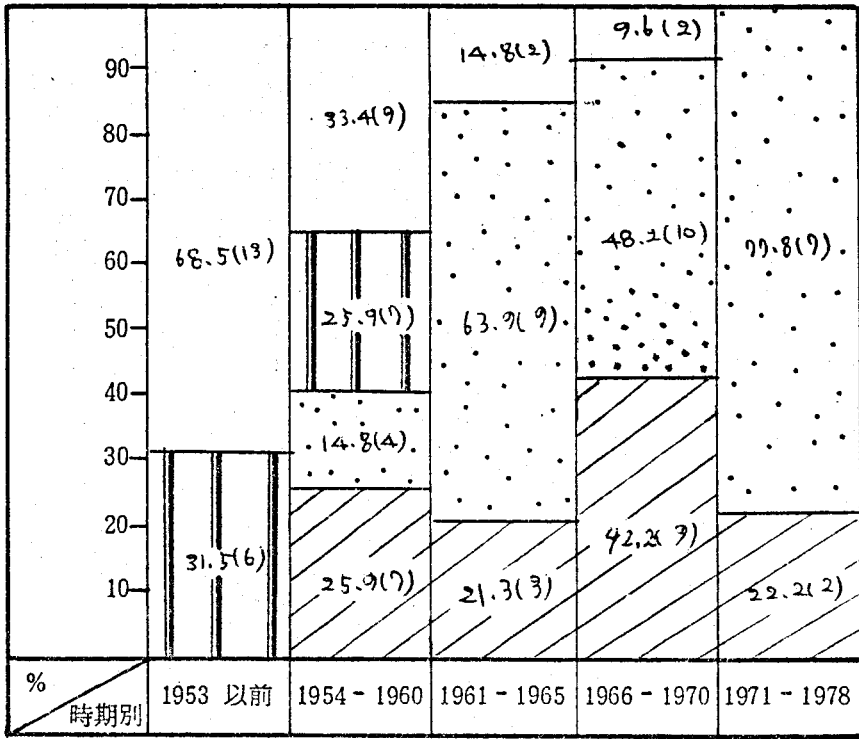
幼兒의託兒所委託決定

<Ⅲ-24-가>

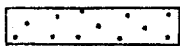


- 強制的으로 맡긴다 註, 無死答과 모르겠음의
 - 自由意思에 따른다 比率이 많이 차지하는
 - 모르겠다.
 - 無死答
- 것은 託兒所制度가 擴大實施되기 以前 時期의 越南省가 많기 때문임.

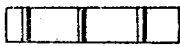
< Ⅱ-24-4 >



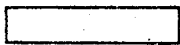
強制的으로 말건다



自由意思에 따른다

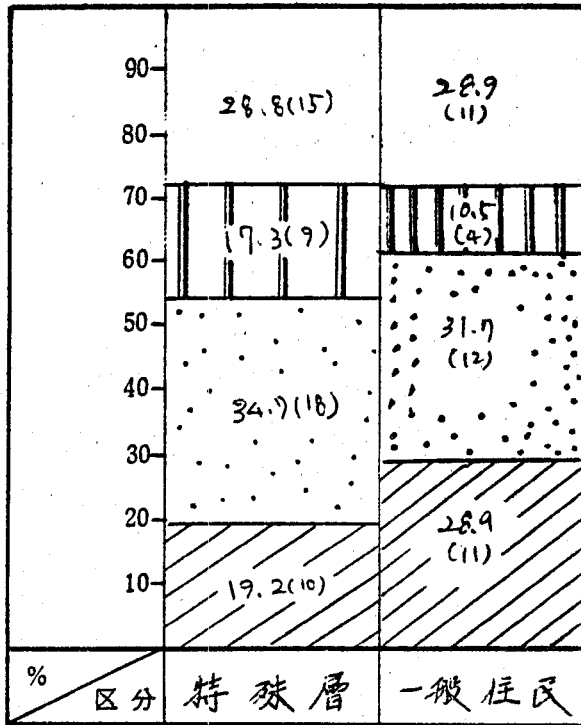



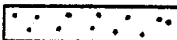


모르겠다



無回答

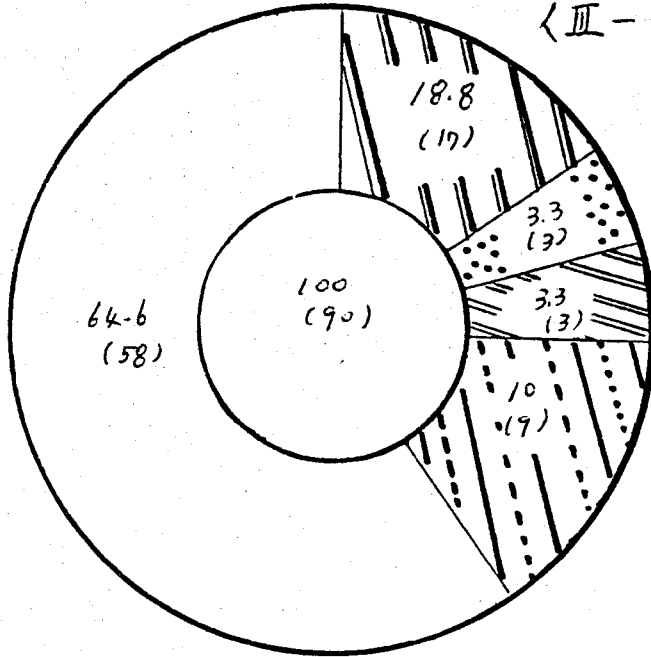
< Ⅲ - 24 - 다 >


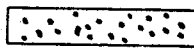
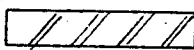
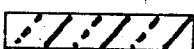



-  豫判적으로 말긴다
-  自由意思에 따른다.
-  모르겠다
-  無回答

託兒所教育內容

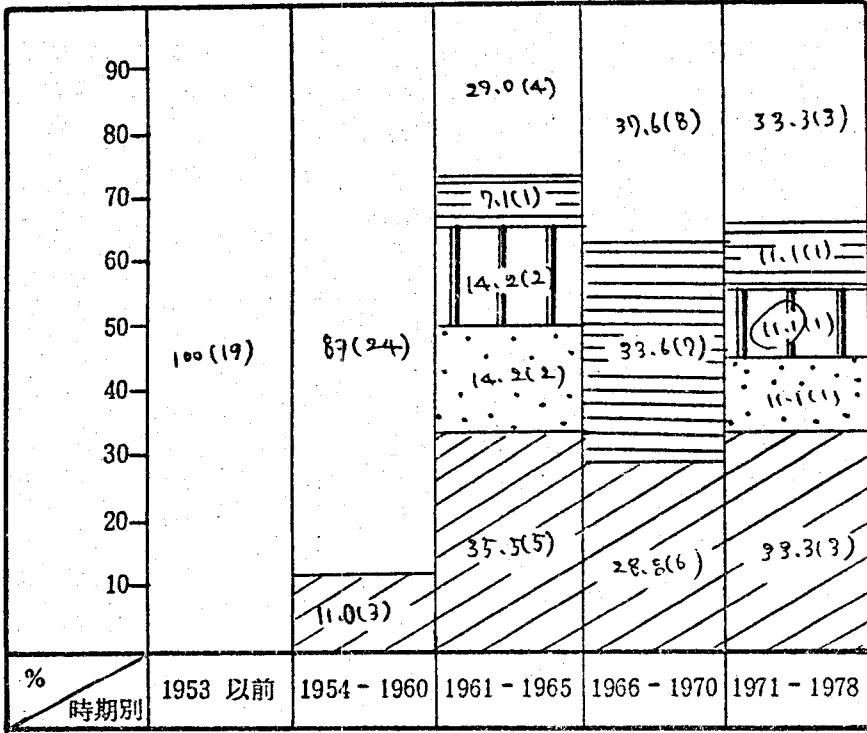
〈Ⅲ-25-가〉

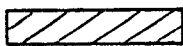
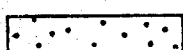

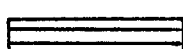
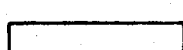


-  金日成偶像化, 共產主義 理念
-  集團意識 培養
-  對韓美 敵視心 鼓吹
-  노골, 음 其他
-  無回答

註, 無回答이 많은 比率을 考외한 것은 託兒所 制度가 定着되기 以前 越南者數가 多다는 것과 回答者들이 託兒所 教育內容에 因해 無關心했기 때문임.

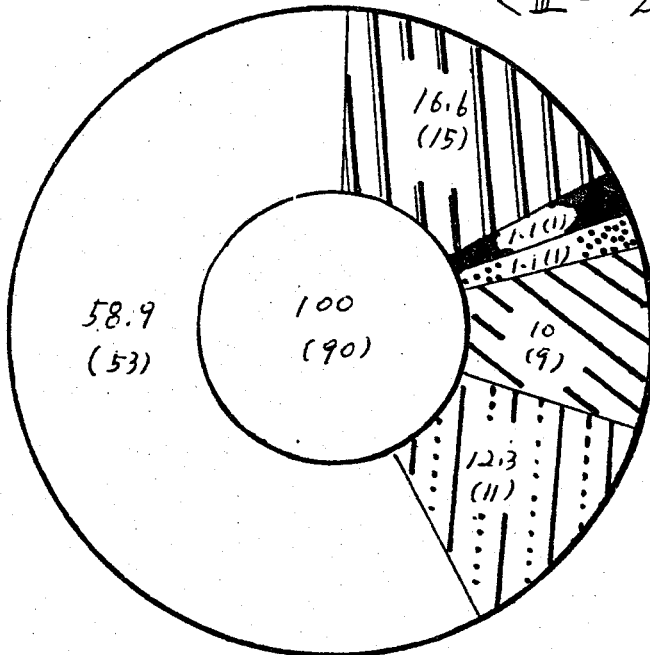
<Ⅱ-25-4>



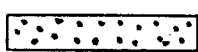
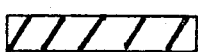

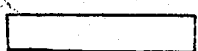


-  金日成偶像化, 共產主義理念
-  集團意識 培養
-  對韓美敵視心 鼓吹
-  上課, 其他
-  無回答

幼稚園 教育 内容

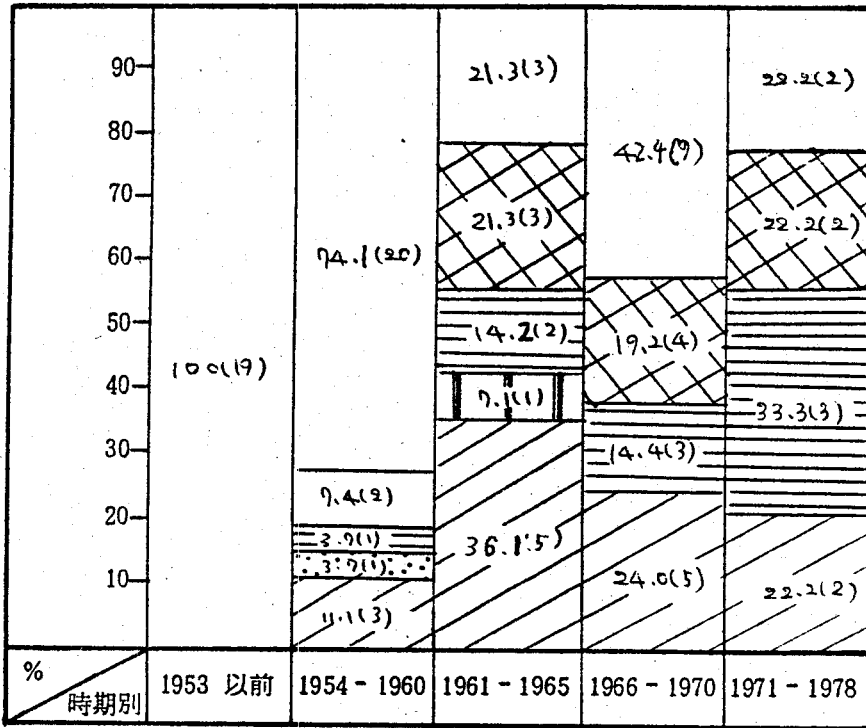
<Ⅲ-26-가>


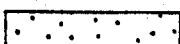
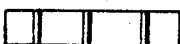





-  全日成 偶像化, 忠誠心 鼓吹
-  集團意識 培養
-  對韓美 敵愾心 鼓吹
-  上列 各 戰爭을 이, 其他
-  共產主義 理念 注入
-  無回答

註, 無回答의 比率이 많은것은 幼稚園制度가 擴大 實施되기 以前의 越南者가 많고 回答者들이 幼稚園 教育内容에 대해서 無關心 했기 때문임

< Ⅲ - 26 - 4 >



-  金日成 偶像化, 忠誠心 鼓吹
-  集團意識 培養
-  對韓美 敵愾心 鼓吹
-  工作 苦, 戰爭 苦, 其他
-  共產主義 理念 注入
-  無 應 答

(2) 靑少年生活

1) 靑少年들의 团体活動內容

- 少年團에는 9 - 13 才에 해당하는 人民學生과 高中學生의 一部가 加入되어 있으며, 思想教育, 組織生活 宣傳煽動事業이 主된 活動內容을 이룬다.
- 社勞育은 滿 14 才~滿 27 才에 該當되는 高中學生, 敎員大學生, 一般大學生의 大部分이 加入되어 있으며 社勞育 活動內容 역시 金日成 偶像化, 金日成 唯一思想, 共產主義 階級敎養등을 包含한 思想教育和 組織生活 宣傳煽動事業에 관한 것이 大部分을 차지하고 있음.

2) 靑少年들의 異性交際 및 對話內容

- 異性交際は 드물게 있는 정도 (27.8 %) 이며 時期別, 地域間의 差異가 별로 없음.
- 對話의 內容은 全時期를 通해 비슷한 樣相을 나타내고 있는 바 周邊事件에 대한 關心度가 가장 높으며, 자신의 個人問題, 金日成 敎示가 相當한 比重을 차지하고 있음.

3) 党的 敎示와 父母 意思間의 不一致 경우 意思 決定要因

- 党的 敎示쪽을 따르는 것이 절대적 (60-70 %) 이며 父母 意思에 順應하는 경우는 극히 적으며 그나마 '70 年以後는 父母意思의 影響力이 完全히 喪失한 것으로 나타남.

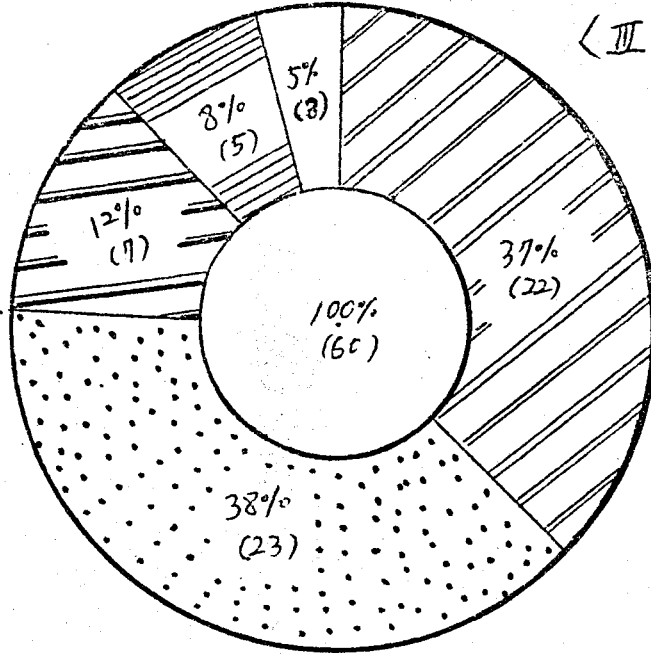
- 이는 北韓社會가 家庭에 대해 党이 절대적 優位性을 確保하고 있음을 말해줌
- 農村地域보다 都市에서 党의 順從度가 낮음.




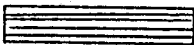
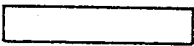
4) 一般大學 入學節次

- 党의 推薦, 成分, 党性이 重視되며
- 특히 試驗節次에서 思想性 面接이 가장 決定的이라는 점은 特記할만한 事實임

少年團員 活動內容

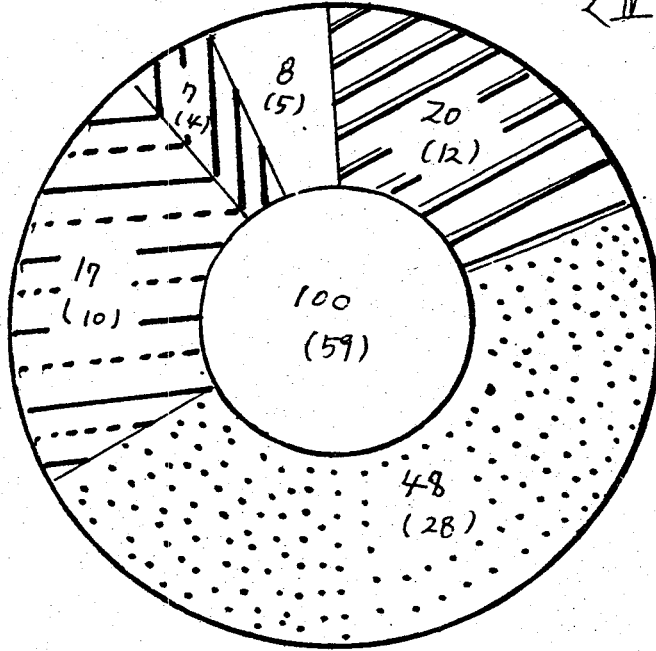
< Ⅳ-29 >


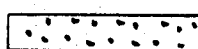
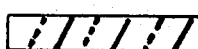
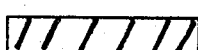
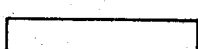


-  組織生活
-  思想教育
-  宣傳煽動
-  自我批判
-  其他

社勞青斗 活動內容

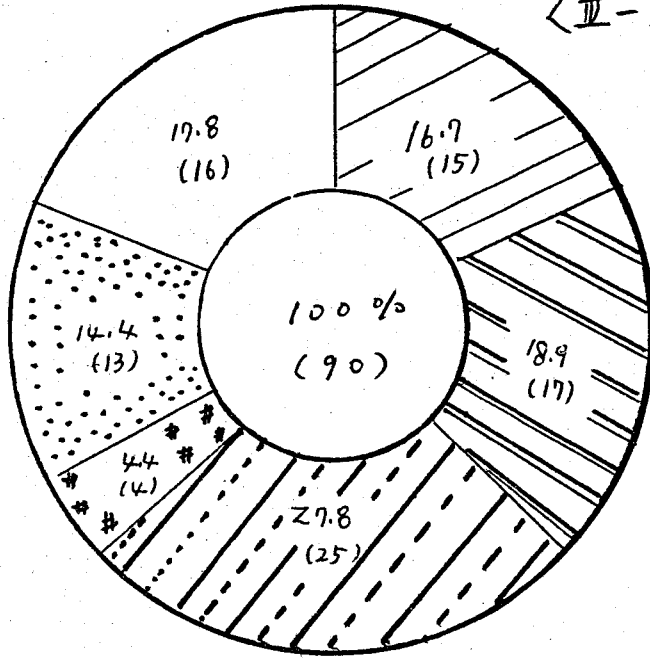
< II - 28 >



-  組織生活
-  思想教育
-  宣傳煽動
-  自我批判
-  其他

靑少年들의 異性交際

<Ⅱ-29-가>



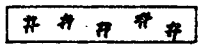
흔히 있다.



보통 있다.



드물게 있다.



없다

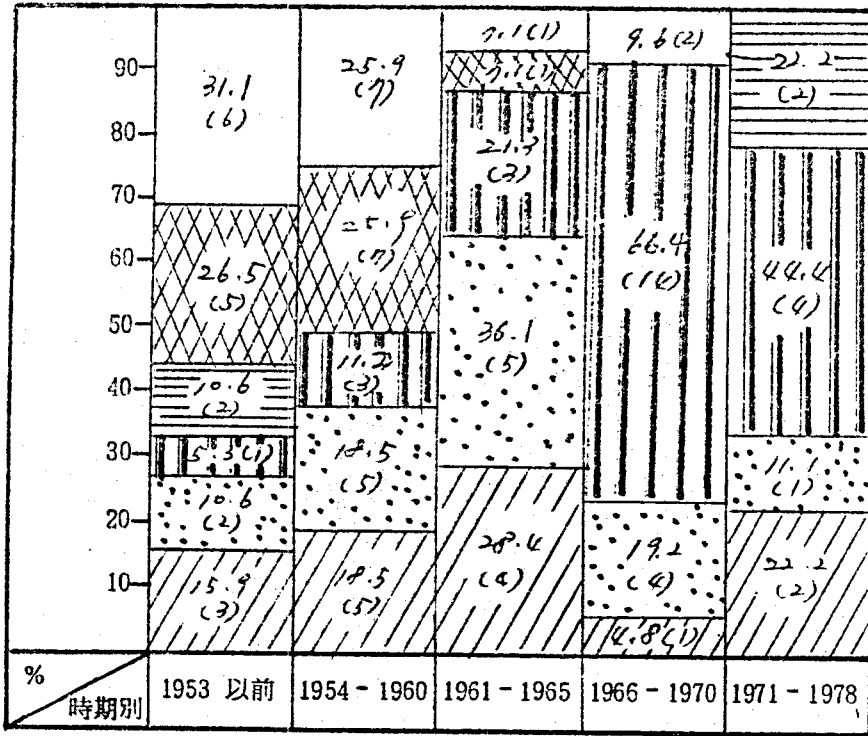




모르겠다



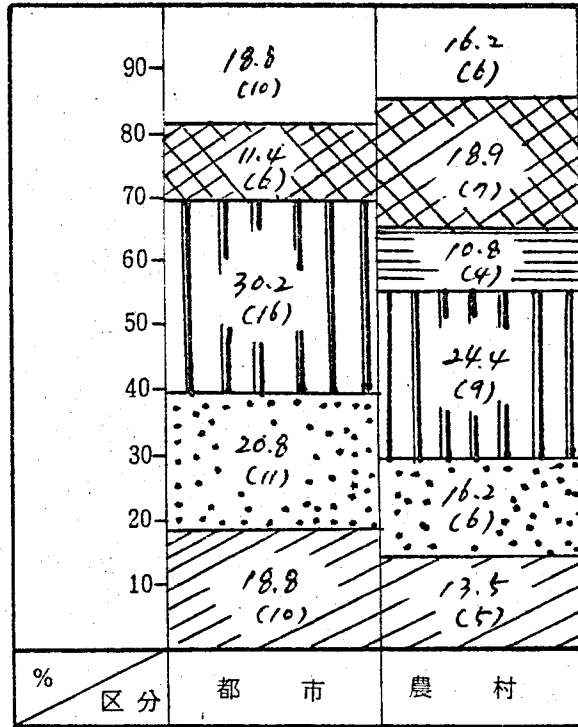
無應答


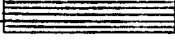

(III-29-4)



-  흔히 있다
-  보통 있다
-  드물게 있다
-  없다
-  모르겠다
-  無 應 答

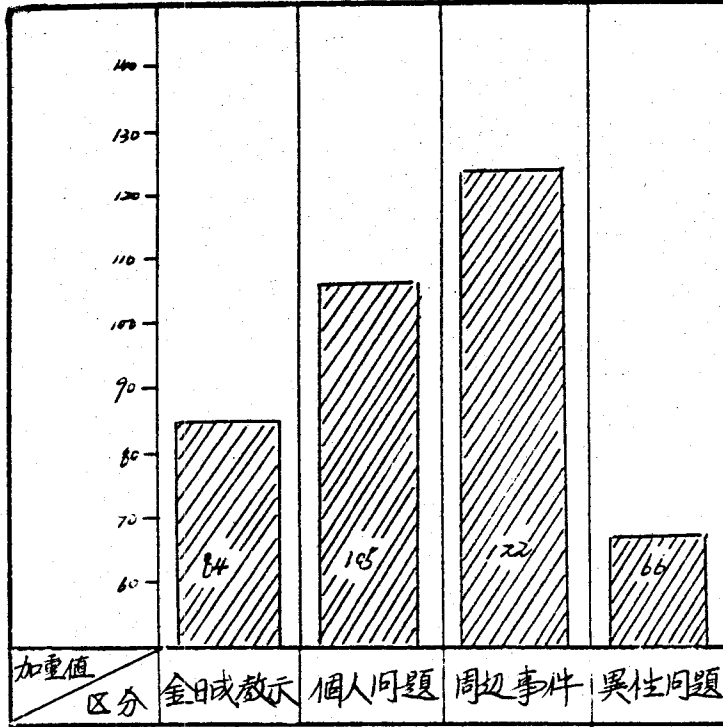
<Ⅲ- 29- ㉔>



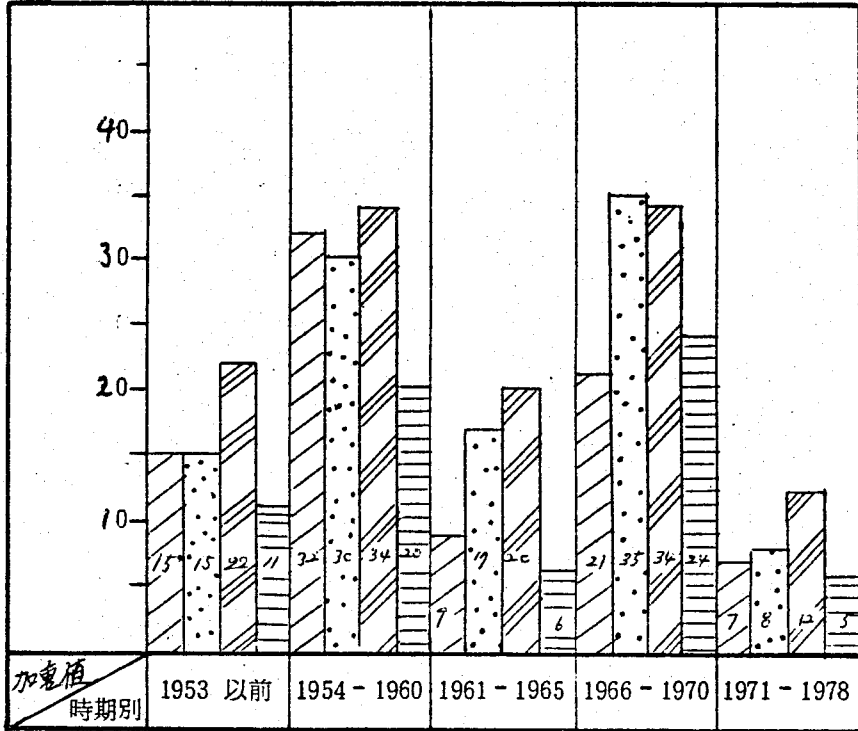
-  흔히 있다
-  보통 있다
-  드물게 있다
-  없다
-  모르겠다
-  無 應 答



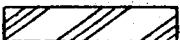
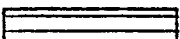
青少年對話內容

<II-30-7>

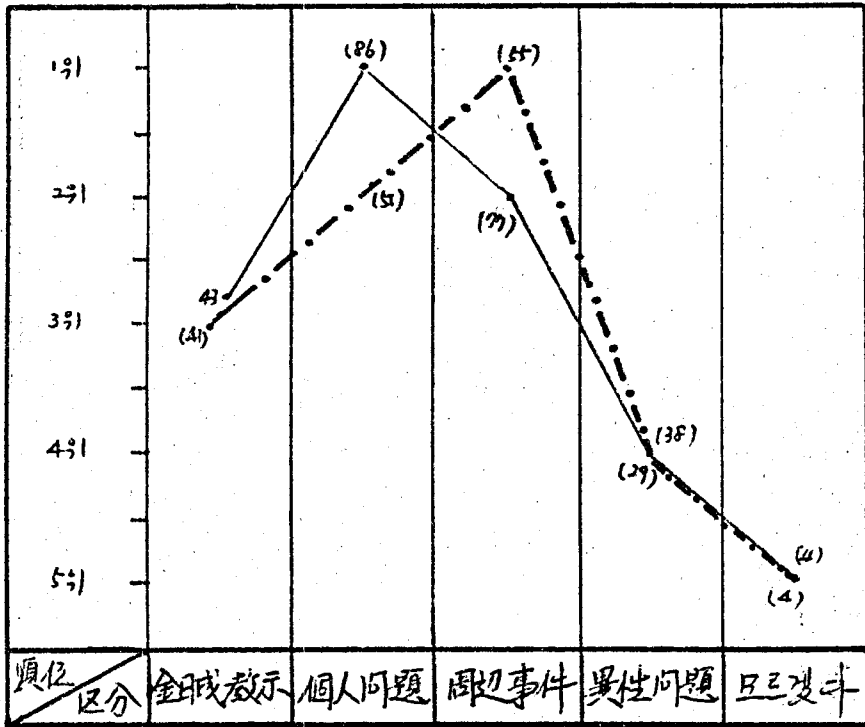


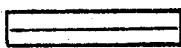

<Ⅱ-30-4>



-  全日成 敬示
-  個人問題
-  周辺事件
-  異性間 關係事項

<Ⅱ-30-4>

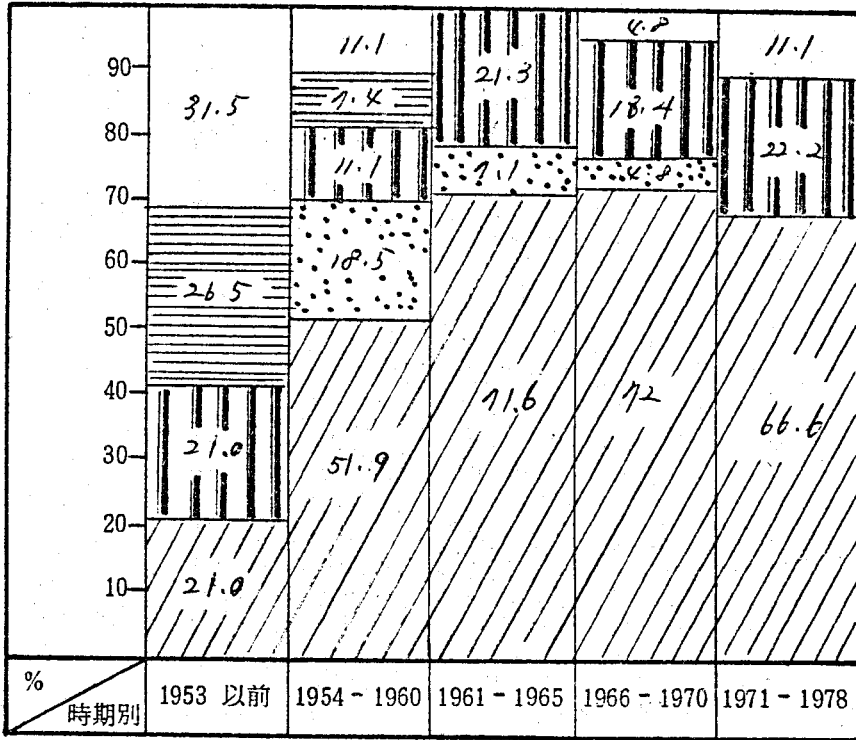





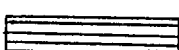

 特殊層
 一般住民

註) () 안의 數字는 加重值임.

青少年的意思決定要因

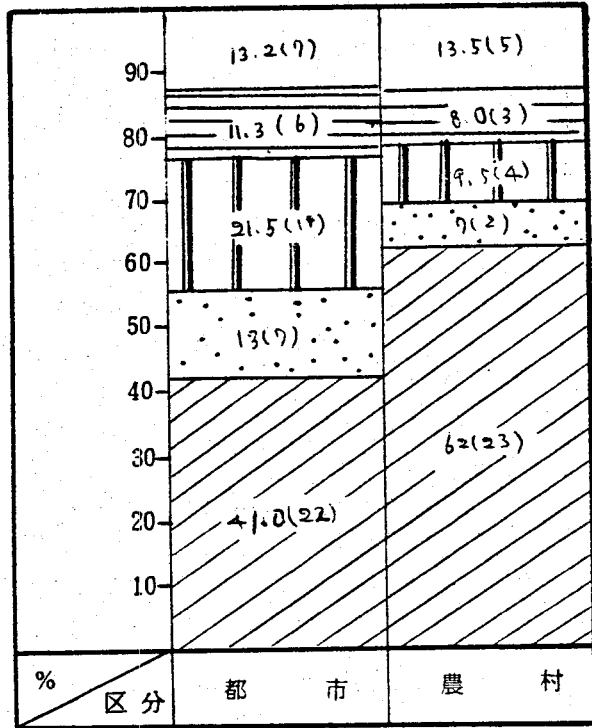
< Ⅱ-31-가 >



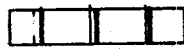
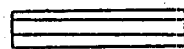
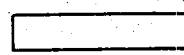


-  党的 指示
-  父母의 意思
-  自身의 判断
-  모르겠다
-  無 應 答

註) 青少年의 意思決定은 一般적으로 「党的 指示」이
 이를 이루어지고 있으며 특히 1970년부터는
 父母의 意思에 의한 影響力이 完全히 喪失된
 것으로 나타났다

<Ⅲ-31-4>

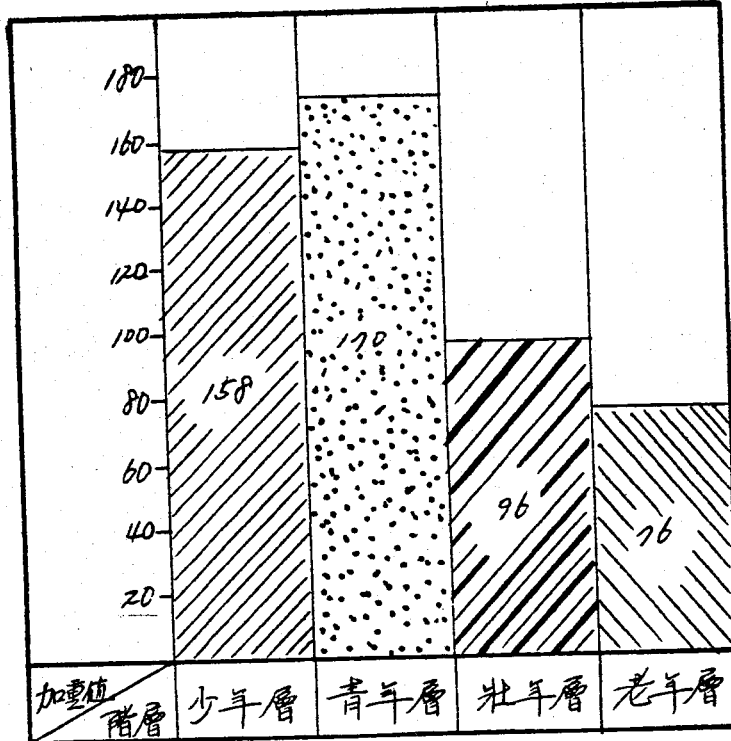


-  虎의 指示
-  父母의 意思
-  自身の 判断
-  모르겠다.
-  無 應答

註) 青少年의 意思決定에 있어서 農村地域은 都市에 比해 虎의 指示에 따르는 傾向이 더 強且 都市에서 農村에 比해 自身の 判断力이 더 強이 作用하고 있음

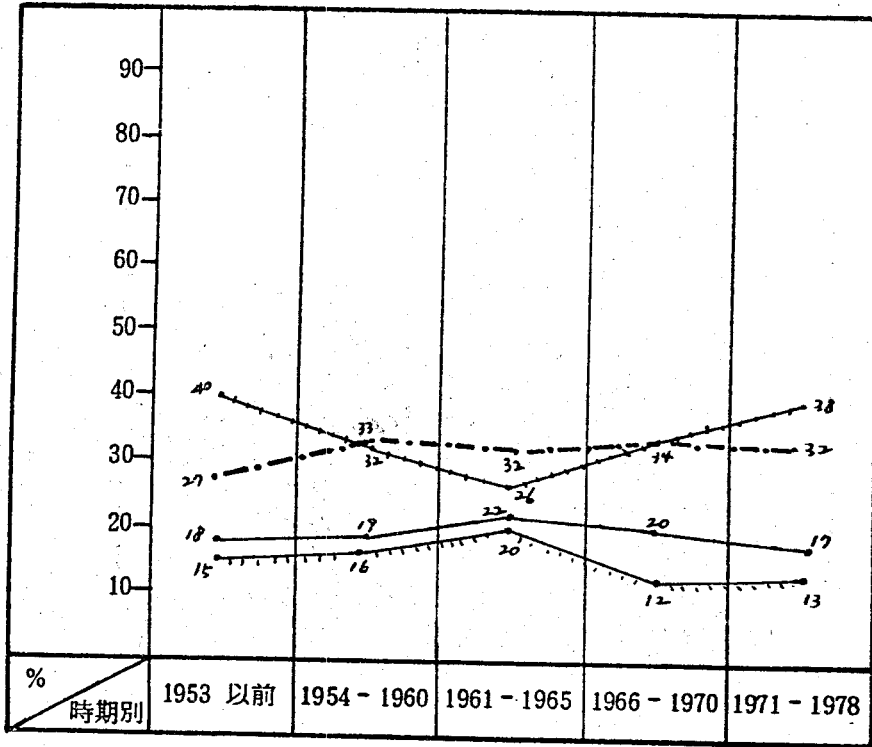
青少年層의 共產黨에의 忠誠度

<Ⅱ-32-가>



註) ① 應答者 79名에 대한 順位集計
 ② 共產黨에 대한 忠誠은 青年層에서
 가장 強하고 그다음이 少年層이고
 老年層에서 가장 弱하게 나타나고
 있음.

<Ⅳ-32-4>



- 少年層
- 青年層
- 壯年層
- 老年層

註, 應答者 79 名에 대한 順位 点数의 集計를 百分率로 表示한 것임.

一般大学入学節次

<Ⅲ-33>

時 期	共 通 事 項	特異事項 (少数者記載事項)
53 年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 党의 推薦 ○ 出身学校長의 推薦 ○ 成績, 成分 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成分証明
1954-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所属学校長의 推薦 ○ 軍除隊時 該当軍部隊長의 推薦 ○ 成分, 党性, 成績 ○ 入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試験時 思想性 面接이 가장 決定的
1961-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 党의 推薦 ○ 出身学校長의 推薦 ○ 入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学志願書 提出, 区域人民委員會 教育部 審査通過
1966-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身学校長의 推薦 ○ 党의 推薦 ○ 大学生 推薦委員會에서 審査 ○ 成分, 成績 ○ 入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等学校卒業後 職場과 農村에서 2 - 3 年間 労働에 從事한後 進学
1971- 現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成分, 成績 ○ 出身学校長 推薦 ○ (市, 郡) 大学生推薦委員會에서 成分調査및 審査 ○ 入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社勞青委員長 推薦

(3) 宗教彈壓

- 1946年 北傀 共產政權이 들어서면서 宗教를 彈壓하기 始作하여 거의 말살시켰으나 54-58年間에는 다시 地下에서의 陰性的인 宗教行爲까지 完全히 말살시켰음.
- 大部分의 宗教人들은 反動分子로 烙印 찍혀 勞動黨이나 公職에서 逐出되었으며, 敵對階層으로 烙印 찍혀 아오지炭鉞 등 強制 勞役場으로 보내어짐.
- 宗教를 完全히 背反한 “改倭人事”들에 한해서 一般勞動者 대우를 하는 程度임.
- 그럼에도 不拘하고 62-63年까지 農村에서 秘密宗教行爲의 事例가 있었음.
- 한편 宗教團體의 財産 特히 教會나 禮拜堂은 託兒所, 病院 官公署, 倉庫, 會館, 劇場 따위로 바뀌었으며 寺刹은 休養所로 使用되나 一部는 原型대로 保存되고 있음.

宗 教 弾 圧 時 期 및 反 応

< Ⅲ = 34 = 가 >

時 期	宗 教 弾 圧 時 期	反 応
53 年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蘇聯軍 駐屯과 勞動黨 創設後 ○ 1946 年 以後 ○ 1951 ○ 지용순 牧師 순교 以後 ○ 1948 以後 ○ 民主黨 事件, 天道教 事件 以後 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 越南하기를 顯한다 ○ 反共으로 擴大 ○ 無關心 ○ 宗教熱誠 倍加
1954-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金日成政權樹立後 規制 ○ 6.25 後 말살 ○ 解放後 繼續 彈壓하여 49-50 年에 말살 ○ 1946 年 中半에 禁止 ○ 1953 規制 ○ 1947 以後 規制 ○ 解放後 規制 ○ 1954-55 年 規制 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 反對不可能 ○ 울분 ○ 아쉬워함 ○ 打撃이 크다
1961-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 58 年以後 ○ 解放以後 	
1966-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1953 年 ○ 1957 年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非宗教人은 無反應 ○ 宗教人은 地下로 들

時 期	宗 教 彈 圧 時 期	反 應
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1958 年 ○ 6.25 以後 ○ 1956-58 年 ○ 1950 年 ○ 解放以後 	<ul style="list-style-type: none"> 어갔다 ○ 客觀的 態度
1971-現在	○ 58 年以後	○ 反應 좋다

<Ⅲ - 34 - 4>

地 域	宗 教 彈 圧 時 期	反 應
都 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1957 ○ 1958 ○ 6.25 ○ 56-58 ○ 8.15 以後 彈圧 6.25 以後말살 ○ 49-50 以後 ○ 1953 以後 ○ 政權樹立後, 1946 중반 ○ 지용순牧師 순교이후 ○ 1948 年 ○ 蘇聯軍 駐屯과 勞動黨 創設後 ○ 1951 以後 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 客觀的 態度 ○ 아쉬워함 ○ 反對不可能 ○ 普通反應 ○ 反共運動으로 擴大 ○ 無關心 ○ 熱誠倍加

地 域	宗 教 弾 圧 時 期	反 応
農 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1948年, 1958年以後 ○ 民主党事件 天道教事件以後 ○ 6.25以後, 解放後 ○ 1949-50年, 休戦以後 ○ 1954-55年, 政權樹立後 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 싫어함 ○ 아쉬워함

宗 教 人 出 身 의 処 遇

< Ⅲ - 35 - 가 >

時 期	處 遇
53 年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 極刑 ○ 反動分子 ○ 旅行, 進學, 獎學金授與에 不利 ○ 一般社會生活 公職 不自由 ○ 異色分子 ○ 公職에서 除外, 監視對象 ○ 勞動黨加入不可能, 左民黨, 청우당에만 加入 ○ 아편장이로 取扱
1954-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 彈圧 ○ 昇進不可能 ○ 入黨不可能 ○ 反動惡質分子로 몰아 重勞動職場이나 強制勞動收容所로 추출 ○ 繼續하면 학살 ○ 敵對階層으로 看做 ○ 一般勞動者 待遇
1961-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 投獄, 移住 ○ 虐待, 公開的 監視對象

時 期	処 遇
1966-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会進出 不可能, 投獄 ○ 아오지炭鉞으로 보낸다, 不信
1971-現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 監視對象으로 登錄하고 監視 ○ 処刑되는 境遇外에는 家族에게는 別差없음 ○ 基本階層에서 除外 ○ 학살

<Ⅲ-35-4>

地 域	処 遇
都 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 학살 ○ 基本階級에서 除外 ○ 監視 ○ 敵對階層으로 迫害 ○ 社会進出 不可能 ○ 投獄, 移住, 重勞動職場, 強制勞動收容所로 축출 ○ 入黨不可能, 公職에서 除外 ○ 旅行, 進學 獎學金授與 不利
農 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勞動黨 加入 不可能 조민당, 성우당에만 加入 ○ 反動, 監視 繼續하면 학살 ○ 一般勞動者 待遇, 公職 不可能 ○ 投獄, 移住, 아오지炭鉞으로 보낸다. ○ 処刑되는 境遇 外에는 家族에게는 別差別 없다. ○ 基本階層에서 除外

地下宗教行爲 目擊事例

<Ⅲ - 36 - 가>

時 期	事 例
53 年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 토굴등 은밀한 곳에서 礼拝 ○ 選挙 보이코트 ○ 個人的 親知 이웃끼리 礼拝
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1960 年, 宗敎人 家族의 秘密祈禱 ○ 集團的 行使 不可能, 個別的으로 믿음 ○ 応答者의 母親이 天主教 믿음
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本僑胞집에서 聖經, 仏敎書籍 目擊 ○ 居住地 近郊 보현사가 있는데, 새벽에 가끔 仏供 드리러 가는것 보았음
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黄海地方, 社勞靑員들중 秘密裡에 宗敎 믿은것을 會議때마다 批判해도, 끝까지 믿은者는 党學習 講義材料로 提起 ○ 벽지그림에 +가 나왔음을 알고 回收 燒却 - 1963 ○ 1962 年 平北 선천에서 基督教 說敎가 있었음을 들음
71-現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 越南者中에 目擊事例 없음

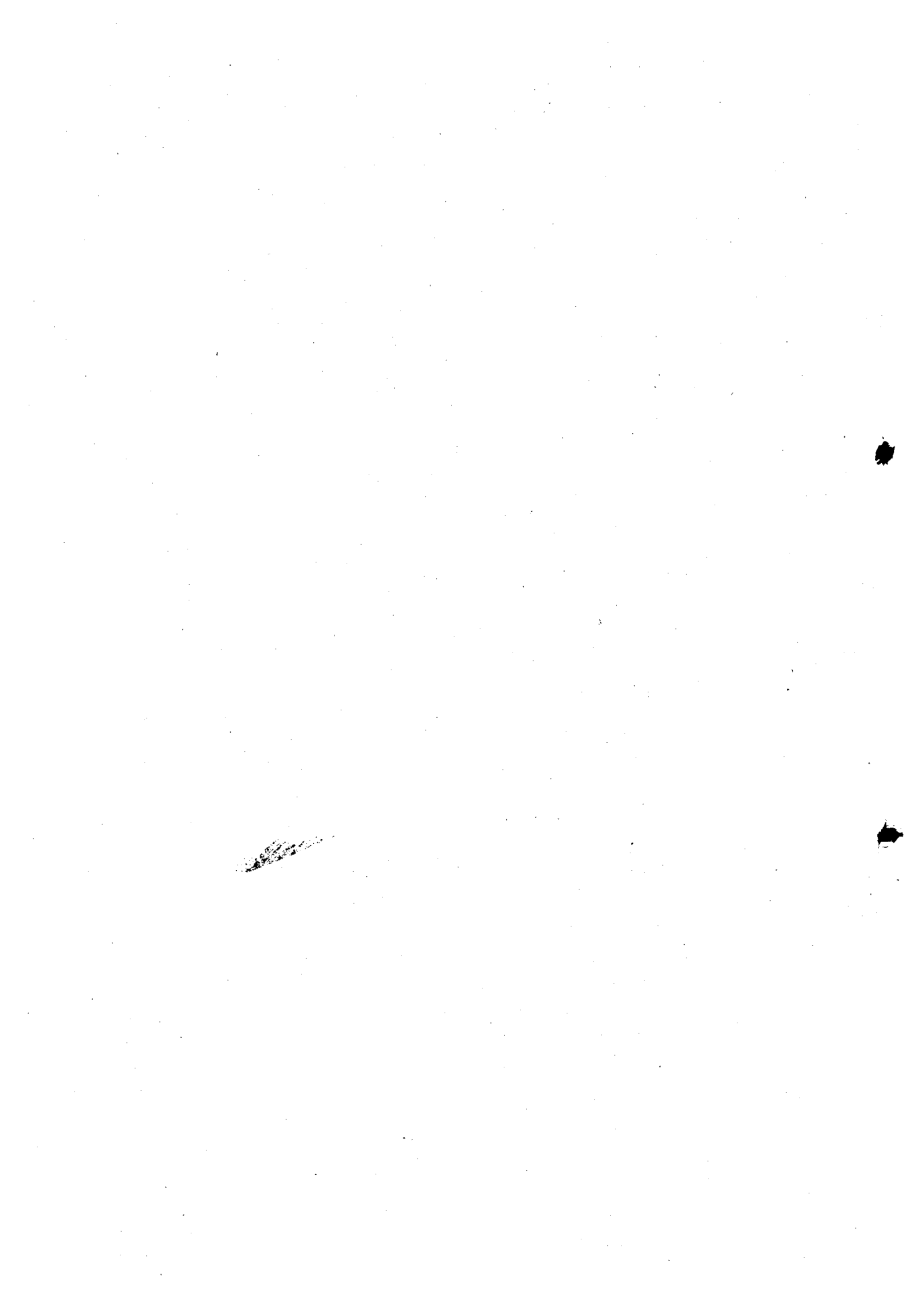
地 域	事 例
都 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1962年 平北 선천에서 基督教 說教가 있었음 ○ 日本 僑胞집에서 聖經, 仏教書籍 目擊 ○ 1960年 宗教人 家族의 秘密祈禱 目擊 ○ 応答者의 母親이 天主教 믿음 ○ 個人的 이웃, 親知끼리 礼拝 ○ 토굴등 은밀한 곳에서 礼拝 ○ 選挙 보이코트
農 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基督教人의 秘密礼拝 目擊 ○ 集團的 行使는 하지 못하고 個別的으로 믿음 ○ 居住地近郊 보현사에 새벽에 가끔 불공드리러 가는 것 目擊 ○ 벽지 그림에 + 그림 나왔음을 알고 回收 燒却 <p style="text-align: center;">- 1963</p>

過去宗教団体 財産利用実態

<Ⅲ - 37 - 가>

時 期	利 用 実 態
53年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保存 ○ 農場倉庫, 公共建物로 転用 ○ 50年 以前에는 건물이 利用, 6.25後 閉鎖 ○ 有名無実한 状態 ○ 土地国有化
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教会堂은 託兒所, 病院, 官公署로 使用 ○ 寺刹은 休養所로 使用 ○ 土地 建物 没収(1946年 土地改革 当時) ○ 寺刹 保存(宗教自由原則 維持를 위해 名目上) ○ 教会 없애고 土地 分配 ○ 土地는 協同農場土地로 建物은 민주선전실로 使用 ○ 寺刹은 平壤歷史遺物 保存委員會에서 管理
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寺刹保存
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寺刹保存 ○ 教会는 託兒所, 幼稚園, 青年會館, 倉庫, 精米所, 宣伝室, 劇場으로 使用 ○ 土地는 工場, 私用地로 所有
71-現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寺刹은 保存하여 安全部에서 管理 ○ 教会는 公會堂으로 使用하거나 破壤

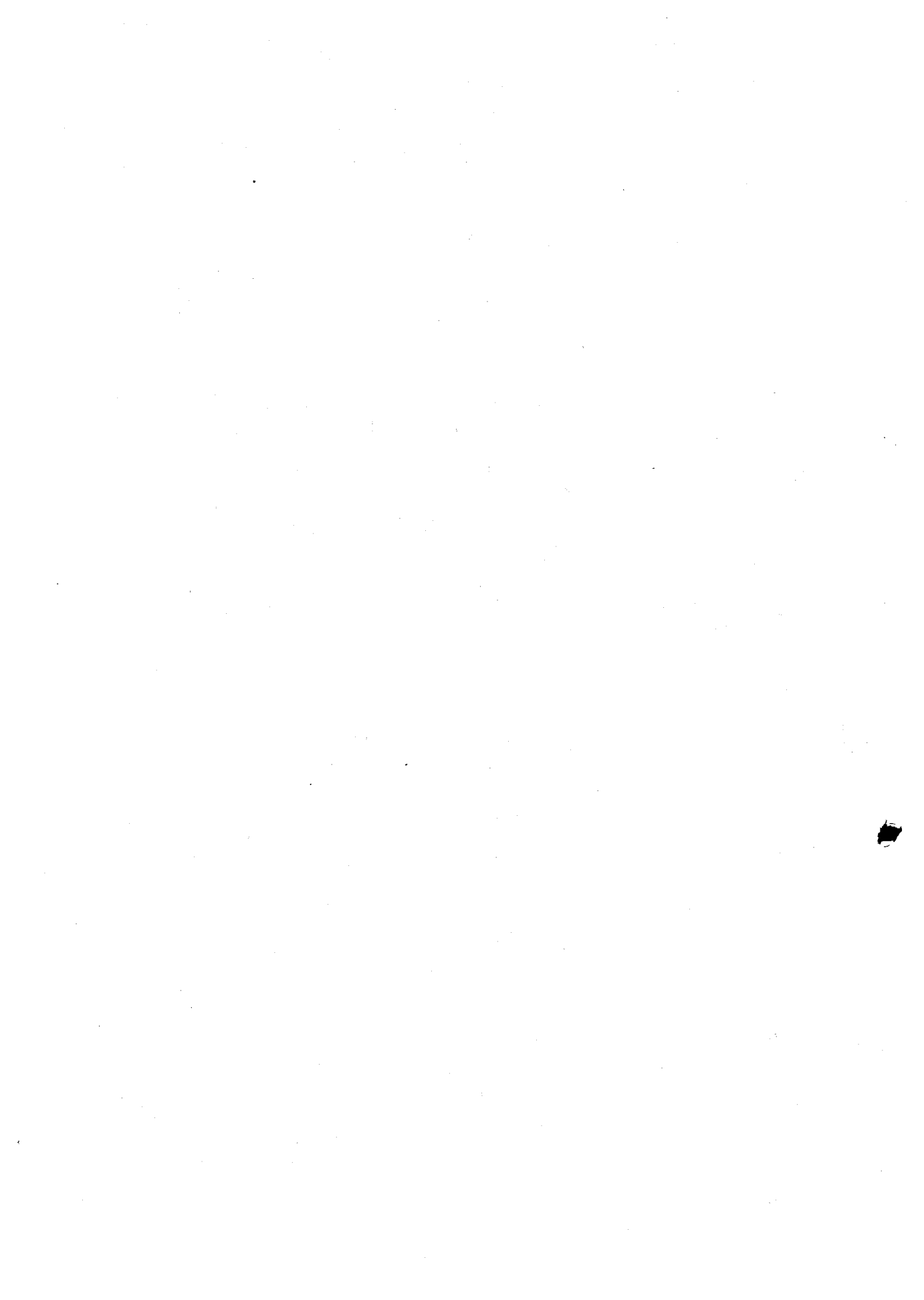
地 域	利 用 実 態
都 市	<ul style="list-style-type: none">○ 教会는 볼 수 없다○ 寺刹 保存, 或은 休養地로 使用○ 教会는 青年會館, 託兒所, 倉庫, 事務室, 宣伝室, 精米所로 使用○ 土地는 農場所有 國有化○ 寺刹 - 平壤歷史遺物 保存委員會에서 管理○ 50年 以前에는 전같이 利用 6.25 以後 閉鎖
農 村	<ul style="list-style-type: none">○ 寺刹 保存 (宗教自由原則 維持를 위해 名目上)○ 土地 國有化, 協同農場으로 使用○ 土地 分配○ 建物 - 民主宣伝室로 使用, 黨機關, 行政機關, 工場, 倉庫로 使用



라. 社 会 問 題

(1) 一 般 犯 罪

(2) 靑少年의 不滿과 犯罪



라. 社會問題

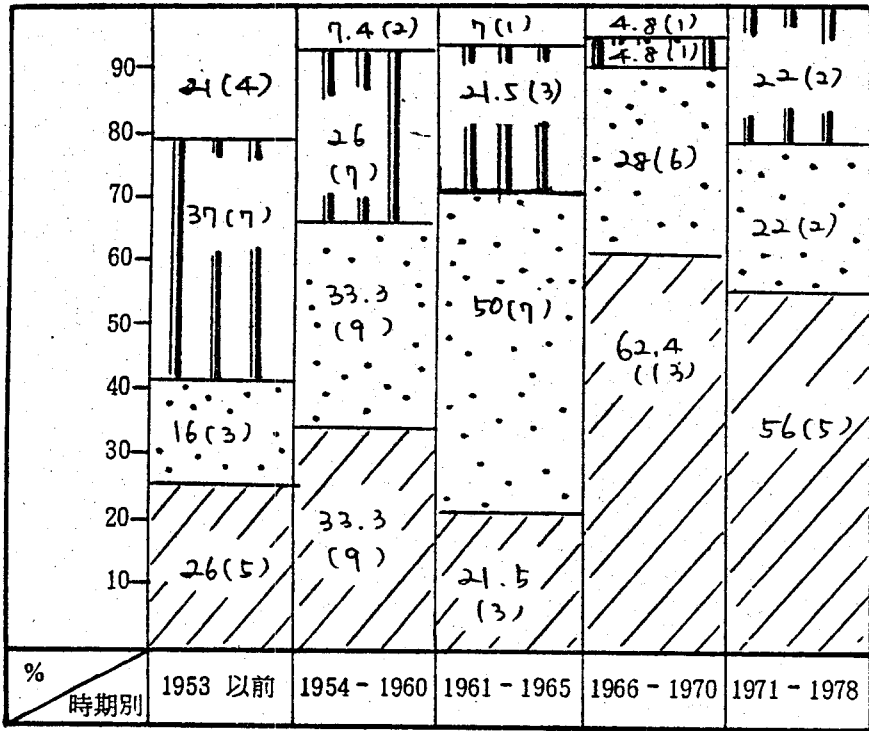
(1) 一般犯罪



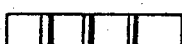
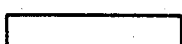
1) 犯罪類型

- 綜合商店 職員들의 橫領事件이 "자주 發生"하고 있으며 1966年以後 급격히 增加하고 있음
- 有婦女의 姦通은 "이따금 發生"하고 있으며 時期別로 별 차이가 없음
- 私生兒 發生은 "가끔 있었으나" 1970年 부터는 별로 없다는 意見이 많음
- 竊盜는 1970年前까지는 "이따금 發生"하였으나 그以後는 "자주 發生"하는 것으로 나타나고 있음

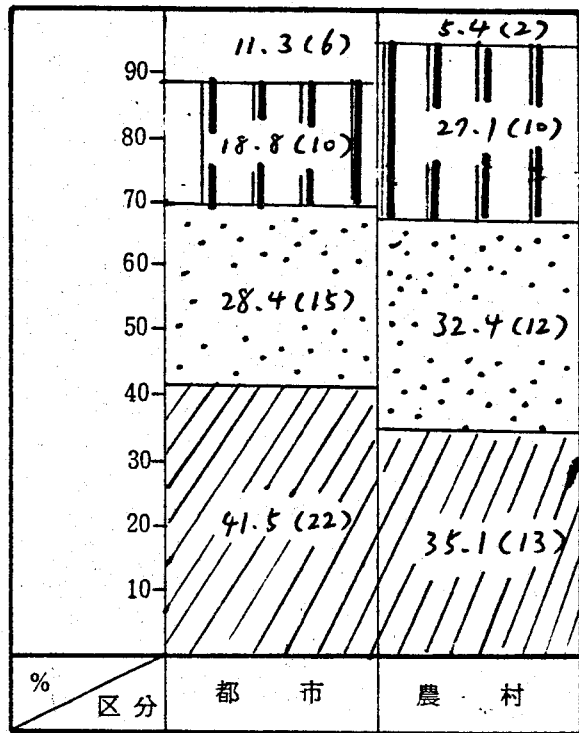
綜合商店 職員数 横線

< Ⅱ - 38 - 才 >

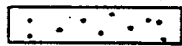


-  女子発生
-  小中高発生
-  正員
-  兼務者

< III-38-4 >



不予发生



其他者发生

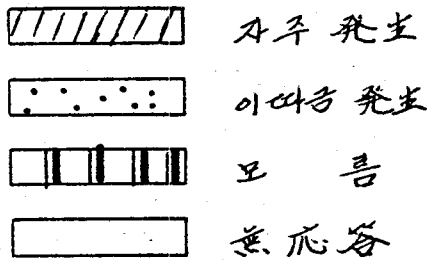
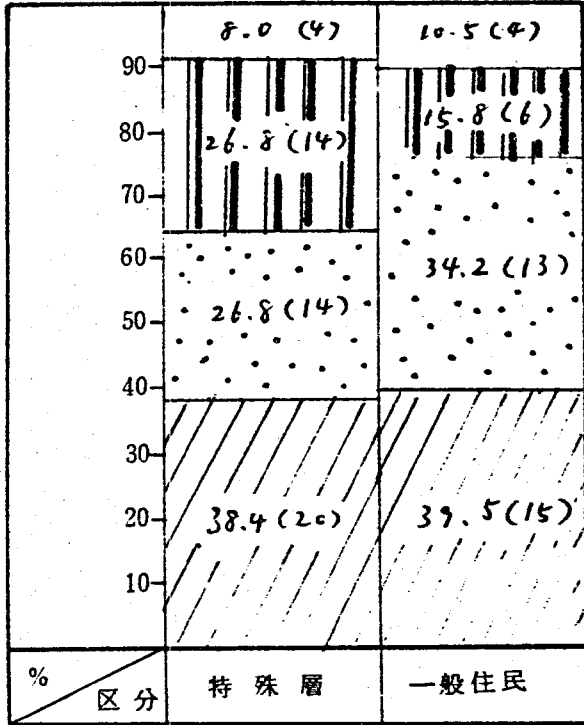


王言



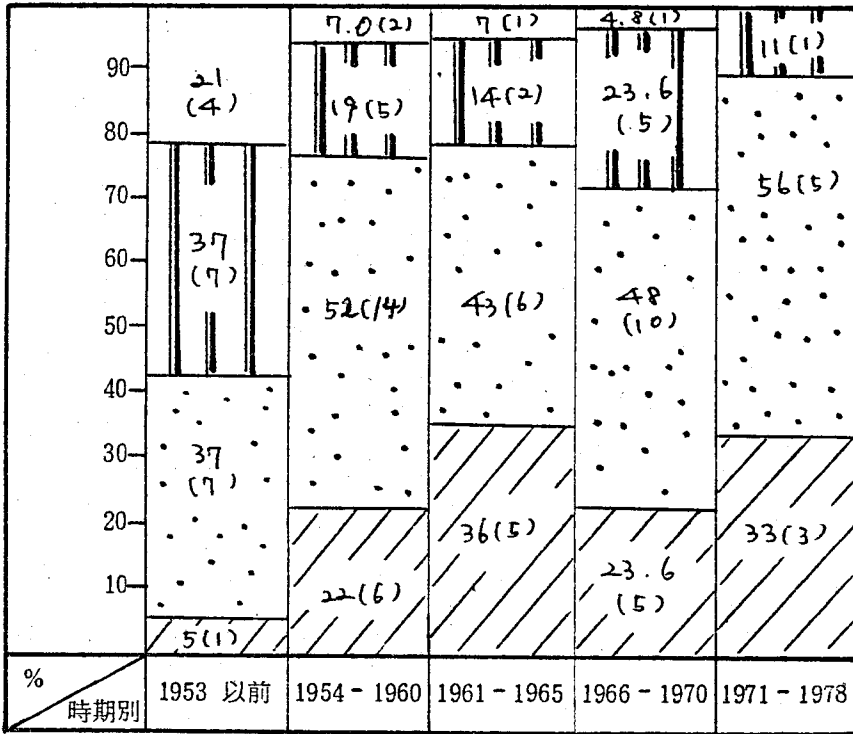
无应答

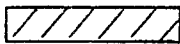
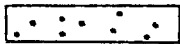

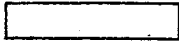
< III-38-4 >



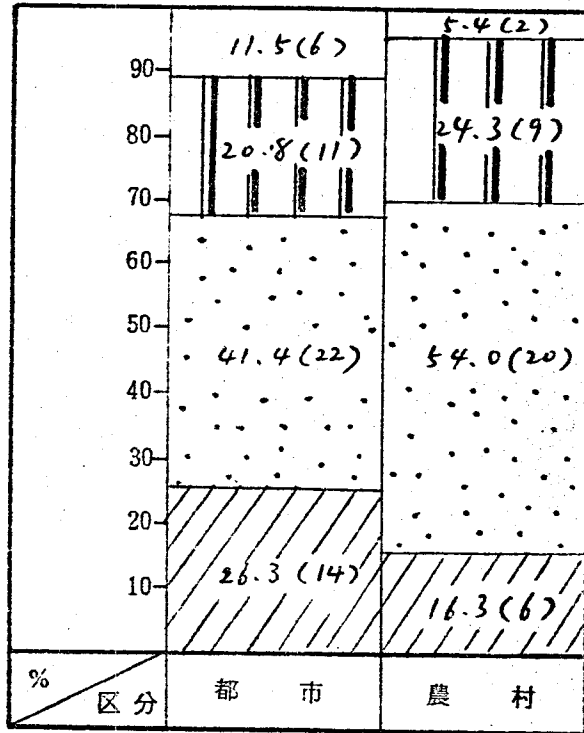
有夫女斗牙 姦通

< Ⅳ-39-㉮ >

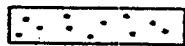


-  斗斗斗
-  斗斗斗
-  斗斗斗
-  燕元谷

<Ⅲ-39-4>



本平壳谷



小种子壳谷

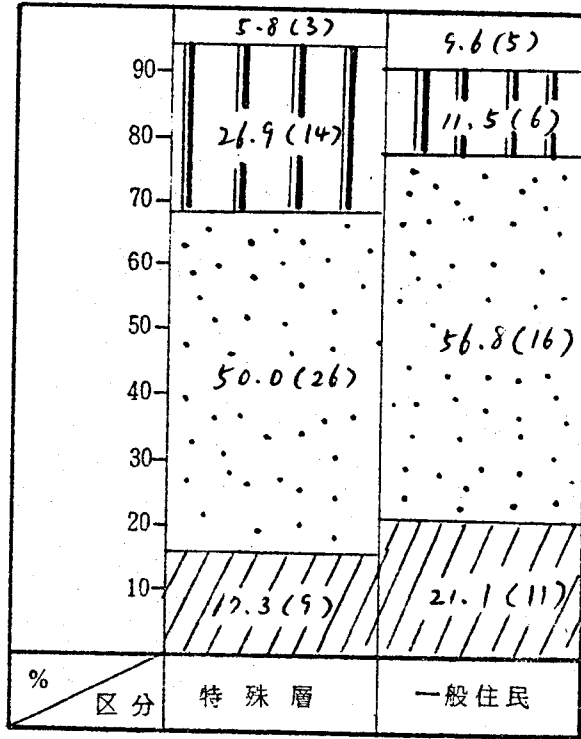



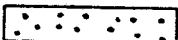


豆壳谷



无壳谷

< III-39-4 >

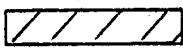
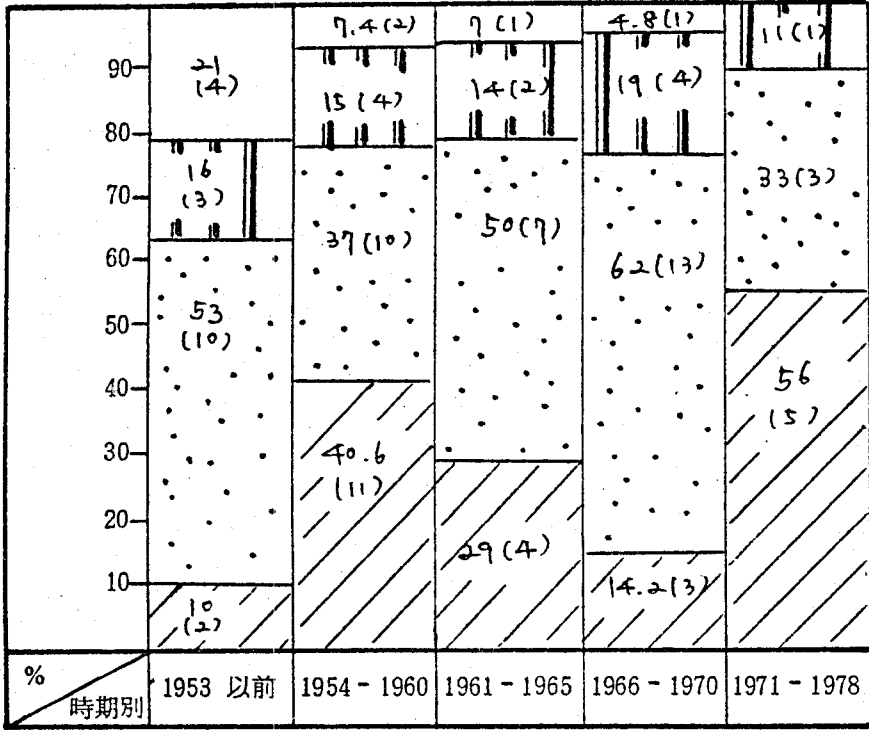


-  木子發生
-  木舌發生
-  且是口
-  無死谷

泥切

盜

<Ⅲ-40-ナ>



盗 発生



泥切 発生

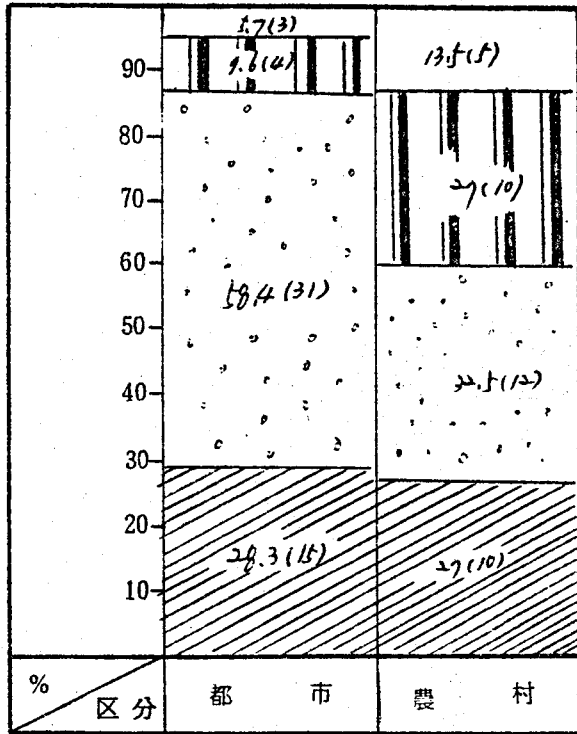


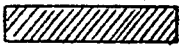
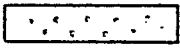

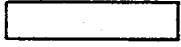
土急水



蒸気谷

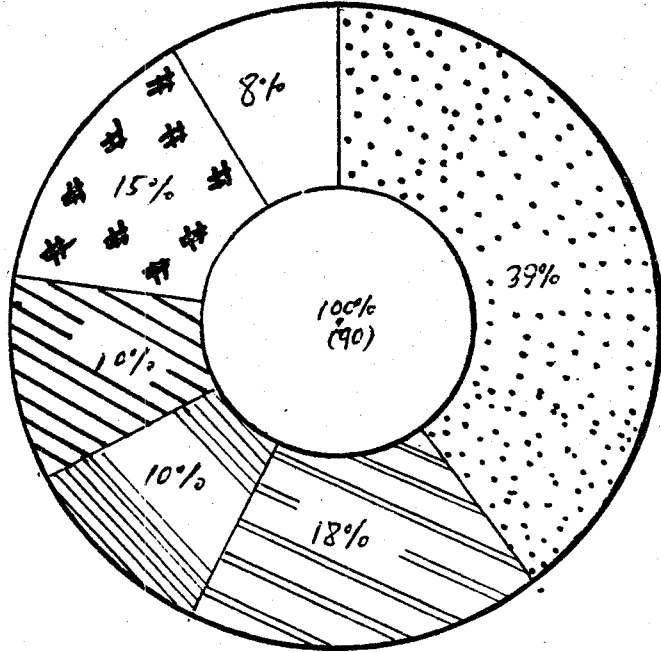
<Ⅱ-40-4>



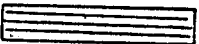

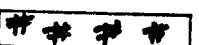
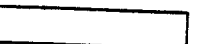


-  芥子発生
-  小体者発生
-  虫体者発生
-  無応答

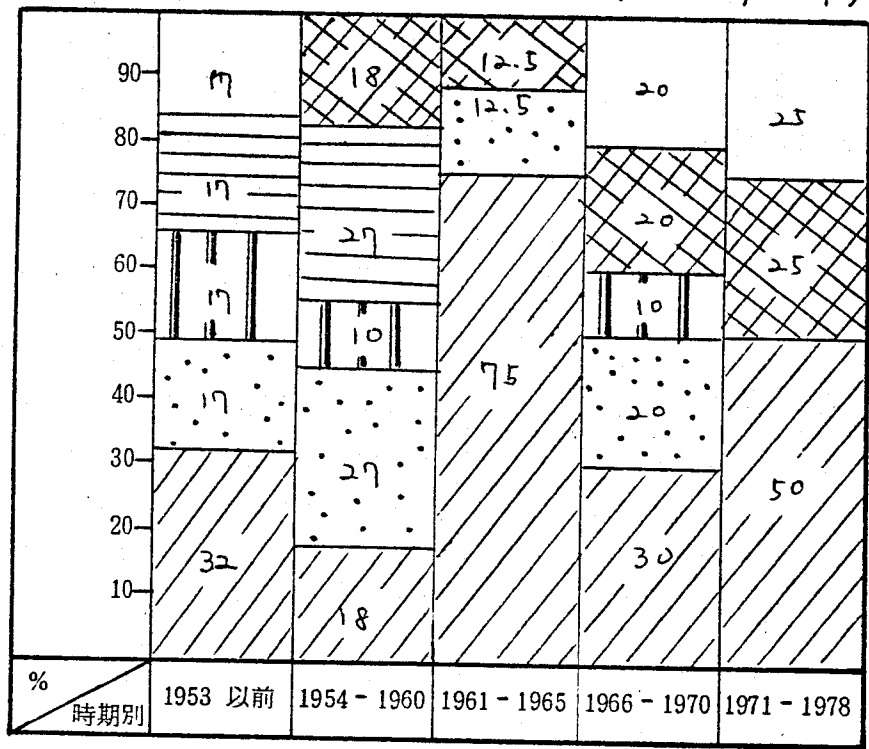
性犯罪原因

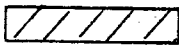
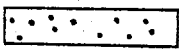
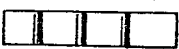
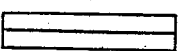

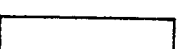
< Ⅲ-41-7 >



-  統制外 抑圧
-  男女共同作案
-  自由結婚の制約
-  女子過多
-  好奇心
-  其他

< III - 41 - 4 >



-  統制與抑壓
-  男女共同作業
-  自由結婚的制約
-  女子過多 註 其他如 自暴自棄、性教育不足
-  好奇心 避婚案的公開的叛徒等
-  其他 応答は又

政治學習 不參者制裁措施

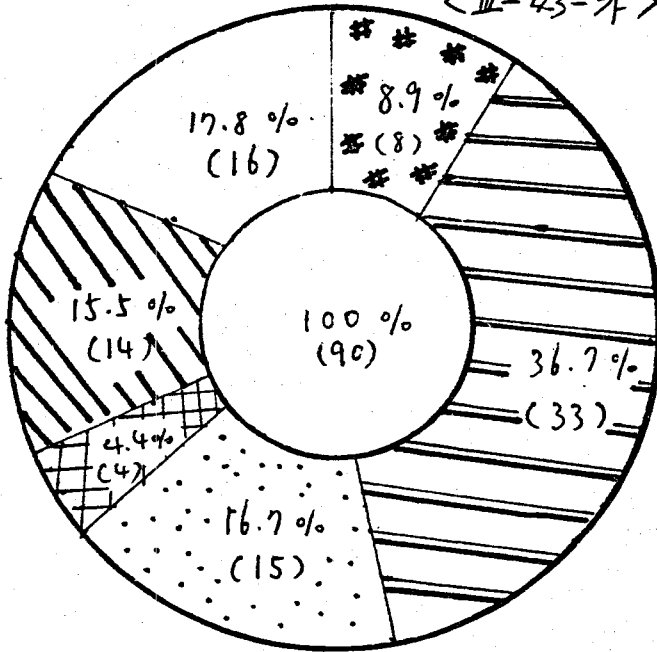
<Ⅲ-42>

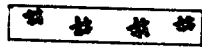

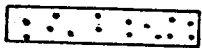


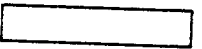
時 期	內 容
1953 年以 前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 反動分子 ○ 自我批判 ○ 互相批判 ○ 昇進, 入學에 不利 ○ 落後分子로 取扱 ○ 경고, 견책 ○ 社會的 埋藏 ○ 監視對款
1954 ~ 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公開批判 ○ 移住 ○ 責罰 ○ 職場新聞, 壁報로 批判 ○ 출세 지장 ○ 追後教育 ○ 派遣努力勤員에 우선 ○ 重勞動部署로의 轉出措置 ○ 強制勞動收容所로 移住 ○ 組織內 권리 박탈 ○ 엄중 경고, 除名処分

時 期	內 容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思想動向分析
1961 ~ 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自我批判 ○ 入黨에 지장 ○ 黨의 批判 ○ 處理, 肅清 ○ 監 視 ○ 출세에 지장
1966 ~ 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 批 判 ○ 勤勞者同盟에서 追放 ○ 過去出身成分 再確認 ○ 強 制勞動 ○ 1 차경고, 2 차엄중경고, 3 차검색출명 ○ 責罰, 反動 ○ 教養對象者로 烙印
1971 ~ 現 在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 批 判 ○ 警 告 ○ 食糧勞賃을 짜른다. ○ 따로 政治學習 ○ 處 罰

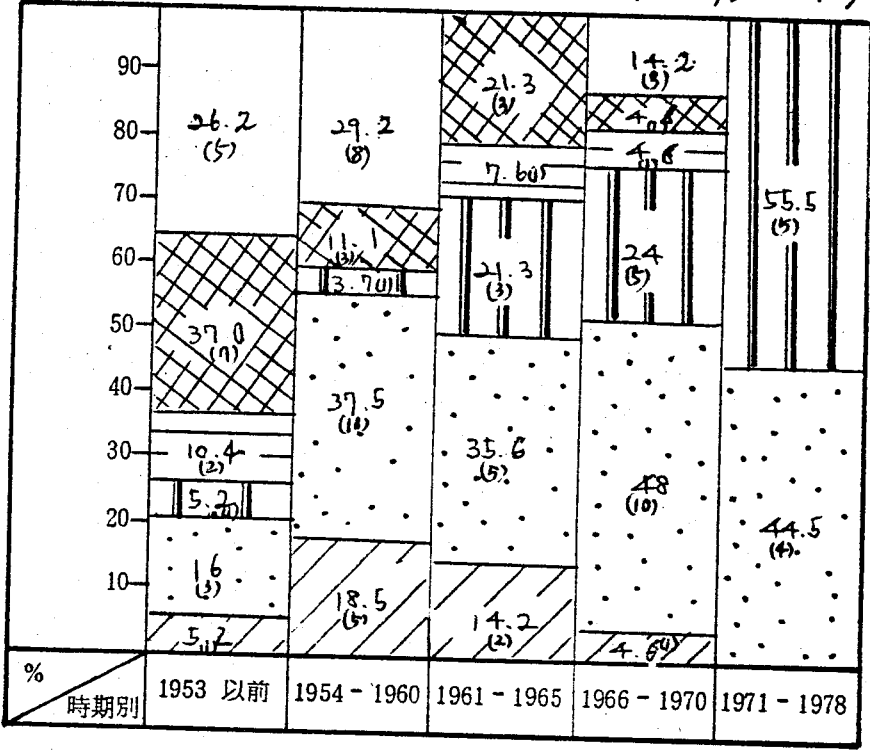
未婚母斗私生兒爲生率

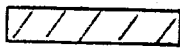
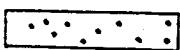
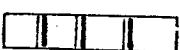
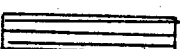


<Ⅱ-43-가>



-  많 다
-  가끔 있 다
-  별로 없 다
-  전혀 없 다
-  모르겠 다
-  無 應 答

<Ⅲ-43-4>



-  岩
-  水岩
-  煤
-  砂
-  砂岩
-  燕

(2) 靑少年의 不滿과 犯罪

1) 類 型

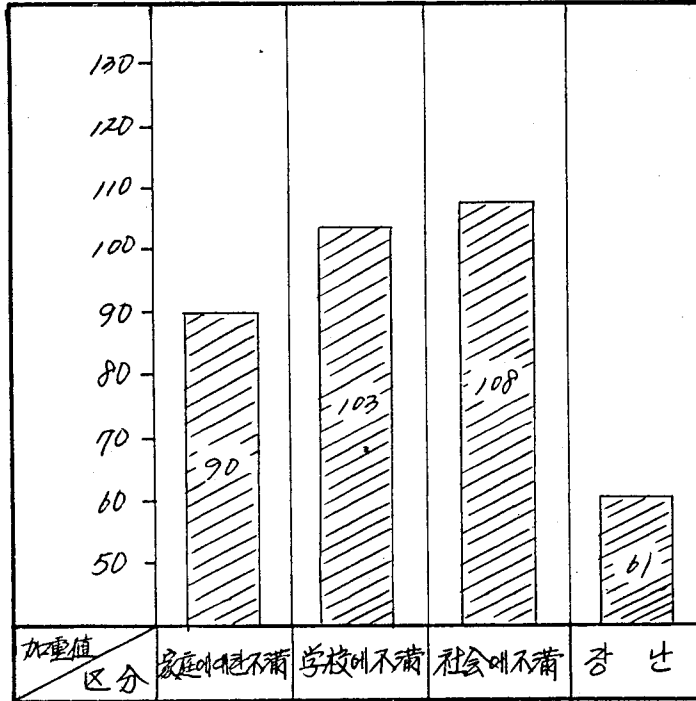
- 1960年前까지는 "社會에 대한 不滿"이 많았으나 1970年後에는 "學校生活에 대한 不滿"이 많은 것으로 나타남
- 社會에 대한 不滿은 都市地域에서 農村地域보다 높게 發生하고 있음.

2) 靑少年 犯罪趨勢

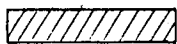
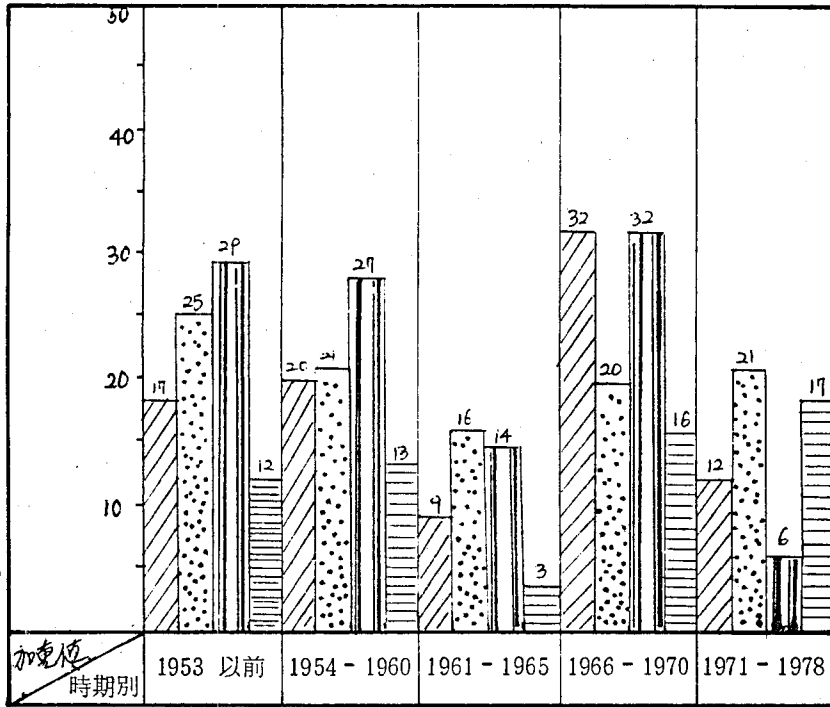
- 靑少年犯罪 發生率을 時期別로 보면 漸次的으로 增加되는 傾向임
- 이는 또 一般住民層에 비해 特殊層에서 增加하고 있음

青少年的脱線原因

<Ⅱ-44-가>



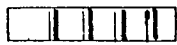
< Ⅲ - 44 - 4 >



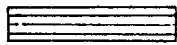
家庭生活에 대한 不滿



學校生活에 대한 不滿

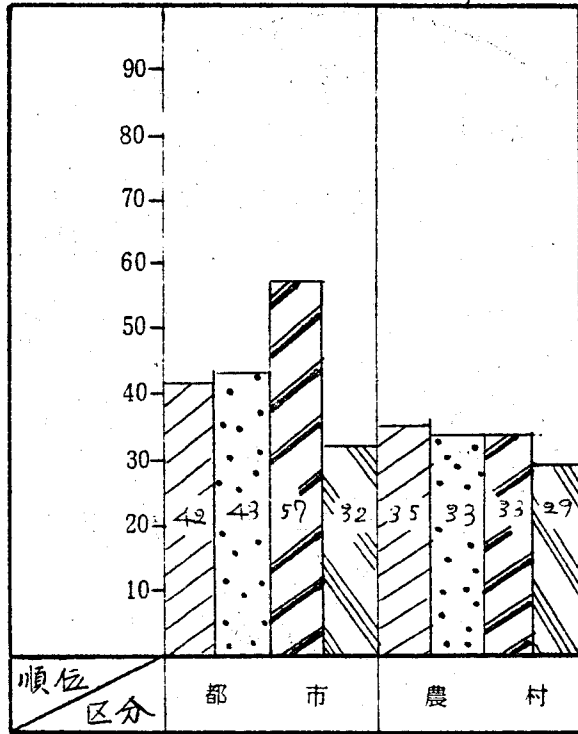



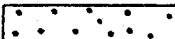


社會에 대한 不滿



장난

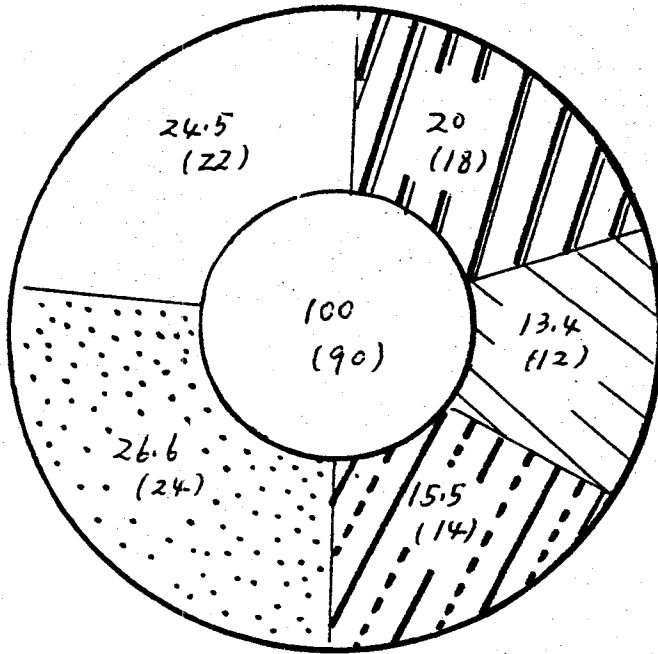
< III - 44 - 4 >


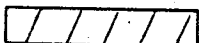
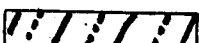
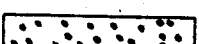
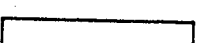


-  家庭生活에 대한不満
-  学校生活에 대한不満
-  社会에 대한不満
-  장난

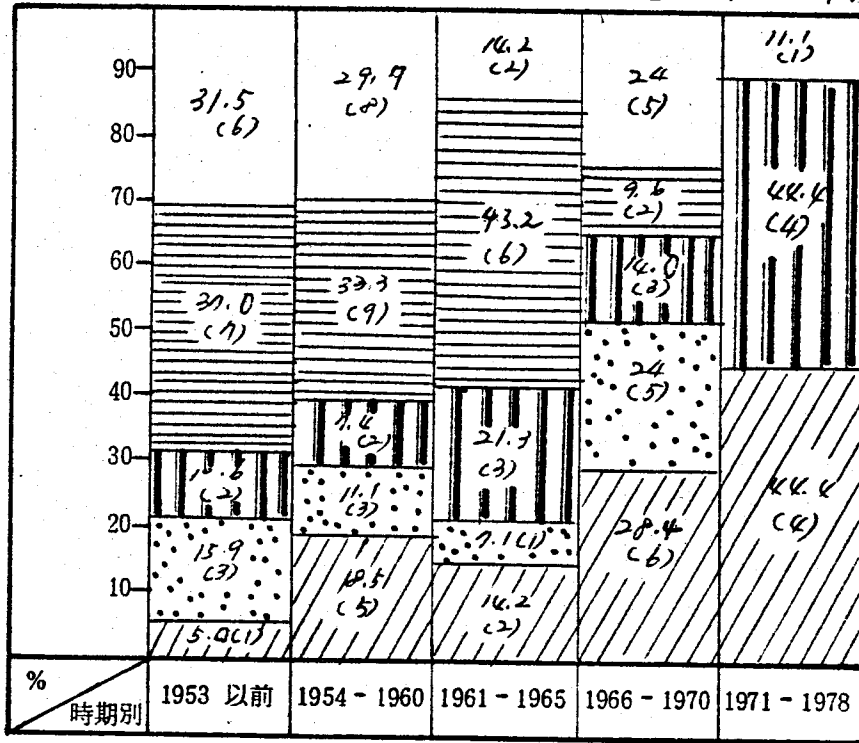
青少年犯罪의 增減


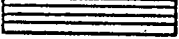

< Ⅲ-45-7 >



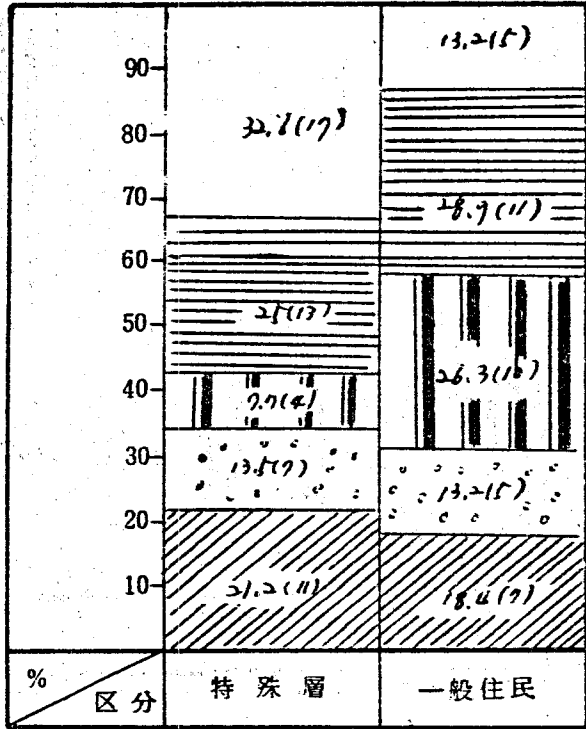
-  증가한다
-  줄어든다
-  증가와 줄어든 양
-  모름
-  변경없음


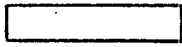

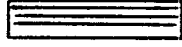

<Ⅲ-45-4>



-  燕窩
-  魚翅
-  魚肚
-  魚翅
-  燕窩

<Ⅲ-45-4>



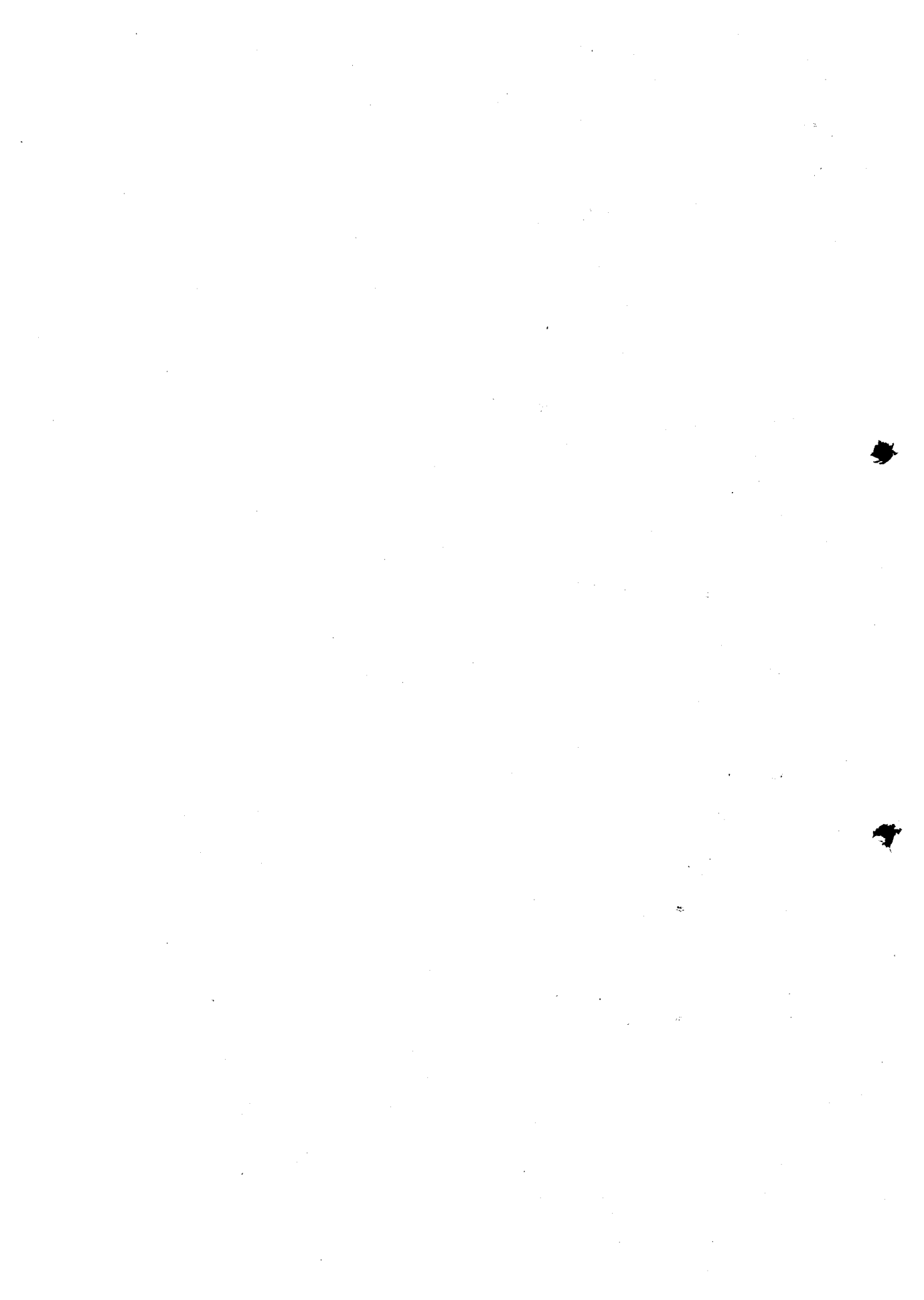
-  광아걸다
-  줄어든다
-  줄어도 늘어도 양음
-  모름
-  無回答

마. 女 性 問 題

(1) 女性의 家庭生活

(2) 女性의 政治生活

(3) 女性의 價值觀



(1) 女性의 家庭生活

1) 女性과 託兒所의 影響

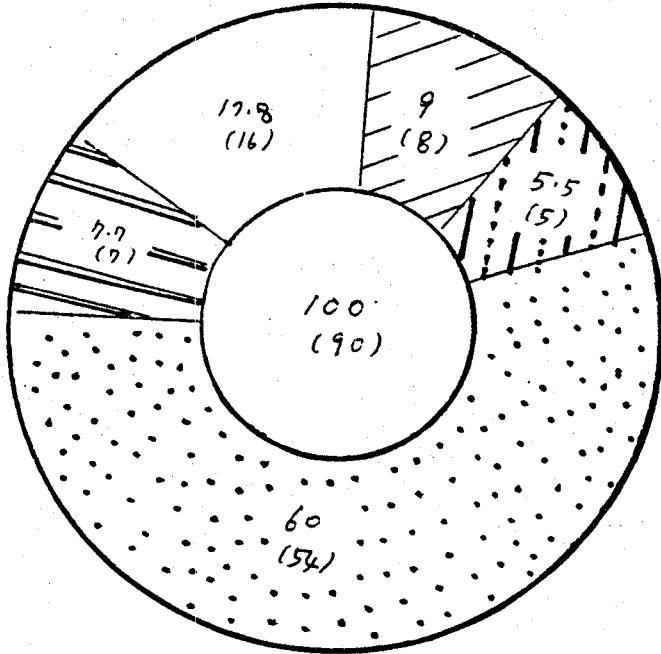
- 託兒所로 因하여 女性生活이 變해졌다는 反應은 극소수 (9%)인데 반하여 家庭生活의 和諧함이 깨졌다는 反應은 60%가 됨
- 託兒所에 幼兒를 安心하고 맡긴다는 자는 극소수 (7%)에 不 過하며 不滿스럽거나 어쩔수 없이 맡긴다는 反應이 많 이 나왔음
- 託兒所로 因한 家庭이나 女性 自身の 變化 與否에 對 해서는 家庭 寡困氣가 삭막해졌다거나 母性 喪失이란 反應이 大部分인 것을 보면
- 우리의 傳統的인 家庭制度, 家族意識이 破壞된 事實이 나타나고 있음

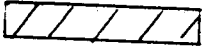



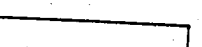
2) 託兒所 制度의 時期的 影響

- 託兒所의 影響을 時期的으로 볼 때, 1954-1970년까지 는 "가정생활의 溫情을 상실하게" 했다는 意見이 支配的

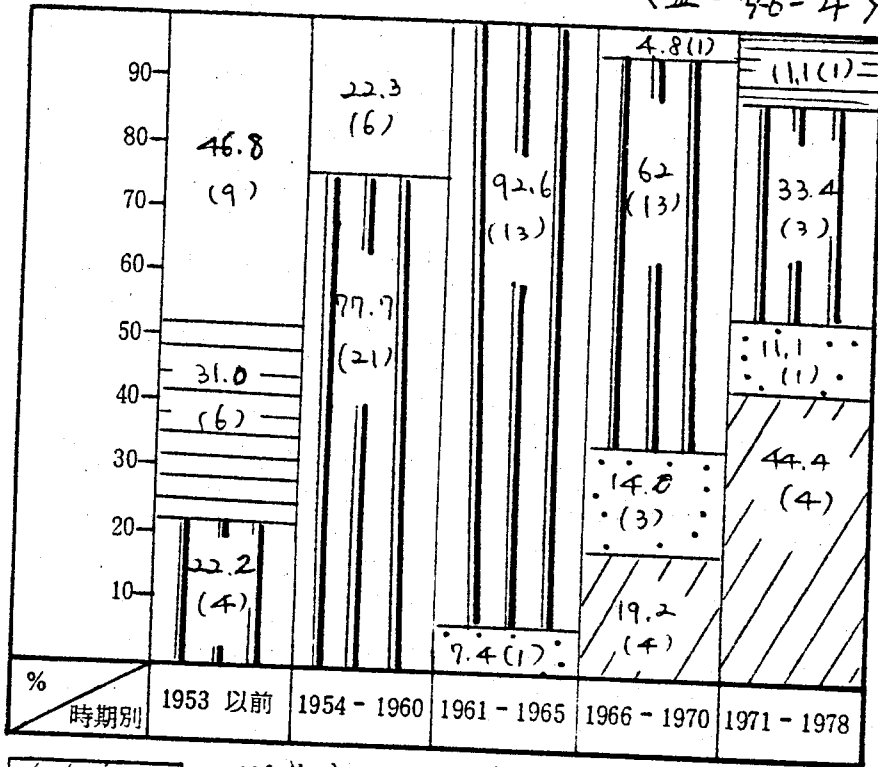
幼兒在託兒所中生活之女性生活

< Ⅳ-46-1 >



-  過去對 幼稚園
-  過去對 住宅
-  家庭生活之 感情是 喪失
-  其他
-  無 亦 答

<Ⅲ-46-4>

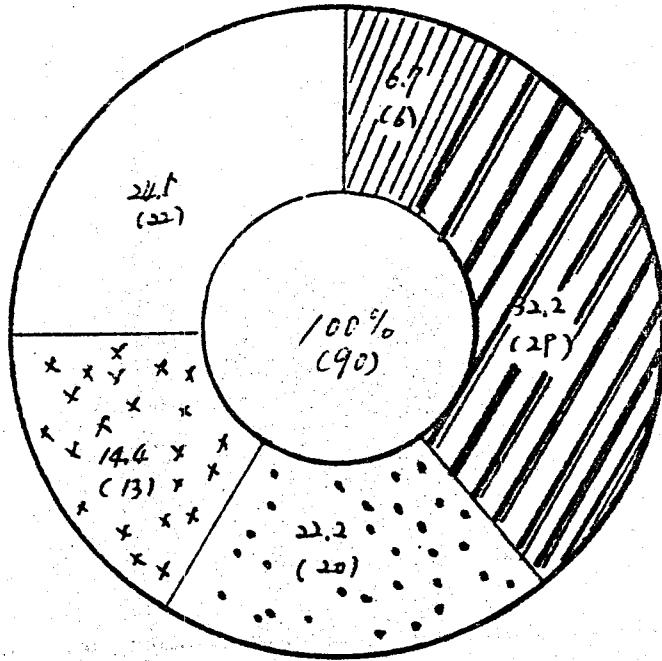


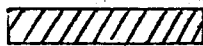


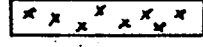
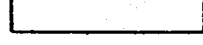
- 過去對 離婚
- 過去對 卷居
- 家庭生活的 感情之 喪失
- 其他
- 無 回答

註) 就兒所遺留對 女性間的 關係に 對し
 1954~1970年為止之 “家庭生活的 感情之 喪失” 對
 於此 意見が 支配的に あり 1971年早は
 “過去對 離婚” 之 意見が 急激に 増加
 傾向に あり 就兒所 制度に 強化に 認識 立派に

託兒所委託에 對한 父母의 反應

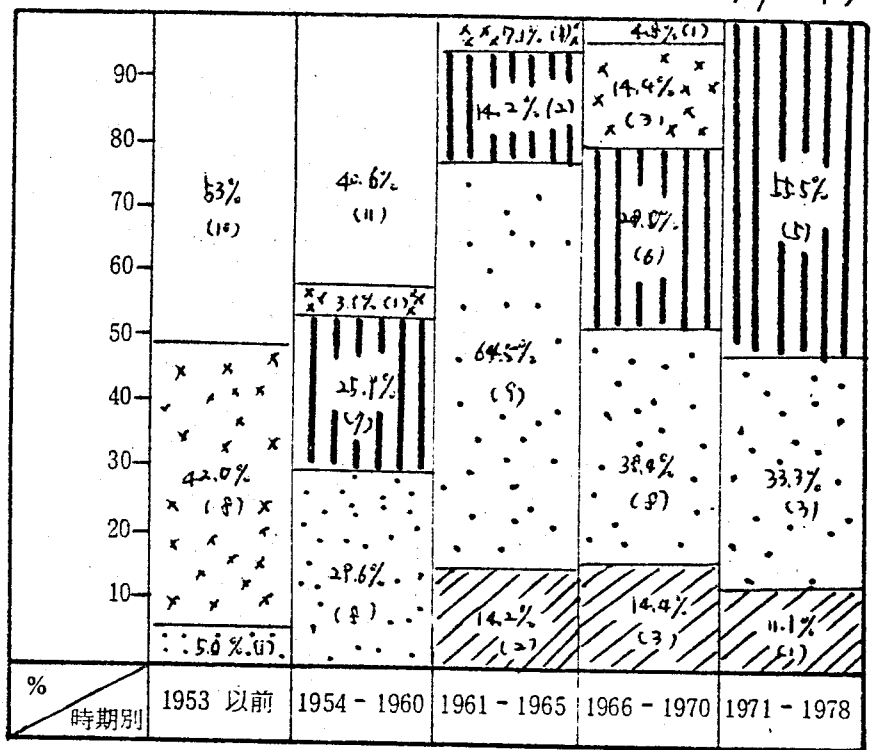
< Ⅲ-47-가 >


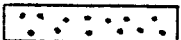
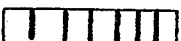
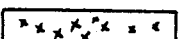
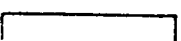


-  安心하고 말한다
-  어쩔수 없이 말한다
-  부족스럽게 여긴다
-  모르겠다
-  無反應

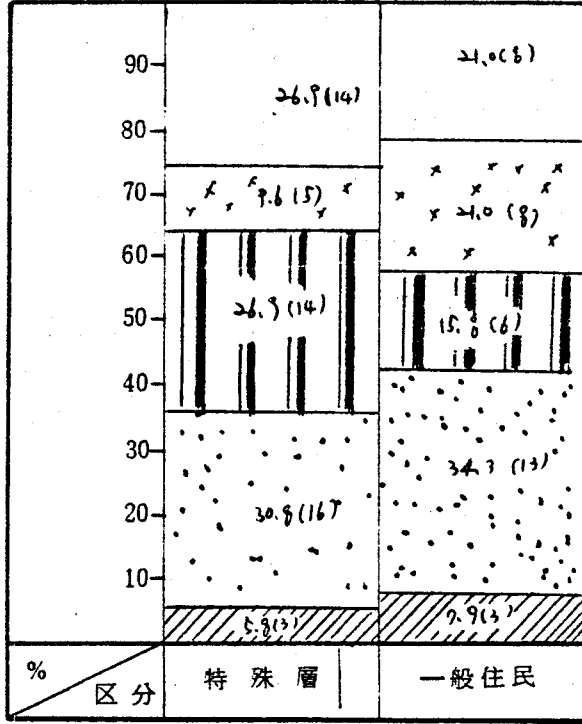
註) 無反應의 程度는 比率이 高이 次가 低
 是는 託兒所制度가 定着되기 以前의
 狀態가 高기 때문임




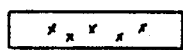
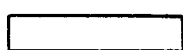
< III - 47 - 4 >



-  安心하고 받는다
-  하라니까 어쩔수 없이 한다
-  만족스럽게 여긴다
-  모르겠다
-  無回答

< III-47-다 >



-  安心組 맡긴다
-  좌라니까 어쩔수 없이 한다
-  不満스럽게 여긴다
-  모르겠다
-  無恥答

女性 및 家庭生活에 對한 託兒所, 幼稚園의 影響

< Ⅲ - 48 >

時 期	家 庭 生 活	女 性 自 身
1953年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭窮困氣 破壞 (2名) ○ 子息에 대한 愛着心 誘 發 (1名) ○ 수고 減少 (1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 母性 喪失 (3名)
1954 ~ 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭窮困氣 索莫 (5名) ○ 家庭에 趣味喪失 (3名) ○ 子女들과 거리감 造成 (2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勞動의 노예화 (4名) ○ 焦燥, 不滿, 苦悶 (3名) ○ 職場生活 可能 (2名)
1961 ~ 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 傳統家族制度 破壞 (2名) ○ 子息의 父母不信, 孝誠喪 失 (3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 母性愛 減少 (3名) ○ 職場生活 強要 (1名)
1966 ~ 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭窮困氣 索莫 (2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 負擔 輕減 (4名) ○ 勞力動員 (1名) ○ 허전한 피로움 (1名)
1970 ~ 現 在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子女教育 不元分 (2名) ○ 母子間 情 破壞 (2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子女教育 關心稀薄 (3名)

女性 및 家庭生活에 대한 工場의 影響

< III - 49 >

時 期	家 庭 生 活	女 性 自 身
1953年以 前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭不和 惹起(1名) ○ 食生活에 無感覺(1名) ○ 手고 減少(1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性의 男性化(2名) ○ 夫婦간 情誼 喪失(1名)
1954~60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭勞困氣 索莫(1名) ○ 傳統遺習 破壞(1名) ○ 營養不足(1名) ○ 勞力動員容易(1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性本能収奪, 意慾喪失(4名) ○ 고된勤務 時間延長(4名) ○ 職場生活 可能(1名) ○ 營養不足(1名)
1961~65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭的 勞困氣 消滅 (3名) ○ 母性的 立場弱화(1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭에 對한 愛着欠如(2名) ○ 女性의 職場進出(2名) ○ 賦役에서 解放(1名)
1966~70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 索莫한 家庭勞困氣 2名 ○ 걱정없고 便함(2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 責任感 負擔 輕減(3名) ○ 家族에 對한 關心度欠如 (1名)
1971~現 在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和隨한 勞困氣 破壞 (2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場의 勤務時間 延長 (1名)

주) 工場은 全地域에 普及되지 않고 一部 地域에서만 實施하
고 있으며(平壤에 3個所: 김용규중언) 主婦들은 工場에
서 配食을 받으면 糧券에 表示된 量을 모두 받지 못하거

때문에 집에서 밥지을 시간이 전혀 없는 등 特別한 事由가 없는 限 밥工場의 利用을 忌避하고 있음

※ ()의 數字는 應答者의 人員을 表示한 것임.

女性 및 家庭生活에 對한 女性의 團體活動의 影響 < III - 50 >

時 期	家 庭 生 活	女 性 自 身
1953年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭不和 (1) ○ 家庭生活 不在 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 負擔 加重 (1) ○ 女性美와 家庭喪失 (2)
1954 ~ 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭 破壞 (5) ○ 不和, 反睦 (1) ○ 變化없음 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 여유시간 剝奪 (2) ○ 男性依存度 弱化 (1) ○ 女性의 男性化 (2) ○ 疲困 (1) ○ 受動的, 消極的 參與 (2)
1961 ~ 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭 破壞 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 정신, 肉體的 負擔 加重 (1) ○ 현모양처 役割 喪失 (1) ○ 熱誠的 參與 (1)
1966 ~ 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分散, 家庭生活 不在 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肉體的 負擔 加重 (4)
1971 ~ 現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭生活에 支障 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 團體生活 嫌惡 (2) ○ 家庭에 對한 愛着心 減少 (1) ○ 社會活動 可能 (1)

女性 및 家庭生活에 对한 女性의 政治學習의 影響

< Ⅲ-51 >

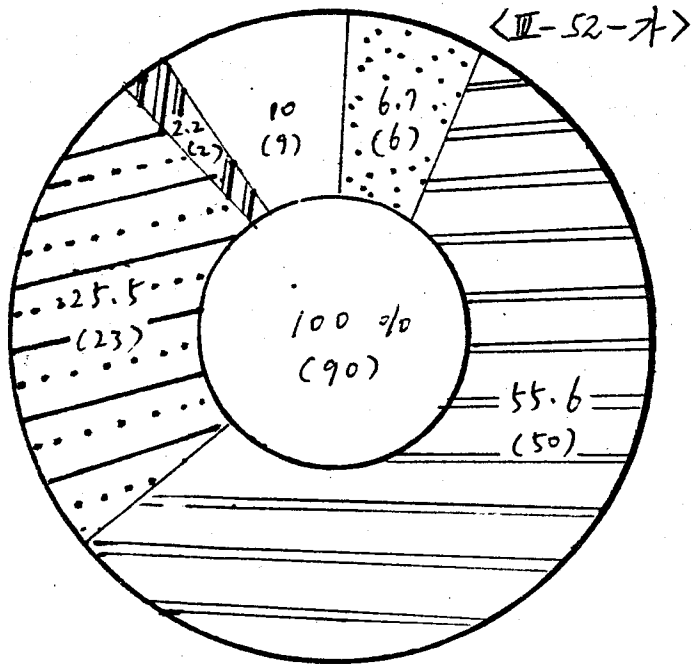
時 期	家 庭 生 活	女 性 生 活
1953年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夫婦愛 稀薄 및 不和 (3) ○ 家庭破綻 (1) ○ 余暇不足 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性 地位向上 (3) ○ 女性美 喪失 (1) ○ 時局認識 (1) ○ 無關心 (1)
1954 ~ 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭生活 無味乾燥 (5) ○ 時間浪費 (1) ○ 家庭보다 黨優先 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 고달픔 (4) ○ 女性의 男性化 (1) ○ 女性美德 除去 (1) ○ 消極的 參與 (1)
1961 ~ 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族內 政治的 緊張助成 (2) ○ 家族內 人間美 欠如 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治社會意識 提高 (2) ○ 현모양처 役割 喪失 (2) ○ 不滿 (1)
1966 ~ 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主婦位置 弱化 (1) ○ 家庭生活 時間短縮 (1) ○ 家庭 寡困氣 破壞 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 정신 肉體的 負擔 加重 (4)
1971 ~ 現在	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭寡困氣 破壞 (1) ○ 家庭生活 時間剝奪 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 余裕時間 虛受 (2)


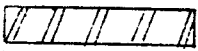


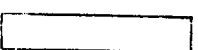
(2) 女性의 政治生活

1) 女性의 政治生活

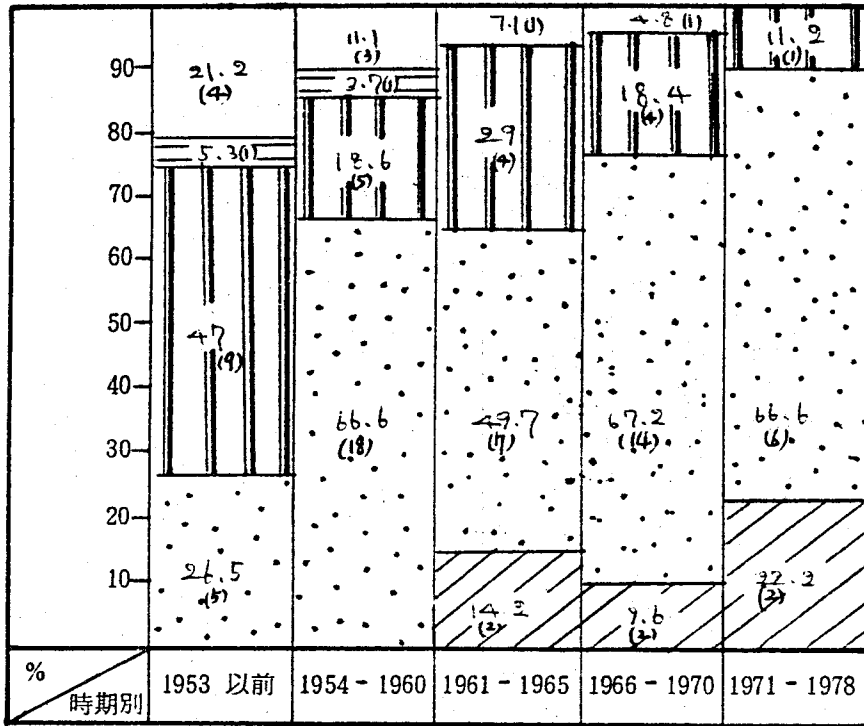
- 女性들이 政治活動에 參與하는 理由는 組織의 勸誘에 의하거나 強制에 의한다는 것이 全體의 81%에 달해 完全히 被動的 活動임을 나타내주고 있음.
- 女性 政治人의 主任務는 女性 人力動員이 大部分이고 女盟의 主要事業도 政治思想教育 實施가 제 1 順位로 되어 있어 女性 政治人이란 勞動黨 政策遂行을 위한 도구에 불과한 것이 나타나 있음.
- 女性 政治人의 任務가 女性의 立場을 代辯한다는 것이 54-60年 期間에는 극소수(3.7%)였던 것이 71年 以後時期에 若干 上昇한 것은 象徴的 存在인 女性 政治人에 대한 住民들의 認識이 分明치 않기 때문인 것으로 보임.


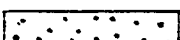
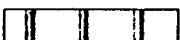
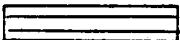

女性政治活動參與理由



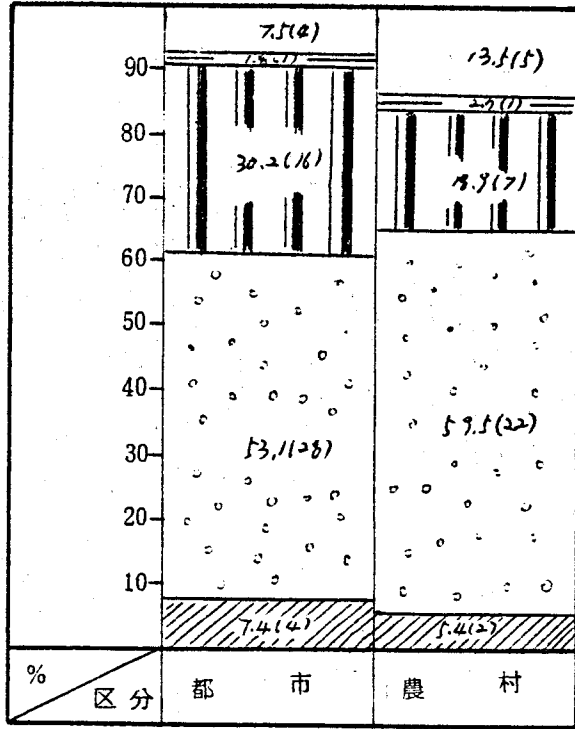
-  自發的參與
-  組織的勸誘
-  強制的動員
-  互相關心
-  無應答

< III-52-4 >



-  自發的參與
-  組織的勸誘
-  強制動員
-  只是敷衍
-  無反應

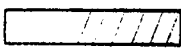
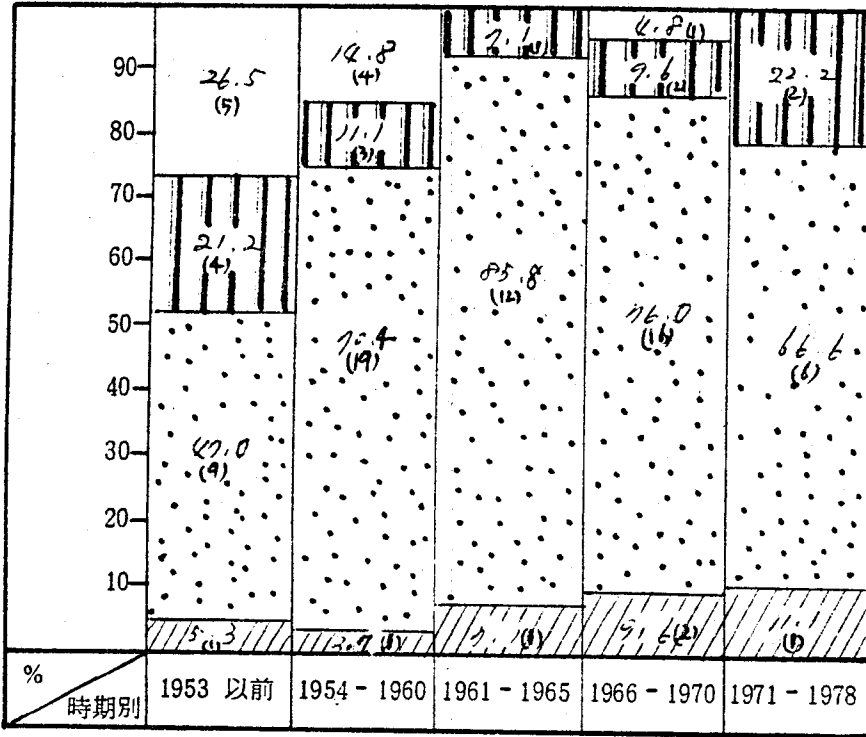
<Ⅲ-52-4>



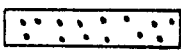
- 自発的 参與
- 組織的 勸誘
- 強制動員
- 不足 及び
- 無 応 答

女性政治人物 主任務

< Ⅴ-53 >



女性立場代辯



女性人力動員の利用



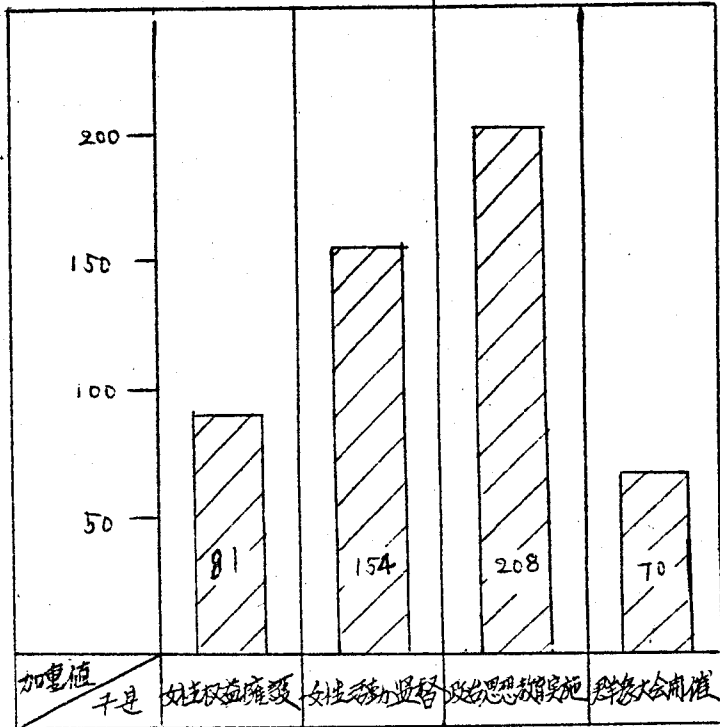
象徵的存在



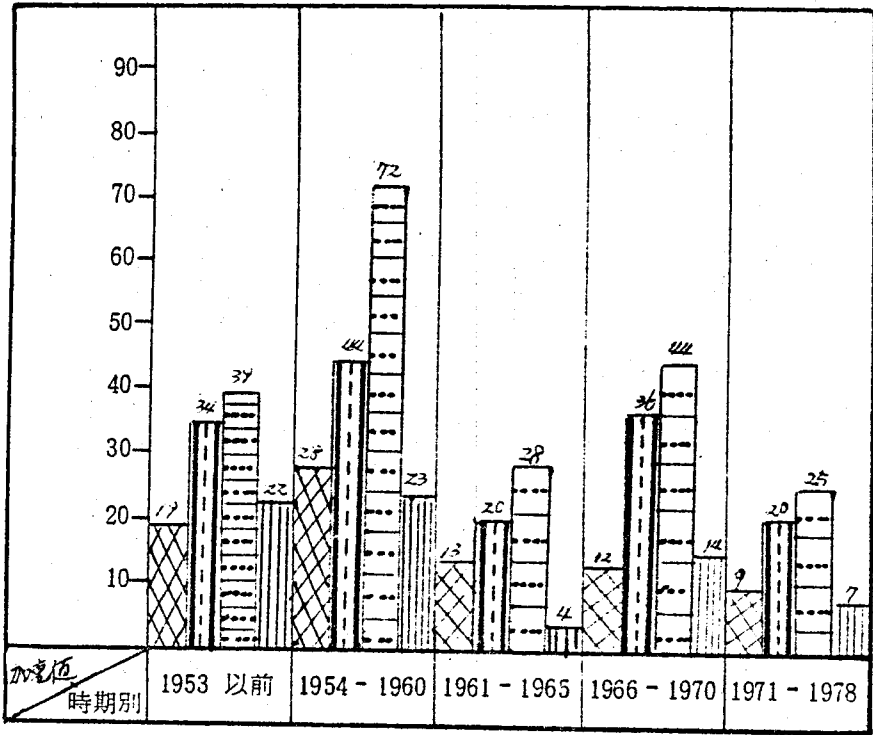
無回答

女盟的主要事業

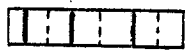
<Ⅱ-54-水>



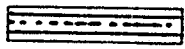
< III - 54 - 4 >



女性权益 擁護



女性活動 監督



政治思想 教育 實施



群眾大會 開催

(4) 女性의 價值觀

1) 女性들의 所望

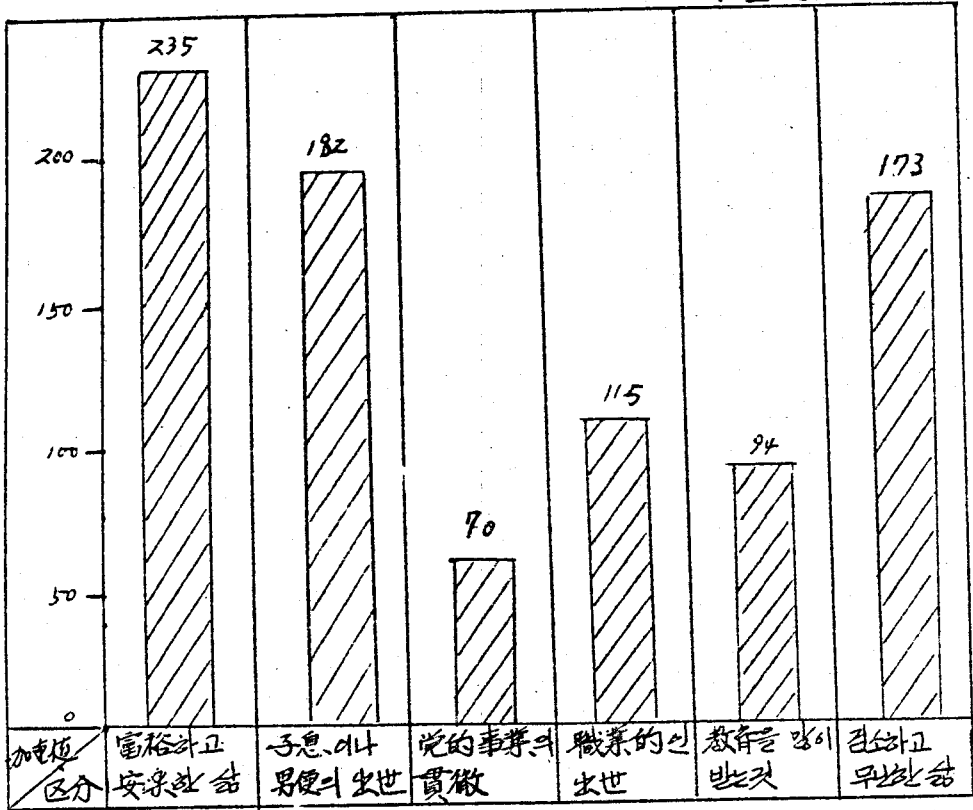
- “出世나 黨事業을 貫徹하겠다”는 것보다 于先하여 “富裕하고 安樂하게 살고 싶다”는 것이 第1의 希望事項이고 다음의 所望은 “儉素하나마 無難하게 살고 싶다”는 것으로 나타났으며 時期的으로 71年 以後에는 富裕한 삼보다는 儉素한 삼쪽이 더 높게 나타나고 있음.
- 이런 現象은 個人主義와 利己主義가 아직도 뿌리 깊이 박혀 있다는 것을 나타내줌.

2) 女性들이 자랑스럽게 생각하는 要素

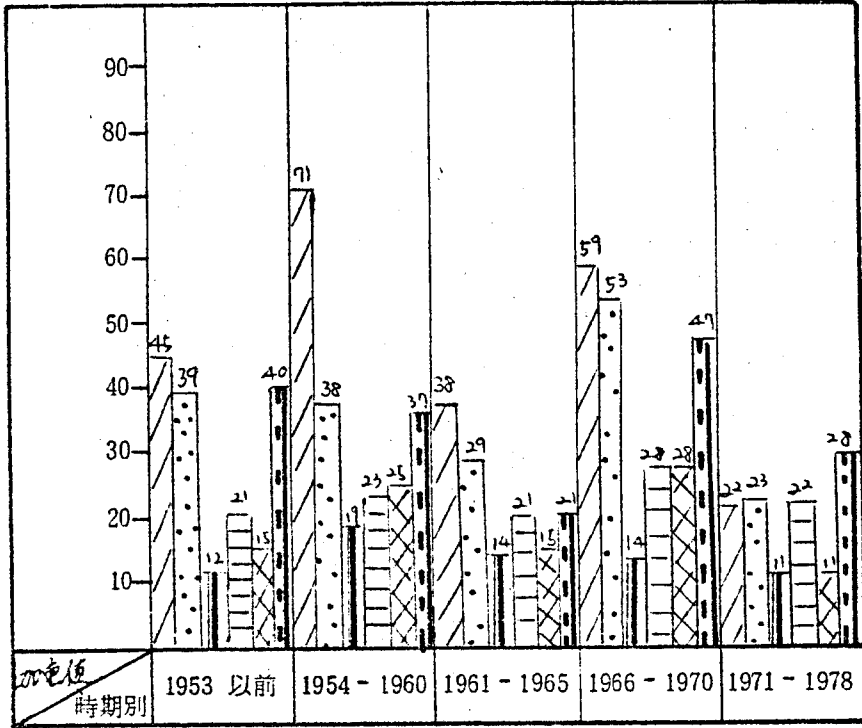
- 全体的으로 出身成分을 가장 자랑스럽게 생각하며 다음이 “社會的地位”로 되어 있는데 都市 地域에서는 “地位”를 第一 자랑스럽게 생각하고 있음.
- 北韓女性들이 外貌나 才能은 無視하고 있는 現象이 나타나는 것은 政治學習에 대해 被動的인 것과 마찬가지로 主體的인 思考를 하지 못한다는 것으로 볼 수 있음.


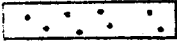
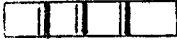
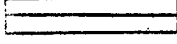

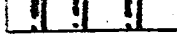
女性的 所望 順位

< Ⅲ-55-7 >



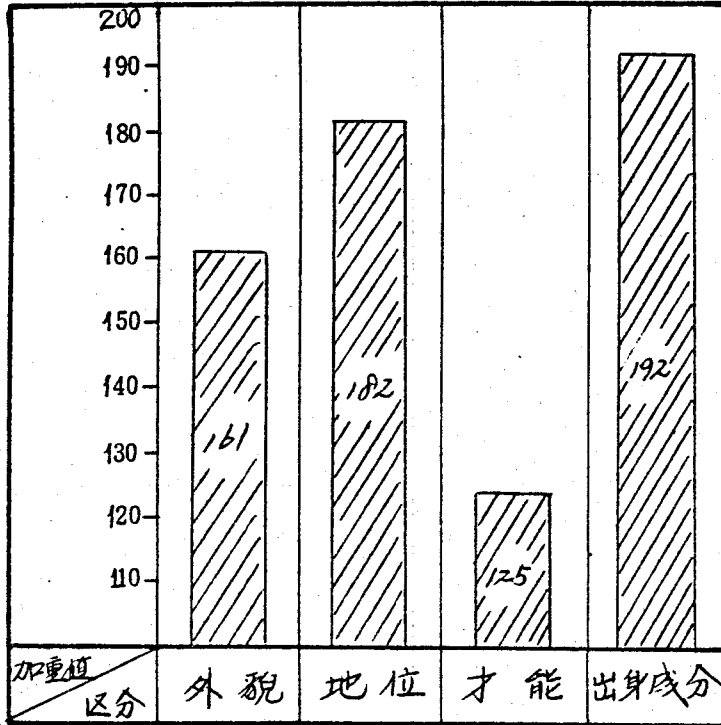
< III - 55 - 4 >



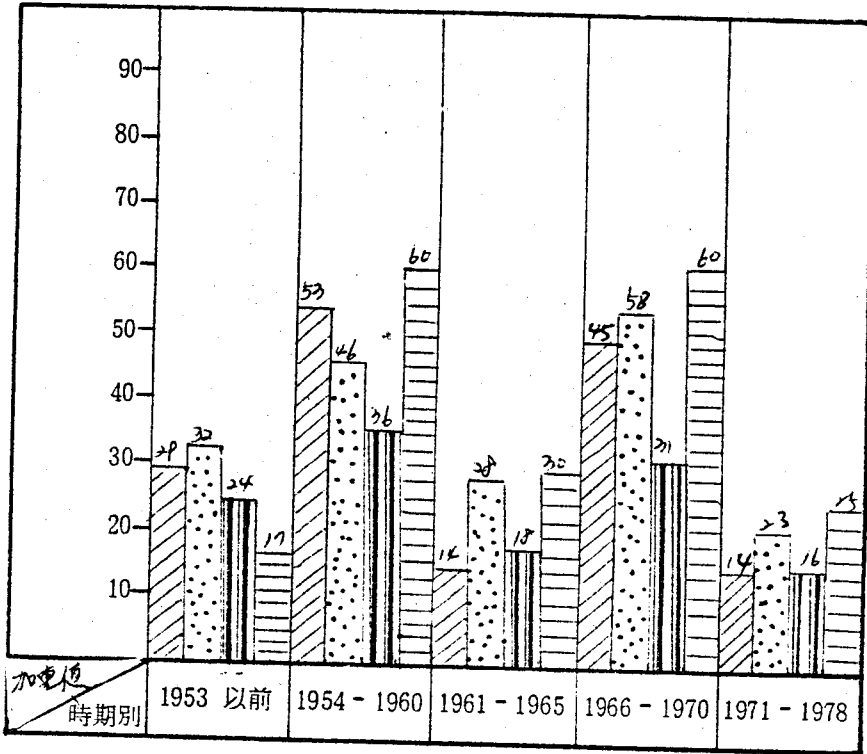
-  富裕하고 安樂한 階級
-  子息이나 男便의 出世
-  党的 事業의 貫徹
-  職業的인 出世
-  教育을 많이 받은 階級
-  儉素하고 無難한 階級



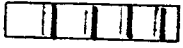
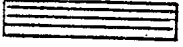
女性들의 가량요소

<Ⅲ-56-가>

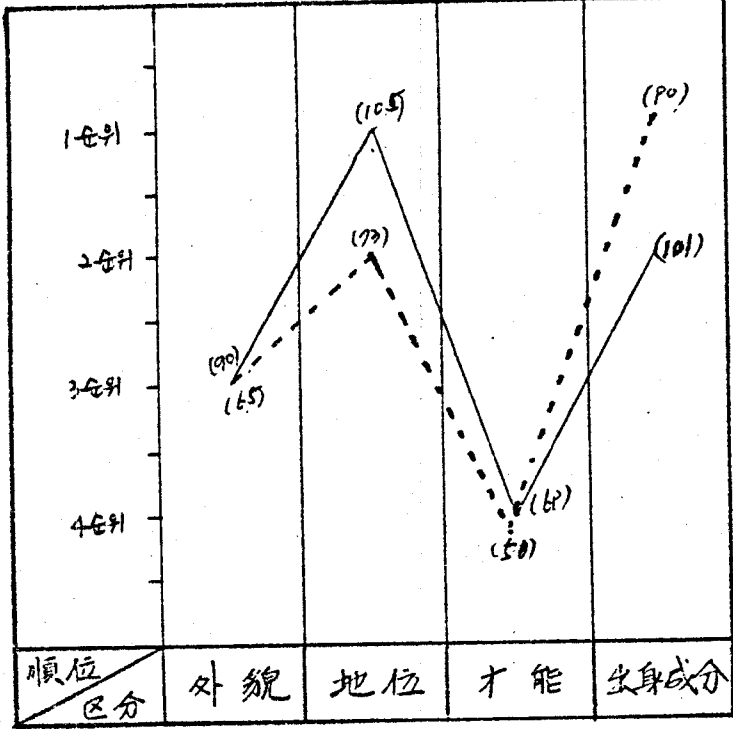


III-56-4)



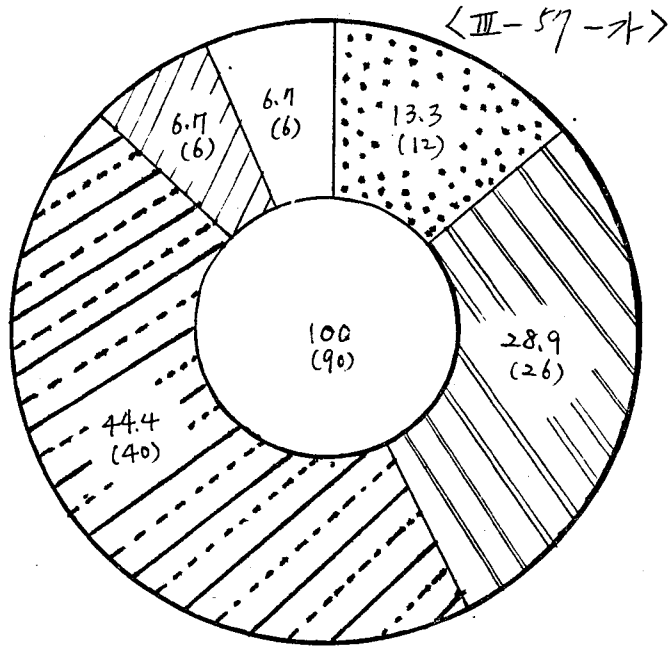
-  外貌
-  地位
-  才能
-  本身成分


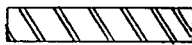

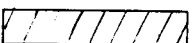

< III - 56 - 4 >



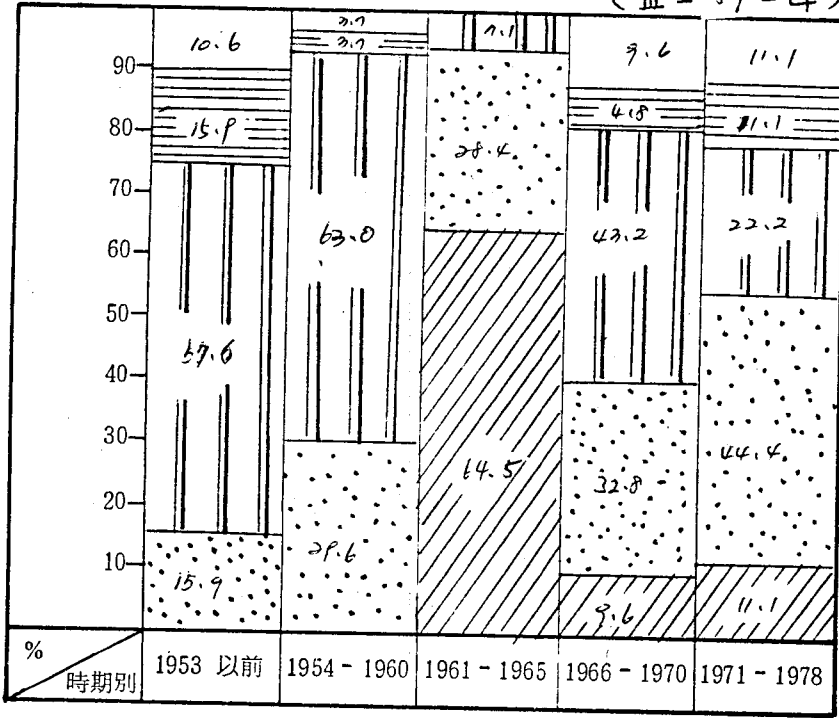
都市
 農村



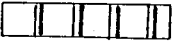
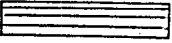
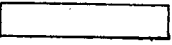
女性의 共產主義 政治學習觀



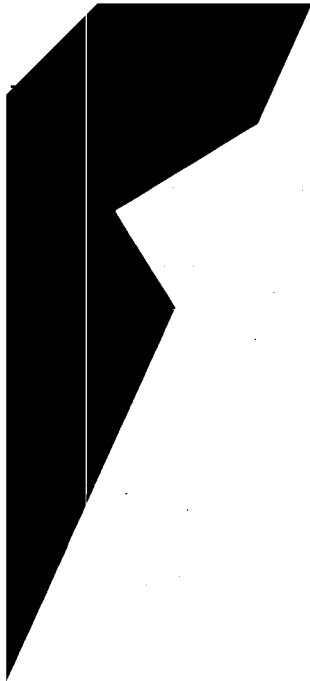
-  國家建設과 黨을 爲해 必要
-  習慣的으로 參席
-  強制的인 것으로 參席
-  事實上 不滿
-  無應答

< III - 57 - 4 >



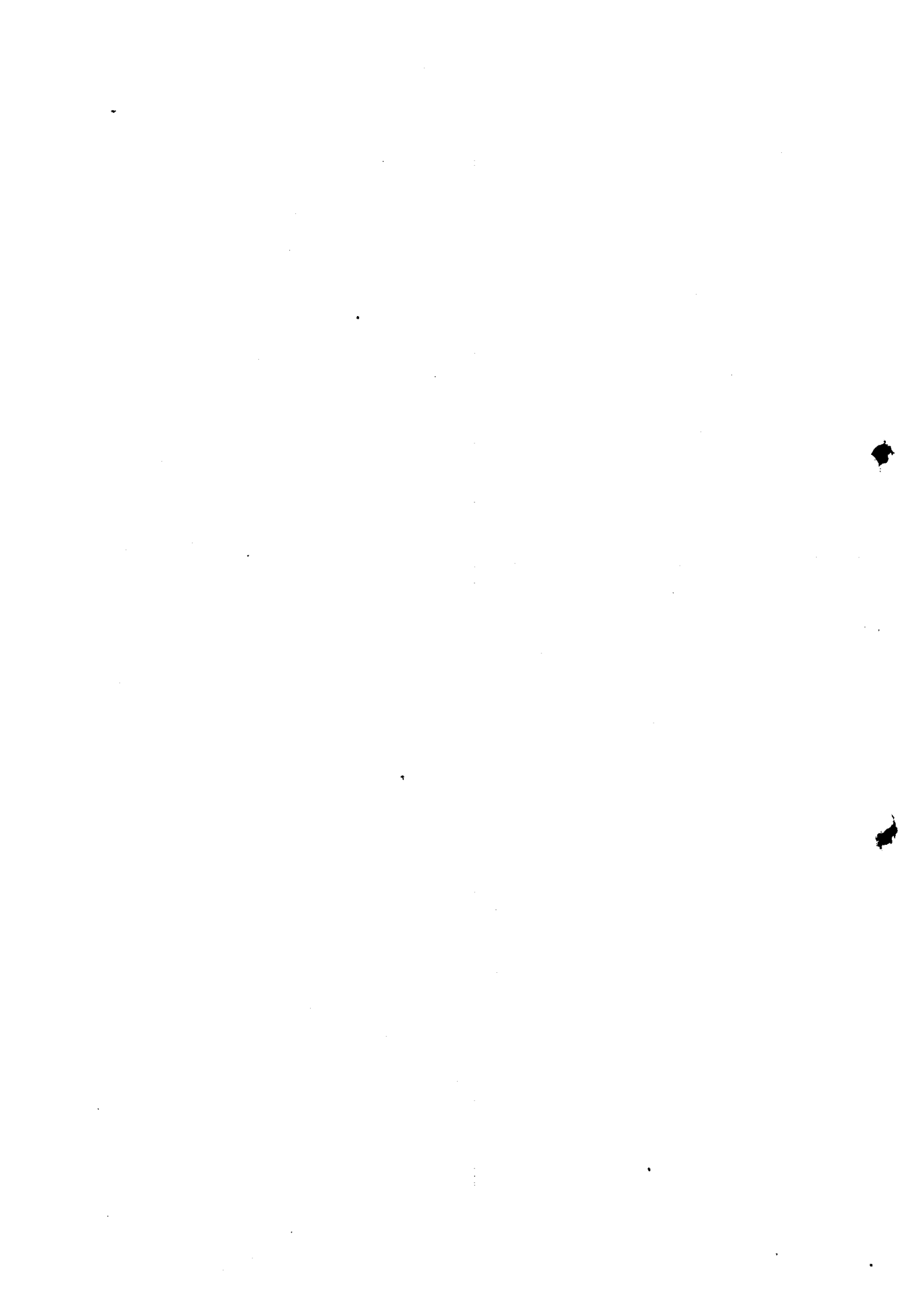
-  國家建設과 黨을 위해 必要
-  習慣的으로 參與
-  強制的인 것이므로 싫지만 參與
-  事實上 不滿
-  無回答

4. 軍 事 分 野



가. 兵力管理実態

- (1) 徴召集実態
- (2) 政治思想教育
- (3) 給食実態
- (4) 政治軍官과 軍事軍官



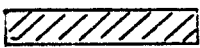
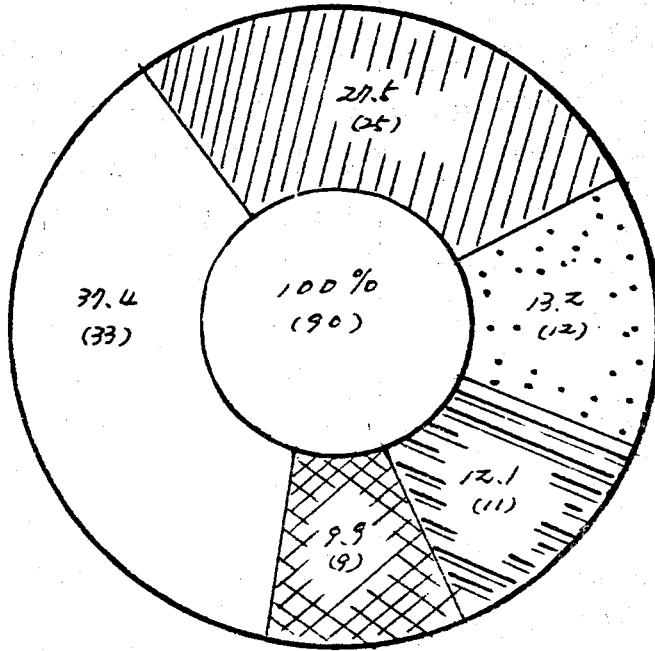
가. 兵力管理 實態

(1) 徵召集 實態

- 北傀軍의 充員方法
 - 全般的으로 強制動員 (27.5 %) 이 支配的이나 1970年以後에는 義務兵制 (55.5 %) 가 多數로 나타나고 있음.
 - 1956年 內閣決定 以前에는 志願入隊形式의 強制動員
 - 1956年 2月 以後에는 規定上으로는 義務兵制度이나 實質的으로는 各種 組織을 통한 志願入隊形式으로 誘導하고 있음.
- 規定과 實際 服務年限의 差異理由
 - 가장 두드러진 要因은 兵力不足現象 (33.7 %)
 - 1960年以後 漸次 增加趨勢임.
- 徵召集 年齡
 - 規定上으로는 平時 18歲~23歲, 戰時 18歲~45歲까지로 되어있음.
 - 6.25를 前後한 戰時에는 年齡制限없이 強制徵集하는 것으로 나타남.
- 服務年限
 - 內閣決定 148호에 依拠, 3年6個月로 規定하고 있음.
 - 實服務年限은 地上軍의 境遇는 5~6年, 海·空軍은 6~8年, 特別히 技術兵科는 8~9년까지 服務하고 있음.
- 徵召集 除外對象
 - 身體不具者, 成分不良者를 爲始하여 北送 僑胞, 越北者, 大學生으로 나타나고 있음.
 - 特別히 黨이나 軍需産業의 必須要員도 除外되고 있음.

充員方法

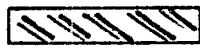
< IV-1-1 >



強制動員



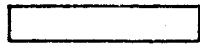
義務兵制度



志願兵制度



成兵の依拠任命

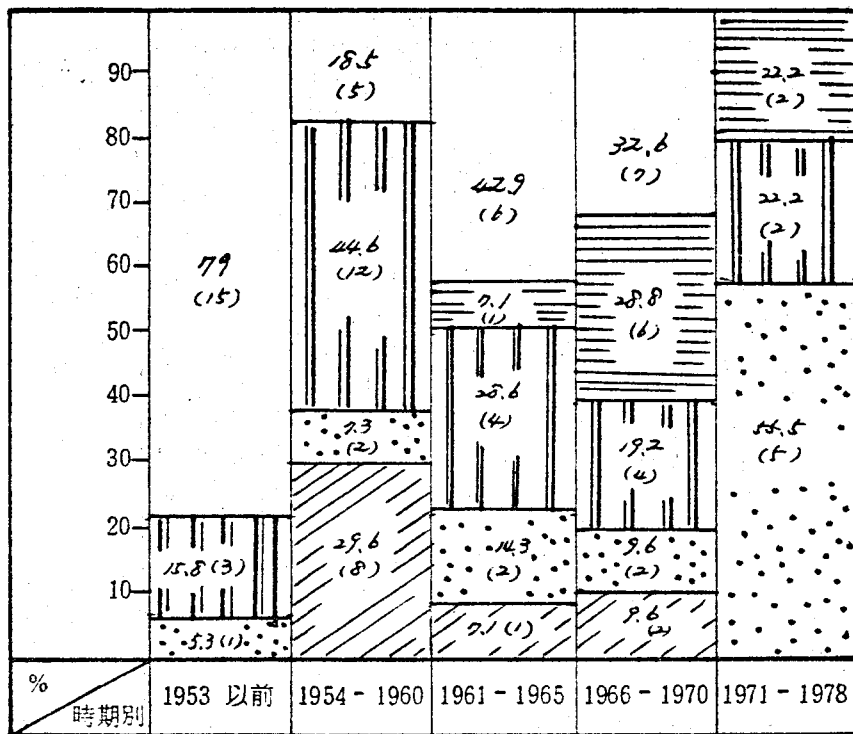


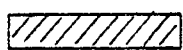
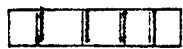
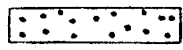
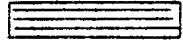

無応答

註) ① 56年以後形式上は志願兵制度以外其餘は強制動員也

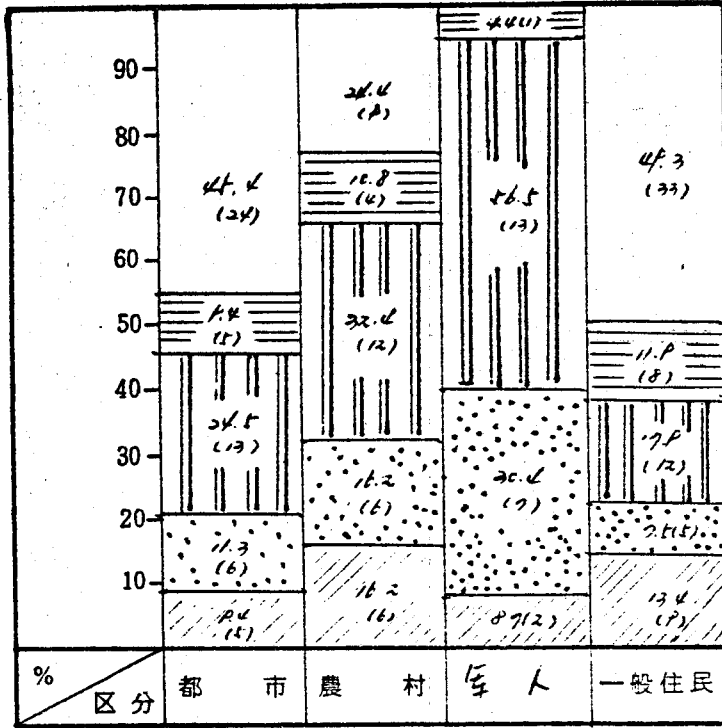
② 軍事動員部が提出せる名單に依據して組織を導き志願兵形式に動員也

< IV-1-4 >



-  志願兵制度
-  強制動員
-  義務兵制度
-  成吉思汗進軍
-  無反應

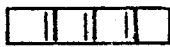
<IV-1-4>



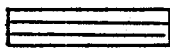
志願兵制度



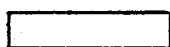
義務兵制度



強劾勸募



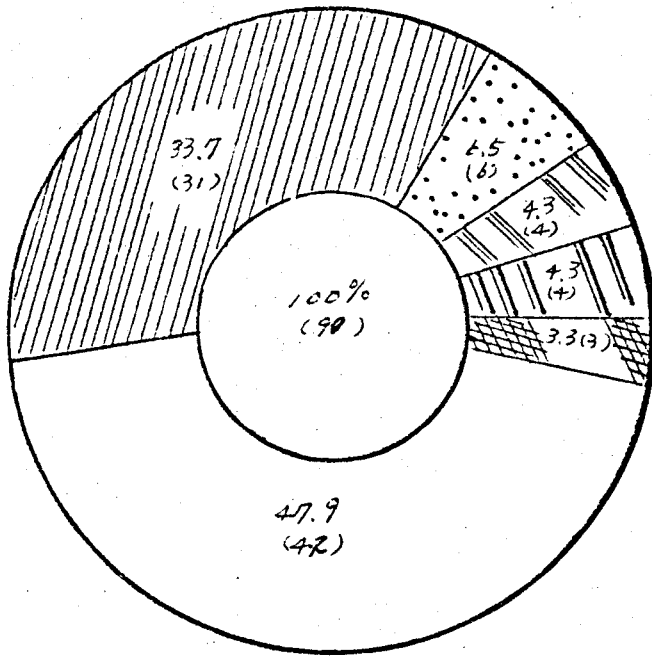
地方自治任命

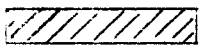
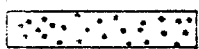
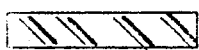


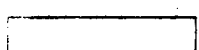


無志者

服務時間差異理由(規定比實際)

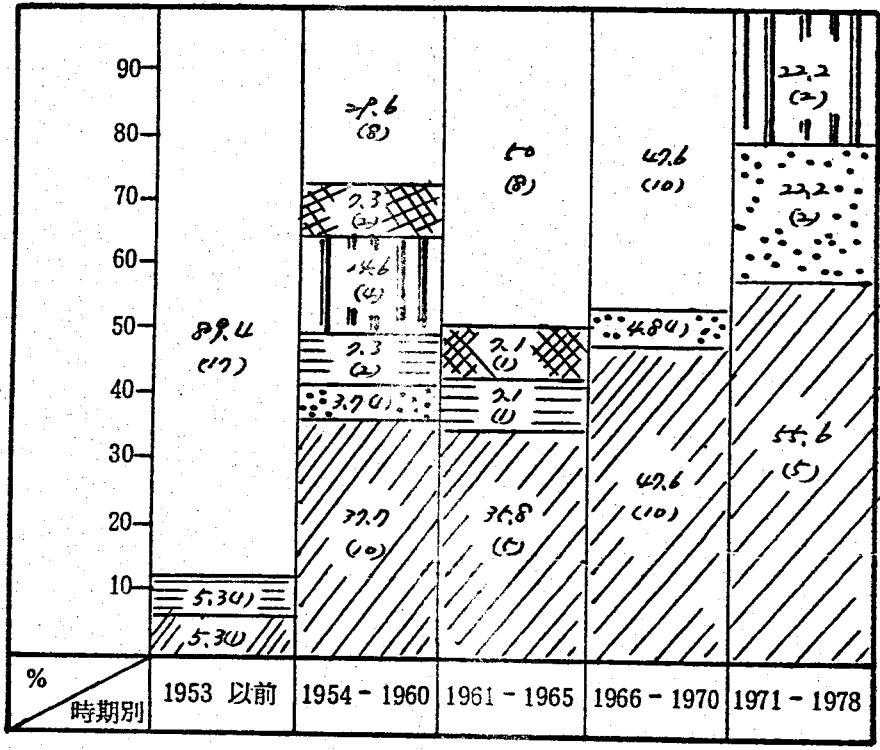
<IV-2-1>



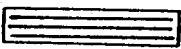
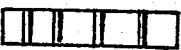
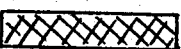
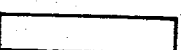


-  兵力不足
-  軍力增強
-  全地域軍事基地化
-  社會體制之統制
-  呈呈效音
-  無反應

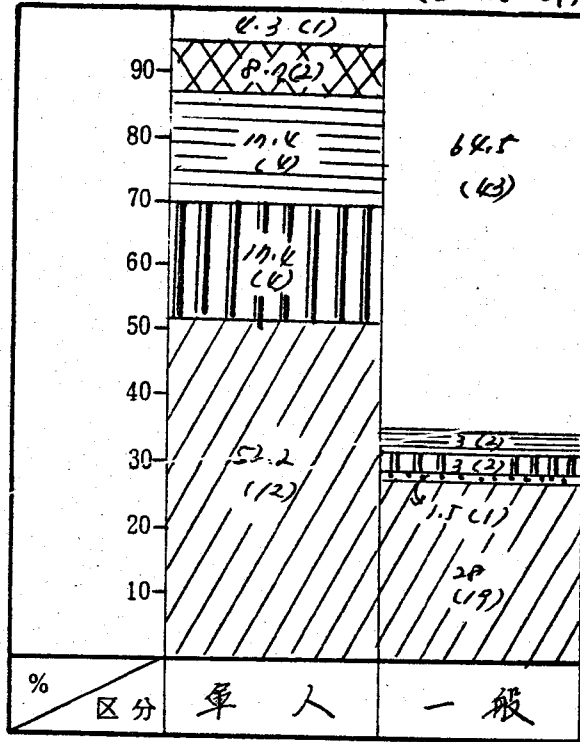
註) 兵力不足現象(33.7%)呈顯著性差異




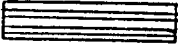

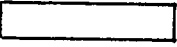
< IV-2-4 >



-  兵力不足
-  社会体制的统治
-  全地域军事基地化
-  军事力增强
-  交叉信号
-  空白

<IV-2-4>



-  兵力不足
-  社会体制与 控制
-  全球或 军事基地化
-  军事力 增强
-  无应答
-  无应答

時期別	內 容
49-53	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6.25로 16歲 以上 無條件 強制徵集 ○ 徵召集令에 의해 軍에 入隊하나, 集團志願 入隊者 多數. 特히 高官의 아들은 入隊와 同時에 높은 補職받음. ○ 軍事動員部에서 召集狀이 家庭에 보내짐으로써 徵集
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 當時 民育의 學校會議에서 熱誠黨員의 討論에 의한 形式上 志願形式入隊. 1956. 2. 內閣決定으로 服務年限制度 採択後 義務兵制度 ○ 形式的으로 志願制度이나 強制에 의한 志願 ○ 滿 17歲가 되어도 志願募集期間에 志願하지 않을시 思想的으로 疑心 ○ 志願→市·郡 軍事動員部→市郡立病院委託 身體檢査→道 軍事動員部에서 같은 方法 身體檢査→入隊 ○ 滿 18歲가 되면 地域單位 軍事動員部에서 動員令 下達→應召者를 軍事動員部가 軍部隊에 引導→部隊自体 教育實施後 配置 ○ 會議를 召集→除隊한 熱誠分子가 再志願 入隊하여 他人들로 하여금 強制志願 入隊 形式

61 - 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 里,洞委員長의 入營通知接受→郡所在地 集合→軍服支給→15日間 新兵訓練→戰鬥部隊 配置 ○ 18歲가 되면 動員令狀 發付→身檢→合格→軍에 配置. ※ 좋은 成分→最前方 ○ 民育 初級團體에서 5名 志願要請이 오면 總會에서 推薦을 받아 入隊하는 形式
66 - 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 義務兵 制度 (強制入隊者도 있음) ○ 原則은 徵集通知, 그러나 各級組織 (民育組織) 通해 志願誘導 ○ 市軍事 動員部에서 徵集對象 카드→武力部에서 各道市·郡에 徵集人員 下達→該當 道·市·郡 軍事動員部에서 各 職場에 割當 徵集人員報告→所屬 黨委員長 社勞育 委員長이 個別面談後 徵集動員→市 道立病院에서 身體檢査後 合格者→直接 該當 師團에 入隊
71 -	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女 共히 滿15歲時 豫備身體檢査→合格時 滿16歲 되면 各 市道 軍事動員部에 依히→道 醫大病院에서 2次 身體檢査→軍服着用 配置 ○ 軍事動員委員會에서 對象選定→政治保衛部에 依賴 身元確認 決定

	<ul style="list-style-type: none"> • 1973. 2.15 金日成 教示에 따라 政治保衛部가 軍入隊 決定權 保有 ○ 學校에서 選拔→軍事動員部에 集結→軍事動員部 要員 指導下 郡人民 病院에서 身體檢査→道 人民 病院에서 道軍事動員部 指導下 軍人 醫師들에게 身體檢査→部隊別 配屬 ○ “朝鮮公民”은 滿 18 歲부터 祖國統一을 保衛할 義務가 있음.
--	---



	<p>1956 年 內閣決定以前 : 형식상 지원형식 入隊</p> <p>1956 年 2 月以後 : 義務兵 制度</p> <p>1973. 2.15 金日成 教示에 따라 政治保衛部가 軍入隊決定權 保有</p>
--	---

服務年限變動

< IV - 4 >

時期別	地 上 軍	海 空 軍
49 - 53	○ 6年	○ 空軍 : 5年
54 - 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 內閣決定 148 号에 의한 服務年限은 3年6月이나 實際 5年以上 士兵으로 30歲 되는때 除隊 ○ 當時는 服務年限 없었고 高齡者 順으로 除隊. 形式上으로는 7年. 軍에서 必要한 사람은 繼續服務시킴 ○ 3年, 實際로는 7~8年後 除隊 	
61 - 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 當時에는 26歲以上 除隊시킴 ○ 一定한 服務年限없이 除隊 命令까지 ○ 規定上 3年6月, 實際 5~6年 ○ 7年 	○ 잘 모름

66 - 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7年 ○ 말로는 3年6月, 内閣命令으로 非週期的으로 除隊 ○ 規定3年6月, 實際8年 ○ 5~6年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規定4年, 實際8年 ○ 5~6年 (技術職 45歲) ○ 海軍 6~8年 ○ 男-28歲까지 女-25歲까지
77 -	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7年 (技術兵科 8~9年) ○ 男-27歲까지 女-25歲까지 ○ 軍官: 55~60歲까지 ○ 下戰士: 8~10年間 ○ 軍官: 55~60歲까지 下戰士: 8~10年間 其他 (輕步兵 狙擊部隊 : 10~13年間) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規定上, 3年6月 實際, 6~7年 ○ 軍官: 55~60歲까지 ○ 下戰士: 8~10年間 ○ 無制限



○ 内閣決定 148号에 依拠 規定上 服務年限은 3年6月

○ 實服務年限은 地上軍의 경우 5~6年, 海空軍은 6~8年, 技術兵科는 共히 8~9年

徵召集 除外對象

< IV - 5 >

時期別	內 容
53年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○幹部級 . 黨員 . 教師 . 鐵道人 ○身體檢查 不合格者 (軍事動員部에서 補職 定해중) ○不具者 . 年齡超過者 : 後方에서 勞力動員
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○身體不具者 . 成分不良者의 家族 . 電氣 및 鐵道 從事員으로 5級이상 技能所持者 ○越南者 家族 . 敵對階級出身 : 繼續監視 ○多數의 扶養家族을 가진자 , 黨에서 必要한 사람 ○教師 . 後方에서 必要한 技術者
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○成分不良者는 工場 , 農村에서 勤務 . 虛弱者는 身體 條件에 맞게 勞動 . 大學進學者는 學校에서 訓練 및 專攻分野配置 ○越南家族 : 親家 8寸까지 , 外家 6寸까지 . 軍隊에 안간者는 出世 . 進級 . 社會에서 完全埋葬 . 重勞動
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○5級以上 技能工 . 教員 . 安全員 . 特殊分野 (水產 . 軍需 . 研究所) 勤務者 . 犯罪者 . 有産階級出身者 . 虛弱者 ○成分이 좋지 못한자 : 後方服務聯盟 , 建設團 , 創設하여 軍服務 시킴
71-78	<ul style="list-style-type: none"> ○身體不具 및 疾病所有者 . 成分不良者 , 北送僑胞 . 越北者 ○獨子로서 父母가 生活能力이 없는 경우 . 大學生 : 職場農場에 配置 從事함 ○30歲以上者 , 年齡未達者 : 教導隊 . 勞農赤衛隊 . 近衛隊에서 訓練받음

(2) 政治思想教育

○ 思想教育의 内容

- 1960年 以前에는 金日成選集, 金日成 抗日鬪争史와 아울러 맑스-레닌主義, 共產黨史 等
- 政治羣官 主導下에 每日 2~3時間 集合講義形式으로 實施後, 討論 學習 讀報會를 거쳐 反復注入
- 1961年 以後는 主로 金日成 偶像化를 위한 金日成 敎示 回想記, 黨政策 路線等에 力點
- 1971年 以後는 소위 "代를 이은 忠誠"을 뒷받침하기 爲한 金日成, 金正一 敎示를 研究·討論 解說하는 것이 特徵

○ 思想教育에 對한 反應

- 全体的으로 不滿 (29.7%)이 支配的
- 1961年 以後 不滿의 程度가 增加趨勢, 特히 一般인이 보는데 比해 軍인이보는 不滿 (43.5%)이 더 甚함.

○ 不滿理由

- 全体的으로 連續되는 教育内容에서 오는 倦怠(26%)가 支配的
- 時期別로 1960年度 까지는 倦怠의 深度가 가장 두드러짐.
- 1970年代에 들어와서는 強要에서 오는 高되고 긴 教育에 對한 不滿 (58%)이 絶對 多數임.
- 特히 軍人の 境遇 思想教育에 對한 倦怠感은 56.5%임.

思想教育의 內容

< IV - 6 >

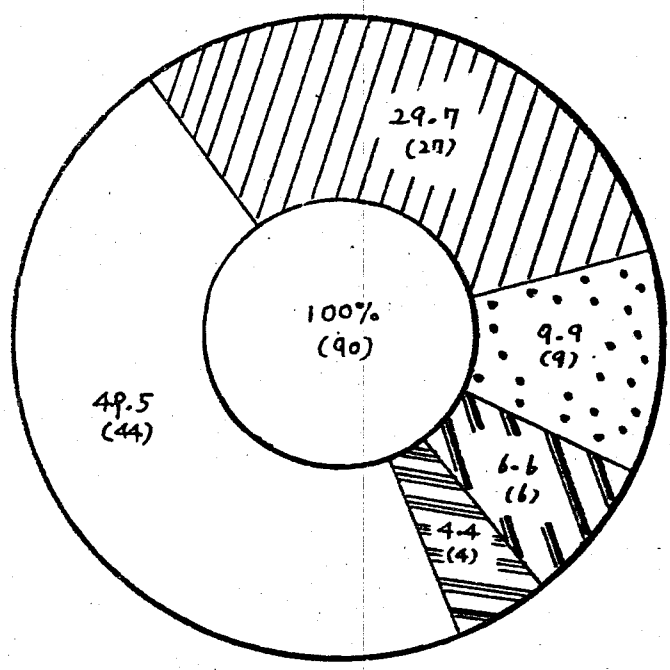
時期別	時間	內 容	担 当 者
53年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1日 2時間 ○ 每日 2時間 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 國家觀, 國內外 情勢. ○ 革命必要性: 集合教育 ○ 金日成 思想集, 共產黨 史: 學習會, 誦報會 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治副中隊長 ○ 政治軍官, 小隊長, 民青委員長, 黨委員長
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週 12時間 ○ 火曜日 아침 첫 세 들 짜 시간, 日 課後 ○ 火, 金曜日 2時間 ○ 2~3時間 ○ 週 7回以上 ○ 1日 1~2時間 ○ 週 2回 4時間 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金日成 指示事項, 內閣 決定事項, 人民武力部의 指示事項: 集合 講義式 ○ 政治上學, 內閣 決定 示達 新聞朗讀, 政治教育, 許 스 레닌主義: 誦報會 ○ 許 스 레닌主義 黨鬪爭史 ○ 國內外 政治情勢, 共產 黨史: 理論注入式 및 暗記式, 討論式 ○ 黨政策 宣傳 및 教育: 筆記, 暗記, 讚揚, 討論 ○ 政治學習, 金日成 指示 事項 中央黨 指示內容: 中隊單位 集合講義 ○ 國內外情勢, 金日成 抗日 遊擊戰: 小隊別로 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治軍官 ○ 政治軍官 ○ 担任教官 ○ 政治軍官 ○ 小隊長, 政治副中隊長 ○ 政治軍官 ○ 小隊長


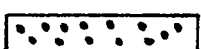


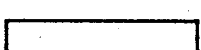
時 間 別	時 間	內 容	担 当 者
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○每週 月, 水 金아침 2時間 ○아침, 就寢前 (4時間) ○매일 2時間 ○3~4時間 	<ul style="list-style-type: none"> ○金日成教示 및 当面 課題 ○祖國民族爲해 号승 바친다.: 注入式 講義 및 試驗 ○蘇聯共產黨史, 韓國難 難, 金日成 偶像化: 講義 討論 ○金日成 抗日 鬪爭史 	<ul style="list-style-type: none"> ○下士官級以上: 政治軍官 戰士 小隊長이 實施 ○政治副中隊長 ○政治副中隊長 ○政治副中隊長
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○週 4時間 ○1일 3~5 時間 ○日課時間中 隨時로 ○月, 土 1日 2時間 合 4時間 	<ul style="list-style-type: none"> ○黨政策, 一般國內外 情勢: 講義式 ○金日成 偶像化, 黨政 策 上学: 討論, 誦報 發表會 ○黨政治 討論 ○金日成教示, 回想記, 黨政策 	<ul style="list-style-type: none"> ○政治副中隊長 ○政治指導員, 小隊長 政治部要員 ○煽動員 ○政治副中隊長
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○1日 5~6 時間 ○週当 5~6 時間 ○매일 2時間 	<ul style="list-style-type: none"> ○金日成教示 革命歷史: 筆記, 暗記 討論 發表會 ○金日成思想注入, 黨政 策 學習: 研究討論, 解說 ○金日成 思想教育, 軍 事訓練 強化教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○政治軍官 ○黨細胞 秘書, 政 治指導員 ○政治指導員

時期別	新 兵	下 士 官	軍 官
53年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 確固한 革命思想 注入, 軍生活 充實強調 ○ 政治思想教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祖國과 人民을 위 해 榮光된 전사 강요 ○ 戰術에 역점 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 党性 強化 革命의 先驅者 ○ 政治史, 戰略, 指揮方法
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祖國에 대한 忠誠心 ○ 新團 및 基礎 教育 ○ 担当 小隊長이 教育 ○ 身體 鍛鍊 및 思想 教養為主 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 士兵管理 監督徹底 ○ 政治教材 ○ 政治副中隊長이 担当 ○ 軍事訓練, 士兵管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 哨스 해년主體 ○ 聯隊 혹은 師團에서 講習 ○ 指揮系統 確立 為主 ○ 訓練作戰의 技術 教育
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍隊內의 英雄들 ○ 金日成 偶像化 韓國非難, 北傀 優越 強調 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍官, 黨員이 될수 있는길 ○ 北傀 黨歷史 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進級, 黨員, 特殊 部隊要員이 될수 있는 길 ○ 哲學, 政治, 經濟 學
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 內容同一하나 政治學習 区分 實施 ○ 小隊長이 担当 ○ 黨的課業 為主 ○ 北傀軍의 優越性 ○ 初歩的인 人民 軍規定(內務, 衛戍規定) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治副中隊長(指導員) ○ 北傀黨 路線政策 ○ 軍은 金日成의 軍隊인 ○ 小隊, 分隊 戰鬥 訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治副大隊長 ○ 北傀 黨路線政策 ○ 部下들의 精神力 強化 ○ 4大軍事路線, 陸海, 空軍에 對한 初歩的 訓練
71	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金日成 革命思想 으로 一貫 ○ 一般的인 事項 ○ 階級教養, 軍事 規律 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 兵士指揮力 普通 ○ 士兵과 同一한 教育: 下士官 黨員들이 黨學習 參加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部隊指揮, 統率力 具體的 ○ 軍官政治 學習

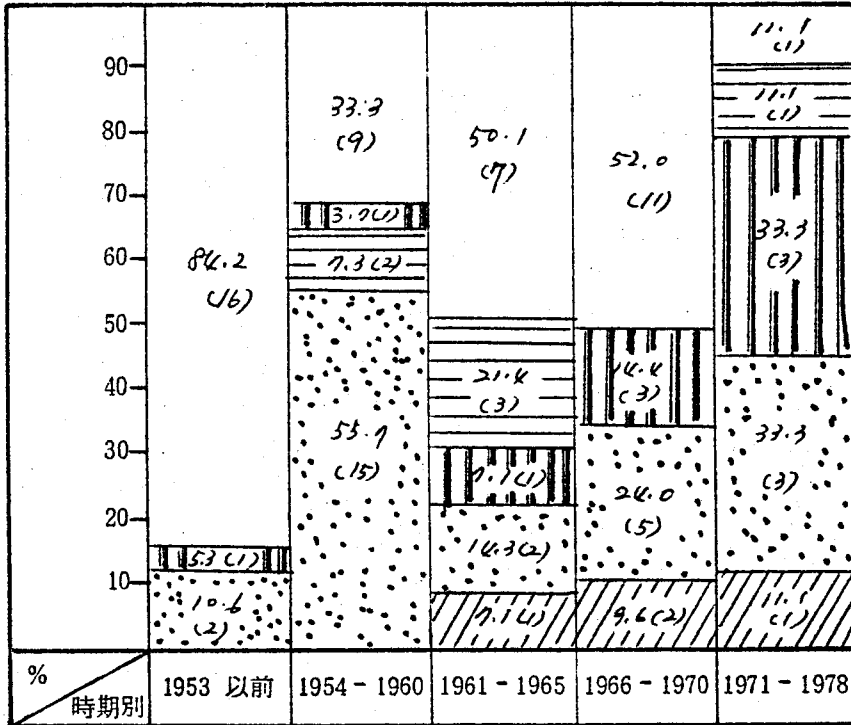
思想教育に対する所感




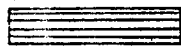
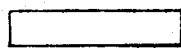
<IV-8-7>



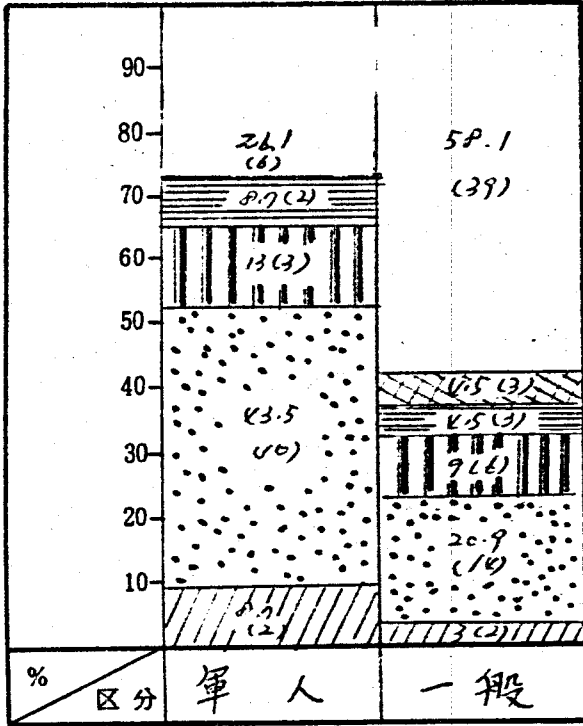
-  不満足
-  満足・不満足比等
-  満足
-  まだ双号
-  無応答




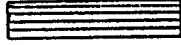

< IV-8-4 >



-  满足
-  不满
-  满足, 不满 比等
-  已经解决
-  无应答

<IV-8-4>

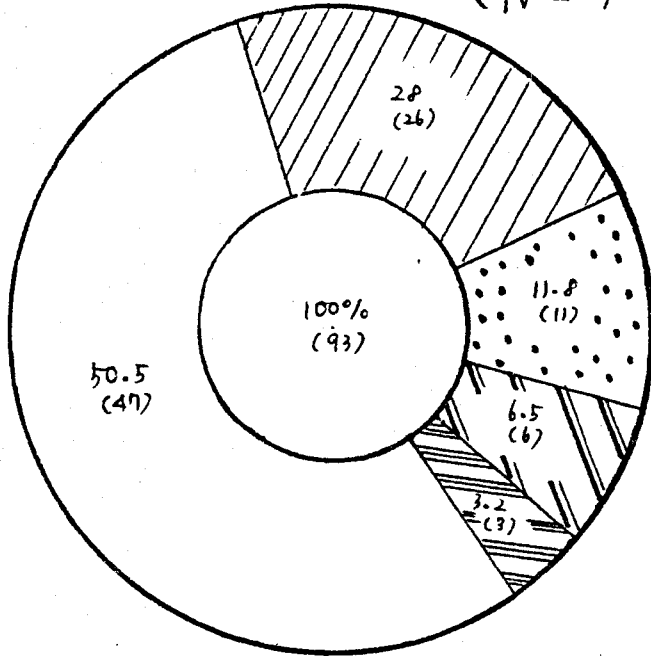







-  満足
-  不満足
-  満足, 不満足 比等
-  早已改中
-  無回答

満人急不満足一般急
中越等比等

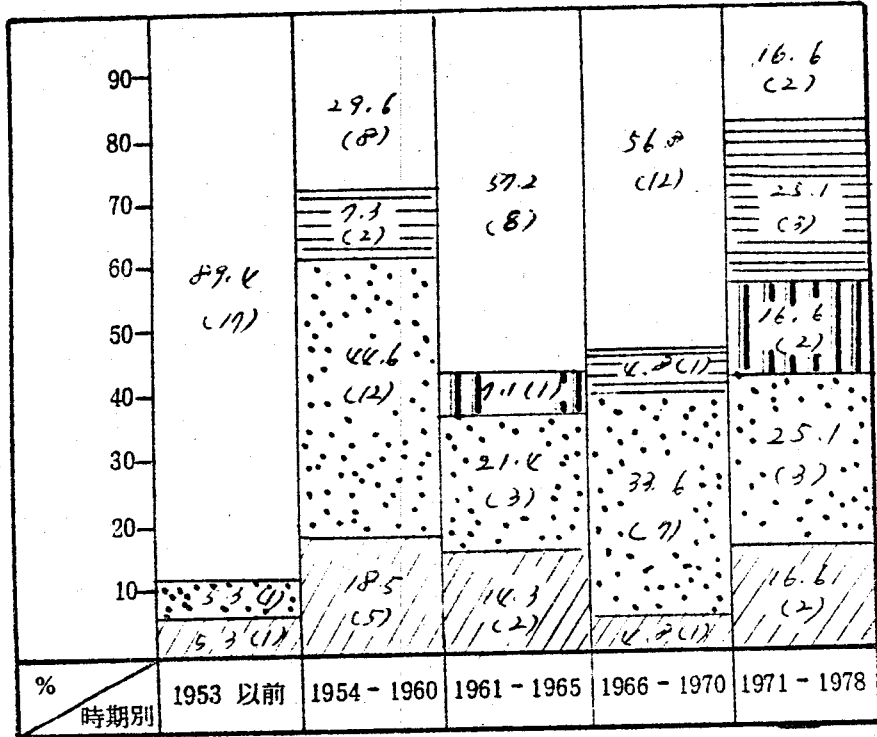
不滿理由

<IV-9-가>



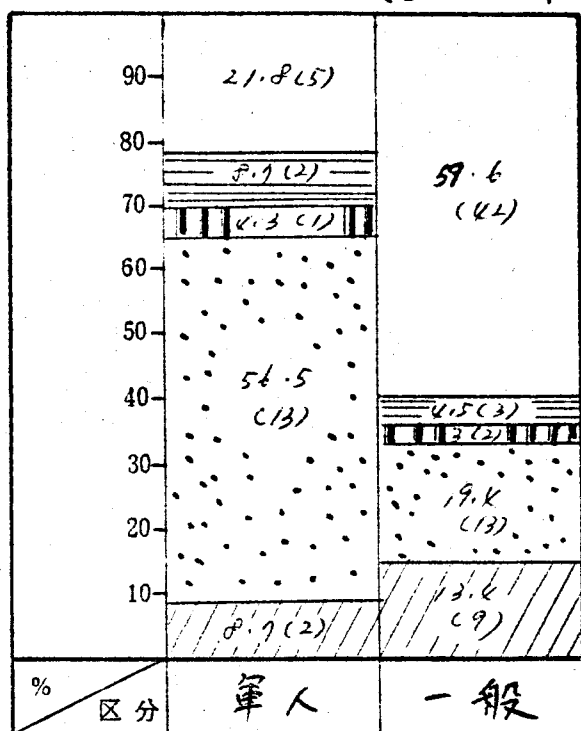
-  連綿此教育内容에서 오느 倦怠
-  敎要에서 오느 不滿
-  教育이 長
-  教育期間이 短
-  無回答

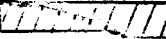
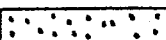
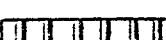

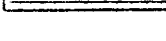
<IV-9-4>



- 强要에서 오는 不满
- 连续되는 教育内容에서 倦怠
- 教育期間이 길다
- 教育이 고되다
- 無応答

< IV - 9 - 4 >

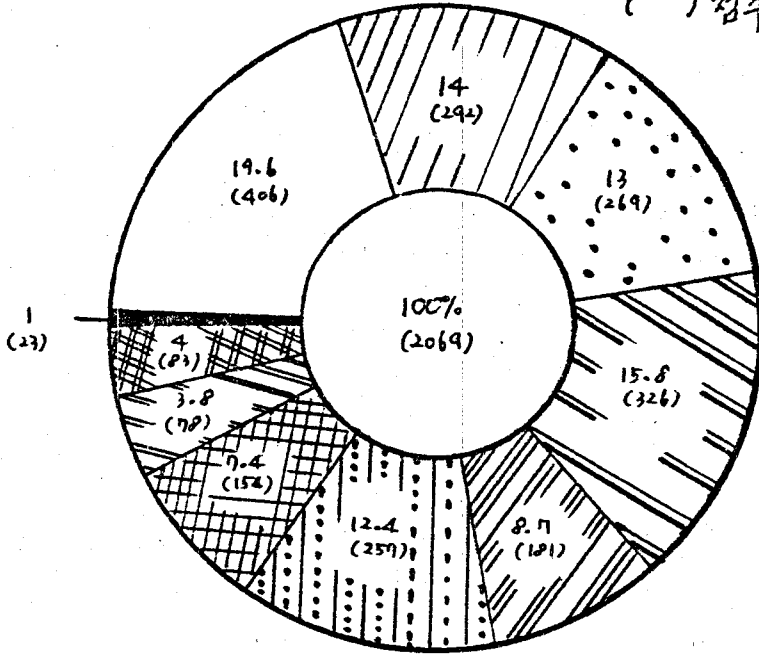







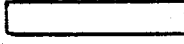




-  強要에서 오는 不满
-  連續되는 教育内容에서 오는 倦怠
-  教育期间이 너무 길다.
-  教育이 고되다.
-  無応答

課外活動

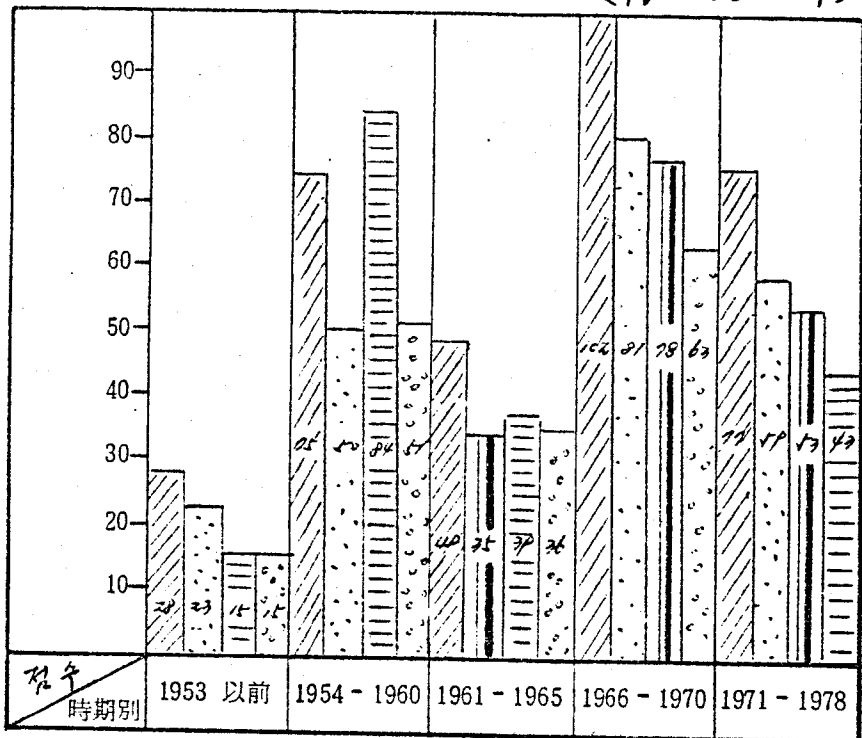
< 14-10-74 >

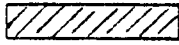

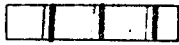
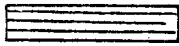

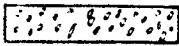
() 個수



- | | | | |
|---|--------|---|--------|
|  | 體育訓練 |  | 其他(學農) |
|  | 照準練習 |  | 其他(學農) |
|  | 武器入消掃 |  | 政治活動 |
|  | 軍事競演大會 | | |
|  | 娛樂 | | |
|  | 副業 | | |
|  | 其他 | | |

<IV-10-4>



-  政治活動
-  體育訓練
-  照準練習
-  武器手入, 清掃
-  軍事競演大会
-  娛樂

(3) 給食突題

○ 主食減量

- 特殊部隊나 板門店部隊는 一般步兵보다 基準給量을 全量支給

○ 副食

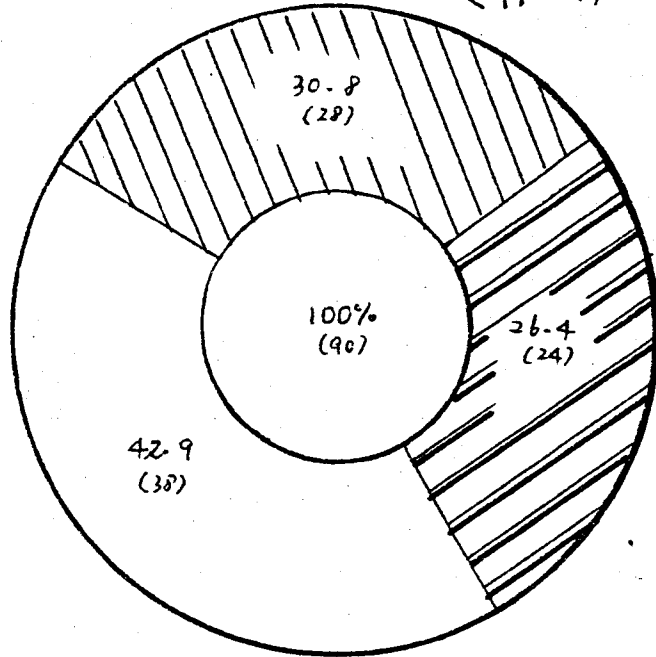
- 副食은 야채류 (33%), 생선류 (23.3%), 된장류 (21.8%), 육류 (18.2%)의 순.
- 副食調達は 점차 直接 栽培調達에서 加工調達로 轉換되고 있음.




○ 代用食과 間食

- 代用食은 밀가루 (23.2%), 옥수수 (22.2%)가 主이고 間食으로는 건빵, 과자, 과일 등이 있음.

主食減量

<IV-11-才>

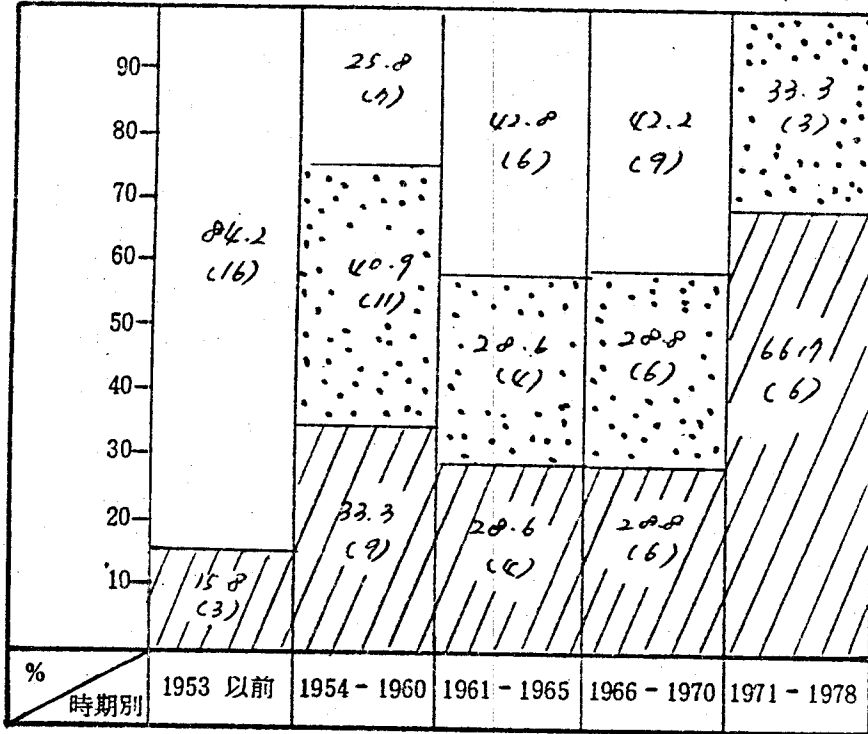





-  減量
-  不變
-  無回答

註)

板门店 至 特殊部隊, 前方部隊
 上述各

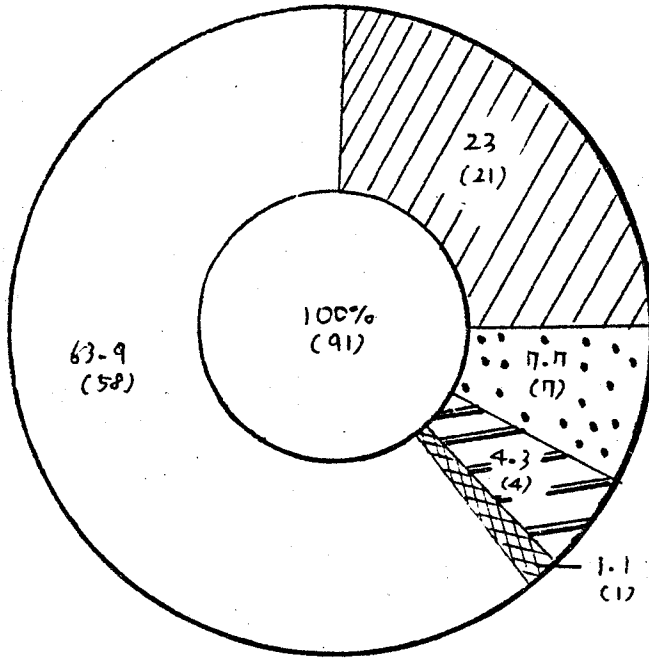
<Ⅳ-11-4>

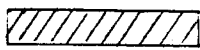
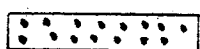


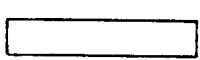


-  斗였음.
-  안하였음
-  無応答

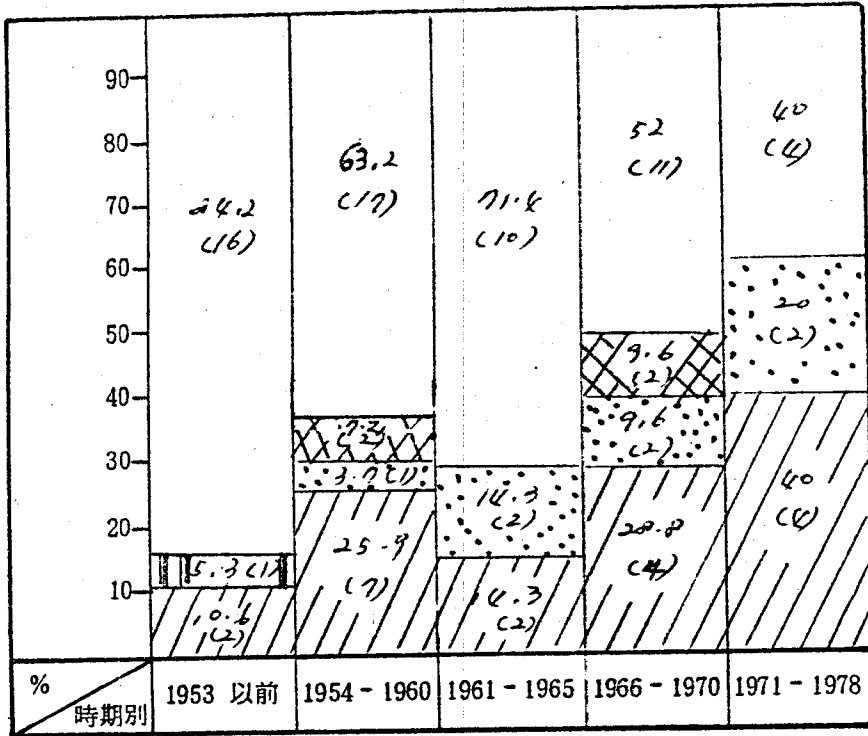
混合給食制 理由





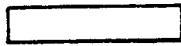
<IV-12-才>



-  戦争準備と食糧備蓄
-  食糧事情悪化
-  外債に依り経済事情悪化
-  節米運動
-  無応答

<IV-12-4>

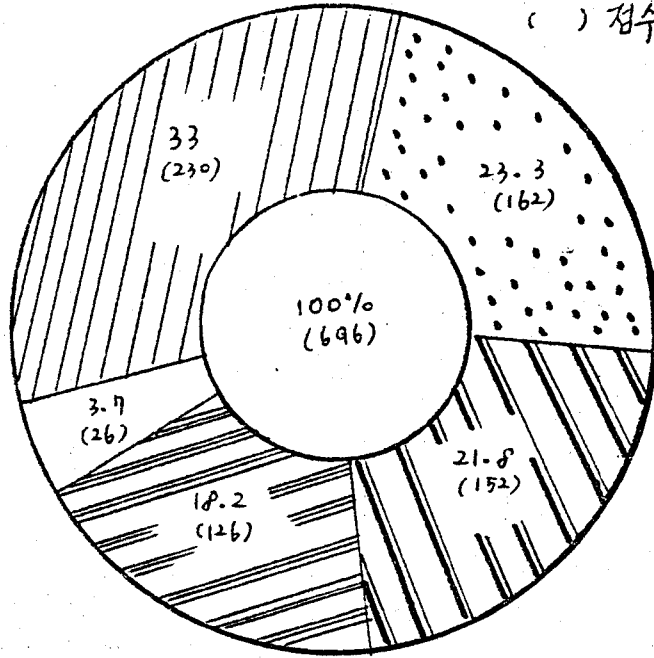


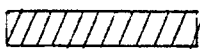
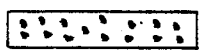


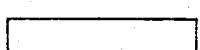
-  戰爭準備의 食糧備蓄
-  食糧事情 惡化
-  外債에 의한 經濟事情 惡化
-  節水運動
-  無應答

副食 順位

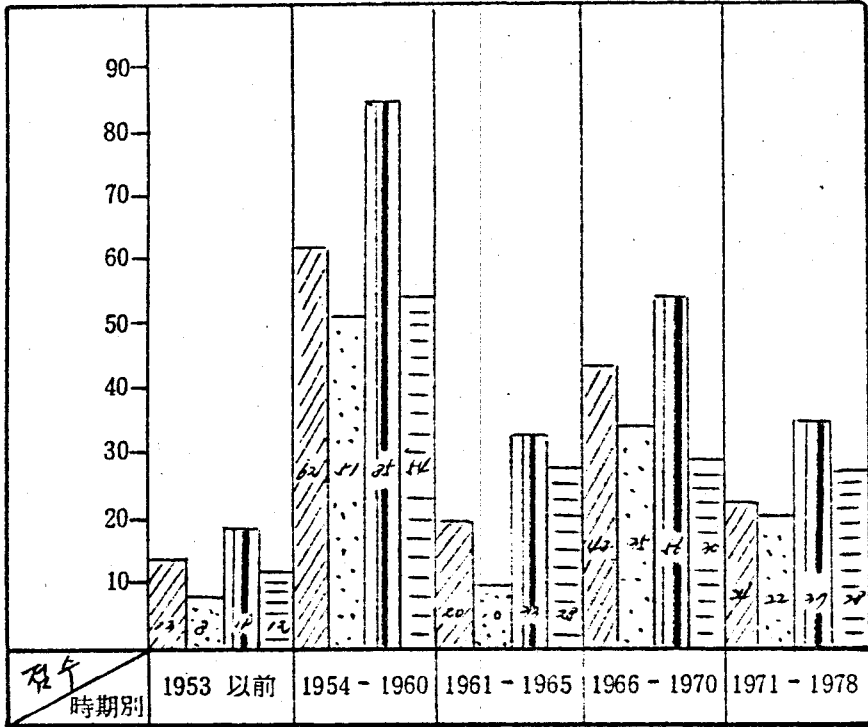
< IV-13-才 >


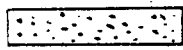
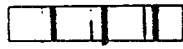
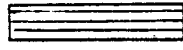
() 점수



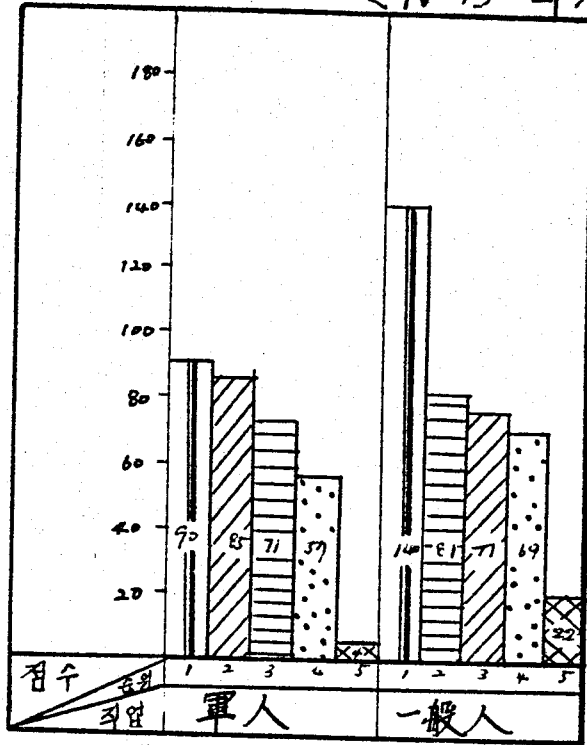
-  野菜類
-  生鮮類
-  된장類
-  肉類
-  기타 (豆腐等)




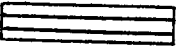

(IV-13-4)



-  生鲜類
-  肉類
-  野菜類
-  된장類

< 10-13-2 >



-  生鮮類
-  肉類
-  野菜類
-  豆豉類
-  介斗

時期別	內 容
53年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方黨 細胞委員長 및 邊盟, 民青責任者들을 通해 장야치, 산나물類, 乾魚類 등을 無償으로 供給받음 ○ 單位國營 商店에서 혹은 自体生産으로 調達하기도 하고 軍部隊 副食倉庫에서 供給받음
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部隊內 養豚, 遊休地 利用 채소류 栽培 ○ 산에서 나물 직접 採取 ○ 肉類를 中共에서 供給, 犐고기, 오리고기는 農場에서 軍後方部 担当官들이 購入해 왔고 野菜는 國營農場에서 供給 ○ 돼지 1개 中隊가 2~3 마리 飼育, 호박, 고추栽培 ○ 野菜밭가꾸기, 콩나물 기르기, 산나물뜯기, 養豚, 養鷄 ○ 特別配給이라 해서 最前方 移動時에는 과일등 調達
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部隊內 家畜飼育 自体供給 ○ 部隊單位 空閑地 利用 채소가꾸기, 돼지기르기, 토끼 飼育, 산나물 採取 ○ 後方은 上級部隊에서 供給, 前方은 自給自足 ○ 民間人 집에 가서 強要, 民間人 밭에가서 竊取
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休戰後 自体農場 채소供給 ○ 自体部隊 空터에 채소, 養豚, 토끼, 닭 飼育 (구호: "自立 通하여 各部隊에서 副食解決") ○ 上級部隊 後方部, 現地에서 伝票에 의한 調達, 副業 農場에서 調達

時期別	內 容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部部隊에서 自給自足 形態 등조립 및 加工食品 提供 ○ 國家 : 50% , 自体供給 : 50% ○ 分隊別로 든 모아 주변 農家에서 材料購入 住民들이 밭에 묻어 놓은것 몰래 파다 먹기도 ○ 副業으로 채소栽培, 소, 돼지, 계를 飼育 ○ 金日成 命令 006號에 依拠, 部隊副食은 自体副業 으로 充當, 解決 ○ 國家 政治保衛部에서의 副食調達은 直接 產地에서 가져오고 領收証만 메어줌 ○ 聯隊 供給所 → 大隊供給所 → 中隊供給所



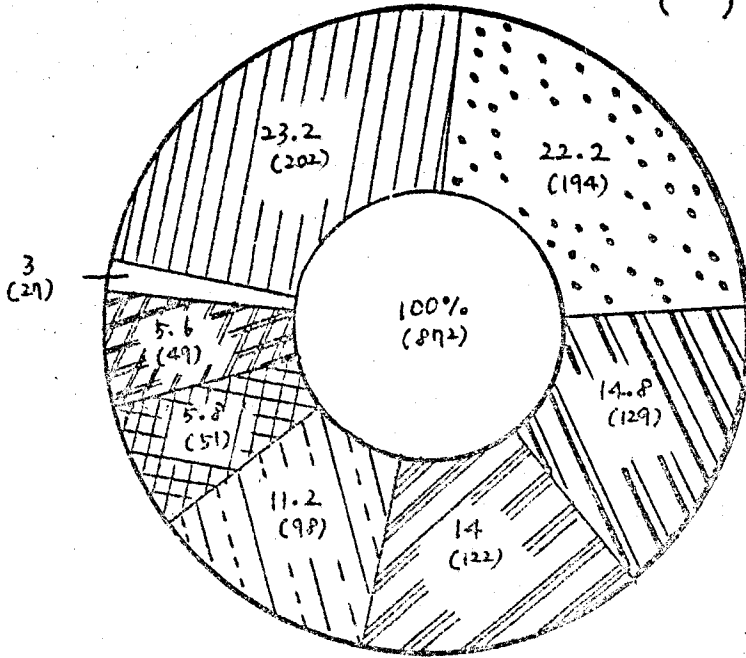
<ul style="list-style-type: none"> ○ 休戰 以前 地方黨組織을 通稱 住民들로부터 無償 提供形式으로 強制調達 ○ 休戰以後 部隊의 休耕地 利用 채소等栽培, 發豚 및 發雞는 國家供給 50% , 自体供給 50% ○ 1970年代 以後 金日成 命令 006號에 依拠 部隊 副食을 自体副業으로 充當 解決









時 期 別	內 容
53年以前	○ 實例는 없지만 野菜耕作 程度임
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍駐屯地域의 農耕地를 軍農場으로 活用. 家畜도 養育 ○ 中隊에서 1個分隊程度를 固定配置. 배추 무우 호박 栽培. 副食充當 ○ 開城周邊에 駐屯時 모내기에 動員, 1年에 1個月 程度 建築과 별목작업에 動員
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部隊周邊의 空閑地를 開墾 野菜栽培: 年中 100% 自給自足目標 옥수수. 감자栽培: 飼料自給自足 目標 ○ 日課後 野菜심음. 副業에 시달려 自由時間 없음 ○ 軍事訓練 時間外에 愛國勞動으로 遊休 農地를 개간 農事지음
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 주로 나이 많은 사람, 除隊를 앞둔 사람, 成分이 나쁜 사람: 營農 ○ 副食自給自足 原則에 依換 聯隊單位 1個中隊 營農班 組織 ○ 채소류. 닭. 돼지飼育
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自体副業할때 農村出身이 支援(技術利用) ○ 部隊周邊 協同農場에서 밭을 提供받아 야채栽培. 食堂에서 나오는 찌꺼기로 돼지飼育 ○ 1個中隊에는 약 5千坪 程度의 副業地가 있어 野菜. 옥수수. 콩. 양념 등 심음. 옥수수. 콩은 全量 返納, 양념, 野菜는 給食에 充當 ○ 中隊에 6千坪의 땅開墾, 그후 上部指示에 의해 9千坪 開墾

代用食優先順位

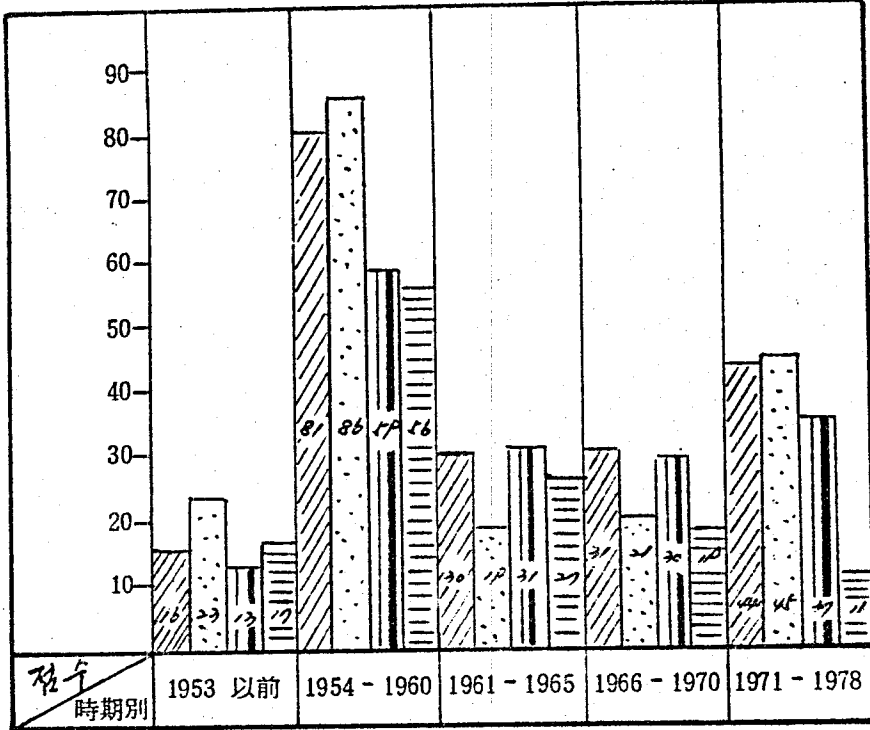
< IV-16-가 >




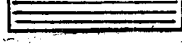
() 점수



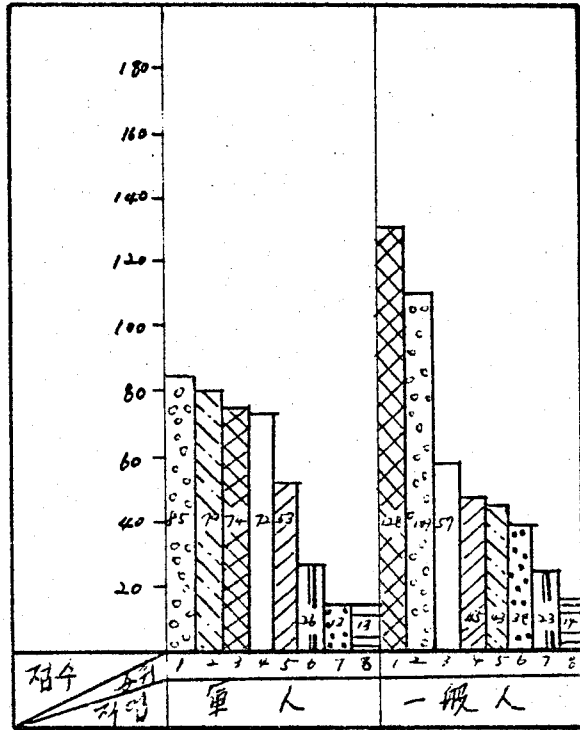
-  밀가루
-  옥수수
-  콩
-  감자
-  빵
-  과자류
-  과일
-  우유


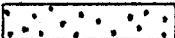

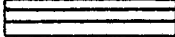

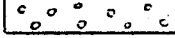


<IV-16-4>



-  밀가루
-  옥수수
-  감
-  과

< IV-16-다 >



-  빵
-  과자류
-  과일
-  우유
-  밀가루
-  옥수수
-  감자
-  밀

特 食

< IV-17 >

時期別	種 類	時 期	支 給 量
53 年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 쇠고기 ○ 돼지고기 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1949.10 月 創軍 黨 創設 紀念日 	○ 300 g
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 떡, 육류·술등 ○ 고기볶음밥, 고기 만두국, 땅, 사과 ○ 밀가루튀김, 비빔밥 ○ 튀김 3 개, 사과 2 개 ○ 과자류 ○ 만두, 술 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2.8 節, 金日成 生日 8.15 等 國慶日 ○ 8.15, 2.8 節, 金日成 生日 ○ 週 1 回 或은 2 週 1 回 ○ 1.1, 2.8, 8.15 名節 紀念日 ○ 野戰訓練時 ○ 1.1 新正 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1 回 600 g 支給 ○ 만두 800g, 술 1 홉
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 떡, 만두, 튀김, 과일 ○ 술, 설당, 튀김, 떡 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1.1, 2.8, 5.1, 8.15 國慶日 ○ 軍創設日, 金日成 生日, 年末 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平時보다 100g 程度 追加 ○ “보초메라 함(보태서 먹으라는 뜻) 200-300g 程度 800g 以上

時期別	種 類	時 期	支 給 量
66-70	○ 버터, 설탕, 당면, 과일	○ 1957	○ 버터 1스콘, 설탕 50g, 고기 300g
	○ 과자, 육류, 술, 과 일 ○ 고기, 들고기	○ 名節때마다 ○ 1.1, 2.8, 9.9, 10.10	○ 육류 40g, 술 과자 100g ○ 육류 150g, 들고기 400g
71-	○ 만두, 떡, 국수	○ 1.1, 2.8, 4.15, 8.15 9.9, 10.10,	○ 참쌀과자 200- 400g 사탕 200g
	○ 참쌀과자, 사탕 ○ 白米밥, 강냉이, 국 수, 입쌀떡, 찰떡, 짜지고기 ○ 찰떡, 돼지, 쇠고기	○ 名節때 ○ 金日成, 金正一 生日, 政治的名節 ○ 記念日, 名節	○ 平時支給量에서 쌀은 200g 더주고 고기類는 1人當 300g 程度 ○ 當日 全量 白 米로 支給



○ 年例的 行事인 1.1, 2.8, 4.15, 5.1, 8.15, 9.9, 10.10동
國慶日 및 名節에 特食 支給
○ 特히 1970年以後 金正一生日行事에 쇠고기, 돼지고기, 술, 생선,
사탕等 相當量의 特食支給.

軍商運營	
時期別	內 容
53年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍商管理인이 軍人이므로 , 軍官은 例外이나, 一般 下戰士의 境遇 購買品을 자유롭게 팔아서 살 수 없고, 生活必須品의 品費現狀·低質化招來
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 노트, 봉합葉番등 購入 ○ 聯隊 및 市·郡單位에 軍人 商店 있음. ○ 營內에서 조금 떨어진 곳에 위치하고 있으며 과자·엿 노트 등을 販賣 ○ 部隊마다 軍人商店→軍人利用 ○ 營外에 賣店이 있으나 들진 살 機會가 없음.
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部隊單位로 運營하나 一般消費組合과 同一 ○ 聯隊內 軍商: 將校 1, 士兵 2, 女子 2, 軍人에게만 販賣, 軍人家族 愛用, 利益金 聯隊收入 ○ 部隊本部 (聯隊)에서 直營
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 店員은 軍人家族, 軍트럭으로 商品配達 ○ 軍部隊 營外에 두고 衣類, 日用品, 食料品 販賣, 主로 軍官과 그 家族들이 利用 ○ 師團 後方部에서 實施 ○ 營外에 있고 小隊·中隊單位로 2名씩 指揮官 許諾받고 먹물것 購入

時期別	內 容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍人家族中에서 運營, 모든 普及은 部隊 經理部 直營(타물, 양말, 과자류等)
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週 1回 小隊單位 1名씩 差出, 中隊에서 師團으로 特務長의 引率下에 購入 ○ 담배, 바늘, 실, 과자 등을 購入할 程度(軍商에만 과자있음) ○ 軍官家族들의 된장, 간장, 소금 供給場所에 지나지 않으며, 軍인에게 必要的한 字習帳이나 萬年鏢程度임. 軍인들이 마음대로 往來못함. ○ 聯隊에 1個 商店이 있었으나, 個人的으로 가는것이 아니라 中隊에서 1名 差出하여 사오게 했음. ○ 노트·손칼 등 여러 商品이 있었으며 돈만 있으면 自由로 購入 ○ 재봉틀, 時計(손목시계, 벽時計), 술, 糖菓類, 나이론 製品들을 割當 供給받음.



<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍商은 營外에 位置하고 치약, 치솔, 비누, 노트, 손칼 등 日用品과 과자류 取扱, 小隊·中隊單位로 1-2名씩 差出 指揮官 許諾下에 團體 購入 ○ 軍인들의 生活便宜를 위한 것이 라기보다 軍官家族을 爲한 生必需品 供給場所

(4) 政治軍官과 軍事軍官

○ 軍事幹部의 二元 組織

- 軍을 事實上 支配하고 있는 政治軍官은 原則적으로 政治軍官學校 修了者가 任命 (38.5%) 되며, 政治思想教育을 專担
- 政治軍官의 影響力이 優勢 (56.1%) 하기 때문에 軍事軍官과의 사이에 不和 (56.1%) 가 頻繁
- 70年代는 "가끔 있다"는 경향 (55.6%) 이 支配的

○ 不和의 理由

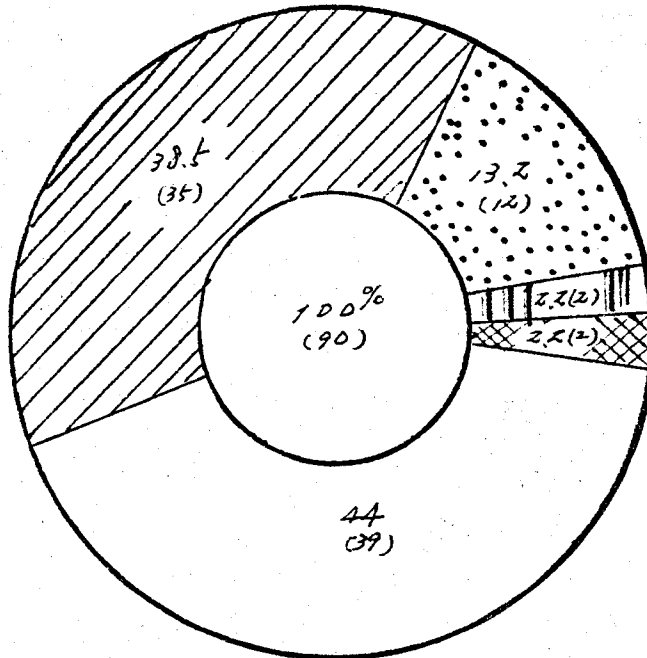
- 政治的 統制權을 쥐고 있는 政治軍官이 軍事軍官의 役割에 지나치게 干涉하는데 있음.




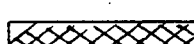

○ 軍內 行動監視者

- 黨政治事業을 主導 (17.1%) 하는 政治軍官外에 情報活動을 專担하고 있는 安全軍官을 두어 (19.8%), 二重, 三重의 監視體制를 形成
- 60年代까지는 社會安全部內 政治保衛部 系列 安全軍官配臚, 70年代 國家政治保衛部 格上後에는 國家政治 保衛指導員으로 代替

政治單官之任用方法

< IV-19-A >

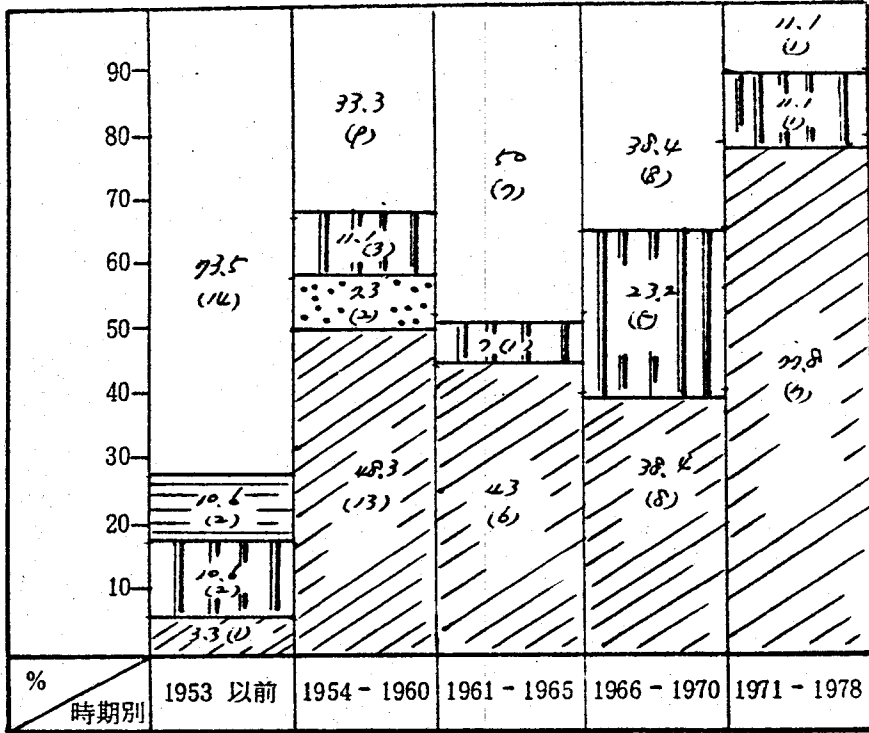



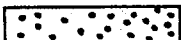

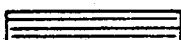
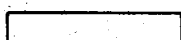
-  政治單官學校修業者
-  党中央選拔熱誠黨員
-  初級黨細胞委員會推薦者
-  呈請效勞
-  無志者

註) ① 政治單官之原別之或之政治單官學校修業者不任命外以熱誠黨員之黨委員會之推薦之所定之教育之任用外也

② 政治單官之選拔之合衆政治單官學校之4年課程之養成外以現在之順安之綜合單官學校之4年課程之養成外也

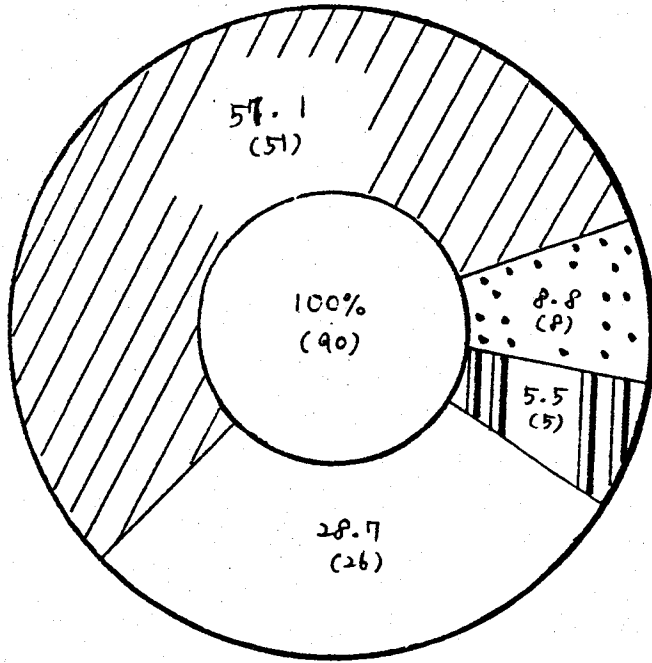
< IV-19-4 >

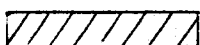
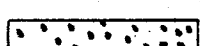

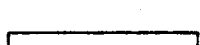


-  政治學院學校培养了
-  初級黨細胞委員會推薦者
-  黨中央委員選拔熱誠黨員
-  單三双台
-  無恥者

政治軍官과 軍事軍官의 影響力

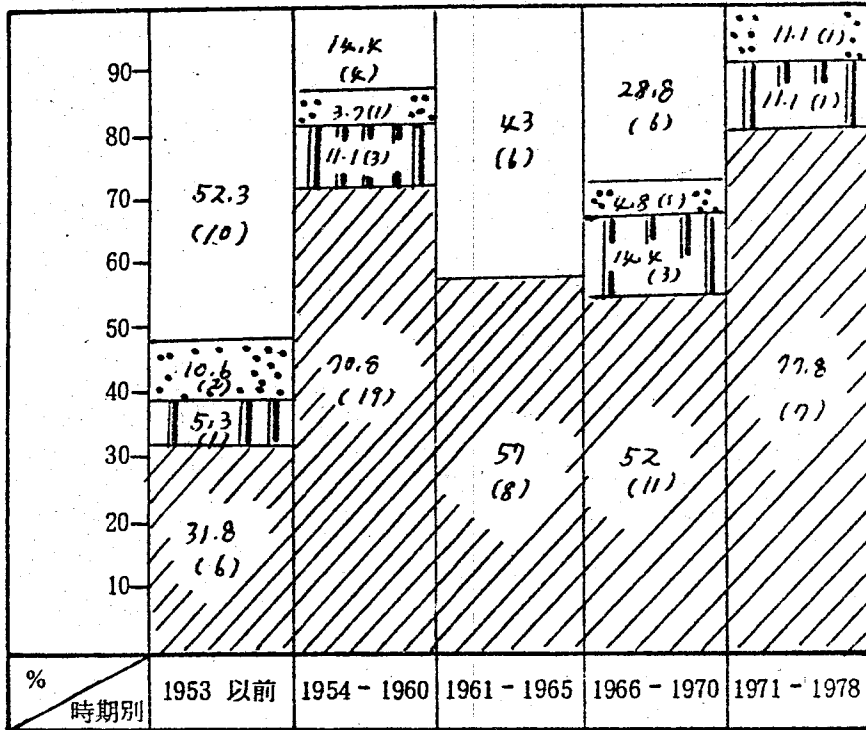
< IV-20 - 가 >


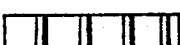
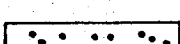
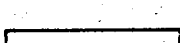


-  政治軍官
-  軍事軍官
-  同等
-  無應答

註① 政治軍官은 政治思想 事業을 軍事軍官은 軍事面 을 관장하고 있다
 ② 職責상으로는 "長"은 軍事軍官, 副는 政治 軍官이 옳고 있다

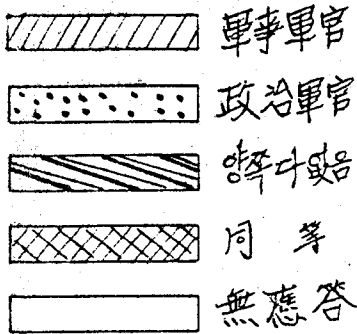
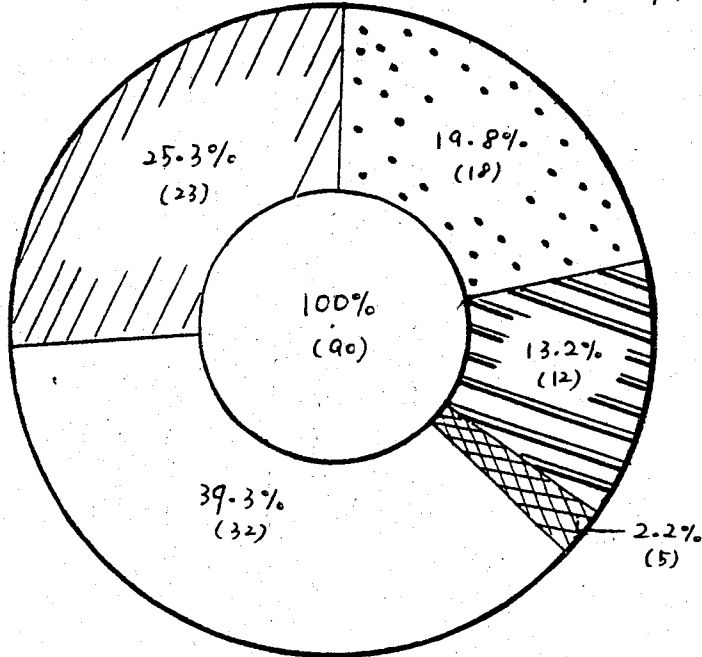
<IV-20-4>



-  政治軍官
-  軍事軍官
-  同等
-  無應答

政治軍官과 軍事軍官에의 親密感

<14-21-가>



註) ① 政治軍官에의 親密理由

- 軍事軍官은 딱딱하고 政治軍官은 부드럽게 처하기 때문
- 党的 革命战士가 되기 때문

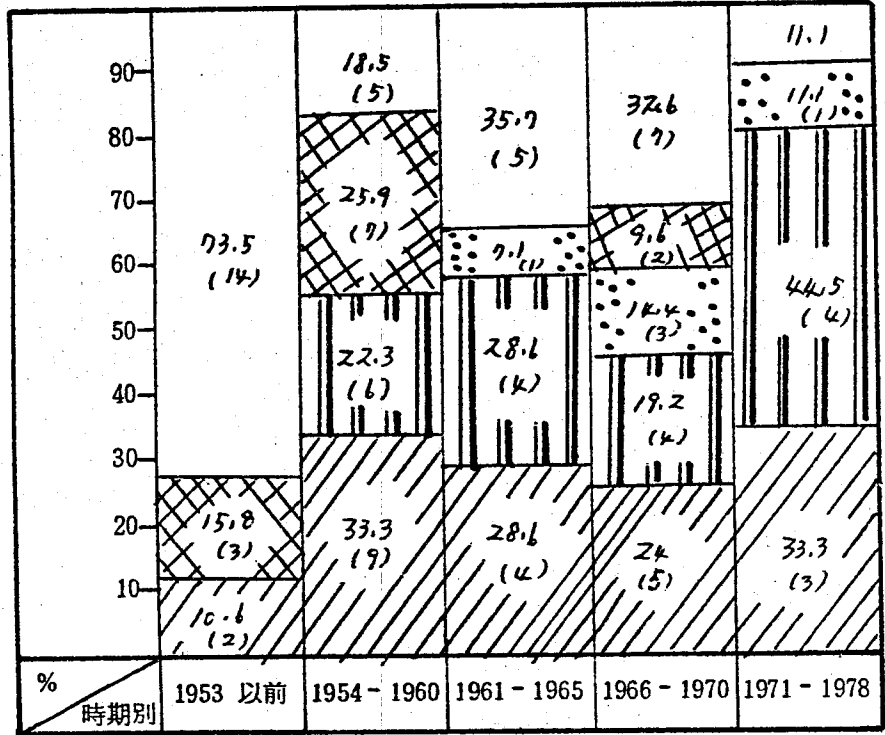
② 軍事軍官에의 親密理由

- 政治軍官은 政治的 思想教育에 注意가 깊고 私生活에 干涉하기 때문

③ 양쪽다 親密하기 같은 理由

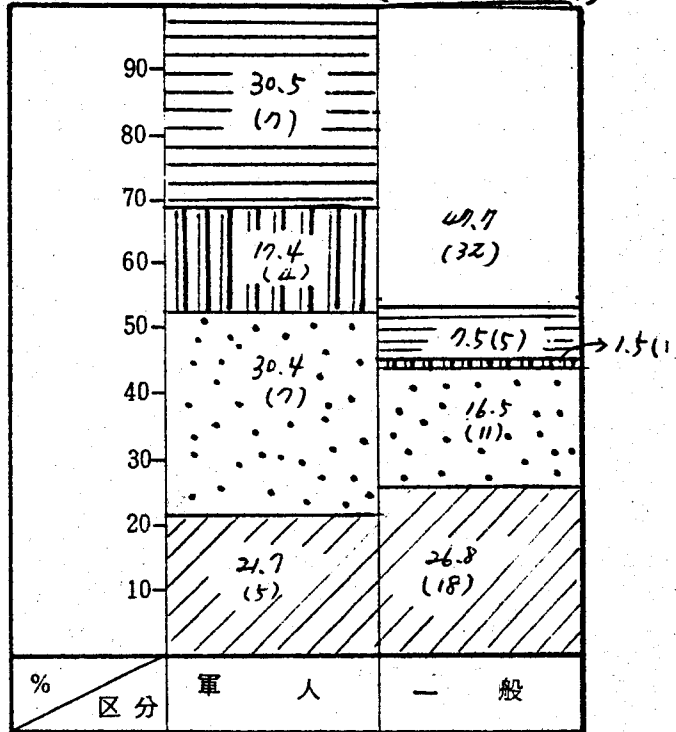
- 互인 訓練의 政治學習 때문
- 軍事軍官은 軍閥主義이고 政治軍官은 党官僚主義的이기 때문

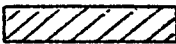


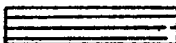

< IV - 21 - 4 >



-  軍事軍官
-  政治軍官
-  同等
-  軍事學士
-  無應答

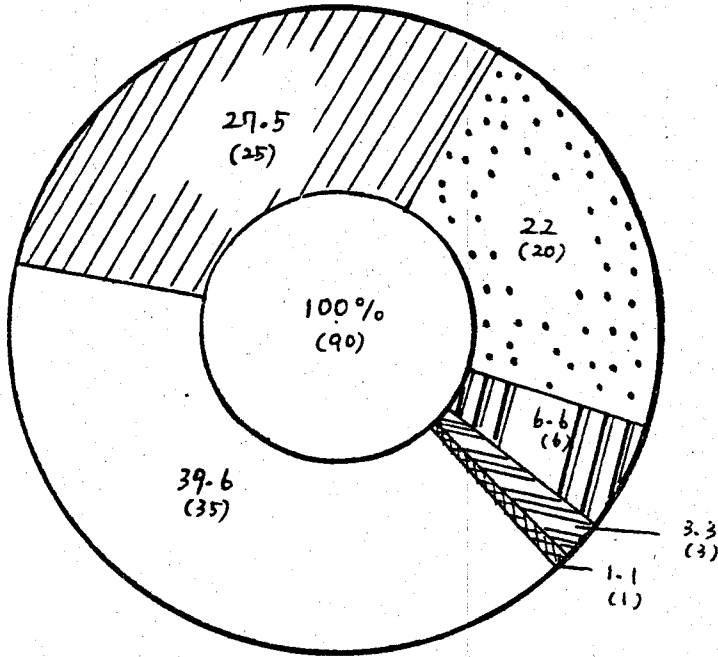
< IV-21-4 >

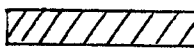
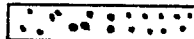



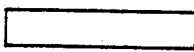


-  军事军官
-  政治军官
-  同等
-  资料亲密感资料
-  无应答

政治軍官과 軍事軍官의 不和

< IV-22-가 >



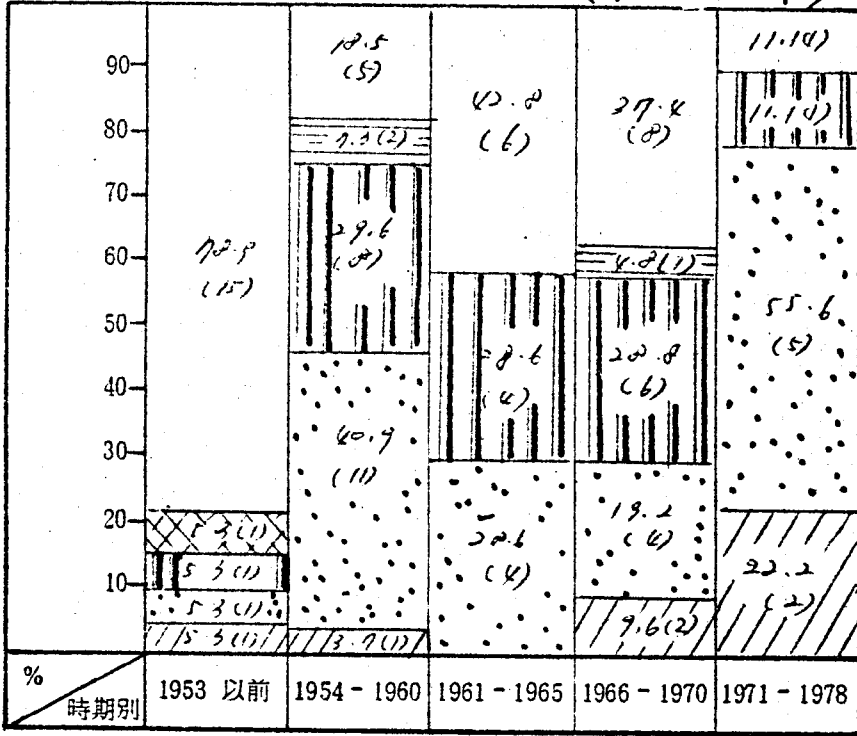
-  가관있음
-  있지만 相互 調和
-  항상있음
-  없음
-  모르겠음
-  무응답



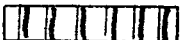
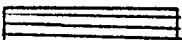


註) ① 軍事軍官은 잘 모르는 政治軍官이 아니라 行政干涉 또는 越權行爲를 하기 때문

② 職責과 命令 系統은 軍事軍官이 優位이고 組織 系統은 政治軍官이 優位이기 때문

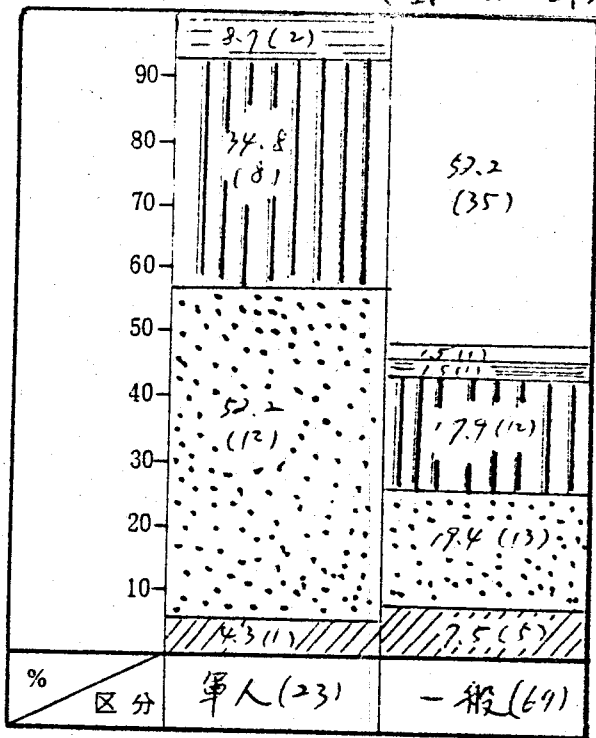
③ 軍事軍官은 政治軍官의 政治的 統制를 받아야 하기 때문

< 1V-22-4 >



-  恒常 있음
-  가끔 있음
-  있지만 相互調和
-  없음
-  포르젝음
-  無 志 答

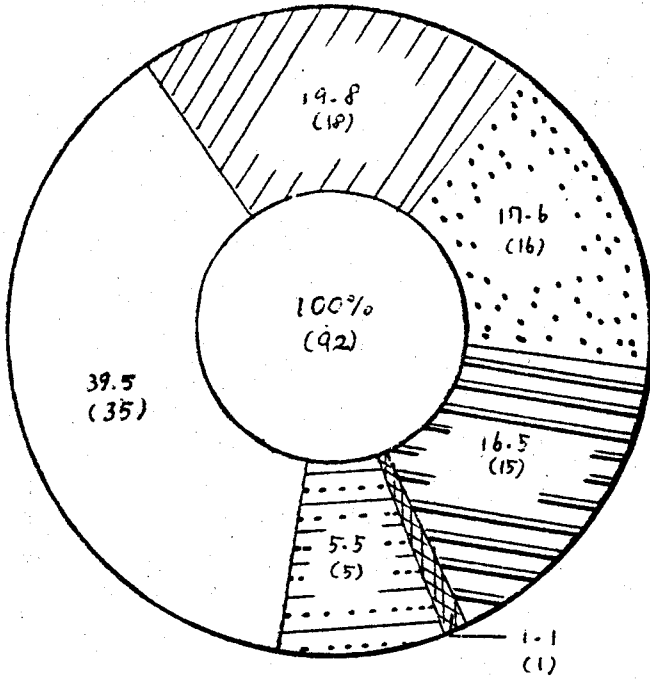
< IV - 22 - 다 >


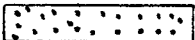


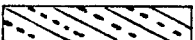



- 항상 있음
- 가끔 있음
- 있지만 相互 互換
- 없음
- 모르겠음
- 無回答

行動 監視者

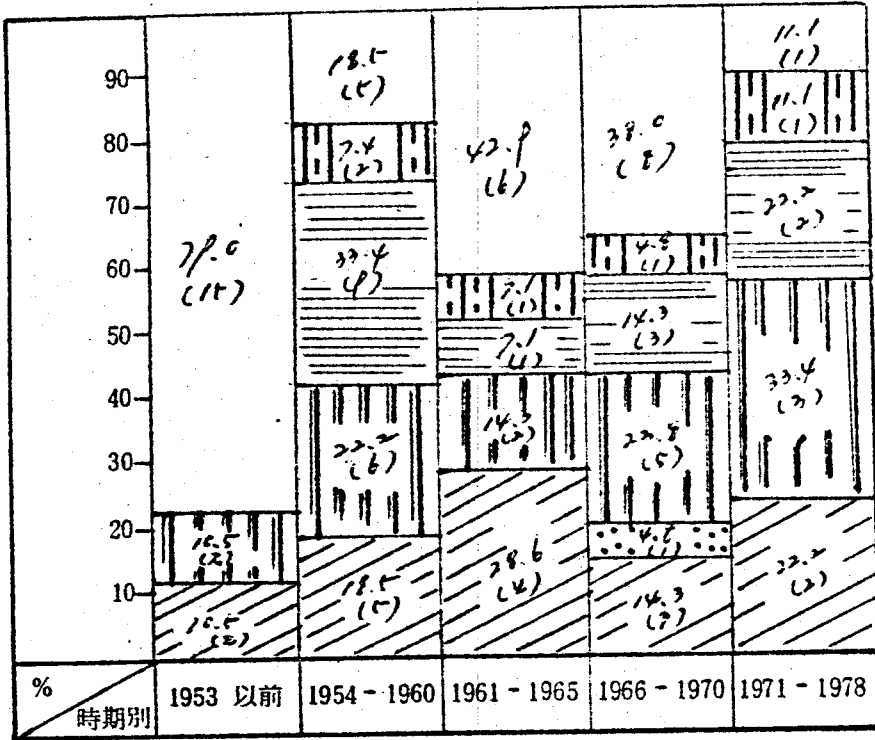
< 11-23-가 >




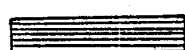

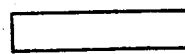


-  安全指導員
-  政治軍官
-  党性이 강박者
-  指揮官
-  其他
-  無反應

註) 大政級의 安全指導員이 及이 安全指導員 일에는 秘策要員이 及이 相互監視 結果에 及이 及이 及이 (80年改以前, 社會安全部內 政治 保衛部 系列)

< IV - 23 - 4 >



-  政治軍官
-  指揮官
-  安全指導員
-  장성이 강한者
-  其他
-  無 応 答

註) 其他는 1970年度 國家
政治保衛部 格上 以後부터의
政治保衛指導員

時期別	政治軍官	軍事軍官	相互關係
49-53	<ul style="list-style-type: none"> ○ 優位 ○ 黨을 代表 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍作戰' 担当 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不和 ○ 軍事軍官은 항상 政治軍官의 指導받음
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指揮官을 包含하 는 全軍人의 政 治 思想教育 ○ 親切을 베푸는 처 하면서 監視하므 로 接近 두려워함. ○ 軍의 正規코스 없 이 黨이 任命하 면 平民으로서도 任官 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育訓練 및 指揮 ○ 管轄內 作戰權 ○ 政治軍官에게 報 告하고, 일과 行 動을 함. ○ 士官學校나 軍事 學校 卒業하거나 兵에서 昇進任官 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表面的 : 軍事軍 官優位 ○ 內面的 : 政治軍 官優位 ○ 內的으로 感情 對立 ○ 軍事軍官은 항 상 政治軍官을 警戒
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黨政策 浸透・教 養하여 戰鬪에 組織・動員시킴 ○ 思想教育・人間關 係 責任 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作戰 ○ 軍事專門家 ○ 軍의 戰鬪力培養 과 戰術業務責任 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍事軍官은 政 治軍官과 協議 下에 行動 ○ 形式上 : 軍事軍 官部隊指揮 ○ 實質上 : 政治軍 官이 主導

時期別	政治軍官	軍事軍官	相互關係
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○組織指導者的役割 ○軍內 政治的·党的指導 ○党 幹部 ○政治思想面에 集中하나 軍事關係 잘 안될때 統制 	<ul style="list-style-type: none"> ○軍事問題에 局限 指揮權 行使 ○軍事幹部 ○軍事面에서 責任 지나 모든 問題는 党的 指導下에 함. 	<ul style="list-style-type: none"> ○항상 對立, 結局 党組織에 行政이 統制받음. ○모든 權限은 政治軍官이 掌握 ○軍事軍官은 모든 活動을 政治軍官에 議論後 解決
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○党組織 強化 優先主義 ○政治뿐 아니라 行政에도 權力行事 ○軍人들의 政治思想 教育 및 精神 狀態 監督 	<ul style="list-style-type: none"> ○軍內 軍事 및 訓練 任務·行政 任務 等 遂行 ○軍事面에서도 政治軍官에 干涉받음 	<ul style="list-style-type: none"> ○相互意見對立 빈발 ○같은 階級에서도 政治軍官이 發言 權 優勢

- 政治軍官은 主로 軍內의 政治 思想·組織을 專担하고, 軍事軍官은 教育訓練 및 作戰面에서 責任을 지고 있으나 軍事軍官은 모든 活動을 政治軍官에게 議論後 解決
- 形式上으로는 軍事軍官이 部隊를 指揮하나 實質上의 指揮官은 政治軍官임.
- 兩者間에 항상 對立 不和現象이 있으나, 結局 党組織이 行政을 統制하고 있음.

4. 軍内不満実態

(1) 軍内 不満 実態



나. 軍內 不滿 實態

○ 兵營生活

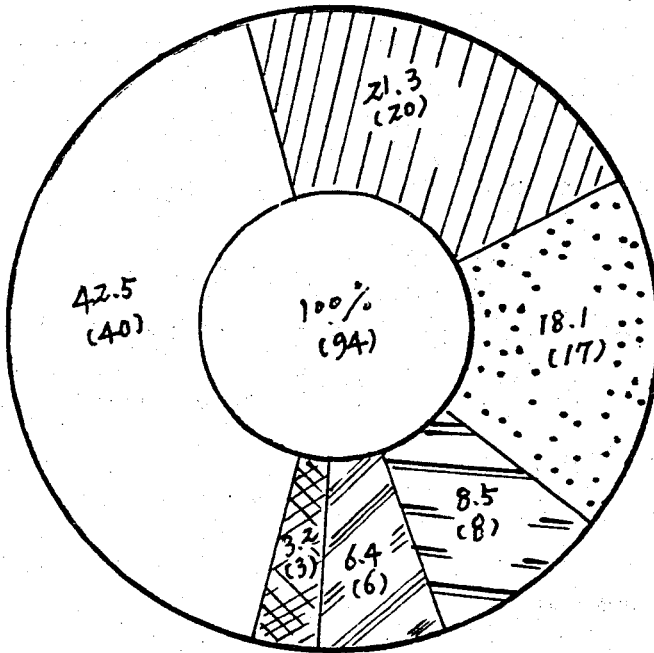
- 日曜日에도 體力鍛鍊 (26.3%), 清掃와 武器手入 (18.1%) 등을 주로하여 休暇와 外出은 거의 없음.
- 休暇, 外出, 外泊 (13.1%) 極甚한 作業強要 (11.1%), 취침·休息時間 (12.9%) 등에는 不滿을 나타내고 있음.
- 不滿程度도 普通 以上이 49.5%나 됨.

○ 成分上의 差別待遇

- 있다가 44%로 不滿의 要素가 되고 있음.
- 成分이 나쁜 者는 軍幹部, 重要職責에는 任用이 되지 않음.
- 休戰後부터 本格的으로 實施되어 60年代 後半에는 더욱 甚한 것으로 나타나고 있음.

日曜日管内生活

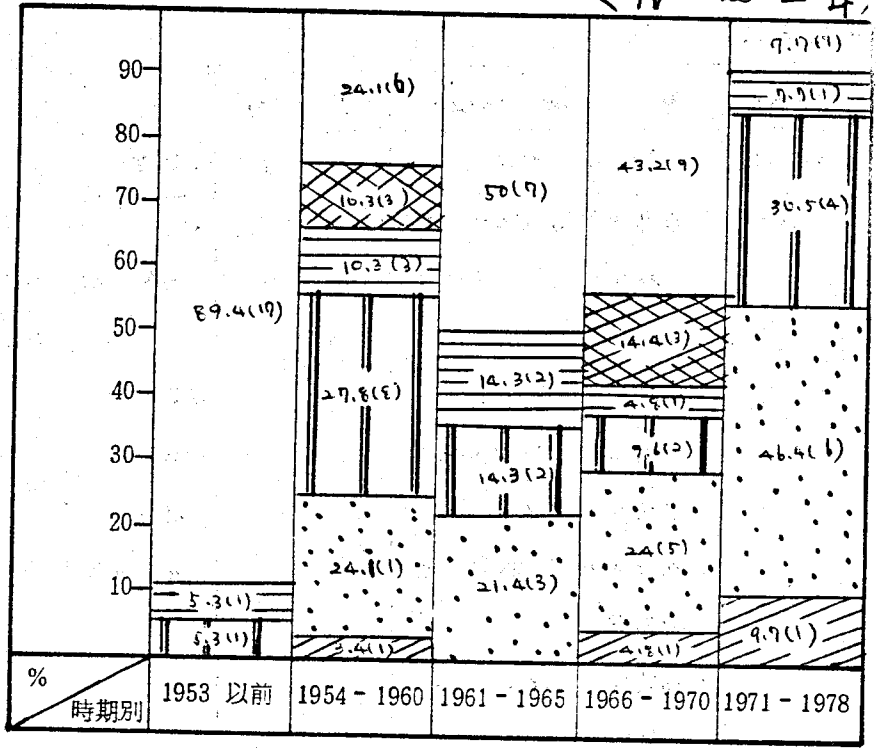
< IV-25-7 >

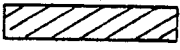


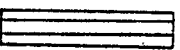

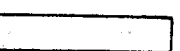


-  体力鍛鍊
-  清掃或試務手
-  教育訓練
-  手紙
-  其他
-  無回答

① 郵分界線 近方勤務部設之
日曜日 設て だが 日中は
洗濯、理髪等を 行はせ
② 其他 各所に 団体映画観覧、
読書会、群众文化 娯楽等
を 行はせ

< IV - 25 - 4 >



-  其他
-  体力鍛鍊
-  清掃及武器手入
-  教育訓練
-  其他
-  無回答

休暇制度

< IV-26 >

時期別	制 度 (種類)	期 間	地 域
53年以前	○一般 特別休暇	○ 3-15 일	○ 戰故地
54-60	○服務年限制 實施後 定期 休暇制廢止 . 一般休暇 . 表彰休暇 ○ 1 個中隊에서 1 年間 模範軍人 2~3名 中 隊長이 推薦 ○ 熱誠者에게 慰勞 激 勵休暇 ○ 休暇後 1 次씩 15 日 間休暇 ○ 1 個月에 3 %씩 갓 다오도록 되어있으나 못갓음.	○ 10-15 일 ○ 7-15 일 ○ 15 일	○ 一般休暇 : 고향 ○ 表彰休暇 : 模範部 隊 및 休養所 ○ 故 鄉 ○ 家 庭 ○ 義勇軍出身 : 名所 및 休養所
61-65	○戰後 休暇 . 表彰休暇 ○ 特別 休暇 (간첩 체포 , 創 業機構研究功勞) ○ 功勞者 2.8 節 休暇	○ 3-10 일 ○ 약 15 일	○ 区分없음 ○ 故 鄉
66-70	○ 表彰 休暇	○ 12 日 (往復 日數 除外)	○ 故 鄉

時期別	制 度 (種 類)	期 間	地 域
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○特別功勞休暇 ○內務規定에 依拠 定期 特別休暇 ○一般休暇는 事實上 없으나, 1年에 1個中隊 1-2名만 許容, 帰隊後 後方消息 脚本대로 宣伝 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10 일 ○ 7-15 일 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全地域
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○特別模範者 表彰休暇 ○下戰士는 없고 軍官에 있으며 定期的으로 없음 ○規定上 15 일, 1968년 4월에 불로호 事件後全廢 ○法的으로 1年 6月 1回 (14日)로 되어있지만, 平均 軍服務期間中 1回 (軍官은 特別狀況 없는限 1年에 1回 休暇) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年 1-2 回 ○ 定期休暇 : 15 日 ○ 事由休暇 (父母死亡時 : 15 日) 	



- 休戰 以前 一般, 特別休暇 (3~15日間) 実施
- 休戰以後 服務年限制 實施後 定期休暇制를 廢止하고 模範, 熱誠者를 中隊長이 推薦하여 年間 1個中隊 2-3名씩 表彰休暇를 15日間 實施, 帰隊後 後方消息을 脚本대로 宣 伝케 했음.
- 特히 1968年 푸에블로호 事件後에는 休暇制를 全廢
- 軍官은 特別狀況 없는限 年1回 15日間の 休暇實施

外出制度

<IV--27>

時期別	制 度	目 的
53年以前	<ul style="list-style-type: none"> ○公用外出만 許容 ○土曜日 外出制度 実行 ○없음 	
54 - 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1956년까지 個人外出許容 服務年限 施行後 分・小隊 集團外出 ○日曜일에 分・小隊單位 集 團外出 ○日曜日 約6-7時間 外出許容 ○3년에 1-2回 休暇 ○私적인 外出은 거의 없었 으며 党・民育行事때 外出 証 發付받아 外出 	<ul style="list-style-type: none"> ○士氣昂揚 ○連絡・對民支援・建物 新築・物資購入・其他 ○映画觀覽・演劇觀覽・沐浴 ○洗濯
61 - 65	<ul style="list-style-type: none"> ○外出事由를 上官에게 報 告하면 隊列 參謀가 發行 ○一般用務 外出 없음 ○68년까지 없었음 ○表彰 및 上司指示 外出 	<ul style="list-style-type: none"> ○親旧相逢이나 親知家庭 訪 問 ○各種行事 參席次
66 - 70	<ul style="list-style-type: none"> ○團体外出 ○表彰外出, 作樂動員, 巡察 	<ul style="list-style-type: none"> ○劇場觀覽, 8.15 閱兵式 參加
71 - 78	<ul style="list-style-type: none"> ○하전사 外出 전혀없음 ○軍事規定에 是 外出制度 있으나 전혀 適用하지 않음 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育

外泊制度

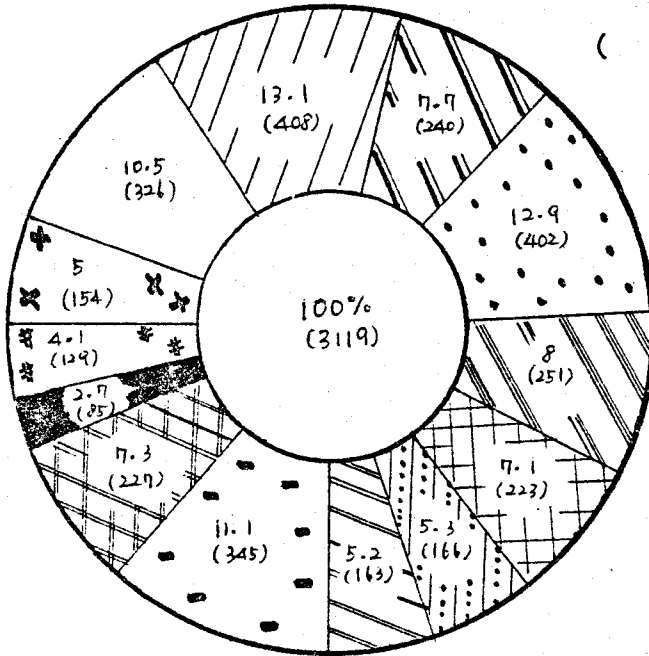
< IV-28 >



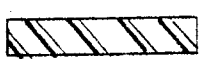
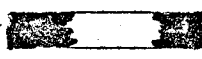
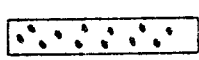
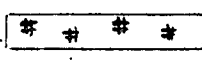
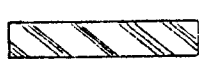
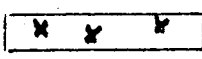

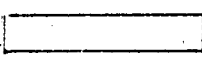
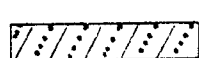
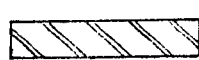
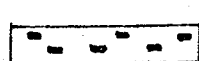
時期別	制 度	目 的	地 域
53年 以前	○ 上級者의 指示 및 本人用務로 外泊		
54-60	○ 出張外泊 ○ 長距離出張의 禁止 ○ 外泊事實 없음 ○ 後方部隊, 供給所에 物品運搬次 ○ 配偶者나 直系家族 面會時 (1泊) ○ 軍事分界線內 勤務 者는 없었음	○ 公務 ○ 命令執行	○ 軍人宿泊所 (大都 市, 終着駅) ○ 軍人招待所에서 宿泊 ○ 民家나 他部隊營 內 外泊 ○ 軍部隊 周辺
61-65	○ 없음 ○ 表彰에 따라	○ 軍團長, 聯隊長이 認定하는 者 및 主要職責者	○ 軍地域 및 이웃 마을
66-70	○ 전혀 없음. ○ 家族 面會時	○ 非公式的 外泊	○ 一般 民家
71-	○ 없음, ○ 事業用務次, 面會者 에 限해 實施		

兵營生活斗不滿順位

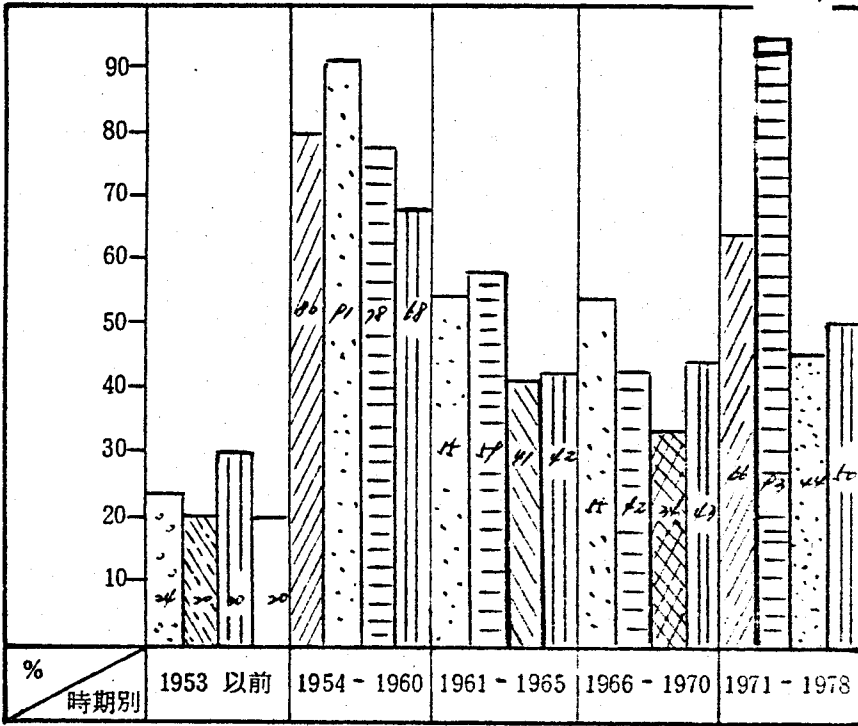
< IV-29-7 >




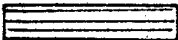
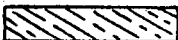
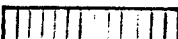
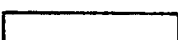
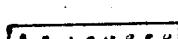
() 總計



-  休息、外出外泊的不滿
-  無條件盲從強要
-  厚生、福祉面
-  隊後処遇
-  就寢、休息時間不足
-  政治軍官の越权行使
-  進級、賞勳
-  上級者の殴打、叱咤
-  黨員、非黨員差別待遇
-  給食、報酬
-  熱誠分子の監視
-  課外活動時間
-  極甚強 作業強要

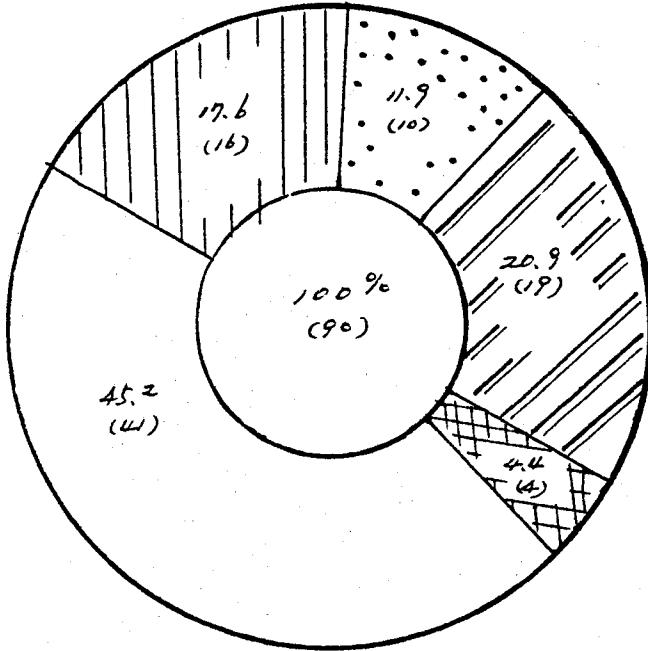
<IV-29-4>


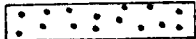





-  給食・報酬不足
-  休暇・外出・外泊에 대한 不滿
-  進級・賞勳
-  就寢・休息時間 不足
-  課外活動
-  作業 強要
-  無條件 盲從
-  虎性・非虎員間 差別 待遇

不滿程度

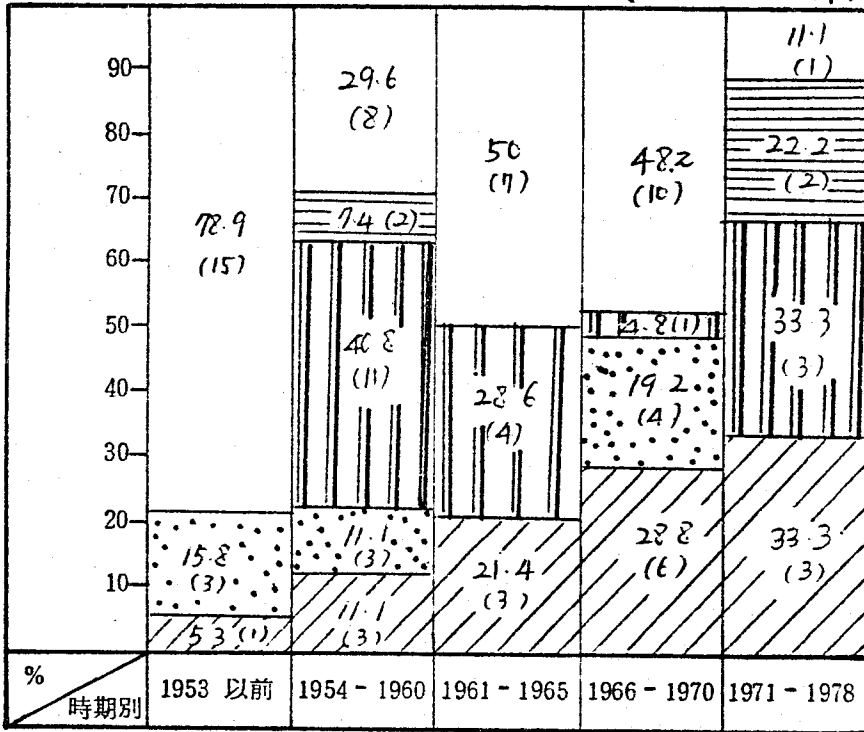
< IV-30-7 >


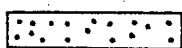

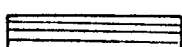



-  아주 높음
-  높음
-  普通
-  낮음
-  無反應

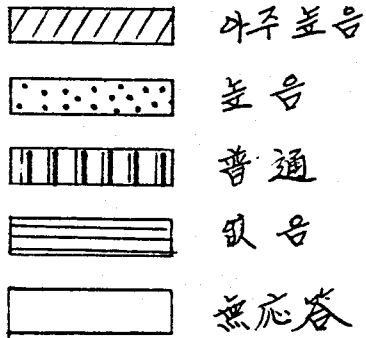
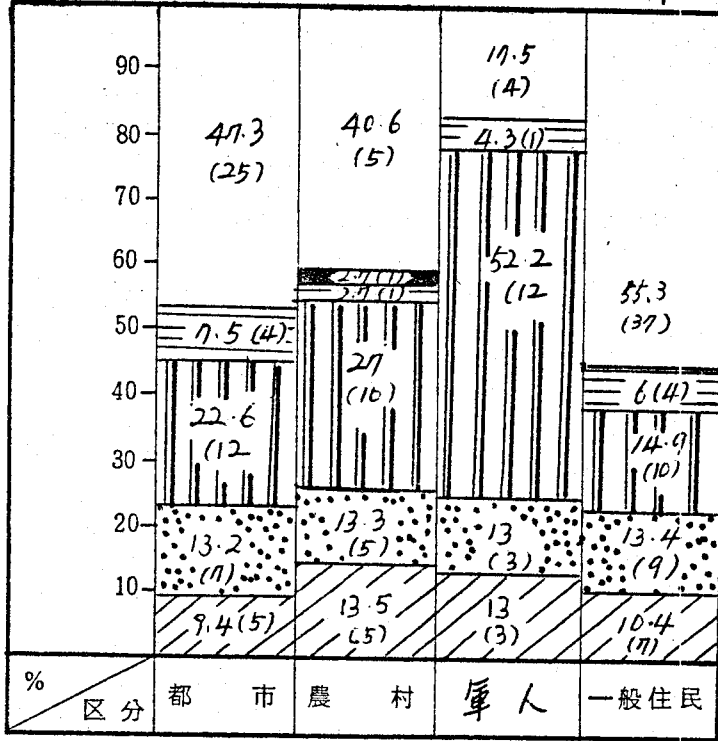
註) 實際不滿의 程度의 表現은 吳越의 組合

< IV - 30 - 4 >



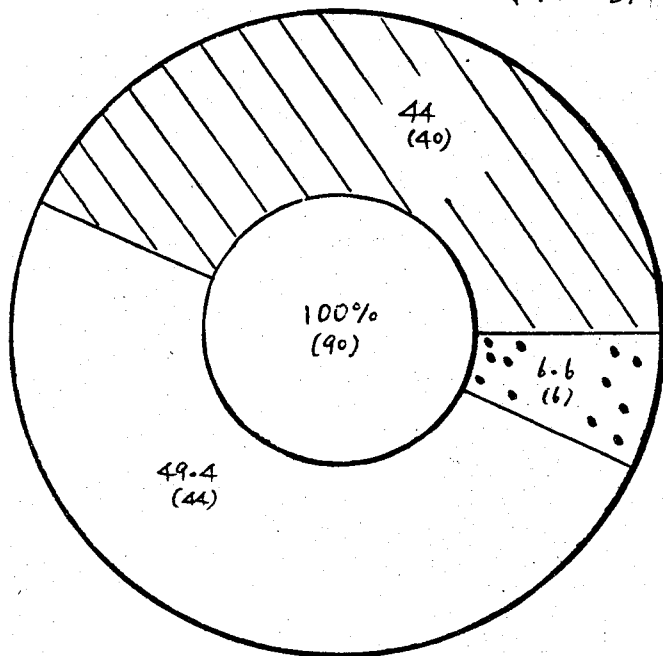
-  아주 높음
-  높음
-  보통
-  없음
-  無応答

<IV-30-4>

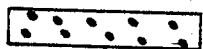


成分上의 差別待遇 有無

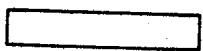
< IV- 31 - 가 >



있음



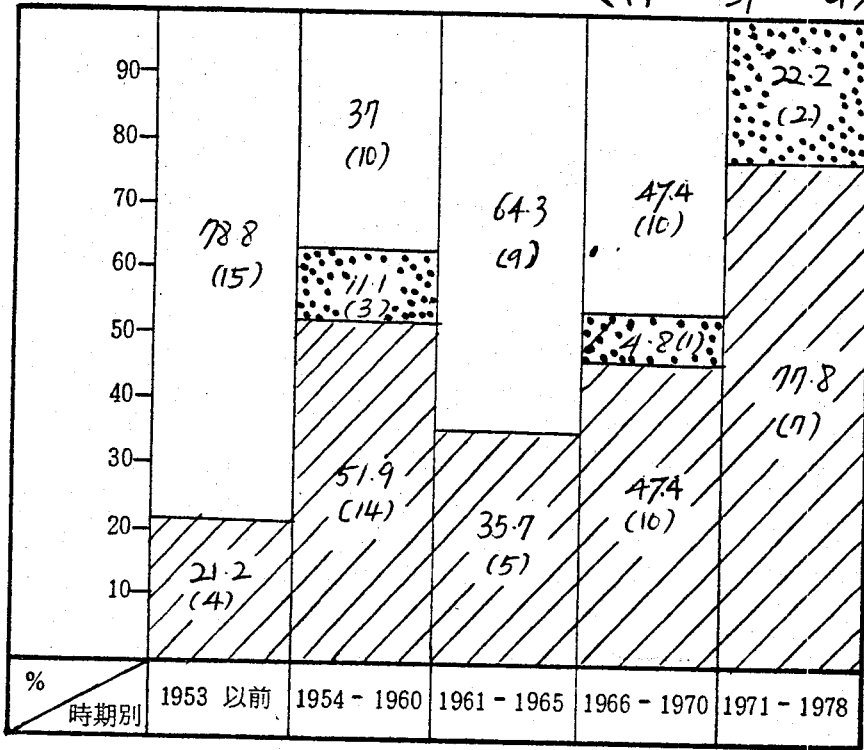
없음



無 答

註, 成分差別을 意識 (44%) 하는 가운데
軍服務

<IV- 31- 4>



對答

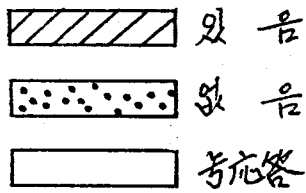
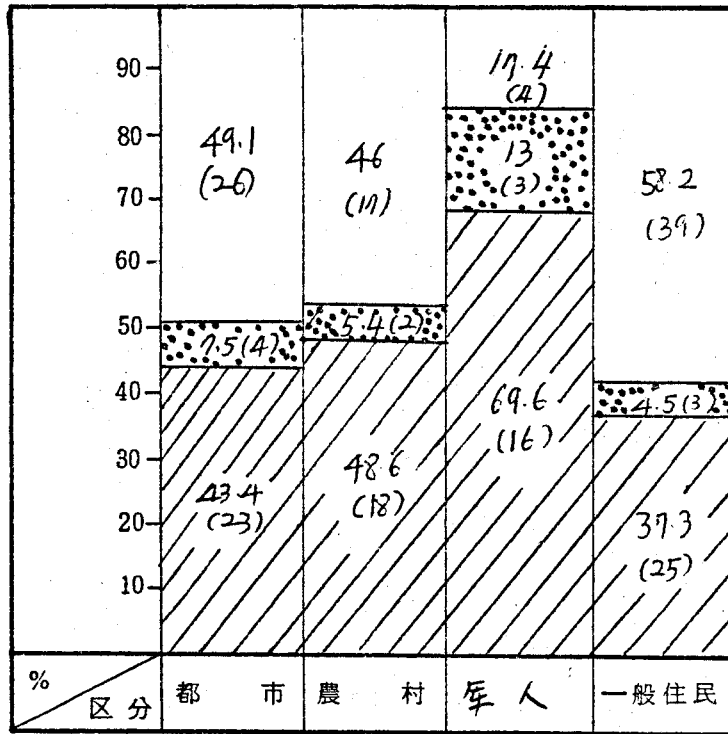


誤答



無忘答

< IV - 31 - 4 >

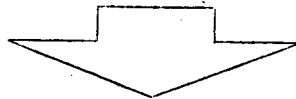


成分上 差別待遇実態

< IV--32 >

時期別	特 徴	種 類	待 遇 差 異
49-53	<ul style="list-style-type: none"> ○各者の成分記録調査, 成分不良者は主要業務を 맡기지 않음. 		<ul style="list-style-type: none"> ○進級과 補職에 差異
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○成分을 參酌 昇進에 差異 ○地主, 資本家, 越南家族, 治安隊 家族, 黨員, 非黨員에 따라 成分不良者는 前方配置 不可能하며 入党도 不可 	<ul style="list-style-type: none"> ○貧農, 勞動者, 中農, 無農 ○基本成分, 一般成分, 灰色成分 ○黨員, 非黨員, 民衆員, 國軍을 도운 治安隊家族및 친척, 월남가족과 친척 ○어느 軍人이나 出生後 現在까지 圖表作成, 成分把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○物質的 待遇는 같으나 精神的 待遇에서 信賴度 不同 ○基本成分, 모든 면에서 優待 ○越南家族, 治安隊 家族: 軍昇級, 入党, 一線主要位置 配置, 軍官學校 入校等 一切 不可能
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○昇級, 表彰에서 成分 考慮 ○成分不良者 前方配置 不可 ○分隊長, 副分隊長까지 黨員만 任命 	<ul style="list-style-type: none"> ○1, 2, 3, 4, 5 級 ○勞動, 貧農, 中農 富農, 地主, 小市民 事務員, 資本家 	<ul style="list-style-type: none"> ○解放後 肅清者. 越南者 地主들에게 昇進, 入党問題에 差別 ○政治的 差別 不良者는 小數人員 行動에서 除外

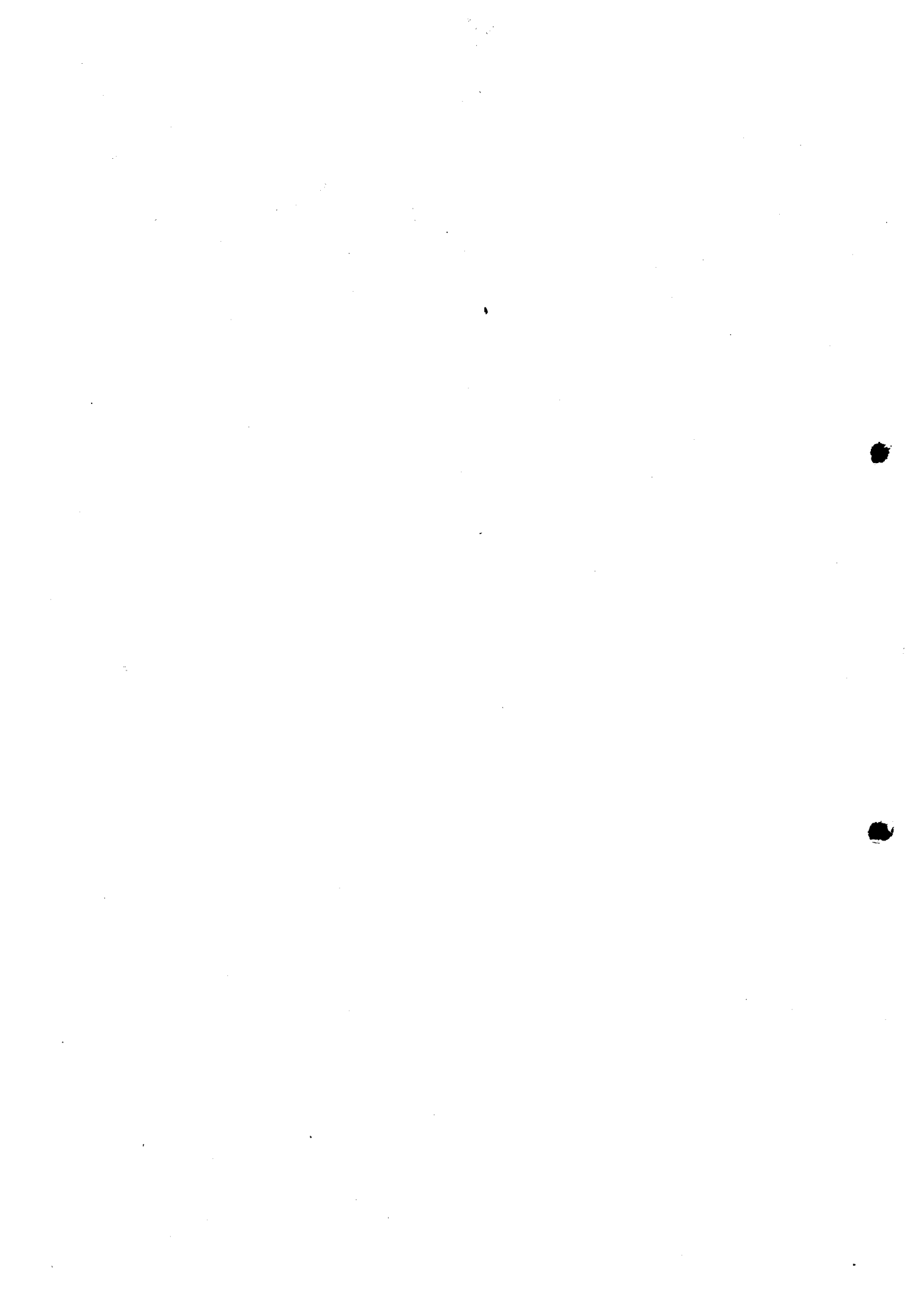
時期別	特 徵	種 類	待 遇 差 異
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 越南者家族, 成分除隊者: 勞動黨 入黨 不可 ○ 基本階層이라도 南韓出身者 差別 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地主, 宗教關係 民主黨員, 青友 黨員 6.25 當時 黨背反 家族 ○ 貧農, 小作農, 머슴, 勞動者出身 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成分不良者 進級 不可, 肉體勞動과 步哨任務
71-	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直感할 수 있을 만큼 公公然함. ○ 進級이 늦어지며 熱誠으로 해도 不信任 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般黨員의 家庭, 核心家庭 (現職 高位幹部, 革命遺子女) ○ 黨員의 아들, 非黨員 아들 (差別待遇 8:2 程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進級の 優先 昇進, 黨의 優先 入黨 ○ 責任的 任務賦与, 入黨問題, 除隊時 社會, 職場 配置 등에서 差異



○ 基本成分은 모든 面에서 顯著히 優待

○ 成分不良者는 進級과 入黨이 不可能하며 一線이나 主要 任務 賦与에서 除外

다 . 除 隊 後 職 場 配 置



다. 除隊後 職場配置

○ 除隊後의 職業

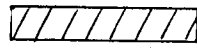
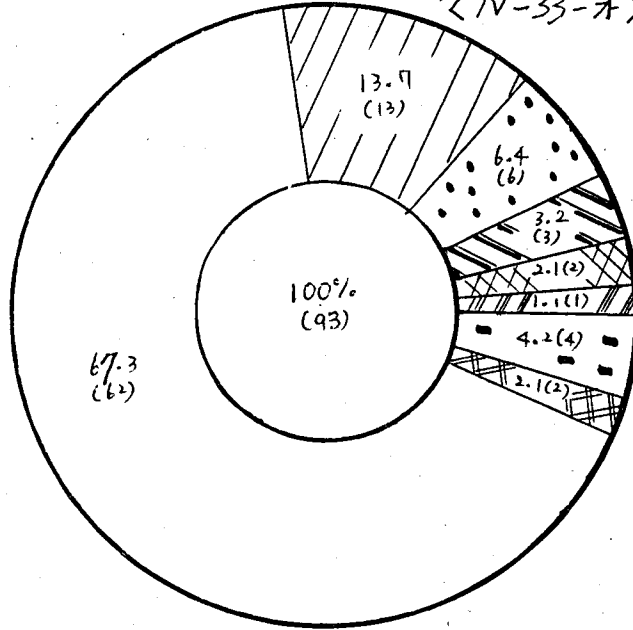
- 工場 企業所 技術者와 協同農場員이 主流를 이루고 있음.
(특히 工場 企業所 技術者는 1953年以前 5.3%에서
1971年 以後에는 45.4%의 많은 增加趨勢)
- 地域別로 보면 都市는 工場 企業所 技術者로, 農村은 協同
農場과 斂山이 主 職場으로 나타나고 있음.

○ 除隊後의 職場配置의 基準

- 党性·思想性이 33%로 가장 重視되고 있음.
- 다음으로 成分 23.9%, 軍服務時 勤務成績 21.5% 特殊
技術 및 能力 21.4%의 비슷한 比率로 나타나고 있음.
- 時期別로 보면 軍服務時의 勤務成績은 休戰 以前에는 가
장 重視되었으나, 漸次 減少趨勢
- 反面, 党性과 思想性은 休戰以前에는 輕視되었으나 休戰以
後 繼續 가장 重視되는 趨勢

除敵後の職業

<IV-33-オ>



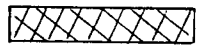
工場企業所技術者



協同農場員



事務員



水産業



鑛山、伐木場人夫



教員

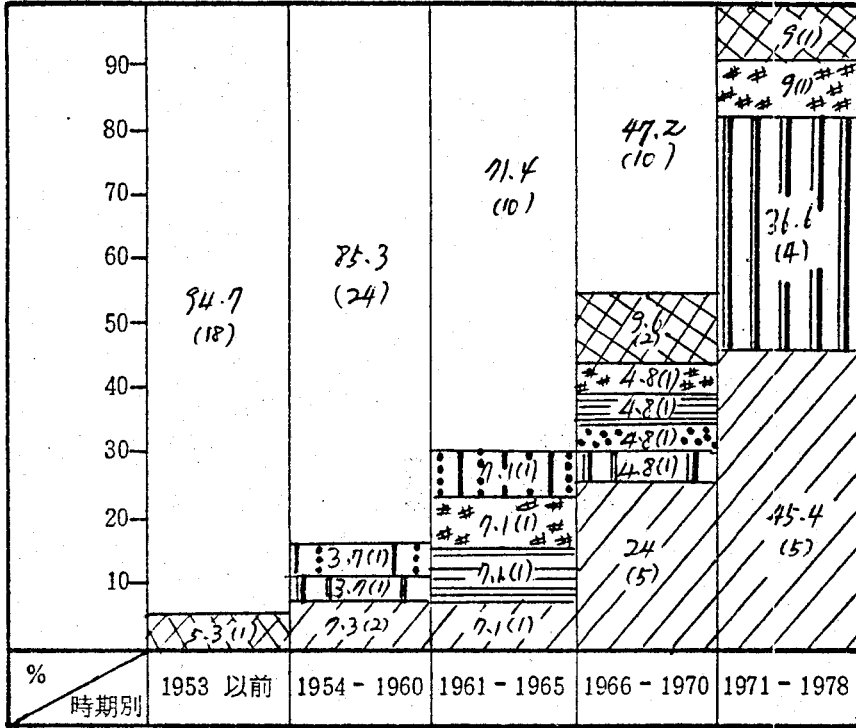





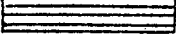
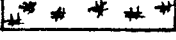



其他(運輸技士、農士)



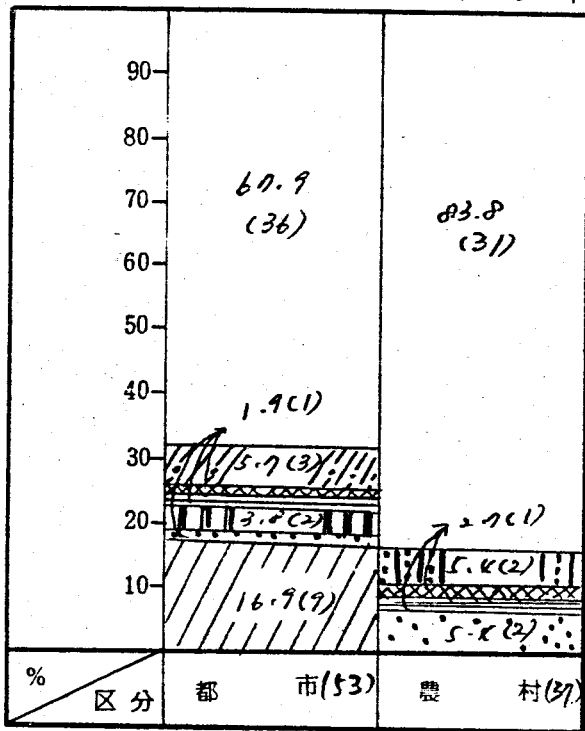
無回答




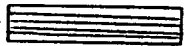


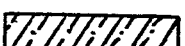

<IV-33-★>



-  工場・企業所技術者
-  協同農場員
-  教員
-  水産業従事者
-  事務員
-  鉱山・伐木場人夫
-  其他
-  無応答

< IV-33-4 >

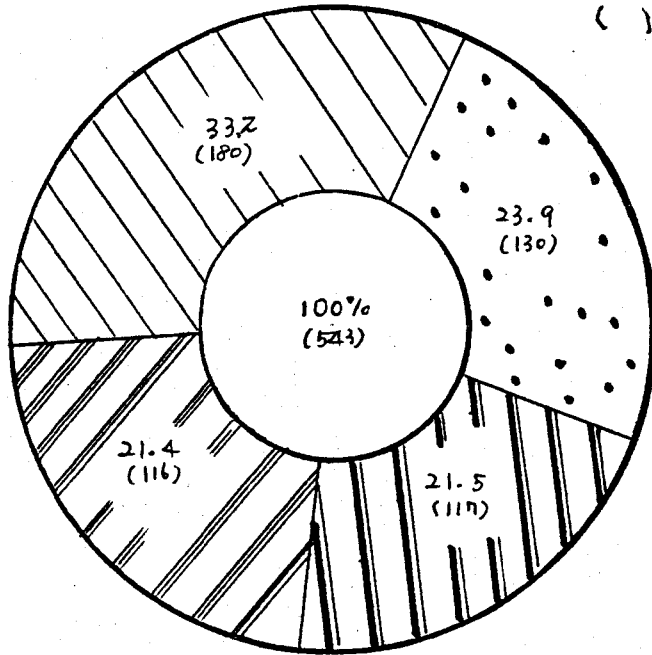






-  工場企業所 技術者
-  協同農場 組會員
-  教員
-  水産業
-  事務員
-  鉸山、伐木場 人夫
-  其他
-  無 灰 苔

除隊後 職場配置의 優待 順位

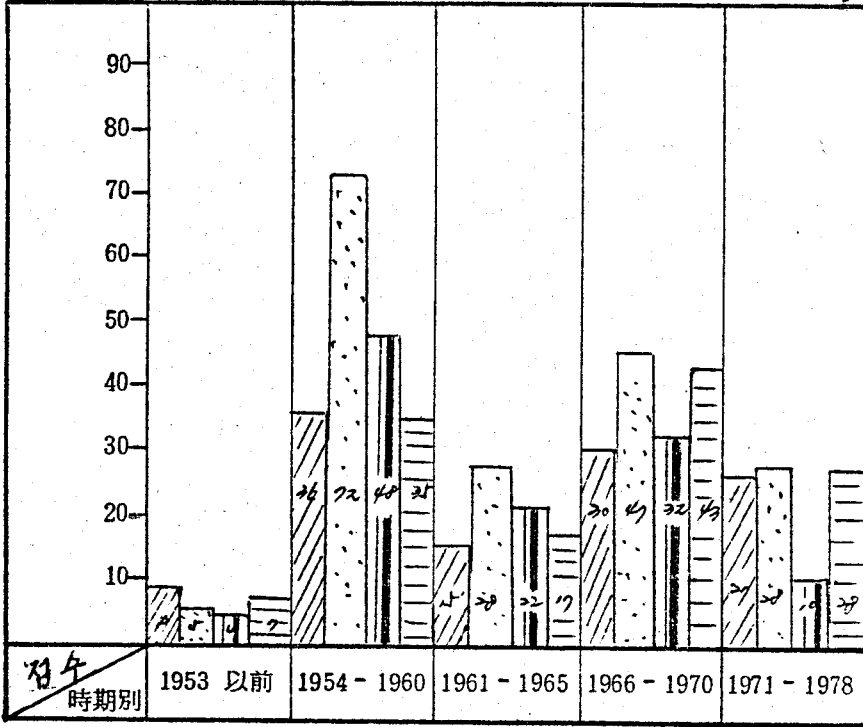
<IV-34-7>




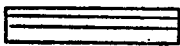
() 點수



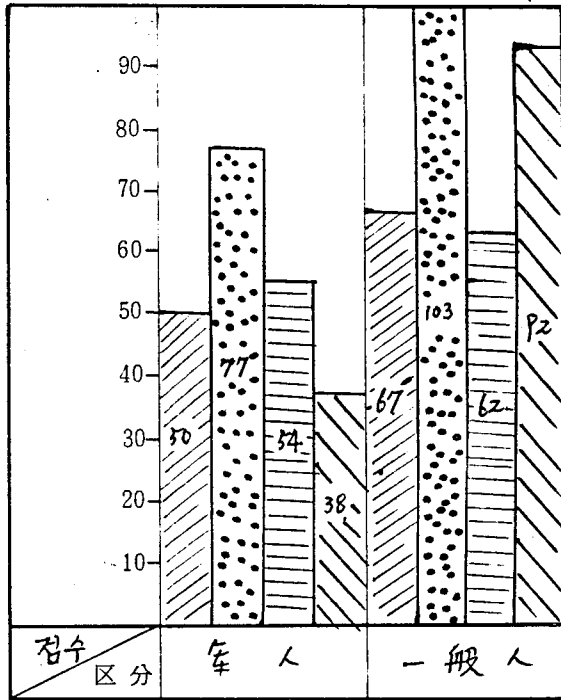
-  党性 思想性 基準
-  成分에 의한 基準
-  軍服務時 勤務成績 基準
-  特殊技術 以 能力

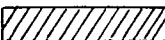

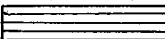

< IV-34-4 >

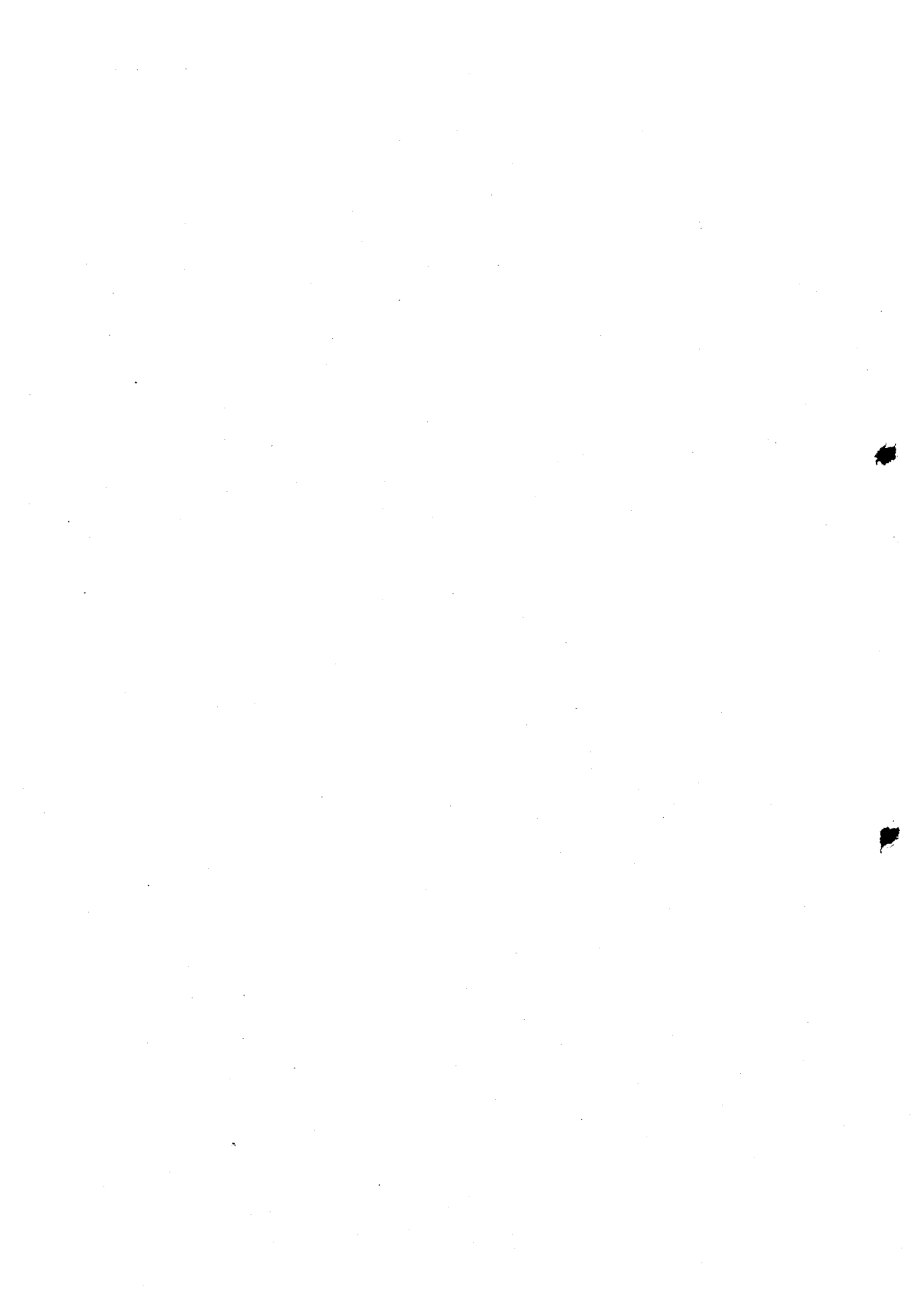


-  勤務成績基準
-  党性、思想性基準
-  特殊技術能力
-  成分基準

< IV - 34 - 2 >



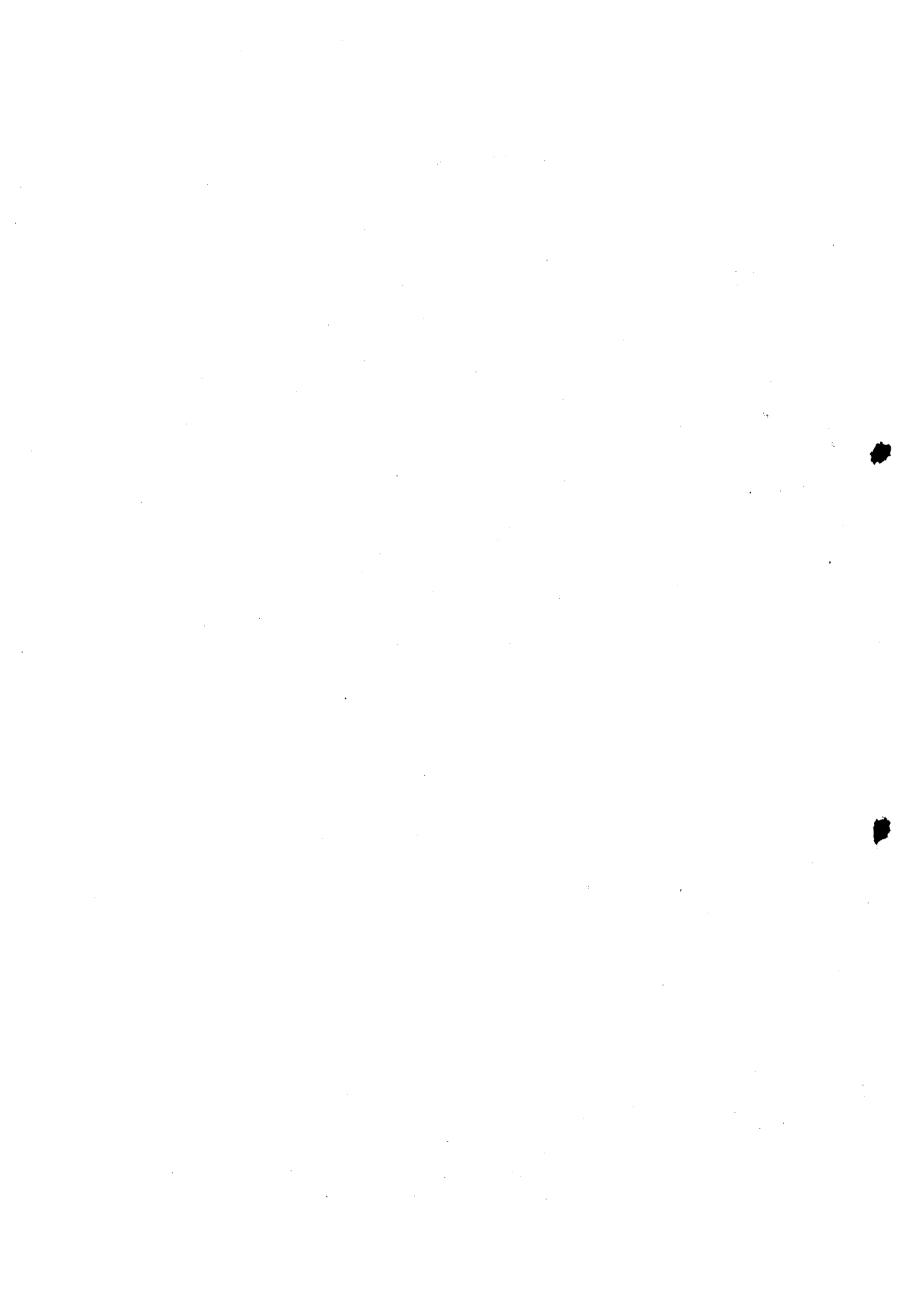
-  軍服務時勤務成績基準
-  徳性・思想性基準
-  特殊技術具能力
-  域分基準



라. 住 民 動 員 實 態

(1) 勞 農 赤 衛 隊

(2) 붉은 靑 年 近 衛 隊



라. 住民動員 態

(1) 勞農赤衛隊

○ 勞農赤衛隊 教育訓練

- 每日 1~2 時間 年間 500 時間 教育 訓練을 받는다는 것이 一般的 傾向 (20.9%)
- 70 年代에 와서는 適當 8 時間 年間 500 時間의 趨勢

○ 教育內容

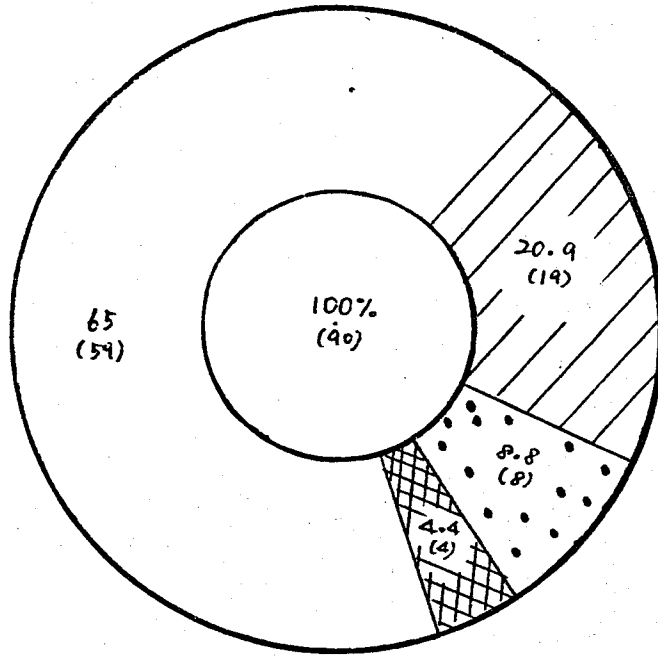
- 射擊術 (18.3%), 武器分解結合 (17.4%) 制식훈련 (14.7%) 등에 置重
- 正規軍과 同等한 程度 (24.2%) 의 訓練을 받으며 더욱 強化되는 傾向임.


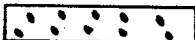
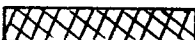
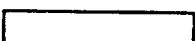
○ 武裝

- 勞農赤衛隊 特有의 服裝을 着用하는 傾向
- 총을 비롯해서 霰彈총, 박격포, 대공포등을 支給
- 有事時 正規軍과 同等한 戰鬥 力量 (31.9%) 를 갖추고 있음. (70 年代는 88.9% 로 더욱 向上)

勞農赤衛隊 教育時間

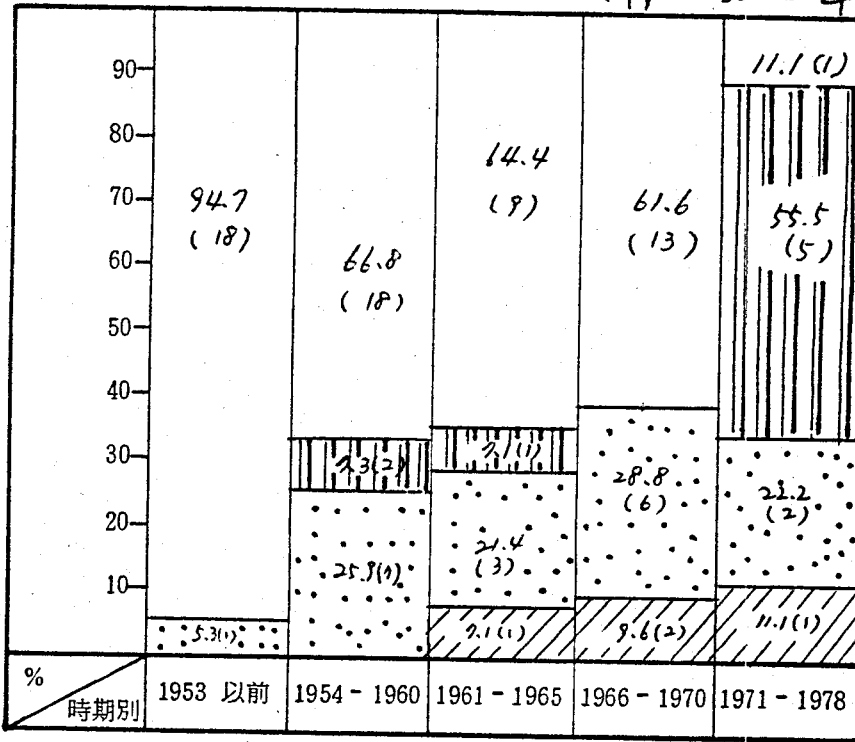
< IV-35-가 >







-  매일 1~2시간 연간 500시간
-  주당 2~3시간 연간 200시간
-  기타
-  無回答

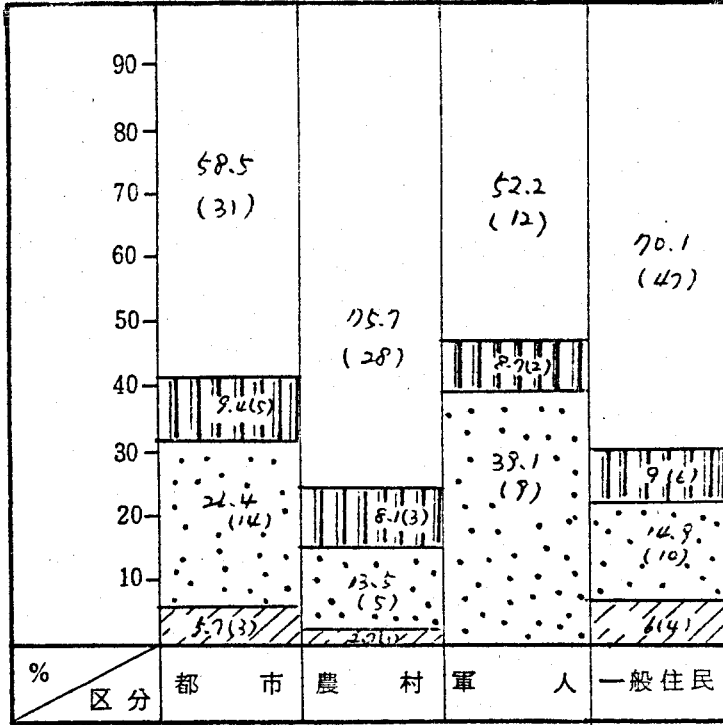
註) 기외에는 60년대 초반에는
 약 100~150시간, 60년대
 후반에는 勞動者는 토요일
 월3회, 農民은 농한기 때만.
 70년대에는 주당 8시간씩
 연간 500시간 등이 포함
 되어있음.

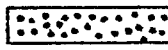


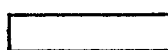
< IV - 35 - 4



-  每日1-2時間 年間500時間
-  週当2-3時間 年間200時間
-  其他
-  無應答

<IV-35-14>

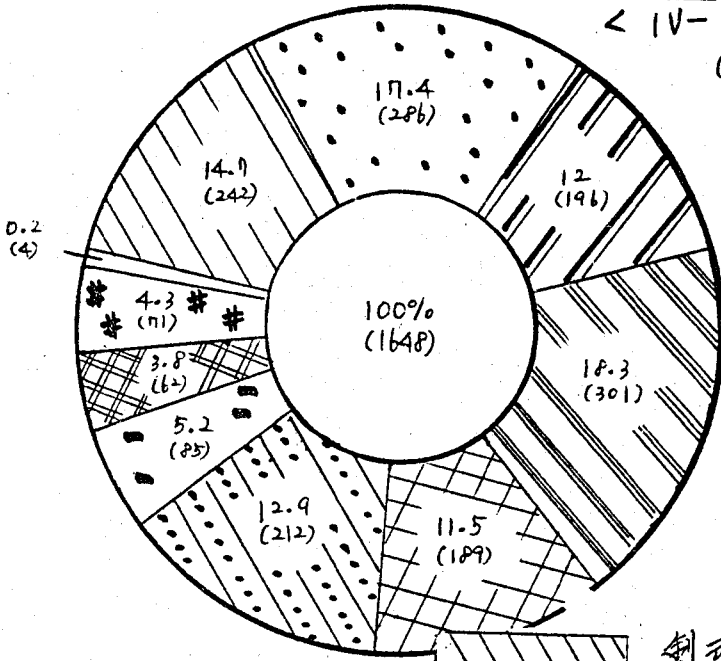



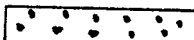

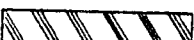

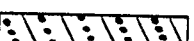
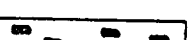



-  毎日 1~2時間 年間 500時間
-  週当 2~3時間 年間 200時間
-  其他
-  無回答

勞農赤衛隊 教育內容

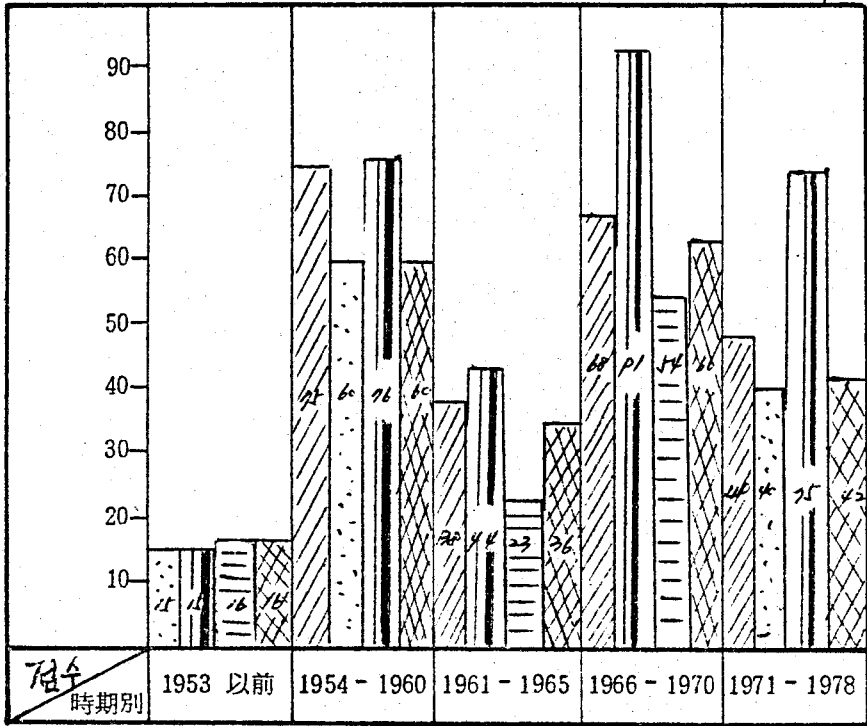
< IV-36-7 >

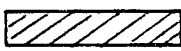

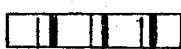
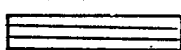
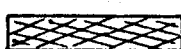
() 統計



-  刺式訓練
-  武器分解結合
-  化生放
-  射擊術
-  障地構築
-  手榴彈訓練
-  各種武器
-  鐵絲網通過法
-  救急法
-  其他(戰術學)

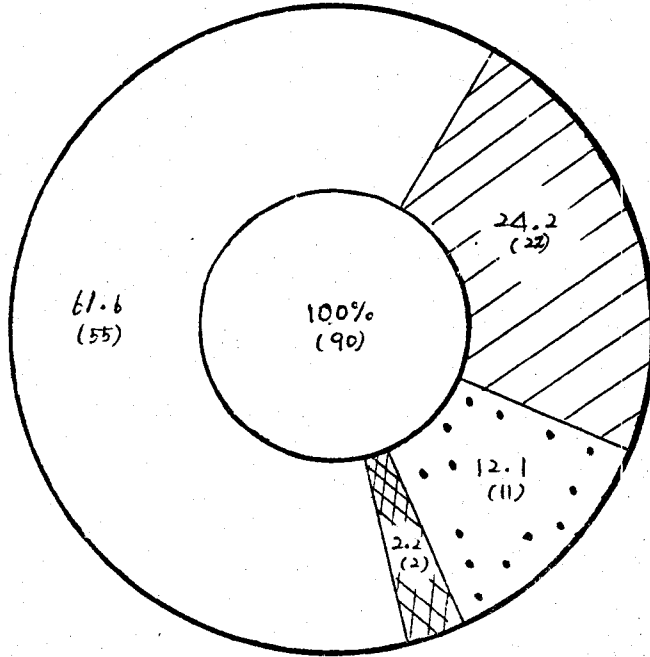
< IV-36-4 >

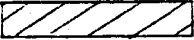
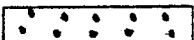

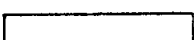


-  刺式訓練
-  化生放
-  射擊術
-  陣地構築
-  手榴彈投擲

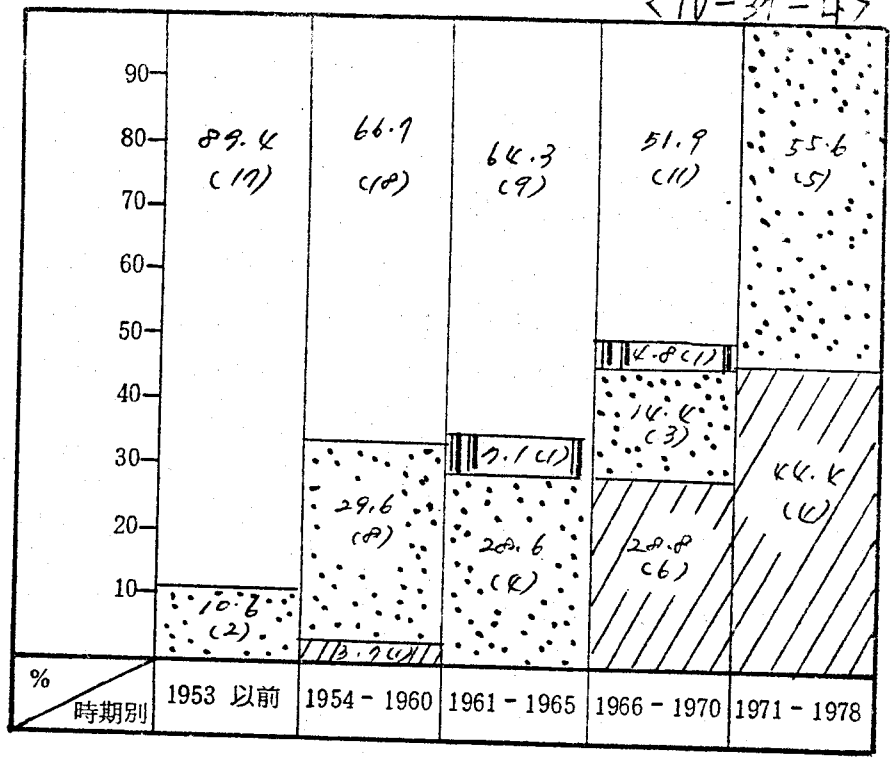
勞農赤衛隊 訓練程度


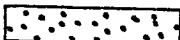

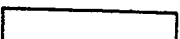
(IV-37-가)



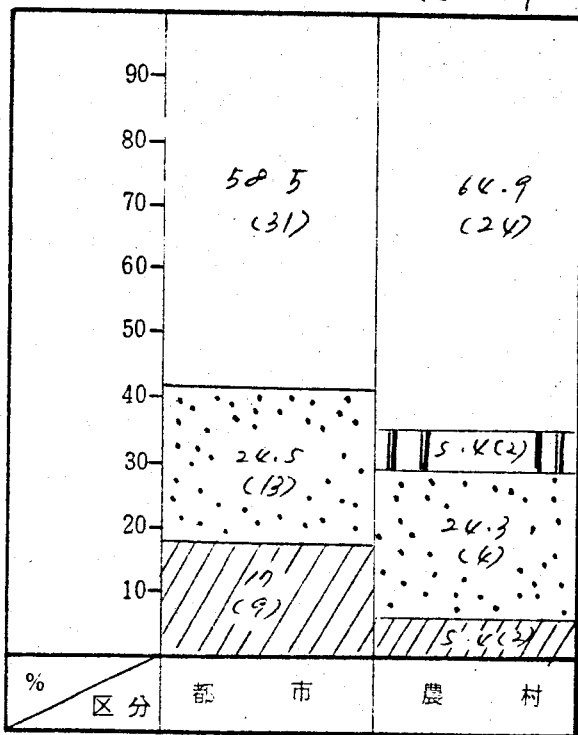
-  正規程度 同等
-  正規程度에 比對 形式的
-  正規程度 以上의 特殊 訓練
-  無 反應





< 11V-31-47 >



-  正規軍에 比對 形式的
-  正規軍과 同等
-  正規軍以上の 特殊 訓練
-  無應答

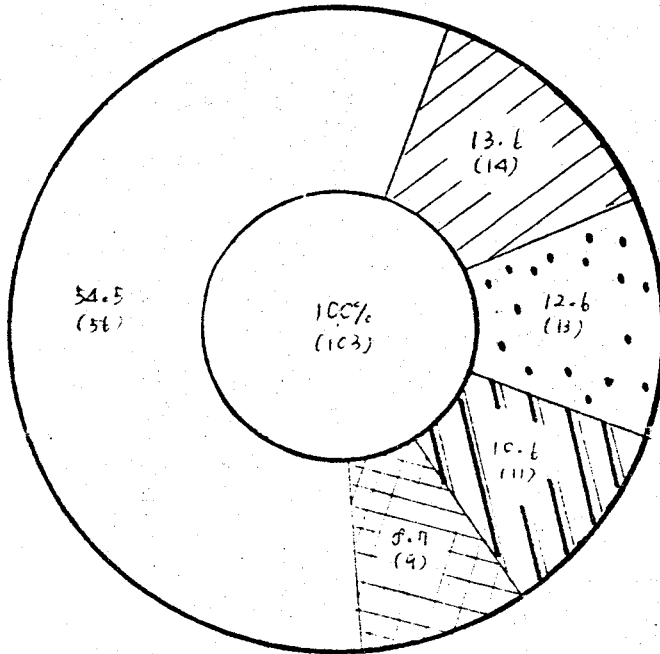
< 10-39-4 >

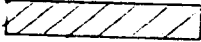


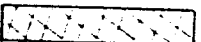
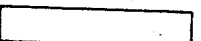


-  正規軍에 比해 形式的
-  正規軍과 同等
-  正規軍 以上의 合共 訓練
-  無 応 答

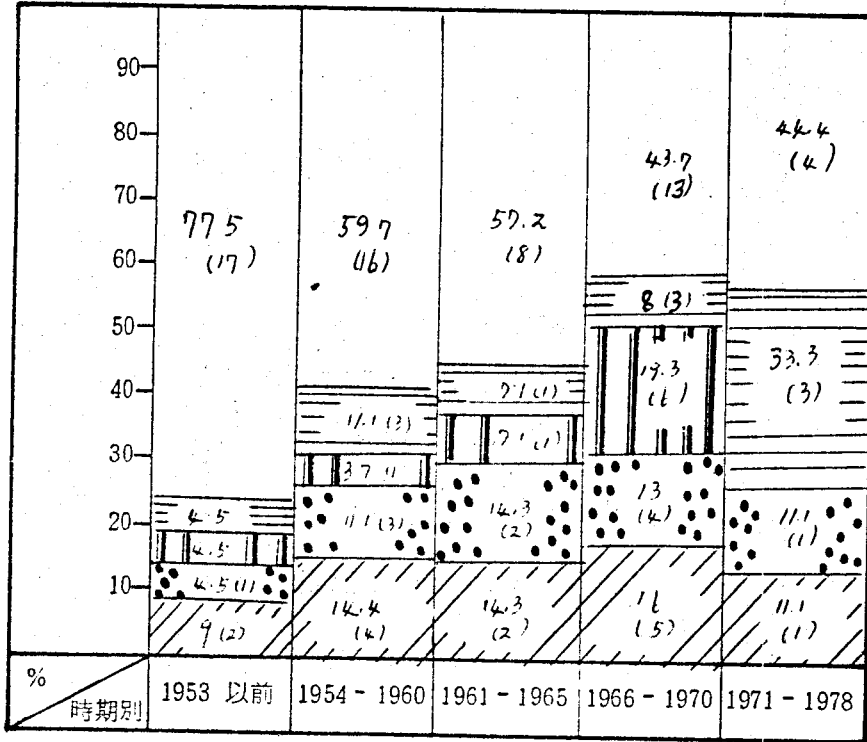
勞農赤衛隊 支給武器


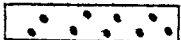

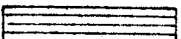
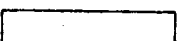
< IV - 38 - 가 >



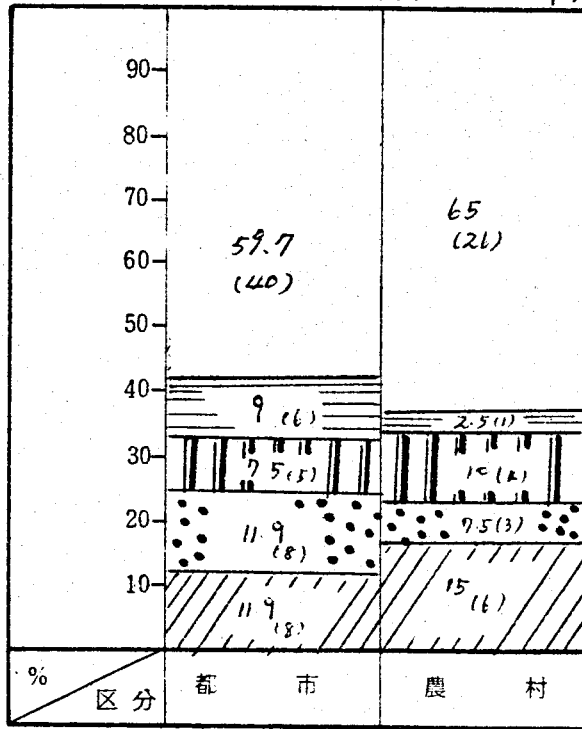
-  소총
-  박격포, 대공포, 대전차포
-  다발총
-  기관단총
-  無应答


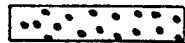

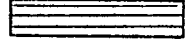

< IV - 38 - 4 >



-  소총
-  밭밭종
-  기관단종
-  박격포, 대공포, 대전차포
-  농지

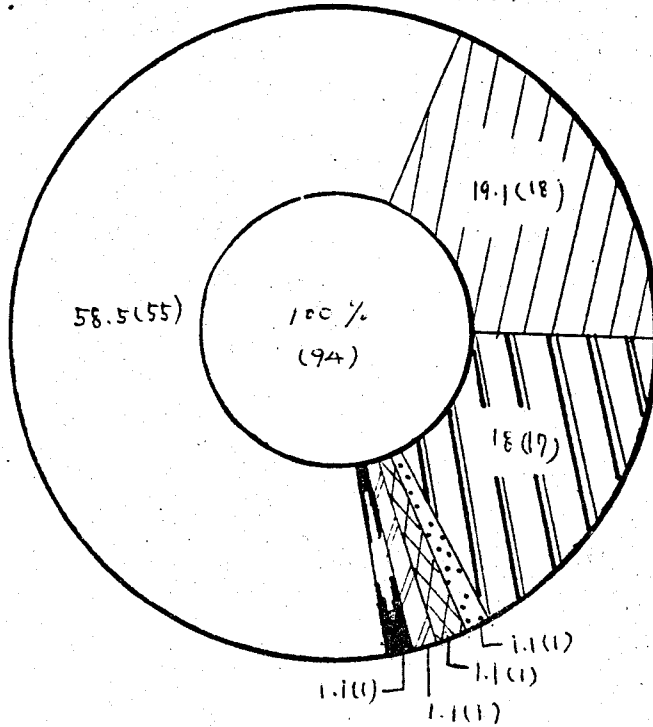
< 1V-38 - 4 >




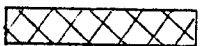
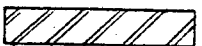
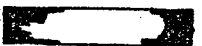
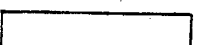


-  소 증
-  파 발증
-  기관단증
-  박력포, 대공포, 대전차포
-  무응답

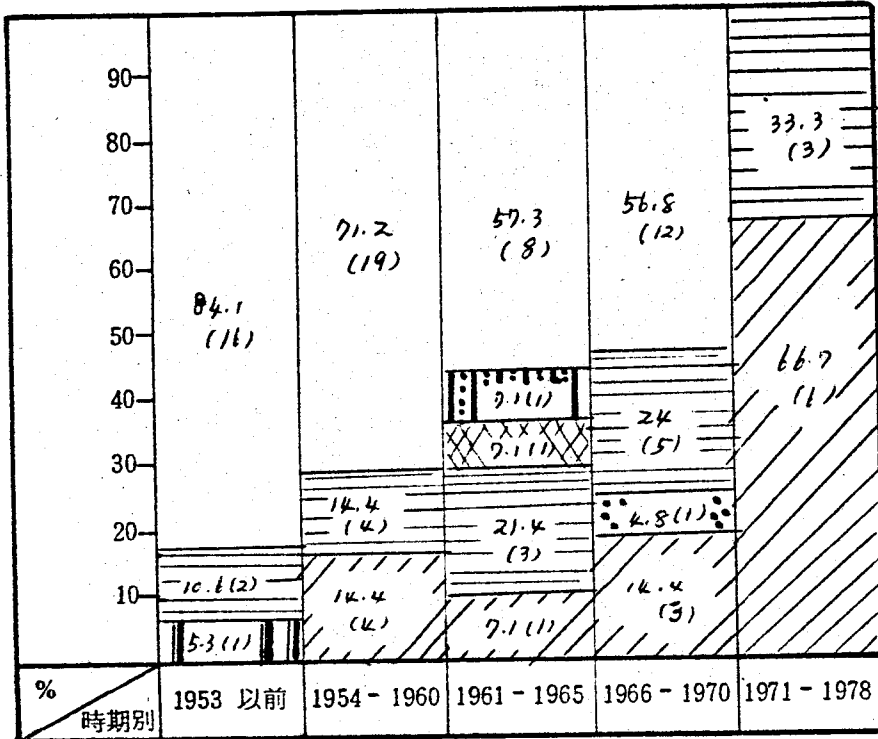
勞農赤衛隊 服裝



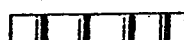
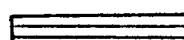
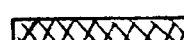
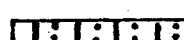
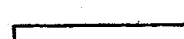
<10-39-7>



-  勞農赤衛隊 特有의 戰術服
-  襟장 있는 戰術服에 레너모와 배낭
-  襟장 있는 정장 戰術服
-  襟장 있는 정장 戰術服
-  其他 (平素衣服)
-  모름것음
-  無應答

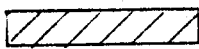
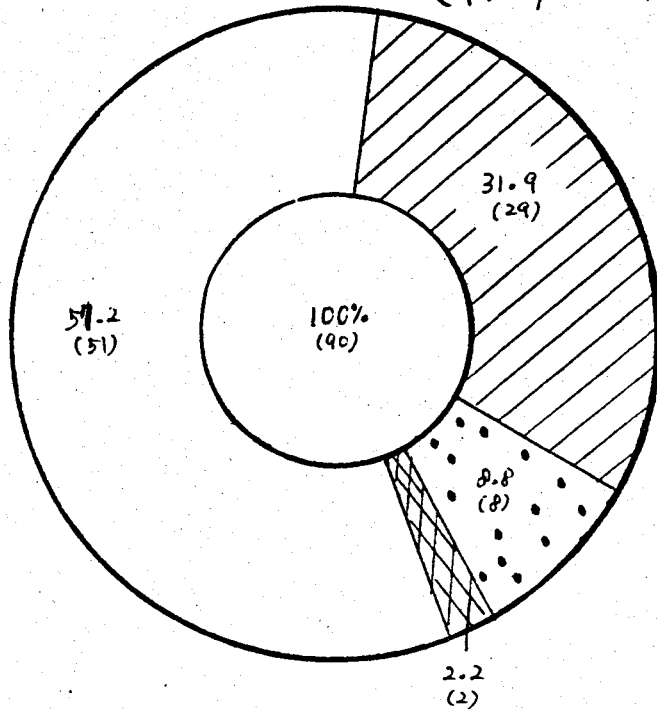
< IV-39-가 >



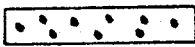
-  勞農赤衛隊 특유의 전투복
-  계급장 없이正規軍 전투복
-  계급장 없이正規軍 戦闘服
-  계급장 없이 戦闘服에 레전드와 배낭
-  기타 (경소의복)
-  도르겟은
-  考衣卷

勞農赤衛隊 戰鬥力量

<IV-40-7>



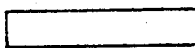
有事時 正規軍同等



有事時 向背不疑心

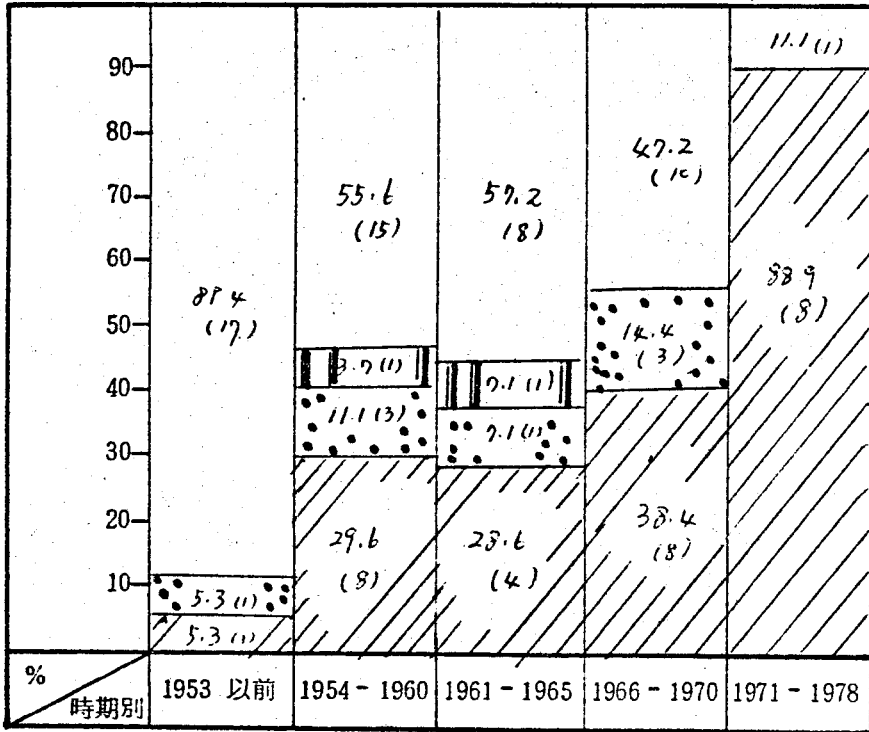



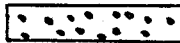


有事時 北德體制則 反抗甚地充分



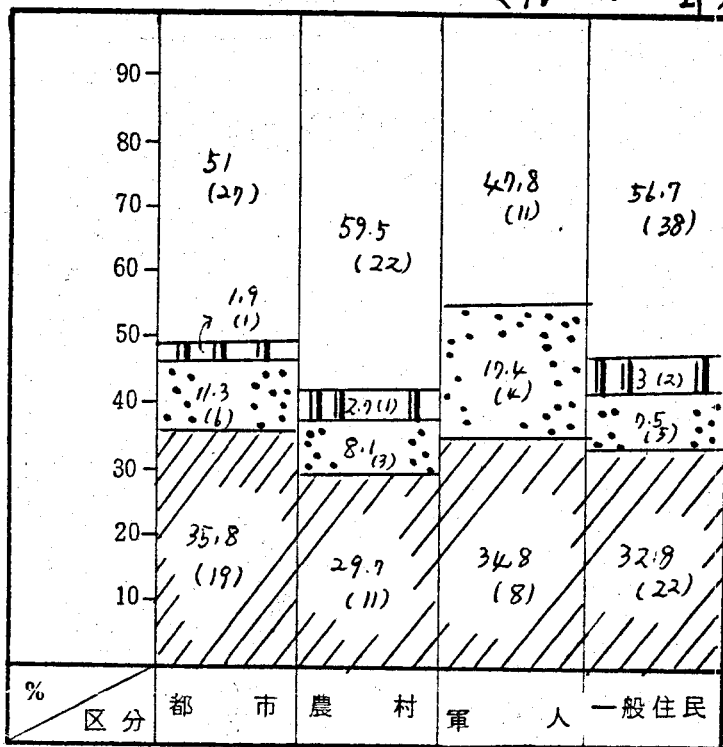
無回答


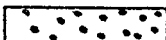


< IV - 40 - 4 >



-  有事時 正規軍に 同等
-  有事時 向背に 疑心 入り
-  有事時 北傀体制に 反抗意 地 充分
-  無 応 答

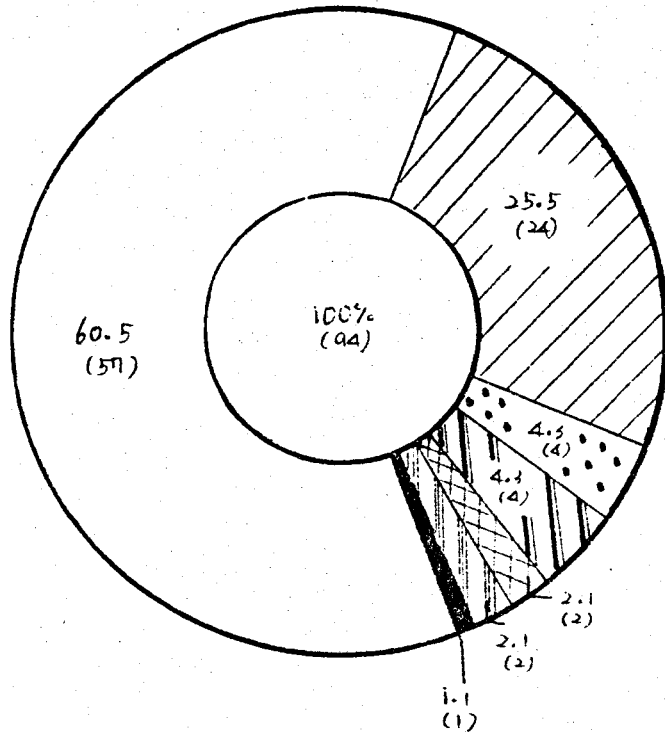
<IV-40-다>

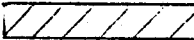
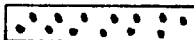







-  有事時 正規軍과 同等
-  有事時 對배가 의심스러움
-  有事時 北傀体制에 反抗할 소지充分
-  無应答

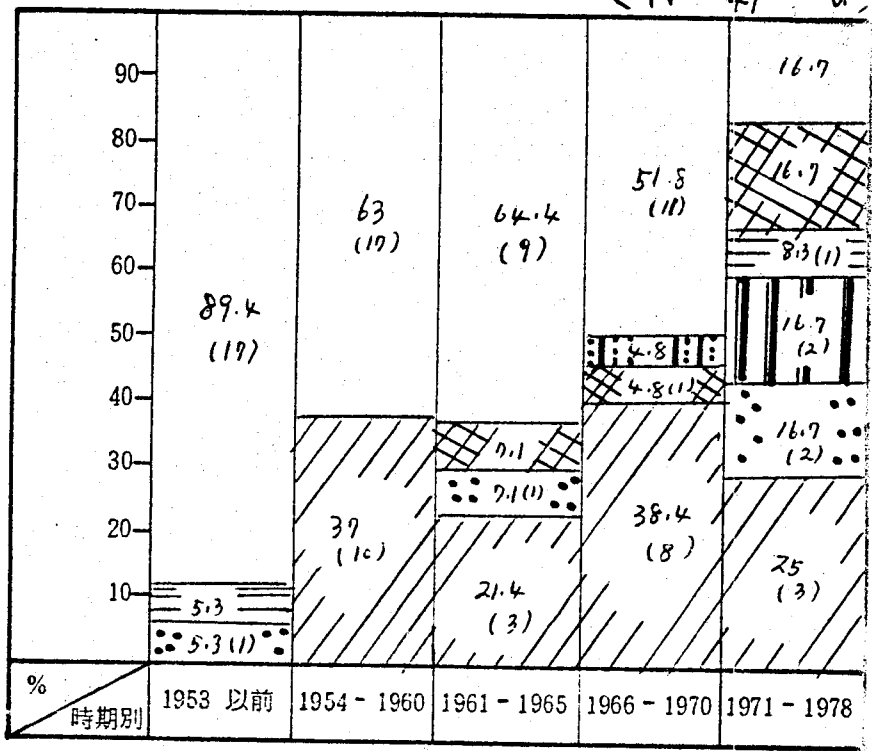
勞農赤衛隊訓練의 不滿事項

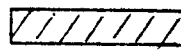
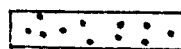

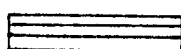
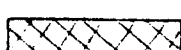
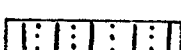

< IV - 41 - 가 >



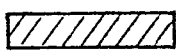
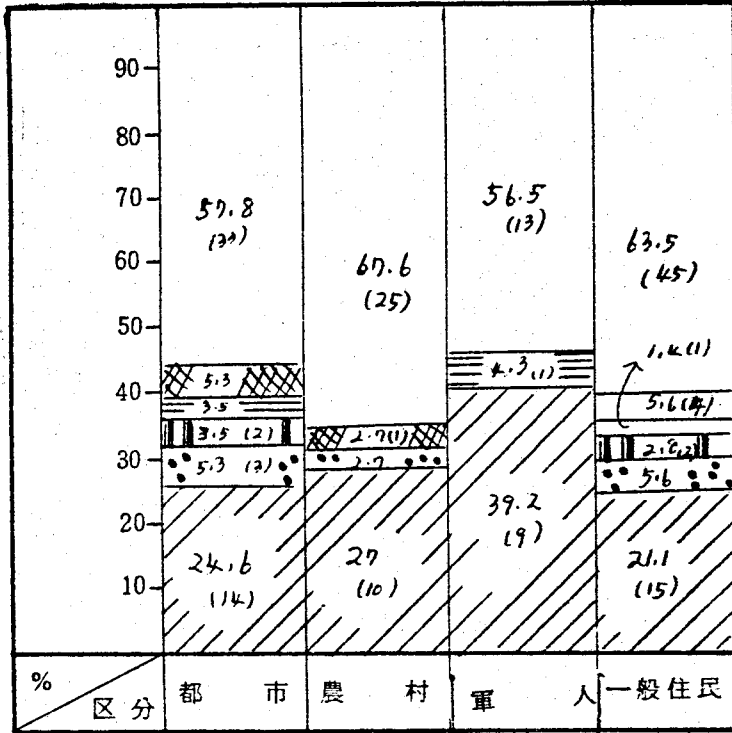
-  過重한 訓練
-  주.부식의 不足
-  기타 (권태 지루함등)
-  裝備. 補給. 시설의 미비
-  正規軍과의 差別대우
-  모르겠음
-  无应答

<IV-41-4>



-  过重劳动训练
-  主副食的不足
-  禁烟、补给设施的未备
-  正规战时的差别待遇
-  其他 (乱画、不回答)
-  只三双号
-  无应答

< IV-41- (4) >



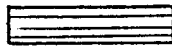
過重之訓練



主副食料不足



裝備、開給、洗滌等未備



正規彈藥等之差別待遇



其他



無回答

学生 劳農 赤衛隊

(N-242)

時期別	教育時間	教育訓練內容	裝備支給
53 년이전	○ 월 2 회	○ 政治, 党史, 戰鬪訓練	○ 기관단총
54-60	○ 주 14 시간	○ 제식훈련, 戰術, 射擊, 政治 군사학: 배속군관이 訓練시킴.	○ 소총
	○ 주 16 시간	○ 대열, 전술, 射擊, 政治: 배속지휘관이 教育	○ 소총
61-65	○ 주당 1-2 시간	○ 사격, 대열, 조준훈련, 화생방, 수류탄던지기 등 戰爭對備訓練	○ AK 소총, 따발총, 장총, 수류탄
	○ 1일 1-2 시간	○ 軍事訓練, 武器分解	○ 소총, 수류탄
	○ 주 4 시간정도	○ 항일빨치산 鬪爭史, 제식훈련, 총검술, 행군	○ 목총
	○ 年間 20 시간	○ 무기분해결합, 射擊, 제식전술	○ 개인화기 100%, 야포, 박격포, 고사포, 고사총, 기관총, 장갑차등 공용화기 40%
66-70	○ 주 2 시간정도	○ 一般職場 적위대와 동일	
	○ 年間 500 시간	○ 전술, 사격, 대열, 공병학, 지형학, 내무등: 학생훈련소에 입소 教育	○ 기관단총, 분대기관총, 박격포
	○ 주 4 시간 연 200 시간	○ 軍事學 主로 유격전술: 군관이 教育	○ AK 소총 ○ 훈련용 목총, 실습무기
기-	○ 주 8 시간 ○ 年間 約 200 시간	○ 전술사격, 유격전술: 野外 訓練이 基本	○ 장능소총, 포, 평소훈련시: 목총, 사격용 자등 보령, 공농이용

勞農赤衛隊 除外對象

(N - 43)

時 期 別	內 容
53 년이전	<ul style="list-style-type: none"> ○ 없었음
54 - 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成分 不良者 및 不具者 ○ 50才 以上 ○ 적대계급출신 , 군복무 불능자 ○ 부상한 영예군인
61 - 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地主 , 資本家子女 , 越南者家族 , 反動分子家族 等 ○ 105 号에 依해 追放 , 재일 교포 , 外國人 , 老人 , 病弱者 ○ 成分이 極히 不良한者
66 - 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年齡 , 不具者 , 영예군인 ○ 犯罪者 ○ 越南者 家族 (1 分類 , 2 分類子女) 유엔軍 추진시 협조자 가족 ○ 日帝時 有産階級 , 地主家族 ○ 成分 不良者 (法的 網羅를 받은자) , 精神異常者 , 50 세 以上者 ○ 勞動能力이 없는 老人階層 ○ 成分上 통제대상의 자녀 (地主 , 資本家 , 反革命分子)
71 -	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成分 不良者 ○ 45 세 이상자 , 18 세미만자 ○ 48 세 이상자 , 보위부 , 사회안전부전원 , 당 및 검찰 재판소 일꾼 , 결혼한 여성 ○ 노약자 , 불구자 , 생계빈곤자

(2) 青年近衛隊

○ 青年近衛隊: 選拔, 訓練

- 14歲 以上の 中高等学校 學生으로 成分이 좋은 者의 子女中에서 選拔
- 適當 6時間, 年間 240時間 (12.1%) 또는 年1回 訓練所에 入所하여 240時間 (6.6%) 訓練

○ 学科教育

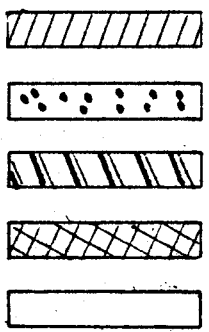
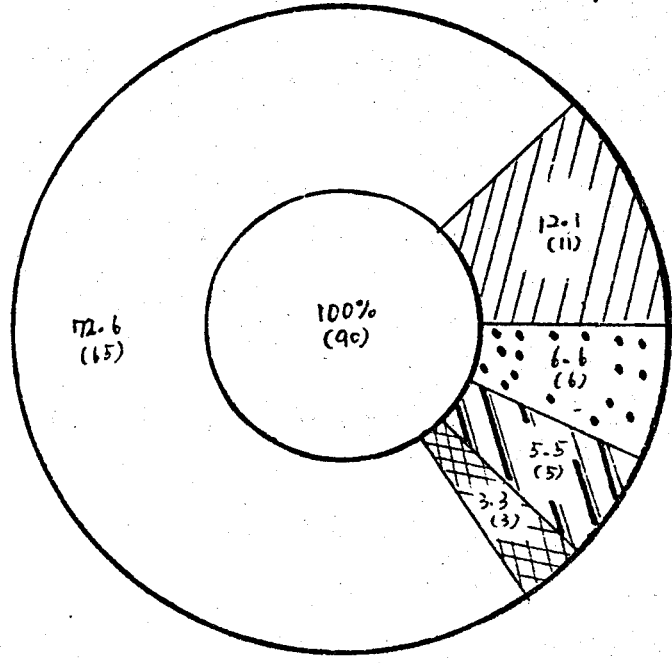
- 射擊學 (22.8%), 規定學 (19%), 病理學 (16.4%)의 原
- 軍事訓練은 射擊訓練 (25.1%), 戰術訓練 (23.7%) 障礙物 克服訓練 (18.9%)의 原
- 武器는 소총, 기관단총, 擲발총등이 支給되어 있음.

○ 女學生 訓練

- 救急, 看護, 行政 補助가 主 任務
- 男學生과 同一한 軍事訓練도 받으며 射擊術 練習을 徹底히 한다고 함.

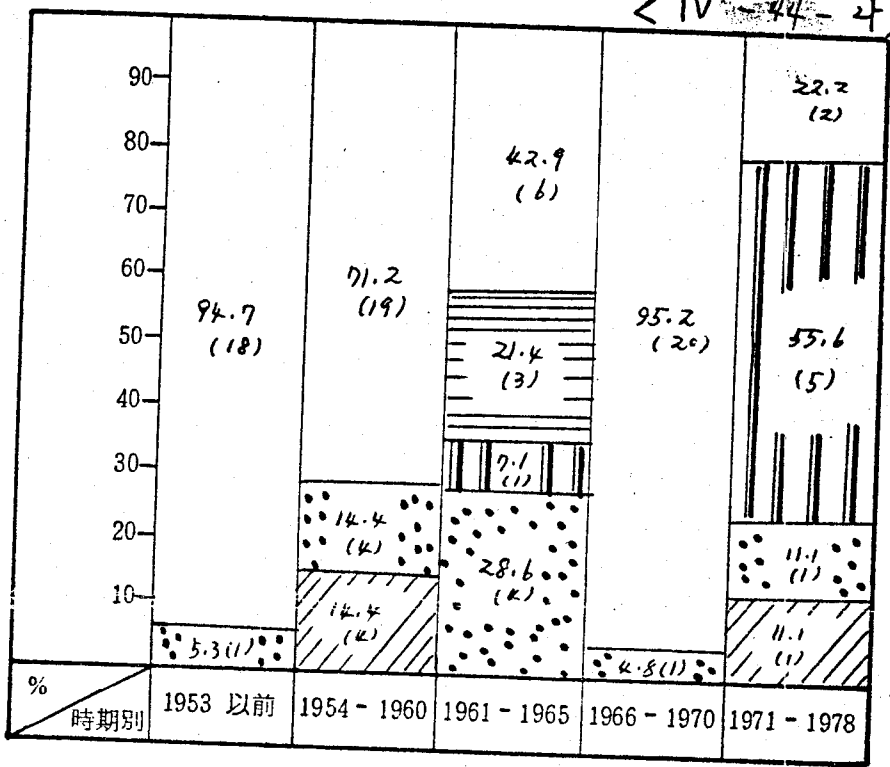
青年近衛隊 教育時間



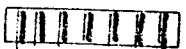
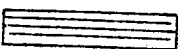
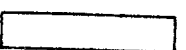
< IV-44-7 >



適當6時間 年向240時間
 年一回訓練所入所
 每日1-2元時間, 年向500時間
 且三双号
 其他

< IV - 44 - 4 >

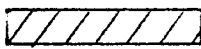
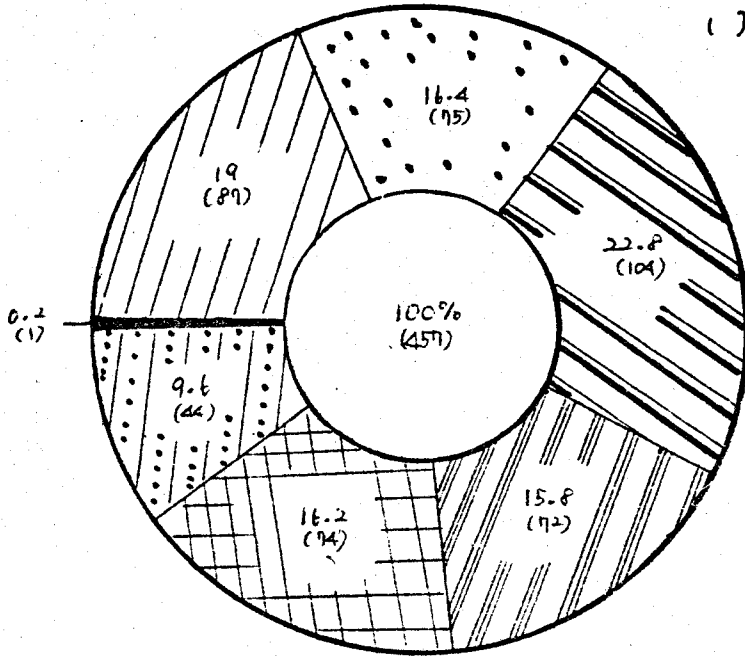


-  毎日 1~2時間 年間 500時間
-  週当 6時間 年間 240時間
-  年1回 訓練所 に入所
-  不明
-  無応答

青年近衛隊 教育內容

<IV-45-7>

() 個年



病理学



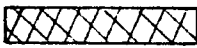
射毒学



改列訓練



戰術



化学

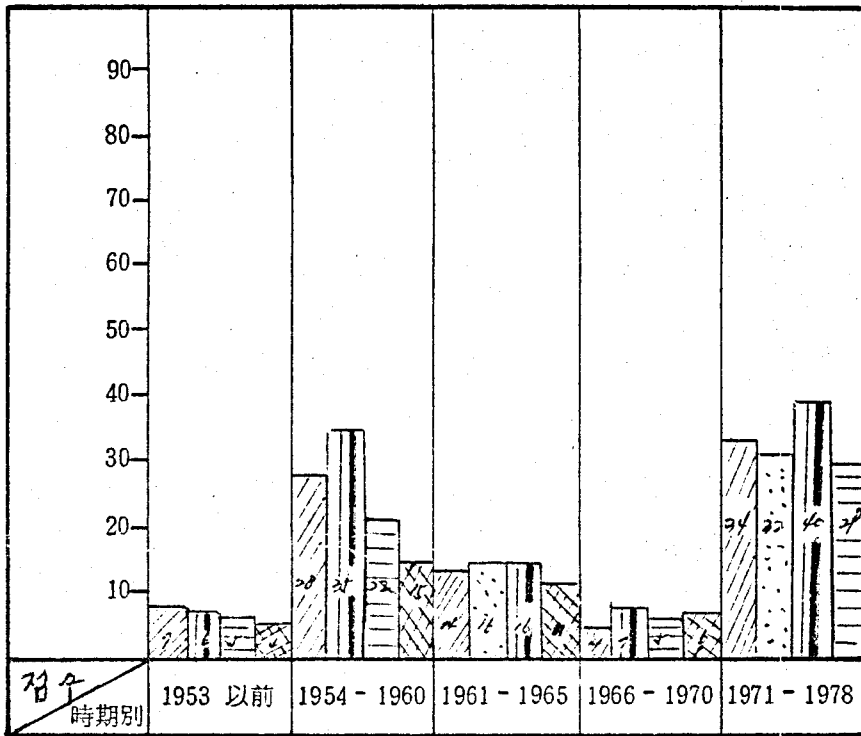


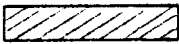
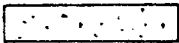
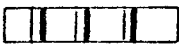
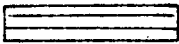
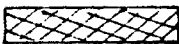
其他



規程學 (內務規程, 紀律規程)

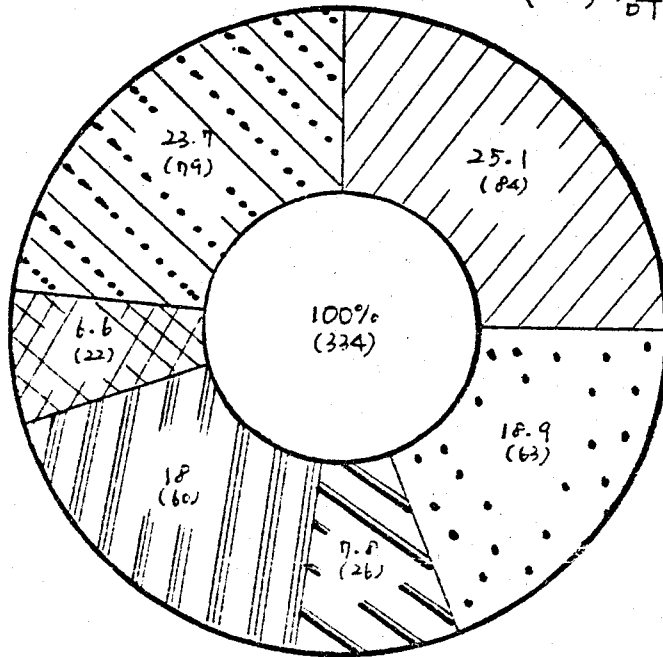
<IV-45-4>


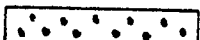

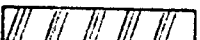




-  规定学
-  心理学
-  材类学
-  政训训练
-  战术

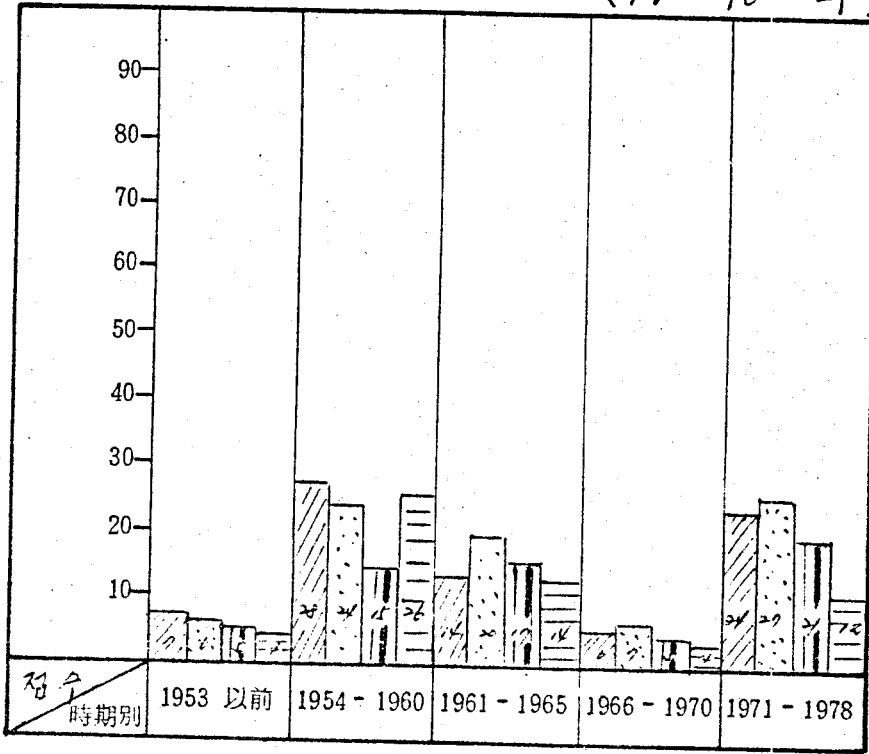
青年近衛隊之訓練內容

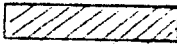
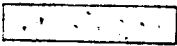
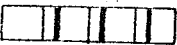
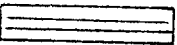
<11-46-7>
() 計



-  射擊訓練
-  障礙物克服訓練
-  水泳訓練
-  山岳訓練
-  體育
-  戰術訓練

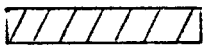
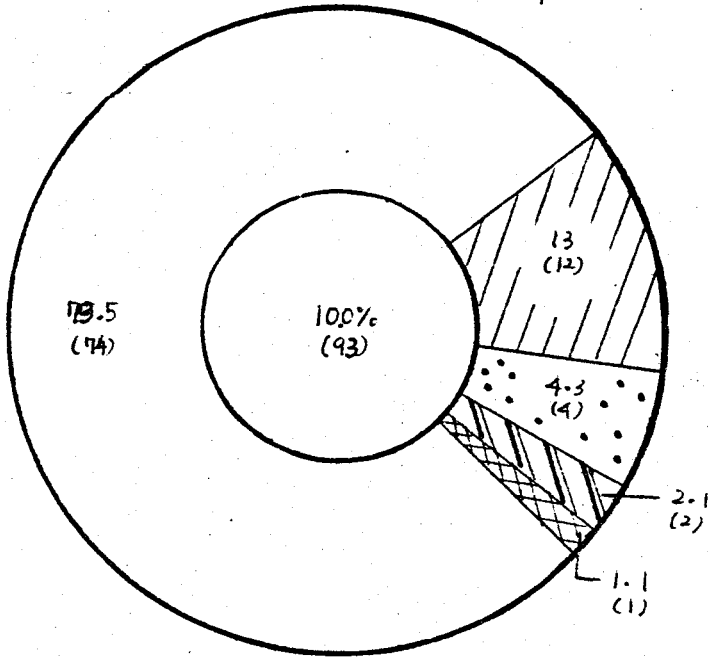
< IV - 46 - 4 >



-  战时训练
-  射靶训练
-  障碍训练
-  山岳训练

青年近衛隊 武器

< IV-47-7 >



小銃



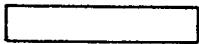
機関短銃



기관銃



機関銃

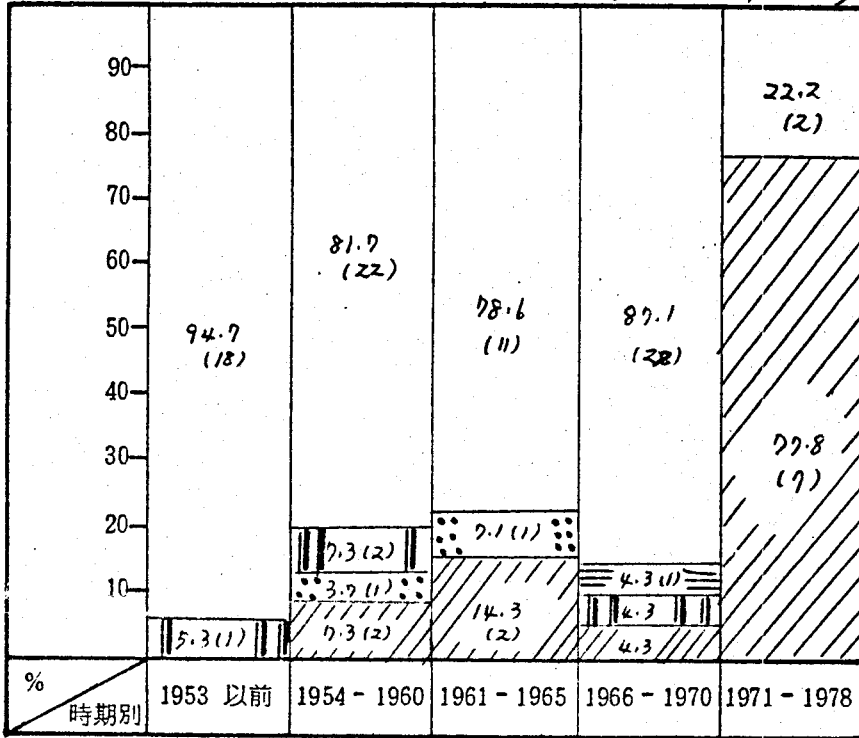




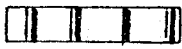
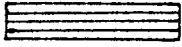
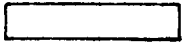
無応答

註). 82 mm 박격포

82 mm 비반중포 등도
支給되어 있다고 함.

< IV - 47 - 4 >



-  小坑
-  出型坑
-  残岗短坑
-  残岗坑
-  燕灰谷

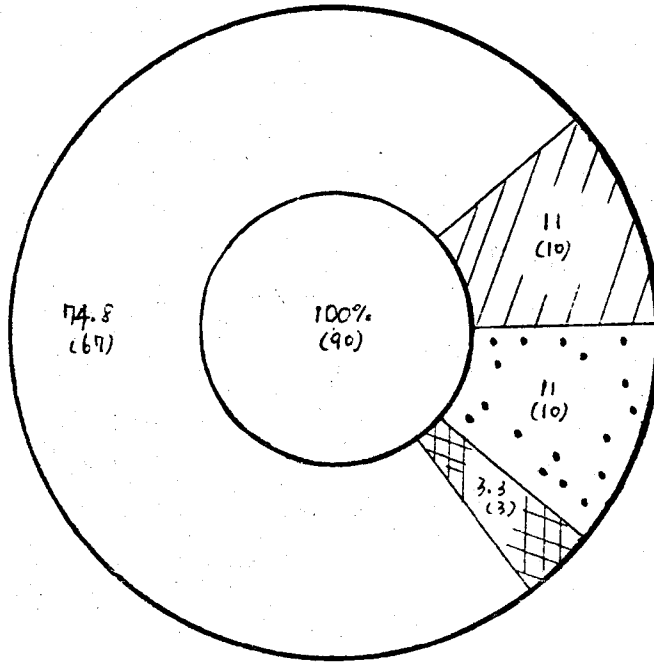
青年近衛隊 対象


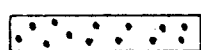
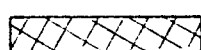
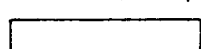
(Ⅱ - 48)

時 期 別	選 拔 対 象	除 外 対 象
53年 이전	○ 成分이 좋은子弟	○ 小市民, 事務員 成分은 除外
54 - 60	○ 없었음 ○ 17세 - 35세 미만 ○ 成分과 思想이 確固한 者	○ 身体障礙者 ○ 36세 이상 ○ 成分이 좋지 않은者
61 - 65	○ 家庭 身分이 좋은 子女들 ○ 精神, 肉体 健全한 者 ○ 17세 이상의 학생	○ 反動分子 子女 ○ 成分不良者, 外國人, ○ 成分 極惡者
66 - 70	○ 高等中學校 學生 (사로청원) ○ 成分이 좋은 家庭의 子女	○ 成分 不良者 ○ 不穩分子의 子女
71 - 78	○ 不具者들 除外한 사로청원 은 全員이 義務的으로 들 어감. ○ 단 14세 이상 中學 4 學年부터 高等中學生 全體	○ 成分不良者 ○ 不具者, 反黨, 反革命等, 黨에서 숙청된 子女, 大 學生, 少年團員 ○ 身体不具者

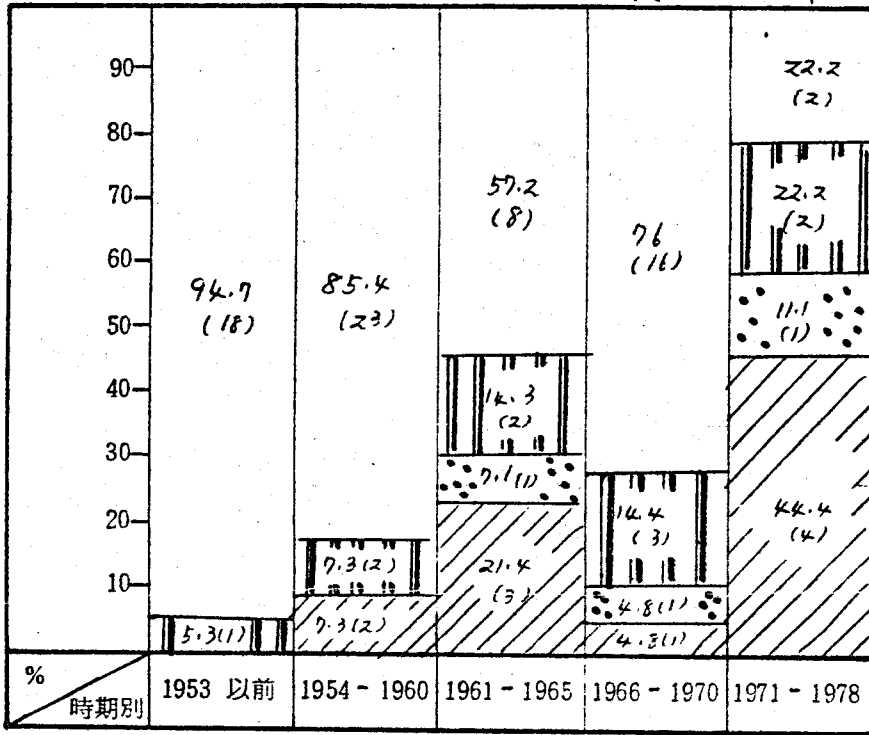
女學生 軍事訓練 程度

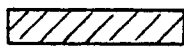
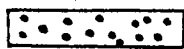

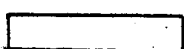
< 1V-49-가 >



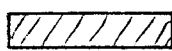
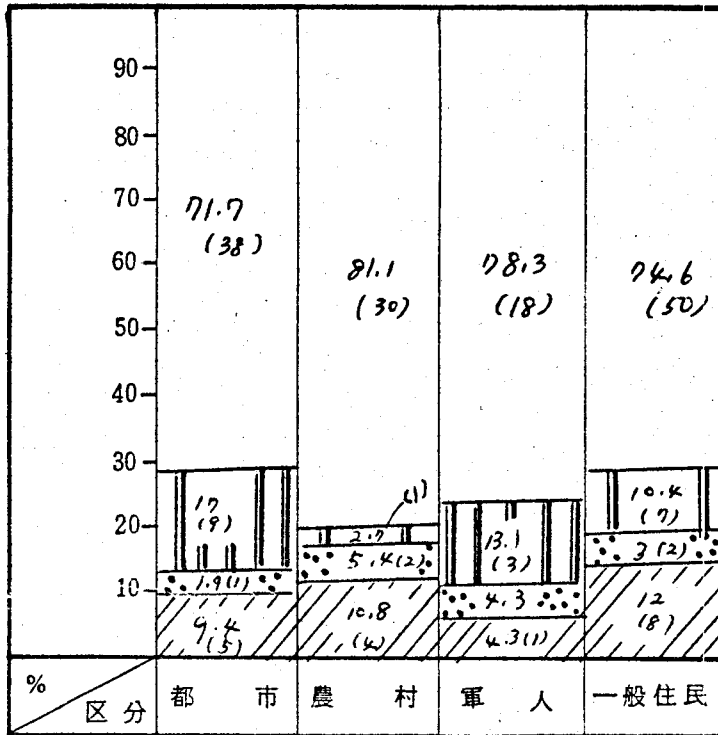
-  男學生과 同等한 軍事訓練
-  구급법, 간호학, 군내 行政 보조
-  압박등반, 산악 訓練
-  無 應 答

< 1V-49-4 >



-  男学生及同等者 軍事訓練
-  山岳訓練
-  下级. 佐. 行政補助
-  無応答

< IV - 49 - 4 >



男學生外同等地軍事訓練



空襲警報, 山岳訓練



救急法, 看護學, 軍內行政補助



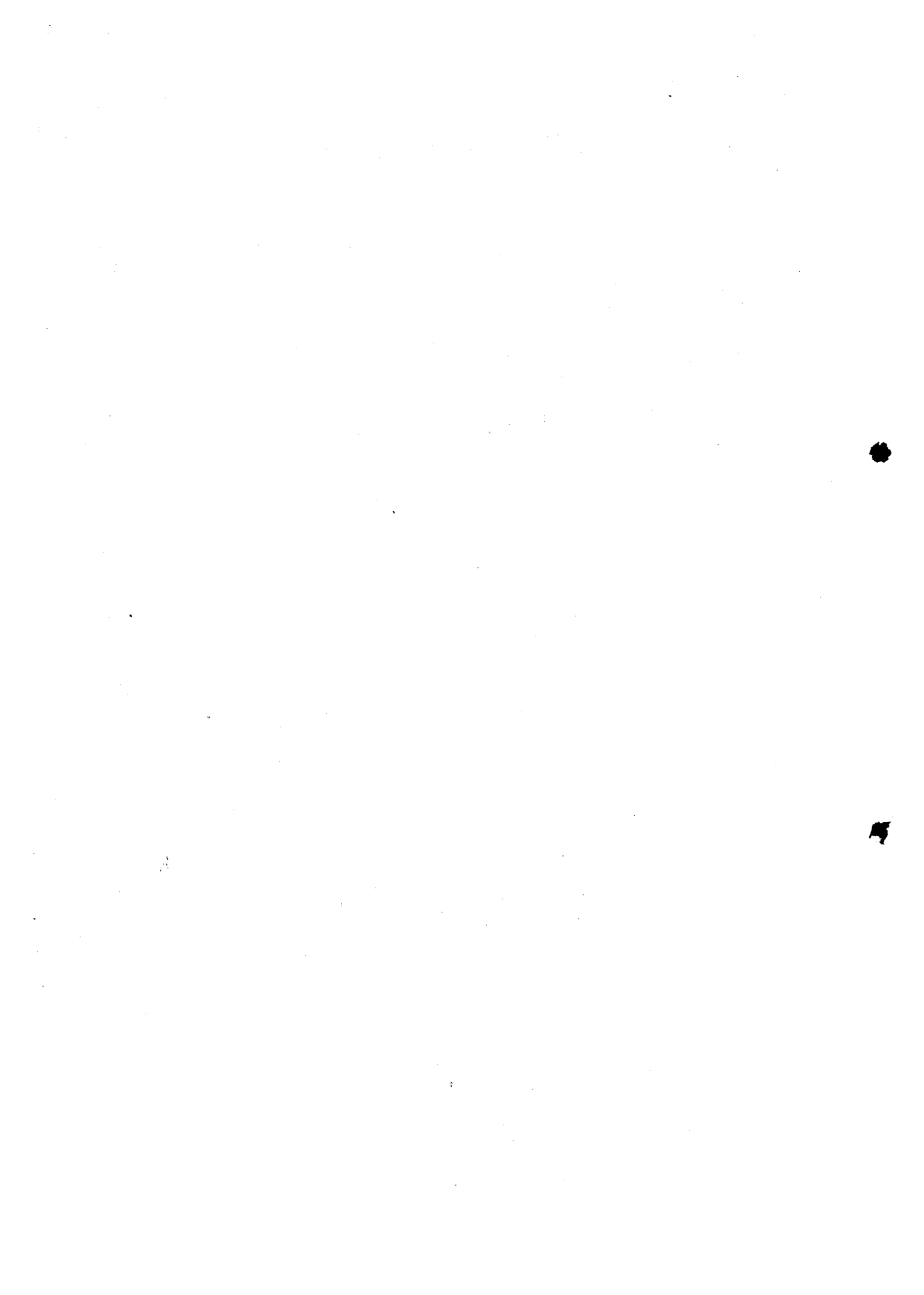
無回答

女學生 軍事訓練內容

(N - 50)

時期別	任 務	編 成	教 育 訓 練
53 년이 전	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護訓練 ○ 突戰 參加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 연대까지 편성 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 학교에서 수시 突戰
54 - 60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛生 및 支 援 業務 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高學生 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛生學, 射擊, 제식훈련 전술학: 기관단총 共同 管理 ○ 대열, 자격, 정치: 소중지급
61 - 65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛生兵과 射 擊隊 ○ 男學生과 비 슷한 訓練 ○ 看護, 一般補給, 고사총사격 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 소대, 대대 ○ 学年別 編成 : 지휘자는 상급자 ○ 해당학교 赤衛隊 所屬 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 應急處置, 看護員과 同一한 資格갖도록 教育: 배낭 및 救急藥品 支給 ○ 위생가방, 화생방 ○ 공습대비훈련, 구급법, 훈련술: 비상배낭, 목총지급
66 - 70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 學生勞動赤衛隊와 同一 ○ 공습, 비행기 사냥군조 간호원, 후방방위 여성부대 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中隊單位 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 남학생과 거의 같은 훈련: 간호품, 소중지급 ○ 간호술과 실시동작, 고사총 제원과 방총실시 동작 사격
71 -	<ul style="list-style-type: none"> ○ 저격무기 사용 및 간호 ○ 통신, 간호 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女學生 연대 ○ 붉은靑年 近衛隊 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 학교에서 군사교관이 실시: 소중지급 ○ 남자와 동일: AK자 보충 AK 반자보충 ○ 통신장비 지급

마. 戰 爭 意 識



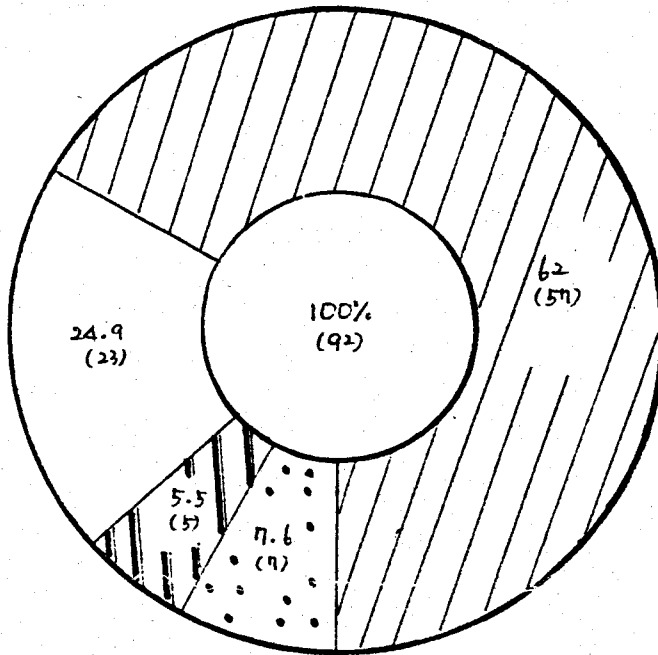
마. 戰 争 意 識





○ 北韓의 戰爭準備實態

- 1960年代 中半까지 攻·防 兩面에서 共히 完了된 狀態
- 軍事力の 增強도 戰爭遂行을 위한 準備의 一環(62%)으로 보고 있음.
- 특히 軍人의 경우는 絶對多數(70.8%)가 戰爭遂行을 위한 軍事力の 大幅 增加로 보고 있음.

北傀 軍事力增強 理由

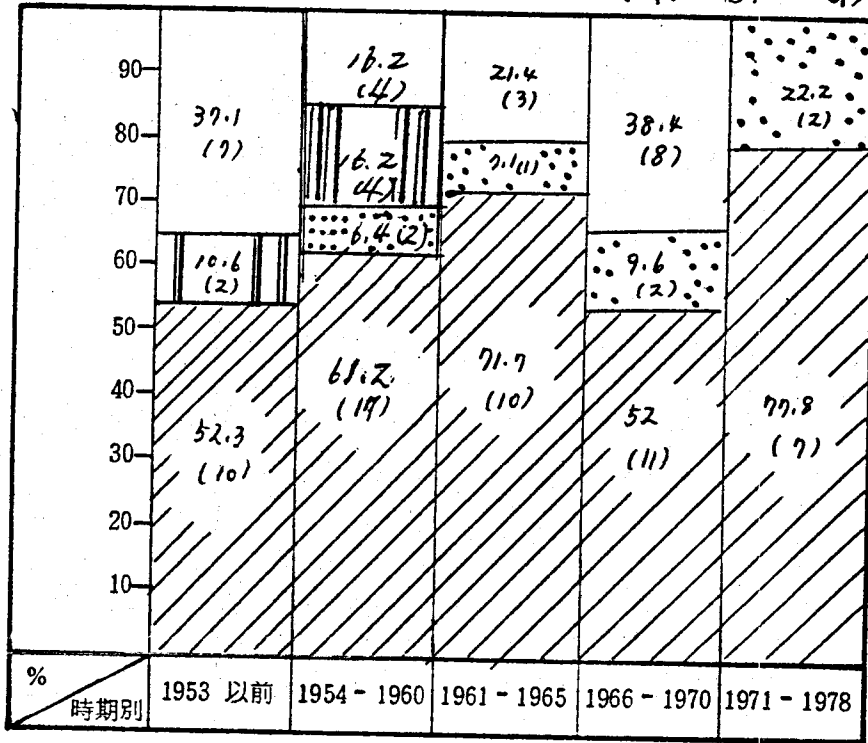
< IV - 51 - 가 >



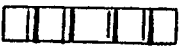



-  戦争遂行을 위한 준비일환
-  戦争억제를 위한 對備
-  기타
-  考慮答

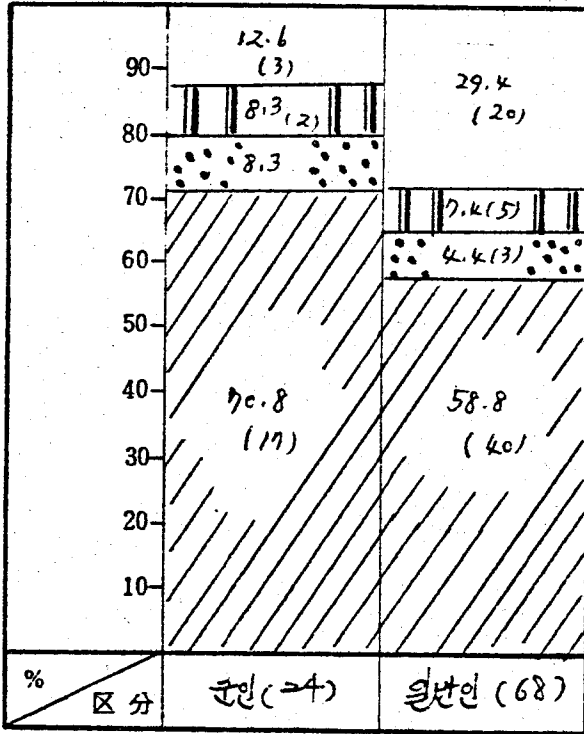
註) 其他는 赤化統一等を 包含




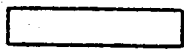
< IV-51-4 >



-  戰爭遂行을 위한準備一環
-  戰爭抑制를 위한對備
-  其他
-  無應答

< 10 - 51 - 4 >



-  戰爭遂行을 위한 準備一環
-  戰爭抑制를 위한 對備
-  其他
-  無應答

北傀의 戰爭準備

(IV - 52)

時期別	內 容	備 考
53年 以前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戰爭準備에 總力集中, 南侵의 機會 上 리고 있는 實情 ○ 準備完璧위해 強化 	軍 人
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉞山物, 化學製品과 武器交換, 食糧備蓄, 被服아껴 戰爭物資確保에 血眼 ○ 6.25 經驗에 의거 空·海軍 重點育成 ○ 準備 完璧 ○ 行政, 經濟, 學術, 藝術等이 戰爭하나에 集約計劃. 	一 般 人
54-60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休戰後부터 軍備擴張에 광분, 滯順當時 國力도 強力하다고 判斷됨 ○ 18세 少年들 軍支援, 軍事訓練強要, 共 産主義 思想 武装 어린이들의 놀이도 병정놀이등 訓練으로 誘導 ○ 有事時 軍需工場은 地下로, 休戰線 近郊 北方限界線은 完全 요새화되고 戰爭動員 體制 一元化 ○ 幹部化 軍隊 育成發展, 高度의 教育實施 政治思想教育 ○ 防禦坑道 構築, 全國土要點化等 戰爭準備 最善 ○ 充分한 도발준비, 김일성指示 符號 	軍 人

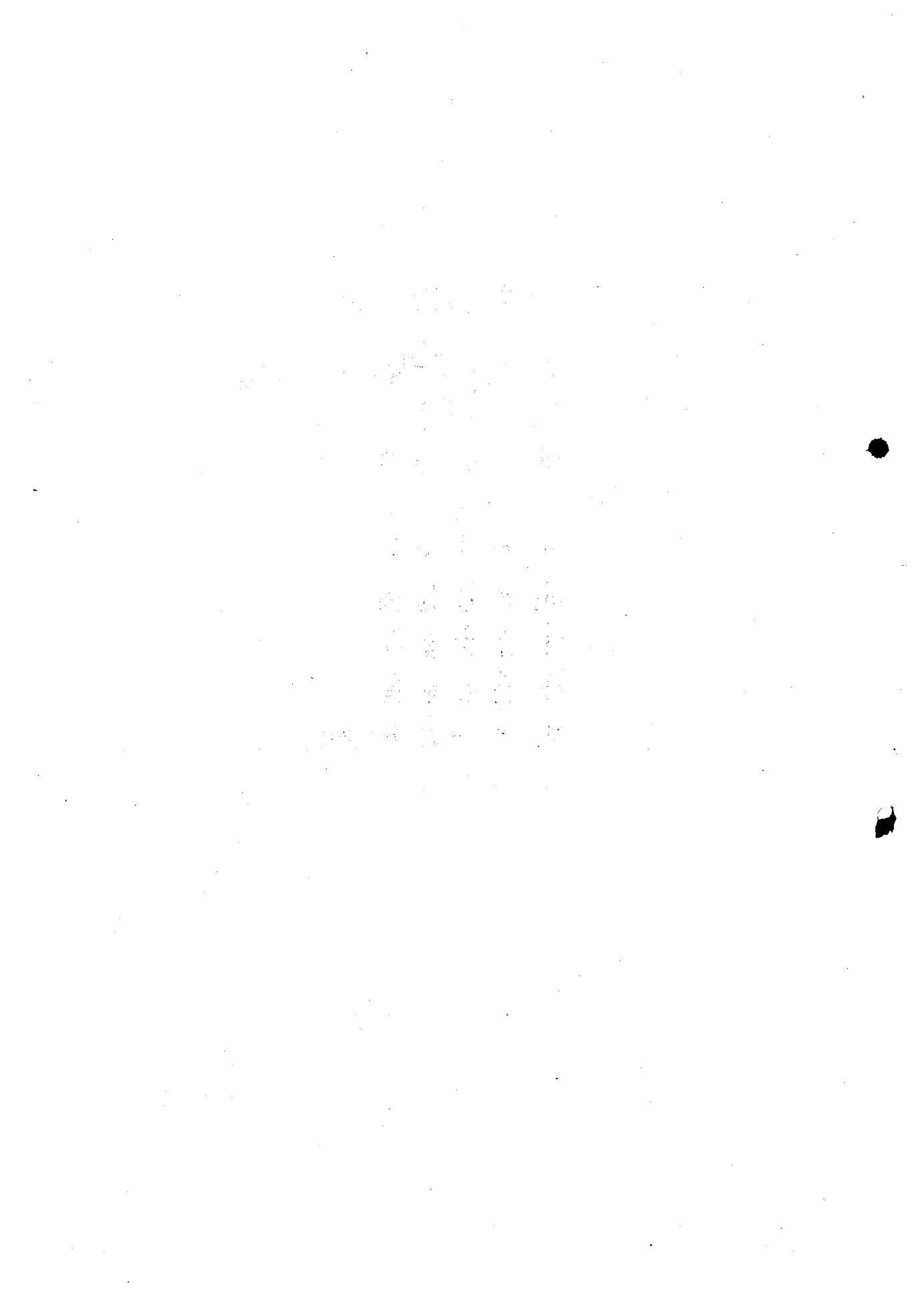
時期別	內 容	備 考
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 武器 直接 生産 (地下工場), 戰場 單位 別로 武裝 ○ 準備完了段階 ○ 개인호부터 탱크 저지호까지 完成, 戰爭準備 一週으로 除隊도 안시킴. ○ 진지구축, 裝備補強, 訓練強化, 食糧備蓄, 對南 적대의식 주입. 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6.25의 敗戰 거울삼아 땅굴과 軍事的 방어 광분 ○ 모든 生産機關은 有事時 軍需品 工場으로, 모든 制度는 戰時體制로 轉換 可能 ○ 休戰直後 토치카, 비행장 증설, 軍事道筋, 老工 ○ 強力한 執行, 脫營兵 死刑 	一般人
61-65	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前方은 산마다 坑道, 坑道안은 3個月分의 食糧과 彈藥備置, 1個所에 3名程度의 적단동 ○ 인도지나 事態時 너무 많은 돈을 坑과는데 消耗, 이에 浪費된 돈이 이북經濟建設의 2倍 ○ 大部分의 工場 地下에 設置, 軍人 혹사시켜 前後方에 동굴과고 平和的인 方法으로는 祖國統一 不可能하다고 住民들에게 宣傳 	軍 人

時期別	內 容	備 考
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戰爭準備 90 %完了, 軍人 勞農赤衛隊까지 AK 自動小銃 支給 個人別 戰鬥準備는 10年 前에 벌써 끝난 狀態, 방어면에서는 200 % 에 가까운 戰鬥準備 完了. ○ 戰爭發勃時 1年以上 食糧 및 軍備 備蓄 ○ 自体武器生産 : 6.25 때 장총을 가볍고 작은 연발총으로 改良製造, 박격포탄, 장갑차제조 中學校 學生에 이르기까지 軍事訓練 및 공 습대비 訓練. ○ 全 國民에게 戰爭에 대한 啓蒙講演 ○ 戰爭發勃에 대비한 食糧備蓄 : 1일 한 숫잔 節約運動 ○ 북괴능력으로 가능한 極限狀態까지 強化, 韓 國에 대한 상대적 優위를 점하고 이를 유 지하기 위해 모든 것 犧牲 ○ 全國의 무장화, 幹部化, 要塞化가 되어 언제 든지 挑發 可能性 있음. 	<p>一般人</p>
66-70	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重工業 發展, 軍需産業 基盤 아래 軍現代化 物質的 優待, 勞農赤衛隊 創設 ○ 軍事精神面에서 優位, 赤化可能 ○ 1960年 金日成의 軍事部門 호언장담 信賴 	<p>軍 人</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1960年代初까지 모든 방어 工事完了, 赤衛 隊, 正規軍, 民間人等의 訓練도 1960 中半期 부터는 攻擊訓練으로 轉換 ○ 4大軍事路綫에 依拠 戰爭準備 完了 	<p>一般人</p>

時期別	內 容	備 考
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軍需品은 坑道에서 生産。韓半島 地形과 不利한 日氣, 季節에서 適應訓練強化 強行, 職場, 學校, 家庭에서 戰爭準備 繼續。 ○ 복과 예산 50% 軍에 使用 ○ 各 處에 땅굴을 파고 工場은 地下에 準備하고, 住民들은 避難訓練과 食糧 1個月分씩 準備하고 있는 實情 	
71	<ul style="list-style-type: none"> ○ 한 마디로 戰爭準備에 總力を 集中하고 있다고 생각 ○ 100% 強化되었다고 생각 ○ 모든 經濟力 國防力에 投資, 南韓 赤化統一 야욕에 광분. 金日成은 이길만이 자기가 망상하는 共產 社會建設의 지름길로 생각 ○ 基本的인 準備完了 特히 精神的인 準備가 많이 되어 있다고 생각. 軍人을 大幅 增加 兵器를 新武器로 바꾸고 있음. ○ 4大軍事路線을 비롯하여 新武器로 全國民은 일단 戰爭만 일어나면 총을 주어 戰爭터에 보내려 하고 있음. ○ 軍人들의 訓練強度를 높이고 軍隊 服務年限이 길어짐. 	<p>軍 人</p> <p>一般人</p>

5. 平壤·開城 比較

- 가. 權力指導層에 대한 態度
- 나. 體制에 대한 態度
- 다. 民族意識, 統一觀
- 라. 住民生活
- 마. 財 產
- 바. 生産活動
- 사. 家庭生活
- 아. 社會生活
- 자. 靑少年과 女性問題



가. 權力指導層에 대한 態度

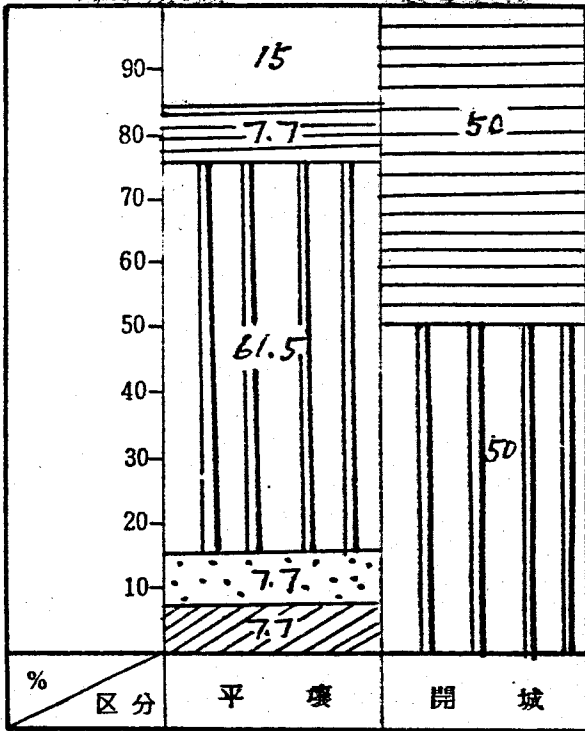
(1) 權力指導層에 대한 의견




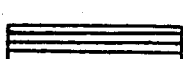
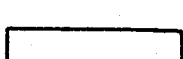
分野 \ 地域	平壤	開城
金日成의 過去行蹟	○ '과연 그런 것인가' 하고 疑心하는 態度가 지배적 (61.5%)	○ 誇張宣傳하는 것으로 이해하면서, 의심하는 태도 (50%)
金日成 退陣後 豫想되는 權力層	○ 集團指導體制 (31.6%) 卞 党序列 人物承繼 (26.3%)	○ 党序列人物 承繼 (50%) 卞 金正一承繼 (50%)
金日成死亡後의 後繼者	○ 軍將星 (27.7%) 卞 党 老壯幹部 (25.5%)	○ 金正一 (23.3%) 卞 党 少壯 幹部



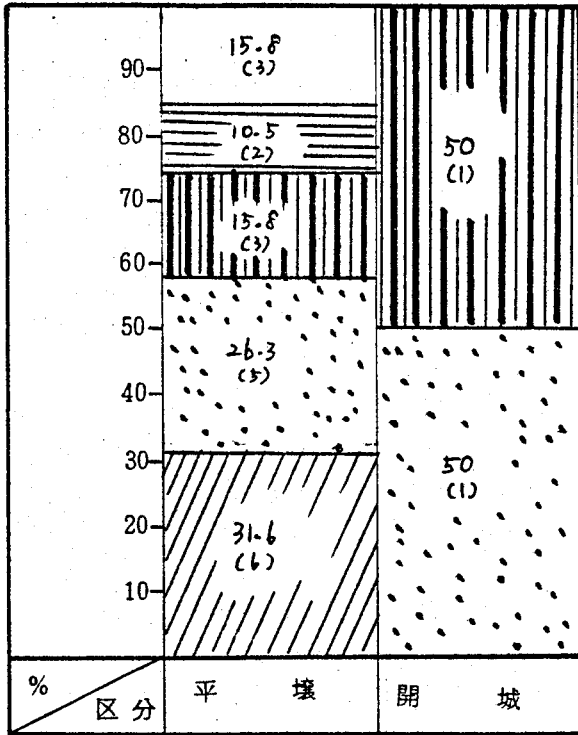
- 平壤地域 : 金日成의 過去行蹟을, 疑心하는 態度가 지배적이며 金日成 退陣後에는 集團指導體制로서 軍將星 또는 党高位 幹部가 承繼
- 開城地域 : 金日成 行蹟에 대해 誇張宣傳으로 받아들이며 金正一 承繼

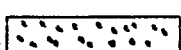

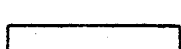
全日 戎의 過去行蹟



-  키대천 民族 指導者
-  革命의 天才
-  과연 그럴것인가에 대해 의심
-  과장 선전하는 것이 이상
-  其他

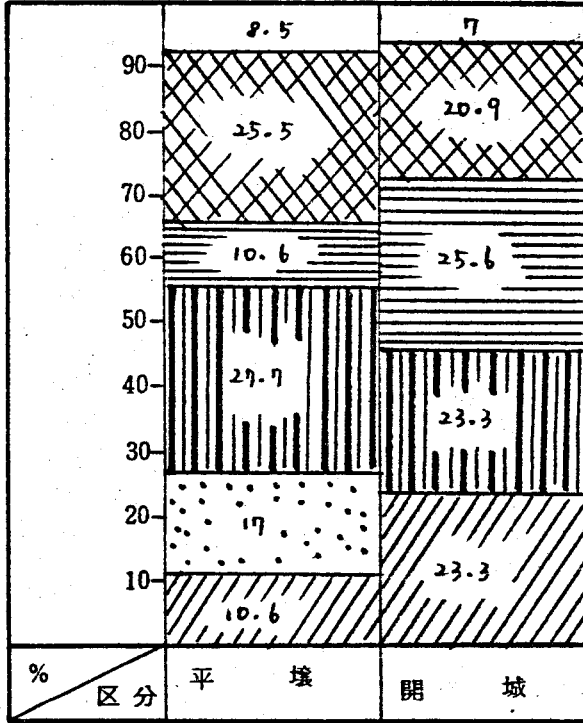
全日或退陳後子想以最高权力層


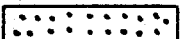

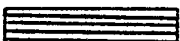

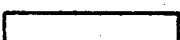


-  集團指導體制
-  序列上人物承繼
-  金正一承繼
-  金英柱承繼
-  其他

註) 開城地域之金正一承繼比，序列上人物承繼比，後者子想，若以以此，平壤地域之集團指導體制，序列承繼比，後者之傾向也

全日成死之後の後継者

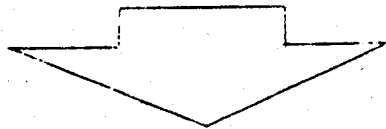


-  金正一
-  金英柱
-  單將星
-  脱少壯幹部
-  脱老壯幹部
-  高級官僚(國務院委員)

註) ① 平壤と開城の金正一の有力視座は、北の反共平壤の金正一と金正一の有力視座は、疑いなく、
 ② 아귀도 單將星、老壯幹部에 文化 知識이 相當히 豐富.

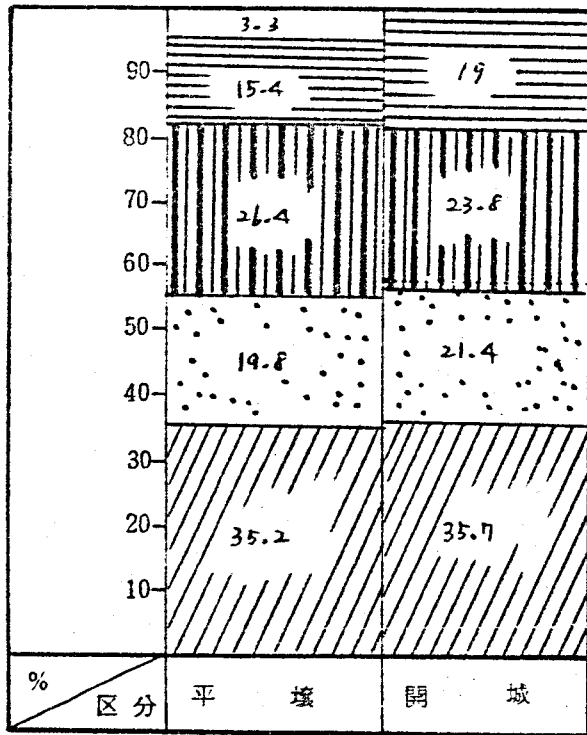
(2) 政治엘리트 充員 基準

分野	地域	平壤	開城
昇進 要件		○ 成分은 비슷, 熱誠度를 重視	○ 專門知識, 技術 등을 重視
政務員이 되는 要件		○ 成分은 비슷, 熱誠度 重視	○ 專門知識, 技術을 重視



- 平壤地域 : 党性을 重視하는 傾向
- 開城地域 : 專門性 重視

昇進要件



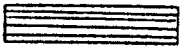
成分



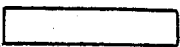
專門知識、技術



熟識度



教育水準

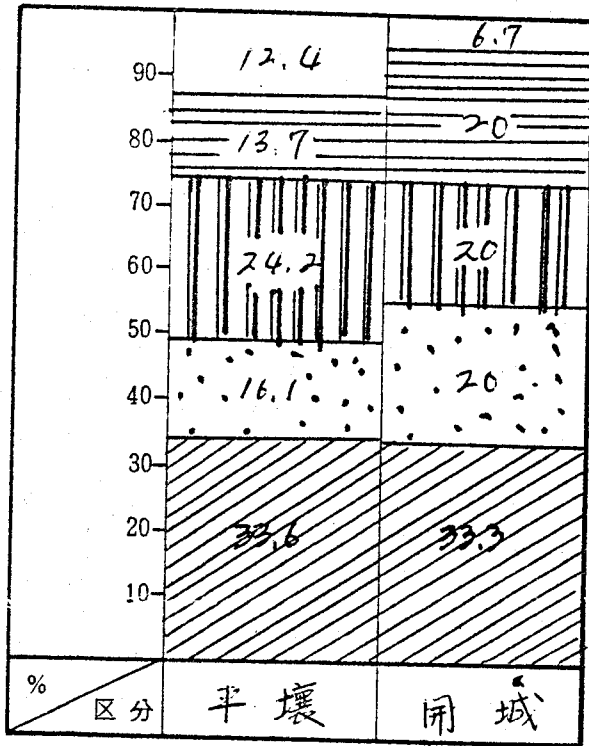





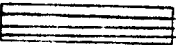
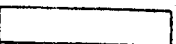
其他

註) ① 成分は熟識度を考慮、
 前面に平壤地域
 より 4% 高

② 但開城地域は他
 他地域より専門
 知識と技術の研修
 にも重視が授け

政務員이 되는 要件



-  成分
-  專門知識
-  熱誠度
-  教育水準
-  軍隊背景

註) 專門知識 및 技術에 重點을 두것은 平壤보다 用城地域이 強함.

나. 體制에 대한 態度

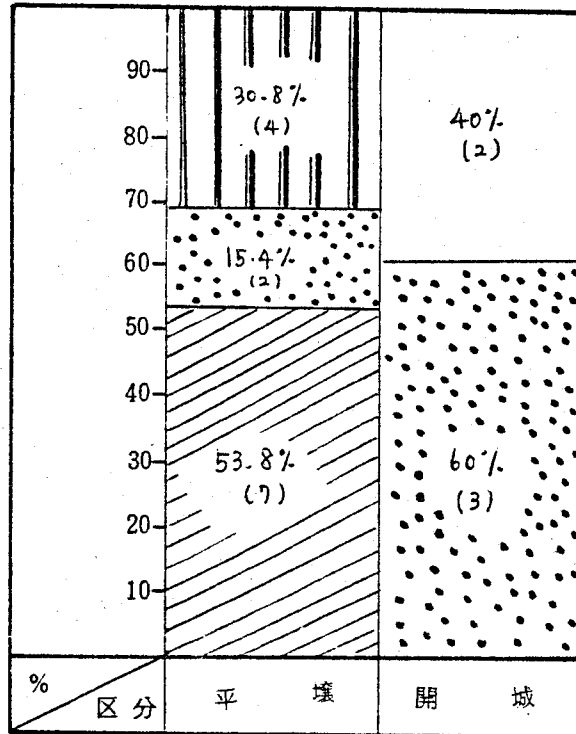
(1) 法意識, 憲法精神


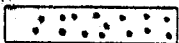

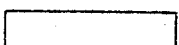
分野	地域	平 壤	開 城
法에 대한 認識		○ 法은 人民을 壓하게 다루는 것으로 認識 (53.8%)	○ 好을 좋은 것으로 볼뿐 實效 期待없음 (60%)
法の 役割		○ 人民抑圧道具 (38.5%)	○ 展示效果用 (66.7%)
憲法에 대한 認識		○ 勞動黨만이 살기 위한 것 (35.7%)으로 認識은 하나, 無關心한 태도(35.7%)	○ 全적으로 無關心한 태도 (75%)
公民權 條項에 대한 認識		○ 지켜지지 않는 것으로 認識, 無關心	○ 權利보다 義務, 責任을 重要視 (50%)
憲法 教育經驗		○ 66.7%가 教育	○ 50%가 教育
憲法遵守 程度		○ 無關心 (36.4%) 하며, 無視傾向	○ 憲法을 全적으로 無視 (100%)
憲法精神		○ 勞動者, 農民만 強要 (57.1%)	○ 黨幹部는 無視 (16.7%), 勞動者, 農民만強要 (16.7%)



- 平壤地域 : 法은 人民抑圧道具이며, 勞動黨만 살기 위한 것이며, 一般的으로 公民權에 대해서 無關心하며, 勞動者, 農民에게만 強要되는 것으로 理解
- 開城地域 : 全적으로 無關心, 權利面보다 義務와 責任이 重要視되는 것으로 理解

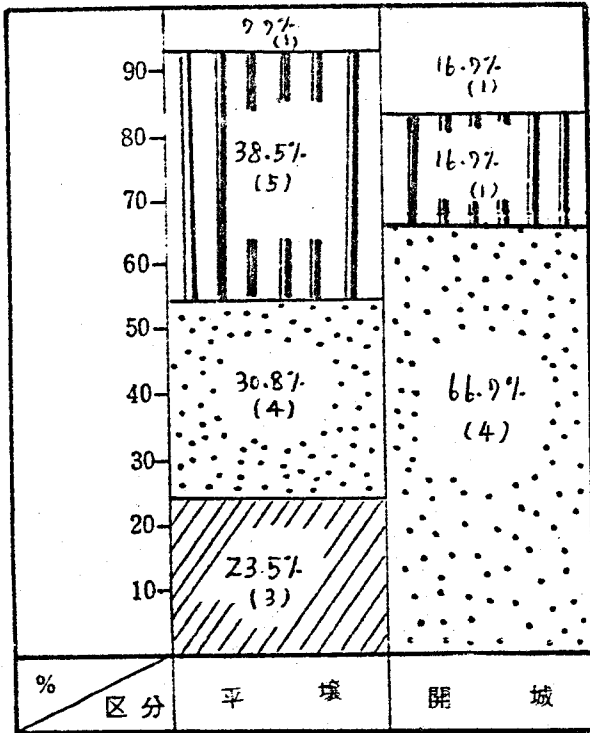
表에 對한 認識




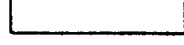


-  表에 對해서 無關心
-  表에 對해서 恐怖感의 強勢
-  表에 對해서 無關心
-  其他

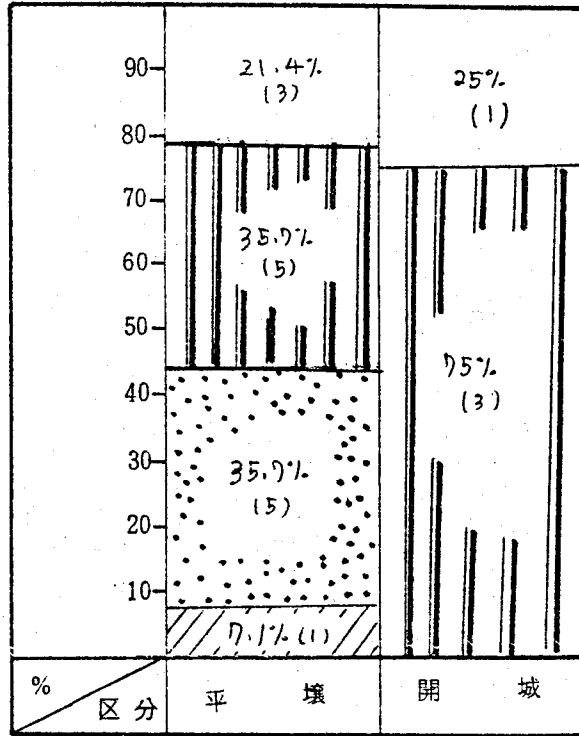
註) 平壤地域의 開城地域보다 表에 對한 恐怖感의 強勢


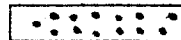
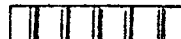

表의 役割



-  表은 지리라나, 实际上 吳形의 境通도 있다
-  하은 形제 내외의 展示 效果用
-  人民의 抑壓力이 爲는 道具
-  其他
(註) 平壤地域이 開城地域보다 絶對 人民의 抑壓力의 道具로 且之 傾向이 壓倒的

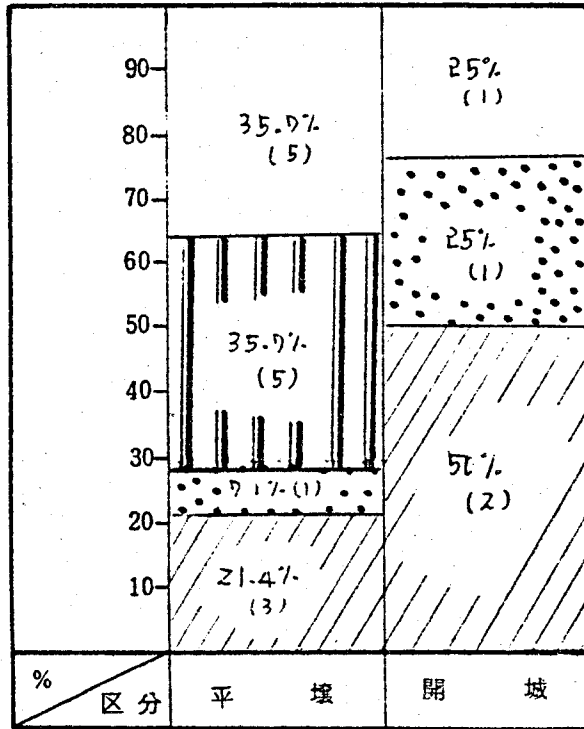
憲法에 대한 認識



-  真正世農民, 勞動者等 爲世法
-  勞動度員 間의 爲世法
-  無關心
-  其他

註) 平壤에 比 憲法에 對한 關心度가 높음

公民权條項에 대한認識



权利と義務、責任이 重要



憲法에 規定된 权利 無知

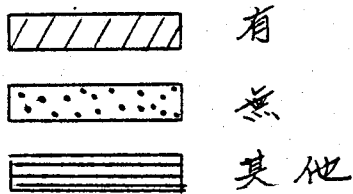
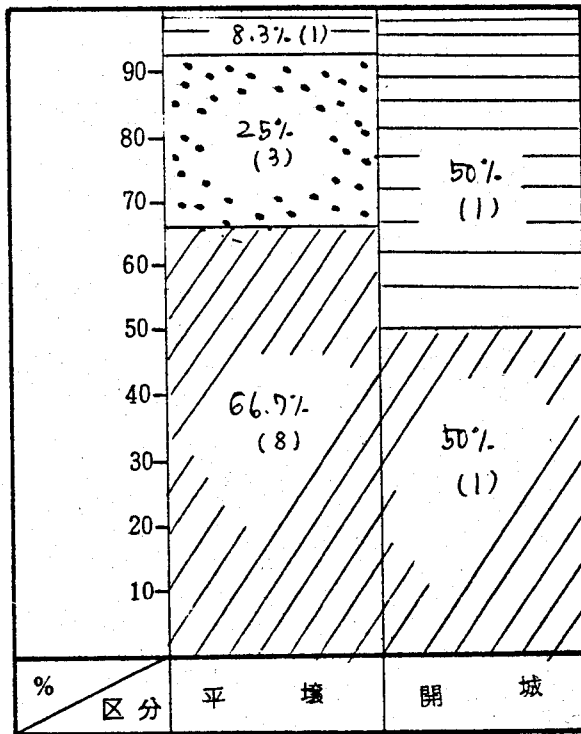


事實上 遵守된 結果에 無自心

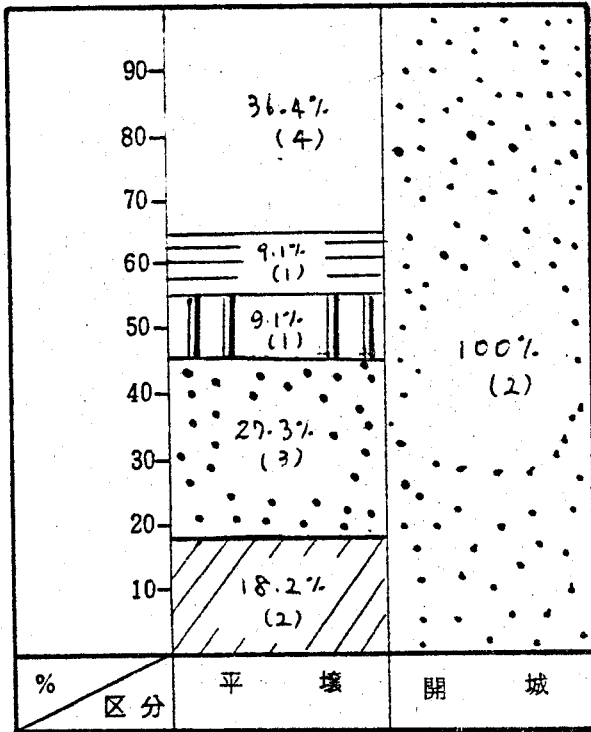



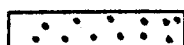

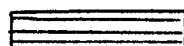

其他
 (註) 開城地域에서 特別 公民의 義務, 責任의 強調

憲法教育經驗



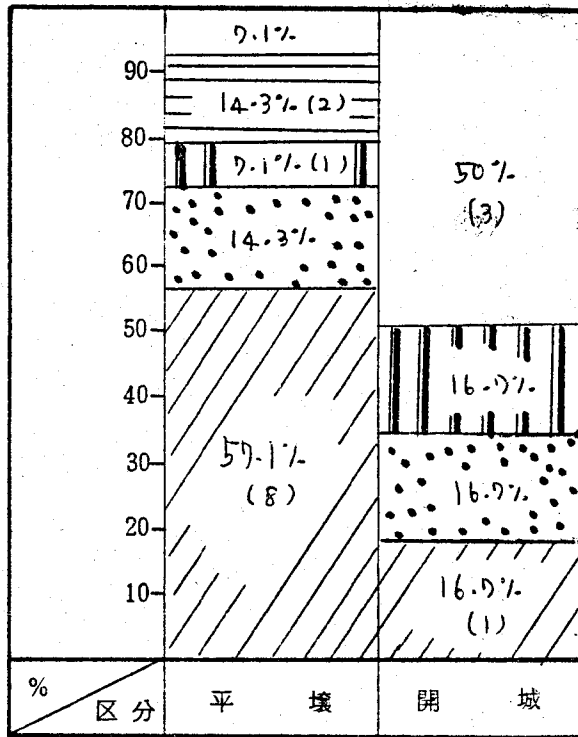
憲法遵守程度


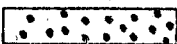

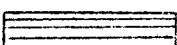
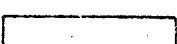


-  宪法完全遵守并努力行使
-  宪法完全无视
-  为遵守而努力
-  对宪法无知
-  对宪法毫无兴趣

註) 開城地域之 憲法完全无视
无视之人数 4人

建设精神



-  劳动者, 农民等 建设为社会主义要
-  党幹部等 建设为党
-  党和人民等 建设为党
-  党外团体等 建设为党
-  其他

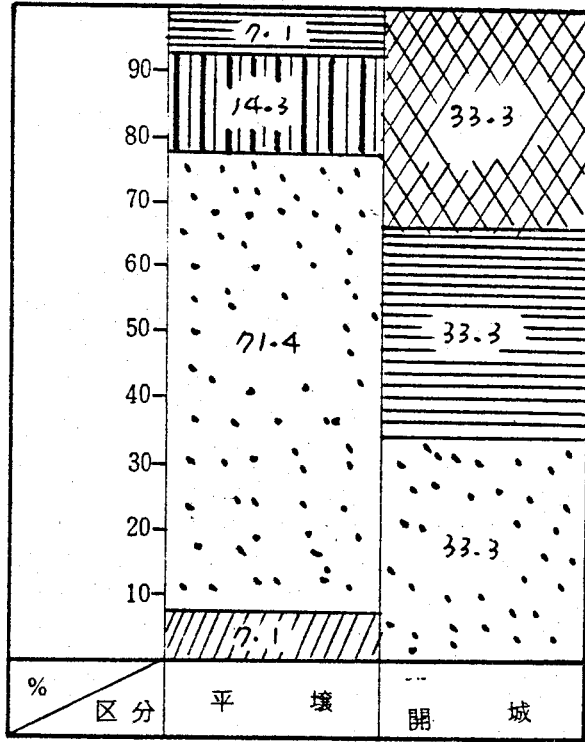
(2) 共產體制 受容度




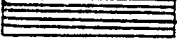


分野	地域	平 壤	開 城
選舉에 대한 認識		○ 黨이 指名한데 順從 (71.4%)	○ 監視가 두려워 參與 (33.3%)
黨政策積極 呼應理由		○ 出世 (35.3%)와 批判 (36.3%)도 있으나, 共產主義에 대한 確信 (13.7%)	○ 出世 (28.3%)와 批判 (35%), 配給 (21.7%) 때문임.
黨政策에 대한 反論提起와 方法		○ 黨政策에 대해 침묵 (41.2%)	○ 黨政策에 대해 盲從 (60%)



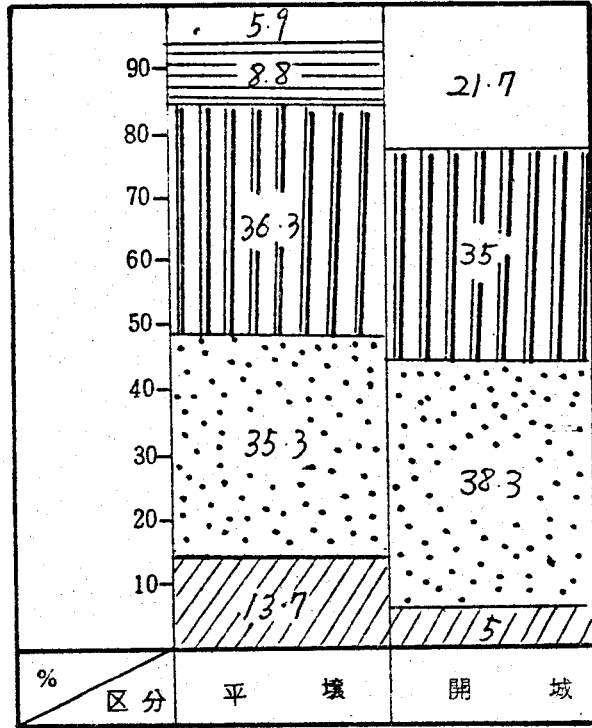
- 平壤地域 : 대체로 共產主義 社會體制에 對하여 順應하는 態度이며, 共產主義에 對한 確信보다는 出世를 爲하여 黨政策에 침묵
- 開城地域 : 共產主義에 對한 懷疑와 黨에 對한 監視 批判 등이 두려워 黨政策에 盲從



遷葬에 對한 認識



-  神聖한 參政權의 行事
 -  先指名이므로 無條件贊成投票
 -  不投票 경우 보통 平壤外
 -  候補者의 資格 且 投票
 -  監視로 反對 吳洲
 -  其他
- 註) 開城地域은 監視 平壤外 反對 吳洲 且 曾의 且 平壤地域은 先 指名이므로 無條件贊成投票 性向

黨政策積極反應理由

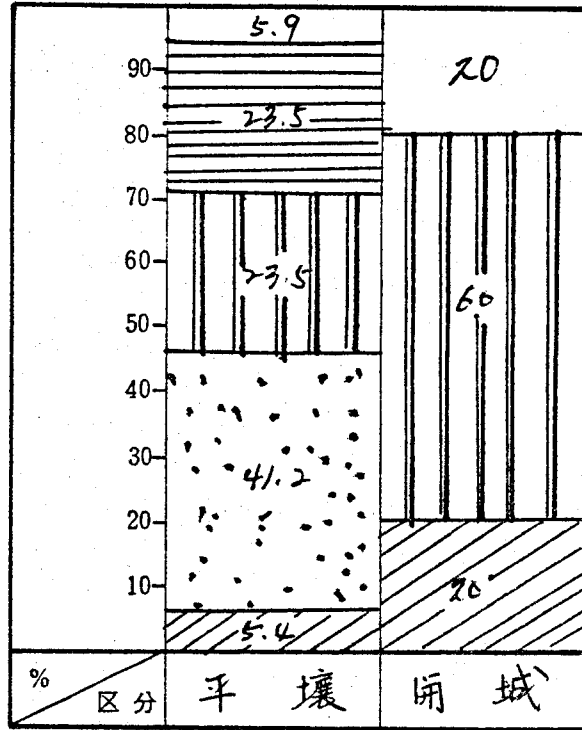





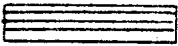

-  共產主義勝利確信
-  出世 위대
-  批判 두려워
-  配給량이 타려고
-  其他

註) ① 평壤地域은 開城地域
보다 共產主義勝利에
대한 確信度가 크며

② 開城地域은 평壤地域
의 消極的 態度(批判
두려워)와 거의 비슷하
다

党政策에 대한 反論提起의 方法



-  討論會等 公用席上 通訓
-  沈黙으로 一貫
-  無條件 盲從 (私席에서 3차)
-  党政策 理解、貫徹 努力
-  其他

(3) 黨政策 期待度

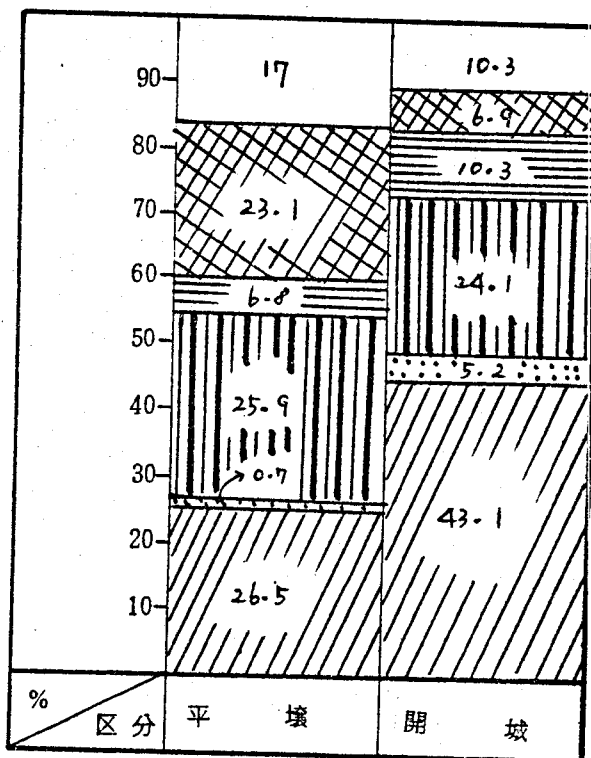
地域 分野	平 壤	開 城
体制支持의 名分	○ 社会로부터 疎外 (25.9%)와 自我批判 (26.5%)	○ 自我批判 (43.1%)과 疎外 (24.1%)
黨政策에 대한 期待	○ 消費生活水準 向上 (22.1%)	○ 消費生活 水準向上 (37%), 經濟成長 (22.2%)
黨幹部에 대 한 認識	○ 特權階級으로 인식 (61.5%)	○ 特權階級으로 인식 (75%)
政治的 不 滿이나 懷 疑動機	○ 指導層內 權力鬭爭 (25%) ○ 互相批判 (45.7%)과 社会安全部 (35.0%)	○ 宣傳과 實際의 差異 (33.3%)과 彈圧·勞力 動員 (30.3%) ○ 五戶担当制 (30.6%)와 勞動黨 (38.9%)
政治的 要求 上達 経路	○ 裁判提起性向 두렷 ○ 黨幹部, 校閱員에 陳情 및 伸訴 提起로 問題 解決傾向	○ 裁判提起事例 없음. ○ 伸訴提起等은 無關心하나 公開會議에서 討論하는 정도.




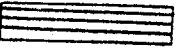

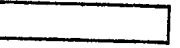


○ 平壤地域 : 黨幹部의 特權에 不滿을 표시하고, 法的, 政治的 経路를 통해 意思反映 努力

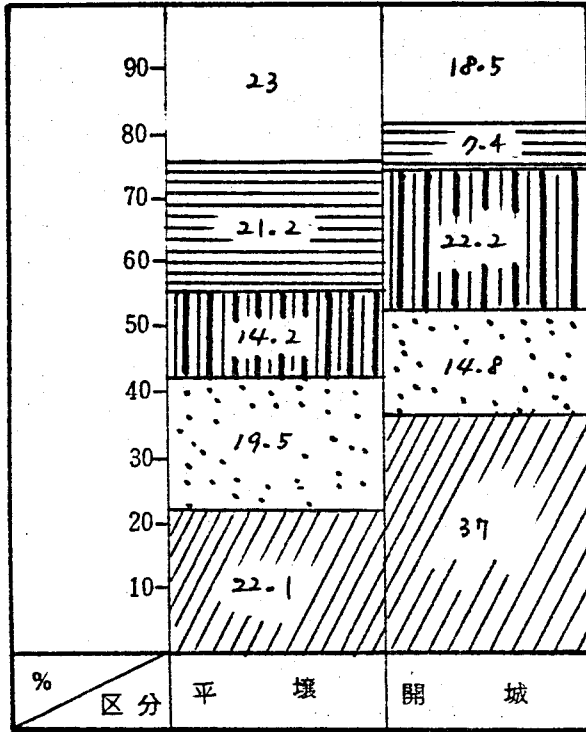
○ 開城地域 : 生活水準 向上을 갈망하면서도 自我批判이 두려워 政治的 要求는 하지 못함.





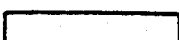
体制支持의 名分



-  自我批判을 党의 処罰
 -  配給減少
 -  社会互早의 疎外
 -  出世, 昇進의 機會遮斷
 -  家族, 親知에의 被害
 -  肉体的苦痛乃至物理的暴力
- 註) 開城地域이 平
地域과 党
의 疎外나 社会
互早의 疎外
를 받고 있음.

虎(國家)政策에 對하 期待

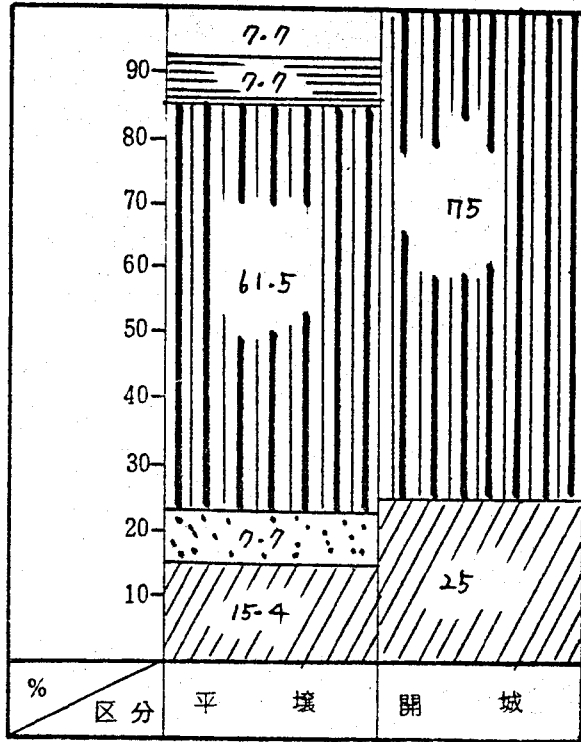


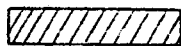


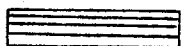
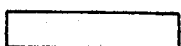
-  消費生活水準의 向上
-  社會福祉 增進
-  經濟成長, 軍事力強化
-  自主獨立
-  南北統一

註)

① 開城地域의 平壤地域
보다 消費生活水準의
向上에 對하 期待度가
높고,
② 平壤地域에서
自主獨立에 對하
期待度가 높고 對하

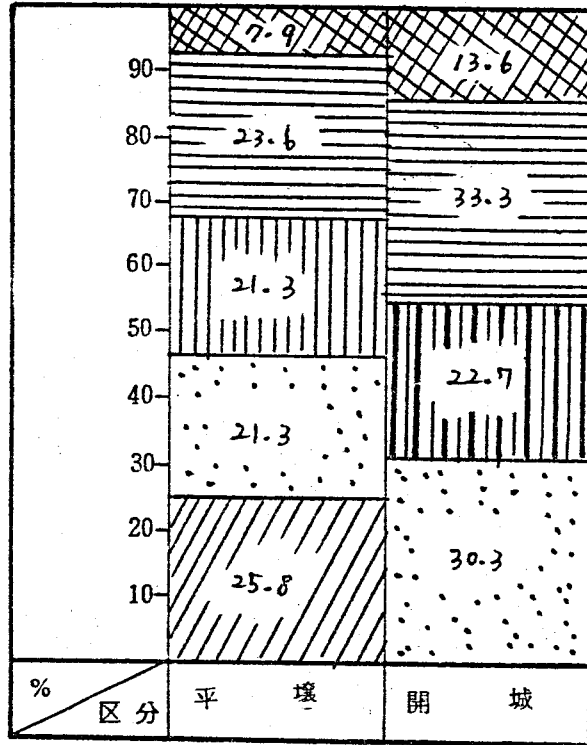
党干部对这些認識



-  社会規範的前衛
-  人民的指導者
-  社会是特权支配階級
-  人民对这些奉仕者
-  其他

註) 平壤且开城地域
 中 党幹部是
 特权支配階級且
 且之性向

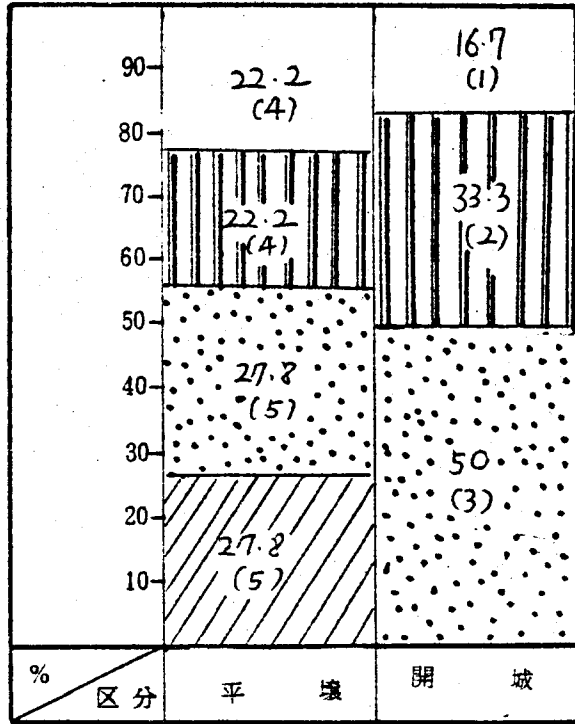
政治的不満より 懷疑動機




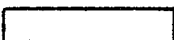


- 權力斗争或政治的不安
- 彈压或努力勤貢
- 組織生活
- 宣伝或實際の差
- 党幹部、指導層の対峙不満

註) ①平壤地域は開城地域
 に対し 指導層内
 權力斗争或政治的
 不安に敏感也。
 ②開城地域は北境端
 の宣伝或實際の
 対峙 懷疑を變へ
 傾向也。

政治的要求上達経路



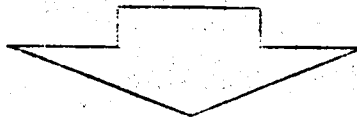
-  党幹部等に機関に陳情
-  公開会談の発表討論
-  指導者の現地視察
-  其他

註) 平壤は党幹部に陳情と公開会談の現地視察程度が、開城は公開会談の現地視察が並立する。

다. 民族意識, 統一觀

(1) 民族·帰屬觀念

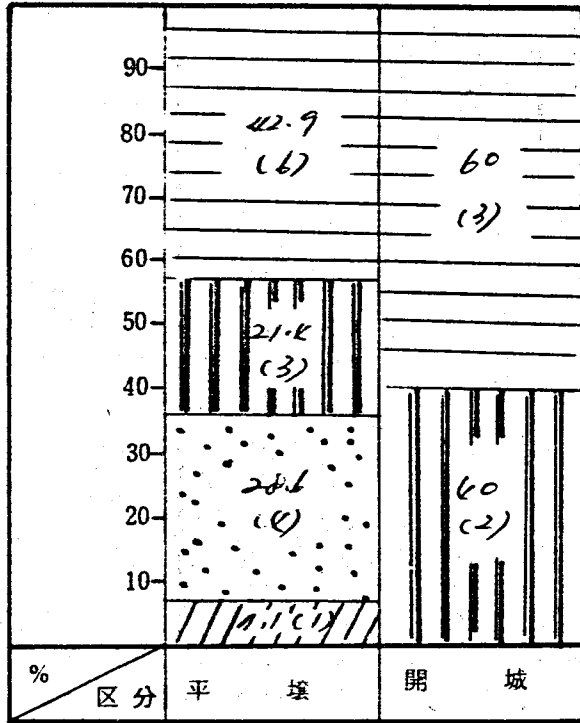
地域 分野	平壤	開城
愛着 및 帰屬感情	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祖國統一 → 祖國順 ○ 國際競技에서 같은 民族 聲援 (63.3%) 과 질투와 競争心 (15.8%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祖國統一 → 民族順 ○ 같은 民族으로 聲援 (40%), 질투와 競争心 (20%)
民族의 同 質性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 같은 言語, 歷史, 傳統 文化, 血緣이 絶대적 (83%) ○ 民族에 地主, 資本家도 包含 (44.4%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語, 歷史, 傳統, 血緣이 전부 (100%) ○ 民族보다 階級이 앞섬 (20%)



○ 平壤地域 : 國際競技에서 의 韓國選手에게 民族的 聲援을 보 내면서 韓國에 대해 文化 共同意識이 絶대적임 .

○ 開城地域 : 民族文化 共同意識이 강하면서 , 相對的으로 일부 에서는 階級性 강조

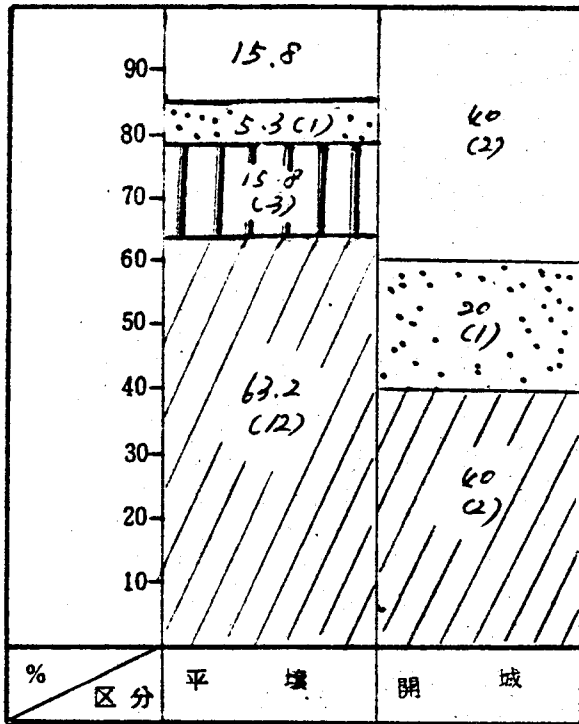
北韓居住時慶着用誌



- 인민공화국
- 사회주의의 相國
- 민족
- 조국통일

註: 평양보다 개성이 민족의 相國

韓國選手에 對한 態度 (國際競技에서)



聲援及 聲援出



嫉妬, 競争心



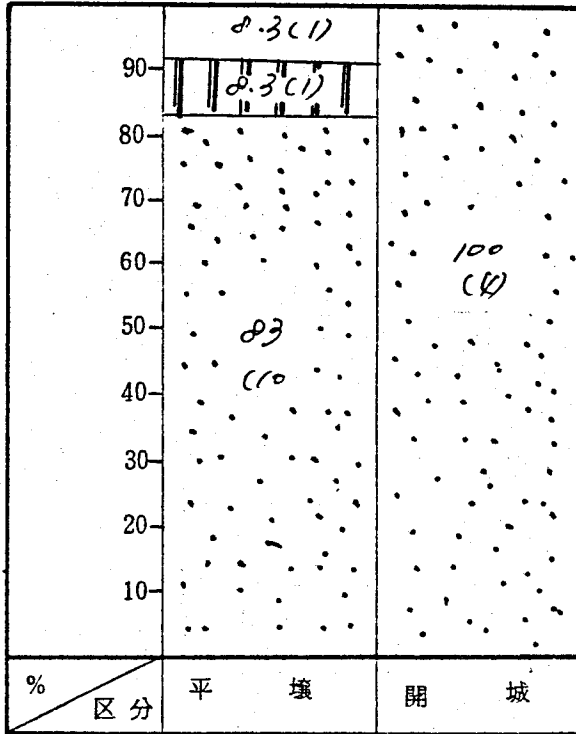
對日戰 將士, 日本選手 応援

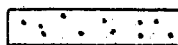
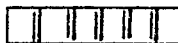
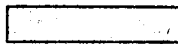


其他

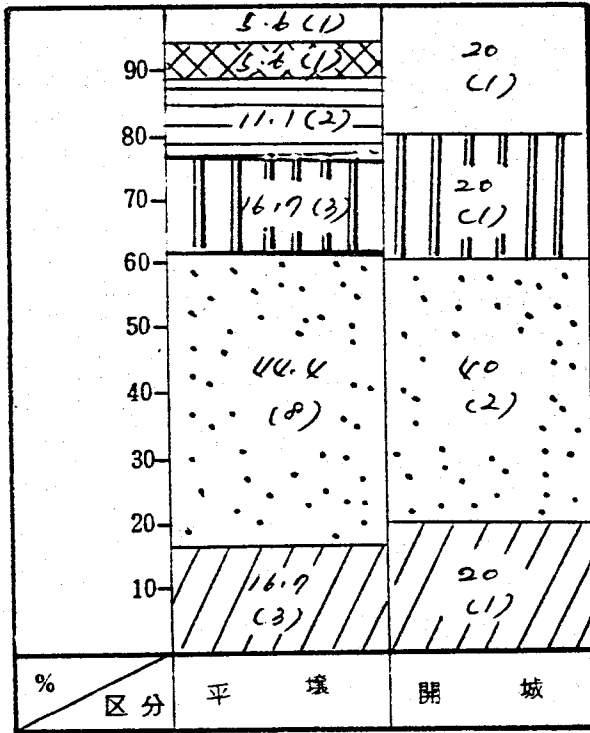
註) 개성보다 평양이 한 민족으로서의
聲援 및 競争心 多.




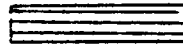

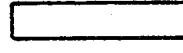
民族的同質性決定要素



-  言語, 歷史, 傳統, 文化, 血緣
-  政治制度(國家), 이데올로기
-  其他

民族主義과 共產主義에 對한 認識



-  妥協可能
-  地主, 資本家도 같은 民族임.
-  民族보다 階級이 앞섬.
-  民族主義는 브르주아의 계급思想.
-  共產主義는 세계적, 民族主義는 制限的이어 一時的
-  其他

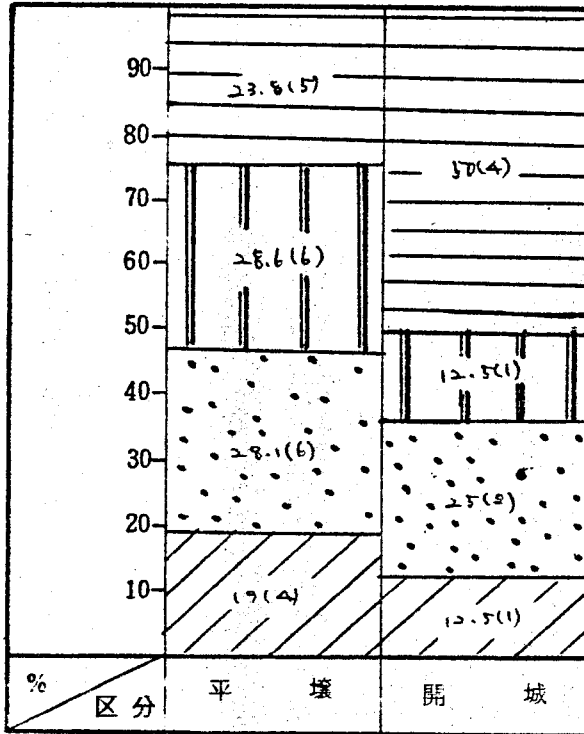
(2). 統一觀




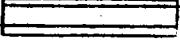
地域 分野	平 壤	開 城
對南觀	○ 韓國의 強點은 美國의 支 援 (28.6%)	○ 韓國의 強點은 經濟成長 (50%)
統一觀	○ 統一의 必要性은 自主獨 立 國家, 民族의 繁榮이 위주 (73.9%) ○ 接近方法으로써 戰爭不可 避論도 있음 (20.8%) ○ 北韓의 統一政策에 對한 理解는 美軍撤収와 南北 協商 (53.8%) ○ 韓國統一方案은 宣傳的 (15.4%), 北侵為主 (15.4%), 美帝의 術策 (15.4%) 等 ○ 統一의 展望은 언젠가 實 현 (56.3%)	○ 統一의 必要性은 民族團 結, 繁榮과 離散家族의 再結合 (91.7%) ○ 段階的, 漸次的 接近위주 (44.4%) ○ 들어본적 없음이 絶對 的 (50%) ○ 날이 갈수록 어리워짐 (28.6%)



- 平壤地域 : 統一을 위해서는 戰爭不可避論도 抬頭하고 있음.
- 開城地域 : 統一에 앞서 離散家族 再結合을 強調

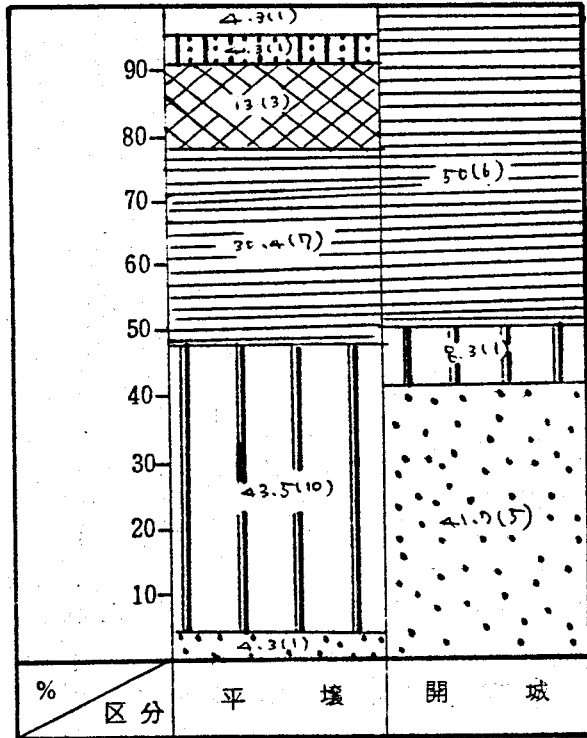
韓國之強矣



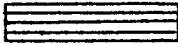





-  民主政治
-  反共意識
-  美國之支援
-  經濟成長

註) 經濟成長, 反共意識之強矣
平壤, 開城 共計 認識

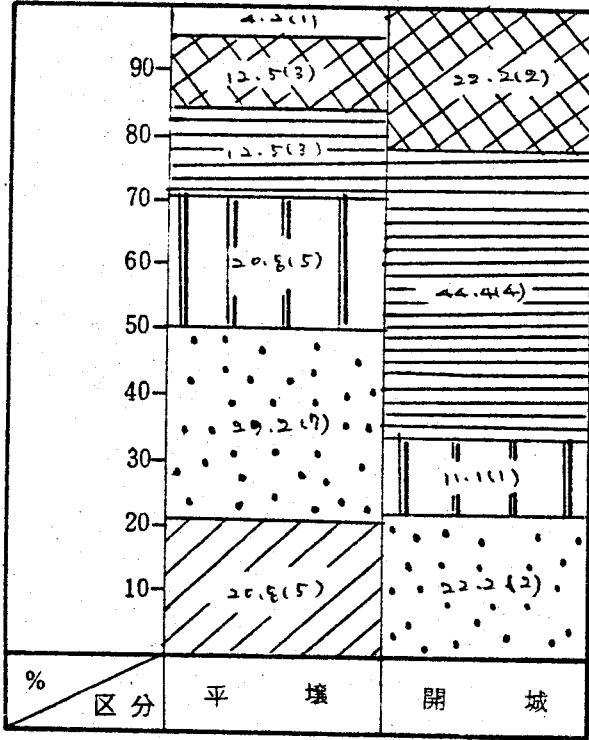
統一之 必要性理由

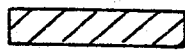
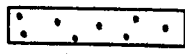

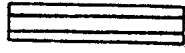

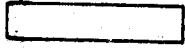


-  难散家族之再結合
-  自主独立
-  民族的 团结 繁荣
-  悠久之 民族史 正統性 確保
-  战争 不满 解消
-  其他

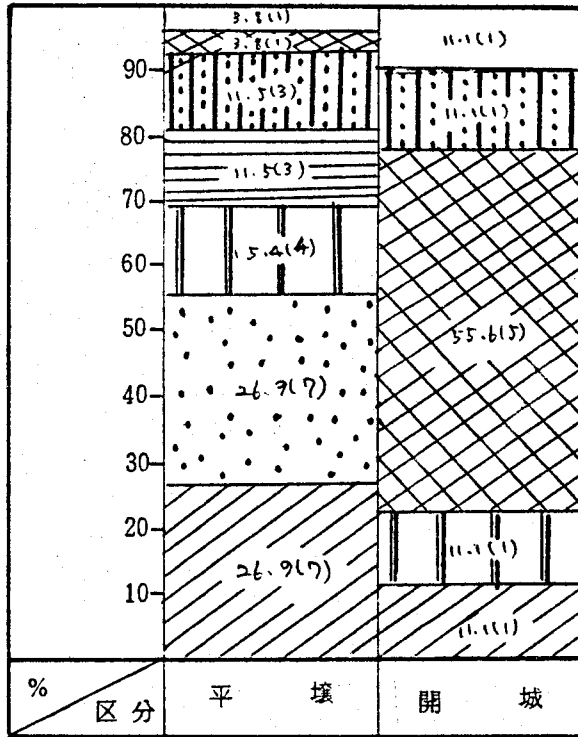
註) 開城之 难散家族之 再結合之 中心

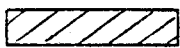
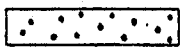

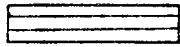


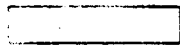
統一の方法



-  戰爭回避
-  緩慢的方法不可
-  어떠한 방법이라도 좋다
-  段階的、漸進的
-  各界各層の論議
-  其他

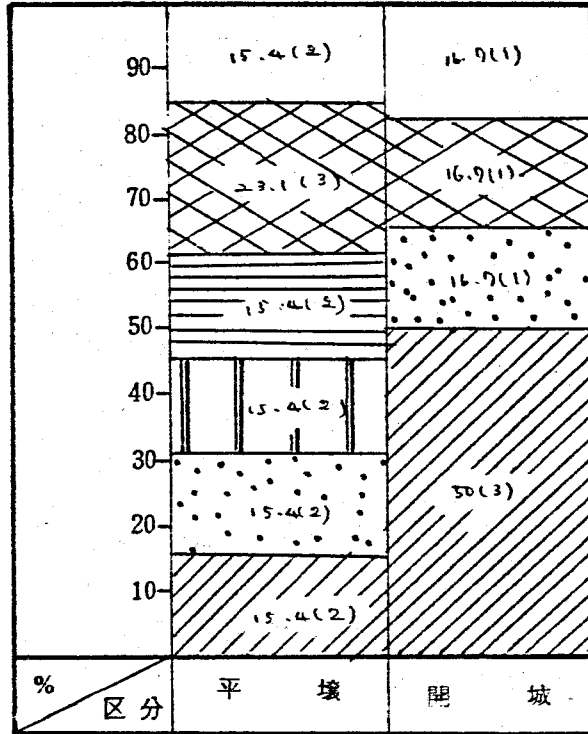
北韓對統一政策認識



-  美軍撤收
-  南北協商與對話
-  南北交流協力
-  離散家族再結合
-  實現性良之宣傳攻勢
-  其他
-  其他

註) 用城開之大部分之美軍撤收
 宣傳攻勢之且以平壤開之
 美軍撤收、協商對話政策之
 且之傾向之半數之達也

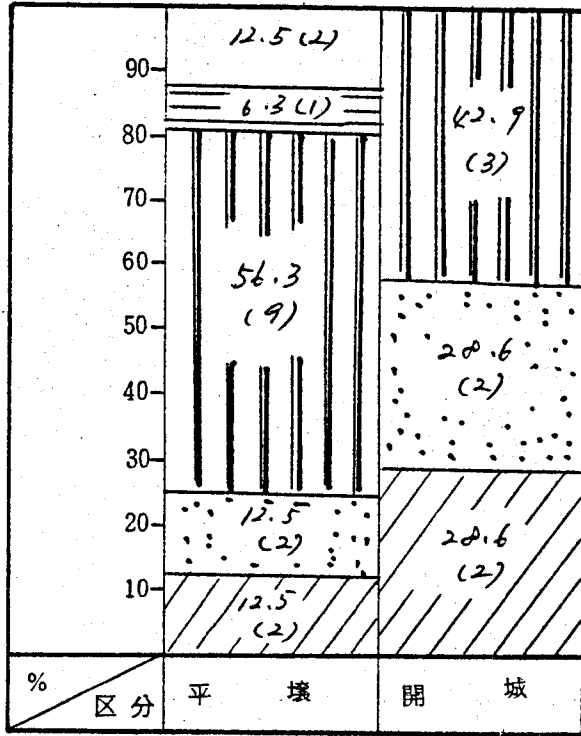
韓國의 統一政策認識


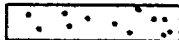

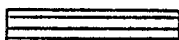
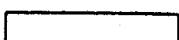


-  들어본적이 없다
-  北侵을 主로
-  豆依政勢 이다
-  美帝의 術策 이다
-  平和的 이다
-  其他

註) 北侵을 主로 하는 認識은 平壤이나 開城이 모두 先인 比率임.

統一에 대한 展望

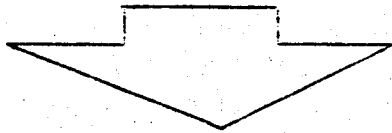


-  不可能
-  날이 갈수록 곤란
-  선견가능 실현가능
-  방법에 따라서는 당장 기대도 가능
-  기타.

註) 평壤, 開城 모두 不可能하다
 見解보다 인젠치 된다는 見解이다

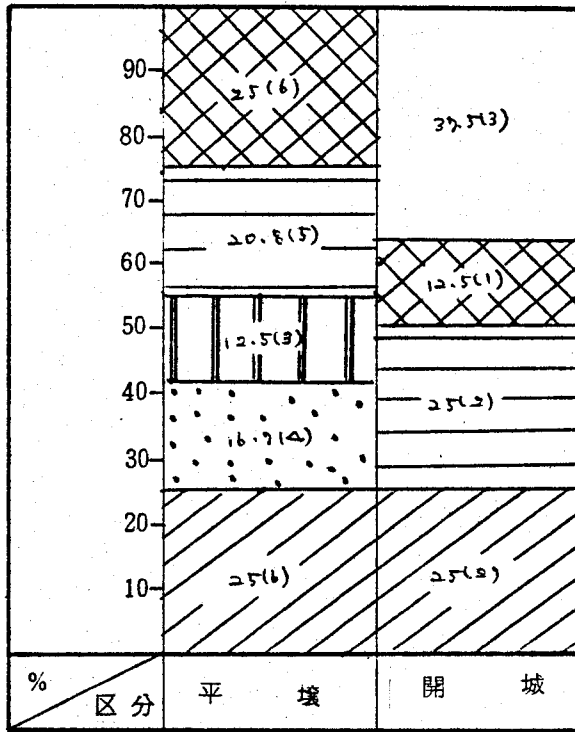
(3) 外交問題

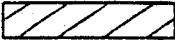

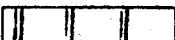
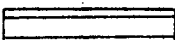

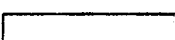
分野	地域	平 壤	開 城
外交政策		<ul style="list-style-type: none"> ○ 北韓外交政策은 지나치게 中·蘇에 依存的 (25%) ○ 친밀한 國家는 中共, 英國, 印度順 ○ 中·蘇紛爭은 社會主義國家 立場에서 이해해야 한다는 見解가 지배적 (35.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 되도록 많은 國家와의 關係 維持도 希望 (25%) ○ 中共, 蘇聯, 印度 順 ○ 中·蘇紛爭에 대해서는 無關心 (66.7%) 과 생 각해 보지 않음. (16.7%)



- 平壤地域 : 中·蘇에 依存的 傾向이며, 中·蘇紛爭에 利害 直結
- 開城地域 : 많은 國家와 關係維持를 希望하나 中·蘇紛爭에 무관심

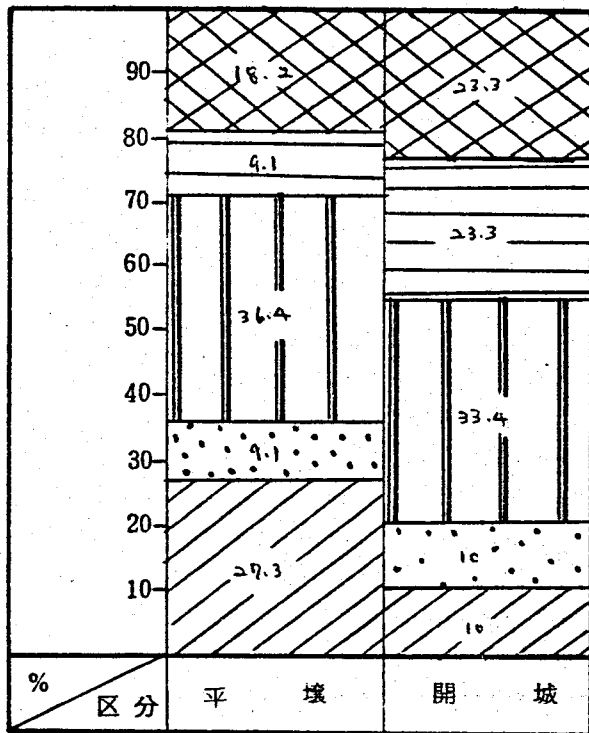
北韓 外交政策에 대한 理解

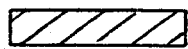


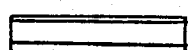



-  思想과 이데올로기가 다른 國家와는 親善될 수 없다.
-  思想과 이데올로기가 다르더라도 交流, 協力可能
-  韓國과 가까운 나라와는 相對할 必要없다.
-  외국으로 많은 國家와의 關係 必要
-  지나치게 中蘇에 依存的 이다.
-  其他

註). 平壤地域이 開城地域보다 中蘇, 依存的 見解

外國에 대한 親密度



-  英國
-  日本
-  中共
-  蘇聯
-  印度

라. 住民生活

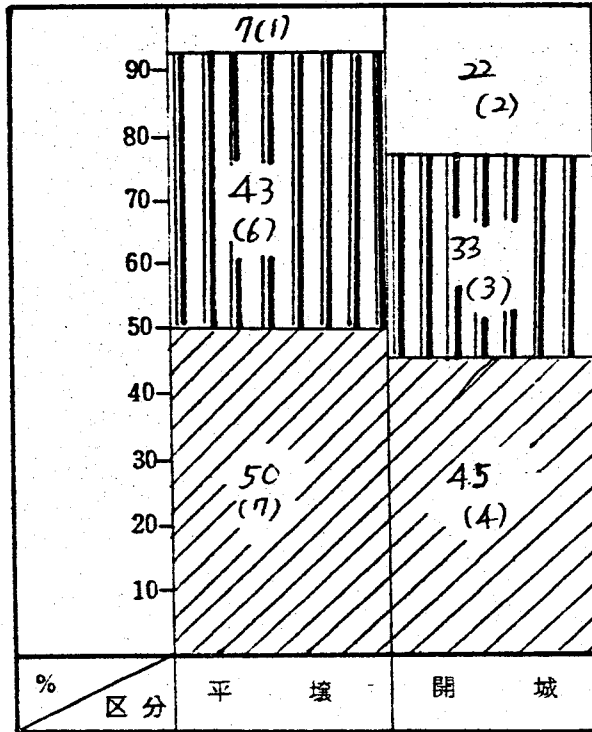
(1) 食生活

地域 分野	平壤	開城
食糧任意購買可能여부	○不可能과 可能的 比率이 비슷함 (1:1.16)	○平壤보다 任意購買可能 比率이 조금 높음 (不可能:可能=1:1.34)
肉類구입처	○国营 및 一般商店구입이 많음 (43%)	○平壤의 경우에 비해 配給率이 높으며 (平壤:14% 開城:22%) 消費組合 購入도 다수 있음 (11%)



- 平壤 開城地域 共に 食糧을 任意購入할수 있으며, 開城의 경우 그 比率이 다소 높은 것으로 나타남 (큰 差異는 없음)
- 肉類구입의 경우, 平壤에서는 国营 및 一般商店에서, 開城에서는 配給 및 消費組合 購入으로 充當
- 한편, 魚類 구입의 경우, 平壤에서는 주로 一般商店購入 및 配給으로 充當하는데 비해, 開城에서는 国营商店 및 消費組合에서 구입하는 것으로 나타남.

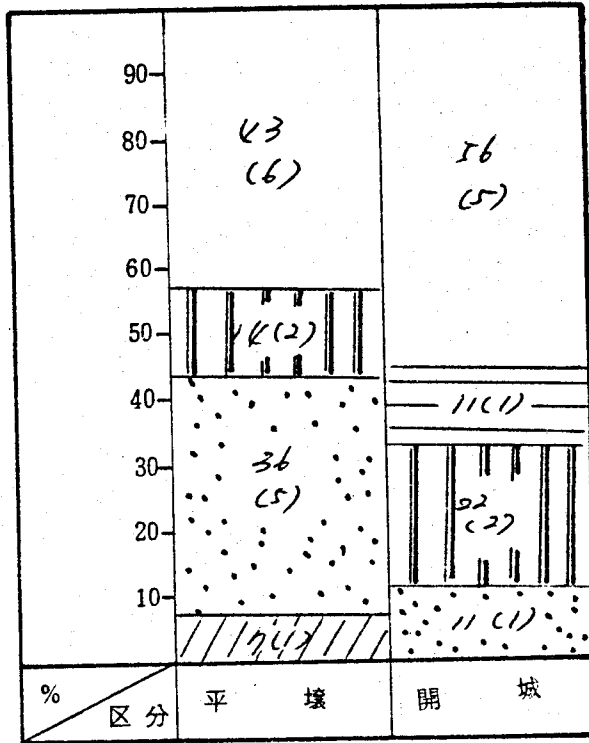
食糧任意購買可能換否


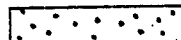

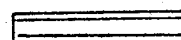



- 可能
- 不可能
- 無回答

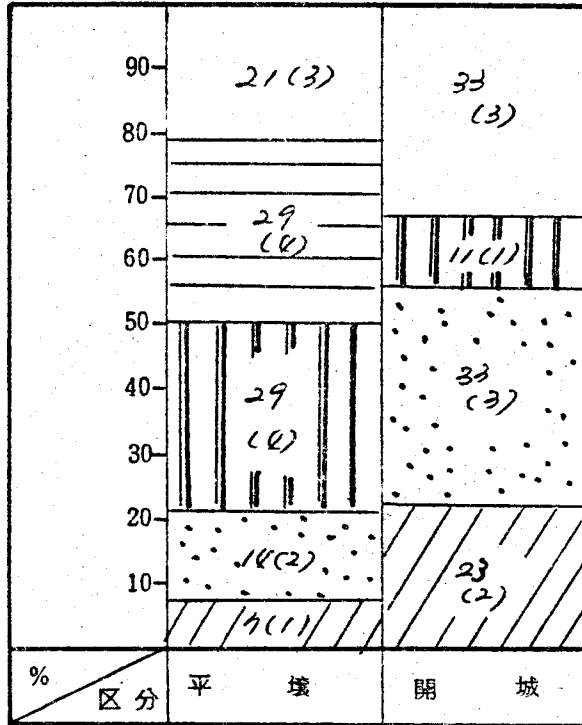
註) 他地域に比し 平壤、開城の食糧任意購買可能性の差


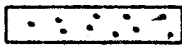

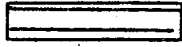
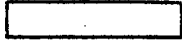
肉類 購入処



-  國産商店
-  一般商店・市場
-  配給
-  消費組合
-  其他

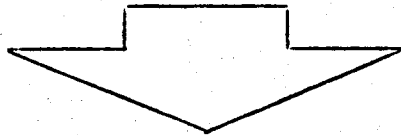
魚類 購入 処



-  國營商店
-  消費組合
-  配給
-  一般商店
-  其他

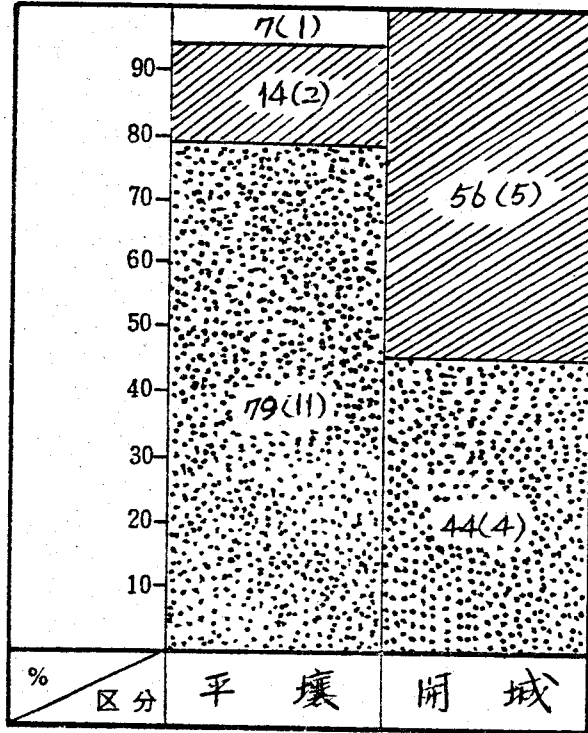
(2) 住生活




地域 分野	平 壤	開 城
家庭燃料	○ 주로 石炭 사용 (石炭 79%, 나무 : 14%)	○ 주로 나무 사용 (石灰 44%, 나무 56%)
○ 燃料購入方法	○ 集團供給에 依存 (個人購入 : 集團供給 1:2)	○ 平壤과 同一



○ 平壤地域에서 石炭이 주로 사용되는데 비해, 開城地域에서는 나무사용 比率이 높으며, 兩地域 共히 集團供給에 依存하고 있음.

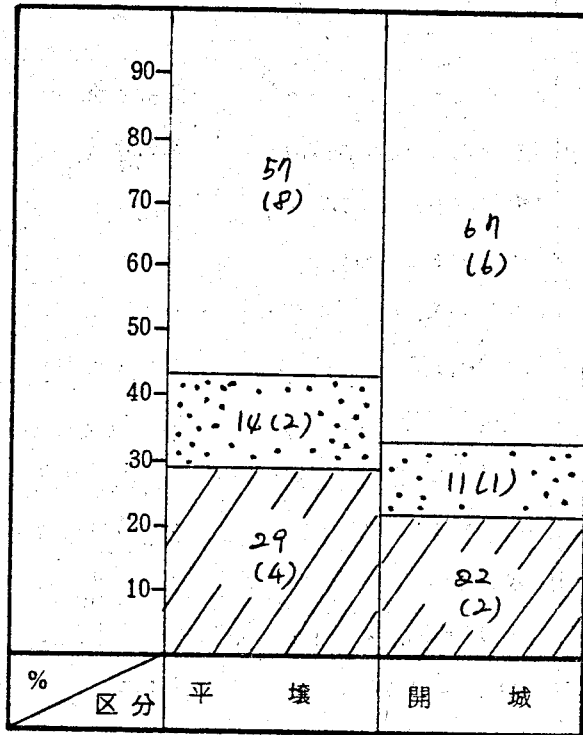
家庭燃料



-  : 石炭
-  : 木
-  : 其他(石油、電氣)

* 平壤地区 极少部分(7%)に 限制
石油、電氣使用

선진 購入 方法

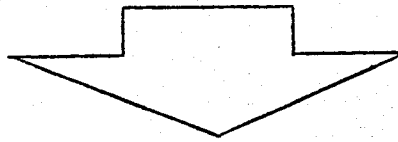


- 集團供給
- 個人購買
- 무응답

(3) 衣 生 活

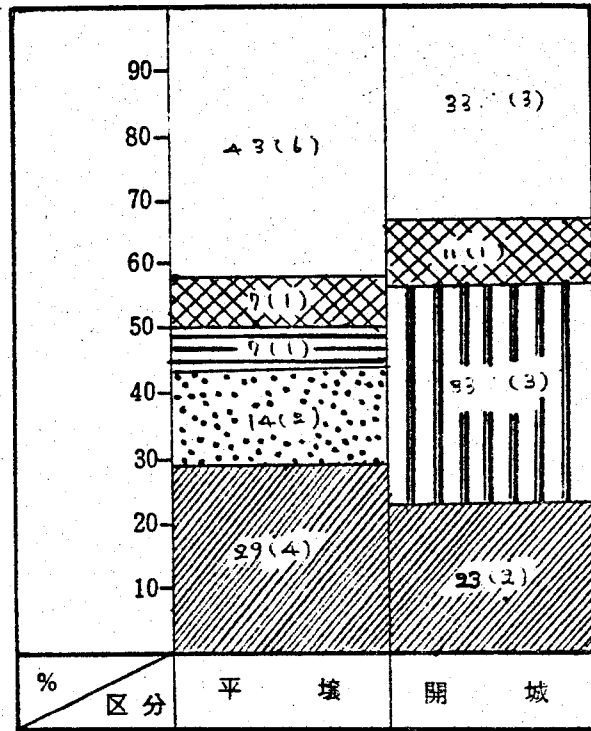
地域 分野	平 壤	開 城
衣服의 着用 期間	○ 1 - 2 年 정도 착용이 가능한 水準級衣服의 着用률이 他地域보다 다소 높음 (43%)	○ 平壤보다 水準級衣服의 着用률이 낮음 (29%)
衣服 着用 性向	○ 衣服供給의 不足으로 마음에 드는 衣服을 입을수 없으며 (43%) 일과중엔 주로 유니폼 着用 (29%)	○ 역시 衣服供給의 不足으 로 衣服選擇의 자유가 없으며 (44%) 일과중 유니폼 着用률이 平壤보 다 훨씬 낮음 (12%)
衣服選擇에의 關心度 (女性)	다소 신경을 쓰는 편 임 (44%)	○ 별로 신경을 쓰지않거나 전혀 신경을 쓰지 않는 것으로 나타남 (44%)
衣服選擇에의 關心度 (靑少 年)	○ 신경을 쓰지 않으나, 開城地域 靑少年보다는 다소 신경을 쓰는 편임 (신경을 씬 : 쓰지않음 = 10:17)	○ 신경을 쓰지 않음 (신경을 씬 : 쓰지않음 = 10:20)







分野 \ 地域	平壤	開城
衣服劃一化의 原因	○ 供給衣服量 및 種類의 不足에 根本原因이 있으나 (57%), 配給으로 選擇이 不可能한 경우도 있음 (7%)	○ 供給衣服量 및 種類의 不足에 根本原因이 있음 (44%)



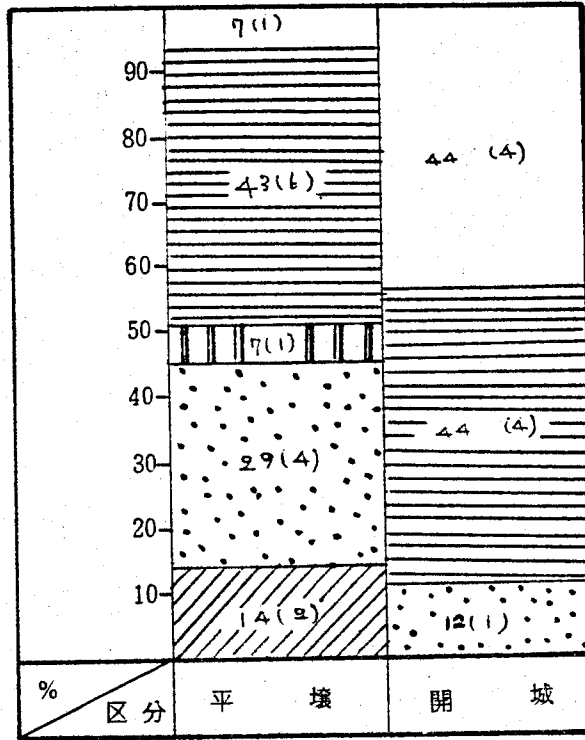
- 衣服의 질이 낮으나, 平壤地域의 경우 다소 좋은 品質의 衣服着用이 可能
- 衣服供給의 不足으로 衣服選擇의 自由가 없을 뿐 아니라, 關心도 쏟지 않고 있으나, 平壤地域에서는 다소 신경을 쓰는 것으로 보임.

衣服着用期間



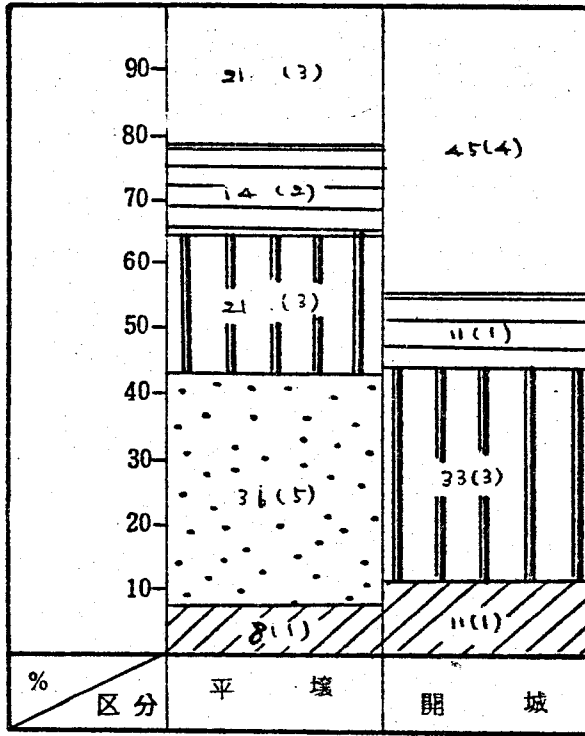
-  2年着用
-  1年着用
-  6個月着用
-  4個月着用
-  3個月着用
-  無衣




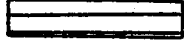

衣服着用 性向



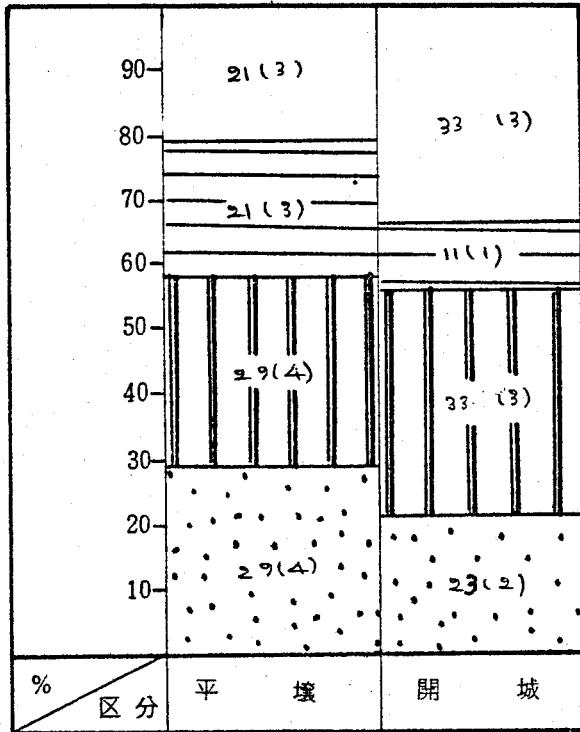
- 日課後 任意着用
- 余り着
- 恒常 任意着用
- 衣服の種類が数に不足に無関心
- 無回答


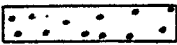

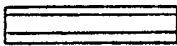
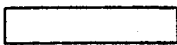
衣服에 대한 関心度 (女性)



-  대략히 神經을 쓴다.
-  약간 " "
-  별로 神經을 쓴다.
-  전혀 " "
-  無回答

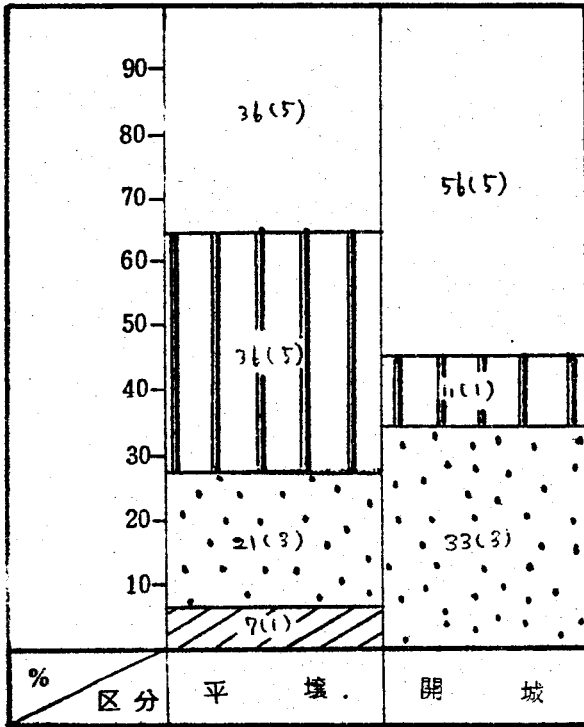
衣服에 대한 関心度(靑少年)




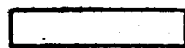


-  개당히 神經을 쓴다
-  약간 " "
-  별로 神經을 안쓴다
-  전혀 神經을 안쓴다.
-  無回答

註, 農村보다 都市靑少年들이 衣服選擇에 関心を 쓰고 있으며 用城의 경우 一般都市程度의 水準이나 平壤은 関心度가 다소 높은 편임

衣服圖一化斗原因



-  配給不足 選擇不可能
-  款式不足
-  生産種類外 資料不足
-  無回答

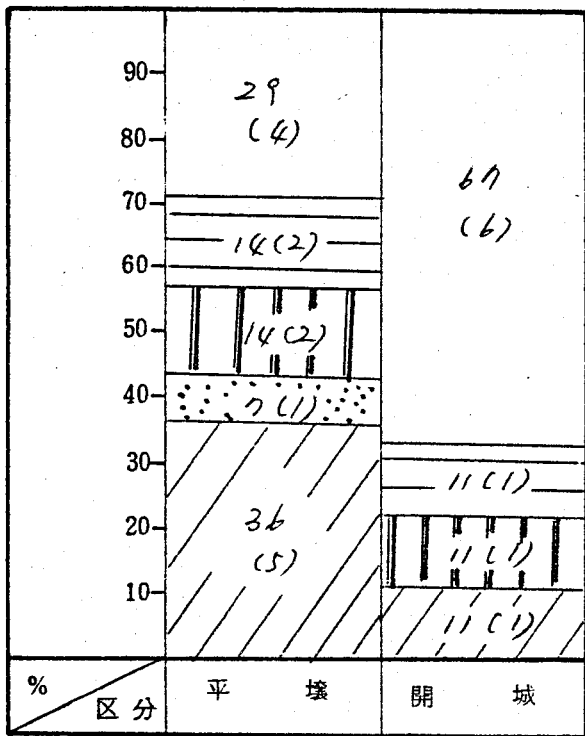
(4) 文化生活

地域 分野	平壤	開城
재봉틀 보급	○ 10世帯에 1台정도 保有	○ 平壤地域보다 普及率이 훨씬 낮게 나타남
전기밥솥 보급	○ 거의 보급되지 않음	○ 보급되지 않고 있으나 (10世帯에 1台정도 보급되고 있다는 応答도 12%나 됨) — 平壤보다 보급률이 높은 것으로 나타남
전화기 보급	○ 高級幹部 (政務員 副部 長級 이상)에 보급되어 있으나 下級幹部 (3級 企業所 管理長級)도 극 소수 설치하고 있는것으 로 나타남 (7%)	○ 高級幹部 (政務員 副部 長級 이상)에 보급
냉장고 보급	○ 高級幹部層에서나 보유 하고 있으나 一般人도 극히 희귀하게 보유	○ 高級幹部層에서나 보유



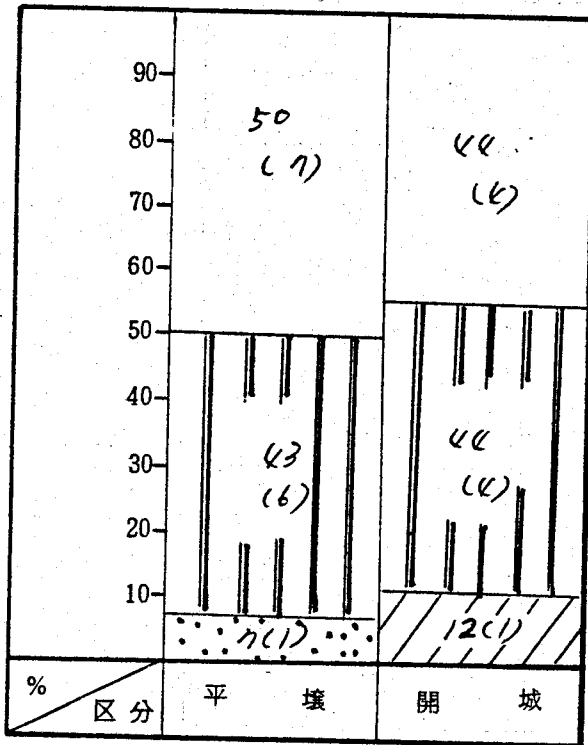
○ 平壤地域이 文化生活用品의 보급률이 높음.

裁縫를 普及



- 10세대에 1대 保有
- 20대에 1대 "
- 其他 (50세대, 100세대에 1대)
- 없다.
- 無回答

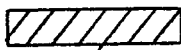
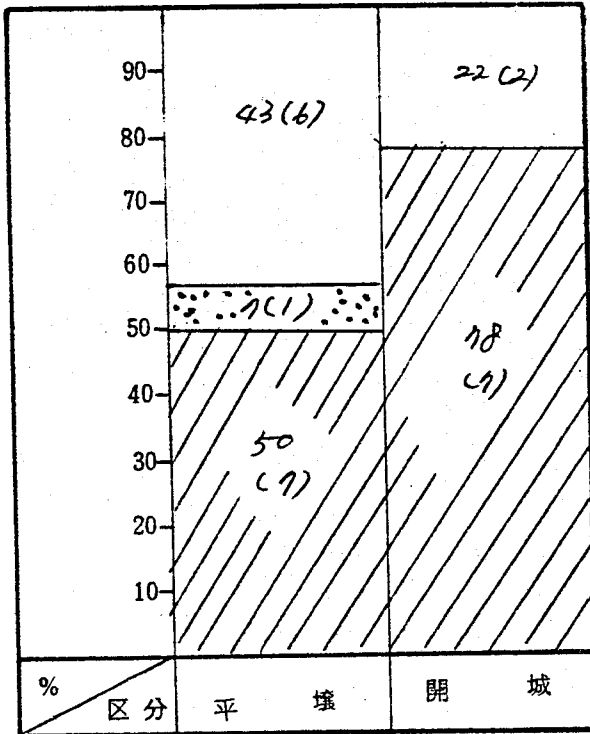
電氣 普及 率



- 10세대에 1대 보유
- 촌마을에 1대 "
- 없다
- 無回答

※ 電氣 普及 率은 '70年 以後 供給 되었음.

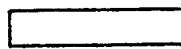
電話機普及



政務員 副部長級以上

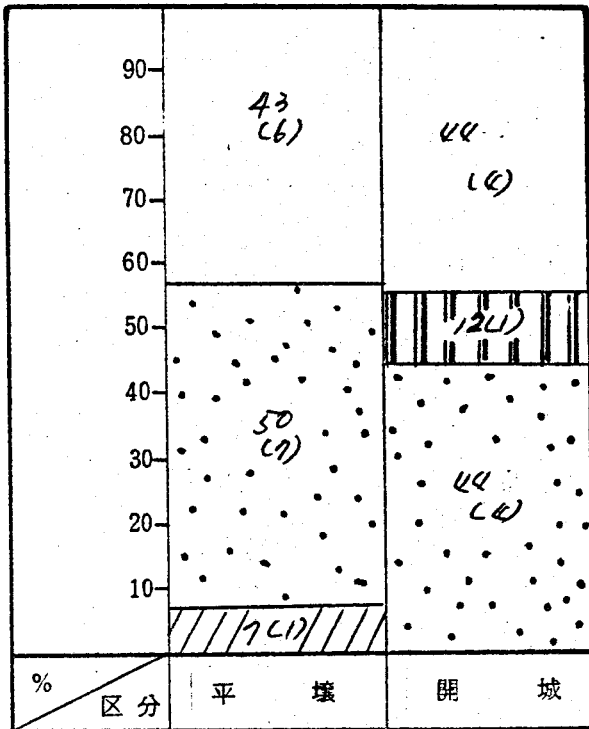





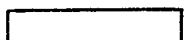
3級企業所 管理長級



無回答

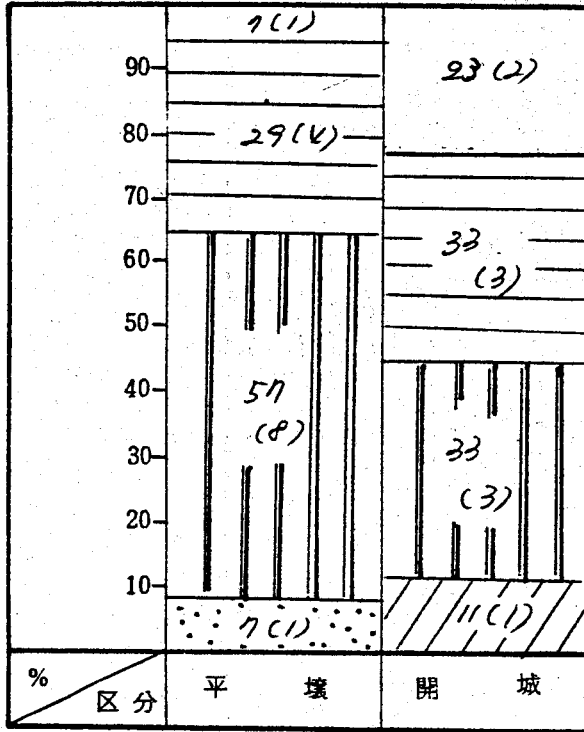
冷藏庫普及




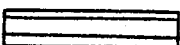



-  冷蔵庫 1台以上
-  冷蔵庫 1台
-  其他 (道級院責任班等, 道人民委員長級以上持有)
-  无冷蔵庫

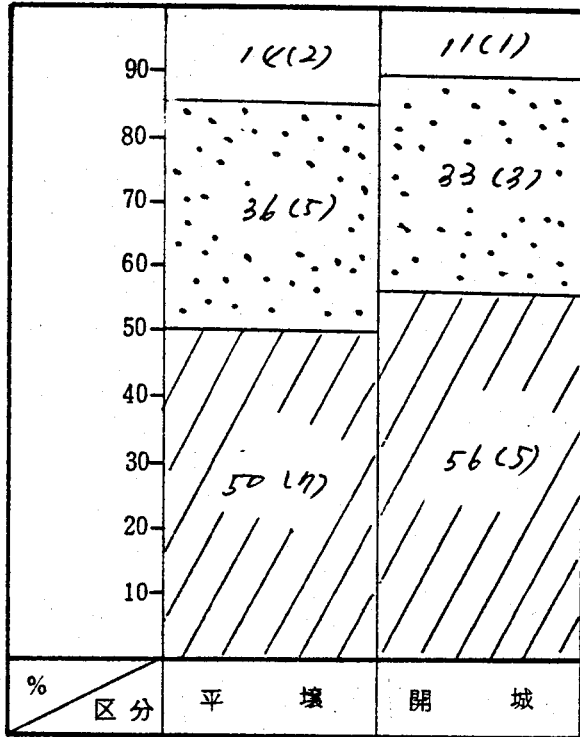
※ '70年以後供給

손목時計 所持



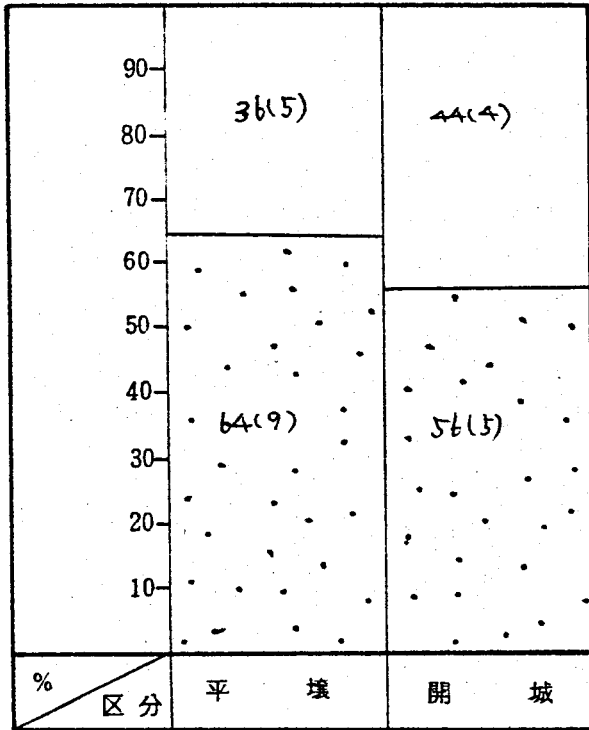
-  大部分所持
-  他地域보다 많이所持
-  드물게所持
-  大部分不所持
-  無回答

字真棧所持



- 드물게 (幹部級) 所持
- 不所持
- 無志答

電氣洗濯機普及



한가정에 1台保有

없다

없다

註, 洗濯機는 全社 普及되리 라고
있는것으로 나타남.

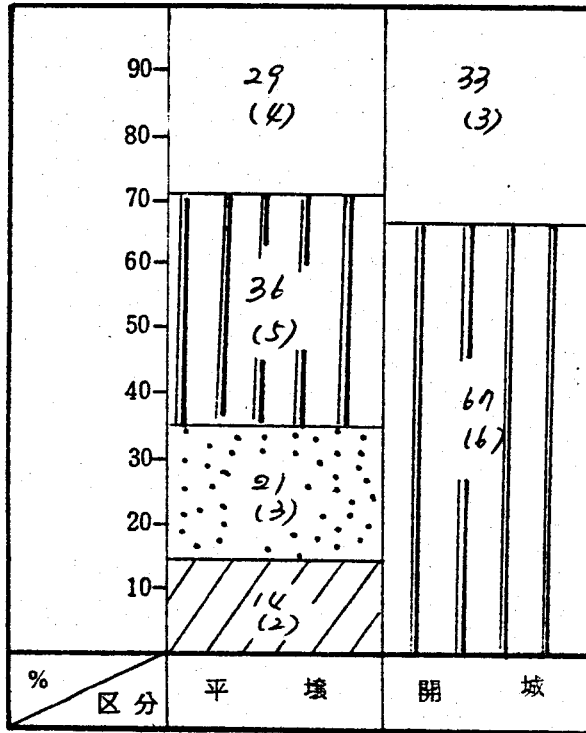
(5) 所得・消費生活

地域 分野	平壤	開城
本人 및 家族의 副收入 存在与否	○ 他地域에 비해 副收入의 存在 比率이 높은 편임 (35%)	○ 副收入이 별로 없는 것으로 나타남

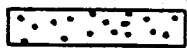


○ 副收入에 대해 平壤은 비교적 높은 比率로 存在하나 開城은 전혀 없는 것으로 나타남

本人 및 家族의 副收入 存在与否



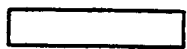
있다



家族一部는 있다



없다



無回答

(6) 貯蓄生活

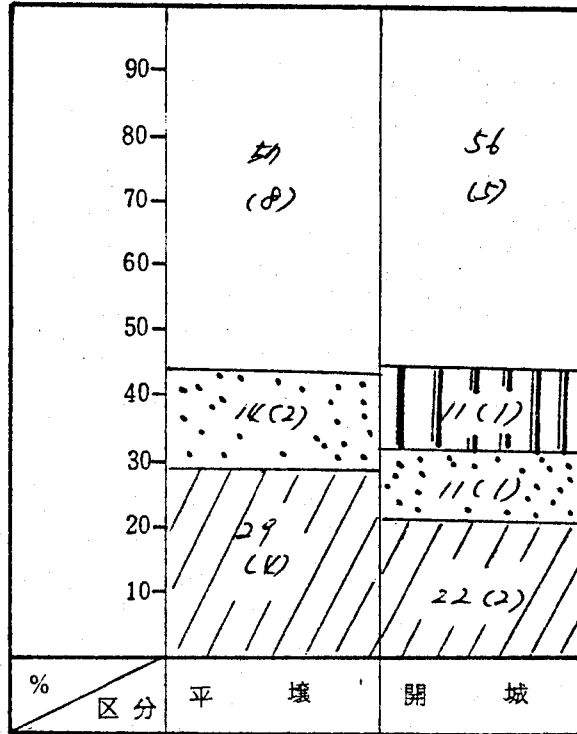
地域 分野	平 壤	開 城
貯蓄의 種類	○ 保險이 전혀 없는 것으로 나타남	○ 貯蓄種類的 比率面에서 預金이 많고 (22%) 다음이 積金, 保險 順으로 (각 11%) 된것은 다른 都市와 비슷함.
貯蓄의 自由 引出 可能性	○ 引出自由에 대해 比較的 높은 比率로 可能함을 表示 (5%)	○ 平壤이나 다른 都市에 비해 可能하다는 比率이 낮음 (22%)
貯蓄 引出후 優先的 使用處	○ 家具購入 比率이 높은 것은 共通 ○ 平壤의 경우 教育費 比率이 낮은 것이 特徵 - 無償義務教育의 不均等한 配慮를 反映	○ 教育費 比率이 比較的 높은 것이 特徵 (22%)

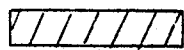


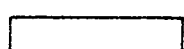
銀行 또는 職 場에서의 現金 貸付 可能性	○現金貸付의 存在比率이 比較的 높음(2%)	○現金貸付가 전혀 없는 것으로 나타남
個人間 金錢去來	○他地域보다 높은 比率 로 存在를 認定(57%)	○他地域보다 現金貸與比 率이 낮은것이 特徵



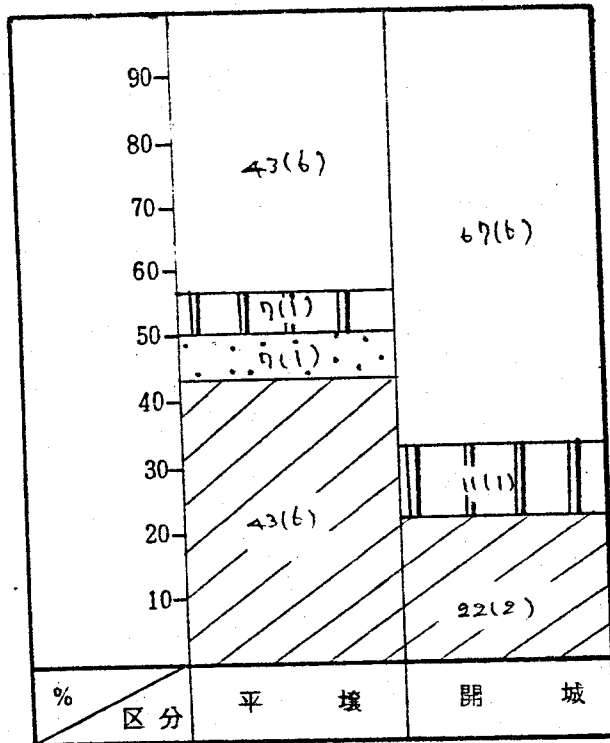
- 貯蓄의 種類面에서 共通的으로 預金이 많고 다음이 積金, 保險 順임.
- 貯蓄引出의 自由는 平壤이 開城보다 높으며, 貯蓄引出후 使用처의 優先順位에서 共通的으로 家具購入 比率이 높으나 教育費 比率에서 平壤이 낮고, 開城이 높은것이 特徵임.
- 銀行 또는 職場에서의 現金貸付와 個人間 金錢去來는, 平壤은 비교적 높고, 開城은 없거나 매우 낮게 나타남

貯蓄の種類



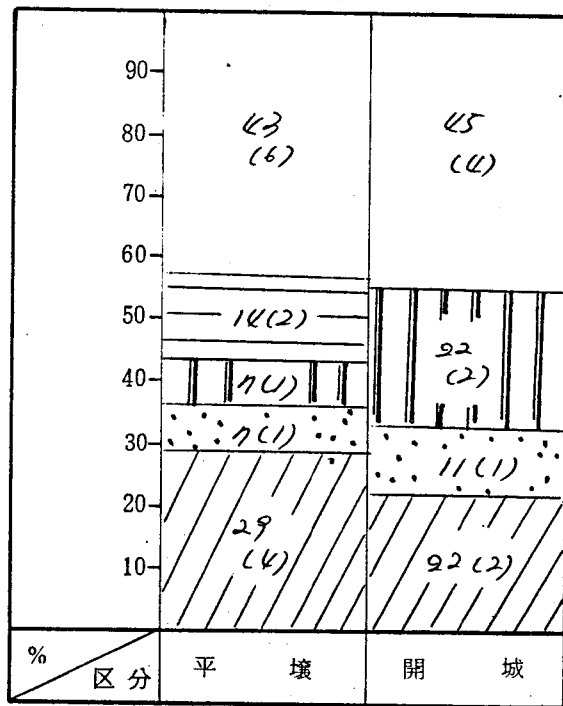
-  現金
-  積金
-  保險
-  未詳

貯蓄と自由引出可能性



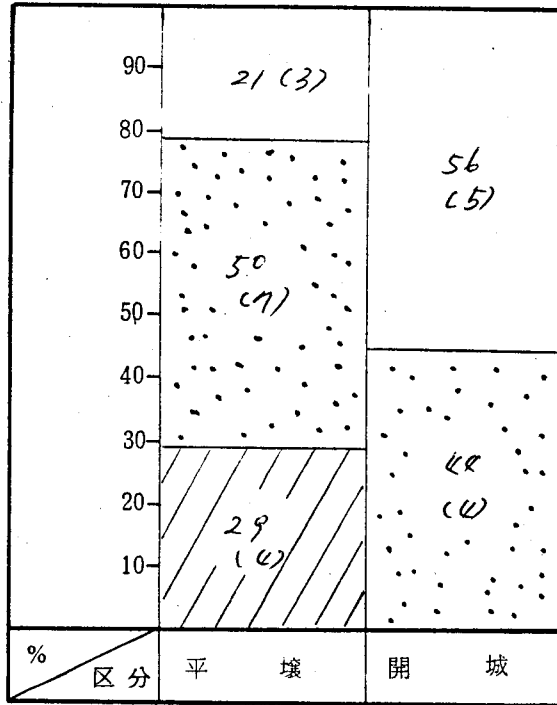
- 可能
- 一部可能
- 不可能
- 無回答



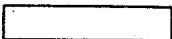
貯蓄引來後 優先的 使用処



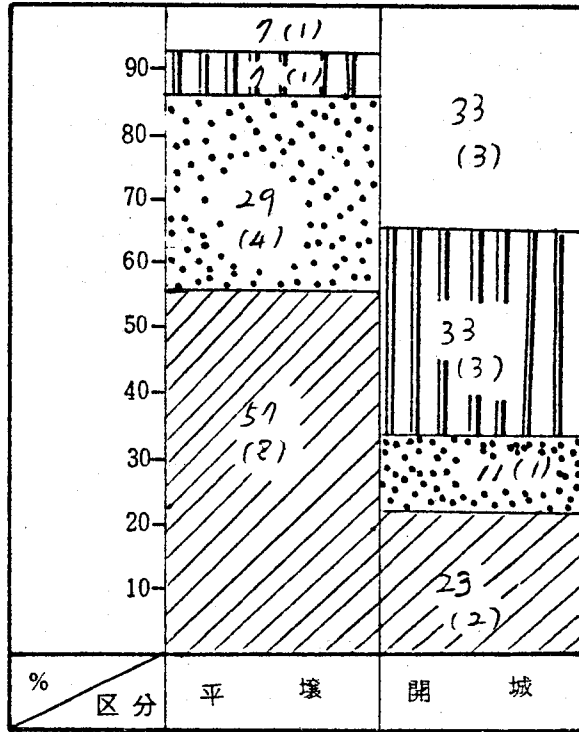
- 家具購入
- 子女結婚費用
- 子女教育費
- 其他
- 無回答




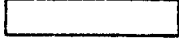
個人在職場에서의 現金貸付可能性



-  可能
-  不可能
-  無應答

個人向 金錢去來



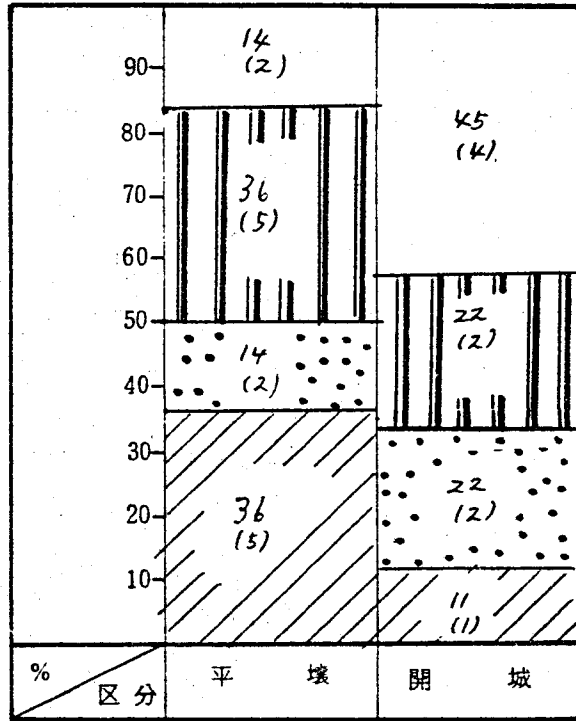
-  外斗
-  必要性或否
-  不可能
-  無回答

나. 財 産

(1) 私有財産

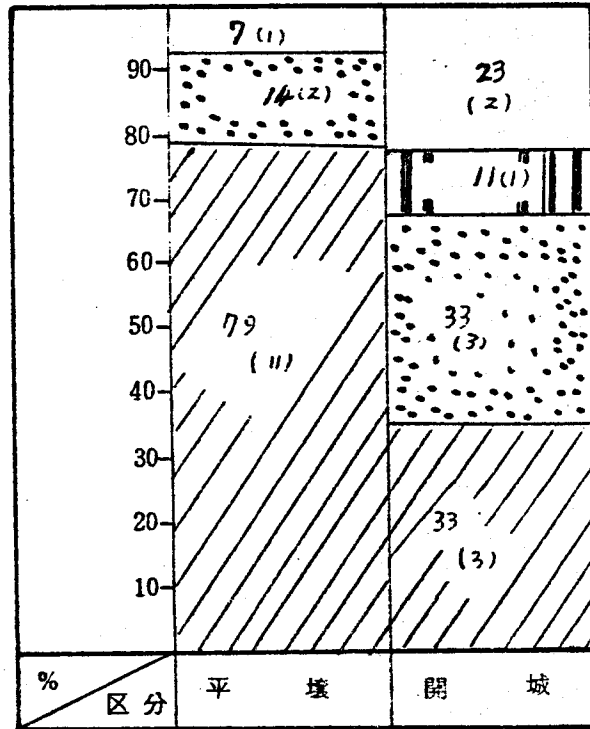
分野	平 壤	開 城
私有財産獲得源	○ 平壤地域이 物資去來가 活潑하고 統制가 比較的 弛한것으로 나타남	○ 平壤에 比해 物資去來가 弛한 活潑하고 統制가 弛한 것으로 나타남
私有財産의 任意処分 可能性	○ 約 8 割이 可能한것으로 나타남 - 私有財産所有의 幅이 比較的 넓은 것으로 推定	○ 不可能의 比率이 매우 높게 나타남 (33%)
私有權 不認定에 대한 感情	○ “當然한것”으로 여기는 比率이 29%인데 비해 “一部認定希望” 比率은 50%나 되며 “全面認定 希望”도 14%인	○ “一部認定 希望” 比率은 11% “全面認定 希望” 比率은 22%로 나타남 - 無回答이 45%나 되고 있어 無關心한 態度와 統制가 弛한것으로 보임


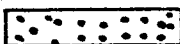

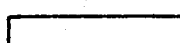
私有財産 取得源



- 購買
- 配給
- 其他 (相続, 交換, 贈与)
- 無回答

私有財産 任意処分 可能性

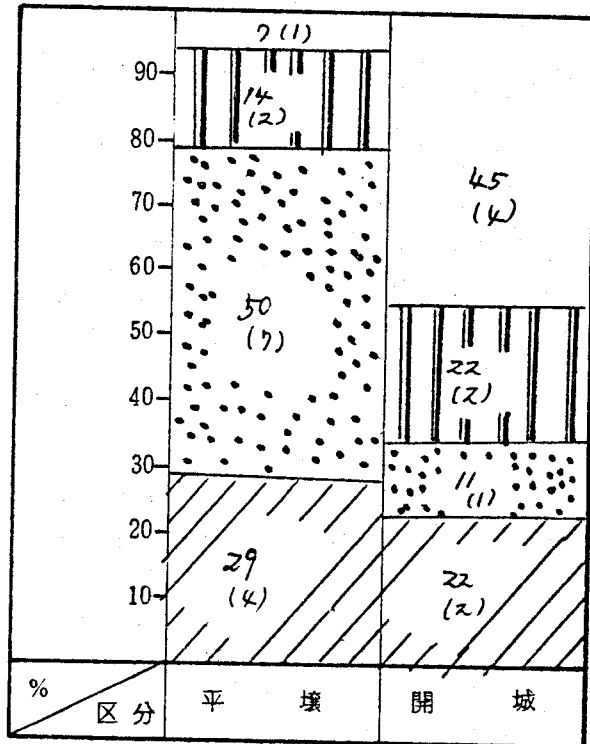




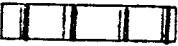

-  可能
-  不可能
-  暗去來
-  無回答

註。私有物処分は 國家收買機關を通過可能視
 斗り 暗去來の存在を表現する也。

※ 私有財産이란 所持の程度に 不過尋

私有权不認定向对扩感情

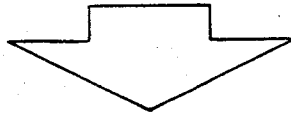


-  当然斗斗
-  一部扩大希望
-  全面扩大希望
-  無回答

註. 私有权 認定向 对扩 諦念 傾向

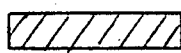
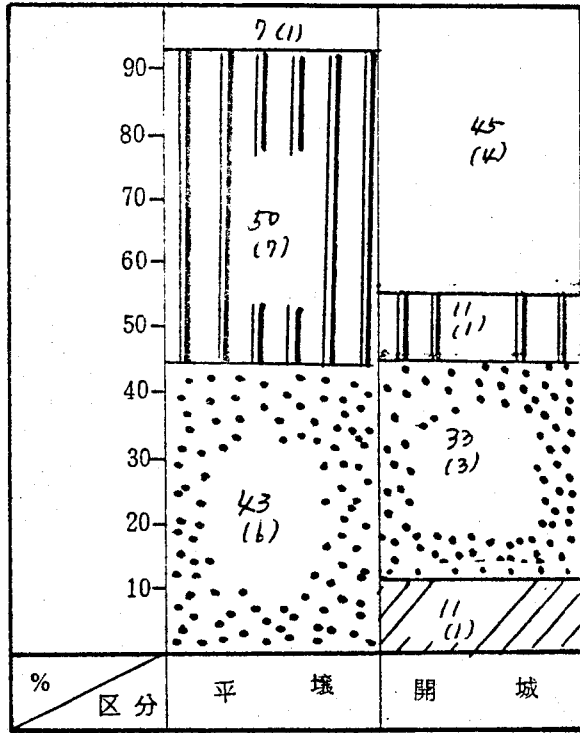
(2) 国公有 財産

地域 分野	平 壤	開 城
国公有財産에 대한 関心度	○ 自己財産과 동일시하는 비율은 전혀 없으며 所有觀念이 없거나 소 홀히 다루는 것이 대부분임 (93%)	○ 소홀히 대하는 것이 가장 높은 比率로 나 타남.

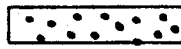


○ 國・公有財産을 소홀하게 다루는 것으로 나타남.

關於有財產者對於關心度



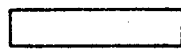
自己財產同一視



疎忽の對象



所有の對象觀念



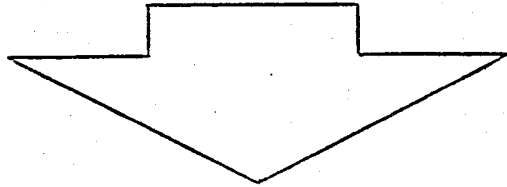
無回答

바. 生産活動

(1) 生産計劃 및 遂行

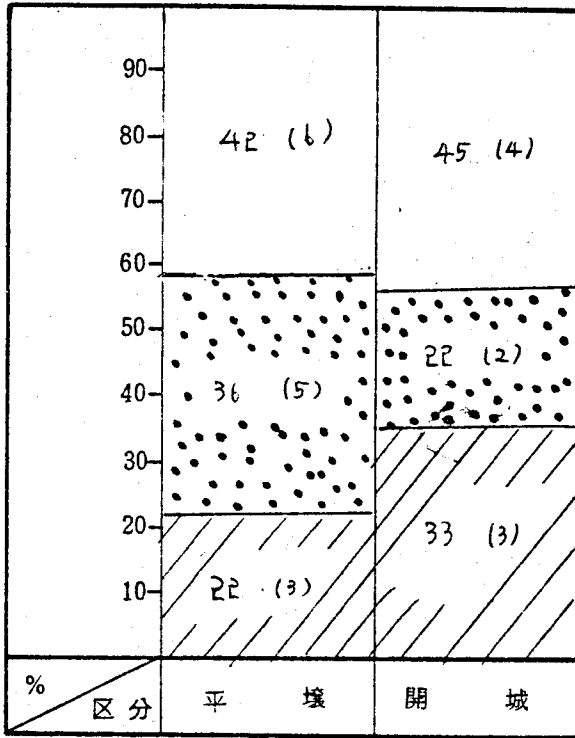
地域 分野	平 壤	開 城
生産目標 決定方式	○ 該當企業所의 意見反映 比率이 比較的 높은 편 (36%)이며 上級 機關 의 下達은 22%임 - 該當企業所의 任意決 定은 全無함.	○ 上級機關의 一方的 下達이 높은편 (33%) 이며 該當企業所의 意見反映 比率은 22% 임 - 該當企業所의 任意 決定은 全無함
工場運營 및 決算分配에 대한 公告 與否	○ "없다"와 無回答이 93%로서 높은 無關心度 反映	○ 平壤과 큰 差異없음
計劃目標 未達時 措置	○ 課外勞動으로 達成하고 免除는 全혀없는것이 一般的 現象	○ 平壤과 同一
生産技術向 上을 위한 措置	○ 自体教育이 主가 되고 있 으며 移牒教育도 併行 (36%:14%)	○ 自体教育 (56%)外에 移牒教育은 전혀없는것 으로 나타남
生産裝備의 供給	○ 上級機關에서 定期的으로 供給하는 比率이 比較的 높게 (29%) 나타남	○ 必要時 上級機關에 要 請하는 比率이 높은 편임 (33%)

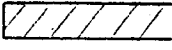
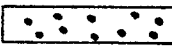


<p>報酬決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職責 다음으로 勞動能力이 優先的으로 認定되고 있음이 一般的임 ○ 党性은 전혀 考慮하지 않는것이 特徵 (党性은 補職決定時 考慮要因이므로 報酬決定에는 影響이 없는것으로 보임) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平壤과 同一
<p>有功農民, 勞動者에 대한 賞與金 存在与否</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ "있다"와 "없다"比率이 같은 (14명중각3명) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 賞與金이 전혀 없는것으로 나타남
<p>不誠實 勞動者에 대한 經濟的 制裁</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減俸処分이 나타나지 않고 있으며 配給減量은 매우 적은 比率로 나타남 (14명중1명) ○ 批判등 精神的 制裁가 많은 것이 特徵임 (14명중6명) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減俸, 配給減量, 批判등이 같은 比率로 나타남 (9명중 각2명)



- 生産目標量 決定方式에서 該當企業所의 任意決定은 平壤, 開城 모두 없으나 該當企業所 意見反映 比率은 平壤이 높게 나타남
- 工場運營, 決算分配公告에 대해 共通的으로 関心이 없고 極少数 (7-10%)만이 存在를 認定함.
- 生産目標量 未達時에는 共通的으로 課外勞動으로 達成하고 있음.
(免除는 全無함)
- 生産技術 向上을 위해서는 主로 自体教育에 依存하고 있으며 他機關 移牒教育도 併行하는 것으로 나타남
- 職場 裝備供給方式에서 平壤은 定期的으로 上級機關이 供給해주는 比率이 높은 反面, 開城은 必要時에 上級機關에 要請하여 供給 받는 比率이 높음.

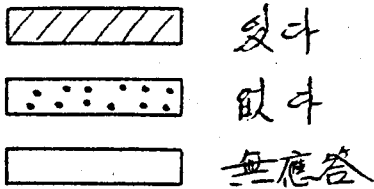
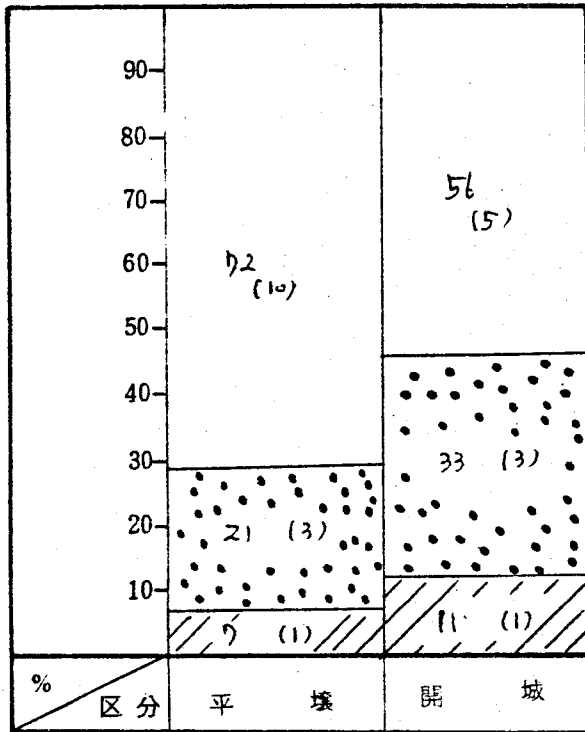
生産目標量 決定方式



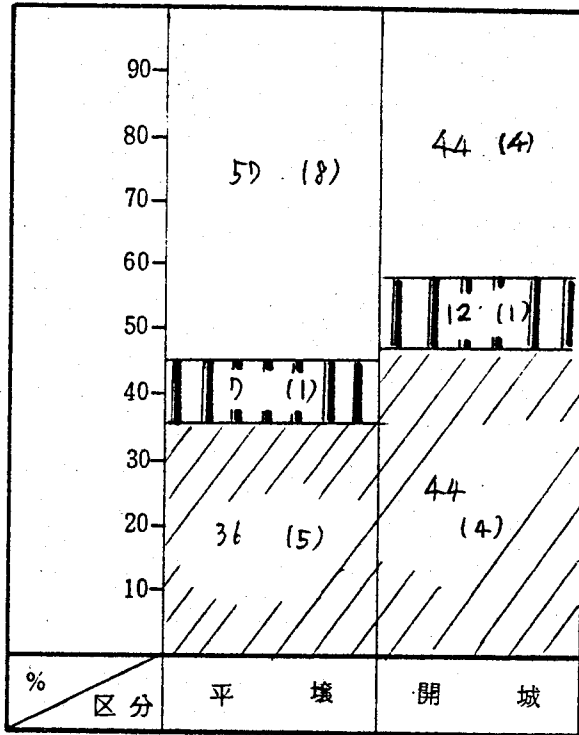
-  上級機關의 一方的 指示
-  該當企業所의 意見反映
-  該當企業所 任意決定
-  無應答





註、平壤、開城의 경우로 生産目標量의 決定은 一部 下級機關의 意見을 參考로 上級機關이 決定 下達하는 것으로 나타남.

工場運営費 決算分配 に関する公告 調査

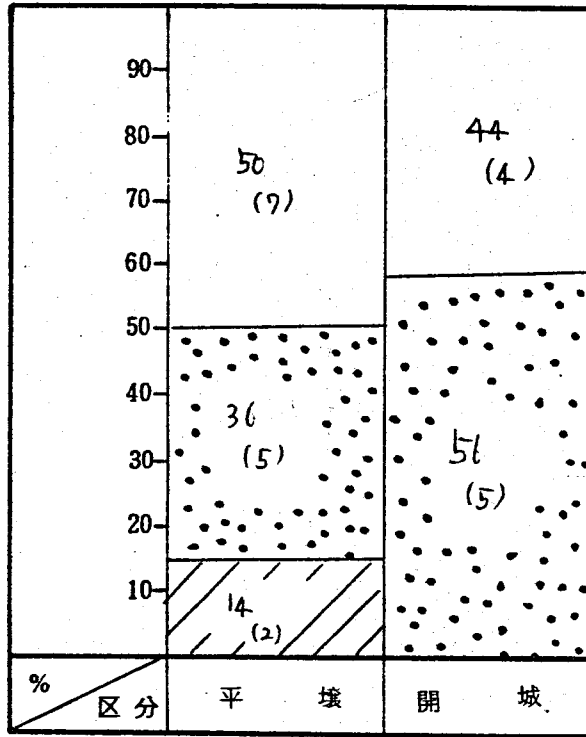



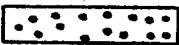

計劃目標未達時措置



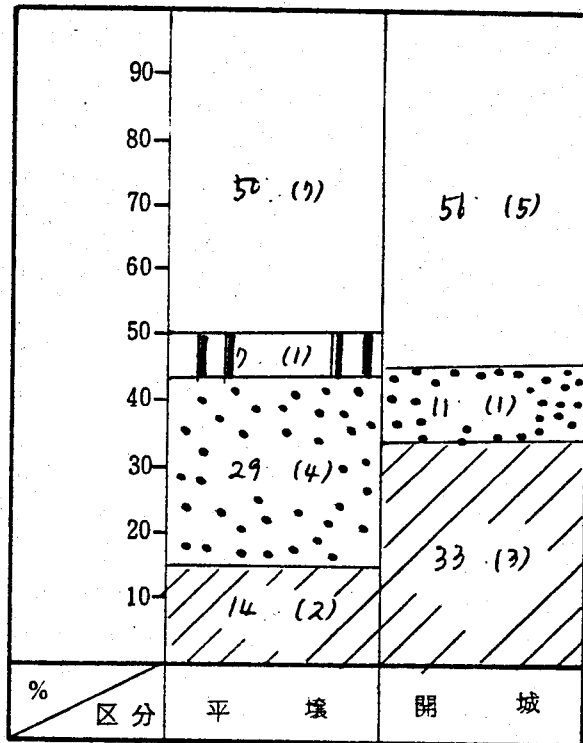
-  課外勞動으로 達成
-  上部川建設后 免除登台
-  他分野勞動者支援
-  無應答

生産技術向上を爲す措置



-  他校園外 移牒教育
-  自体教育
-  無回答

生産裝備の供給



必要時上級機関を要請



上級機関에서 定期的으로

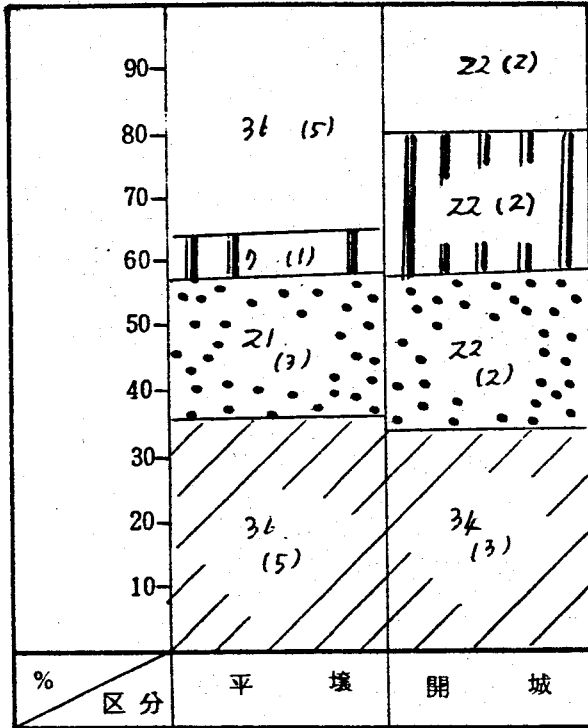


其他



無應答

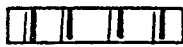
報酬決定



職責에 따른다.



労働能力에 따른다.

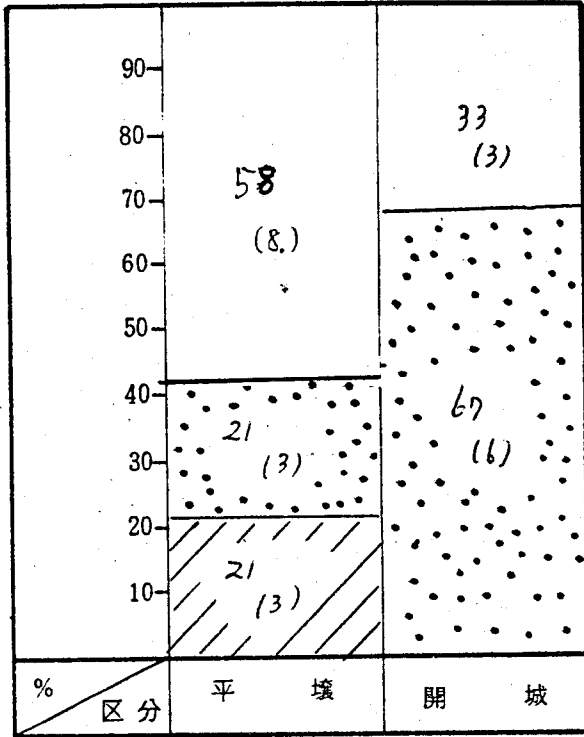


勤務期間에 의한다.



無應答

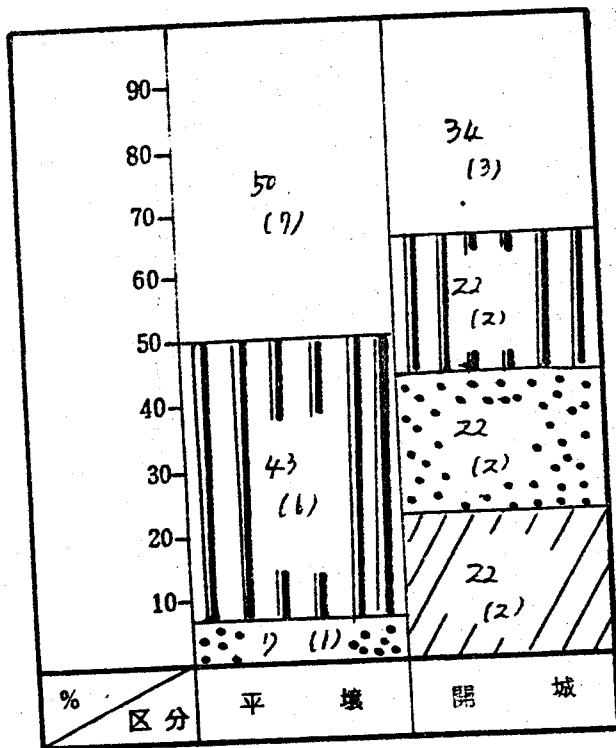
有功農民. 勞動者에 대한 賞與金 存在 與否

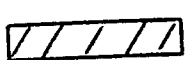


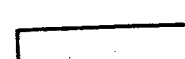


- 있다
- 없다
- 無應答

註) 開城에는 賞與金이 없는것으로 나타나고 있으나 應答者 構成에 問題점이 있는것으로 生覺됨.

不誠實勞動者에 대한 經濟的制裁



-  減俸処分
-  配給減量
-  其他(批判等)
-  無應答

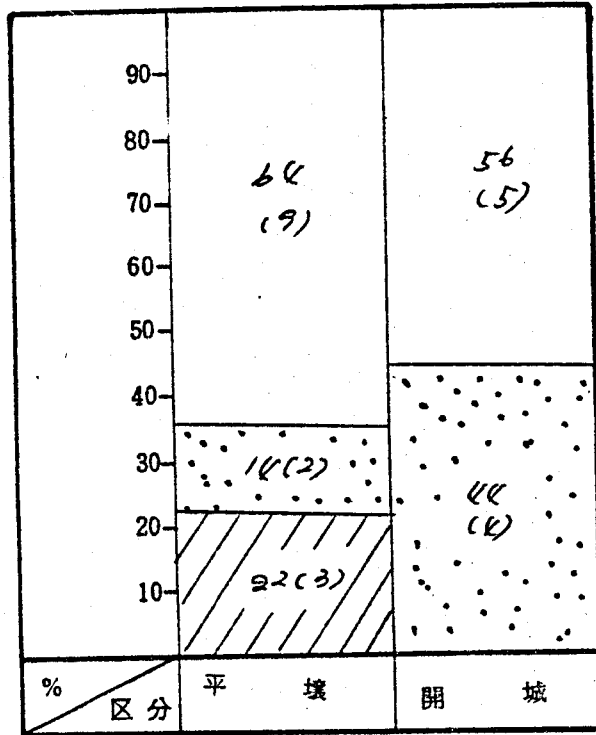
(2) 獨立 採算制




分野	地域	平 壤	開 城
工場自体 豫算에 依한 事業		○ 매우 적은 比率로 存在 (22 %)	○ 전혀 없는 것으로 나타남
裝備・原料의 任意 購入		○ 任意購入 可能比率이 다른 都市나 開城보다 높은 것이 特徵 (21 %) ○ "없다"는 比率도 21% 임	○ "없다"는 比率은 平壤과 비슷하나 있다는 比率은 平壤의 半임 (11 %)
工場・企業所 副産物 職場		○ 副産物 職場에 對해 잘모르는 것이 特徵임	○ 平壤과 同一



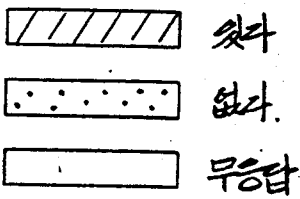
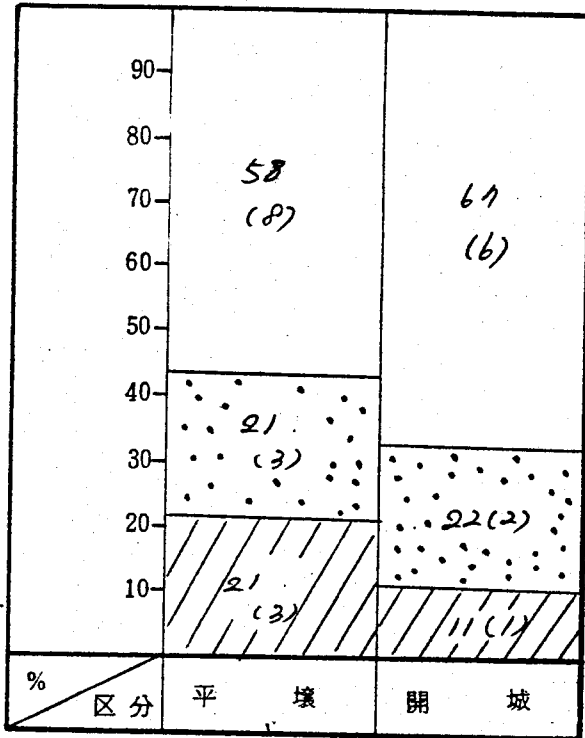
- 工場自体 豫算에 依한 事業은 平壤에만 적은 比率로 存在하고 開城은 없는 것으로 나타났음
- 職場 自体豫算으로 裝備・原料 任意 購入可能 比率은 平壤이 開城보다 훨씬 높음.
- 副産物 職場은 存在하나 應答者中 工場企業所 勤勞者가 적어 없다는 答이 많음

工場 自体豫算에 依한 事業

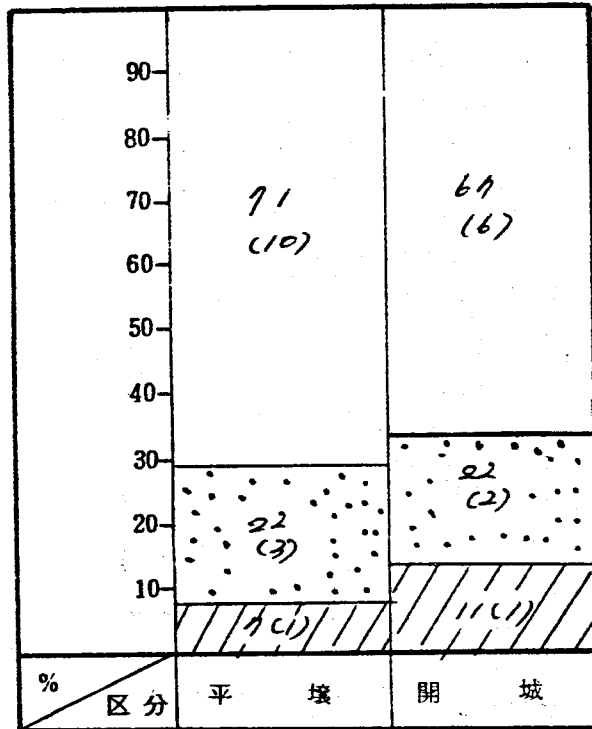


-  有答
-  無答
-  無應答

裝備, 原料의 任意購入



工場. 企業所 副産物 職場



////// 있다.

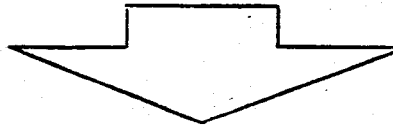
..... 없다.

□ 무응답

※ 無應答者의 大部分이 工場. 企業所 勤務
 經驗이 있는者들로서 副産物 職場의 存在
 興否를 모르고 있음.

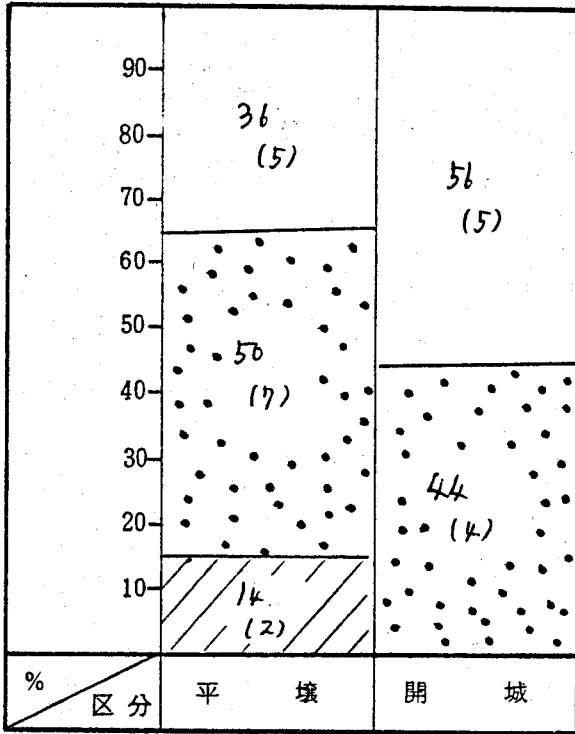
(3) 人力管理

分 野 地 域	平 壤	開 城
職場配置經路	<ul style="list-style-type: none"> ○上部指示가 一般的 現狀이며 (50 %) , 本人希望反映은 적은 比率 (14 %) 로 나타남 	<ul style="list-style-type: none"> ○本人希望反映은 전혀 없는 것으로 나타남
職場試驗의 存在 與否	<ul style="list-style-type: none"> ○職場試驗이 전혀 없는 것이 特徵 (党性 背景을 中心으로 補職을 주는 傾向이 높음을 反証한 것으로 볼 수 있음) 	<ul style="list-style-type: none"> ○應答者 9名中 1名이 試驗의 存在를 認定
職場不適合時의 措置	<ul style="list-style-type: none"> ○上部指示에 의한다는 比率이 높은 것이 特徵 (50 %) ○本人意思 反映된 上部指示는 14 % 	<ul style="list-style-type: none"> ○上部指示와 本人意思 一部反映 比率이 같음 (各 22 %)
轉職에 대한 本人 意思反映	<ul style="list-style-type: none"> ○本人意思대로가 7 % , 本人意思 一部反映이 43 % 로 比較的 本人意思 尊重 比率이 높음 ○本人意思 無視도 36 % 나 됨 	<ul style="list-style-type: none"> ○本人意思 無視 比率이 가장 높게 나타남 것이 特徵 (9名中 4名) 이며 本人意思대로는 전혀 없는 것으로 나타남



- 職場配置時に 本人希望 反映比率이 開城보다 平壤이 높게 나타나고 있으며, 職場試驗은 平壤보다 開城이 存在하는 것으로 나타남
- 轉職・轉出時に 本人意思 一部 反映比率은 平壤이 높으며 開城은 上部指示에 依한 比率이 매우 높게 나타나 強한 統制下에 있음을 드러냄

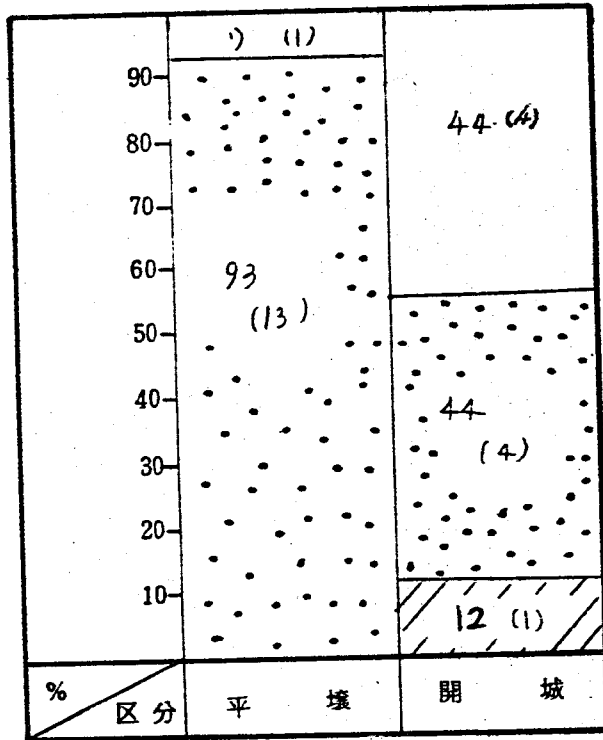
職場配置経路



- 本人希望
- 上部指示
- 無應答

註, 平壤은 本人希望이 多少 通하는 것으로 나타나나 開城은 全히 없는것으로 나타남.

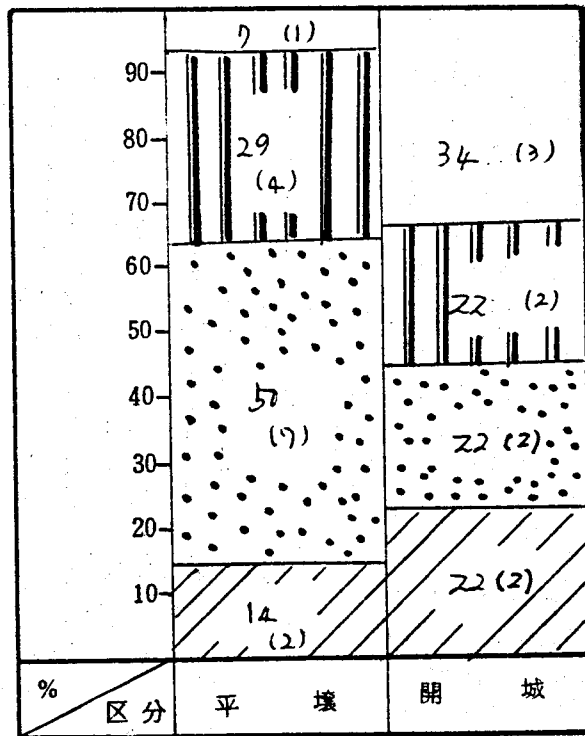
職場試驗의 存在與否



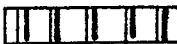
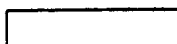


- 있다
- 있다
- 無應答

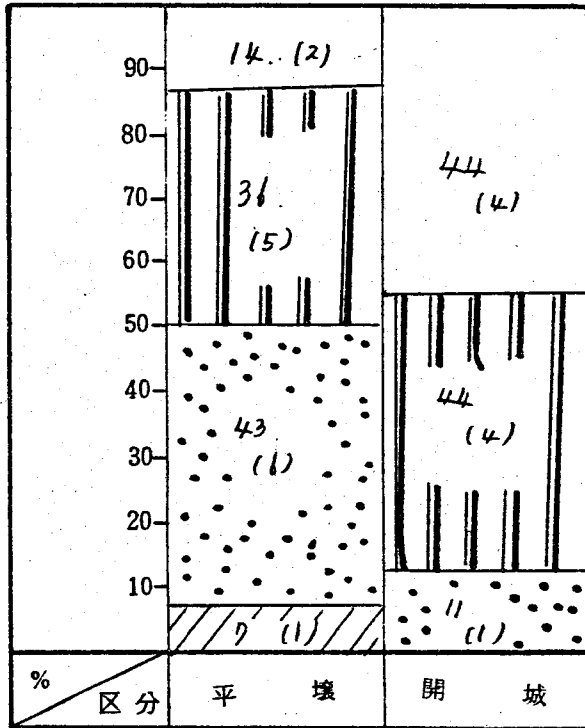
註) 平壤의 경우 '職場試驗存在' 應答比率이
 전혀 없는것이 特徵이며, 이는 党性이나 배경을
 中心으로 視적을 주는 傾向이 높은것을 반영
 하는 것으로 추정됨.





職場不適合時の措置



-  本人意思反映に上部指示
-  全的に上部指示
-  配置に職場変更不可
-  無回答

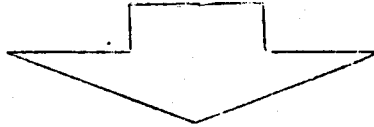
職對 本人意思反映



-  本人意思대로
-  本人意思一部反映
-  本人意思無視
-  無回答

사. 家庭生活

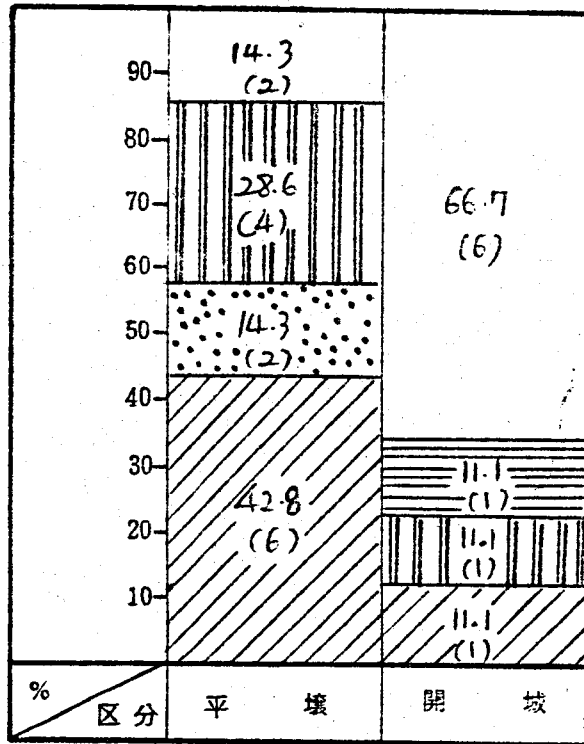
分 野 \ 地 域	平 壤	開 城
結婚意思 決定	○ 주로 本人 意思가 重 視되고 있음 : 6 名 (42.8 %)	○ 本人과 黨의 決定이 비슷하게 作用 : 各各 1 名 (11 %)
離婚可能性	○ 거의 不可能한 것으로 보임 : 10 名 (71.5 %)	○ 離婚이 相當히 힘든 것으로 보임 : 거의 不可能 2 名 (22.2 %)




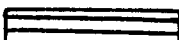
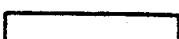


○ 家庭生活은 平壤과 開城사이에 두드러진 差異가 나타나지 않음

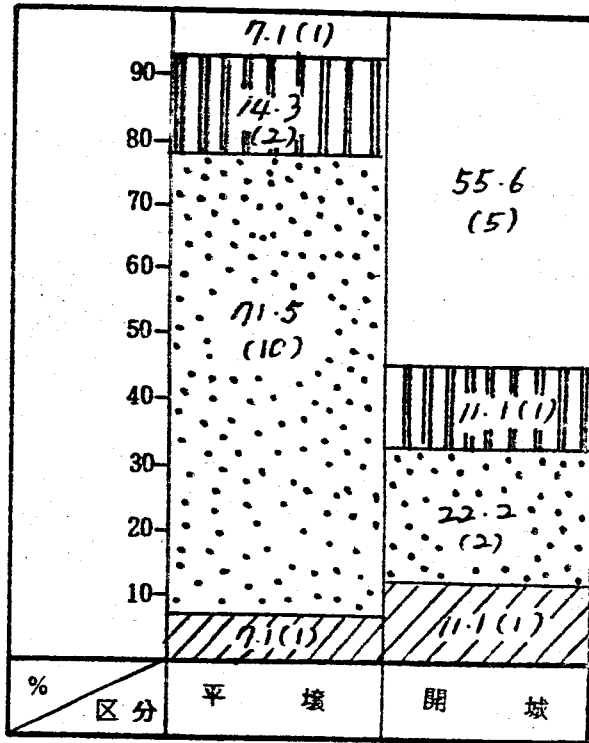
○ 다만 平壤에서는 離婚하기가 어려움에도 不拘하고 開城보다 離婚事例가 많이 나타나고 있음.

結婚意思決定



-  本人
-  父母
-  兄
-  其他
-  無回答

難婚可能性



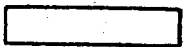
法的으로 自由



거의 不可能



모르겠다



無 応 答

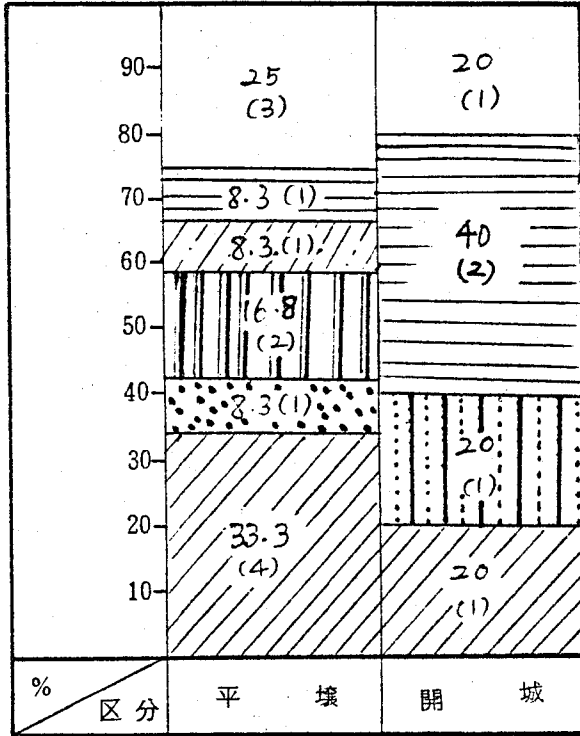
아. 社会生活

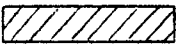


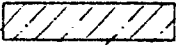
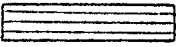

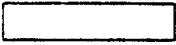
分野	地域	平 壤	開 城
希望職業		○高級黨員을 大部分이 希望하고 있음 : 4名 (33.3%)	○教育者의 인기가 높음 : 2名 (40%)
希望職業의 選擇理由		○出世와 能力開發이 어느 정도 可能한 것으로 보임 : 6名 (35.3%)	○選擇의 余地가 없기 때문에 (9名 : 100%)出世나 能力開發은 거의 不可能함
映面觀覽 方法		○余裕時間에 觀覽하는 方法과 動員에 의한 方法이 비슷한것 같음 : 5名 (35.7%)	○主로 動員에 의해 觀覽하는 것으로 보임 : 2名 (22.2%)



○ 希望職業은 平壤에서는 高級黨員 (33.3%)이 제일 많고 開城에서는 教育者 (40%)가 높으며 職業選擇의 動機가 平壤에서는 出世와 能力開發이 可能하기 때문이라는 回答이 많으나 開城에서는 選擇의 余地가 없기 때문이란 回答만 나왔음.

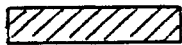
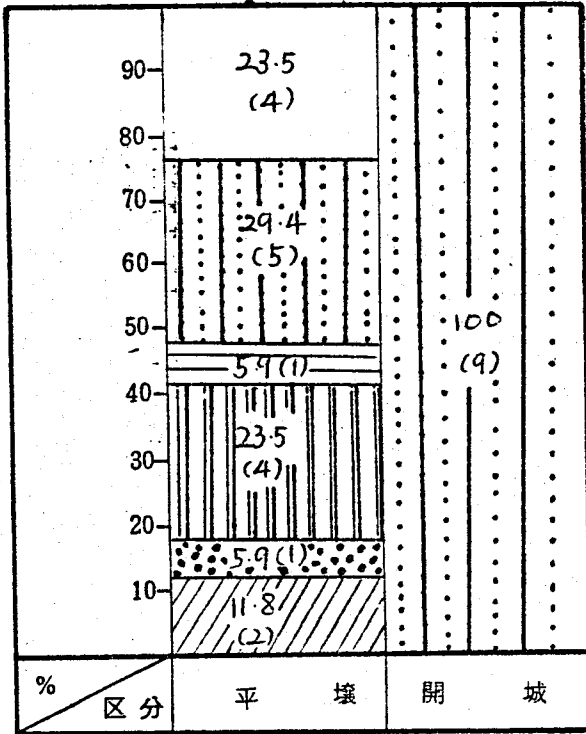
希望職業



-  高級黨員
-  政權機關員 (政務員)
-  技術者
-  科學者
-  教育者
-  農業, 水產業, 商業
-  其他

註) 平壤地區高級黨員
渴望比人均開城
地區地區教育者
是希望比人均

希望職業의 選拔理由



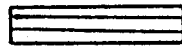
名譽, 出世를 想할 수 있어서



生活이 潤沢할 수 있기 때문에



能力을 開發할 수 있어서



社会的으로 奉仕할 수 있어서

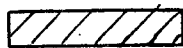
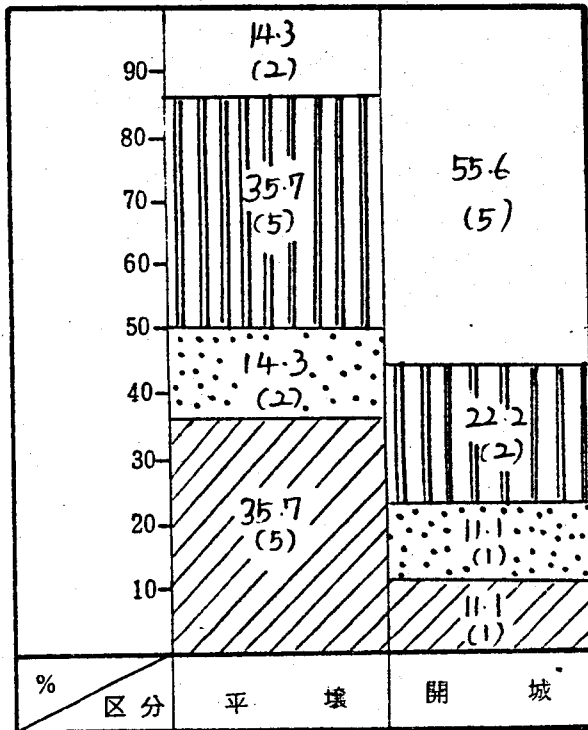


다른 選拔 余地가 있어서



其他

映画觀覽方法



餘餘時間이 尙지은지



時間餘餘가 없이 吳는다



動員에 依洲 觀覽



無應答

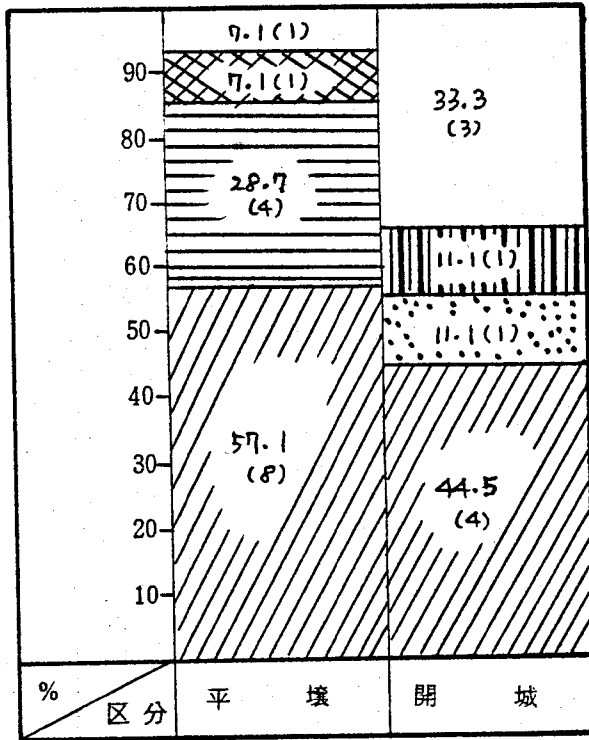
자. 青少年과 女性問題


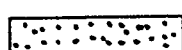

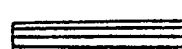


分 野	平 壤	開 城
青少年意思 決定 要因	○大部分이 党的 敎示에 따르는 것으로 보임 : 8名 (57.1%)	○大部分 党的 敎示 (4 名 : 44.5%)에 따르나 父母意思나 自身이 決定 하는 경우도 있는 것으 로 나타남 : 2名 (22%)
青少年異性 交際	○普通있는 것으로 보임: 5名 (35.8%)	○相當히 드물게 있음 : 2名 (22.2%)
青少年的 脫線原因	○社會에 대한 不滿	○學校生活에 대한 不滿
女性들의 政治活動 參與理由	○大部分 組織의 勧誘에 의 해 參與 : 10名 (71.4%)	○組織의 勧誘와, 強制的인 方法 등이 作用 : 各各 2名 (22.2%)
女性の 자 랑 要素	○地位	○出身成分



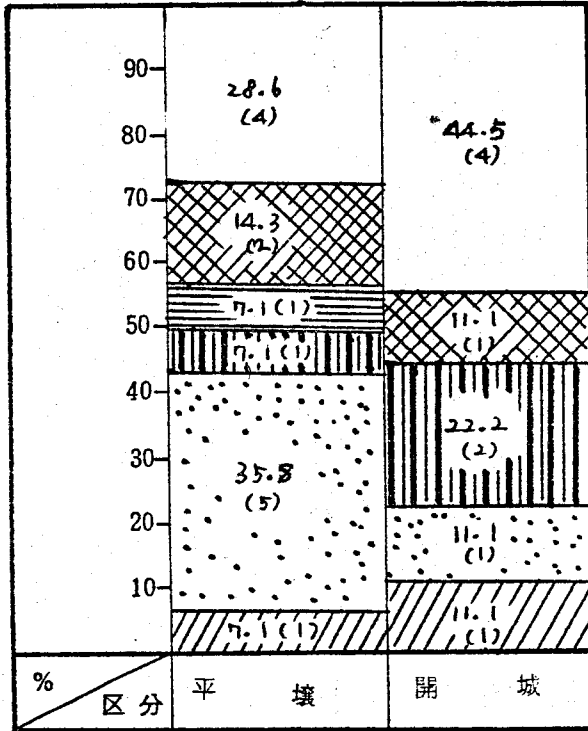
- 平壤에서는 父母나 自身の 判断에 따라 意思決定을 한다는 回答이 전혀없는 反面 開城에서는 22% 나왔음
- 青少年的 異性交際는 開城보다 平壤이 많은 것으로 나타났고 青少年 脫線原因은 平壤이 社會에 대한 不滿이 가장 많은 反面, 開城은 學校生活에 대한 不滿이 제1順位임
- 平壤에서는 女性들의 自發的 政治參與가 7.1%가 나왔으나 開城에서는 전혀없고 平壤女性들은 地位를 제일 자랑스럽게 생각하나 -開城에서는 出身成分을 가장 자랑스럽게 생각하고 있는 것으로 나타났음.
- 平壤의 青少年과 女性들이 開城보다 體制同調的인을 보여 주고 있음.

青少年的意思決定要因



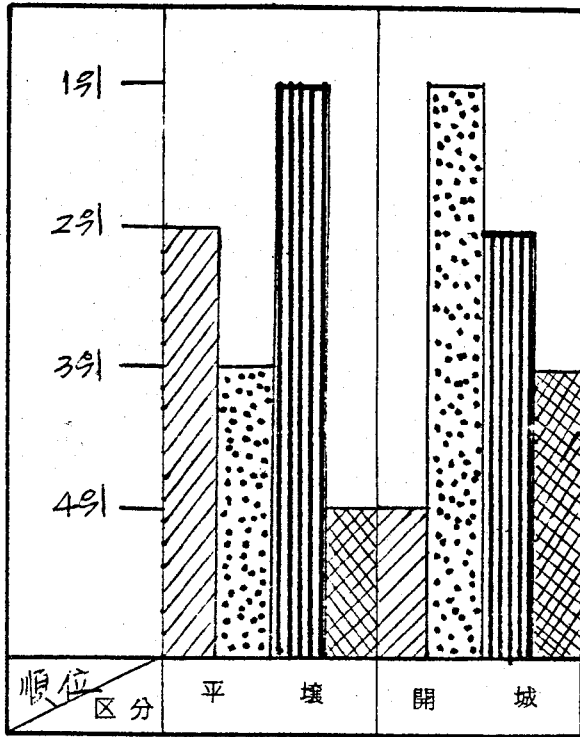
-  虎의 敎示에 따른다
-  父母의 意思에 따른다
-  自身の判斷에 따른다
-  모르겠다
-  其他
-  무응답





靑少年의 異性交際



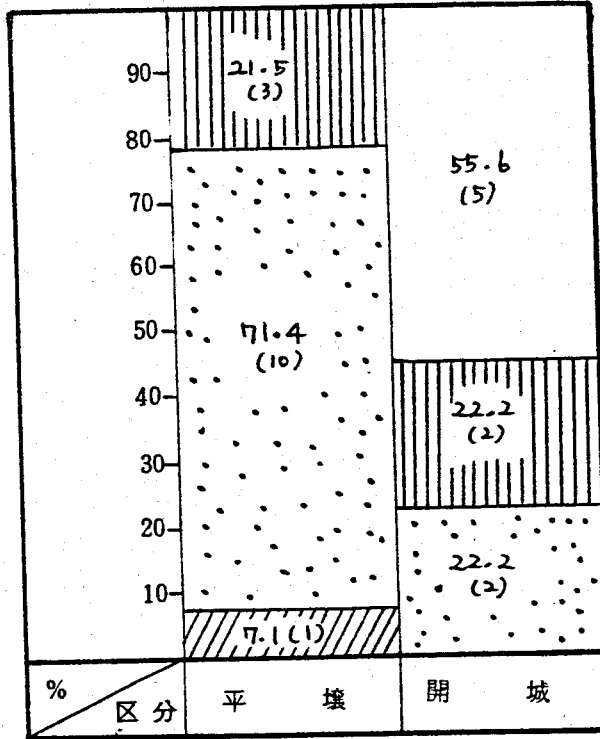
- 흔히 있다
- 普通 있다
- 드물게 있다
- 없다
- 모르겠다
- 무응답




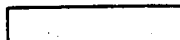
青少年的脱線原因



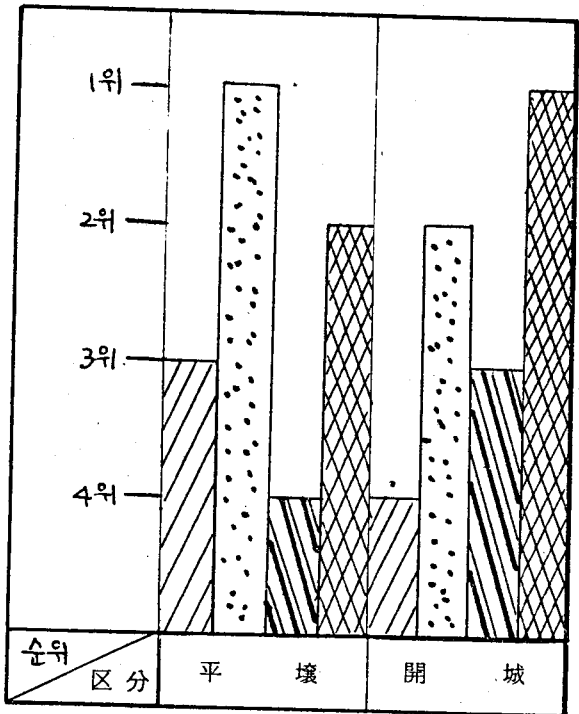
-  家庭生活에 不满
-  学校生活에 "
-  社会에 不满
-  장난





女性의 政治活動 參與理由



-  权利, 義務外으로 自發的 參與
-  組織의 권유
-  強制動員
-  무응답

여성들의 자강요소



-  外貌
-  地位
-  才能
-  出身成分

